

令和5年(2023年)8月23日
8月定例教育委員会
報告事項ア

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

1 実施概要

(1) 実施日 令和5年4月18日(火)

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 実施教科

①教科に関する調査〔国語、算数・数学、中学校英語〕

※ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるものという学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の改善等に資するよう、知識と活用を一体的に問われた。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査(一部Webによる回答) ・学校に対する調査(Webによる回答)

(4) 実施校数 悉皆調査

	調査対象 学校数	調査実施校	
		18日に調査を 実施した学校数	19日以降に調査を 実施した学校数
市町立小学校	218	218	0
義務教育学校(前期課程)	2	2	0
特別支援学校(小学部)	2	2	0
市町立中学校	93	93	0
義務教育学校(後期課程)	2	2	0
県立中学校	3	3	0
特別支援学校(中学部)	4	4	0
公立学校計	324	324	

2 教科に関する調査の結果概要(公立)

○各教科における本県と全国の平均正答数と平均正答率(%)

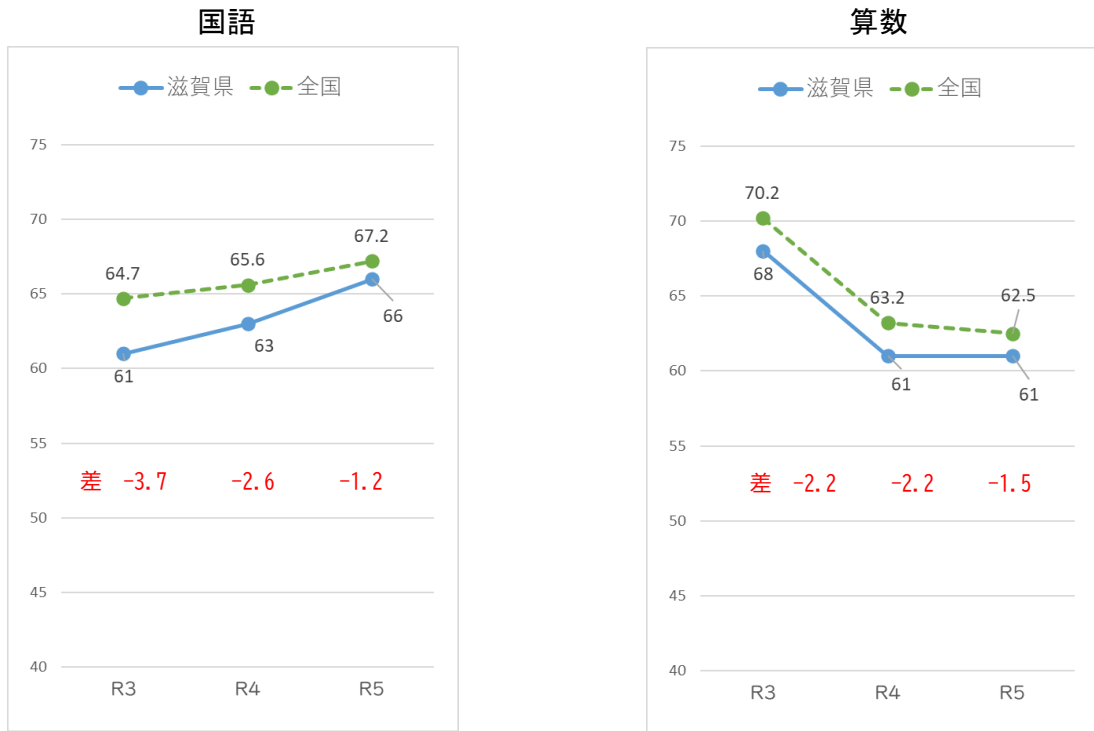
	教科	平均正答数/設問数			平均正答率		
		本県	全国	全国との差	本県	全国	全国との差
小学校	国語	本県	9.3/14	-0.1	本県	66	-1.2
		全国	9.4/14		全国	67.2	
	算数	本県	9.7/16	-0.3	本県	61	-1.5
		全国	10.0/16		全国	62.5	
中学校	国語	本県	10.0/15	-0.5	本県	67	-2.8
		全国	10.5/15		全国	69.8	
	数学	本県	7.5/15	-0.1	本県	50	-1.0
		全国	7.6/15		全国	51.0	
	英語	本県	7.7/17*	0.0	本県	46	0.4
		全国	7.7/17*		全国	45.6	

* 「話すこと」調査の問題数は含まない。

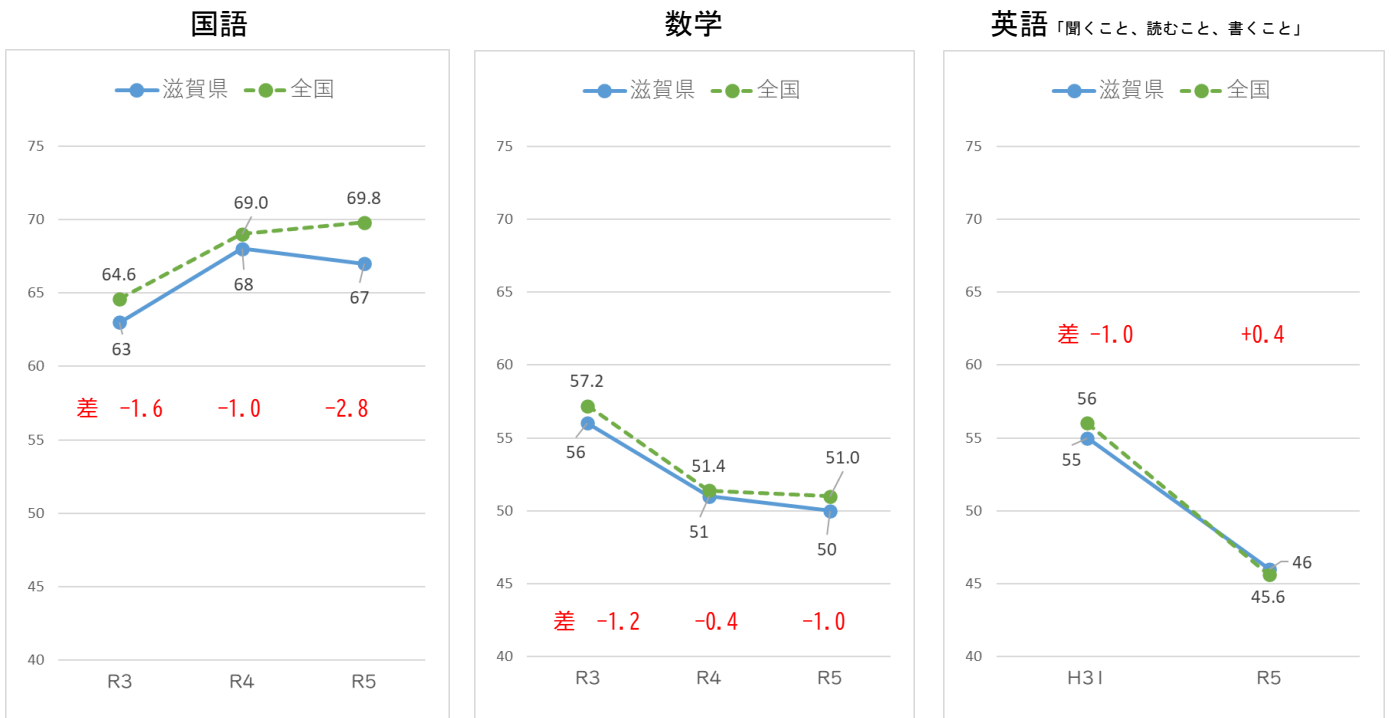
※ 中学校英語「話すこと」調査の結果については、全国の推計値のみを公表された。

○ 令和3年度から令和5年度全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移

【小学校】 <平均正答率の経年変化>



【中学校】 <平均正答率の経年変化> ※英語に関しては、過去、平成31年度のみ実施された。



【国語】

◆本県の児童の状況を分析すると…

- 「情報の扱い方に関する事項」の「情報の整理」の内容に関する設問における平均正答率は62.3%であり、全国平均を0.3%上回った。
 - ・複数の資料から情報をどのように整理しているかどうかをみる設問で、目的に応じて、重要な言葉を取り出していることや、語句と語句を関係付けていることを捉えることができた。
- 「話すこと・聞くこと」の記述式の設問における平均正答率は67.2%であり、全国平均を3.0%下回った。
 - ・インタビューの様子から、目的や意図に応じて話の内容を捉え、自分の考えをまとめることに課題が見られた。

小学校

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連で見ると…

「情報の扱い方に関する事項」の設問では、目的に応じて、必要な情報を整理したり、語句と語句を関係付けたりすることができていた。

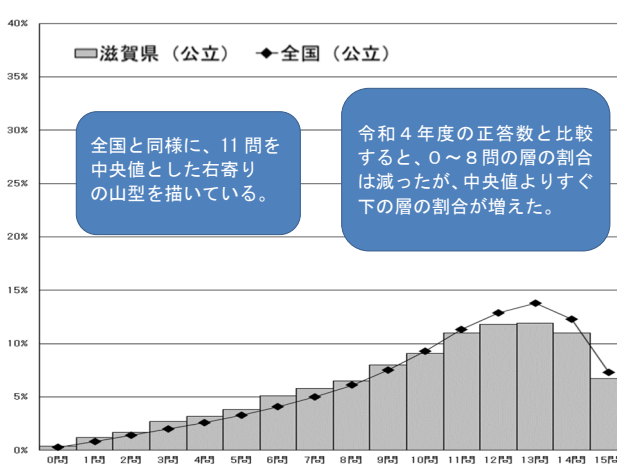
「話すこと・聞くこと」の設問では、目的や意図に応じて内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られた。

◆本県の生徒の状況を分析すると…

- 「情報の扱い方に関する事項」の「情報と情報との関係」の内容に関する設問における平均正答率は64.9%であり、全国平均と同等であった。
 - ・インターネットの記事から、インタビューを行う相手の考えを示した情報を捉える際に、意見と根拠など情報と情報との関係について理解し、適切なものを選択できていた。
- 「読むこと」の「精査・解釈」の内容に関する設問における平均正答率は43.7%であり、全国平均を6.3%下回った。
 - ・現代の作家が解釈を加えて現代語で書いた「竹取物語」の本文から、工夫されている点を叙述に基づいて考え、根拠を明確にして記述することに課題が見られた。

中学校

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連で見ると…

「話すこと・聞くこと」の設問では、インタビューをする場面において、目的や場面に応じて質問する内容を検討したり、意見と根拠などの関係について理解したりすることができていた。

「読むこと」の設問では、文章を読み比べる場面において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題が見られた。

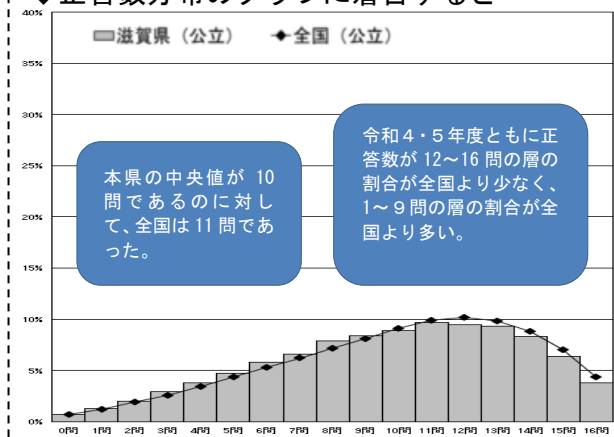
【算数・数学】

小学校

◆本県の児童の状況を分析すると…

- 「データの活用」と「変化と関係」の領域における平均正答率はそれぞれ 64.6%、69.6%であり、全国平均をそれぞれ 0.9%、1.3%下回ったが、昨年度と比べると、全国平均との差は 0.8%、1.7%の改善が見られた。
 - ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかをみる設問における平均正答率は 75.9%であり、全国平均を 0.2%上回った。
- 「数と計算」と「図形」の領域における平均正答率はそれぞれ 65.5%、46.4%であり、全国平均をどちらも 1.8%下回った。
 - ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることに課題が見られた。
 - ・台形の意味や性質の理解に課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連でみると…

「変化と関係」の領域の設問において、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができていた。

「データの活用」の領域の設問において、示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうか課題が見られた。

中学校

◆本県の生徒の状況を分析すると…

- 「データの活用」の領域における平均正答率は 48.3%であり、全国と比べて差はなかった。また「図形」の領域では、出題形式によって全国平均より上回っている。
 - ・累積度数の意味を理解しているかをみる設問における平均正答率は 51.4%であり、全国平均を 5.3%上回った。
 - ・空間における平面が同一直線上にない 3 点で決定されることを理解しているかをみる設問における平均正答率は 31.8%であり、全国平均を 1.4%上回った。
- 「関数」と「数と式」の領域における平均正答率はそれぞれ 49.2%、61.4%であり、全国平均をそれぞれ 2.0%、1.6%下回った。
 - ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることに課題が見られた。
 - ・自然数の意味の理解に課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連でみると…

「数と式」の領域（整数の計算）の設問において、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができていた。結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題が見られた。

「図形」の領域（合同な 2 つの三角形と平行線）の設問において、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題が見られた。

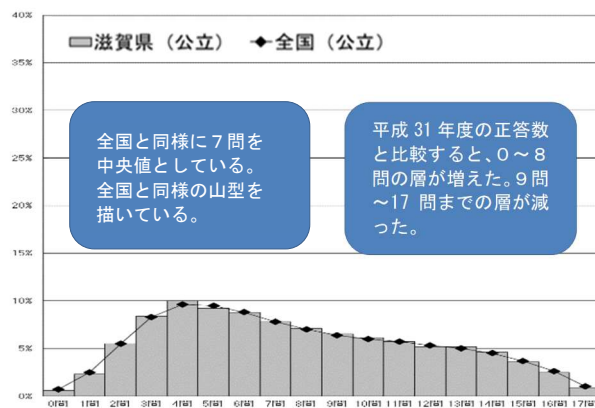
【英語（聞くこと・読むこと・書くこと）】

中学校

◆本県の生徒の状況を分析すると…

- 「聞くこと」の領域では、平均正答率は 59.1%であり全国平均を 0.7%上回った。「読むこと」の領域では、「短い文章の要点を捉える」問題における平均正答率は 57.0%であり、全国平均を 0.9%上回った。
 - ・特定の場面における描写を聞き、情報を正確に聞き取ることができた。
 - ・社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることが、比較的できた。
- 「英文を読んで意見を書く」問題および「まとまりのある文章を書く」問題では、平均正答率はそれぞれ 17.4%、7.2%であり、全国平均を 2.1%、0.2%下回った。
 - ・社会的な話題について書かれた英文を読んで、書き手の意見に対する自分の考えと理由を書くことに課題が見られた。
 - ・学校生活の中から紹介したいものを 1つ取り上げ、それを説明することに課題が見られた。

◆正答数分布のグラフに着目すると…



■各設問を「読み解く力」の関連でみると…

「短い文章の要点を捉えて、それに対する考えとその理由を書く」設問において、複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことが何かを判断して捉えることができていた。

「まとまりのある文章を書く」設問において、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書くことに課題が見られた。

3 質問紙調査の結果概要

○児童生徒質問紙調査

- ・質問項目数は、小学校 59 項目（昨年度より 10 項目減）、中学校 72 項目（昨年度より 3 項目増）となった。
- ・自己有用感等について尋ねる項目が、昨年度より 3 項目加えられた。

○学校質問紙調査

- ・質問項目数は、小学校 81 項目（昨年度より 4 項目減）、中学校 89 項目（昨年度より 6 項目増）となった。
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況の項目の中に、一人一人の学びや状況を尋ねる内容が含まれた。
- ・小中学校ともに新型コロナウイルス感染症の影響を調査するための質問項目は 1 項目あった。

(1) 「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」における 3 つの視点の指標項目等

各質問項目に対して、4 つの選択肢の中から肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「よく行った」、「どちらかといえば行った」等）を選択した割合（%）を示した。

① 視点 1 「学びを実感できる授業づくり」

質問項目	校種		R4 調査	R5 調査	前回調査との比較
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	76.5	78.3	+1.8
		全国	77.3	78.8	+1.5
	中	本県	77.1	76.8	-0.3
		全国	79.2	79.2	0.0
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	65.0	62.6	-2.4
		全国	65.4	63.7	-1.7
	中	本県	58.0	56.2	-1.8
		全国	63.3	62.1	-1.2
5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。 [児童生徒質問紙] *1	小	本県	26.4	22.5	-3.9
		全国	26.7	28.2	+1.5
	中	本県	23.2	22.7	-0.5
		全国	21.6	28.1	+6.5
あなたの学校では、児童〔生徒〕一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか。 [学校質問紙] *1	小	本県	57.1	62.6	+5.5
		全国	58.2	65.2	+7.0
	中	本県	53.5	56.9	+3.4
		全国	55.5	62.6	+7.1

*1 ICT 機器の使用に関する質問項目は、「ほぼ毎日」を選択した割合を示した。

② 視点2「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」

質問項目	校種		R4調査	R5調査	前回調査との比較
将来の夢や目標を持っていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	77.4	79.7	+2.3
		全国	79.8	81.5	+1.7
	中	本県	64.1	63.3	-0.8
		全国	67.3	66.3	-1.0
学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	80.0	82.5	+2.5
		全国	80.1	81.8	+1.7
	中	本県	76.8	77.5	+0.7
		全国	78.7	79.7	+1.0
人が困っているときは、進んで助けていますか。 [児童生徒質問紙]	小	本県	89.0	92.1	+3.1
		全国	88.9	91.6	+2.7
	中	本県	87.1	87.0	-0.1
		全国	88.4	88.1	-0.3
学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか。 [学校質問紙]	小	本県	99.1	99.5	+0.4
		全国	98.7	98.9	+0.2
	中	本県	99.0	99.0	0.0
		全国	98.1	98.3	+0.2

③ 視点3「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」

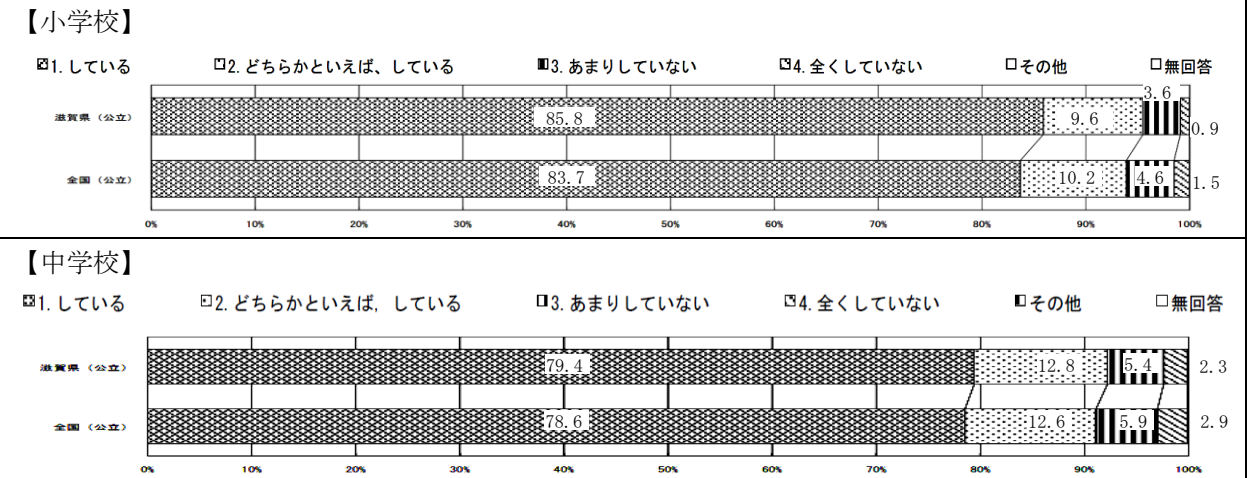
質問項目	校種		R4調査	R5調査	前回調査との比較
児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行いましたか。[学校質問紙]	小	本県	85.9	90.1	+4.2
		全国	83.6	88.8	+5.2
	中	本県	72.7	86.3	+13.6
		全国	78.6	83.8	+5.2
前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。[学校質問紙]	小	本県	42.0	55.4	+13.4
		全国	52.7	60.6	+7.9
	中	本県	49.5	56.8	+7.3
		全国	61.1	66.8	+5.7
家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。 [学校質問紙]	小	本県	92.7 ^{*2}	91.4	-1.3
		全国	90.6 ^{*2}	90.8	+0.2
	中	本県	79.4 ^{*2}	78.4	-1.0
		全国	85.5 ^{*2}	84.6	-0.9
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。 [学校質問紙]	小	本県	74.4	82.9	+8.5
		全国	82.0	86.7	+4.7
	中	本県	70.7	68.7	-2.0
		全国	79.7	83.2	+3.5

*2 令和3年度の調査結果

(2) 児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目 (児童生徒質問紙)

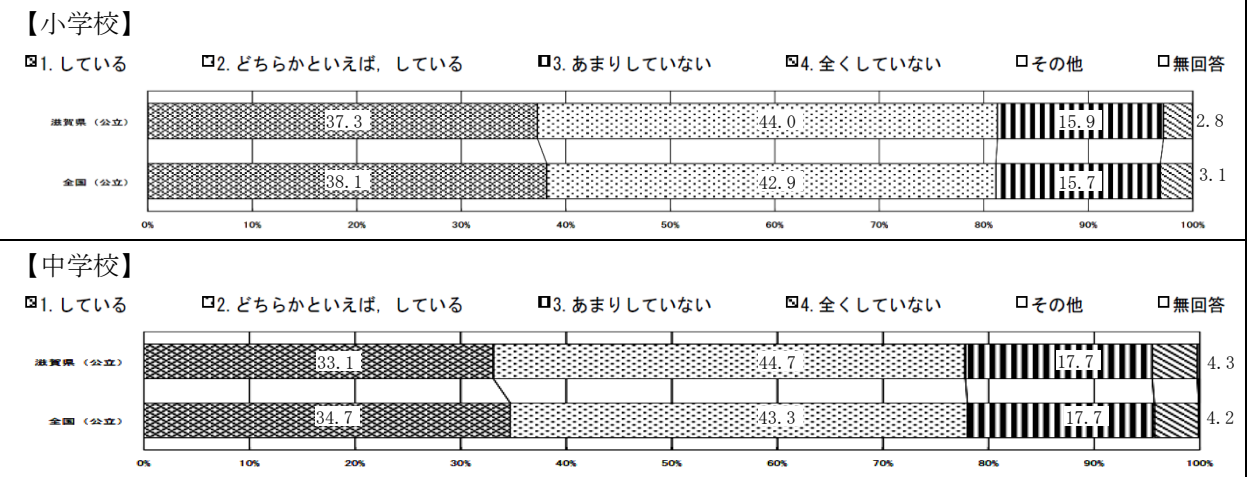
○朝食の摂取

朝食を毎日食べていますか。



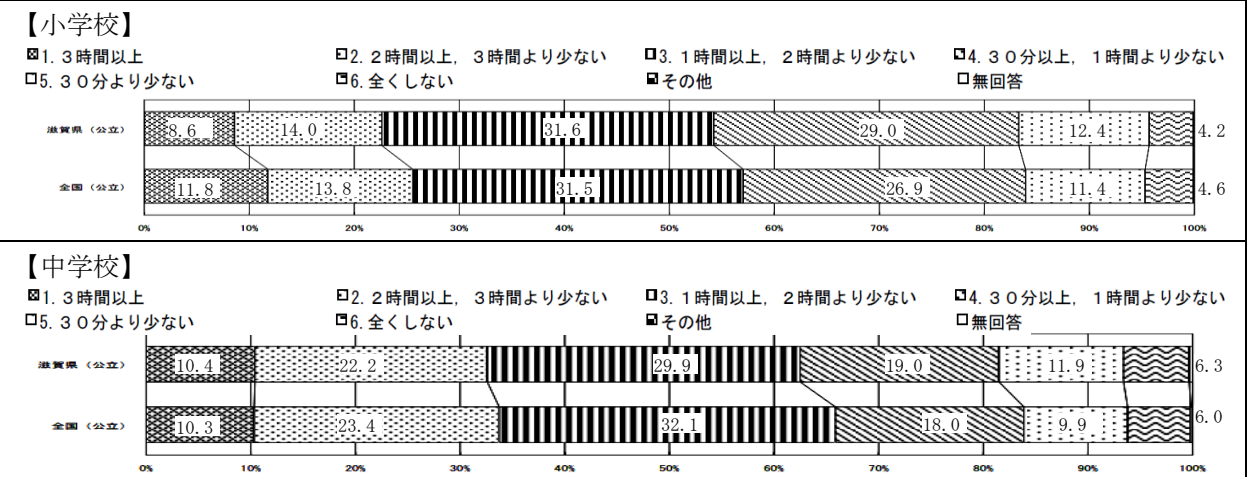
○就寝時刻

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



○家庭学習の時間

学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)。

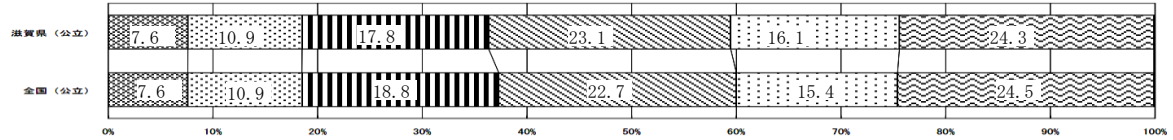


○読書の時間

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)。

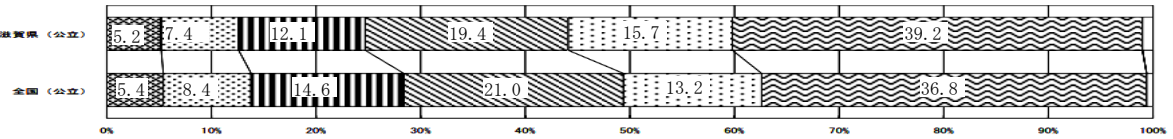
【小学校】

1. 2時間以上
2. 1時間以上、2時間より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない
4. 10分以上、30分より少ない
5. 10分より少ない
6. 全くしない
その他
無回答



【中学校】

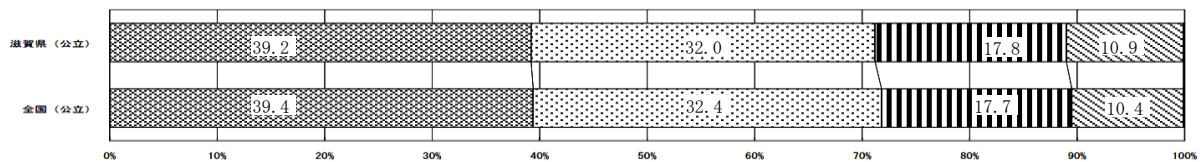
1. 2時間以上
2. 1時間以上、2時間より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない
4. 10分以上、30分より少ない
5. 10分より少ない
6. 全くしない
その他
無回答



読書は好きですか。

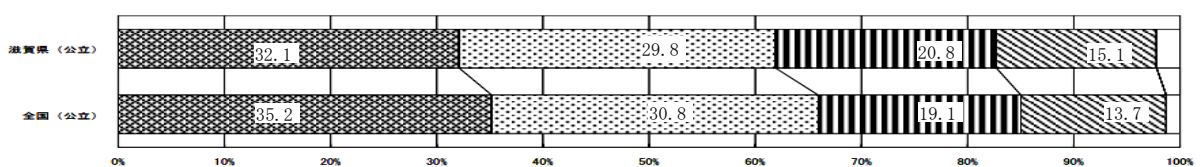
【小学校】

1. 当てはまる
2. どちらかといえば、当てはまる
3. どちらかといえば、当てはまらない
4. 当てはまらない
その他
無回答



【中学校】

1. 当てはまる
2. どちらかといえば、当てはまる
3. どちらかといえば、当てはまらない
4. 当てはまらない
その他
無回答

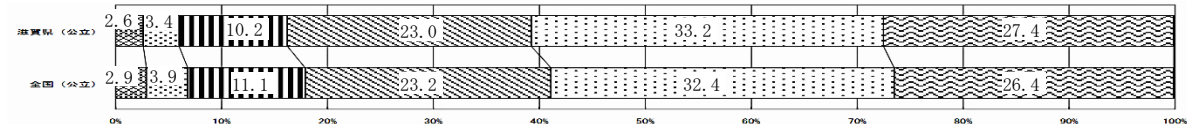


○ICT機器の使用時間

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除きます)。

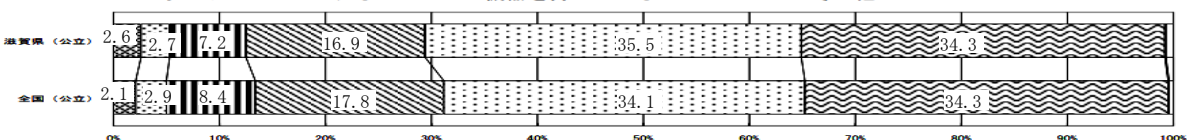
【小学校】

1. 3時間以上
2. 2時間以上、3時間より少ない
3. 1時間以上、2時間より少ない
4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない
6. 全く使っていない
7. スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
その他
無回答



【中学校】

1. 3時間以上
2. 2時間以上、3時間より少ない
3. 1時間以上、2時間より少ない
4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない
6. 全く使っていない
7. スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
その他
無回答



(3) これまでの取組の成果（児童生徒質問紙）

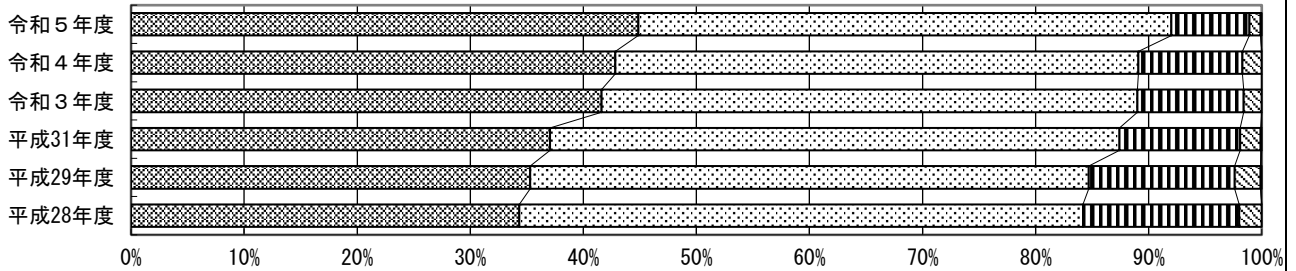
平成28年度以降の経年推移グラフから、特に顕著なものを取り上げた。

○人が困っているときは、進んで助けていますか。

【小学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	44.9	47.2	6.9	1.0	0.0	0.1
令和4年度	42.8	46.2	9.2	1.7	0.0	0.0
令和3年度	41.6	47.4	9.4	1.6	0.0	0.0
平成31年度	37.1	50.4	10.7	1.8	0.1	0.0
平成29年度	35.3	49.4	12.9	2.3	0.0	0.1
平成28年度	34.3	49.8	13.8	2.0	0.0	0.0

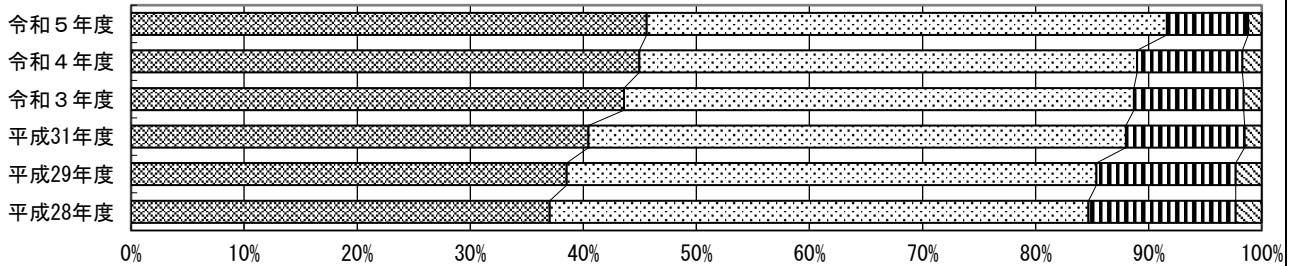
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



【小学校】全国

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	45.6	46.0	7.2	1.2		
令和4年度	44.9	44.0	9.3	1.7		
令和3年度	43.6	45.1	9.7	1.6		
平成31年度	40.4	47.5	10.5	1.5		
平成29年度	38.5	46.8	12.3	2.3		
平成28年度	37.0	47.6	13.0	2.3		

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

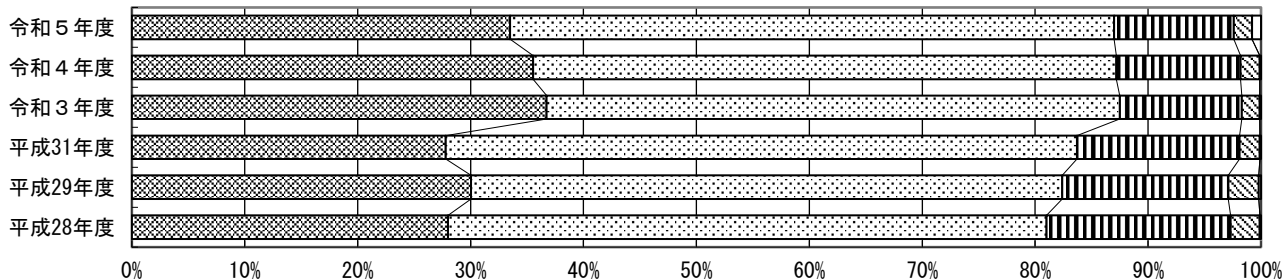


○人が困っているときは、進んで助けていますか。

【中学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	33.5	53.5	10.6	1.6	0.0	0.8
令和4年度	35.5	51.6	11.0	1.7	0.0	0.1
令和3年度	36.7	50.7	10.8	1.6	0.0	0.1
平成31年度	27.8	55.9	14.4	1.8	0.0	0.1
平成29年度	30.0	52.3	14.7	2.7	0.0	0.2
平成28年度	28.0	53.0	16.3	2.6	0.0	0.1

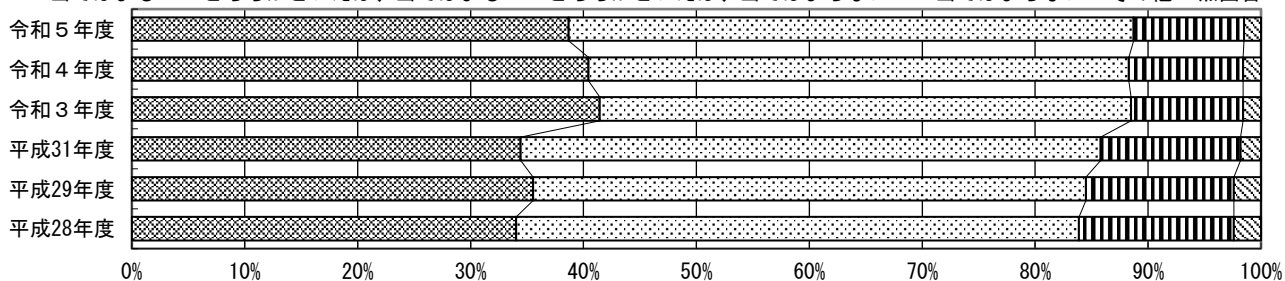
☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない ☐その他 ☐無回答



【中学校】全国

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	38.4	49.7	9.7	1.5		
令和4年度	40.4	47.8	10.1	1.6		
令和3年度	41.4	47.0	9.9	1.6		
平成31年度	34.4	51.3	12.4	1.8		
平成29年度	35.5	48.9	13.1	2.4		
平成28年度	34.0	49.8	13.7	2.4		

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない ☐その他 ☐無回答

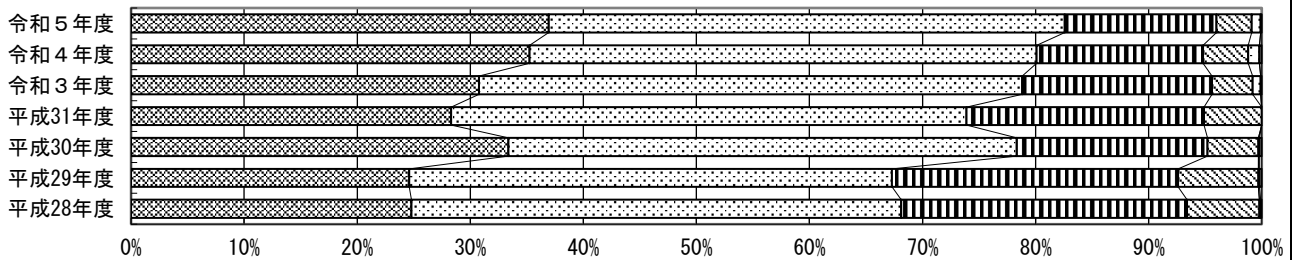


○学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

【小学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	5	その他	無回答
令和5年度	36.9	45.6	13.4	3.1	0.8	0.0	0.1
令和4年度	35.2	44.8	14.7	4.0	1.0	0.0	0.2
令和3年度	30.8	48.1	16.8	3.6	0.7	0.0	0.1
平成31年度	28.3	45.6	21.0	5.1		0.0	0.0
平成30年度	33.4	45.0	16.9	4.5		0.1	0.2
平成29年度	24.6	42.7	25.3	7.1		0.1	0.2
平成28年度	24.8	43.3	25.3	6.4		0.1	0.1

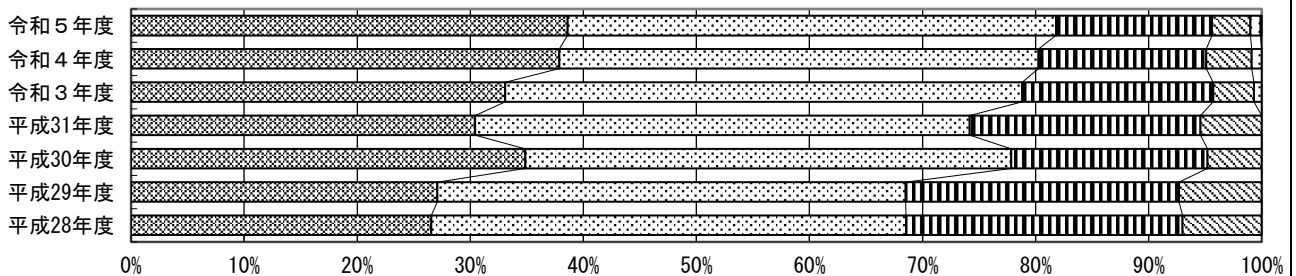
- 1. 当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 5. 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない
- 無回答
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 4. 当てはまらない
- その他



【小学校】全国

選択肢	1	2	3	4	5	その他	無回答
令和5年度	38.6	43.2	13.8	3.4	0.9		
令和4年度	37.8	42.3	14.8	4.0	0.9		
令和3年度	33.1	45.7	16.9	3.6	0.7		
平成31年度	30.4	43.7	20.4	5.4			
平成30年度	34.8	42.9	17.3	4.8			
平成29年度	27.0	41.3	24.1	7.3			
平成28年度	26.5	41.9	24.4	7.0			

- 1. 当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 5. 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない
- 無回答
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 4. 当てはまらない
- その他

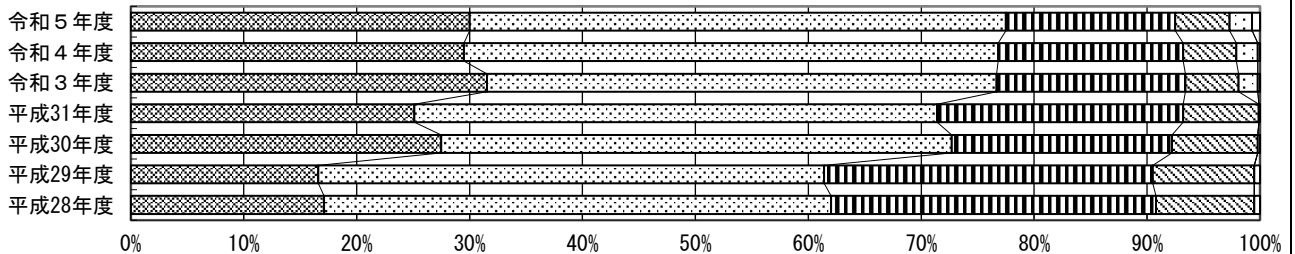


○学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

【中学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	5	その他	無回答
令和5年度	30.0	47.5	15.0	4.8	2.0	0.0	0.7
令和4年度	29.5	47.3	16.4	4.7	1.9	0.0	0.2
令和3年度	31.5	45.1	16.7	4.7	1.7	0.0	0.2
平成31年度	25.1	46.3	21.8	6.7		0.0	0.1
平成30年度	27.5	45.2	19.5	7.6		0.0	0.2
平成29年度	16.6	44.8	29.1	9.0		0.0	0.5
平成28年度	17.1	44.9	28.8	8.7		0.0	0.5

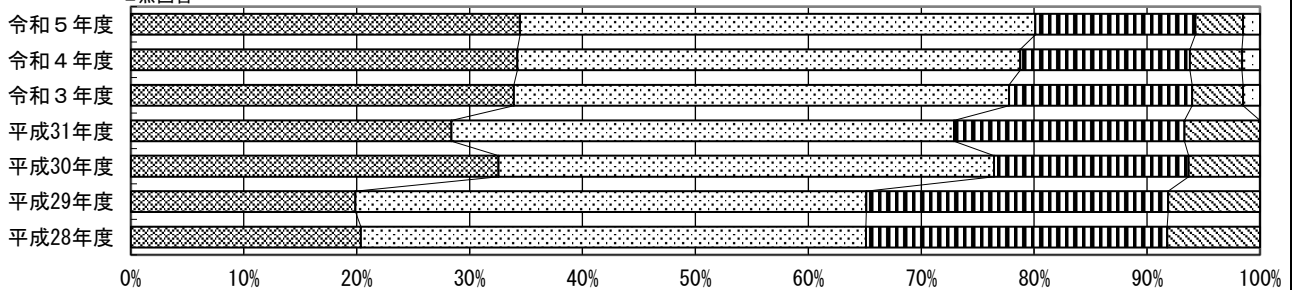
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない
- 5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない
- その他
- 無回答



【中学校】全国

選択肢	1	2	3	4	5	その他	無回答
令和5年度	34.3	45.4	14.1	4.2	1.5		
令和4年度	34.2	44.5	15.0	4.6	1.6		
令和3年度	33.9	43.8	16.2	4.5	1.5		
平成31年度	28.4	44.5	20.4	6.7			
平成30年度	32.5	43.8	17.2	6.3			
平成29年度	19.8	45.0	26.6	8.1			
平成28年度	20.3	44.6	26.6	8.2			

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない
- 5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない
- その他
- 無回答

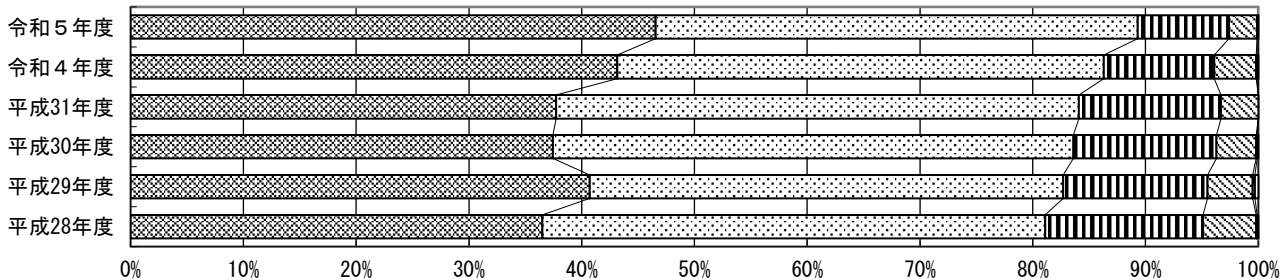


○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

【小学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	46.6	42.8	8.1	2.5	0.0	0.1
令和4年度	43.2	43.2	9.8	3.7	0.1	0.1
平成31年度	37.7	46.3	12.6	3.3	0.0	0.0
平成30年度	37.5	46.2	12.7	3.5	0.1	0.1
平成29年度	40.7	42.0	12.8	4.0	0.2	0.3
平成28年度	36.5	44.6	14.0	4.7	0.1	0.1

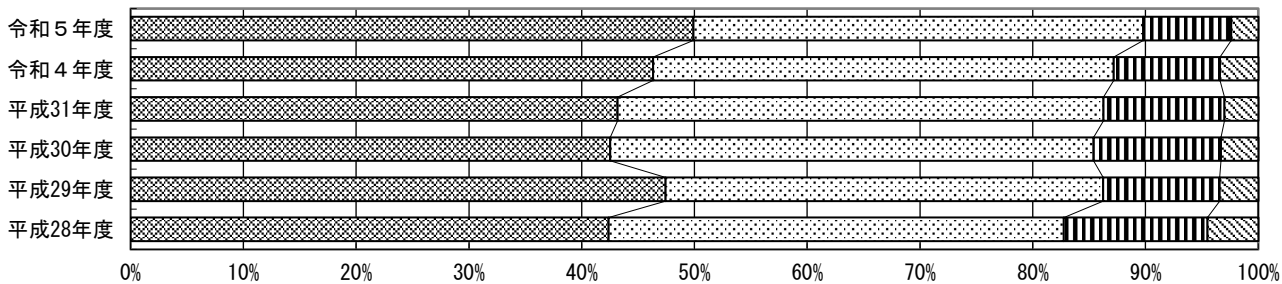
■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない □その他 □無回答



【小学校】全国

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	49.9	39.9	7.8	2.4		
令和4年度	46.3	40.8	9.4	3.4		
平成31年度	43.1	43.0	10.7	3.0		
平成30年度	42.5	42.8	11.3	3.3		
平成29年度	47.3	38.7	10.3	3.4		
平成28年度	42.3	40.3	12.7	4.5		

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない □その他 □無回答

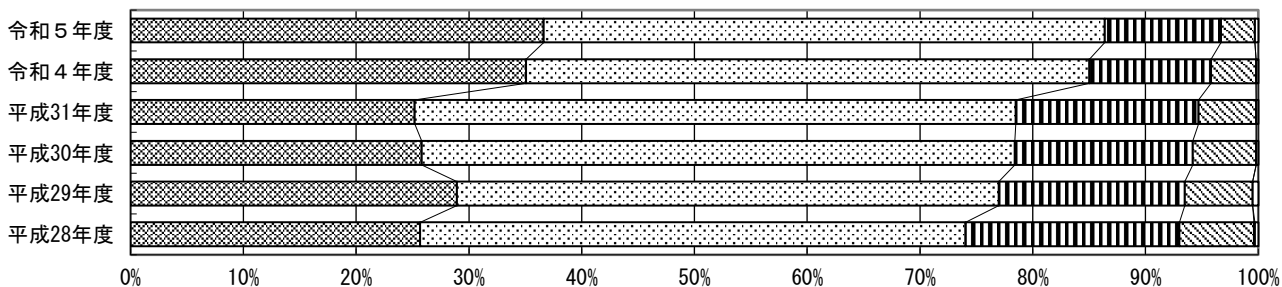


○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

【中学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	36.6	49.7	10.3	3.0	0.0	0.3
令和4年度	35.1	50.0	10.8	4.0	0.0	0.2
平成31年度	25.2	53.3	16.2	5.1	0.0	0.2
平成30年度	25.8	52.6	15.8	5.6	0.0	0.2
平成29年度	28.9	48.0	16.5	6.0	0.0	0.5
平成28年度	25.7	48.4	19.0	6.6	0.1	0.3

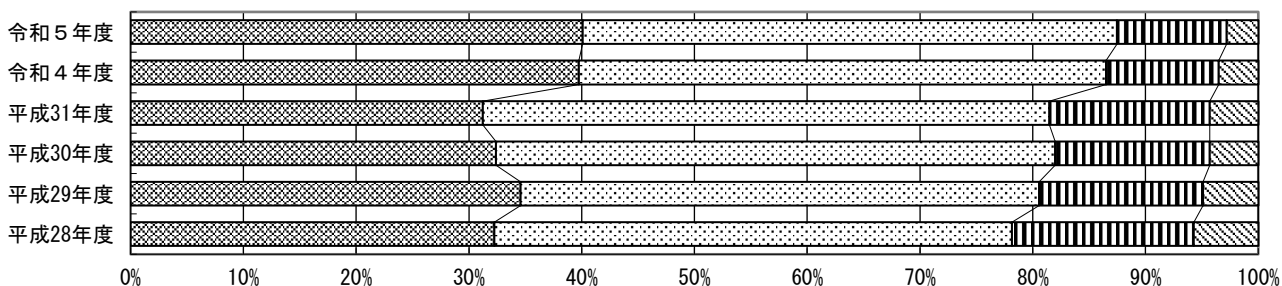
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



【中学校】全国

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	40.0	47.3	9.7	2.8		
令和4年度	39.7	46.7	10.0	3.5		
平成31年度	31.2	50.2	14.2	4.3		
平成30年度	32.4	49.6	13.7	4.3		
平成29年度	34.5	45.9	14.5	4.9		
平成28年度	32.2	45.8	16.1	5.7		

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答

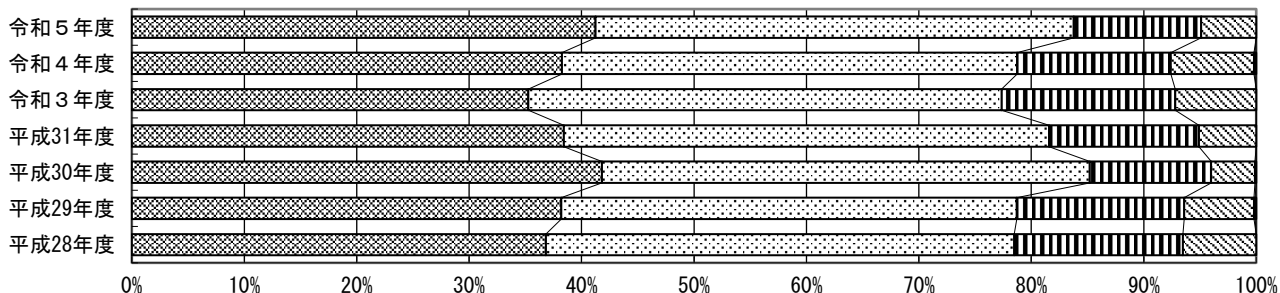


○自分には、よいところがあると思いますか。

【小学校】滋賀県

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	41.2	42.5	11.3	4.9	0.0	0.0
令和4年度	38.3	40.5	13.7	7.4	0.1	0.1
令和3年度	35.2	42.0	15.4	7.2	0.0	0.0
平成31年度	38.4	43.1	13.3	5.1	0.0	0.0
平成30年度	41.8	43.4	10.8	3.9	0.1	0.0
平成29年度	38.2	40.5	14.9	6.2	0.1	0.1
平成28年度	36.8	41.6	15.0	6.5	0.0	0.0

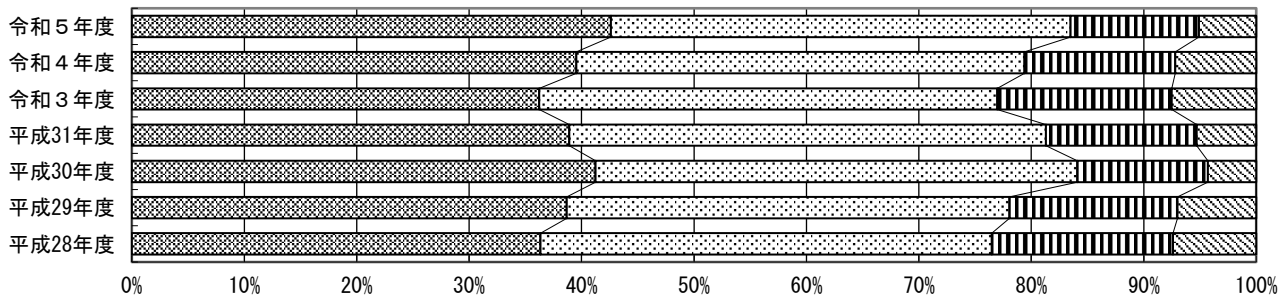
■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない ■その他 □無回答



【小学校】全国

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	42.6	40.9	11.4	5.1		
令和4年度	39.5	39.8	13.4	7.2		
令和3年度	36.2	40.7	15.5	7.5		
平成31年度	38.9	42.4	13.4	5.3		
平成30年度	41.2	42.8	11.6	4.3		
平成29年度	38.6	39.3	14.9	7.0		
平成28年度	36.3	40.1	16.1	7.4		

■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない ■その他 □無回答

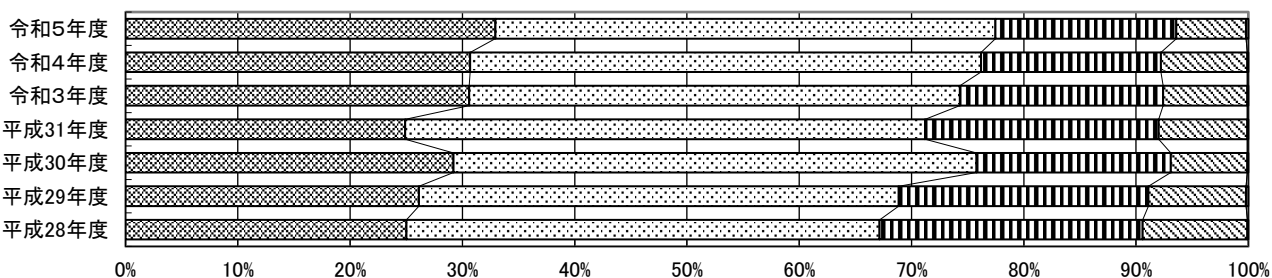


○自分には、よいところがあると思いますか。

【中学校】 滋賀県

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	32.9	44.5	16.1	6.2	0.0	0.2
令和4年度	30.7	45.5	16.0	7.7	0.0	0.1
令和3年度	30.6	43.7	18.1	7.5	0.0	0.1
平成31年度	24.9	46.3	20.8	7.9	0.0	0.1
平成30年度	29.2	46.6	17.3	6.8	0.0	0.1
平成29年度	26.1	42.7	22.2	8.7	0.0	0.2
平成28年度	25.0	42.1	23.4	9.3	0.0	0.1

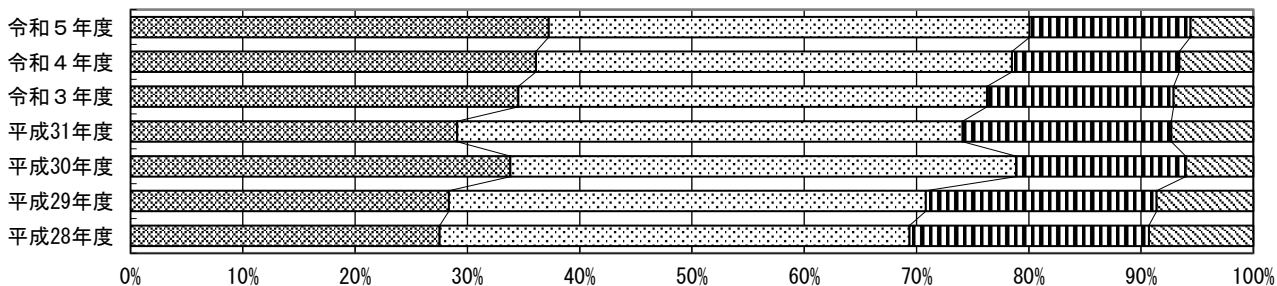
□1.当てはまる □2.どちらかといえば、当てはまる □3.どちらかといえば、当てはまらない □4.当てはまらない □その他 □無回答



【中学校】 全国

選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
令和5年度	37.2	42.8	14.3	5.6		
令和4年度	36.1	42.4	14.9	6.6		
令和3年度	34.5	41.7	16.6	7.1		
平成31年度	29.1	45.0	18.6	7.3		
平成30年度	33.8	45.0	15.1	6.0		
平成29年度	28.3	42.4	20.5	8.6		
平成28年度	27.5	41.8	21.3	9.3		

□1.当てはまる □2.どちらかといえば、当てはまる □3.どちらかといえば、当てはまらない □4.当てはまらない □その他 □無回答



(4) 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在との比較（児童生徒質問紙）

児童生徒質問紙の項目から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が考えられる項目を抽出し、選択肢の中から肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「よく行った」、「どちらかといえば行った」等）を選択した割合（％）を示した。

○自分自身に関すること

質問項目	校種		H31(R1)調査	R4調査	R5調査	H31(R1)との比較
自分には、よいところがあると思いますか。	小	本県	81.5	78.8	83.7	+2.2
		全国	81.2	79.3	83.5	+2.3
	中	本県	71.2	76.2	77.4	+6.2
		全国	74.1	78.5	80.0	+5.9
将来の夢や目標を持っていますか。	小	本県	82.5	77.4	79.7	-2.8
		全国	83.8	79.8	81.5	-2.3
	中	本県	66.2	64.1	63.3	-2.9
		全国	70.5	67.3	66.3	-4.2
人が困っているときは、進んで助けていますか。	小	本県	87.5	89.0	92.1	+4.6
		全国	87.9	88.9	91.6	+3.7
	中	本県	83.7	87.1	87.0	+3.3
		全国	85.9	88.4	88.1	+2.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	小	本県	95.6	95.6	96.4	+0.8
		全国	95.2	95.1	95.9	+0.7
	中	本県	93.9	94.8	94.7	+0.8
		全国	94.3	95.0	94.6	+0.3

○学校生活に関すること

質問項目	校種		H31(R1)調査	R4調査	R5調査	H31(R1)との比較
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	小	本県	84.0	86.4	89.4	+5.4
		全国	86.1	87.1	89.8	+3.7
	中	本県	78.5	85.1	86.3	+7.8
		全国	81.5	86.6	87.3	+5.8
学校に行くのは楽しいと思いますか。	小	本県	86.0	86.0	85.7	-0.3
		全国	85.8	85.4	85.3	-0.5
	中	本県	81.7	82.3	81.2	-0.5
		全国	81.9	82.9	81.8	-0.1
5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 *週1回以上と回答した割合	小	本県	33.2	82.0	85.1	+51.9
		全国	30.6	83.2	86.3	+55.7
	中	本県	37.3	80.3	86.8	+49.5
		全国	30.6	80.6	87.5	+56.9

○家庭、地域での生活に関すること

質問項目	校種		H31(R1)調査	R4調査	R5調査	H31(R1)との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	小	本県	71.2	70.5	70.6	-0.6
		全国	71.5	71.1	70.7	-0.8
	中	本県	49.4	58.1	53.3	+3.9
		全国	50.4	58.5	55.0	+4.6
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 *1時間以上と回答した割合	小	本県	64.9	55.9	54.2	-10.7
		全国	66.1	59.4	57.1	-9.0
	中	本県	66.4	65.8	62.5	-3.9
		全国	69.8	69.5	65.8	-4.0
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 *30分以上と回答した割合	小	本県	37.1	34.7	36.3	-0.8
		全国	39.8	36.4	37.3	-2.5
	中	本県	22.3	24.1	24.7	+2.4
		全国	27.0	27.3	28.4	+1.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	小	本県	77.2	63.6	67.5	-9.7
		全国	68.0	52.7	57.8	-10.2
	中	本県	58.7	49.1	43.5	-15.2
		全国	50.6	40.0	38.0	-12.6

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果 課題の改善に向けた取組の重点

1 調査結果を踏まえた今後の取組について	1
2 「課題の改善に向けた取組の重点」の活用	2
3 問題別調査結果【小学校 国語】	3
4 問題別調査結果【小学校 算数】	5
5 問題別調査結果【中学校 国語】	7
6 問題別調査結果【中学校 数学】	9
7 問題別調査結果【中学校 英語(聞くこと、読むこと、書くこと)】	11
8 分析資料の活用方法(S-P表・学力層分析)	13

令和5年8月7日

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

調査結果を踏まえた今後の取組について

各学校において、全国学力・学習状況調査の結果を分析することで、子ども一人ひとりの学びの状況をしっかりと把握し、各学校の課題に応じた取組を進めていただくことが重要です。

子どもたちの「分かった」「できた」という喜びや達成感につながるよう、共に取り組んでいきましょう。

◆調査結果を踏まえた2学期からの取組

○ 教科における「重点的に指導する内容」の共通実践

・ どの教科においても自分の考えをまとめ、記述することの指導の充実

明らかになった「重点的に指導すべき点」を踏まえて、本冊子でまとめている教科ごとの取組や調査の関連資料等を参考に、共通実践を進めます。

○ 各学校における調査結果等の分析

・ 分析資料を活用した課題の焦点化と取組の明確化

「解答状況整理表（S-P表）」や「学力層（四分位）分析グラフ」等の分析資料を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の定着等を含めて各学校の課題を焦点化します。その上で「重点的に指導すべき点」を明らかにし、教職員全体で共通理解を図ります。

・ 「学びのアンケート」等を活用した検証・改善

「学びのアンケート」では、教科ごとの課題の改善に向けた取組に関連した質問を出題しています。この他に「学校評価」の結果等も踏まえ、自校の取組を評価するとともに、子ども一人ひとりの学習状況を把握し、課題解決に向けた取組を継続的に行います。

※「学びの基礎チャレンジ」も御活用いただけるよう、県総合教育センターHPに掲載します。

◆今後も継続して行う取組

○ 基礎・基本の定着のための取組の見直し

子どもたちの基礎・基本の定着を図るためのこれまでの取組について見直し、共通実践していきましょう。

○ 「読み解く力」の視点を踏まえた授業の充実

子ども一人ひとりが学びの成果を実感し、学んだことや意欲、問題意識等を次の授業につなげられるよう、授業の時間内に「まとめ」や「適用問題」、「振り返り」の時間をしっかりと確保し、それらの質的な改善に取り組ましましょう。また、自分の考えをまとめ、記述することの指導を大切にしていきましょう。

○ 家庭学習や読書活動の充実

子どもたちへの家庭学習の課題の出し方等について、学校全体で共通理解して取り組んでいきましょう。そして、子どもたちに、家庭学習の取り組み方について具体的に伝えていましょう。また、家庭等においても、読書に取り組めるように支援していきましょう。

「課題の改善に向けた取組の重点」の活用

① 分析資料等を活用し、課題を焦点化する。

・「調査結果概況」「問題別調査結果」だけでなく、S-P 表、学力層(四分位)分析グラフ等の分析資料を活用し、学校として大まかな課題ではなく、「重点的に指導すべきと考えられる設問」を絞りこみ、課題をできるだけ焦点化します。

② 「重点的に指導すべき点」を明らかにする。

・焦点化した課題について、「この設問を解くためには、どのような力が必要か」「その力を付けるためには、どのような指導が適切か」等を考え、「重点的に指導すべき点」を明らかにします。
・平均正答率だけでなく、解答類型等も参考にしながら、誤答の要因を分析します。

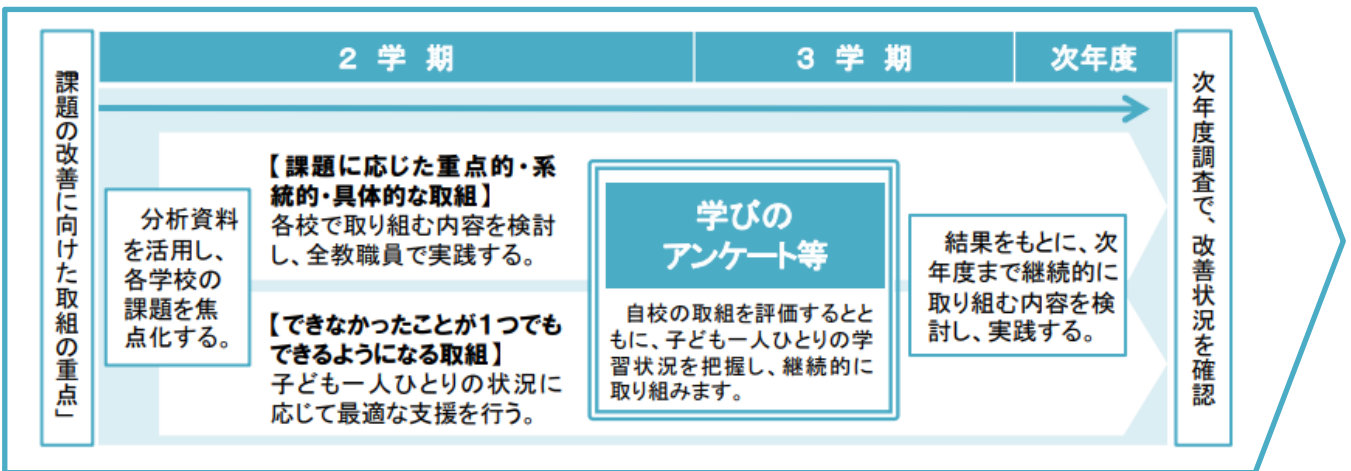
③ 2学期に全教職員で取り組む具体的な内容を検討し、実践する。

・明らかになった「重点的に指導すべき点」を基に、全教職員が各自の授業実践で取り組むことを出し合いながら、協議をします。学校や学年で統一して取り組む内容は、できるだけ焦点化・具体化を図り、全職員が日常的に実践できるようにします。

④ 取組を定期的に検証・改善する。

・短時間でも、取組について各自が振り返る時間を設定し、成果や課題、効果を実感した取組、実践上の悩み等を共有し、明日からの実践につなげます。

■ 「課題の改善に向けた取組の重点」に係るスケジュール



■ 本資料の他に参考にしていただきたい資料

関連資料 (県教育委員会作成)

調査結果の概要

本県の調査結果の概要(成果・課題)をまとめています。



調査問題の分析

「読み解く力」に関連する問題等について分析しています。



・ガッテン!!プリント ・「読み解く力」対応 学習プリント

課題の改善につながる補充学習プリントです。

※ダウンロードには、各学校園に配布されているIDとパスワードが必要です。



関連資料 (国立教育政策研究所作成)

国立教育政策研究所作成の以下の資料も参考にしてください。

- ◆ 調査問題・正答例・解説資料
- ◆ 報告書【速報版】・調査結果資料
- ◆ 授業アイデア例一覧(報告書に掲載)



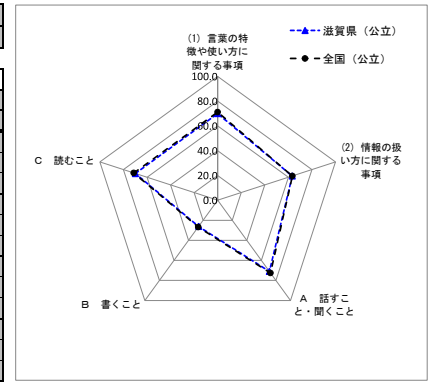
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立）	全国（公立）	対象児童数	滋賀県（公立）	全国（公立）
	222	18,618		12,596	964,177

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体					
		14	66	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	5	70.0	71.2
		(2) 情報の扱い方に關する事項	2	63.3	63.4
		(3) 我が国の言語文化に關する事項	0		
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	71.0	72.6
		B 書くこと	1	26.1	26.7
		C 読むこと	3	69.9	71.2
評価の観点	知識・技能	7	68.1	68.9	
	思考・判断・表現	7	64.1	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	73.0	73.6	
	短答式	2	60.4	62.7	
	記述式	3	49.3	51.1	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)				
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					選択式	短答式	記述式	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと									
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	5・6 ア					○			64.4	64.7	1.9	1.8			
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6 エ	○			26.1	26.7	8.2	7.1			
1三 (1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（いがい）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 エ					○			47.8	52.8	4.2	4.8			
1三 (1)ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す（きかん）		5・6 エ					○			72.9	72.6	5.6	6.7			
1三 (2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する（くらべて）	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 ウ					○			92.6	93.1	1.0	1.0			
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	5・6 カ					○			79.1	79.8	2.3	2.0			
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる						3・4 ウ	○		90.0	90.0	1.4	1.2			
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる						5・6 ウ	○		65.1	67.4	1.5	1.4			
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したのとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6 イ					○			62.3	62.0	1.7	1.6			
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる						5・6 オ	○		54.5	56.2	9.4	8.5			
3一 (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア（～ということだと思いますが、合っていますか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる						3・4 エ	○		73.2	73.6	4.0	3.7			
3一 (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ（～というのは、どのような姿ですか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する		3・4 エ					○			72.6	74.0	4.4	4.1			
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	5・6 エ					○			67.2	70.2	16.0	14.3			
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	5・6 キ					○			57.5	57.6	12.0	9.5			

【小学校 国語】調査問題の結果から

■ 顕著な課題がみられた設問

- ・ ①「複数の資料を読んで分かったことをもとに、米作りの問題点と解決方法を書く」設問の正答率は26.1%（全国比-0.6）であり、無解答率は8.2%（全国比+1.1）である。「自分の考えが伝わるようにグラフなどを用いて、書き表し方を工夫した文章を書くこと」に課題が見られる。→取組①
- ・ ③「話し手がどんな思いでボランティアを続けているかについて、分かったことをまとめて書く」設問の正答率は67.2%（全国比-3.0）であり、無解答率は16.0%（全国比+1.7）である。「インタビューの様子から話し手の思いを捉え、分かったことをもとに自分の考えをまとめること」に課題が見られる。→取組②

課題の改善に向けた取組①

①二

自分の考えを分かりやすく伝えるためには、図表やグラフなどを用いるなど、書き表し方の工夫を児童が理解し、使うことができるような学習活動を設ける。

○ 学習指導に当たって（取組の例）

- ・ モデルとなる複数の文章等を比較して、書き表し方の工夫について話し合う学習活動を設定し、図表やグラフなどを用いると、自分にとって考えを深めやすく、相手にとっても理解しやすいものとなることを実感できるようにする。また、話し合い、整理したことを、文章を見直す際の観点として、交流の場面や自分自身の振り返りに生かす。
- ・ 文章を記述する場面では、児童の学習状況に応じて、友達と交流しながら、児童自身が自分の文章を何度も見直したり、書き直したりできる機会を設ける。

一人ひとりが自分の目的や意図に応じて書き表す方法を学ぶことができるポイント



- ① 書く前に自分の目的や意図を明確にもつように指導する。
 - ➡ その児童にとって、どのような文章の種類と特徴がぴったりののか、モデルとなる文章を提示すると、書き表し方の工夫につながる。
- ② 各情報の内容をどのように捉え、その情報をどのように関連付けたり整理したりするのかについて指導する。
 - ➡ 必要な情報に印をつけたり、情報と情報を矢印でつないだり、表にまとめたりすると、情報と情報との関係を視覚的に捉えることができるようになる。

課題の改善に向けた取組②

③二

目的や意図に応じ、話の内容を捉えて、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめ、表現する学習活動を充実させる。

○ 学習指導に当たって（取組の例）

- ・ 調査問題を教材として活用し、児童が考えのまとめ方に着目して友達と話し合うことで、まとめ方のよい点や工夫に気付くことができるようにする。



二人の共通する思いに着目して分かったところをまとめているところがいいよね。



最初にもった自分の考えと比べて、どのように変化したかを伝えているのいいね。



二人の思いを区別してまとめるのもいいね。

【児童が考えのまとめ方のよい点を整理した例】➡

自分の考えをまとめるとき
○相手の考えと自分の考えを比べて似ているところやちがうところを整理する。
○「確かに」と思ったことや「なるほど」と思った事例を取り上げる。

- ・ まとめた内容を確かにするため、話し手の内容と再度照らし合わせ、確認する取組を入れ、表現活動につなげる。

・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

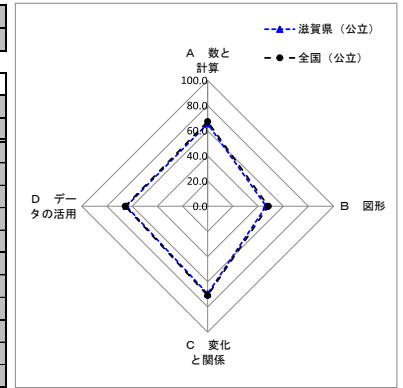
集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象児童数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	222	18,615		12,604	964,350

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			滋賀県(公立)	全国(公立)
全体				
学習指導要領の領域				
	A 数と計算	6	65.5	67.3
	B 図形	4	46.4	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	69.6	70.9
	D データの活用	3	64.6	65.5
評価の観点				
	知識・技能	9	65.5	67.2
	思考・判断・表現	7	55.0	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式				
	選択式	5	55.8	57.7
	短答式	7	73.2	74.7
	記述式	4	45.8	47.3

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	滋賀県(公立)	全国(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)
1(1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	併って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4(1) 7(7)	○				○		92.9	93.5	0.9	0.8	
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	併って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5(1) 4(7)	○				○		87.4	88.5	1.0	1.0	
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	併って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5(1) 4(7) 5(2) 4(7)	○				○		52.6	55.5	3.3	3.4	
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3(3) 7(7)				○				○		79.1	80.8	1.3	1.2	
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		4(1) 7(4)			○			○			55.6	59.8	0.7	0.7	
2(2)	テープを折ったり切ったりしてきた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		2(1) 7(4) 4(1) 7(7)			○				○		86.1	87.2	3.2	2.9	
2(3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		3(1) 7(7) 4(1) 7(4)			○				○		22.2	24.9	3.8	3.7	
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだだけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる		5(3) 4(7)			○				○		21.9	20.8	4.0	4.0	
3(1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる		4(6) 4(7)			○			○			68.6	70.3	1.4	1.4	
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる	3(5) 7(7) 7(4) 4(4) 7(3) 4(7)				○				○		54.6	56.7	3.8	4.0	
3(3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる	4(6) 7(7) 4(7) 7(7)				○				○		69.0	72.4	2.4	2.5	
3(4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる	3(4) 7(7) 4(3) 7(7)				○			○			45.8	47.6	4.2	3.9	
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる		5(3) 7(4)			○				○		45.4	46.0	2.4	2.4	
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	4(2) 7(4)			3(1) 7(7)	○				○		75.9	75.7	4.6	4.3	
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる		5(1) 7(4) 4(7)			○				○		54.2	56.2	15.3	13.8	
4(4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる		4(1) 7(7)			○				○		63.7	64.6	5.4	4.9	

【小学校 算数】調査問題の結果から

■ 顕著な課題がみられた設問

- ・ [2] (4) 「テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く」問題の正答率は21.9%（全国比+1.1）である。「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」に課題がみられる。→取組①
- ・ [3] (2) 「3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する」問題の正答率は54.6%（全国比-2.1）である。「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断すること」に課題がみられる。→取組②

課題の改善に向けた取組①

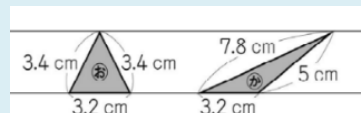
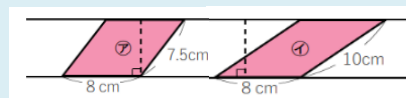
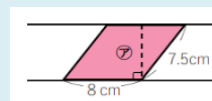
図形

[2] (4)

「底辺と高さの関係に着目し、図形の面積の求め方から面積の大小を判断することができるような学習活動を充実させる。」

○学習指導に当たって（取組の例）

1. テープの上下の直線を平行な2直線とみなしてつくった平行四辺形や三角形の面積を求める際、直線上にある辺を底辺としたとき、どこが高さの部分にあたるのかを考える。「高さ」は底辺に対して垂直であることから、7.5cmや3.4cmの辺が高さでないことを説明する場面を設定する。
2. 平行な2直線にはさまれた底辺が等しい、二つの平行四辺形や、二つの三角形において、高さにあたる長さが分からない図形の面積の大小を判断することができるかを考える。公式を基に、その理由を底辺と高さの長さがそれぞれ等しいから面積が等しいということを表現（記述）し、説明できることが大切である。



課題の改善に向けた取組②

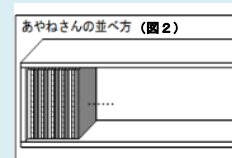
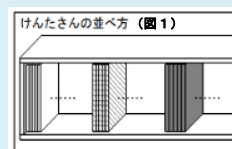
数と計算

[3] (2)

「数量の関係を捉え、問題の解決に式を用いること」ができるような学習活動を充実させる。

○学習指導に当たって（取組の例）

1. 3種類のファイル23人分を並べるとすると、どのような並べ方があるかを考える。
2. 二通りの並べ方を示す。けんたさんの並べ方（図1）を解釈し、3種類のファイルごとに23人分の長さを求める式を考える。次に、あやねさんの並べ方（図2）を解釈し、3種類のファイルの長さを合計した一人分のファイルの長さから、23人分の長さを求める式を考える。それぞれどのような式に表現（記述）したのかを数量の関係を捉えて説明できるようにすることが大切である。
3. 発展的な活動として、立式した二つの式を見比べて、 $\times 23$ が三つあることから、（ ）を用いた式に表すことができるといった分配法則を見いだすことが考えられる。



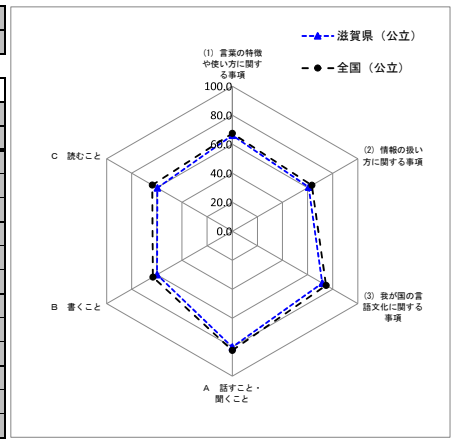
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	対象生徒数	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
	102	9,336		11,866	892,738

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			滋賀県 (公立)	全国 (公立)	
全体					
		15	67	69.8	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	66.2	67.5
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	60.9	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	71.7	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	79.9	82.2
B 書くこと		2	59.9	63.2	
C 読むこと		4	59.7	63.7	
評価の観点	知識・技能	7	67.0	69.4	
	思考・判断・表現	9	66.5	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	7	71.5	73.1	
	短答式	4	62.7	65.6	
	記述式	4	63.2	68.0	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率 (%)		無解答率 (%)	
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					滋賀県 (公立)	全国 (公立)	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと						
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる				1 ア					86.6	87.5	0.1	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1 ア							64.9	65.1	0.2	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる				1 エ					75.0	76.6	0.3	0.2
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1 エ					78.2	82.5	14.7	10.8
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1 ウ								89.9	91.1	0.3	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる					2 エ				59.6	63.0	0.6	0.4
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる					1 ア				71.6	74.2	0.5	0.3
2四	自分がこれからどのように本を読みたいかについて、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を参考にしながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる			2 エ			2 オ			63.9	67.5	6.0	3.9
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる						1 エ			52.9	54.3	1.0	0.6
3二	漢字を書く (おし量って)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2 ウ								42.4	43.9	11.8	10.7
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2 ア							56.9	61.8	3.1	2.1
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる						1 ウ			67.0	72.1	14.9	10.2
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す (いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる				1 ア					80.2	82.5	4.9	3.6
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す (いと)	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる			2 イ						71.1	74.1	6.5	4.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1 エ			43.7	50.0	27.2	20.7

【中学校 国語】調査問題の結果から

■顕著な課題がみられた設問

- ・ ③四の『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く」設問の正答率は67.0%（全国比-5.1）であり、無解答率は14.9%（全国比+4.7）である。「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」に課題がみられる。→取組①
- ・ ④三の「現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く」設問の正答率は43.7%（全国比-6.3）であり、無解答率は27.2%（全国比+6.5）である。「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること」に課題がみられる。→取組②

課題の改善に向けた取組①

③四

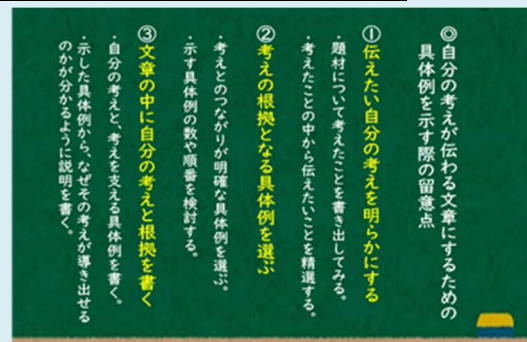
自分の考えが伝わる文章になるように、根拠として取り上げる事例の検討や効果的な記述の仕方の指導を工夫する。

○学習指導に当たって（取組の例）

- ・ レポートなど、調べたことや事実を基に考えたことを書く単元の前半に、根拠を明確にして書かれた文章*を読み、その工夫と効果に気付く学習活動を取り入れる。

※ 調査問題のレポート例や教科書の既習の文章、指導者作成のモデル作品等

- ・ 考えを支える根拠として具体例を示す際に、どのような点に気を付けるべきか、実際に文章を書いたり、友だちと互いに読み合ったりして気付いたことを整理する。整理したことを相互評価や各自の振り返りの観点として生かす。



交流をして気付いたことをまとめた板書の例

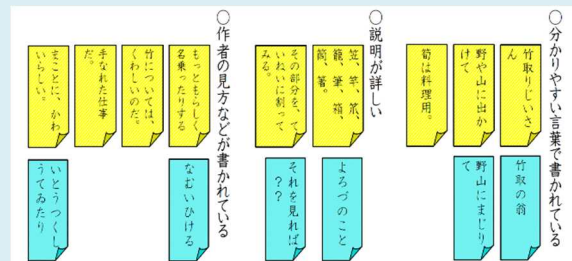
課題の改善に向けた取組②

④三

「読むこと」を通して古典作品の楽しみ方が理解できるように、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考え、表現する学習活動を設定する。

○学習指導に当たって（取組の例）

- ・ 古典作品の現代語訳や古典について解説した文章などを原文と読み比べ、面白さや工夫されている点について、叙述を具体的に取り上げ、それを根拠としてペアやグループで説明し合う学習活動を行う。



叙述を記した付箋を観点ごとに整理した例

- ・ 学校図書館などを利用して、生徒自身が古典作品をさらに楽しむための本*¹などを手に取る機会を設け、紹介し合う学習活動*²を行う。

※¹ 古典の易しい現代語訳や古典について解説した文章、絵本、漫画、映像メディア

※² 本の紹介文を書く、読書ポスターを作る、ビブリオバトルなど

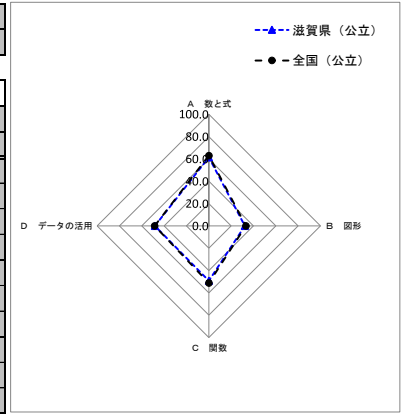
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	102	9,337		11,896	893,114

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			滋賀県(公立)	全国(公立)	
全体			15	50	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	61.4	63.0	
	B 図形	3	32.3	33.2	
	C 関数	4	49.2	51.2	
	D データの活用	3	48.3	48.5	
評価の観点	知識・技能	10	55.1	55.7	
	思考・判断・表現	5	38.9	41.6	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	45.1	45.3	
	短答式	6	61.8	62.6	
	記述式	5	38.9	41.6	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	滋賀県(公立)	全国(公立)
1	1, 5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1(1) ア(7)				○		○			43.9	46.1	0.2	0.1
2	12(x/4 + y/6)を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2(1) ア(7)				○		○			79.3	80.5	5.4	4.0
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる			1(2) ア(7)		○		○			31.8	30.4	0.8	0.8
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			1(1) ア(4)		○		○			44.0	42.8	0.6	0.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア(7)	○		○			51.4	46.1	11.1	11.0
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1(1) ア(7)				○		○			87.8	88.9	3.5	2.4
6(2)	はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成させる	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○		○			56.8	58.8	15.1	10.6
6(3)	はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○		○			39.3	40.9	29.9	24.7
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				2(1) ア(7)	○		○			63.7	65.7	7.0	5.6
7(2)	「2006年～2020年の休業日は、1991年～2005年の休業日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(7)	○		○			29.8	33.6	27.3	22.8
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる				2(1) ア(7) イ(7)	○		○			54.1	57.5	10.7	8.6
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていること的前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) イ(4)	○		○			60.6	61.7	1.4	1.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(4)	○		○			38.3	42.8	16.6	13.2
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる				2(1) イ(7)	○		○			30.4	32.1	29.8	24.7
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる				2(2) ア(4) イ(7)	○		○			34.6	37.0	17.4	14.2

【中学校 数学】調査問題の結果から

■顕著な課題がみられる設問

- ・ ⑥(3) 「はじめの数にける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する」問題の正答率は39.3%（全国比-1.6）である。「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明すること」に課題がみられる。→取組①
- ・ ⑨(2) 「二等辺三角形でない二つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く」問題の正答率は34.6%（全国比-2.4）である。「条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ること」に課題がみられる。→取組②

課題の改善に向けた取組①

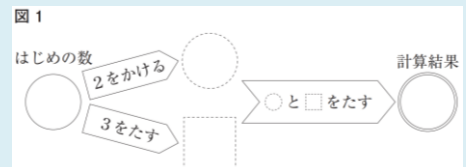
数と式

⑥(3)

結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるように指導する。

○学習指導に当たって（取組の例）

1. 図1において、「はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果は3の倍数になる。」が成り立つことを説明できたことから、かける数「2」は変えずに、たす数「3」を「6」や「4」に変えた場合にどのような数になるかを予想する。その予想が成り立つかどうかを、具体的な数や文字式を用いて考察する。
2. 図1のたす数「3」を「4」に変えると「計算結果は4の倍数になる」と予想した場合について、計算結果を表す「 $3n+4$ 」から、「 $4 \times (\text{整数})$ 」の形に変形できないことから、たす数を「4」に変えると、計算結果が4の倍数にならないことを捉えられるようにすることが大切である。さらに、4の倍数にするためには、「 $3n+4$ 」の「3」を「4」に変えればよいという見通しをもって、 $n \times 2$ と $n+4$ の「 $\times 2$ 」と「 $+4$ 」をそれぞれ幾つにすればよいかを、それまでの問題解決の過程や結果を振り返って考察し、表現（記述）する活動を設定する。



課題の改善に向けた取組②

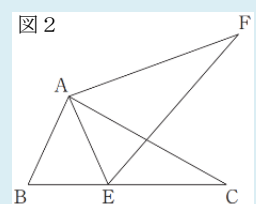
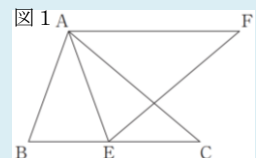
図形

⑨(2)

観察や操作、実験などの活動を通して、図形の性質を見いだすことや統合的・発展的に考察することができるように指導する。

○学習指導に当たって（取組の例）

1. 厚紙で作った二つの合同な二等辺三角形を用いたり、図1をかいたりするなどの具体的な操作を通して、二つの直線(BC, AF)の関係を予想する場面を設定する。
2. 予想した事柄が成り立つことを証明することや、条件を変えた場合（図2）に結論が成り立たなくなる理由を、証明を振り返り、条件を変えた場合にも変わらず成り立つ部分と成り立たなくなる部分を図と対応させながら読み取ることができるようにすることが大切である。
3. さらに、二等辺三角形ではない合同な二つの三角形で平行線をひくための操作の仕方を検討したりするなど、統合的・発展的に考察する活動を設定する。



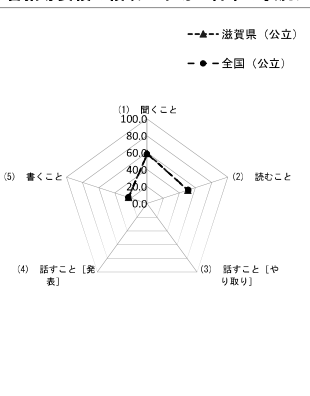
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	102	9,335		11,914	893,528

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			滋賀県(公立)	全国(公立)	
全体			17	46	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	59.1	58.4	
	(2) 読むこと	6	50.5	51.2	
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	23.3	23.4	
評価の観点	知識・技能	9	52.1	51.5	
	思考・判断・表現	8	38.1	38.8	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	54.8	54.8	
	短答式	3	30.6	30.1	
	記述式	2	12.3	13.5	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと [やり取り]	(4) 話すこと [発表]	(5) 書くこと					滋賀県(公立)	全国(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○				82.4	79.0	0.3	0.1
1 (2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○				65.6	64.4	0.3	0.2
1 (3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○				51.1	49.8	0.3	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○				59.6	61.1	0.3	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○				38.8	41.2	0.3	0.2
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○				56.9	54.8	0.5	0.4
5 (1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○				55.8	56.0	0.4	0.3
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○					○				64.9	64.5	0.4	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア					○				34.4	35.9	0.3	0.3
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○				57.3	59.8	0.4	0.3
7 (2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	イ					○				33.8	34.7	0.7	0.7
8 (1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○				57.0	56.1	0.8	0.8
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる				ウ		○				17.4	19.5	34.1	29.3
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○			40.4	40.4	7.9	6.6
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○			21.6	20.9	12.2	10.9
9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○			29.9	29.0	27.9	24.5
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる				イ		○				7.2	7.4	26.5	21.4

【中学校 英語】調査問題の結果から

■顕著な課題がみられた設問

- ・ **8** (2) 「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く」問題の正答率は17.4% (全国比-2.1) であり、無解答率は34.1% (全国比+4.8) である。「読んだことの要点を捉え、自分が考えたことをその理由を交えて正確に書くこと」に課題が見られる。→ **取組①**
- ・ **10** 「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く」問題の正答率は7.2% (全国比-0.2) であり、無解答率は26.5% (全国比+5.1) である。「事実や自分の考えなどを整理し、全体として一貫性のある文章を正確に書く」ことに課題が見られる。→ **取組②**

課題の改善に向けた取組①

8 (2)

読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるようにする。

○学習指導に当たって (取組の例)

書く力を高めるために 目的：英語を書くことに慣れる

- ・ 授業者が与えたトピックについて、生徒は自分の考えを3分程度で書く。
(例：”What is your favorite place at our school? Why? Tell Tom sensei.”)

<中間指導の充実>

- ・ 生徒が書いた内容について、よくある誤り等をICT機器等を使い共有する。授業者は修正すべき点と正しい表現を複数回フィードバックする。

(例：”(誤りの表現を取り上げて) I favorite the gym. Is this OK? Talk in pairs.”)

自分の考えを表現する力を高めるために 目的：自分の考えを正確に書けるようにする

- ・ 本文内容に関する授業者からの問いかけについて、生徒は自分の考えを決められた時間内で書く。(例：”Do you think that curry and rice is a Japanese food? Write your answer with a reason.” 「New Horizon 2 Unit 2」)

ポイント

- ・ 正確なアウトプットをするためには、インプット⇒インテイクを通して、正しい英語表現を定着させることが大切である。デジタル教科書等を活用した本文のリスニング活動や音読活動を繰り返し行い、正しい表現を身に付けることができるようにする。

課題の改善に向けた取組②

10

日常的な話題について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くことができるようにする。

○学習指導に当たって (取組の例)

まとまりのある英文を書くために 目的：考えを整理して書く

- ・ 既習の言語材料を繰り返し使えるよう、同じ話題について複数回書く取組をする。
- ・ 授業者は、内容を広げるため、話題について「Who, What, When, Where, Why, How」を含めて書くこと、その順序を意識することを指導する。(例：思考ツールの活用)
- ・ 話題について、事実や情報と自分の思いや考えを整理し、文章構成(例：主題-根拠や具体-主題の言い換えや要約)を考えながら書く。

ポイント

- ・ 生徒が書きたくなる話題および目的や場面、状況等を設定する。
- ・ 英語で表現することに慣れるため、日頃から継続的に書く活動に取り組み、活用できる語彙や表現、文法事項を増やすことができるよう指導をする。

分析資料の活用方法【S-P表（学校/学級別解答状況整理表）について】

S-P表の概要

S-P（エス・ピー）表とは、全国学力・学習状況調査の結果を、学校や学級単位で、縦と横がそれぞれ児童生徒（S：Student）と設問（P：Problem）の正答数の多い順に並べ替えた表の中に、**S曲線（青）**と**P曲線（赤）**を書き入れたものです。これを活用することにより、平均正答率だけでは把握できない、学校や学級全体の課題の傾向や、個々の児童生徒が理解していない可能性が高い設問を見つけ出すことができます。

S-P表の見方（次ページ「学校/学級別解答状況整理表（S-P表）の見方」参照）

- 表のセルには各設問の解答類型が記入され、誤答の場合には色付きセルで示されています。
- 色付きセル（誤答）は、**S曲線（青）**より左側か右側かによって、次のように色分けされています。
S曲線（青）より左側の誤答は、黄色セル **S曲線（青）より右側の誤答は橙色セル**
- **P曲線（赤）**は、当該学校/学級の正答数を**赤実線**で、全国正答率を**赤点線**で表示しています。

子どもたち一人ひとりの確かな学力を育むための具体的な活用方法

【分析の視点①】 P曲線（赤）に着目

赤実線（当該学校/学級）が、**赤点線（全国）**より上にある設問を確認します。

→ 当該学校/学級の正答率が、全国の正答率よりも低い設問です。特に差の大きい設問は、学校・学年・学級全体として、「重点的に指導すべきと考えられる設問」です。

誤答を分析し、課題を焦点化

「重点的に指導すべきと考えられる設問」を絞りこみ、誤答の内容からどこでつまづいているかに注目し分析することが重要です。実際に全教職員で解いてみることも有効です。

県全体として、全国平均と差が大きい設問については、本冊子でも取り上げていますので、参考にしてください。調査問題の解説資料・報告書も確認します。

【分析の視点②】 セルの色に着目

橙色セル【S曲線（青）より右側の誤答】

→ 当該児童生徒が理解していない可能性が高い設問
= 「**重点的に指導すべきと考えられる設問**」
（一人ひとりの児童生徒に対し、見直し・復習などの指導を行うことが有効と考えられる設問）

長期的な視点で、授業と関連付けた取組を！

橙色セルが多い設問は、学校・学年・学級全体でもう一度指導が必要があると考えられます。

「この設問を解くためには、どのような力が必要か」「その力を付けるためには、どのような指導が適切か」等を考え、「重点的に指導すべき点」を明らかにします。それを基に、全教職員が各自の授業実践で取り組むことを出し合いながら、協議をします。

黄色セル【S曲線（青）より左側の誤答】

→ 当該児童生徒にとって比較的正答が容易だったと考えられる設問
（不注意による誤答や比較的克服が容易なものと想定される設問）

間違った設問にすぐに再チャレンジ！

誤答について、児童生徒が個々に見直し、もう一度同じ問題に取り組みます。調査問題の解説資料から過去の調査の関連する問題に取り組むことも有効です。すぐに取り組むことで、自分の誤答の原因を振り返ることができます。

全体的に黄色セルの多い設問は、誤答の原因を分析し、改善策を検討が必要であると考えられます。

問題番号	1	6	8イ	8ウ	4	3	8ア	2	8エ	7	8オ																																																																																																			
領域等	A	D	D	D	C	C	D	B	D	D	D																																																																																																			
問題の概要	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。	図表から読み取れる情報を元に、問題文の条件を整理し、適切な数値を代入して計算する。																																																																																																			
全国（10代）正答率	96.9	96.6	92.2	92.2	74.2	73.6	73.6	73.3	64.9	55.1	69.7																																																																																																			
正答人数の割合	92.0	92.0	76.0	84.9	72.0	68.0	68.0	64.0	64.0	65.0	62.0																																																																																																			
正答人数	23	23	19	21	18	22	19	22	19	19	12																																																																																																			
学年	級	個人番号コード	氏名記入欄	付記欄	解答類型（「0」は無解答を表す。）																																																																																																									
4	4	10001210			1	1	1	2	2	1	2	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
					黄色セル																				橙色セル																																																																																					

学校／学級別解答状況整理表(S-P表)の見方について

左から右へ、全国正答率の高い順に問題番号を記載

問題番号		2 (1)	3 (2)	2 (3)	3 (1)	1 (1)	4 (1)	1 (2)	4 (3)	4 (2)	2 (2)	1 (3)	5 (1)	3 (3)	5 (2)	
国語		A	じ	A	C	D	B	D	5	B	A	じ	B	C	A	
問題の概要		はじめの数が10のときの計算結果を求める	グラフから、列車のすれ違いが起る地点のA駅からの道のりを求める	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の答えになるかを求める	列車の運行の様子から、出発してから2分経過している時刻を求め、その時刻を答える	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒の割合を求める	与えられた条件から、箱たにわがることを選ぶ	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる進率を求める	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形CEFDがどのような四角形になるかを説明する	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取ったとき、四角形EBDFが平行四辺形となることの証明を完成する	はじめの数を1としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果は1になることを証明する	全校よりも1年生の回答数に比べて、引きの方が多いことが理由として、全校よりも1年生の回答数に比べて、引きの方が多いことを証明する	8社の団体料金を合わせた金額が、A駅からの道のりになることを求める	4駅からの道のり	通常料金を求める	
全国(公立)正答率		59.0	78.7	37.2	68.2	54.3	54.0	41.8	41.0	40.5	35.6	34.8	14.7	12.0	8.2	
正答人数の割合		50.0	88.0	53.0	52.0	34.0	50.0	50.0	27.0	32.0	30.0	25.0	28.0	15.0	4.0	
正答人数		20	17	14	13	10	14	14	5	8	9	9	7	3	1	合計

赤色

P曲線：
問題ごとに、上から数えて当該学校／学級の正答人数の数にあたる所を結んだ線
例) 該当設問の正答人数が「9名」なので、上から9人目のところに横線が引かれる

S曲線(青)より左側の誤答(黄色セル)
→当該児童生徒にとって比較的解答が容易だったと考えられる設問(不注意による誤答や比較的克服が容易なものと想定される設問)

S曲線(青)より右側の誤答(橙色セル)
→当該児童生徒が理解していない可能性が高い設問(一人ひとりの児童生徒に対し、見直し・復習などの指導を行うことが有効と考えられる設問)

上から下へ、正答数の多い順に児童生徒を記載

青色

S曲線：
児童生徒ごとに、左から数えて当該児童生徒の正答数の数にあたる所を結んだ線
例) 当該児童生徒の正答数が「4問」なので、左から4問目のところに縦線が引かれる

全国正答率
※小数点第1位を四捨五入して表示

※数字は解答類型(“0”は無解答)

※色付きセルは誤答(無解答含む)

※線が重なった場合は、以下の順で優先して表示される
縦線：青線 > 赤線 > 赤点線
横線：赤線 > 赤点線 > 青線

当該教科の全国正答率50%以上問題のうち、正答数が2分の1以下だった児童生徒の人数及びその割合(%)

高正答率分析対象	
人数	割合
23	18.1
<	5.1 >
(5.7)

<> 内は都道府県平均との差
() 内は全国(公立)平均との差

分析資料の活用方法（【学力層（四分位）分析グラフ】について）

「学力層（四分位）分析グラフ」の概要

児童生徒を正答数の順に並べ替え、4等分したときの3つの区切りの値が四分位数です。提供された全国の四分位数を基に、児童生徒を4つの学力層（A層～D層）に分けたとき、各学力層の児童生徒数の割合を示したものが「学力層（四分位）分析グラフ」です。

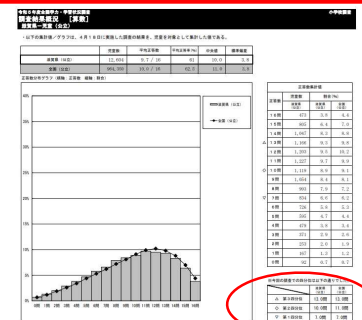
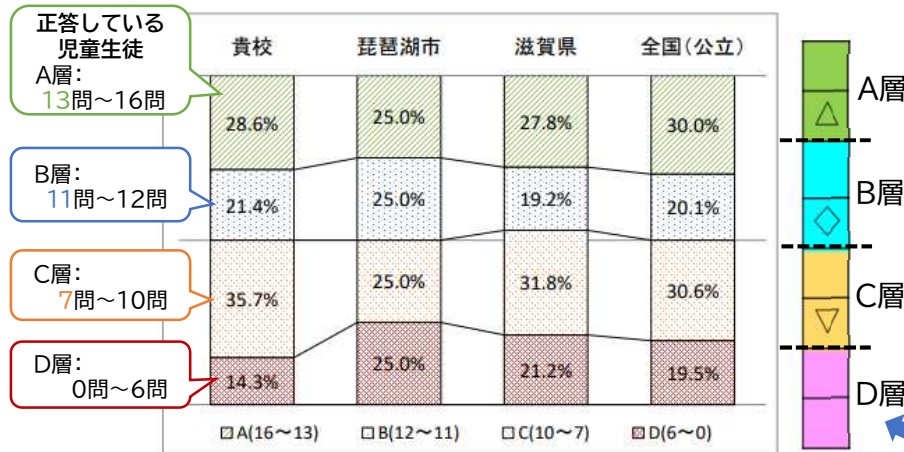
これを活用することにより、集団の現状を客観的に捉え、習熟にあった授業のねらいが焦点化され、手立てを具体化することができます。また、D層（学力低位層）に手だてを講じるだけでよいのかどうか等、習熟度別少人数指導や各学力層の実態に応じた教材・教具の一層の充実を図ることが可能になります。

「学力層（四分位）分析グラフ」等の見方

文部科学省からの提供資料 (例:小学校算数)

例：小学校算数

各集団のグラフ
全国・県・市町・学校ごとの各層の
児童生徒数の割合を示しています。



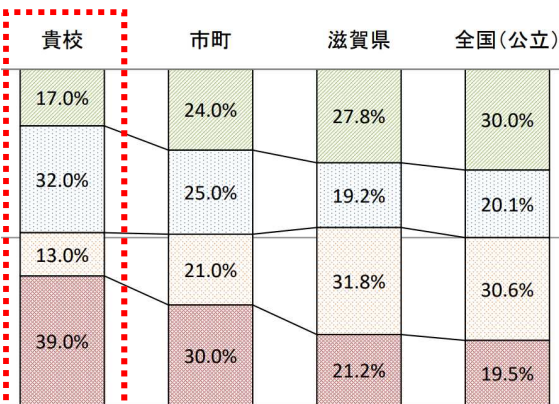
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	滋賀県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問

全国の四分位数に基づいて
児童生徒を4つの層に分ける。

子どもたち一人ひとりの確かな学力を育むための具体的な活用方法

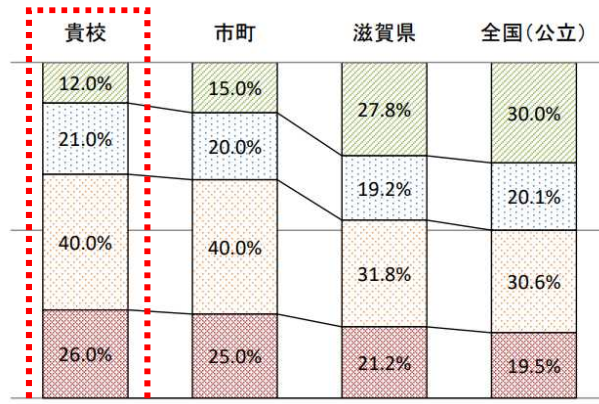
【例1】B層とD層の割合が大きい場合



習熟度別指導の工夫

算数・数学の学習で、習熟の程度の違いを踏まえた学習集団を編成し、D層の子どもがC層に、B層の子どもがA層にステップアップできるよう、学習集団に適した指導を行います。また、習熟の程度に合わせた家庭学習の工夫も併せて行います。

【例2】C層の割合が大きい場合



「まとめ・振り返り」や適用問題の徹底

C層の子どもに焦点を当てた指導を行うことで、C層の子どもがB層にステップアップできるよう支援します。例えば、毎時間の「まとめ・振り返り」を徹底したり、算数・数学の学習で適用問題を必ず行ったりすることで、学習内容の定着を図ることが考えられます。

分析資料の活用方法【学力層分析グラフの作成について①（市町教育委員会用）】

1. 使用するファイルを校種ごとに開きます。

- ・小学校の場合：【小学校用】R5 四分位グラフ作成ファイル【全国・県・市町・貴校との比較】
- ・中学校の場合：【中学校用】R5 四分位グラフ作成ファイル【全国・県・市町・貴校との比較】

2. 市町名を【校種名】入力用シートのI 1のセル（黄色）に入力する。

3. 文部科学省より、市町教育委員会に提供された『令和5年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況〔各教科〕 正答数集計値』より、全国の四分位の正答数に基づいた四分位A B C Dの各層の割合を計算する。

（例）中学校 国語

正答数	生徒数	割合(%)		
		貴校教育委員会	滋賀県(公立)	全国(公立)
15問	50	5.0	6.7	7.3
14問	87	8.7	11.0	12.3
13問	138	13.8	11.9	13.8
12問	138	13.8	11.8	12.9
11問	109	10.9	11.0	11.3
10問	93	9.3	9.1	9.3
9問	70	7.0	8.0	7.5
8問	66	6.6	6.5	6.1
7問	56	5.6	5.8	5.0
6問	55	5.5	5.1	4.1
5問	39	3.9	3.8	3.3
4問	30	3.0	3.2	2.6
3問	25	2.5	2.7	2.0
2問	22	2.2	1.7	1.4
1問	16	1.6	1.2	0.8
0問	5	0.5	0.4	0.3

この値を、それぞれ、
 国語 I2~I5
 算数・数学 P2~P5
 英語 W2~W5
 のセルに入力する。

※四分位A B C D各層のそれぞれの正答数の範囲は、全国の数と同じにする。

全国	四分位A	四分位B	四分位C	四分位D	正答数の範囲〔中学校〕
国語	A (15問~13問)	B (12問~11問)	C (10問~8問)	D (7問~0問)	
数学	A (15問~11問)	B (10問~8問)	C (7問~4問)	D (3問~0問)	
英語	A (17問~11問)	B (10問~7問)	C (6問~4問)	D (3問~0問)	

全国 四分位 A B C D 正答数の範囲〔小学校〕

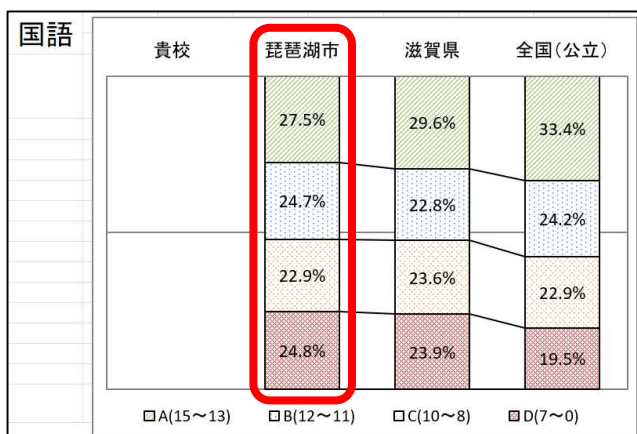
国語 A (14問～12問) B (11問～10問) C (9問～8問) D (7問～0問)

算数 A (16問～13問) B (12問～11問) C (10問～7問) D (6問～0問)

4. A B C D各層の割合を【中】入力用シートの黄色のセル（国語：I 2～I 5, 算数・数学：P 2～P 5, 英語：W 2～W 5）に3教科分をそれぞれ入力する。

	G	H	I	J	K	L
1	国語	貴校	琵琶湖市	滋賀県	全国(公立)	人数
2	A(15～13)		27.5%	29.6%	33.4%	3
3	B(12～11)			22.8%	24.2%	3
4	C(10～8)			23.6%	22.9%	5
5	D(7～0)			23.9%	19.5%	3

5. 【中】印刷用シートに、市町のデータがグラフに反映されているか確認する。



※文部科学省から提供された数値の関係上、各層の割合の合計が100%にならない場合があります。

6. 上記5までのデータを反映させた四分位グラフ作成ファイルを、各学校へ送付する。

分析資料の活用方法【学力層分析グラフの作成について②（学校用）】

1. 「入力用シート」のA7のセルに、学校名を入力する。⇒ア
2. 文部科学省より提供された国語、算数・数学、英語の正答数のデータを「入力用シート」の緑色のセル（B7以降、C7以降、D7以降）に受験者全員分入力する。⇒イ

小学校
 「[13桁の数字]_06 解答・回答状況（児童）[2桁の数字].xlsx」
 （学校番号） （学級番号）

中学校
 「[13桁の数字]_06 解答・回答状況（生徒）[2桁の数字].xlsx」
 （学校番号） （学級番号）

※文部科学省から提供された正答数のデータを収めたファイルは学級（組）ごとに分かれていますので、「入力用シート」には、全学級分を順につなげて入力してください。

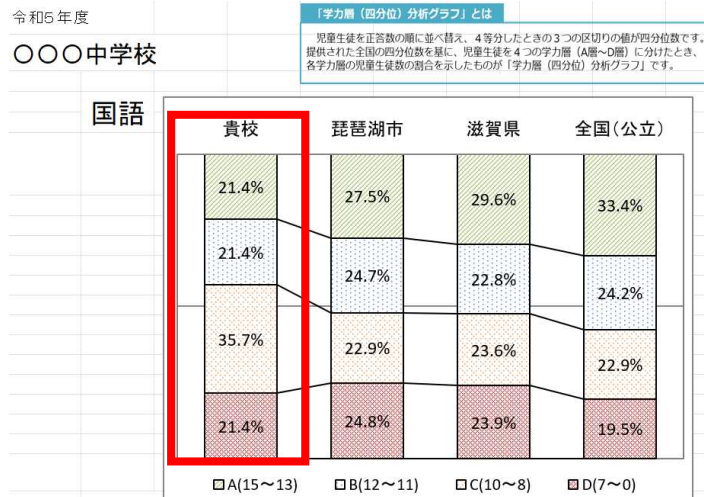
	A	B	C	D	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
1						国語	貴校	琵琶湖市	滋賀県	全国(公立)	人数		数学	貴校	琵琶湖市	滋賀県	全国(公立)	人数		英語	貴校	琵琶湖市
2	学校名	国語	数学	英語		A(15~13)	21.4%	27.5%	29.6%	33.4%	3	A(15~11)	14.3%	25.0%	26.6%	27.4%	2	A(17~11)	21.4%			
3						B(12~11)	21.4%	24.7%	22.8%	24.2%	3	B(10~8)	28.6%	25.0%	22.4%	24.0%	4	B(10~7)	35.7%			
4						C(10~8)	35.7%	22.9%	23.6%	22.9%	5	C(7~4)	42.9%	25.0%	31.5%	31.1%	6	C(6~4)	28.6%			
5						D(7~0)	21.4%	24.8%	23.9%	19.5%	3	D(3~0)	14.3%	25.0%	19.4%	17.5%	2	D(3~0)	14.3%			
6						合計人数					14	合計人数					14					
7	〇〇〇中学校																					
8		11	3	9																		
9		8	4	5																		
10		11	4	3																		
11		8	6	9																		
12		12	6	8																		
13		5	3	11																		
14		10	11	11																		
15		14	11	9																		
16		14	8	13																		
17		13	9	10																		
18		7	10	6																		
19		6	9	6																		
20		9	7	2																		
21		8	6	6																		
22																						
23																						
24																						
25																						

ア
学校名

イ
正答数

貴市町名および、貴市町教育委員会に提供された調査結果概況（〇〇市町一生徒（公立））＜正答数＞のデータをもとに値を手入力してください。（3教科それぞれ）

3. 「印刷用シート」のグラフに、学校のデータが反映されていることを確認する。



令和5年度

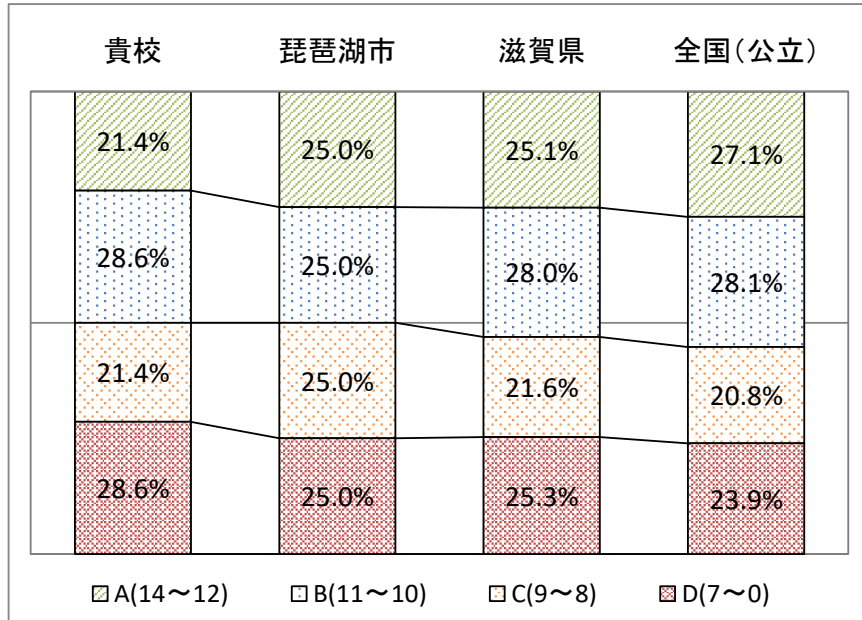
〇〇小学校

完成イメージ

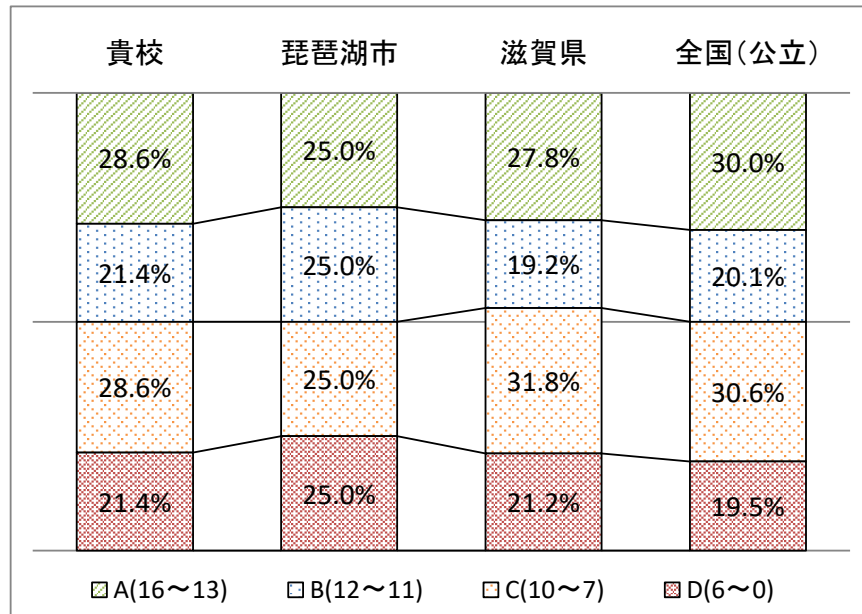
国語

「学力層（四分位）分析グラフ」とは

児童生徒を正答数の順に並べ替え、4等分したときの3つの区切りの値が四分位数です。提供された全国の四分位数を基に、児童生徒を4つの学力層（A層～D層）に分けたとき、各学力層の児童生徒数の割合を示したものが「学力層（四分位）分析グラフ」です。



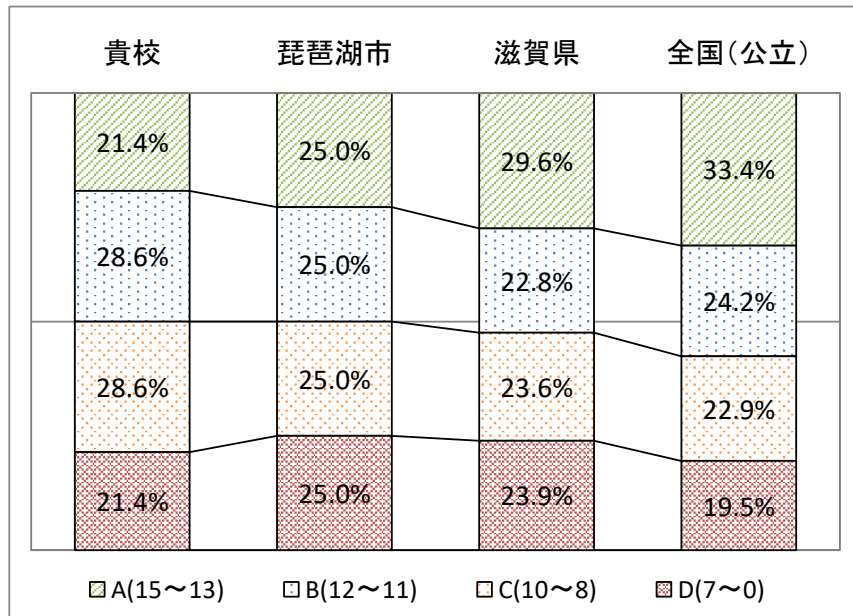
算数



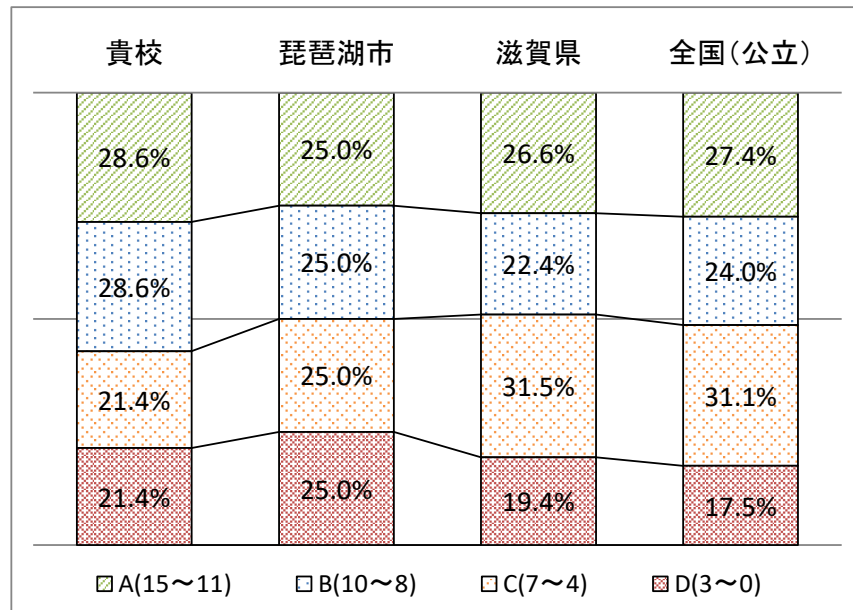
国語

「学力層（四分位）分析グラフ」とは

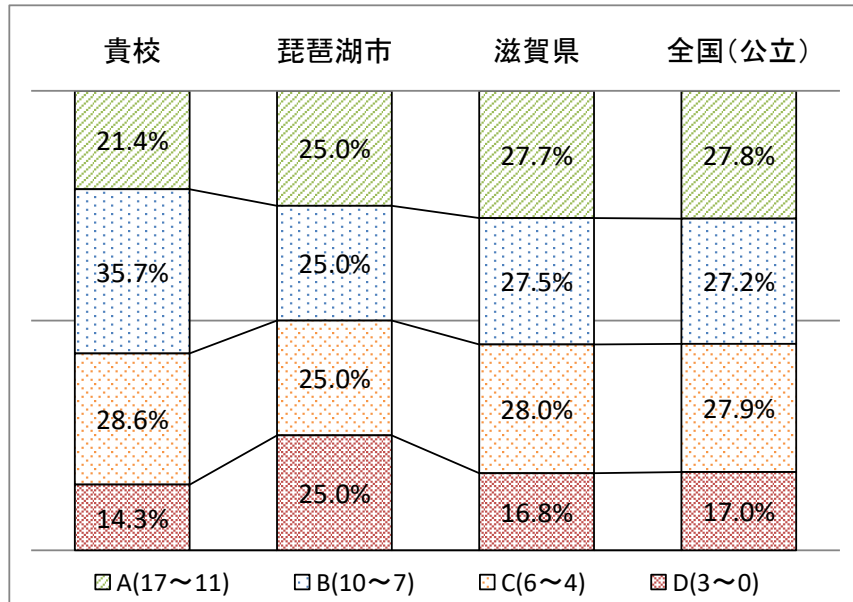
児童生徒を正答数の順に並べ替え、4等分したときの3つの区切りの値が四分位数です。提供された全国の四分位数を基に、児童生徒を4つの学力層（A層～D層）に分けたとき、各学力層の児童生徒数の割合を示したものが「学力層（四分位）分析グラフ」です。



数学



英語



令和5年度
全国学力・学習状況調査の結果
～文部科学省 公表資料より～

・ 調査の結果(文部科学省資料)	1
・ 教科に関する調査の結果【滋賀県：小学校】	37
・ 教科に関する調査の結果【滋賀県：中学校】	41
・ 児童質問紙【滋賀県：小学校】	47
・ 生徒質問紙【滋賀県：中学校】	79
・ 学校質問紙【滋賀県：小学校】	119
・ 学校質問紙【滋賀県：中学校】	165

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

全国学力・学習状況調査の結果

目次

扱い

新聞

令和5年8月1日朝刊

ラジオ・テレビ・インターネット 令和5年7月31日17時



1. 令和5年度全国学力・学習状況調査の実施概要 2



2. 教科に関する調査結果 3

(1) 小学校国語 3

(2) 中学校国語 6

(3) 小学校算数 9

(4) 中学校数学 11

(5) 中学校英語 14



3. 質問紙調査結果（児童生徒、学校） 18

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況 . . . 18

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 18

②個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する状況 21

③カリキュラム・マネジメントに関する取組状況 21

(2) 英語の学習状況 22

①学校における言語活動等の取組状況 22

②英語学習に対する興味・関心や授業の理解度等 25

③授業外における英語学習の取組 27

(3) ICTを活用した学習状況 28

①ICTの活用状況等 28

②個別最適な学び（個に応じた指導）や主体的・対話的で深い学び
におけるICTの活用状況等 30

③ICTの活用を推進するための有効な取組 32

(4) 児童生徒の挑戦心、自己有用感、幸福感等に関する状況 . 33



4. 文部科学省の主な取組一覧 36

1. 令和5年度全国学力・学習状況調査の実施概要

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- **全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析**することによって、**国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析**し、その改善を図る
- **学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等**に役立てる
- そのような取組を通じて、**教育に関する継続的な検証改善サイクル**を確立する

調査概要

◆ **調査日時**：令和5年4月18日（火）

◆ **調査事項**：①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、英語（中学校）〕、質問紙調査
②学校：質問紙調査

◆ **調査対象及び集計対象 児童生徒数・学校数**：

	小学校				中学校			
	調査対象 児童数(※1)	集計対象 児童数(※2)	調査対象 学校数	集計対象 学校数(※2)	調査対象 生徒数(※1)	集計対象 生徒数(※2)	調査対象 学校数	集計対象 学校数(※2)
公立	1,019,859人	964,350人	18,672校	18,619校 (99.7%)	983,778人	893,528人	9,408校	9,339校 (99.3%)
国立	6,396人	6,191人	75校	75校 (100%)	9,968人	9,262人	80校	78校 (97.5%)
私立	13,190人	6,804人	244校	127校 (52.0%)	81,836人	21,191人	799校	285校 (35.7%)
合計	1,039,445人	977,345人	18,991校	18,821校 (99.1%)	1,075,582人	923,981人	10,287校	9,702校 (94.3%)

(※1) 調査対象児童生徒数について、公立及び国立は、調査実施前に学校から申告された児童生徒数、私立は、令和4年度学校基本調査による。調査当日までに増減した可能性がある。

(※2) 集計対象児童生徒数・学校数は、4月18日に調査を実施した数。集計対象児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科（小学校：算数、中学校：英語）の解答用紙の枚数で算出。

◆ 調査問題

- ・ 学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
- ・ 各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。

◆ 今年度の調査の特徴

- ・ 中学校で4年ぶり2度目となる英語の教科調査を実施。
（「話すこと」調査については、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施。）
- ・ 質問紙調査について、学校質問紙は全ての学校で、児童生徒質問紙は約80万人を対象として、オンライン方式により実施。

教科に関する調査結果概要

◆ **全国（国公私）の平均正答数・平均正答率（※1）**

	小学校		中学校			
	国語	算数	国語	数学	英語(※2)	英語 「話すこと」(※2)
令和5年度	9.4/14問 (67.4%)	10.0/16問 (62.7%)	10.5/15問 (70.1%)	7.7/15問 (51.4%)	7.8/17問 (46.1%)	0.6/5問 (12.4%)
【参考】 令和4年度	9.2/14問 (65.8%)	10.1/16問 (63.3%)	9.7/14問 (69.3%)	7.3/14問 (52.0%)	11.9/21問 (56.5%) (※3)	1.5/5問 (30.8%) (※3)

(※1) 各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、**過年度の結果と単純に比較することは適当ではない**ことに留意。

(※2) 中学校英語の調査結果は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計。
英語「話すこと」調査の結果については、文部科学省が当日実施校として指定した一部の中学校（500校）において、4月18日（火）に英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」全ての調査を実施した生徒のうち、1回目で正常に全ての音声データが登録された生徒（499校、41,966人）の結果をもとに平均正答率等の全国値を推定。

(※3) 中学校英語及び英語「話すこと」については、前回実施時（平成31年度）の数値。また、平成31年度の英語「話すこと」は「参考値」として集計。

2. 教科に関する調査結果

(1) 小学校国語

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視した。

- ◇…比較的できている点
- ◆…課題のある点

結果概要

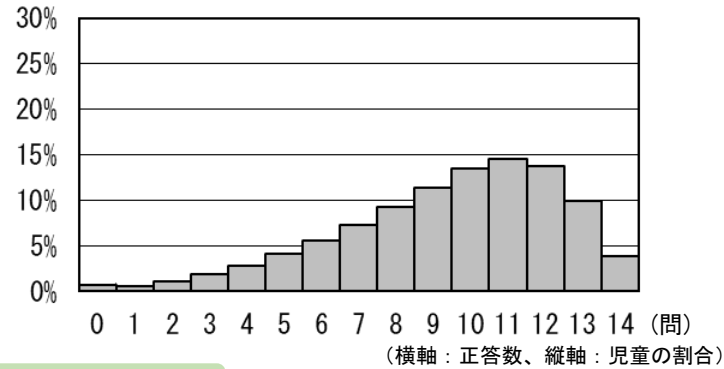
- ◇話や文章の中心となる語や文を捉えることは比較的できている。
- ◆複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均 正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	5 71.3
		情報の扱い方に関する事項	2 63.5
		我が国の言語文化に関する事項	0 —
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3 72.8
		書くこと	1 26.8
		読むこと	3 71.4
評価の観点	知識・技能	7 69.1	
	思考・判断・表現	7 65.6	
問題形式	選択式	9 73.7	
	短答式	2 62.9	
	記述式	3 51.2	

〈小学校国語の児童の正答数分布グラフ〉

平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
9.4問/14問	67.4%	10.0問	2.9問	11問



学習指導要領の内容別の主な特徴と指導改善のポイント

情報の扱い方に関する事項

- ◆情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。

具体的な設問例 (大問2三)

運動面から健康について考えている相田さんが書きこみをした「栄養素の働き」に関するパンフレットを読み、相田さんの情報の整理の仕方として、最も適切なものを選ぶ。

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーの働きになります。

肉や卵などは、主に体をつくるものになります。

筋肉がついたり、けがが治りやすくなります。

野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気にかりにくくなります。

正答率：62.2%

- 1 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。…3.3%
- 2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。…29.6%
- 3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。…3.2%
- 4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

【相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ】の一部

誤答例の分析と課題

「2」を選んだ児童は、相田さんが自分にとって重要な言葉を整理していることを捉えることはできたが、運動と栄養素の働きとを関連付けていることを捉えることができなかつたと考えられる。

指導改善のポイント

情報の関係を様々な方法で整理することで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりできることを実感できるように指導すると効果的である。

「令和5年度【小学校国語】報告書」大問2 授業アイデア例

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23plang_idea_02.pdf#page=13



話すこと・聞くこと

◆必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることはできている。

具体的な設問例 (大問3一(2))

学校ボランティアにインタビューをしている谷さんが、下線部イのように質問した理由を選ぶ。

正答率：74.2%



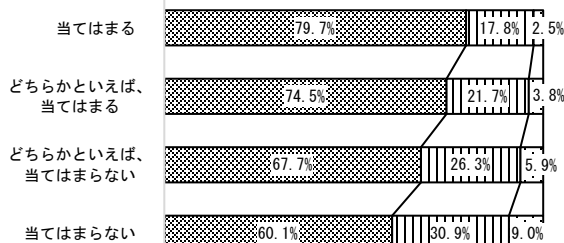
イ すてきな姿というのは、
どのような姿ですか。

- 1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。 …6.9%
- 2 相手の話の内容をより具体的に知るため。
- 3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。 …7.8%
- 4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。 …7.0%

クロス集計

児童質問紙における質問項目「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか」の選択肢ごとの、本設問における児童の解答状況 (%)

■ 正答 □ 誤答 ○ 無解答



この質問に肯定的に答えた児童の方が、大問3一(2)を正答している割合が高い。このことから、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめるなどの学習活動を充実させることが重要であると考えられる。

書くこと

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

具体的な設問例 (大問1二)

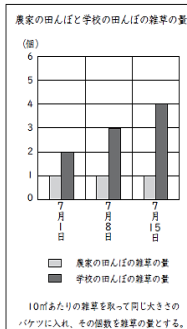
【川村さんの文章】の□に、下の条件に合わせて、学校の米作りの問題点とその解決方法について書く。

正答率：26.8%

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



【川村さんの文章】の一部

〈条件〉

- ・問題点については【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かることを書く。
- ・問題の解決方法は【カード⑤】をもとに書く。
- ・60字以上100字以内で書く。 ※【カード④】【カード⑤】は紙面の都合上省略

〈正答例〉

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

〈誤答例〉

グラフから分かるように、農家も雑草が生えています。このままだと雑草に栄養をとられて米のしゅうかくが減るかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草を取る回数と人数を増やしました。(92字) …19.1%

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、【川村さんの文章】のグラフから分かる「雑草の量が増え続ける」という学校の米作りの問題点を書いていない。他にも【カード④】から分かることを書いていない誤答が18.4%あり、グラフと【カード④】のいずれかの情報しか取り上げていないために誤答となってしまった児童は、あわせて37.5%になる。グラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。

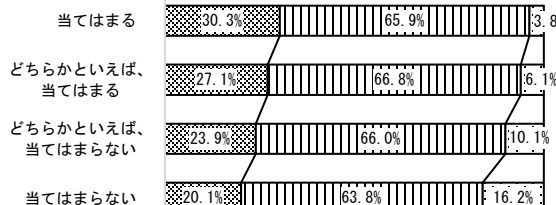
指導改善のポイント

必要に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示することで、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感できるように指導すると効果的である。

クロス集計

児童質問紙における質問項目「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか」の選択肢ごとの、本設問における児童の解答状況（％）

■ 正答 ■ 誤答 □ 無解答



この質問に肯定的に答えた児童の方が、大問1二を正答している割合が高い。このことから、書いた文章の感想や意見を学校の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けるなどの学習活動を充実させることが重要であると考えられる。

「令和5年度【小学校国語】報告書」大問1 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23plang_idea_01.pdf#page=12



読むこと

◇ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したものを選択することはできている。

具体的な設問例 (大問2一)

【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを選ぶ。

私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

【資料1】より抜粋

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

【資料2】より抜粋

正答率：90.1%

- 1 運動の効果や種類
- 2 運動の回数や場所 …1.4%
- 3 運動の場所や種類 …2.7%
- 4 運動の効果や回数 …4.5%

◆ 複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題がある。

具体的な設問例 (大問2四)

【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、下の条件に合わせて、これから自分ができそうなことをまとめて書く。



【資料3】より抜粋

※【資料1】【資料2】は上記の具体的な設問例に掲載

〈条件〉

- ・資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書く。
- ・分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書く。
- ・80字以上100字以内で書く。

〈正答例〉

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手の野菜も食べたりしようと思います。(99字)

〈誤答例〉

好きなものばかり食べると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなるので、バランスよく食べることが大切だと分かりました。だから、わたしは、これからも、お米やお肉や野菜をバランスよく食べていきたいです。(99字) …12.1%

正答率：56.4%

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、運動に関する資料と食事に関する資料の両方に基づいて自分の考えをまとめるという条件があるにも関わらず、食事に関する資料の内容や考えのみ書いており、運動については言及していない。複数の情報を関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕の「情報の整理」の指導事項との関連を図り、児童が日常生活において考えをまとめる際に、単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討するように指導することが大切である。

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視した。

結果概要

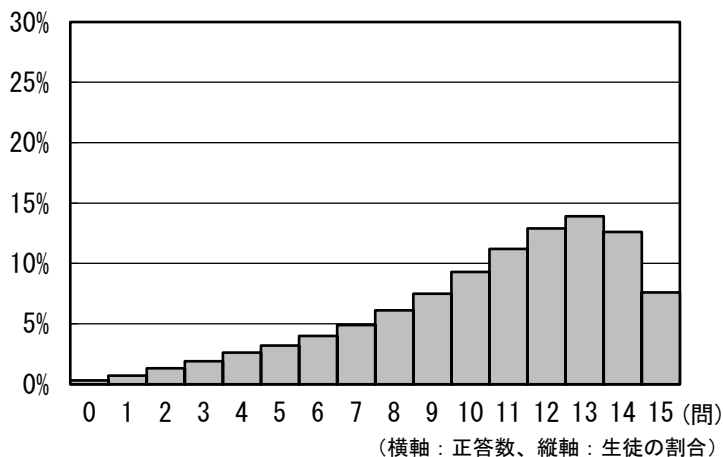
- ◇聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることはできている。
- ◆情報と情報との関係について理解することに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類		区分	対象 問題数 (問)	平均 正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	2	67.9
		情報の扱い方に関する事項	2	63.8
		我が国の言語文化に関する事項	3	74.9
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	82.4
		書くこと	2	63.6
		読むこと	4	64.0
評価の観点		知識・技能	7	69.7
		思考・判断・表現	9	70.1
問題形式		選択式	7	73.4
		短答式	4	66.0
		記述式	4	68.4

〈中学校国語の生徒の正答数分布グラフ〉

平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
10.5問/15問	70.1%	11.0問	3.4問	13問



学習指導要領の内容別の主な特徴と指導改善のポイント

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ◇事象や行為、心情を表す語句について理解することはできている。(⇒大問2一)
- ◆文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。(⇒大問3二)

指導改善のポイント

漢字の書きについては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得させるとともに、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことができるよう指導することが大切である。なお、1人1台端末等で文字を入力する際にも適切な漢字を選択することができるよう、変換の際に意味を確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることができるように指導することも重要である。

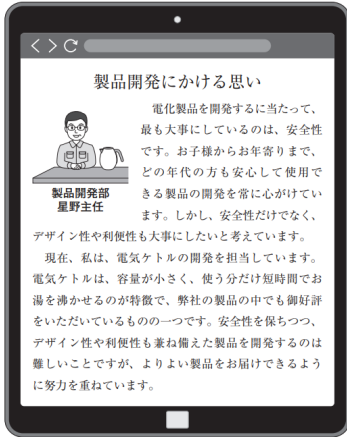
情報の扱い方に関する事項

◆情報と情報との関係について理解することに課題がある。(⇒大問1二、大問3二)

具体的な設問例 (大問1二)

南さんが【インタビューの前に準備したメモ】の〈インタビューを通して知りたいこと〉に、下線部①のように知りたいことを書いたのは、【インターネットの記事】のどのような点に気付いたからか、最も適切なものを選ぶ。

正答率：65.3%



〈インタビューの目的〉
星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉
①「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
・社会で働く上で何が大切だと思うか。

- 事例は示されているが、星野さんの考えとは内容が矛盾している点。…2.7%
- 事例は示されているが、星野さんの考えが書かれていない点。…22.1%
- 星野さんの考えは示されているが、その理由が書かれていない点。
- 星野さんの考えと理由は示されているが、理由として不十分である点。…9.7%

誤答例の分析と課題

「2」と解答した生徒は、【インターネットの記事】にある「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています」という部分が、星野さんの考えを示した情報であることを捉えることができているものと考えられる。

指導改善のポイント

「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用できるように指導することが大切である。

話すこと・聞くこと

◆目的や場面に応じて質問する内容を検討することや、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることはできている。

具体的な設問例 (大問1四)

インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。

正答率：82.7%

南：先日のインタビューの件と申します。先日、インターネットで、星野さんの記事を見ました。今日は、星野さんの製品開発に対する思いについて、詳しくお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

星野：こちらこそ、よろしくお願ひします。

南：早速ですが、星野さんは「製品開発にける思い」の「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」とおっしゃっていますが、そのように考えるのはどうしてですか。

星野：はい。お客様の安全を守るための配慮ですが、それは当然のことです。それだけでなく、お客様のニーズに合った多様なデザインや、年代を問わずに使用できる利便性を求められるからです。お客様のアンケート調査などからも、そういった声が多く聞かれます。例えば、電気ケトルは何かの用途に使うと、利便性があります。だからといって、例えにくく形状にすると、デザイン性が損なわれてしまいます。私たちが開発している電気ケトルは、デザイン性に配慮しつつも、例えどきと熱湯がこぼれないように工夫されています。このように、安全性とデザイン性の両立を図っています。

南：そのとおりです。この製品を開発するにあたって、お客様のニーズと第二に考えています。製品を開発していただくお客様の期待に応えるために、努力は積み重ねています。

南：お客様のニーズが大切ですが、次に、次の質問です。先ほど、電気ケトルの安全性とデザイン性の両立についてお話を伺いましたが、安全性と利便性の両立についても、具体的に教えてください。

星野：例えば、利便性という点では、手軽に使用できるお茶パックや、お湯を注ぐだけで、電気ケトルの軽量化も努めています。しかし、軽量化のために構造を簡素化すると、手に熱が伝わりやすくなってしまいます。そこで、安全性が損なわれないように、毎日、こまめに熱湯の注ぎ口を拭き取っています。

南：話を解決するために、星野さんはどのようにしてアイデアを生み出しているのですか。私は後述の通り、話し合いでアイデアが浮かびますが、作品の制作が滞りてしまうことがあります。

星野：はい、アイデアが浮かばないこともよくあります。そういうときは、私は仲間と話し合ったりして、年代や経験豊富なメンバーで話し合ったりして、一人だけで考えていたには思いつかなかったアイデアが生まれてきます。自分では思いつかないことを、学校でも現場でも大事なことではないでしょうか。

南：確かに、そうですね。他にも、働く上で大切にしてほしいことはありますか。

星野：自分の分野以外にも目を向けることです。「1つ」のことにはこだわらず、新たな発想を生み出すことも、大変重要だと考えています。

南：ありがとうございます。質問は以上です。

ありがたくらいお願ひします。

〈条件〉

- 条件1 【インタビューの様子】から、星野さんの話の内容を具体的に取り上げて書く。
- 条件2 条件1で取り上げた内容を踏まえ、「社会で働く上で大切なこと」についてあなたが考えたことを書く。

〈正答例〉

星野さんのお話を伺い、自分とは異なる考えや見方を生かすことの大切さが分かりました。私も社会で働くときには、仲間と話し合うことを大切にしようと思いました。

◆話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することに課題がある。(⇒大問1三)

指導改善のポイント

話し手に質問する際に、質問の適切な機会を捉えるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるよう指導することが大切である。

「令和5年度【中学校国語】報告書」大問1 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mlang_idea_01.pdf#page=10



書くこと

- ◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことについては、改善の状況が見られる。

具体的な設問例 (大問3四)

「判じ絵」についてまとめているレポートの「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に、具体例【図3】として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方の説明を書く。

正答率：72.5%

参考：令和4年度 大問2三
正答率：46.5%



〈正答例〉

- ・A: (【図3】は、) 真ん中が消えている桜が描かれている。「さくら」という言葉の真ん中の「く」を消して解説すると、食事で使う「皿」という意味になる。
- ・B: (【図3】は、) 「砂」という漢字が逆さまに書かれているので、漢字の読み方も逆にする、野菜の「ナス」という意味になる。

〈誤答例〉

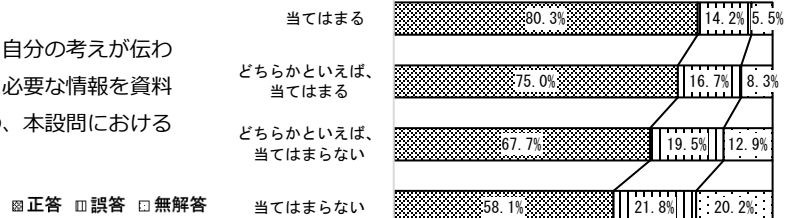
- ・A: (【図3】は、) 真ん中が消えている桜が描かれている。描かれているものを組み合わせて解説すると、「皿」という意味になる。
- ・B: (【図3】は、) 「砂」という漢字が逆さに書かれているので、「ナス」という意味になる。

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、書いた説明の中に、選んだ判じ絵をどのように読み解くのかを示すことができていない。判じ絵の解説の面白さがより明確に伝わるようになるためには、図に応じた解説の仕方を、根拠として文章の中に記述する必要があることを理解できていないものとも考えられる。

クロス集計

生徒質問紙における質問項目「国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか」の選択肢ごとの、本設問における生徒の解答状況 (%)



この質問に肯定的に答えた生徒の方が、大問3 四を正答している割合が高い。このことから、複数の事例の中からどの事例を自分の考えを支える根拠とするのかを検討したり、取り上げる根拠をどのように文章中に記述するかを吟味したりする学習活動を充実させることが重要であると考えられる。

- ◆読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることについては、改善の状況が見られるが、引き続き課題がある。(⇒大問3一)

指導改善のポイント

自分の考えが伝わる文章を書くためには、**自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認した上で、考えを支える根拠として示す事例等**を検討し、**考えと事例等との関係を明確にして記述できるように指導することが大切である。**

「令和5年度【中学校国語】報告書」大問3 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mlang_idea_03.pdf#page=10



読むこと

- ◆文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することについては、改善の状況が見られる。(⇒大問2三)

- ◆文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。(⇒大問2四)

指導改善のポイント

文章を読んで自分の考えを広げたり深めたりするためには、**文章の内容を理解するだけでなく、自分がもっている知識や経験と結び付けることによって、理解したことや考えたことをより具体的に明確なものにしていくことが重要である。**

「令和5年度【中学校国語】報告書」大問2 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mlang_idea_02.pdf#page=11



(3) 小学校算数

◇…比較的できている点
◆…課題のある点

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

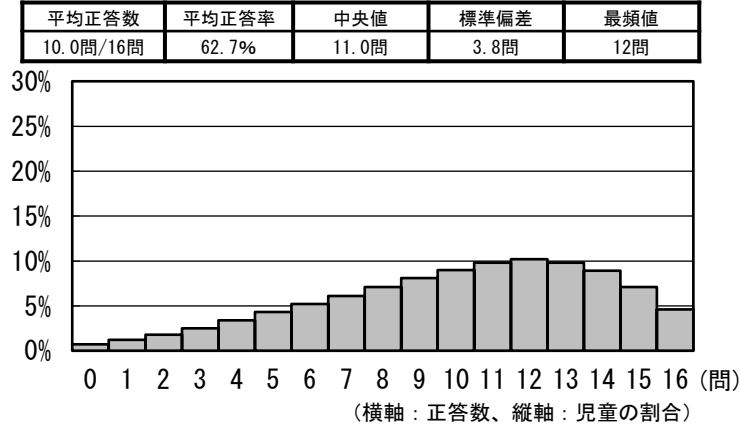
結果概要

- ◇式を日常生活に関連付けて読み取ることができている。
- ◆図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察することに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	6	67.5
	図形	4	48.4
	測定	0	—
	変化と関係	4	71.1
	データの活用	3	65.7
評価の観点	知識・技能	9	67.4
	思考・判断・表現	7	56.7
問題形式	選択式	5	57.9
	短答式	7	74.9
	記述式	4	47.6

〈小学校算数の児童の正答数分布グラフ〉



学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

数と計算

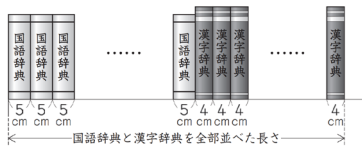
◇ () を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができている。

具体的な設問例
(大問3(1))

厚さ5cmの国語辞典と厚さ4cmの漢字辞典を、学級の人数(28人)分並べた長さを表す式が2つある。その式の中の波線部分が表しているものをそれぞれ1つずつ選ぶ。



国語辞典と漢字辞典に分けて並べたとして考えます。



【わかさんの式】

$$\underline{5 \times 28} + 4 \times 28$$

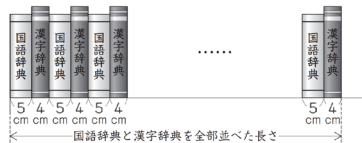
正答率：70.5%

【あきさんの式】

$$(5 + 4) \times 28$$



1人分ずつ並べたとして考えることもできます。



ア 国語辞典 28冊を並べた長さ

イ 漢字辞典 28冊を並べた長さ

ウ 国語辞典1冊の厚さと漢字辞典1冊の厚さを合わせた長さ

エ 国語辞典 28冊と漢字辞典 28冊を並べた長さ

〈正答〉

- 【5×28】 ア
【5+4】 ウ

◆示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。(⇒大問3(2))

指導改善のポイント

日常生活の問題を解決するために、**場面を解釈して数量の関係を捉え、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明できるように指導することが重要である。**

「令和5年度【小学校算数】報告書」大問3 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23pmath_idea_03.pdf#page=19



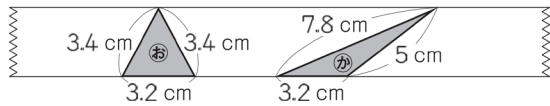
図形

◇ 正方形の意味や性質について理解することはできている。(⇒大問2(2))

◆ 高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がある。

具体的な設問例
(大問2(4))

テープを直線で切ってつくった2つの三角形の面積の大小を判断し、その理由を説明する。



1 ㊸の面積のほうが大きい。

2 ㊹の面積のほうが大きい。

3 ㊸と㊹の面積は等しい。

4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

正答率：21.1%

〈正答例〉【番号】 3
【わけ】 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊸と㊹の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。㊸と㊹の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

〈誤答例〉【番号】 4
【わけ】 高さが書かれていないので、このままでは面積を求めることができないから。 …16.8%

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、2つの三角形の高さが同じであるということに気付くことができていないか、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断したと考えられる。

指導改善のポイント

具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導することが重要である。

「令和5年度【小学校算数】報告書」大問2 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23pmath_idea_02.pdf#page=21



変化と関係

◇ 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を選ぶことはできている。(⇒大問1(2))

◆ 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを記述することに課題がある。(⇒大問1(3))

指導改善のポイント

伴って変わる二つの数量が、比例の関係にあることを用いて、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさの求め方を説明できるように指導することが重要である。

「令和5年度【小学校算数】報告書」大問1 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23pmath_idea_01.pdf#page=14



データの活用

◇ 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることはできている。(⇒大問4(2))

◆ 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述することに課題がある。(⇒大問4(3))

指導改善のポイント

複数のグラフを組み合わせたグラフを読み取る力を身に付けさせるとともに、特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分からそのように考えたのかを明らかにして、他者に分かるように伝えることができるように指導することが大切である。

「令和5年度【小学校算数】報告書」大問4 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23pmath_idea_04.pdf#page=17



(4) 中学校数学

◇…比較的できている点
◆…課題のある点

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という数学的活動を行う文脈を重視した。

結果概要

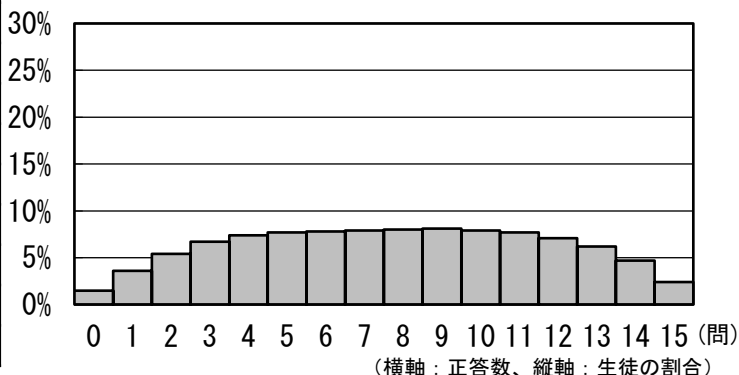
- ◇基礎的・基本的な計算技能は身に付いていると考えられる。
- ◆問題解決の過程や結果を振り返って考察することに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

〈中学校数学の生徒の正答数分布グラフ〉

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	5	63.5
	図形	3	33.8
	関数	4	51.7
	データの活用	3	48.6
評価の観点	知識・技能	10	56.1
	思考・判断・表現	5	42.1
問題形式	選択式	4	45.8
	短答式	6	62.9
	記述式	5	42.1

平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
7.7問/15問	51.4%	8.0問	3.9問	9問



学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

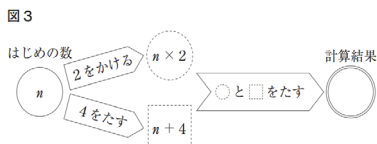
数と式

- ◇数と整式の乗法の計算をすることはできている。(⇒大問2)
- ◆結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つことを見いだし、説明することに課題がある。

具体的な設問例 (大問6(3))

夏希さんの計算をもとに考え、はじめの数に何をかけて何をたせば、計算結果がいつでも4の倍数になるのかを予想する。

正答率：41.5%



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、4をたした数は $n + 4$ と表される。
計算結果は、
 $n \times 2 + (n + 4)$
 $= 2n + n + 4$
 $= 3n + 4$

〈正答例〉

はじめの数にかけられる数が3、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる。

〈誤答例〉

- ・はじめの数にかけられる数が3、たす数が1ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる。
- ・はじめの数にかけられる数が1、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる。
…19.7%

誤答例の分析と課題

はじめの数にかけられる数とたす数を考えたが、計算結果が4の倍数になるような数を、夏希さんの計算の過程から考察し見いだすことができなかつたと考えられる。

指導改善のポイント

事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れることが大切である。

「令和5年度【中学校数学】報告書」大問6 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mmath_idea_06.pdf#page=11



図形

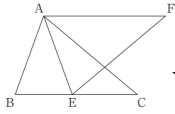
- ◆空間における平面が同一線上にない3点で決定されることの理解に課題がある。(⇒大問3)
- ◆条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。

具体的な設問例 (大問9(2))

「合同な2つの二等辺三角形」という条件を、合同であることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えた場合に、もとの証明のどの部分が成り立たなくなるのかを考える。

正答率：37.6%

図7



$\triangle ABC$ と $\triangle AEF$ は合同な二等辺三角形。

BC // AFであることは、次のように証明できます。

証明1

$\triangle ABC \equiv \triangle AEF$ より、合同な図形の対応する辺と角はそれぞれ等しいから、

$$AB = AE \quad \dots\dots ①$$

$$\angle ABC = \angle AEF \quad \dots\dots ②$$

$\triangle AEF$ において、二等辺三角形の底角は等しいから、

$$\angle EAF = \angle AEF \quad \dots\dots ③$$

②、③より、

$$\angle ABC = \angle EAF \quad \dots\dots ④$$

また、①より、 $\triangle ABE$ は二等辺三角形である。

二等辺三角形の底角は等しいから、

$$\angle ABE = \angle AEB \quad \dots\dots ⑤$$

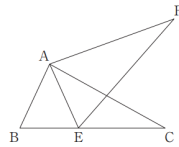
$\angle ABE = \angle ABC$ だから、④、⑤より、

$$\angle EAF = \angle AEB$$

よって、錯角が等しいから、

$$BC \parallel AF$$

図8



$\triangle ABC \equiv \triangle AEF$ であることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えた。

優奈さんは、図8でBC // AFとならないのは、前ページの証明1の①から⑤のどれかが成り立たないからだと考えました。

図8のような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないため、BC // AFとなりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の I が成り立たないから、 II が成り立たない。よって、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないから、BC // AFとならない。

上の I には証明1の①、②、③のどれか1つが、 II には証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。 I、 II に当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

〈正答〉

I に③と解答し、
II に④と解答しているもの。

〈誤答例〉

I に③と解答し、
II に⑤と解答しているもの。
…15.5%

誤答例の分析と課題

条件が「二等辺三角形ではない合同な2つの三角形」に変わったことから、証明1に書かれている「二等辺三角形の底角は等しいから」を根拠としている③と⑤が成り立たなくなったと捉えたと考えられる。また、条件を変えても、 $\triangle ABE$ が $AB=AE$ の二等辺三角形であることは変わらないということに気付くことができなかつたとも考えられる。

指導改善のポイント

ある事柄の条件を変えた場合について考察する場面では、証明を振り返り、証明に用いた前提や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるようにすることが大切である。

関数

- ◆事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することに引き続き課題がある。(⇒大問8(2))
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。(⇒大問8(3))

指導改善のポイント

数学を活用して様々な問題を解決できるようにするために、表、式、グラフのどれをどのように用いたかについて数学的に説明できる活動を充実することが大切である。

「令和5年度【中学校数学】報告書」大問8 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mmath_idea_08.pdf#page=8



◆複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

具体的な設問例 (大問7(2))

「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張できる理由を、2つの箱ひげ図の箱に着目して説明する。

正答率：33.9%

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{きようようび}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。そして、二人は次のような表にまとめました。

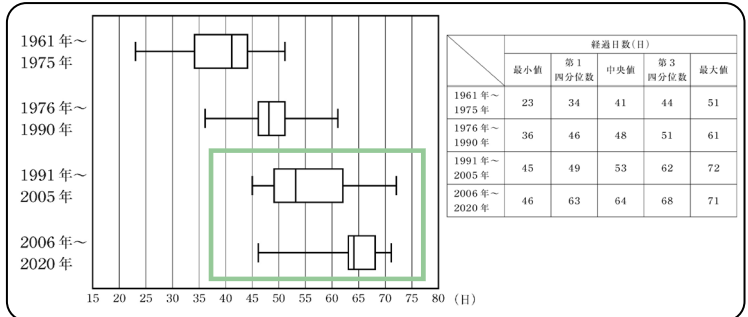
各年の黄葉日

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
⋮	⋮	⋮
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

〈正答例〉

1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも、2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にある。したがって、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

〈誤答例〉

1991年～2005年の最小値よりも、2006年～2020年の最小値の方が大きいから。 …14.3%

誤答例の分析と課題

箱ひげ図の箱に着目せず、最小値に着目して黄葉日が遅いことを説明しようとしていたと考えられる。また、箱に着目することで、箱の位置や四分位数の違いに気づき、そのことが黄葉日が遅くなっている根拠になると捉えることができなかつたとも考えられる。

指導改善のポイント

データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を箱ひげ図の箱の位置や四分位数などを用いて的確に説明できるようにすることが大切である。

「令和5年度【中学校数学】報告書」大問7 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mmath_idea_07.pdf#page=7



問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「知識及び技能」を測ることに加え、それらをコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて活用できる「思考力、判断力、表現力等」を測ることを重視した。

「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」について

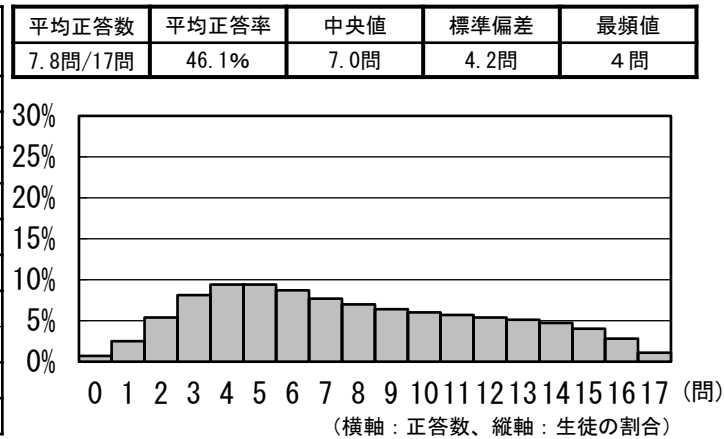
結果概要

- ◇ 日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取ったり、事実と考えを区別して読んだりすることはできている。
- ◆ 日常的な話題に関する文章の概要を捉えたり、社会的な話題について自分の考えや理由を表現したりすることに課題がある。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	聞くこと	6	58.9
	読むこと	6	51.7
	話すこと [やり取り]	0	—
	話すこと [発表]	0	—
	書くこと	5	24.1
評価の観点	知識・技能	9	52.1
	思考・判断・表現	8	39.4
問題形式	選択式	12	55.3
	短答式	3	30.9
	記述式	2	13.9

〈中学校英語の生徒の正答数分布グラフ〉



学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

聞くこと

- ◇ 日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取ることはできている。

具体的な設問例
(大問1(1))

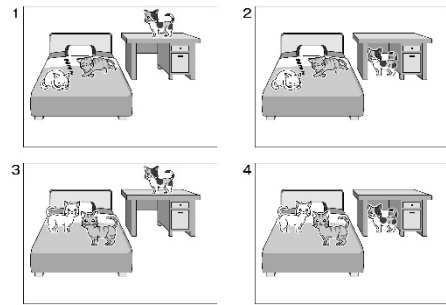
話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選ぶ。

正答率：79.3%

<スクリプト>

Look at this picture. There are three cats. You can see a cat under the desk.
And the other cats are on the bed. They are sleeping.

1 …19.3% 2 ○ 3 …0.7% 4 …0.5%



- ◆ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることに課題がある。(⇒大問3)

指導改善のポイント

自分の置かれた状況を把握し何を聞き取るか理解した上で、それらに関連する語句や表現に着目して必要な情報を聞き取ることができるよう指導することが重要である。

「令和5年度【中学校英語】報告書」大問3 授業アイデア例参照

https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23meng_idea_03.pdf#page=3



読むこと

- ◇ 日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取ることはできている。(⇒大問7(1))
- ◇ 日常的な話題について、事実と考えを区別して読むことはできている。

具体的な設問例 (大問5(2))

英文を読み、書き手の考えが書かれている英文を選ぶ。

正答率：65.0%

There is a mountain in our city. It is 815 meters high. I went there
1 2
this summer with my family. I saw a lot of garbage. I was surprised to
see it. We cleaned the place for about 30 minutes. Everyone should
3 4
bring their garbage back home.

1 …3.8% 2 …13.8% 3 …17.2% 4 ○

書かれている内容や、考えを伝える助動詞shouldに着目して、事実と考えを区別して読むことができたと考えられる。

◆ 日常的な話題に関する文章の概要を捉えることに課題がある。

具体的な設問例 (大問7(2))

町の図書館について書かれた英文を読み、概要として最も適切なものを選ぶ。

正答率：35.2%

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions. …25.2%
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people. …24.2%
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together. …14.6%

誤答例の分析と課題

情報の不足や偏り、内容の具体性のバランスなどを踏まえ、英文全体の主題と各段落の主な内容が過不足なく含まれているかを判断することに課題があると考えられる。

指導改善のポイント

「概要を捉える」とは、物語や説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとられることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることのおおまかな内容を捉えることである。指導に当たっては、説明文を読んで、概要を捉えるためには、**段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることができるようにすることが大切である。**

「令和5年度【中学校英語】報告書」大問7 授業アイデア例参照
https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23meng_idea_07.pdf#page=5

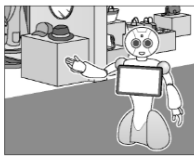


◆社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。

具体的な設問例
(大問8(2))

ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を英語で書く。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



正答率：20.1%

無解答率：28.9%

〈正答例〉

- I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- I don't agree with you because people will lose their job.

〈誤答例〉

- Yes, I do. I think robots is very nice.
- No, I don't. I don't like robots. …27.8%

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、**自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、英文の書き手の意見を踏まえて書くことに課題**があると考えられる。どのようなことを書けば理由になるのか理解できていない、あるいは、理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられる。

また、自分の考えやその理由を書くことはできているが、文法事項等の誤りがある解答が7.6%である。このような解答をした生徒は、**基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題**があると考えられる。

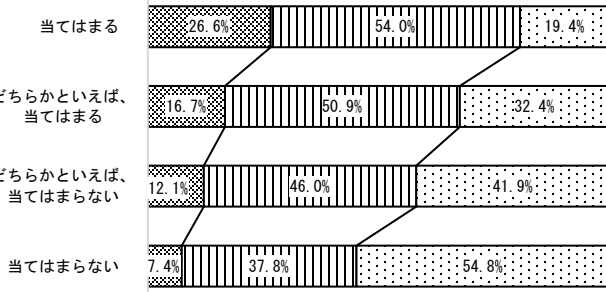
指導改善のポイント

読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切に表現することが重要である。指導に当たっては、**読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切**である。その際、なぜそのように考えたのかという理由を考えさせたり、生徒の発話に対して教師が理由を尋ねたりするといった取組が効果的である。

クロス集計

生徒質問紙における質問項目「1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか」の選択肢ごとの、本設問における生徒の解答状況(%)

◎正答 □誤答 ○無解答



この質問に肯定的に答えた生徒の方が、大問8(2)を正答している割合が高く、無解答率も低い。このことから、**自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要**だと考えられる。

「話すこと」について※

結果概要

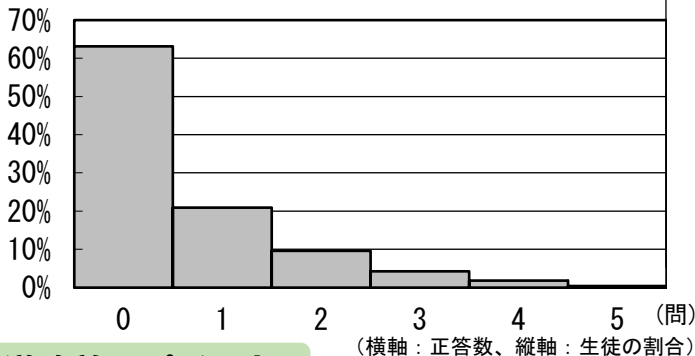
※「話すこと」の正答率等は、すべて推計値。
推計値とは、当日実施校の調査結果（499校、41,966人）に統計的補正をかけ、全国値として推定したものの。

〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)
学習指導要領の領域	聞くこと	0	—
	読むこと	0	—
	話すこと [やり取り]	4	14.5
	話すこと [発表]	1	4.2
	書くこと	0	—
評価の観点	知識・技能	3	13.9
	思考・判断・表現	2	10.1
問題形式	選択式	0	—
	短答式/口述式	3	13.9
	記述式/口述式	2	10.1

〈中学校英語の生徒の正答数分布グラフ〉

平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
0.6問/5問	12.4%	0.0問	1.0問	0問



学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

◆社会的な話題について聞き、自分の考えとその理由を話すことに課題がある。

具体的な設問例
(話すこと大問2)

環境問題についての英語のプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話す。



正答率：4.2%

無解答率：18.8%

〈正答例〉

・ I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our action to protect environment like people in New Zealand.

〈誤答例〉

・ I'm surprised. ・ We are buy eco bags. …50.0%

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、プレゼンテーションへの感想のみを話しており、**話し手の意見を踏まえた上で、自分の考えやその理由を聞き手に話して伝えることに課題**があると考えられる。

その背景には、自分の考えやその理由を整理できなかったり、自分の考えとその理由を話すために必要な表現が身に付いていなかったりすることがあると思われる。

〈参考〉

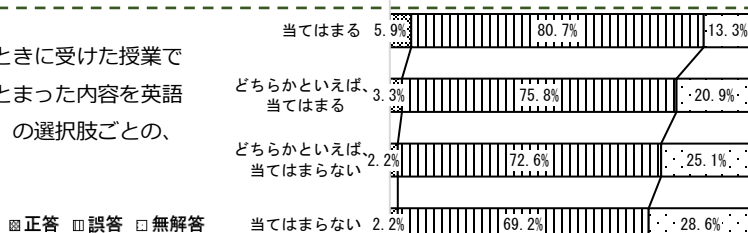
- ・ 「(英語「話すこと」調査で)聞いたことを理解したが、話す内容が思い浮かばなかった」と回答した生徒 …35.8%
- ・ 「(英語「話すこと」調査で)聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかったと回答した生徒 …41.1%

指導改善のポイント

社会的な話題に関して聞いて分かった情報を整理し、既習の表現などを活用しながら、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに話して伝えることができるように指導することが大切である。

クロス集計

生徒質問紙における質問項目「1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」の選択肢ごとの、本設問における生徒の解答状況(%)



この質問に肯定的に答えた生徒の方が、話すこと大問2を正答している割合が高く、無解答率も低い。このことから、**スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要だ**と考えられる。



3. 質問紙調査結果（児童生徒、学校）

※ □内の数字は相関係数

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

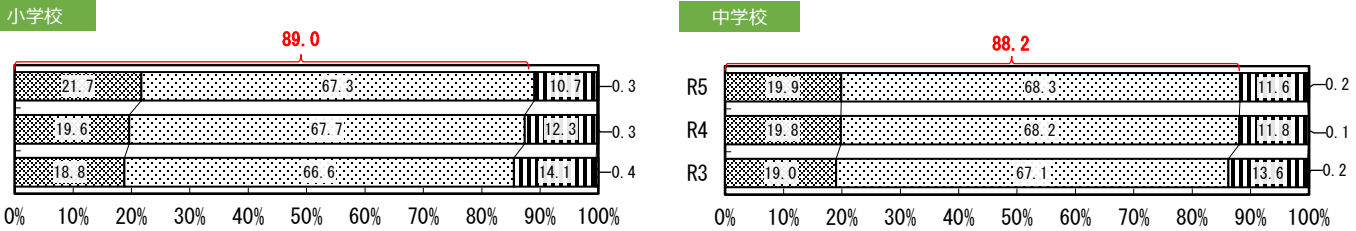
分析結果のポイント

- 昨年度までと同様、各学校において、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組が実施されている。また、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。
- 昨年度までと同様、個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する取組が実施されている。
- 授業の中で、主体的・対話的で深い学びに取り組んだ児童生徒は、家庭の社会経済的背景（SES）が低い状況にあっても、各教科の正答率が高い傾向が見られる。

① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

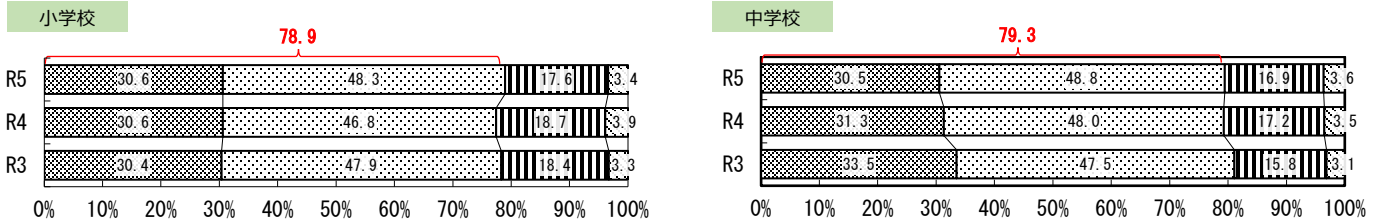
【学校】 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

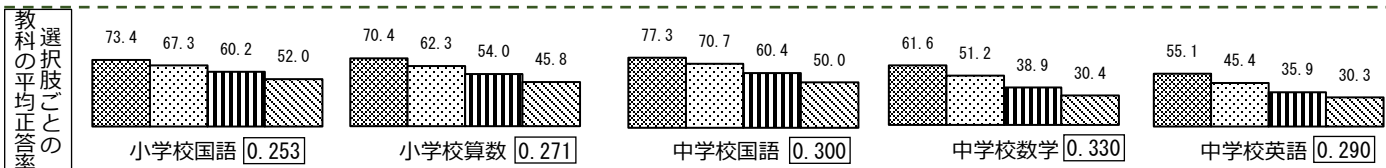


【児童生徒】 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

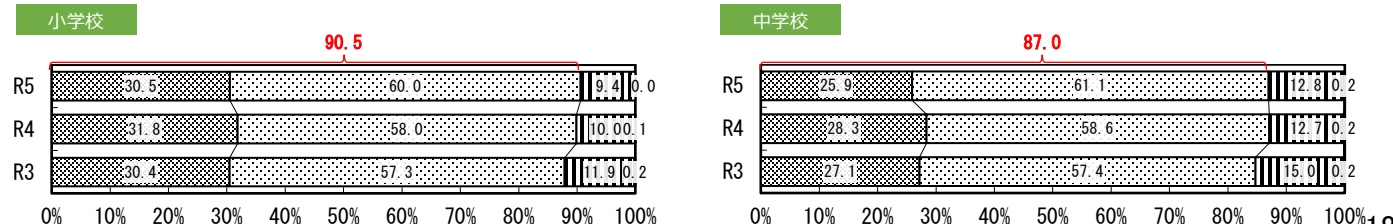


クロス集計



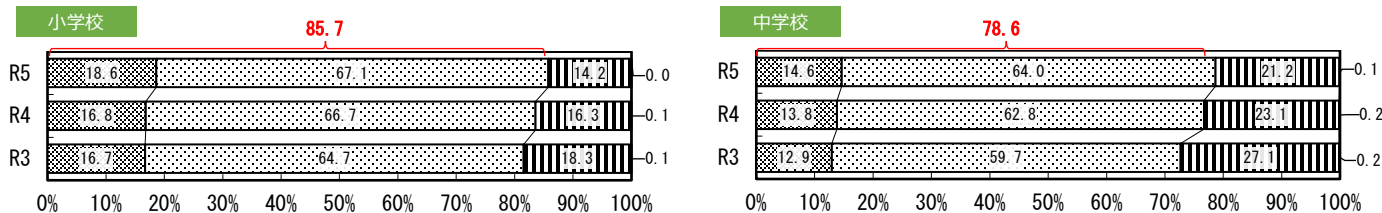
【学校】 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行わなかった ■ 全く行わなかった



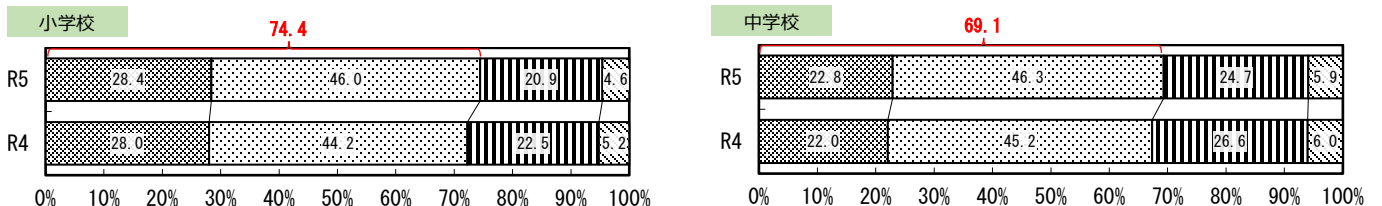
【学校】 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。

よく行った どちらかといえば、行った あまり行わなかった 全く行わなかった

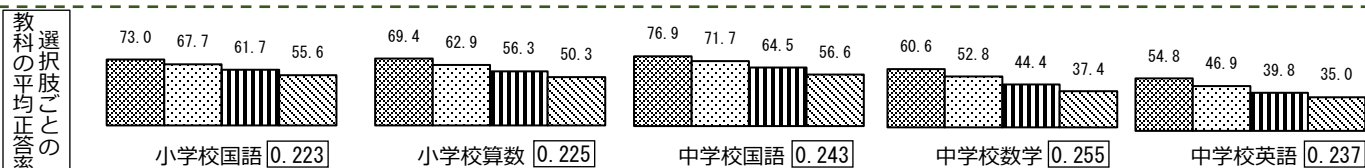


【児童生徒】 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない

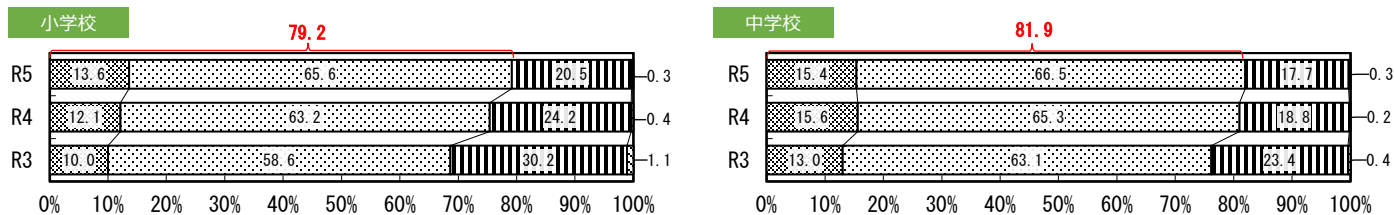


クロス集計



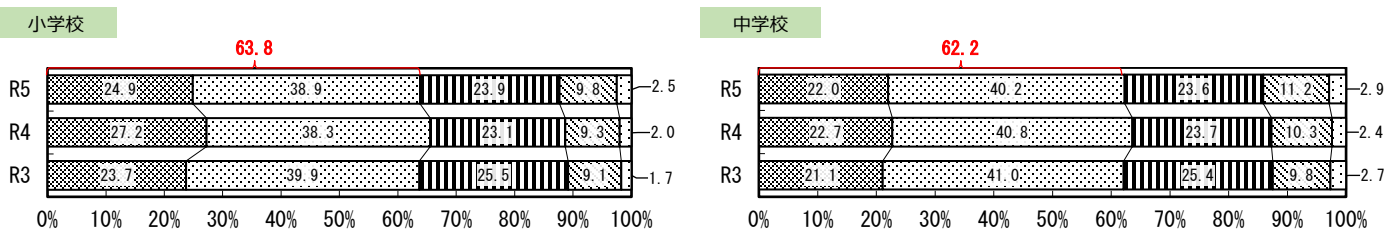
【学校】 調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。

そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない

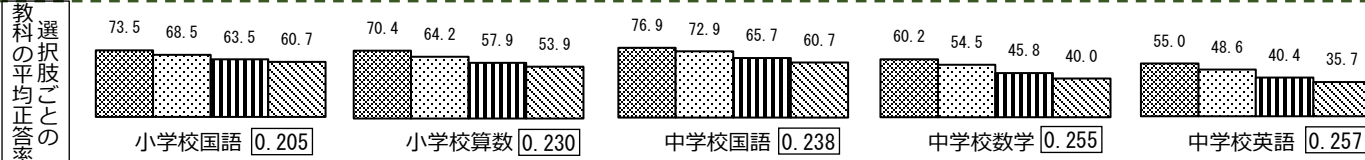


【児童生徒】 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

発表していた 発表してなかった どちらかといえば、発表していた どちらかといえば、発表してなかった 考えを発表する機会がなかった



クロス集計



「社会経済的背景(SES)」 「主体的・対話的で深い学び」 「平均正答率」の関係

- 家庭の社会経済的背景(SES: Socio-Economic Status)*が低い児童生徒ほど、各教科の正答率が低い傾向が見られる。
- しかし、「主体的・対話的で深い学び」に取り組んだ児童生徒は、SESが低い状況にあっても、各教科の正答率が高い傾向が見られる。

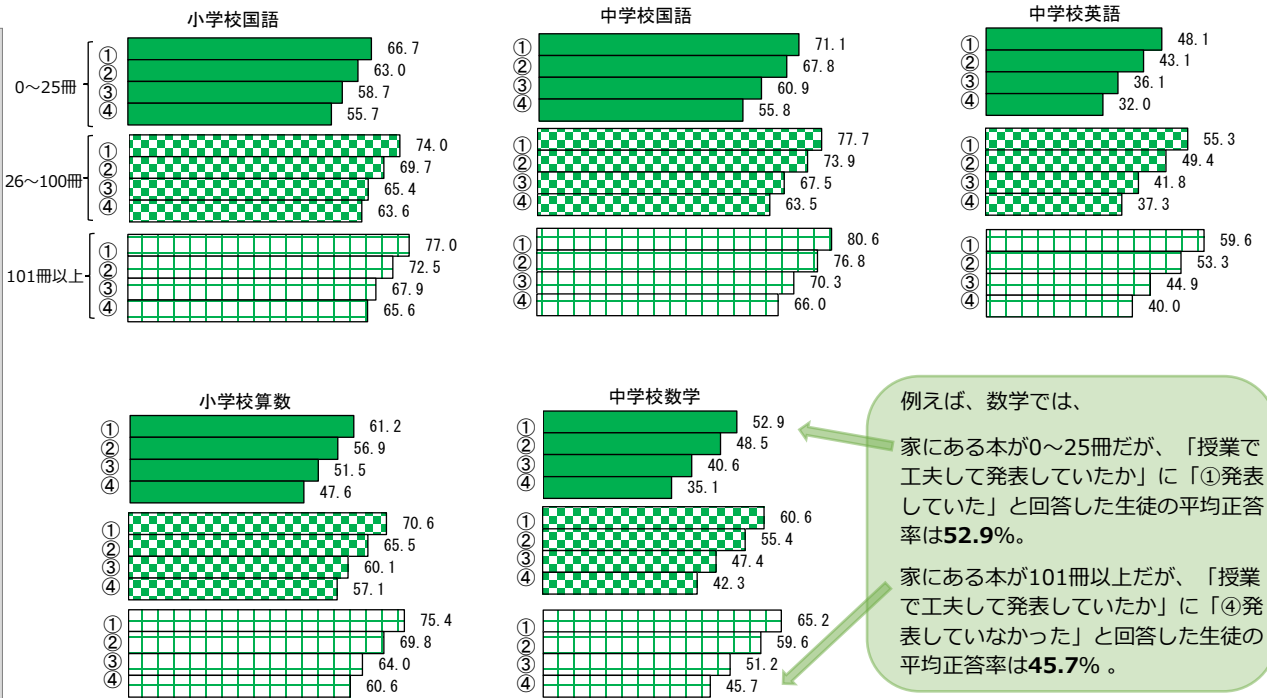
* 本資料では、国際学力調査も参考に、「家にある本の冊数」を家庭のSESの代替指標として用いている。

三重クロス集計

【家にある本の冊数】 × 【授業で工夫して発表していたか】 × 【各教科の平均正答率】

■ 0~25冊 ■ 26~100冊 □ 101冊以上 ①発表していた ②どちらかといえば、発表していた ③どちらかといえば、発表していなかった ④発表していなかった

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



例えば、数学では、

家にある本が0~25冊だが、「授業で工夫して発表していたか」に「①発表していた」と回答した生徒の平均正答率は**52.9%**。

家にある本が101冊以上だが、「授業で工夫して発表していたか」に「④発表していなかった」と回答した生徒の平均正答率は**45.7%**。

(※) 他の「主体的・対話的で深い学び」に関する設問においても同様の傾向が見られる。

(参考) SESと平均正答率との関係等については、令和4年度文部科学省委託研究(受託者:福岡教育大学、お茶の水女子大学)においても詳細に分析を行っている。

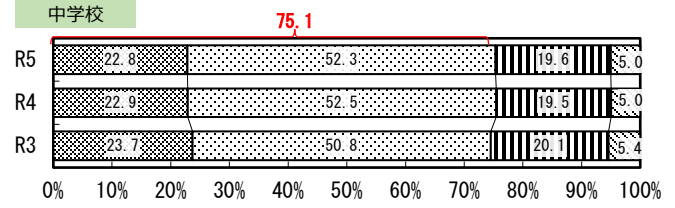
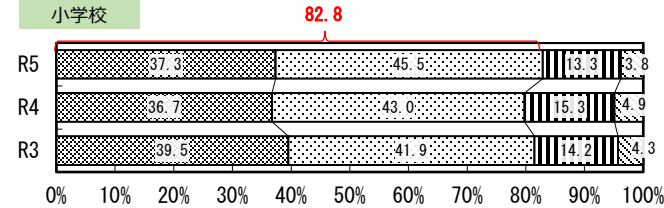
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1416304_00008.html



② 個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する状況

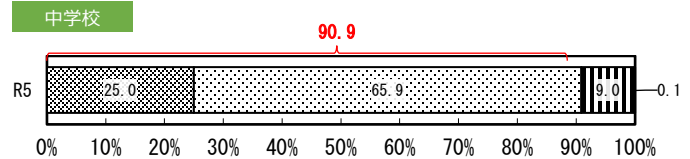
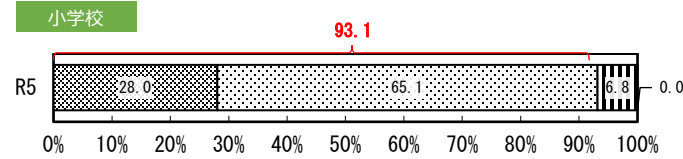
【児童生徒】5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



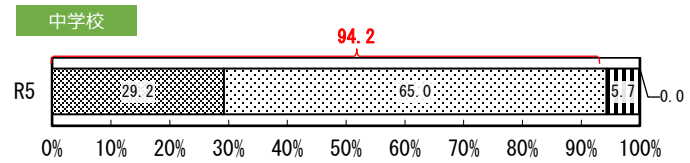
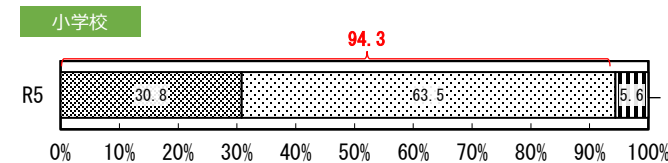
【学校】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか。（新規）

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行わなかった ■ 全く行わなかった



【学校】調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか。（新規）

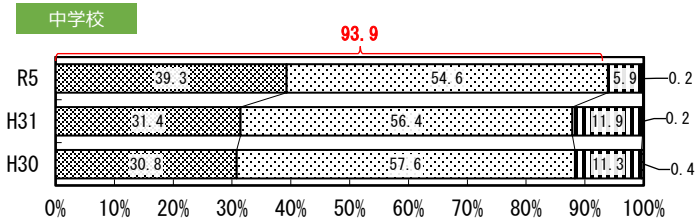
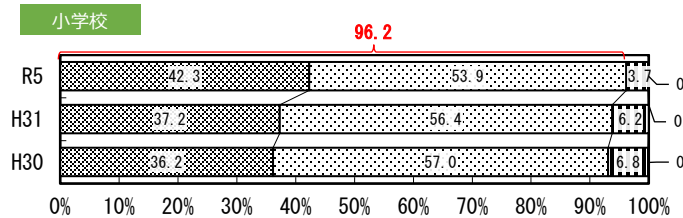
■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行わなかった ■ 全く行わなかった



③ カリキュラム・マネジメントに関する取組状況

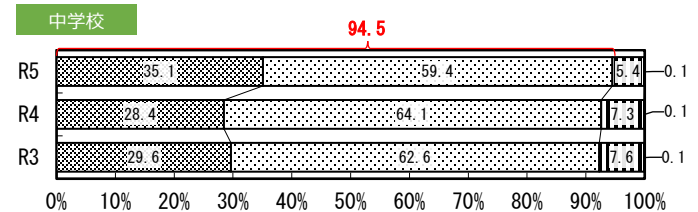
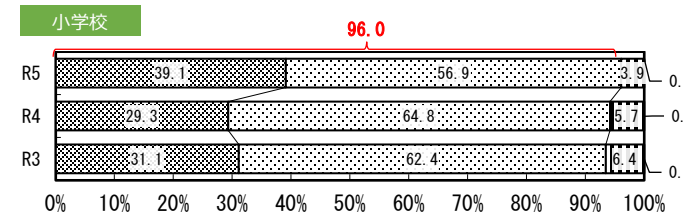
【学校】教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか。

■ よくしている ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



【学校】児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。

■ よくしている ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



(2) 英語の学習状況

① 学校における言語活動等の取組状況

外国語科における言語活動とは、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を意味する。

分析結果のポイント

- 学校の言語活動（領域別）の指導状況について、肯定的に回答した学校の割合は前回よりも増加しており、特に「話す（やり取り）」や「統合的な言語活動」に取り組んでいると肯定的に回答した学校の割合は、11ポイント以上増加している。
- 授業において言語活動に取り組んでいると受け止めている中学校生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる。

学校の指導状況

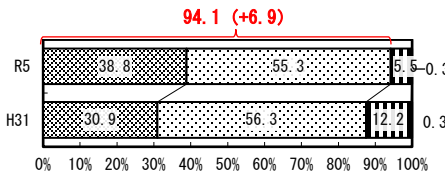
よく行った
 どちらかといえば、行った
 あまり行わなかった
 全く行わなかった

生徒の受け止め

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

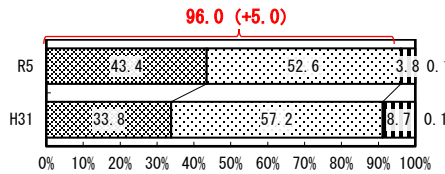
聞く

英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行ったか



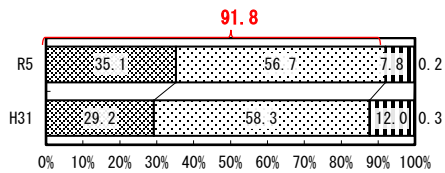
読む

英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行ったか



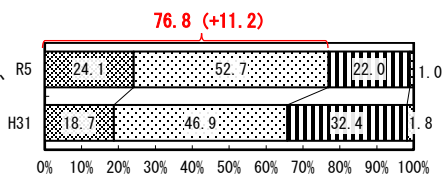
書く

自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行ったか



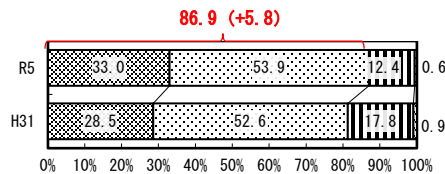
話す (やり取り)

原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行ったか



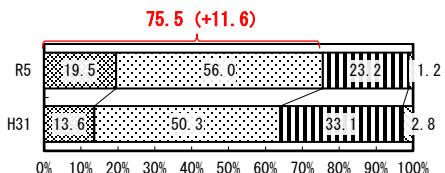
話す (発表)

スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する言語活動を行ったか



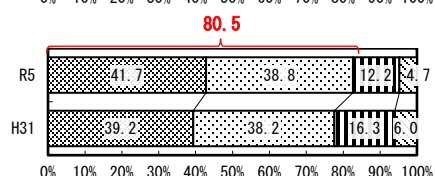
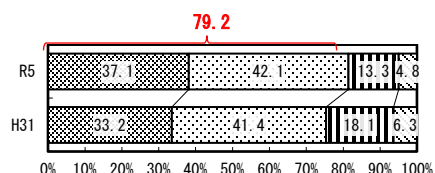
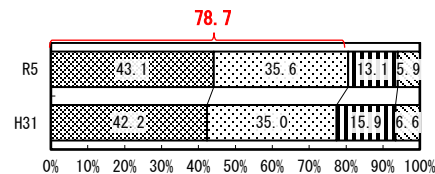
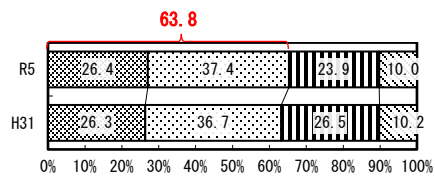
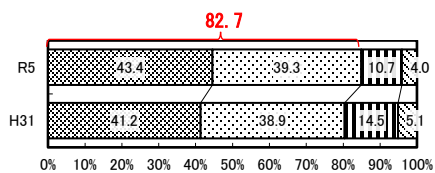
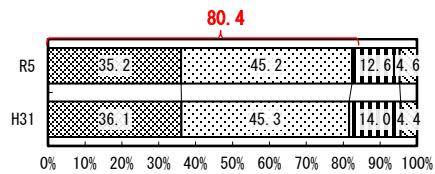
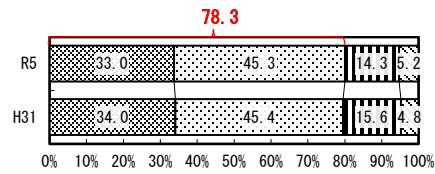
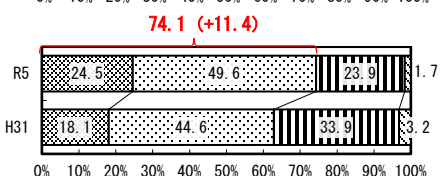
統合的な言語活動 (聞く/読む→書く)

聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行ったか



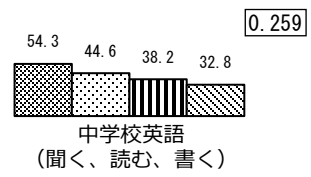
統合的な言語活動 (聞く/読む→話す)

聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行ったか

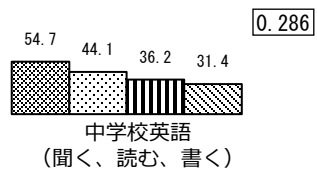


当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

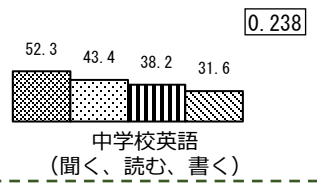
<聞く>【生徒】 英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。



<読む>【生徒】 英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。



<書く>【生徒】 自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか。



「話すこと」の言語活動と「主体的・対話的で深い学び」との関係

○今回の調査結果からは、授業で「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいる中学校ほど、英語「話すこと（やり取り・発表）」の言語活動にも取り組んでいる傾向が見られる。

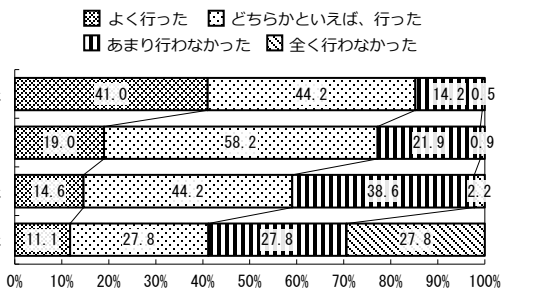
【主体的・対話的で深い学び】 × 【「話すこと」の言語活動】

<話す（やり取り）>

中学校

授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめる、表現するなどの学習活動を取り入れてきましたか

原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか

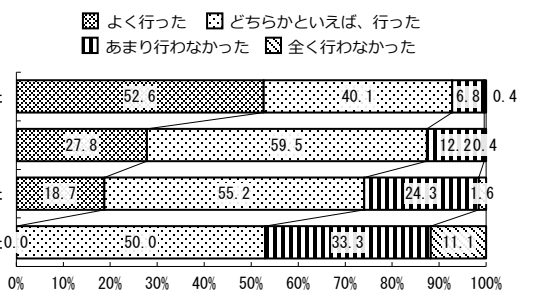


<話す（発表）>

中学校

授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめる、表現するなどの学習活動を取り入れてきましたか

スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか



(※) 他の「主体的・対話的で深い学び」に関する設問においても同様の傾向が見られる。

○この傾向からは、**学校全体として各教科等を通じた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る中で、生徒に話し合いや発表といった学習活動に取り組みさせることが、英語の「話すこと」の言語活動の実施にも良い影響を与えていることが示唆されている**と言える。

「社会経済的背景(SES)」 「言語活動」 「英語の平均正答率」 の関係

- 家庭の社会経済的背景(SES: Socio-Economic Status)*が低い生徒ほど、英語の正答率が低い傾向が見られる。
- しかし、言語活動に取り組んだ生徒は、SESが低い状況にあっても、英語の正答率が高い傾向が見られる。

* 本資料では、国際学力調査も参考に、「家にある本の冊数」を家庭のSESの代替指標として用いている。

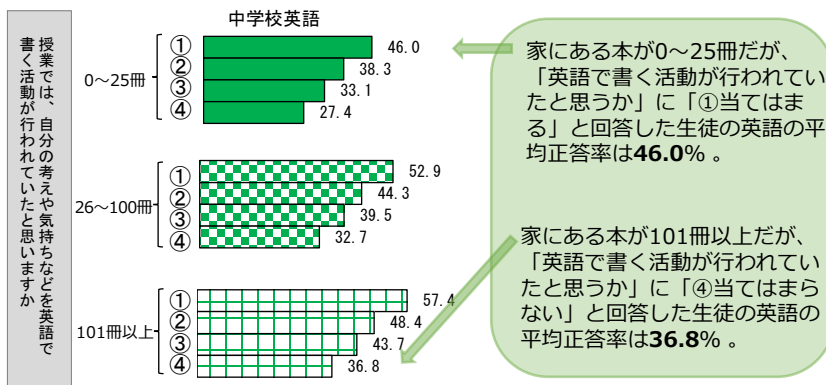
三重クロス集計

■ 0~25冊 ■ 26~100冊 □ 101冊以上

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

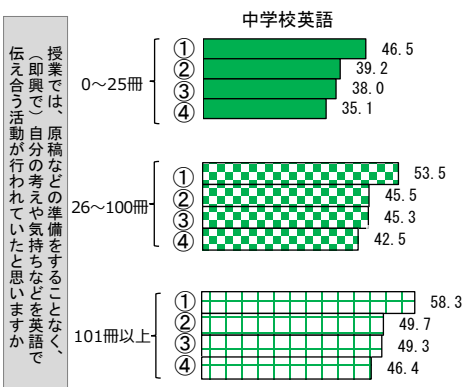
【家にある本の冊数】

- × [英語で書く活動が行われていたと思うか]
- × [英語の平均正答率]



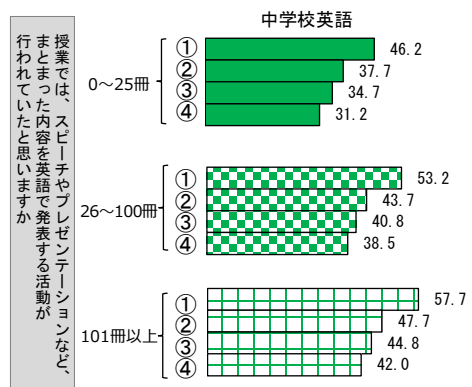
【家にある本の冊数】

- × [英語で伝え合う活動が行われていたと思うか]
- × [英語の平均正答率]



【家にある本の冊数】

- × [英語で発表する活動が行われていたと思うか]
- × [英語の平均正答率]



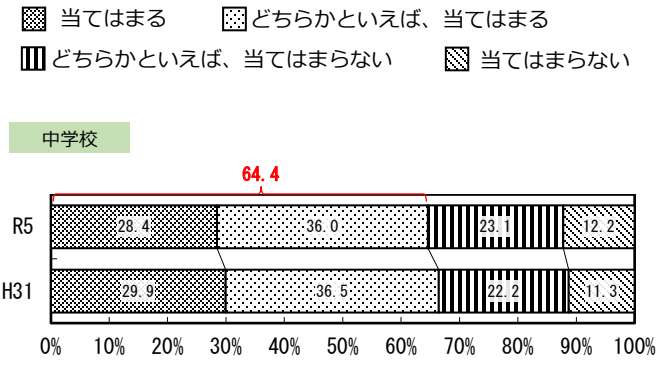
(※) 「聞くこと」「読むこと」の言語活動に関する設問においても同様の傾向が見られる。

② 英語学習に対する興味・関心や授業の理解度等

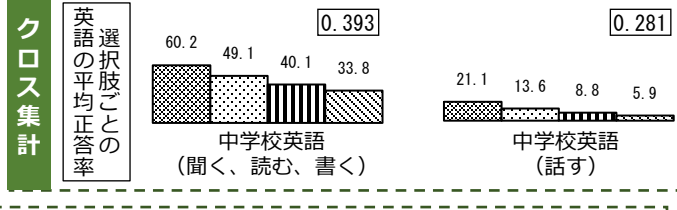
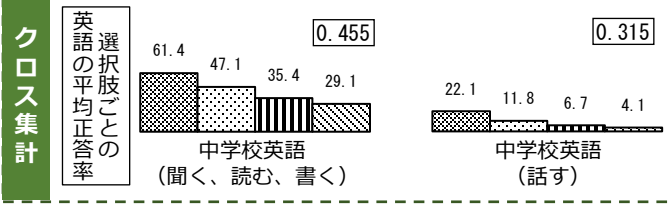
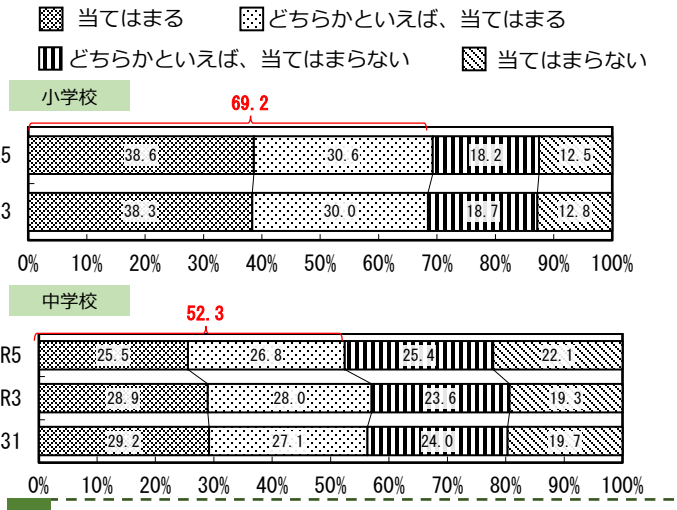
分析結果のポイント

- 「英語の勉強は好きか」との問に肯定的に回答する中学校生徒の割合は、小学校児童よりも約17ポイント少ない。
- 「英語の授業の内容はよく分かる」「英語の勉強は好き」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい」と回答した中学校生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる。
- 言語活動に取り組んでいたと受け止めている中学校生徒ほど、「英語の授業の内容はよく分かる」「英語の勉強は好き」と回答している傾向が見られる。

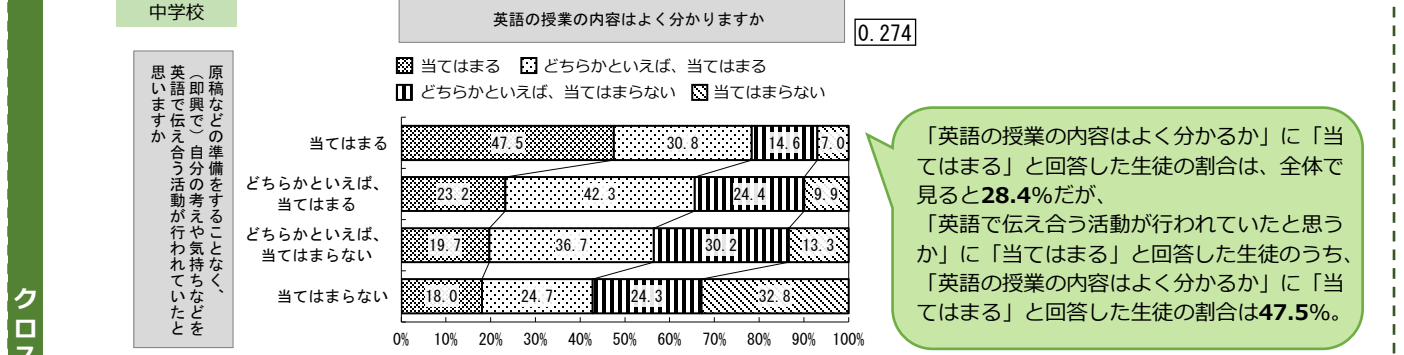
【生徒(中のみ)】英語の授業の内容はよく分かりますか。



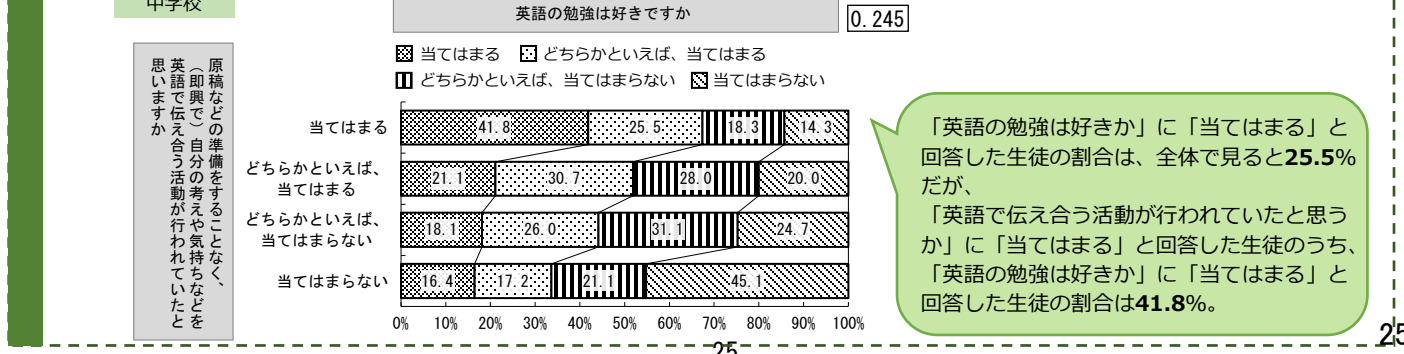
【児童生徒】英語の勉強は好きですか。



【「話すこと (やり取り)」の言語活動】 × 【英語の授業の内容はよく分かる】



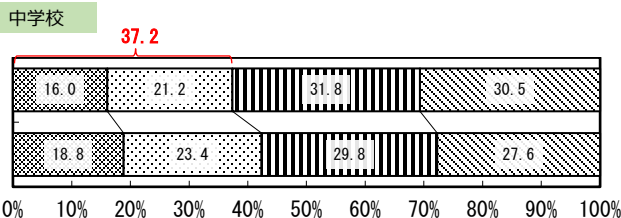
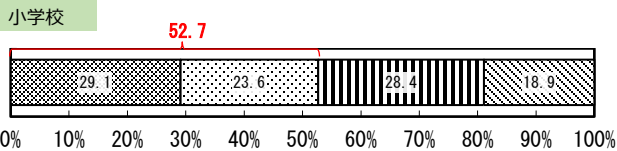
【「話すこと (やり取り)」の言語活動】 × 【英語の勉強は好き】



クロス集計

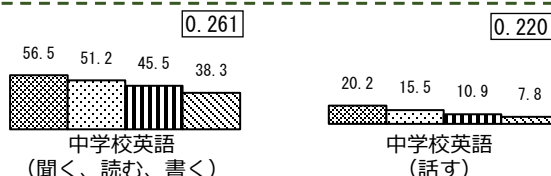
【児童生徒】 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない



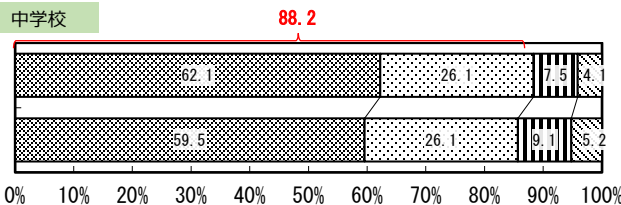
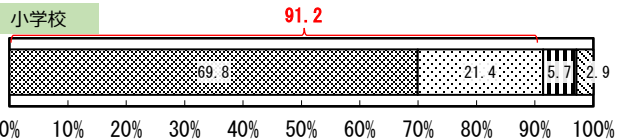
クロス集計

英語の選択肢ごとの平均正答率



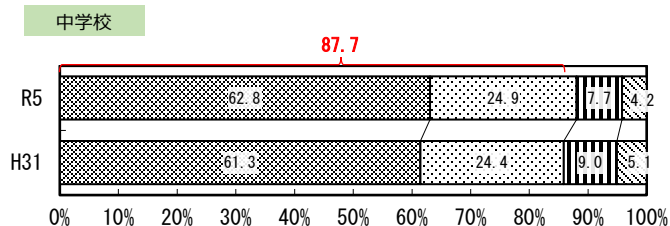
【児童生徒】 英語の勉強は大切だと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない



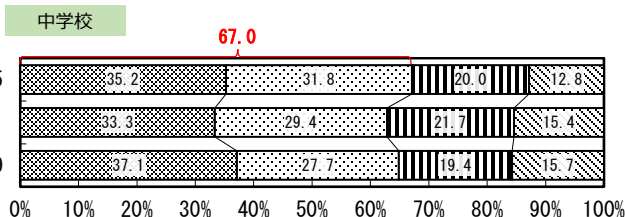
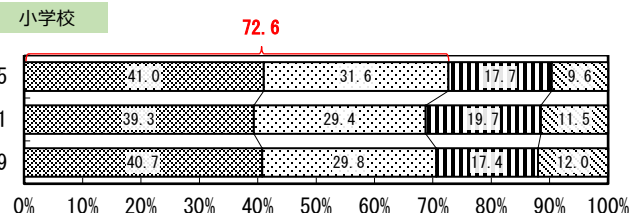
【生徒(中のみ)】 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない



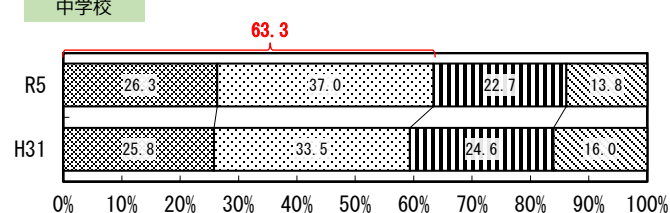
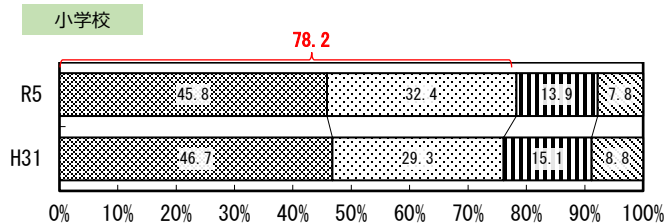
【児童生徒】 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいたりしてみたいと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない



【児童生徒】 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいですか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない



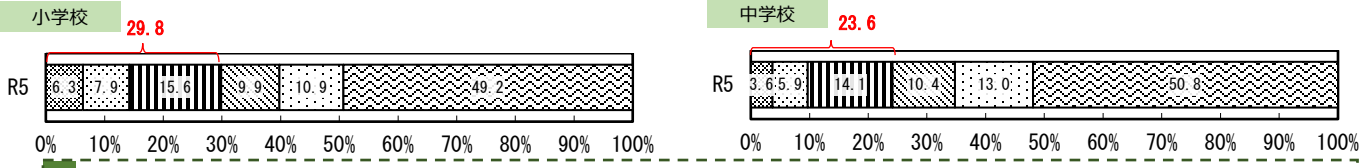
③ 授業外における英語学習の取組

分析結果のポイント

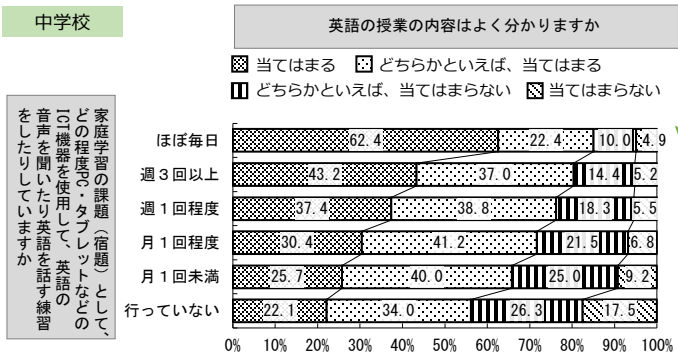
○家庭学習においてICT機器を活用して英語の学習に取り組んでいる頻度が高い中学校生徒の方が、「英語の授業の内容はよく分かる」「英語の勉強は好き」と回答している傾向が見られる。

【児童生徒】 家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか。（新規）

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回程度 ■ 月1回程度 ■ 月1回未満 ■ 行っていない

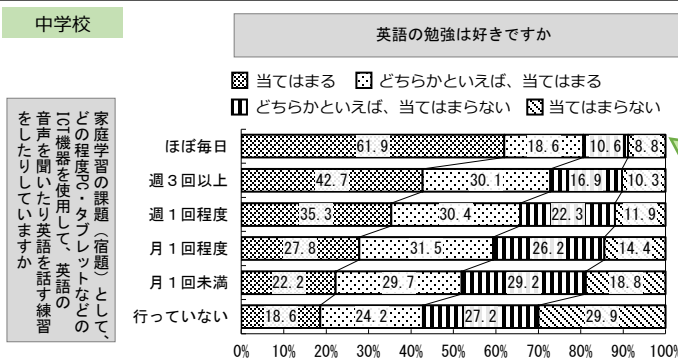


【家庭学習でのICT機器の使用頻度】 × 【英語の授業の内容はよく分かる】



「英語の授業の内容はよく分かるか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全体で見ると**28.4%**だが、「家庭学習としてICT機器を使用した頻度」につき「ほぼ毎日」と回答した生徒のうち、「英語の授業の内容はよく分かるか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は**62.4%**。

【家庭学習でのICT機器の使用頻度】 × 【英語の勉強は好き】

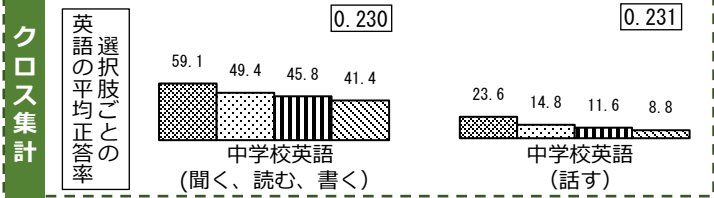
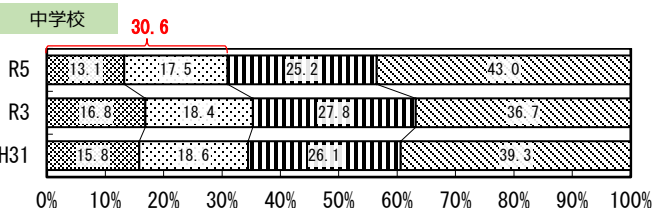
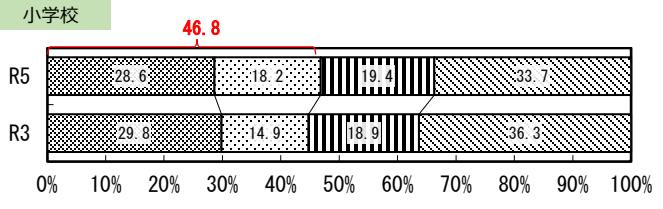


「英語の勉強は好きか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全体で見ると**25.5%**だが、「家庭学習としてICT機器を使用した頻度」につき「ほぼ毎日」と回答した生徒のうち、「英語の勉強は好きか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は**61.9%**。

【児童】 これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか。（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）

【生徒】 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか。（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



クロス集計

クロス集計

(3) ICTを活用した学習状況

① ICTの活用状況等

分析結果のポイント

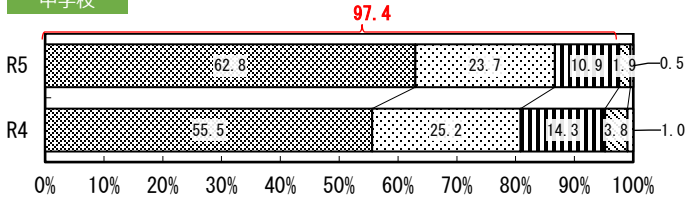
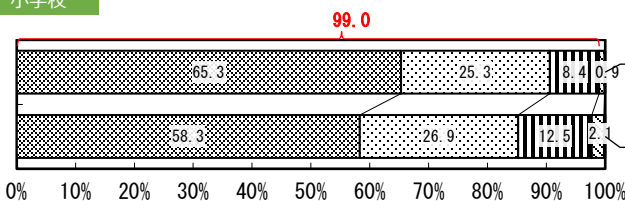
- ICT機器の活用が進んでいる。授業においてICT機器を「ほぼ毎日」活用している割合は、昨年度より小中学校ともに約7ポイント増加している。
- ICT機器が、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒、外国人児童生徒に対する学習活動等の支援や、児童生徒の心身の状況の把握等にも活用されている。

【学校】 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか。

ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満

小学校

中学校

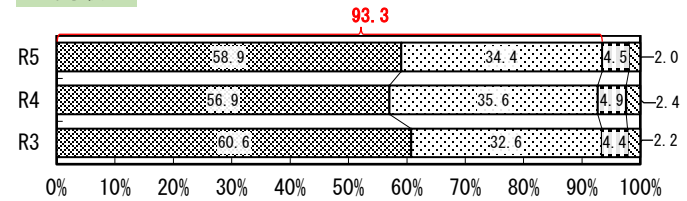
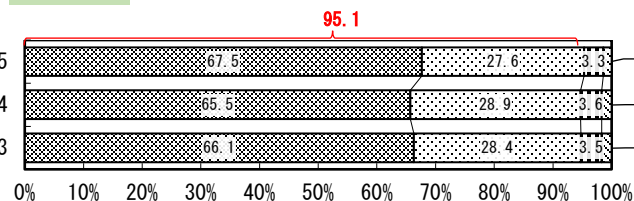


【児童生徒】 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

役に立つと思う
 どちらかといえば、役に立つと思う
 どちらかといえば、役に立たないと思う
 役に立たないと思う

小学校

中学校

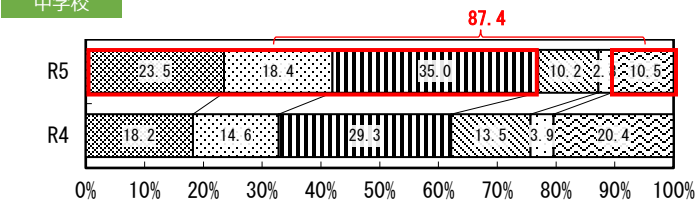
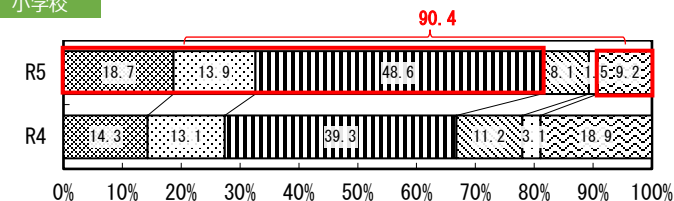


【学校】 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。

毎日持ち帰って、毎日利用させている
 毎日持ち帰って、時々利用させている
 時々持ち帰って、時々利用させている
 持ち帰らせていない
 持ち帰ってはいけないこととしている
 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている

小学校

中学校

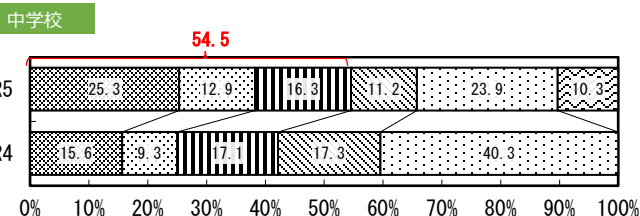
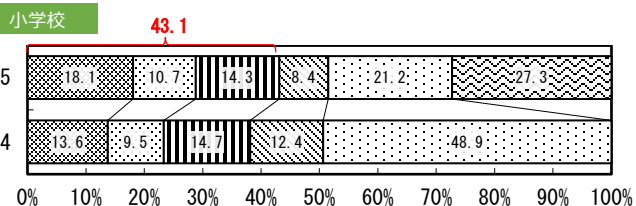


【学校】 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、以下のような用途での程度活用していますか。

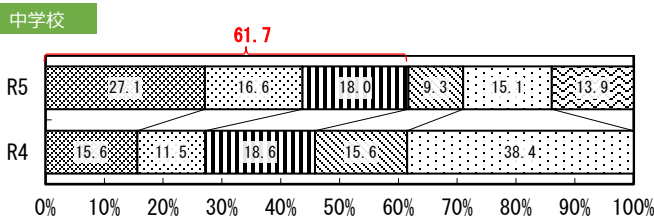
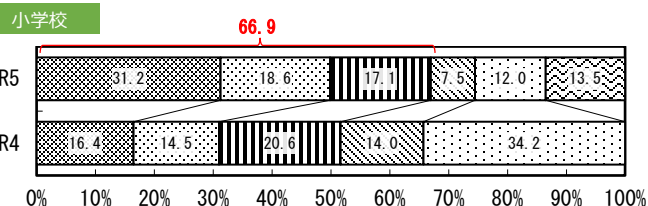
ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満
 該当する児童生徒がいなかった

※「該当する児童生徒がいなかった」はR5新規選択肢

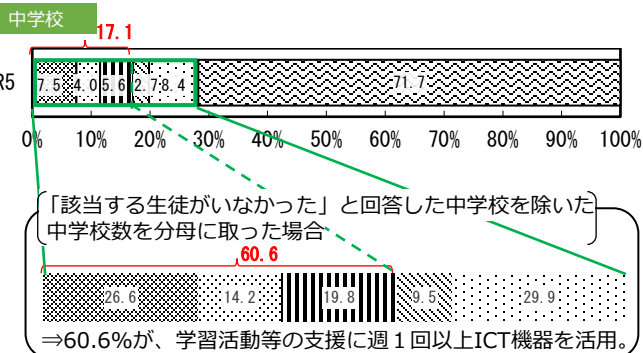
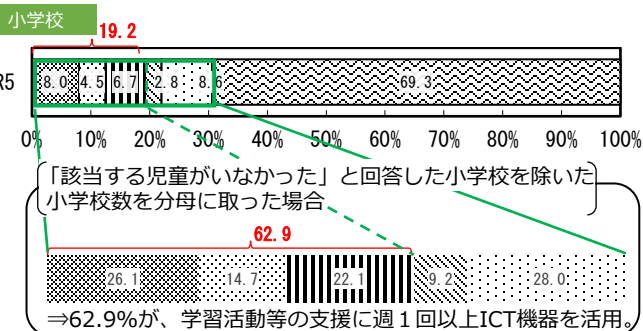
(1) 不登校児童生徒に対する学習活動等の支援



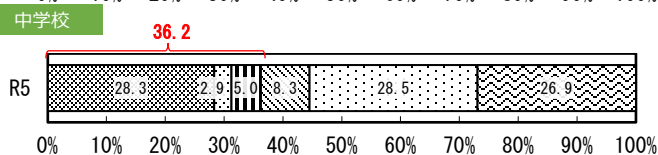
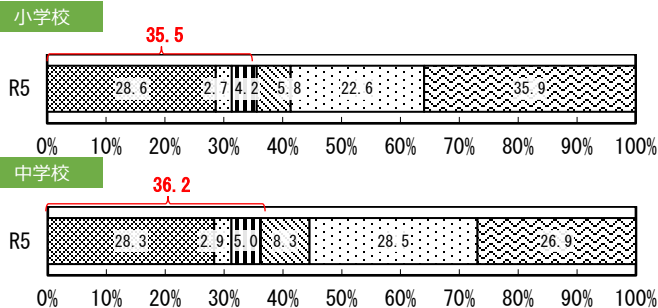
(2) 特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援



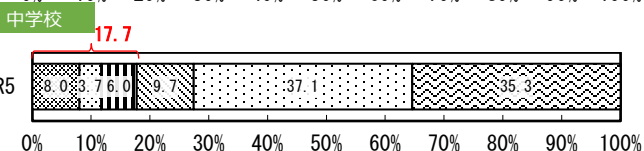
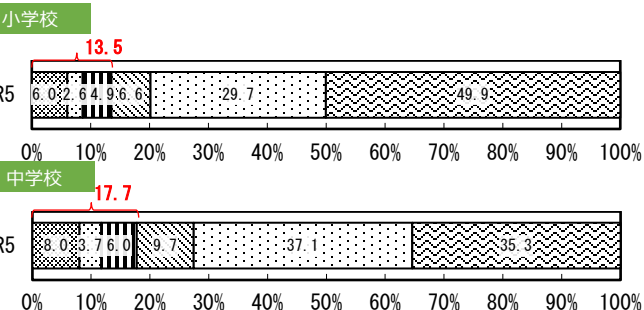
(3) 外国人児童生徒に対する学習活動等の支援（新規）



(4) 児童生徒の心身の状況の把握（新規）



(5) 児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援（新規）



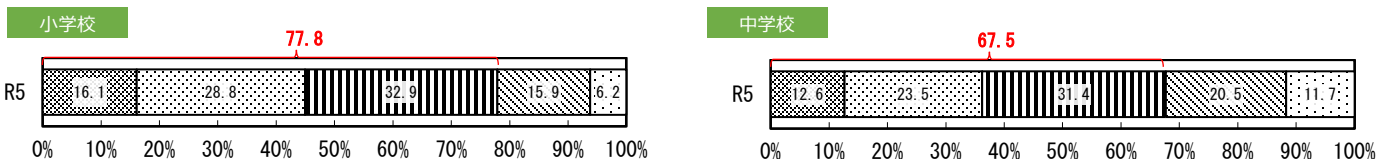
② 個別最適な学び（個に応じた指導）や主体的・対話的で深い学びにおけるICTの活用状況等

分析結果のポイント

○個に応じた指導など、授業における様々な場面でICT機器が活用されている。また、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っている学校ほど、ICT機器を活用している傾向が見られる。

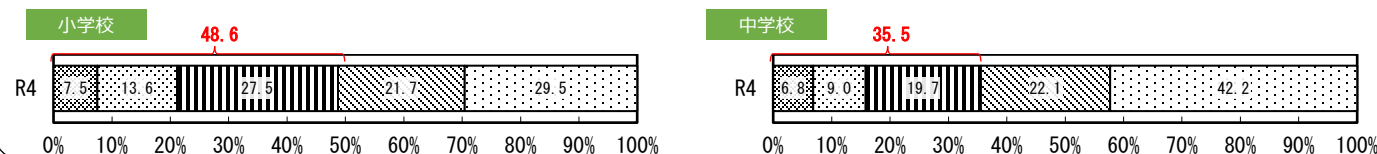
【学校】 調査対象学年の児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。（新規）

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



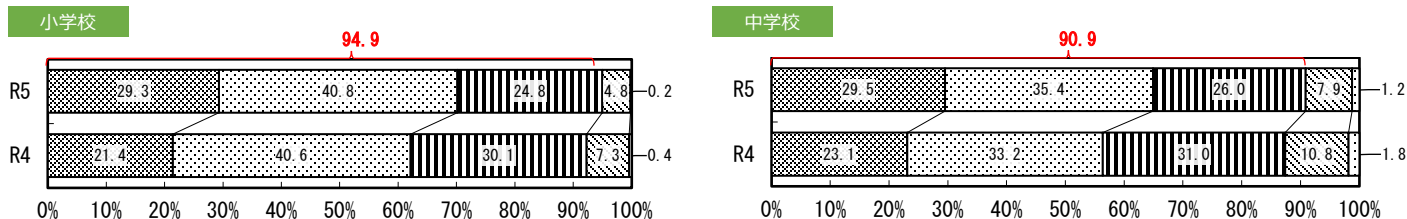
（参考：R4学校質問紙）児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童生徒の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか。

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



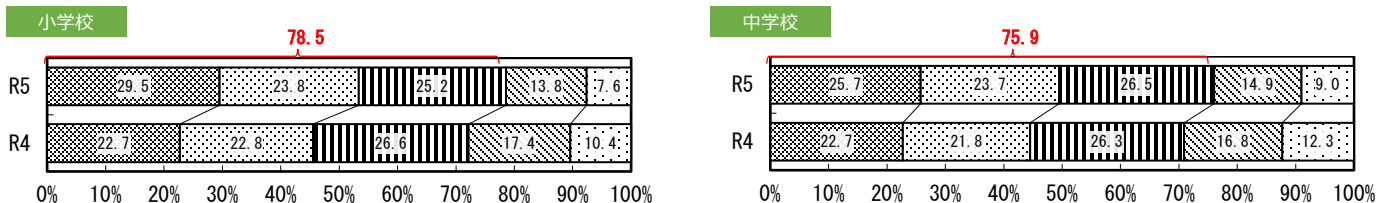
【学校】 調査対象学年の児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



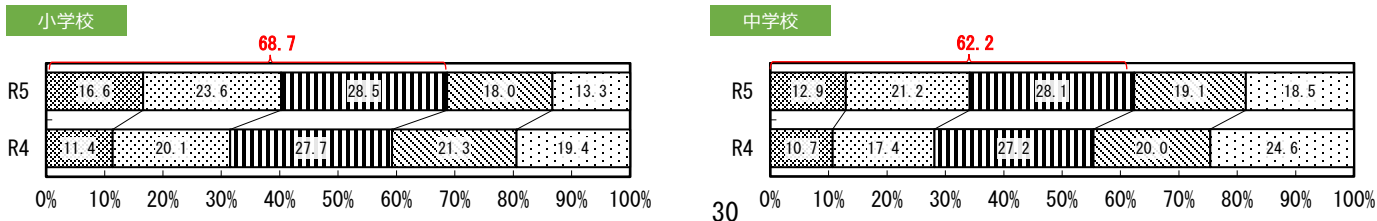
【学校】 教職員と調査対象学年の児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



【学校】 調査対象学年の児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。

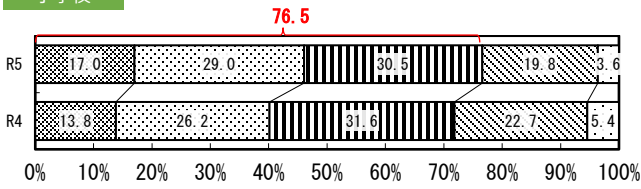
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



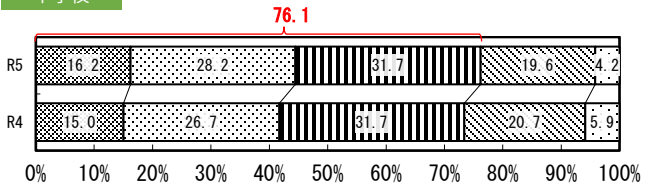
【学校】 調査対象学年の児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

小学校



中学校



「ICT機器の活用」と「主体的・対話的で深い学び」との関係

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っている学校ほど、ICT機器を活用している傾向が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られる。

【主体的・対話的で深い学び】 × 【ICT機器の活用】

児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

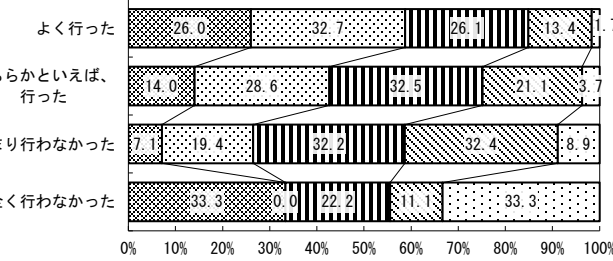
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、発表するなどの学習活動を取り入れましたか

クロス集計

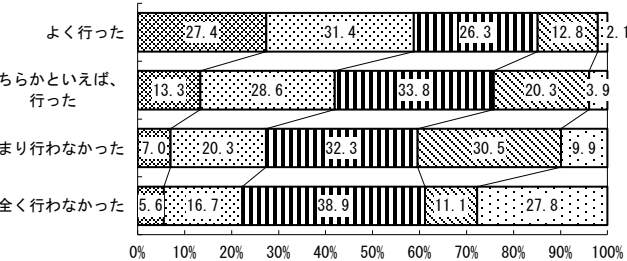
小学校

0.227



中学校

0.238

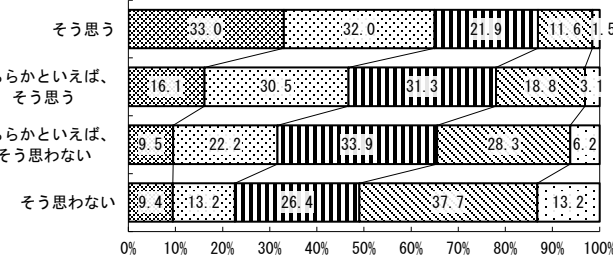


児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

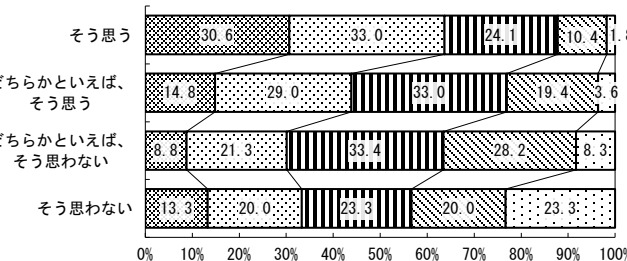
小学校

0.220



中学校

0.227

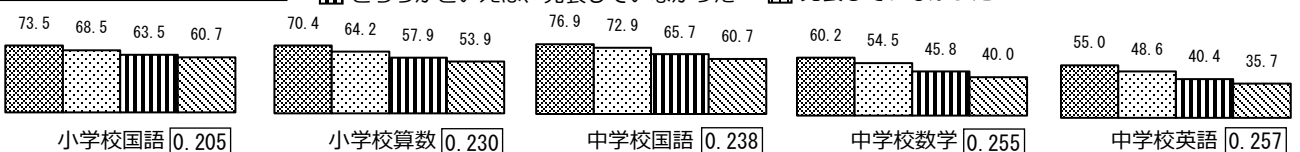


【主体的・対話的で深い学び】 と 【平均正答率】 との関係 (再掲)

【児童生徒】 5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

選択肢ごとの教科の平均正答率

■ 発表していた ■ どちらかといえば、発表していた ■ どちらかといえば、発表していなかった ■ 発表していなかった



③ ICTの活用を推進するための有効な取組

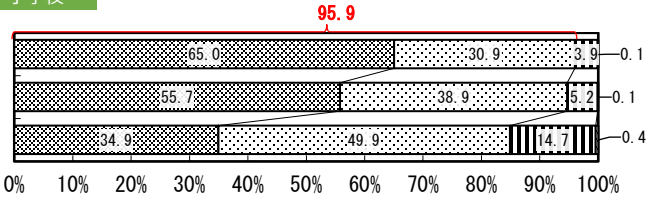
分析結果のポイント

○教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会が設けられている学校の方が、ICT機器の活用が進んでいる傾向が見られた。

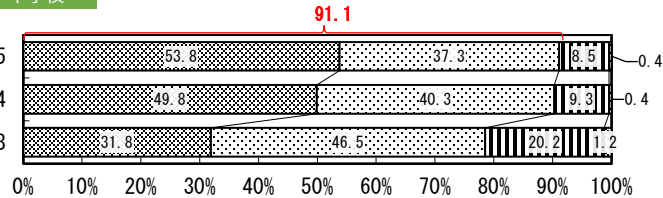
【学校】 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。

■ ある ■ どちらかといえば、ある ■ どちらかといえば、ない ■ ない

小学校



中学校

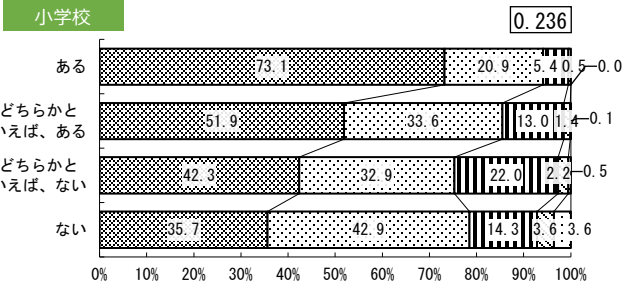


【ICT機器の使い方を学ぶ研修機会】 × 【授業におけるICT機器の活用頻度】

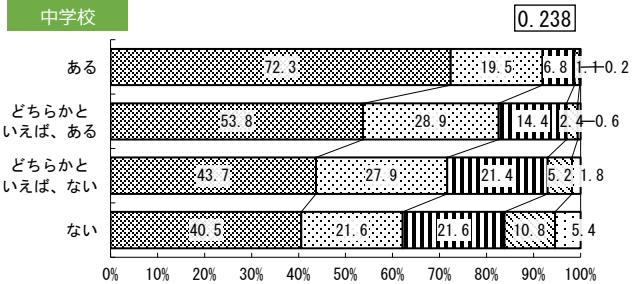
調査対象学年の児童生徒に対して、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

小学校



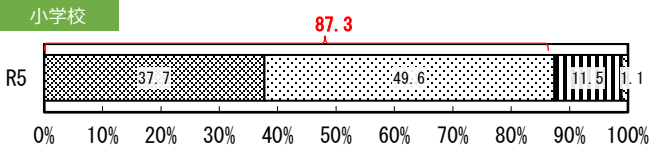
中学校



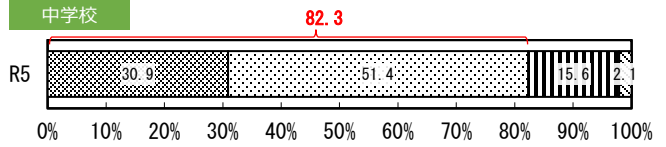
【学校】 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。(新規)

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

小学校



中学校



クロス集計

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

(4) 児童生徒の挑戦心、自己有用感、幸福感等に関する状況

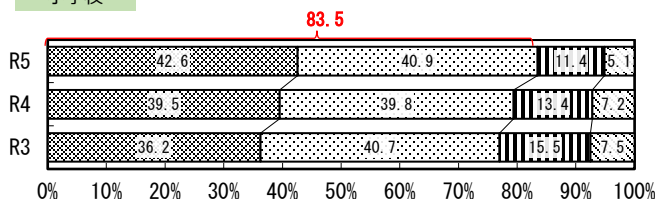
分析結果のポイント

- 「友達関係に満足しているか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」との間に対して、約90%の児童生徒が肯定的に回答している。
- 主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びに関する設問と児童生徒の自己有用感等に関する設問の間には相関が見られる。主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等に影響を与えている可能性がある。

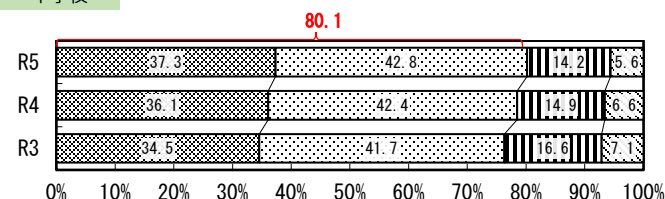
【児童生徒】自分には、よいところがあると思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



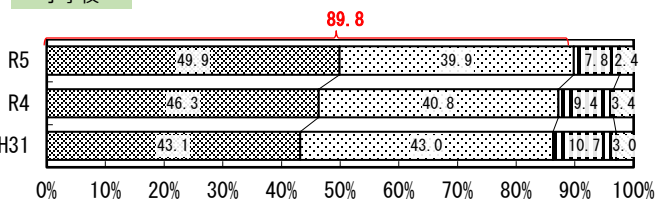
中学校



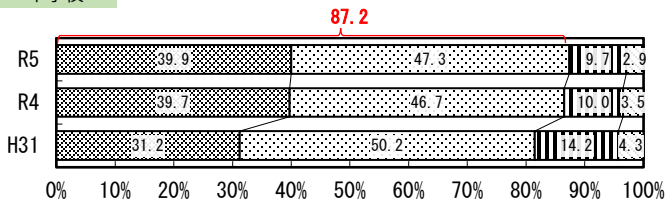
【児童生徒】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



中学校

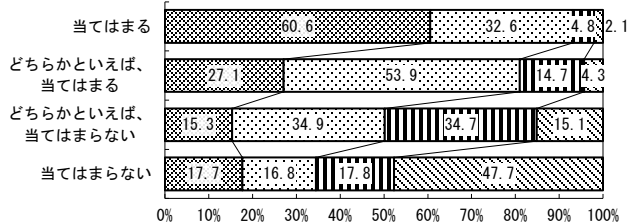


【先生がよいところを認めてくれる】 × 【自分にはよいところがあると思う】

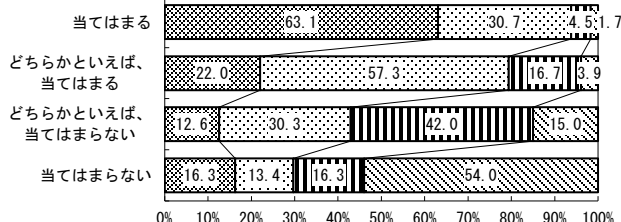
自分には、よいところがあると思いますか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



中学校

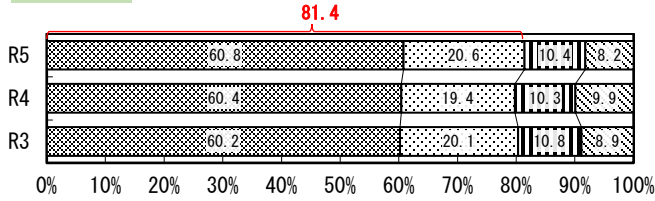


クロス集計

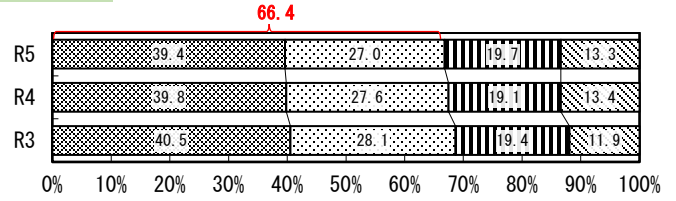
【児童生徒】将来の夢や目標を持っていますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



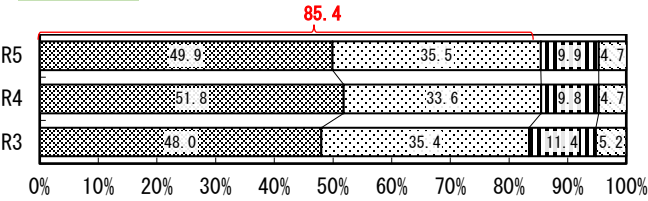
中学校



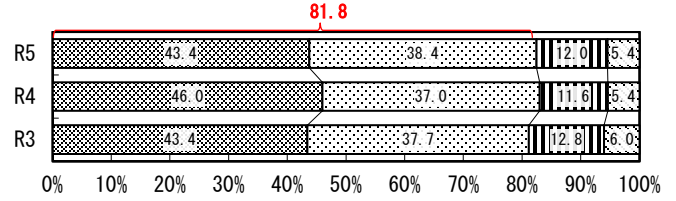
【児童生徒】学校に行くのは楽しいと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



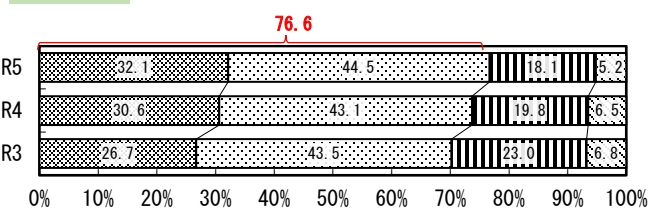
中学校



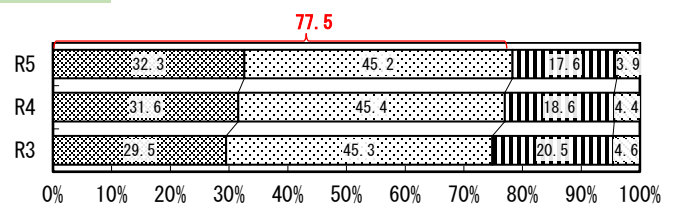
【児童生徒】自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



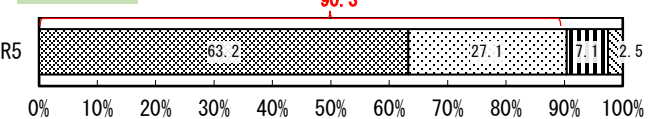
中学校



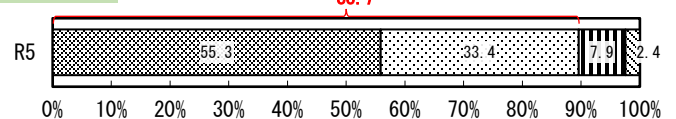
【児童生徒】友達関係に満足していますか。（新規）

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



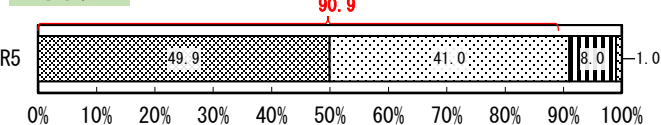
中学校



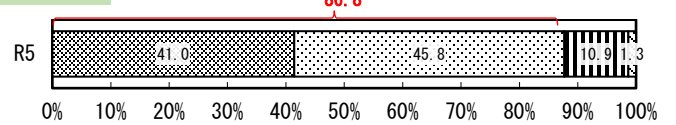
【児童生徒】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。（新規）

よくある
 ときどきある
 あまりない
 全くない

小学校



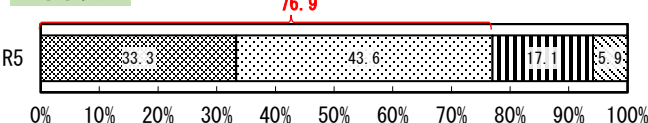
中学校



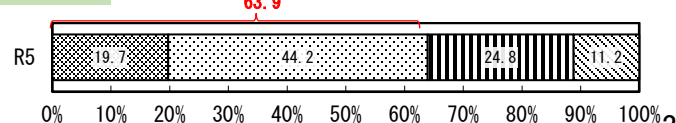
【児童生徒】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。（新規）

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

小学校



中学校

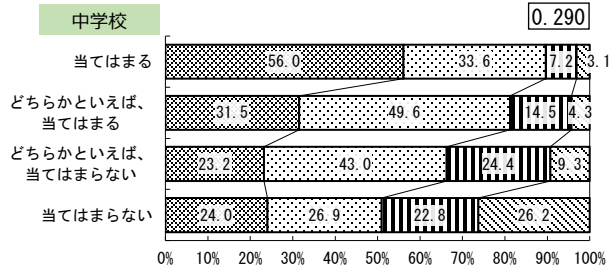
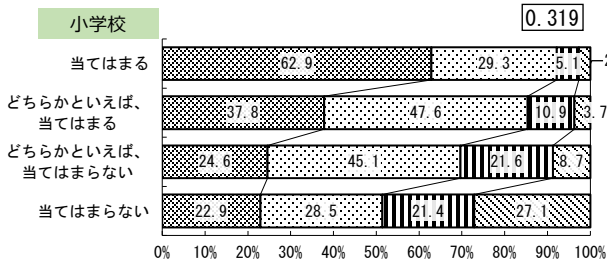


【課題の解決に向けて自分から取り組んだ】 × 【自分にはよいところがあると思う】

自分には、よいところがあると思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

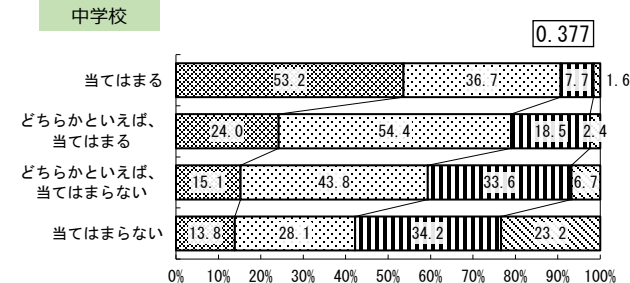
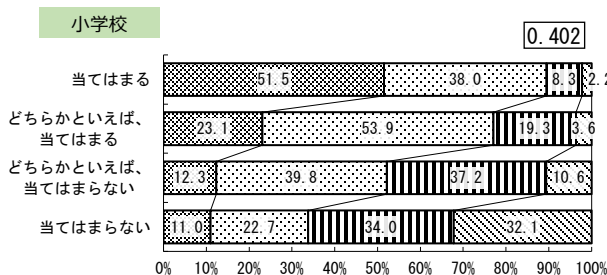


【話し合いにより考えを深め広げた】 × 【自分と違う意見について考えるのは楽しい】

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

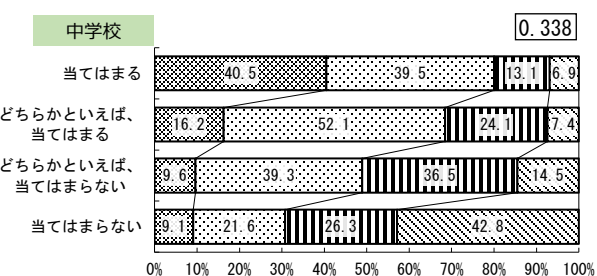
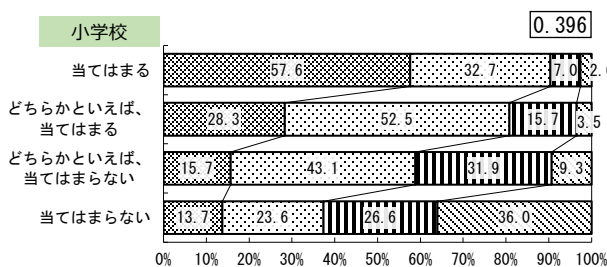


【学んだことを生かしながら考えをまとめる活動をした】 × 【地域や社会をよくするために何かしてみたい】

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

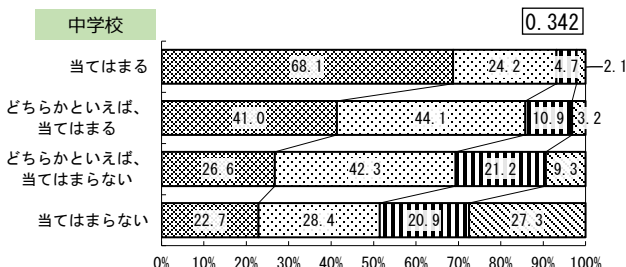
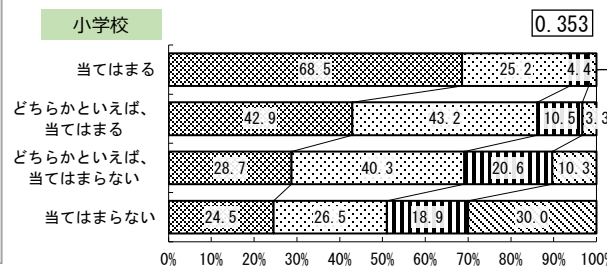


【自分にあつた授業】 × 【学校に行くのが楽しい】

学校に行くのが楽しいと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

授業は、学習時間などになつていましたか



4. 文部科学省の主な取組一覧

1. 学習指導要領の着実な実施

○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ・学習指導要領の趣旨・内容の周知・徹底。（各都道府県等の指導主事を対象とした協議会の開催。）
- ・学力向上やカリキュラム・マネジメントに関する成果のとりまとめ・周知。

○指導改善に資する情報提供等（国立教育政策研究所）

- ・報告書（授業アイデア例を含む）を作成し、国立教育政策研究所のWebサイトに掲載（教育委員会や学校等で学習指導の改善・充実を図る際に活用）。
- ・全国説明会（各教育委員会、教員養成大学等対象）を開催し、学習指導の改善・充実のポイントを解説（8月22日（火）オンライン開催）。
- ・オンラインなども活用しながら、学力調査官等による教育委員会や学校への指導・助言を実施。

2. 英語の学習指導の改善・充実

- ・教育委員会における英語力向上に向けた取組の支援（教師の英語力向上、小中連携等）。
- ・生きた英語に触れる機会の充実を図るため、ALT（外国語指導助手）の地方財政措置の拡充。
- ・教師の指導力・英語力向上のための年間を通じたオンライン研修の実施。
- ・海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進。

<令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取組>

- ・調査結果から見えた「話すこと」などの課題や指導のポイントを解説した動画を新たに作成（文部科学省YouTube channelにこれまで授業映像や解説動画を87本掲載）。
- ・各都道府県等の指導主事を対象とした協議会の開催や、MEXCBT（文部科学省CBTシステム）への調査問題の搭載等、調査問題を活用した学習指導の改善を促進。
- ・デジタルを活用したパフォーマンステストの実施促進など言語活動の充実。

3. GIGAスクール構想の更なる取組の推進

令和5～6年度を集中推進期間として、自治体・学校への伴走支援の取組を抜本的に強化。

- ・GIGA StuDX推進チームによる研修の実施、自治体の課題に応じた支援の提案。
- ・国費による学校DX戦略アドバイザーの派遣等による支援。
- ・切れ目のない研修コンテンツの提供。

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- ・道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進。

5. 学校における指導・運営体制の充実

- ・小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善。
- ・教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実。

6. 調査結果を活用した追加分析等

○令和5年度調査の結果を活用した追加分析

- ・令和5年度調査の英語の教科調査や質問紙調査の結果と英語教育実施状況調査の結果を重層的に分析し、英語の学力に関する課題や、英語の学力の向上に影響を与える学校・教育委員会等の取組等について分析。

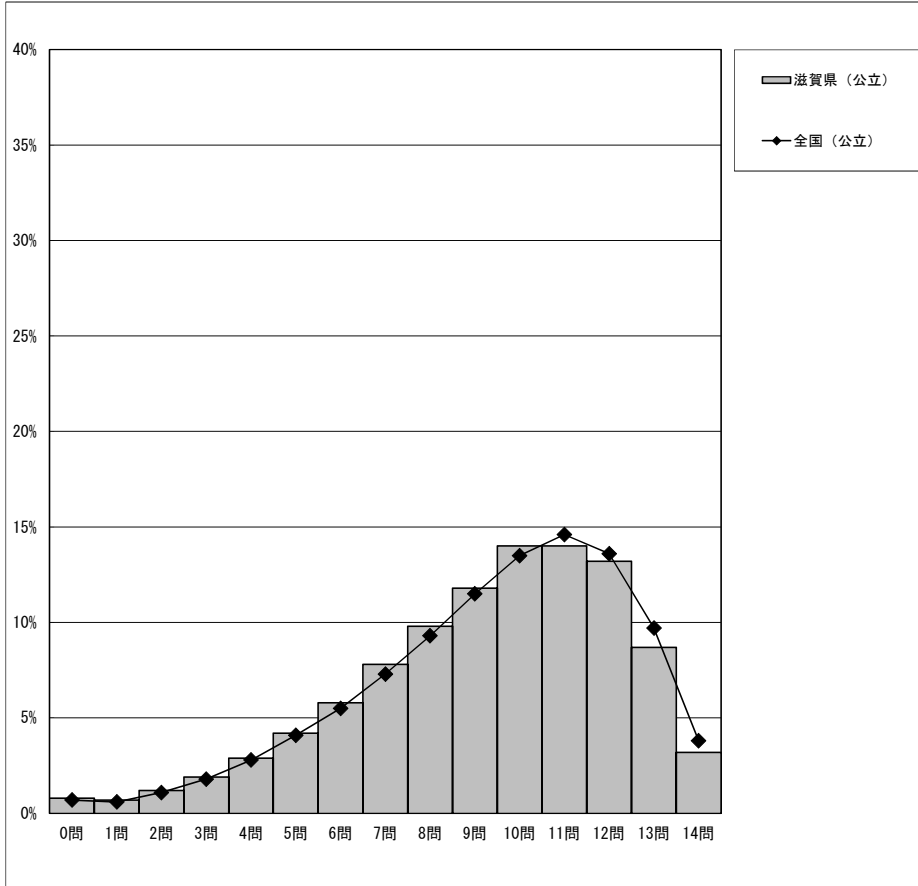
○個票データの貸与

- ・大学等の研究者による多様な学術研究の分析や、公的機関の職員等による教育施策の改善・充実を促進するため、個票データ等の貸与を実施。

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
滋賀県（公立）	12,596	9.3 / 14	66	10.0	2.9
全国（公立）	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



正答数集計値			
正答数	児童数	割合 (%)	
		滋賀県 (公立)	全国 (公立)
14問	397	3.2	3.8
13問	1,092	8.7	9.7
△ 12問	1,665	13.2	13.6
11問	1,763	14.0	14.6
◇ 10問	1,758	14.0	13.5
9問	1,492	11.8	11.5
8問	1,236	9.8	9.3
▽ 7問	984	7.8	7.3
6問	732	5.8	5.5
5問	533	4.2	4.1
4問	371	2.9	2.8
3問	242	1.9	1.8
2問	148	1.2	1.1
1問	84	0.7	0.6
0問	99	0.8	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

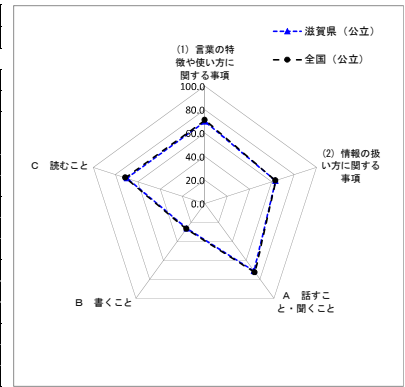
	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	8.0問

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数		滋賀県（公立）	全国（公立）	対象児童数	滋賀県（公立）	全国（公立）
		222	18,618		12,596	964,177
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			全体		滋賀県（公立）	全国（公立）
全体		14	66	67.2		
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	5	70.0	71.2	
		(2) 情報の扱い方に關する事項	2	63.3	63.4	
		(3) 我が国の言語文化に關する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	71.0	72.6	
B 書くこと		1	26.1	26.7		
C 読むこと		3	69.9	71.2		
評価の観点	知識・技能	7	68.1	68.9		
	思考・判断・表現	7	64.1	65.5		
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	73.0	73.6		
	短答式	2	60.4	62.7		
	記述式	3	49.3	51.1		

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



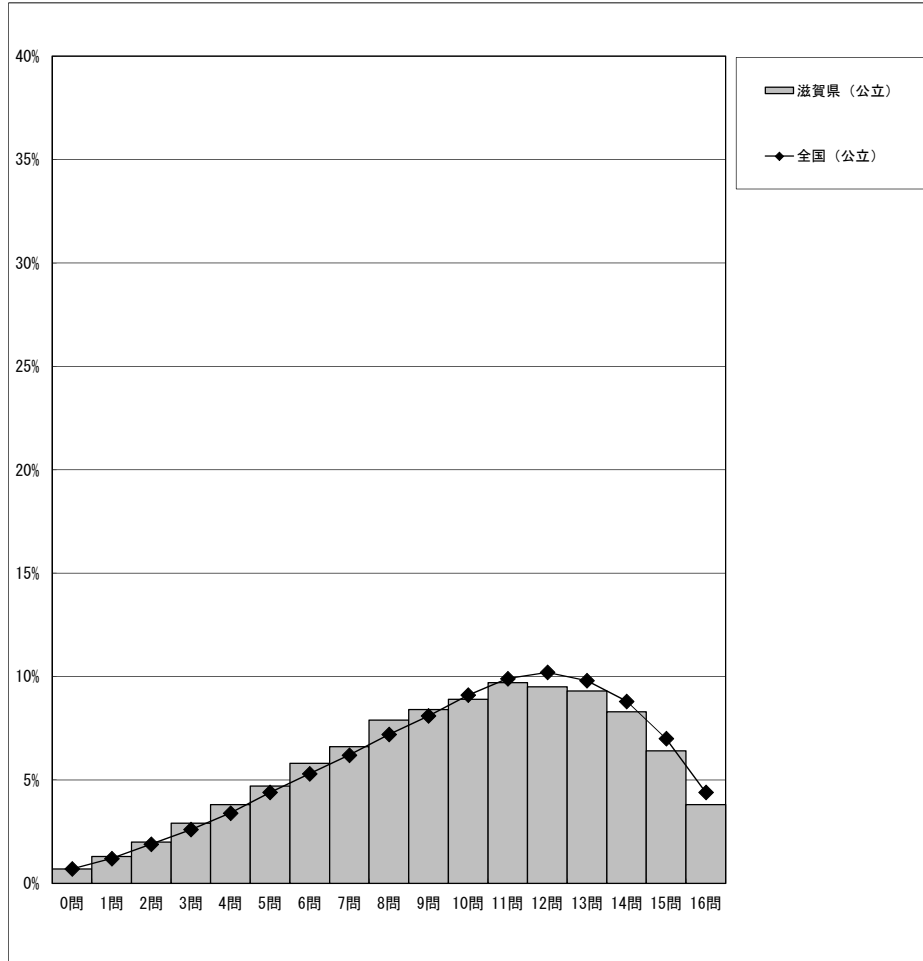
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)				
			知識及び技能					選択式	短答式	記述式	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項									
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	5・6 ア			○		64.4	64.7	1.9	1.8			
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる			5・6 エ	○		26.1	26.7	8.2	7.1			
1三 (1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(はがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 エ			○		47.8	52.8	4.2	4.8			
1三 (1)ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(きかん)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 エ			○		72.9	72.6	5.6	6.7			
1三 (2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する(くらべて)	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 ウ			○		92.6	93.1	1.0	1.0			
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	5・6 カ			○		79.1	79.8	2.3	2.0			
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる			3・4 ウ	○		90.0	90.0	1.4	1.2			
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる			5・6 ウ	○		65.1	67.4	1.5	1.4			
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6 イ			○		62.3	62.0	1.7	1.6			
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったこととともに、自分ができることをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			5・6 オ	○		54.5	56.2	9.4	8.5			
3一 (1)	【インタビューの様子の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)]のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる			3・4 エ	○		73.2	73.6	4.0	3.7			
3一 (2)	【インタビューの様子の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)]のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる			3・4 エ	○		72.6	74.0	4.4	4.1			
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			5・6 エ	○		67.2	70.2	16.0	14.3			
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	5・6 キ			○		57.5	57.6	12.0	9.5			

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
滋賀県（公立）	12,604	9.7 / 16	61	10.0	3.8
全国（公立）	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



正答数	正答数集計値		
	児童数	割合(%)	
	滋賀県(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)
16問	473	3.8	4.4
15問	805	6.4	7.0
14問	1,047	8.3	8.8
△ 13問	1,166	9.3	9.8
12問	1,203	9.5	10.2
11問	1,227	9.7	9.9
◇ 10問	1,119	8.9	9.1
9問	1,054	8.4	8.1
8問	993	7.9	7.2
▽ 7問	834	6.6	6.2
6問	726	5.8	5.3
5問	595	4.7	4.4
4問	479	3.8	3.4
3問	371	2.9	2.6
2問	253	2.0	1.9
1問	167	1.3	1.2
0問	92	0.7	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	滋賀県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

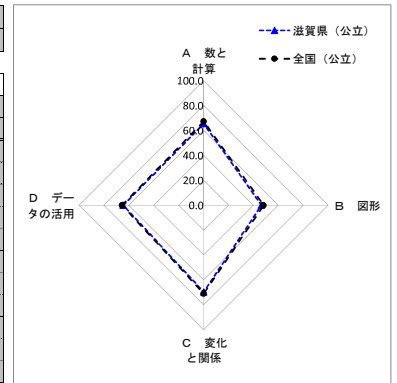
集計結果

対象学校数	滋賀県（公立） 222	全国（公立） 18,615	対象児童数	滋賀県（公立） 12,604	全国（公立） 964,350
-------	----------------	------------------	-------	-------------------	-------------------

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			滋賀県（公立）	全国（公立）
全体				
		16	61	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	65.5	67.3
	B 図形	4	46.4	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	69.6	70.9
評価の観点	D データの活用	3	64.6	65.5
	知識・技能	9	65.5	67.2
	思考・判断・表現	7	55.0	56.5
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	0		
	選択式	5	55.8	57.7
	短答式	7	73.2	74.7
	記述式	4	45.8	47.3

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



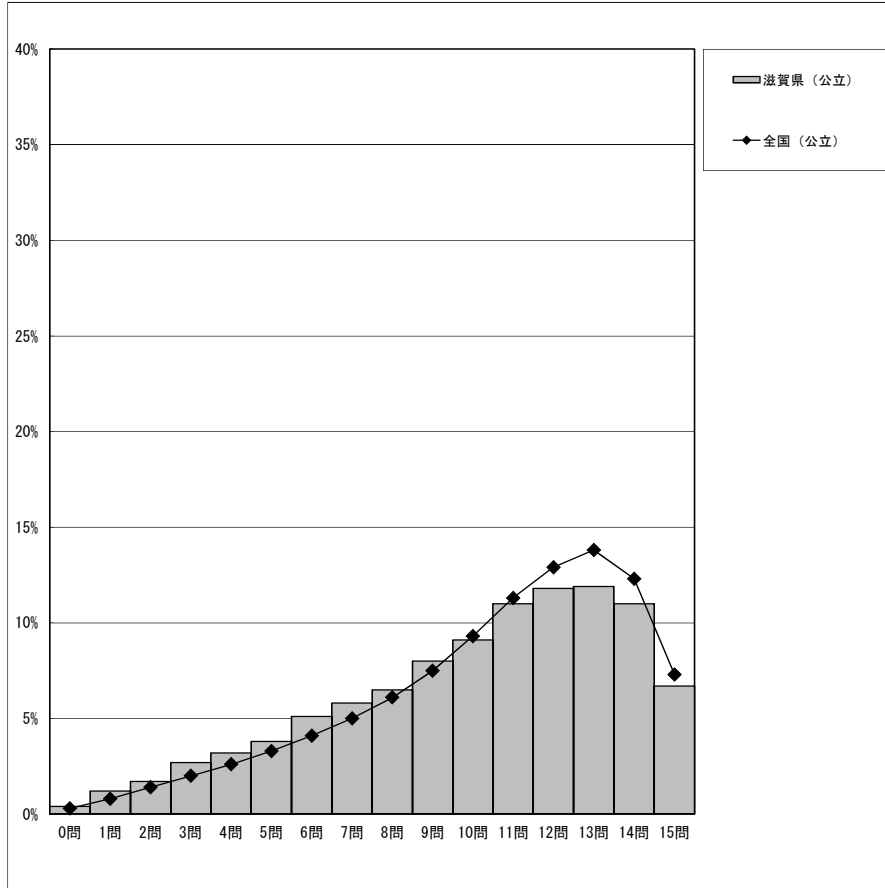
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4 (1) 7 (7)	○				○		92.9	93.5	0.9	0.8	
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5 (1) 4 (7)	○				○		87.4	88.5	1.0	1.0	
1 (3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさを求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5 (1) 4 (7) 5 (2) 4 (7)	○				○		52.6	55.5	3.3	3.4	
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3 (3) 7 (7)				○				○		79.1	80.8	1.3	1.2	
2 (1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				4 (1) 7 (4)	○				○		55.6	59.8	0.7	0.7	
2 (2)	テープを折ったり切ったりしてきた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				2 (1) 7 (4) 4 (1) 7 (7)	○				○		86.1	87.2	3.2	2.9	
2 (3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる				3 (1) 7 (7) 5 (1) 7 (4)	○				○		22.2	24.9	3.8	3.7	
2 (4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる				5 (3) 4 (7)	○				○		21.9	20.8	4.0	4.0	
3 (1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる				4 (6) 4 (7)	○				○		68.6	70.3	1.4	1.4	
3 (2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを揃に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる				3 (5) 7 (4) 4 (4) 5 (1) 7 (2) 7 (7)	○				○		54.6	56.7	3.8	4.0	
3 (3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる				4 (6) 7 (7) 4 (7) 7 (7)	○				○		69.0	72.4	2.4	2.5	
3 (4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	{2位数}÷{1位数}の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる				3 (4) 4 (7) 4 (3) 7 (7)	○				○		45.8	47.6	4.2	3.9	
4 (1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる				5 (3) 7 (4)	○				○		45.4	46.0	2.4	2.4	
4 (2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる				4 (2) 7 (4)	○				○		75.9	75.7	4.6	4.3	
4 (3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				3 (1) 7 (4) 4 (7)	○				○		54.2	56.2	15.3	13.8	
4 (4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる				4 (1) 7 (7)	○				○		63.7	64.6	5.4	4.9	

・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
滋賀県(公立)	11,866	10.0 / 15	67	11.0	3.6
全国(公立)	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
15問	796	6.7	7.3
14問	1,308	11.0	12.3
△ 13問	1,412	11.9	13.8
◇ 12問	1,401	11.8	12.9
◇ 11問	1,311	11.0	11.3
10問	1,084	9.1	9.3
9問	949	8.0	7.5
▽ 8問	777	6.5	6.1
7問	683	5.8	5.0
6問	608	5.1	4.1
5問	454	3.8	3.3
4問	374	3.2	2.6
3問	317	2.7	2.0
2問	196	1.7	1.4
1問	144	1.2	0.8
0問	52	0.4	0.3

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	滋賀県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問

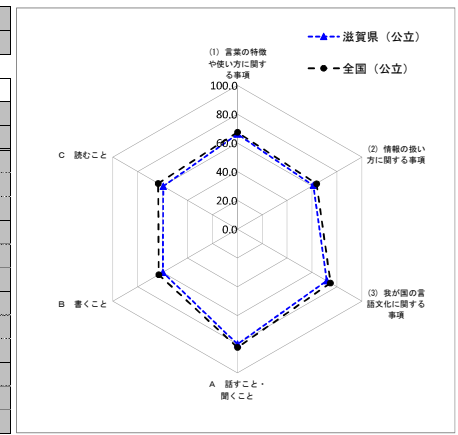
・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立） 102	全国（公立） 9,336	対象生徒数	滋賀県（公立） 11,866	全国（公立） 892,738
-------	----------------	-----------------	-------	-------------------	-------------------

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体			15	67	69.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	2	66.2	67.5
		(2) 情報の扱い方に關する事項	2	60.9	63.4
		(3) 我が国の言語文化に關する事項	3	71.7	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	79.9	82.2
		B 書くこと	2	59.9	63.2
		C 読むこと	4	59.7	63.7
評価の観点	知識・技能	7	67.0	69.4	
	思考・判断・表現	9	66.5	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	7	71.5	73.1	
	短答式	4	62.7	65.6	
	記述式	4	63.2	68.0	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

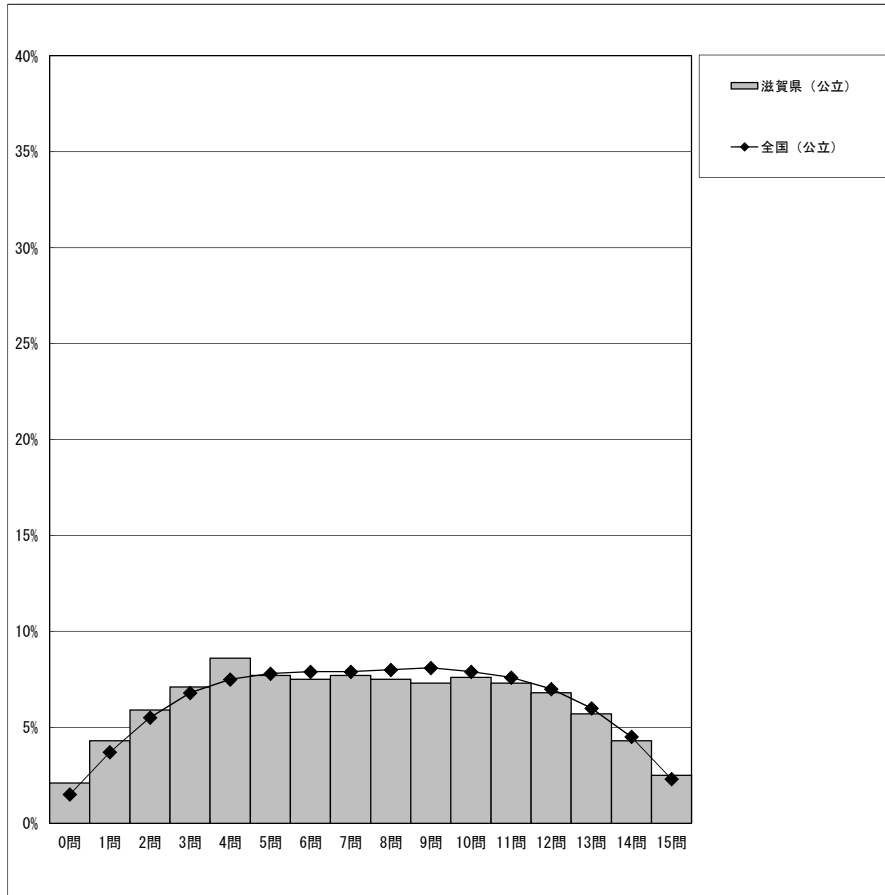
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)				
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと									
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものと適切なものを選択する	目的や場面に於いて質問する内容を検討することができるかどうかをみる					1ア		○	○	86.6	87.5	0.1	0.1			
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア					○	○	64.9	65.1	0.2	0.2			
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものと適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる					1エ		○	○	75.0	76.6	0.3	0.2			
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる					1エ		○	○	78.2	82.5	14.7	10.8			
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1ウ						○	○	89.9	91.1	0.3	0.2			
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものと適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる					2エ		○	○	59.6	63.0	0.6	0.4			
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる					1ア		○	○	71.6	74.2	0.5	0.3			
2四	自分がこれらどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる			2エ		2オ		○	○	63.9	67.5	6.0	3.9			
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる					1エ		○	○	52.9	54.3	1.0	0.6			
3二	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ						○	○	42.4	43.9	11.8	10.7			
3三	『判じ絵』とは何かと見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2ア					○	○	56.9	61.8	3.1	2.1			
3四	『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる					1ウ		○	○	67.0	72.1	14.9	10.2			
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる					1ア		○	○	80.2	82.5	4.9	3.6			
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる					2イ		○	○	71.1	74.1	6.5	4.8			
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる					1エ		○	○	43.7	50.0	27.2	20.7			

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
滋賀県(公立)	11,896	7.5 / 15	50	7.0	4.0
全国(公立)	893,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
15問	294	2.5	2.3
14問	512	4.3	4.5
13問	680	5.7	6.0
12問	813	6.8	7.0
△ 11問	873	7.3	7.6
10問	906	7.6	7.9
9問	865	7.3	8.1
8問	889	7.5	8.0
◇ 7問	920	7.7	7.9
6問	898	7.5	7.9
5問	919	7.7	7.8
▽ 4問	1,023	8.6	7.5
3問	848	7.1	6.8
2問	698	5.9	5.5
1問	508	4.3	3.7
0問	250	2.1	1.5

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

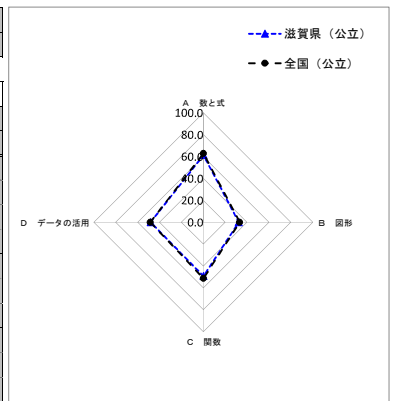
	滋賀県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	7.0問	8.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問

以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立) 102	全国(公立) 9,337	対象生徒数	滋賀県(公立) 11,896	全国(公立) 893,114
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			滋賀県(公立)	全国(公立)	
全体		15	50	51.0	
学習指導要領の領域	A 数と式	5	61.4	63.0	
	B 図形	3	32.3	33.2	
	C 関数	4	49.2	51.2	
	D データの活用	3	48.3	48.5	
評価の観点	知識・技能	10	55.1	55.7	
	思考・判断・表現	5	38.9	41.6	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	45.1	45.3	
	短答式	6	61.8	62.6	
	記述式	5	38.9	41.6	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



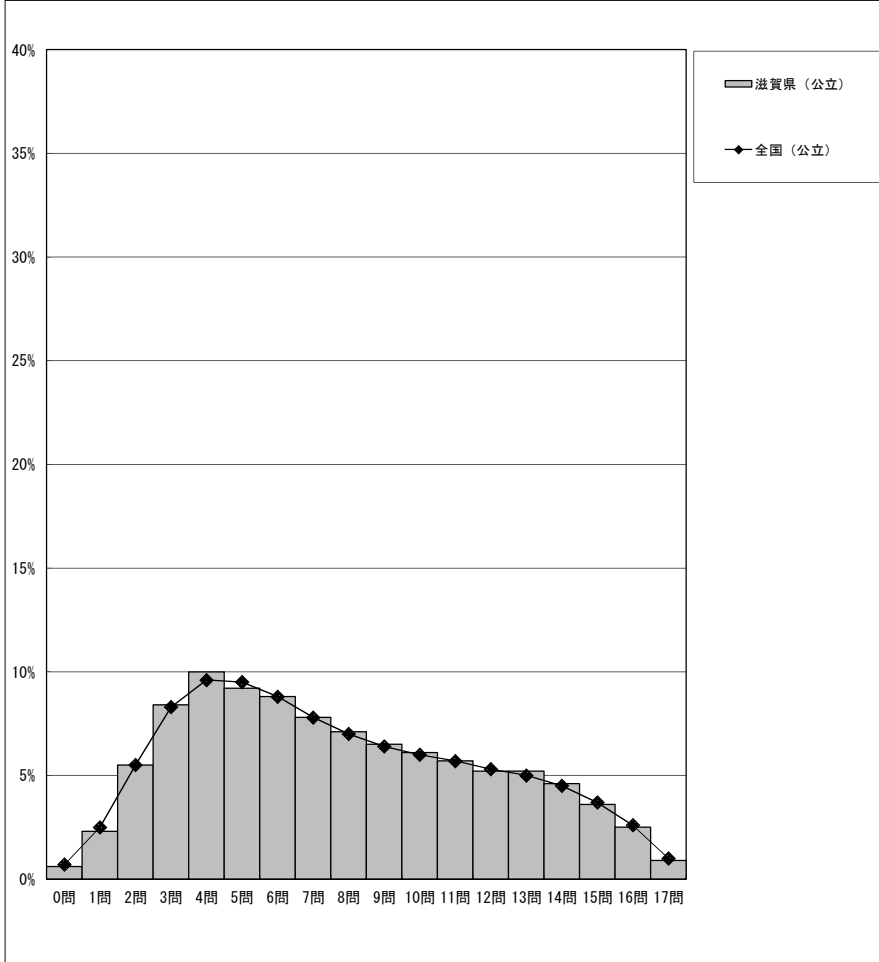
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	滋賀県(公立)	全国(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)
1	-5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1(1) ア(2)				○			○			43.9	46.1	0.2	0.1
2	12(x/4 + y/6)を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2(1) ア(2)				○			○			79.3	80.5	5.4	4.0
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる		1(2) ア(2)			○			○			31.8	30.4	0.8	0.8
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			1(3) ア(4)		○			○			44.0	42.8	0.6	0.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア(2)				○			51.4	46.1	11.1	11.0
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1(1) ア(2)				○			○			87.8	88.9	3.5	2.4
6(2)	はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成させる	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる			2(3) イ(4)		○			○			56.8	58.8	15.1	10.6
6(3)	はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる			2(1) イ(4)		○			○			39.3	40.9	29.9	24.7
7(1)	1961年~1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				2(1) ア(2)	○			○			63.7	65.7	7.0	5.6
7(2)	「2006年~2020年の休業日は、1991年~2005年の休業日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(2)	○			○			29.8	33.6	27.3	22.8
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる				2(1) ア(2) イ(2)	○			○			54.1	57.5	10.7	8.6
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) ア(4)	○			○			60.6	61.7	1.4	1.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区スタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(4)	○			○			38.3	42.8	16.6	13.2
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる				2(1) ア(2)	○			○			30.4	32.1	29.8	24.7
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる				2(2) ア(4) イ(2)	○			○			34.6	37.0	17.4	14.2

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
滋賀県(公立)	11,914	7.7 / 17	46	7.0	4.1
全国(公立)	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
17問	107	0.9	1.0
16問	292	2.5	2.6
15問	428	3.6	3.7
14問	549	4.6	4.5
13問	618	5.2	5.0
12問	617	5.2	5.3
△ 11問	684	5.7	5.7
10問	721	6.1	6.0
9問	775	6.5	6.4
8問	847	7.1	7.0
◇ 7問	935	7.8	7.8
6問	1,053	8.8	8.8
5問	1,097	9.2	9.5
▽ 4問	1,191	10.0	9.6
3問	1,006	8.4	8.3
2問	650	5.5	5.5
1問	269	2.3	2.5
0問	75	0.6	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	滋賀県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	7.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問

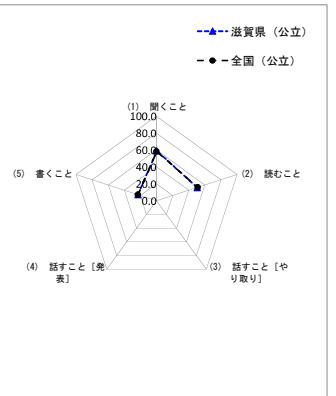
・以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	滋賀県(公立)	全国(公立)
	102	9,335		11,914	893,528

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			滋賀県(公立)	全国(公立)	
全体			17	46	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	59.1	58.4	
	(2) 読むこと	6	50.5	51.2	
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	23.3	23.4	
評価の観点	知識・技能	9	52.1	51.5	
	思考・判断・表現	8	38.1	38.8	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	54.8	54.8	
	短答式	3	30.6	30.1	
	記述式	2	12.3	13.5	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと [やり取り]	(4) 話すこと [発表]	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	滋賀県(公立)	全国(公立)	滋賀県(公立)	全国(公立)
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			82.4	79.0	0.3	0.1
1 (2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			65.6	64.4	0.3	0.2
1 (3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			51.1	49.8	0.3	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			59.6	61.1	0.3	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			38.8	41.2	0.3	0.2
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○			○			56.9	54.8	0.5	0.4
5 (1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○			○			55.8	56.0	0.4	0.3
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○					○			○			64.9	64.5	0.4	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			34.4	35.9	0.3	0.3
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○			○			57.3	59.8	0.4	0.3
7 (2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	イ					○			○			33.8	34.7	0.7	0.7
8 (1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○			○			57.0	56.1	0.8	0.8
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる				ウ		○			○			17.4	19.5	34.1	29.3
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる				ア		○			○			40.4	40.4	7.9	6.6
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる				ア		○			○			21.6	20.9	12.2	10.9
9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる				ア		○			○			29.9	29.0	27.9	24.5
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる				イ		○			○			7.2	7.4	26.5	21.4

回答結果集計 [児童質問紙]

滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

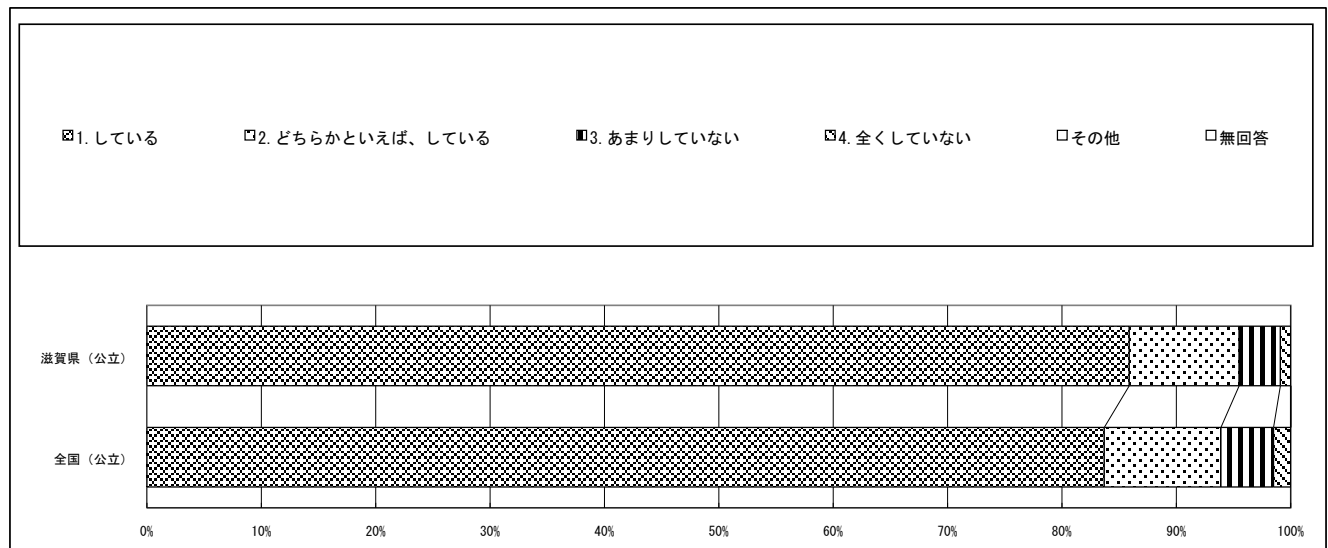
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。

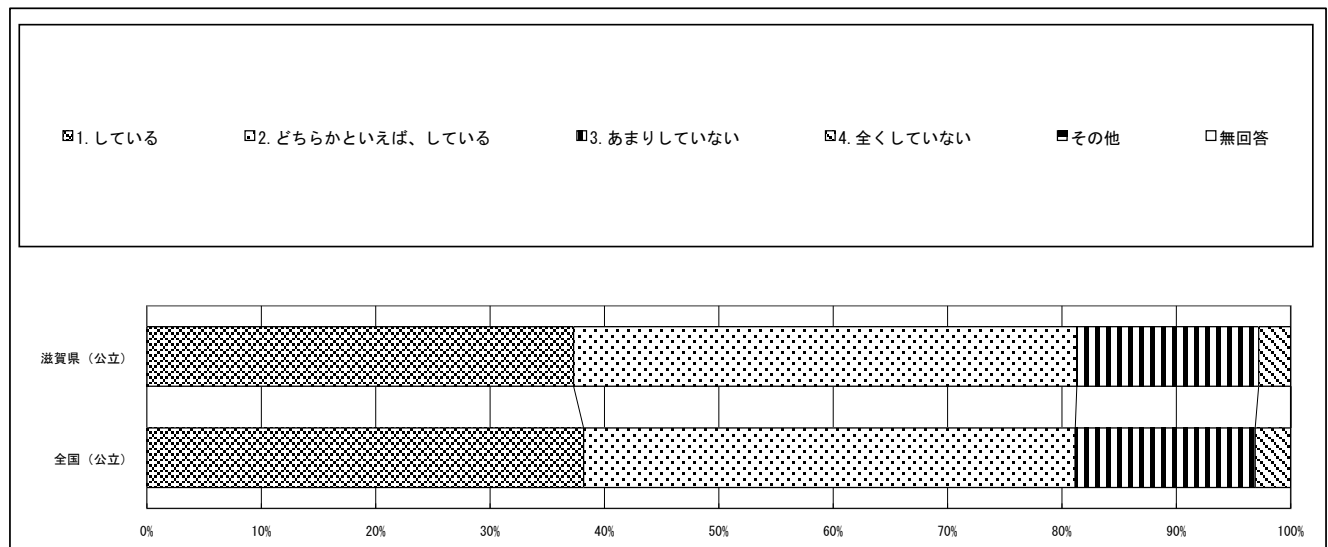
※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

	①質問番号（1）～（59）		②質問番号（国1）（国2）		③質問番号（算1）（算2）	
	児童数	学校数	児童数	学校数	児童数	学校数
滋賀県（公立）	12,756	222	12,722	222	12,728	222

質問番号	質問事項										
(1)	朝食を毎日食べていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	85.8	9.6	3.6	0.9						0.0	0.0
全国（公立）	83.7	10.2	4.6	1.5						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	37.3	44.0	15.9	2.8						0.0	0.0
全国（公立）	38.1	42.9	15.7	3.1						0.0	0.0

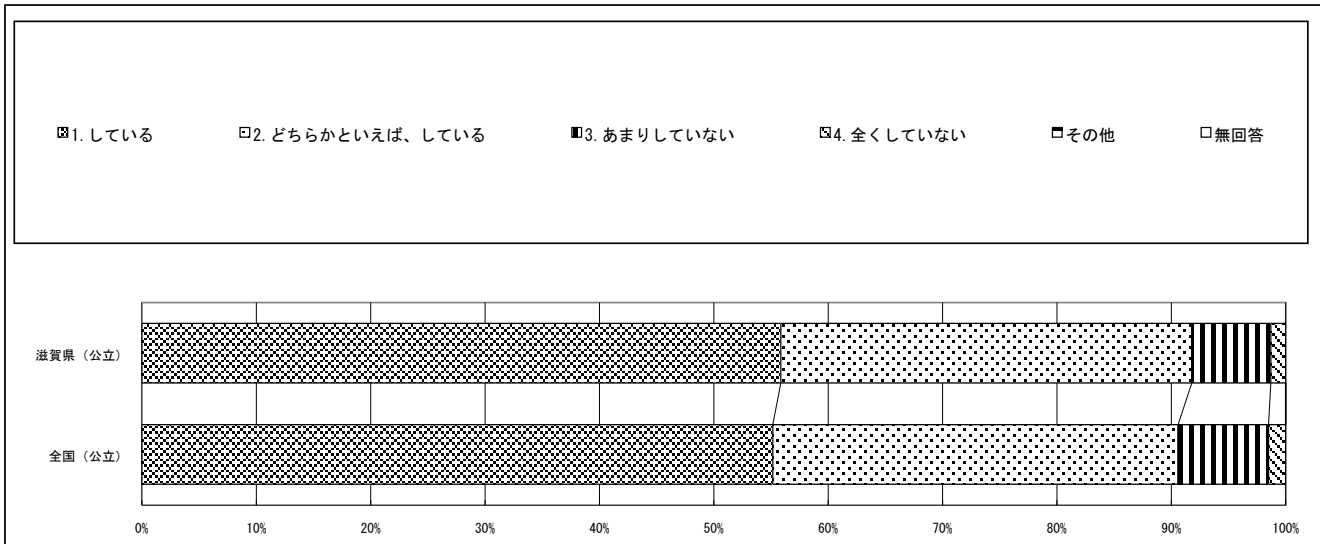


回答結果集計 [児童質問紙]

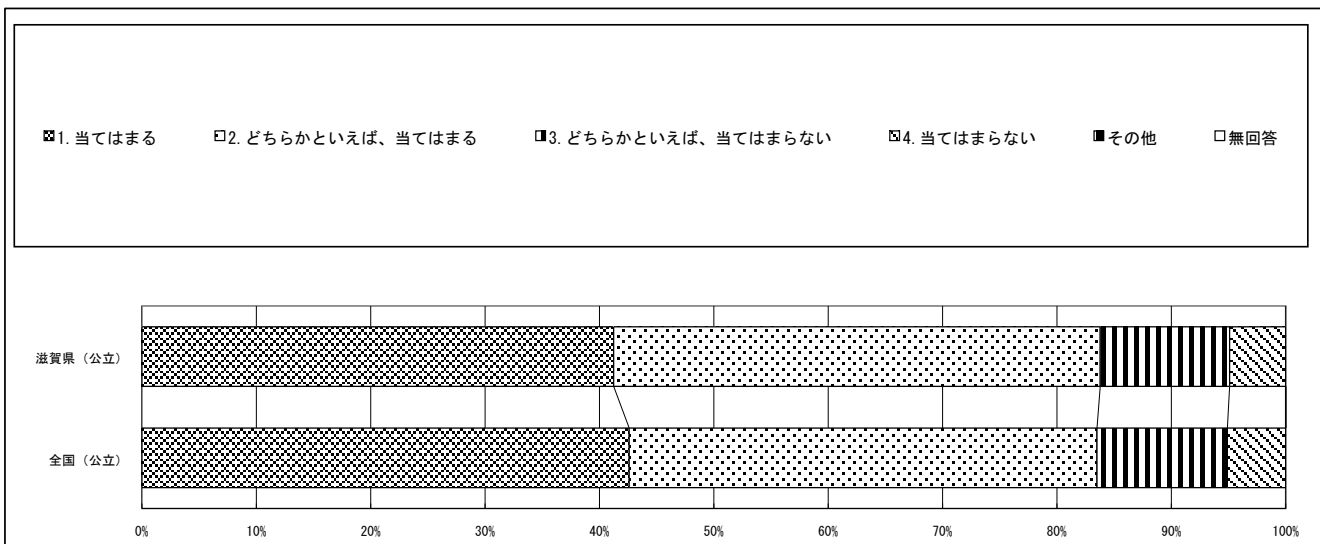
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	55.8	35.9	6.9	1.3						0.0	0.0
全国（公立）	55.1	35.4	7.9	1.5						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(4)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	41.2	42.5	11.3	4.9						0.0	0.0
全国（公立）	42.6	40.9	11.4	5.1						0.0	0.0

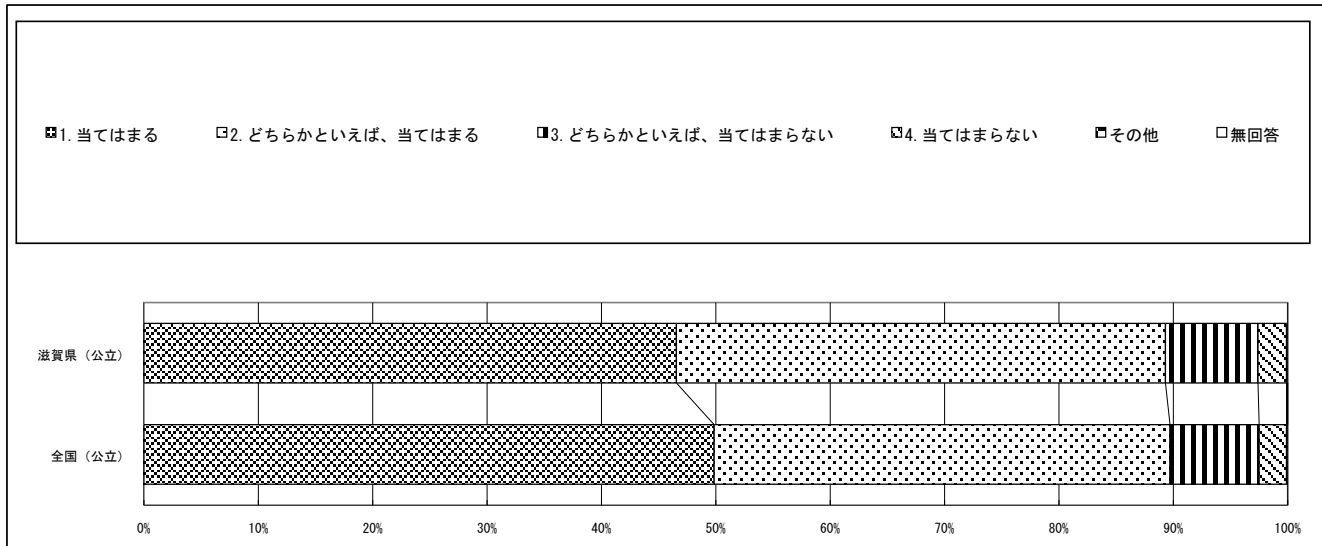


回答結果集計 [児童質問紙]

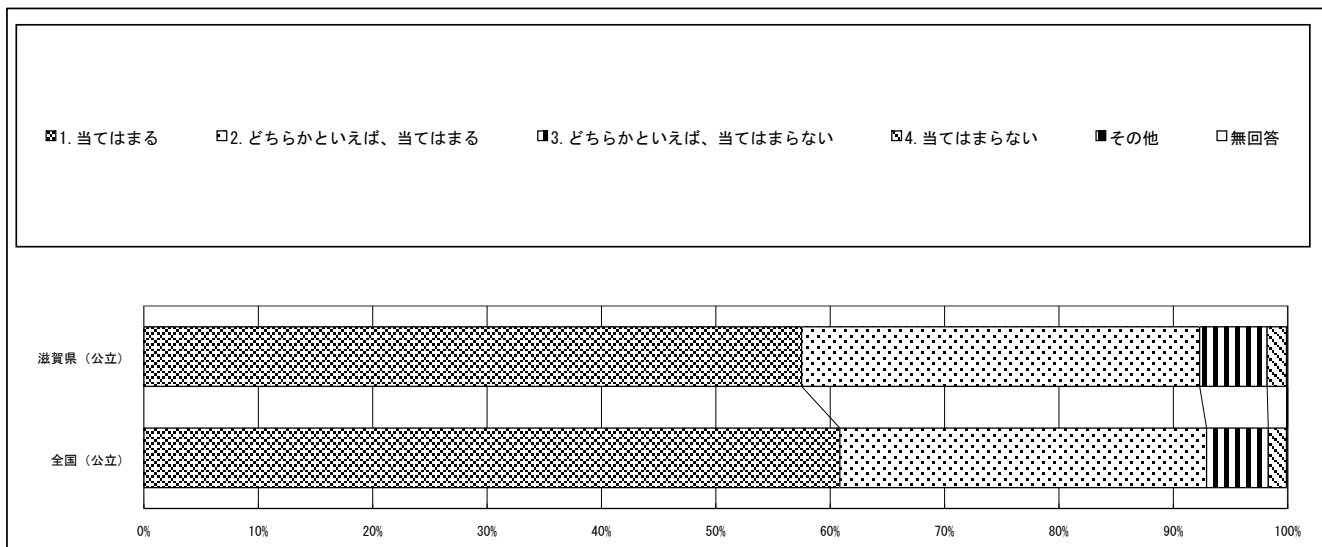
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	46.6	42.8	8.1	2.5						0.0	0.1
全国（公立）	49.9	39.9	7.8	2.4						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	57.5	34.8	5.9	1.7						0.0	0.1
全国（公立）	60.9	32.1	5.4	1.6						0.0	0.1

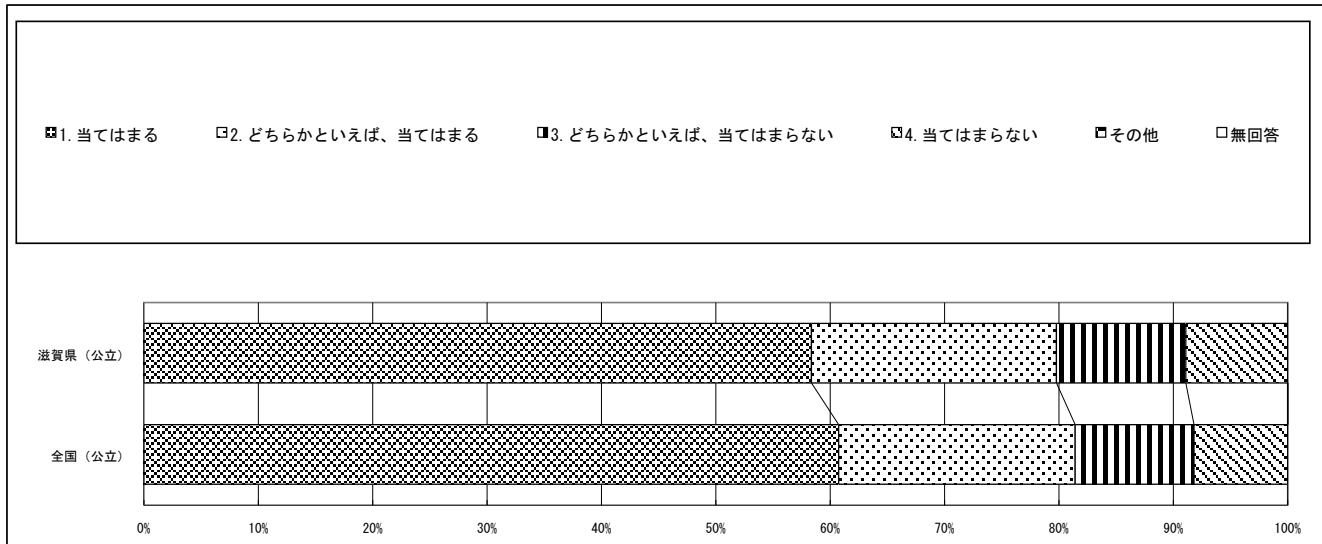


回答結果集計 [児童質問紙]

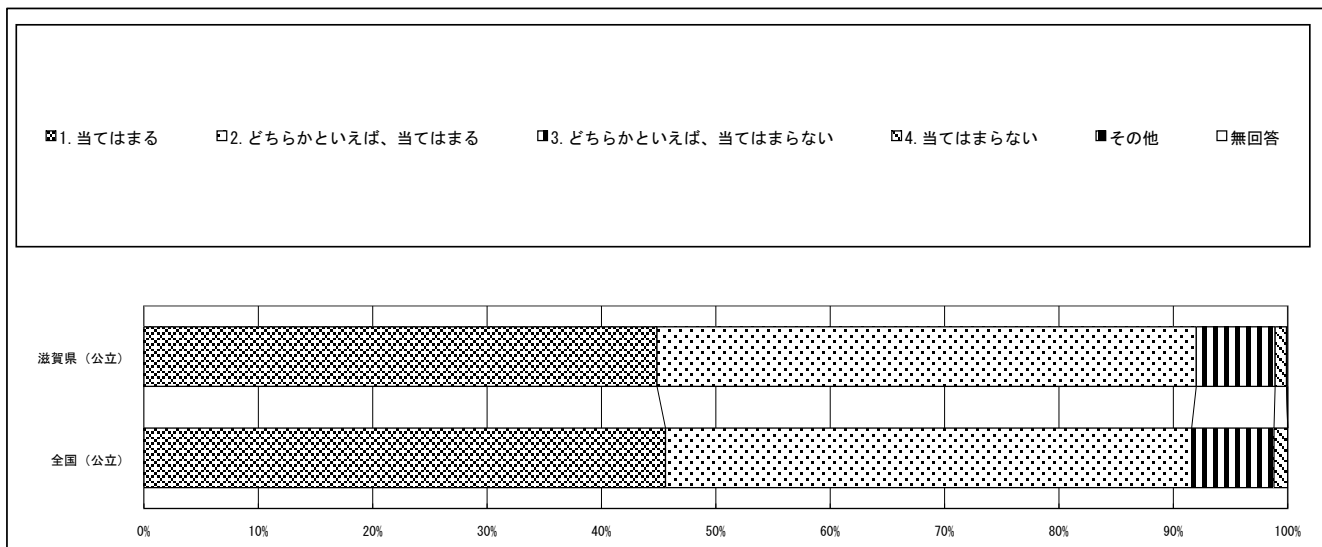
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(7)	将来の夢や目標を持っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	58.3	21.4	11.3	8.9						0.0	0.0
全国（公立）	60.8	20.7	10.4	8.2						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	44.9	47.2	6.9	1.0						0.0	0.1
全国（公立）	45.6	46.0	7.2	1.2						0.0	0.0

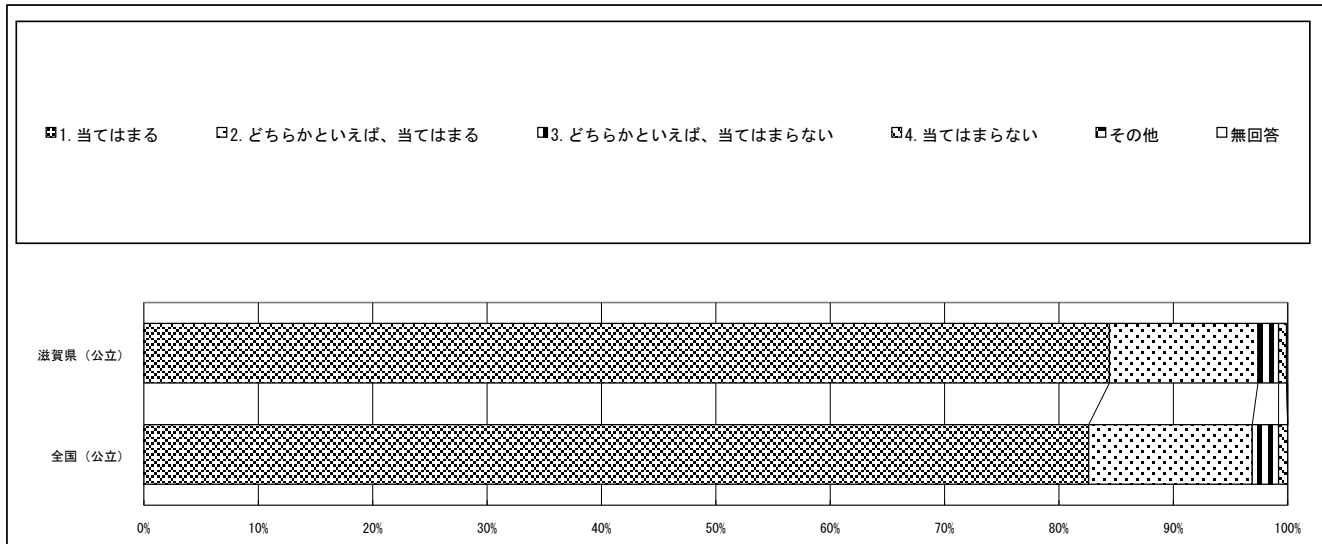


回答結果集計 [児童質問紙]

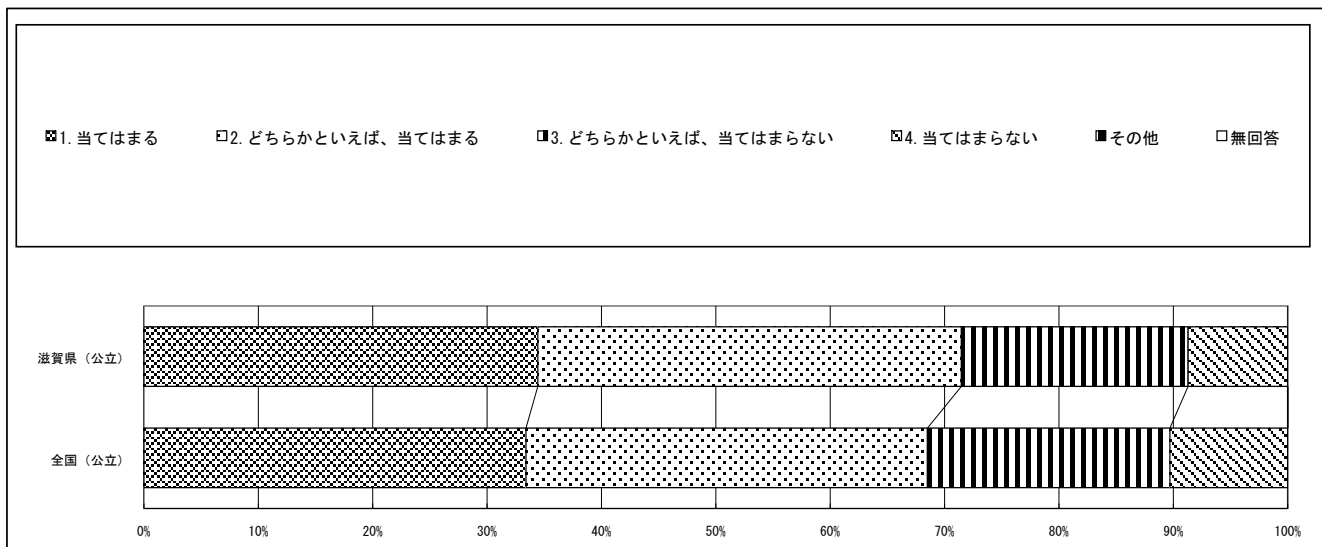
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	84.5	13.0	1.8	0.7						0.0	0.1
全国（公立）	82.6	14.3	2.3	0.8						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	34.4	37.0	19.8	8.7						0.0	0.0
全国（公立）	33.4	35.1	21.2	10.3						0.0	0.0

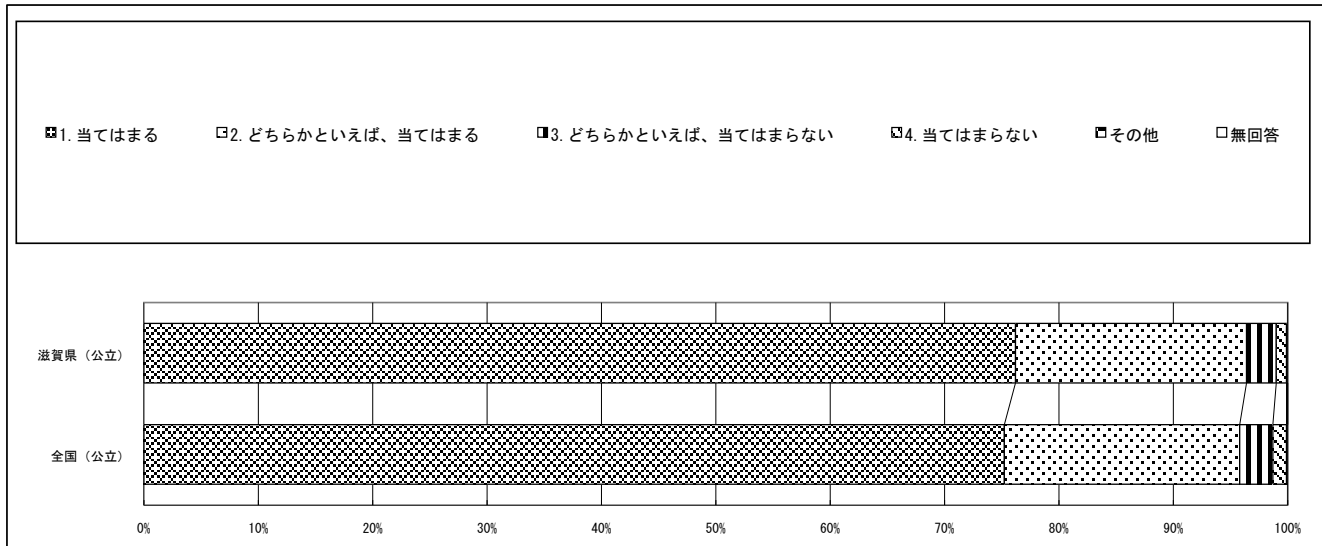


回答結果集計 [児童質問紙]

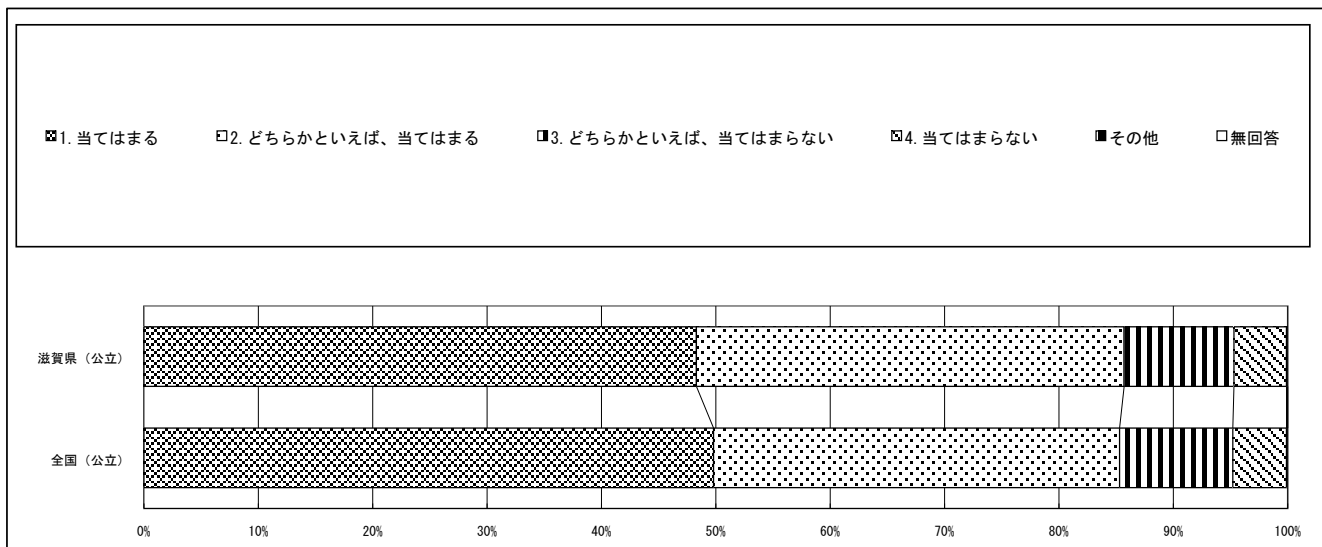
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	76.2	20.2	2.6	0.9						0.0	0.1
全国（公立）	75.3	20.6	2.9	1.2						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	48.3	37.4	9.6	4.6						0.0	0.1
全国（公立）	49.8	35.5	9.9	4.7						0.0	0.1

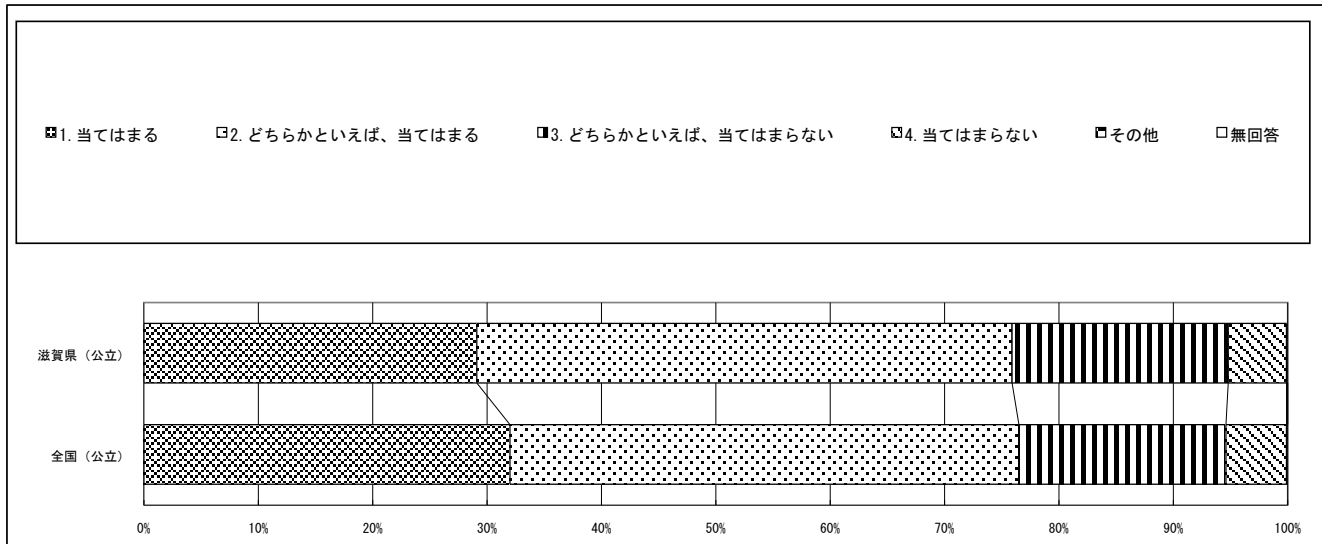


回答結果集計 [児童質問紙]

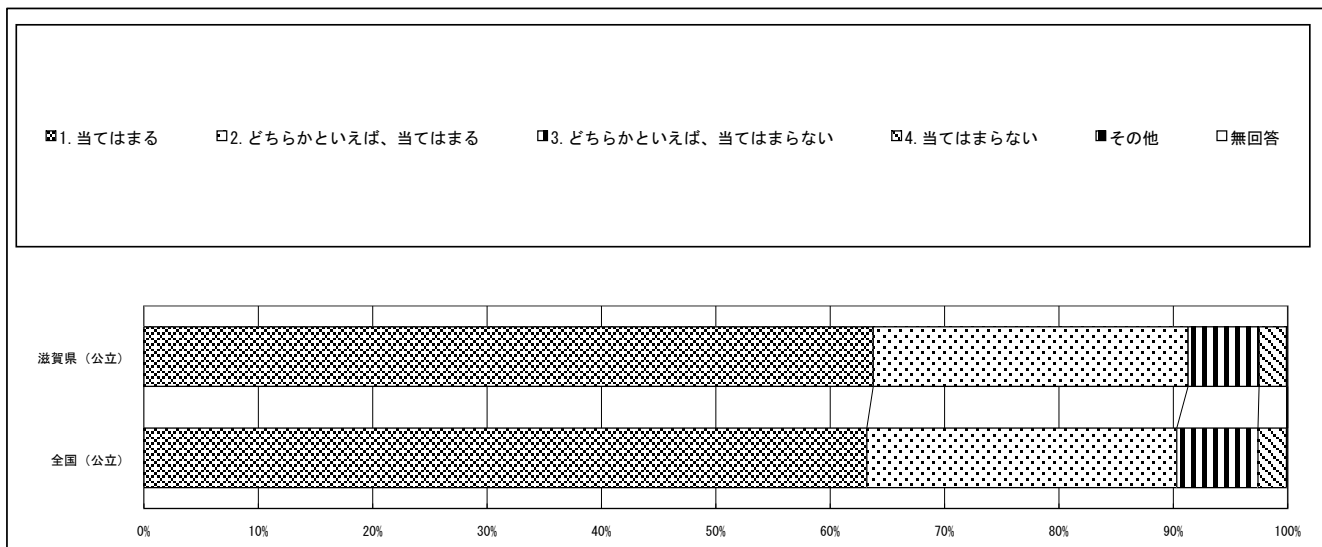
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	29.1	46.8	18.9	5.1						0.0	0.1
全国（公立）	32.0	44.5	18.1	5.3						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(14)	友達関係に満足していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	63.7	27.5	6.2	2.4						0.0	0.1
全国（公立）	63.2	27.1	7.1	2.5						0.0	0.1

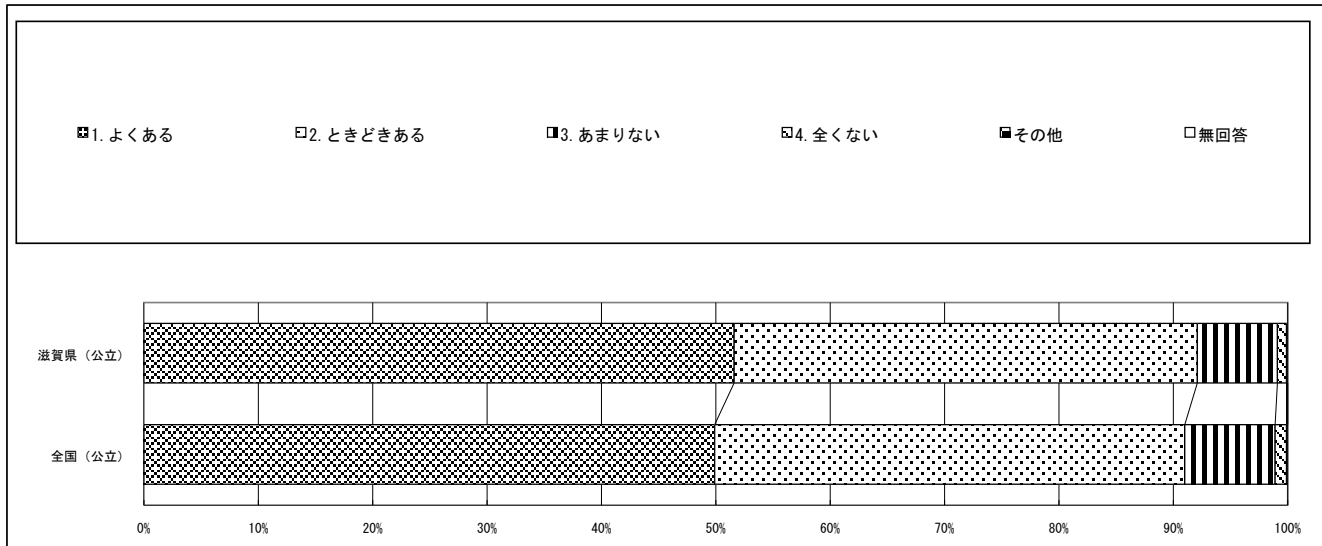


回答結果集計 [児童質問紙]

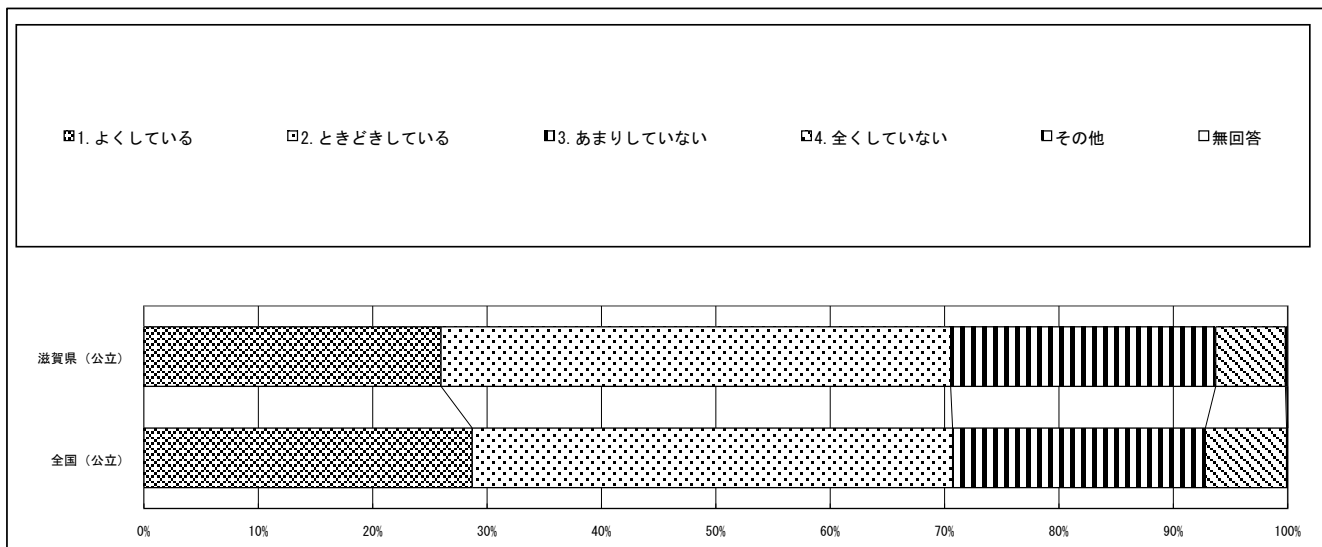
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	51.6	40.5	7.0	0.8						0.0	0.1
全国（公立）	49.9	41.1	7.9	1.0						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(16)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	26.0	44.6	23.2	6.1						0.1	0.1
全国（公立）	28.7	42.0	22.1	7.1						0.1	0.0

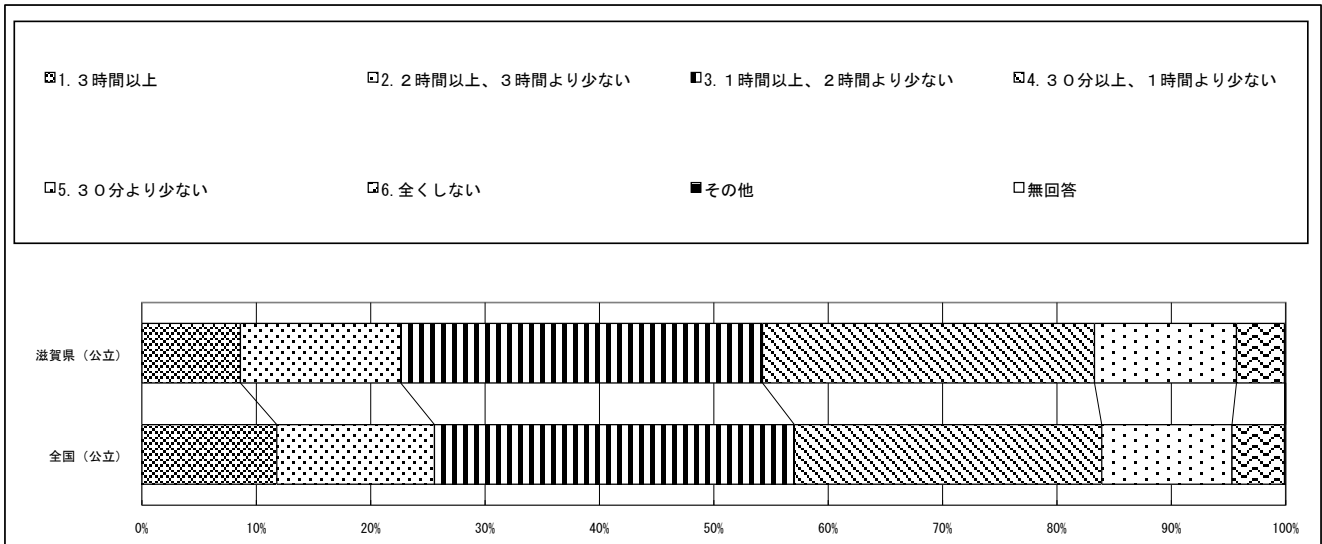


回答結果集計 [児童質問紙]

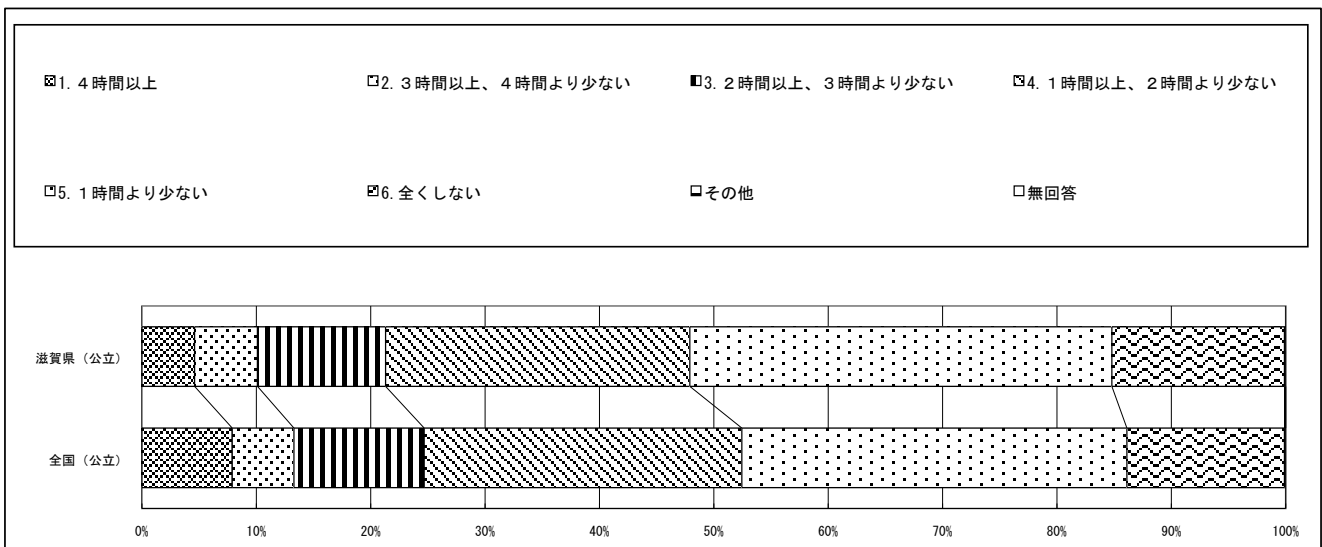
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	8.6	14.0	31.6	29.0	12.4	4.2				0.0	0.1
全国（公立）	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6				0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	4.6	5.5	11.2	26.6	36.9	15.1				0.0	0.1
全国（公立）	7.9	5.4	11.4	27.8	33.7	13.8				0.0	0.1

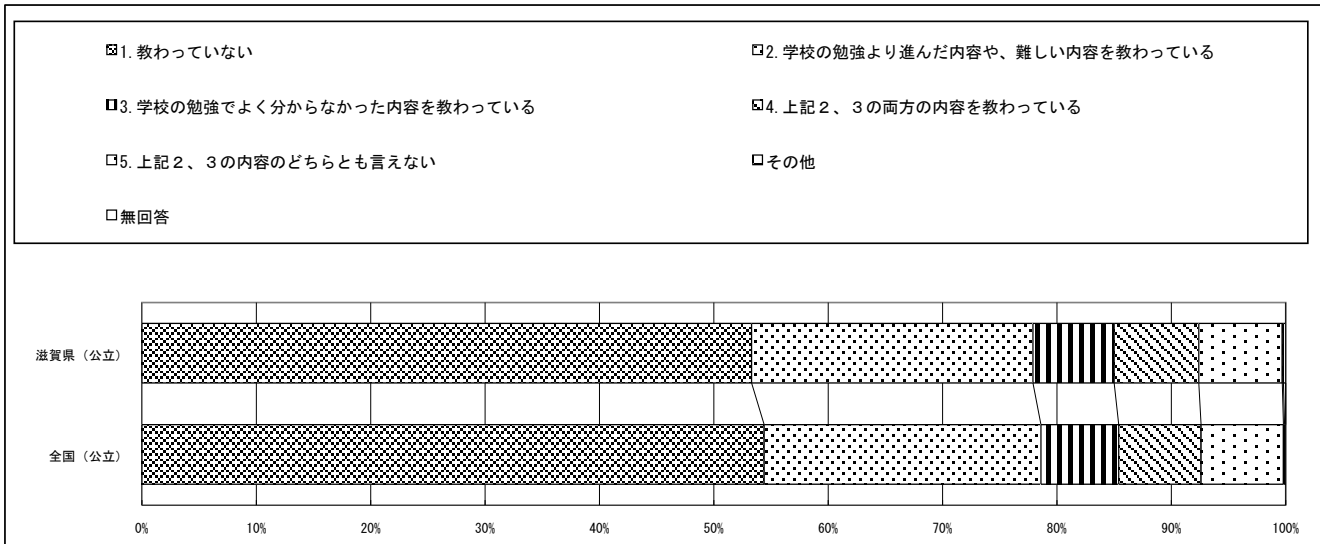


回答結果集計 [児童質問紙]

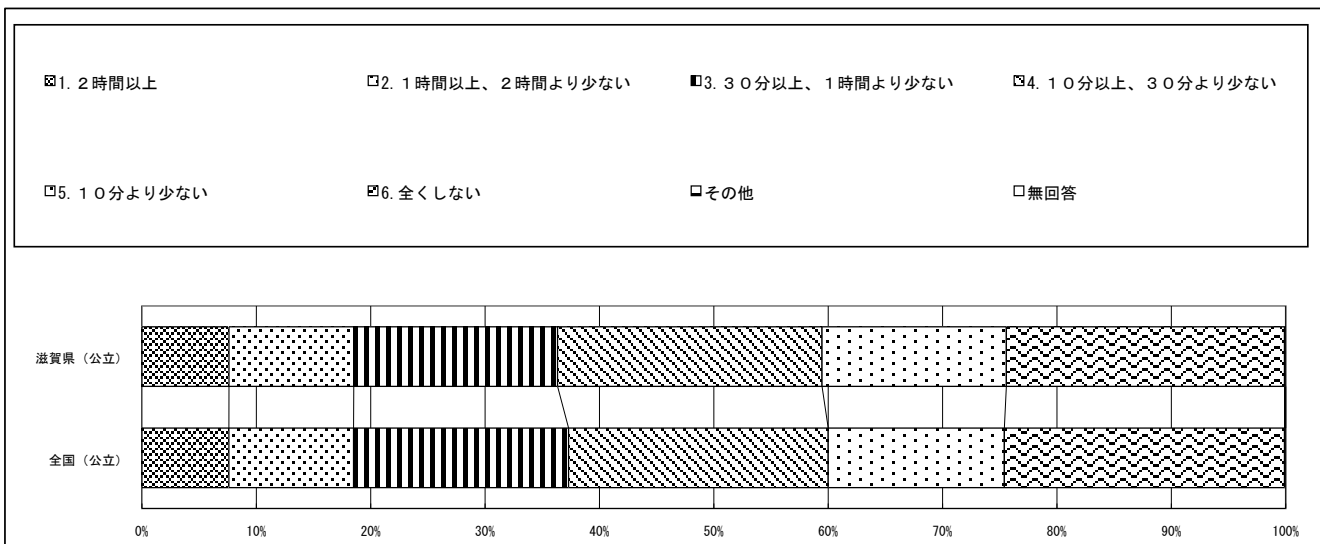
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(19)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	53.3	24.6	7.1	7.4	7.3					0.1	0.2
全国（公立）	54.4	24.2	6.8	7.2	7.2					0.1	0.1



質問番号	質問事項										
(20)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	7.6	10.9	17.8	23.1	16.1	24.3				0.0	0.1
全国（公立）	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5				0.0	0.1

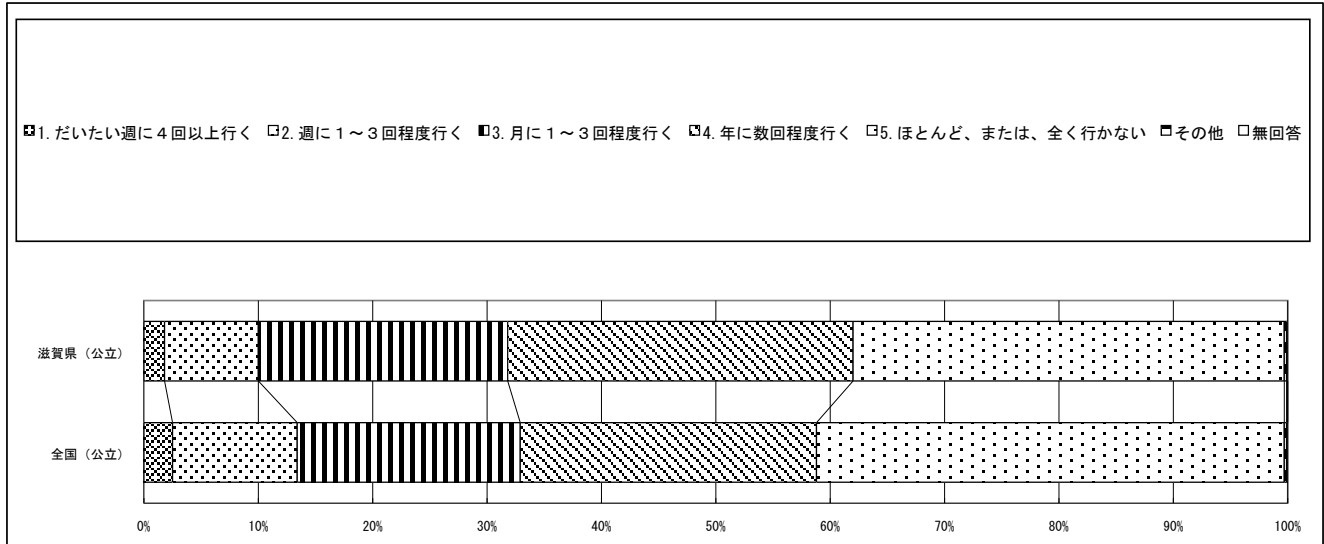


回答結果集計 [児童質問紙]

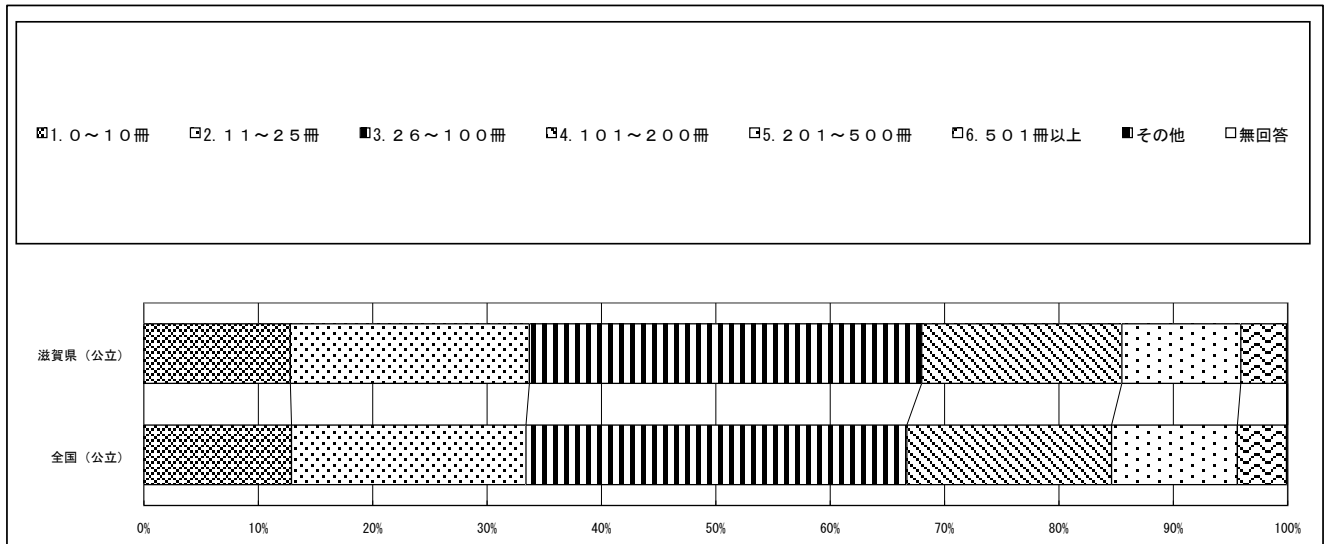
滋賀県一児童（公立）

- ※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
- ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
- ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(21)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	1.8	8.2	21.8	30.2	37.7					0.2	0.1
全国（公立）	2.5	10.9	19.5	25.9	40.9					0.2	0.1



質問番号	質問事項										
(22)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	12.8	20.9	34.3	17.5	10.4	4.0				0.0	0.1
全国（公立）	12.9	20.5	33.3	17.9	11.0	4.3				0.0	0.1

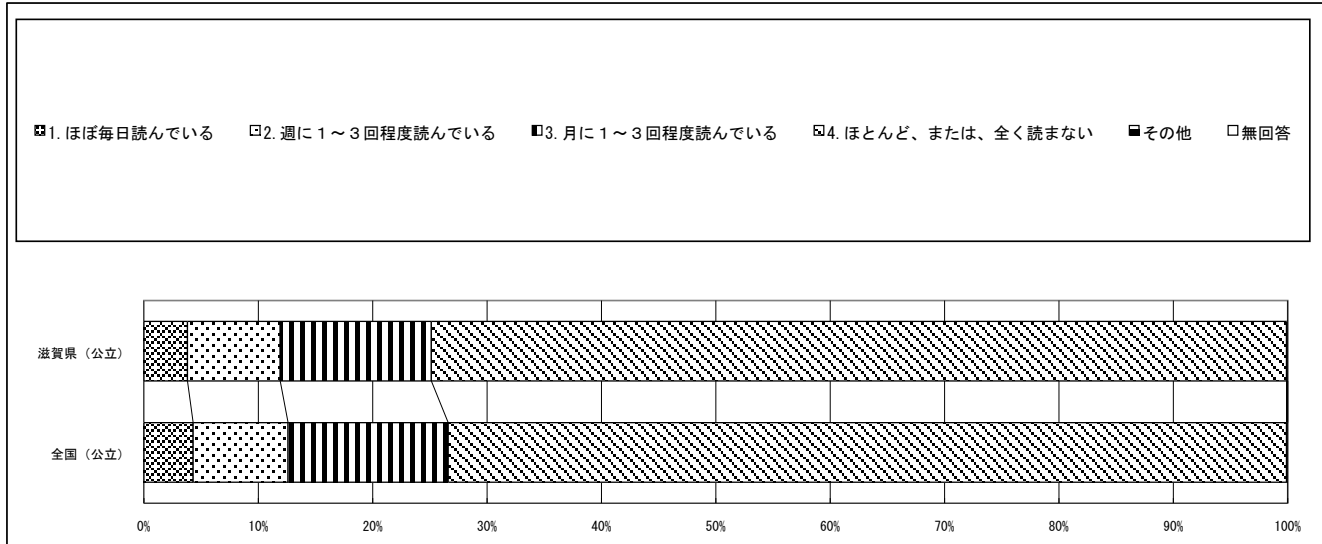


回答結果集計 [児童質問紙]

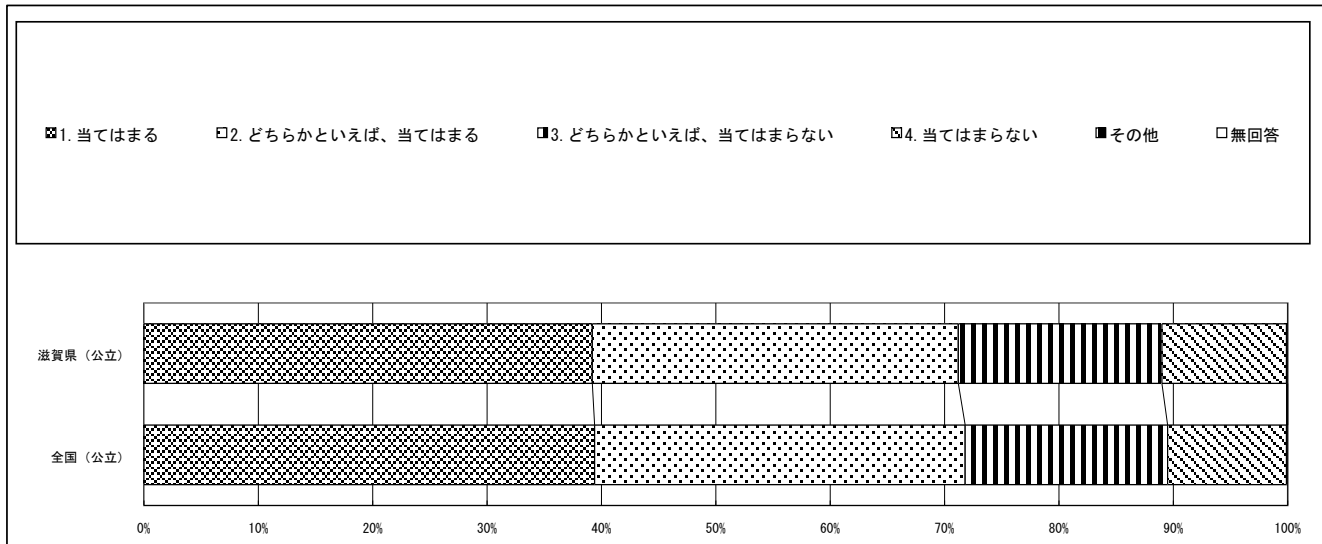
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(23)	新聞を読んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	3.8	8.1	13.2	74.7						0.0	0.1
全国（公立）	4.3	8.3	14.0	73.3						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(24)	読書は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	39.2	32.0	17.8	10.9						0.0	0.1
全国（公立）	39.4	32.4	17.7	10.4						0.0	0.1

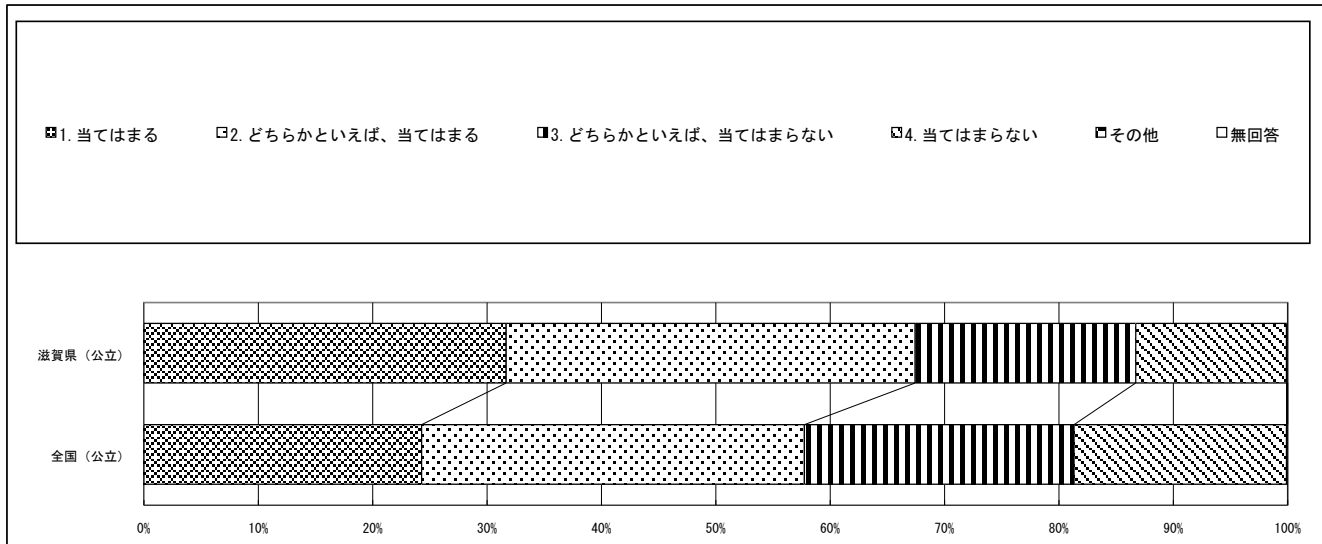


回答結果集計 [児童質問紙]

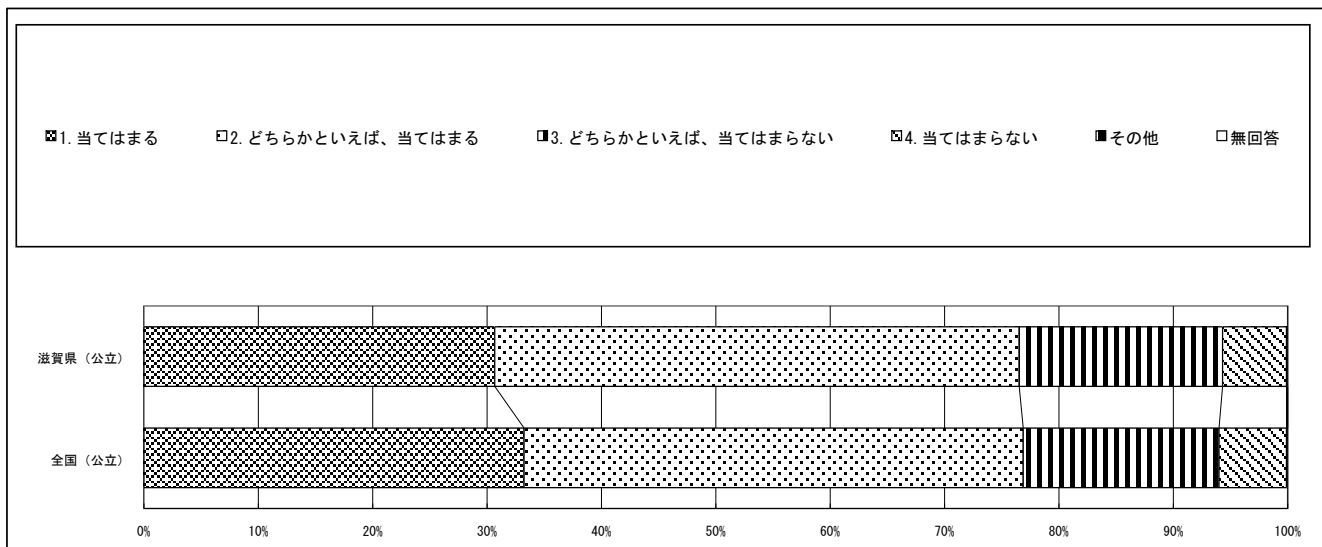
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(25)	今住んでいる地域の行事に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	31.7	35.8	19.3	13.2						0.0	0.1
全国（公立）	24.3	33.5	23.6	18.6						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(26)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	30.7	45.9	17.8	5.6						0.0	0.1
全国（公立）	33.2	43.6	17.1	5.9						0.0	0.1

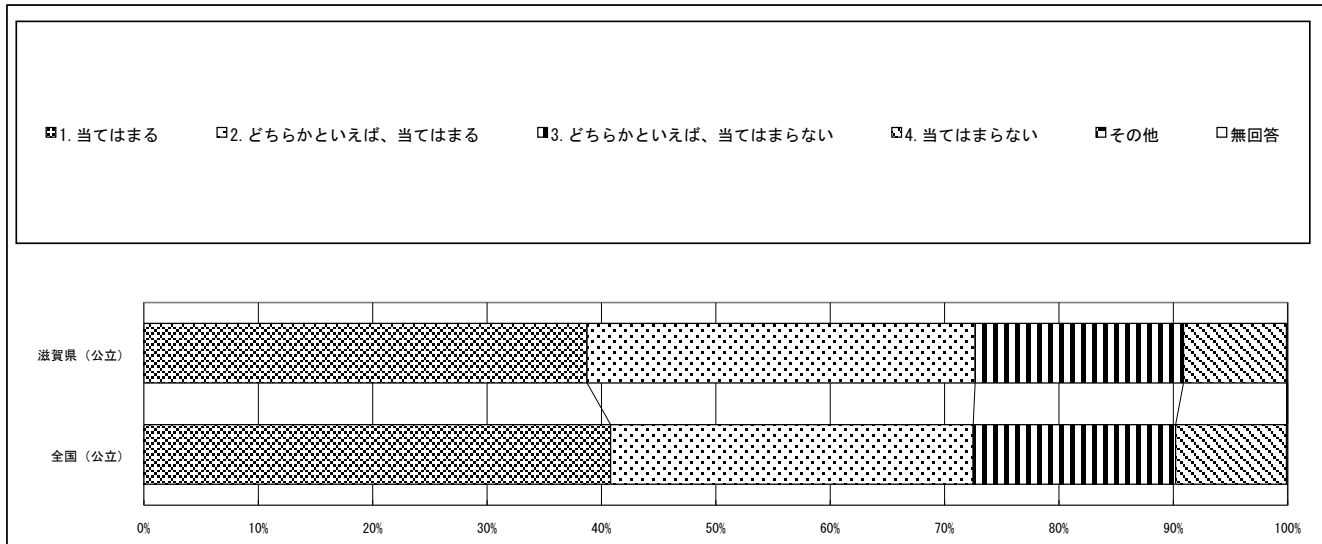


回答結果集計 [児童質問紙]

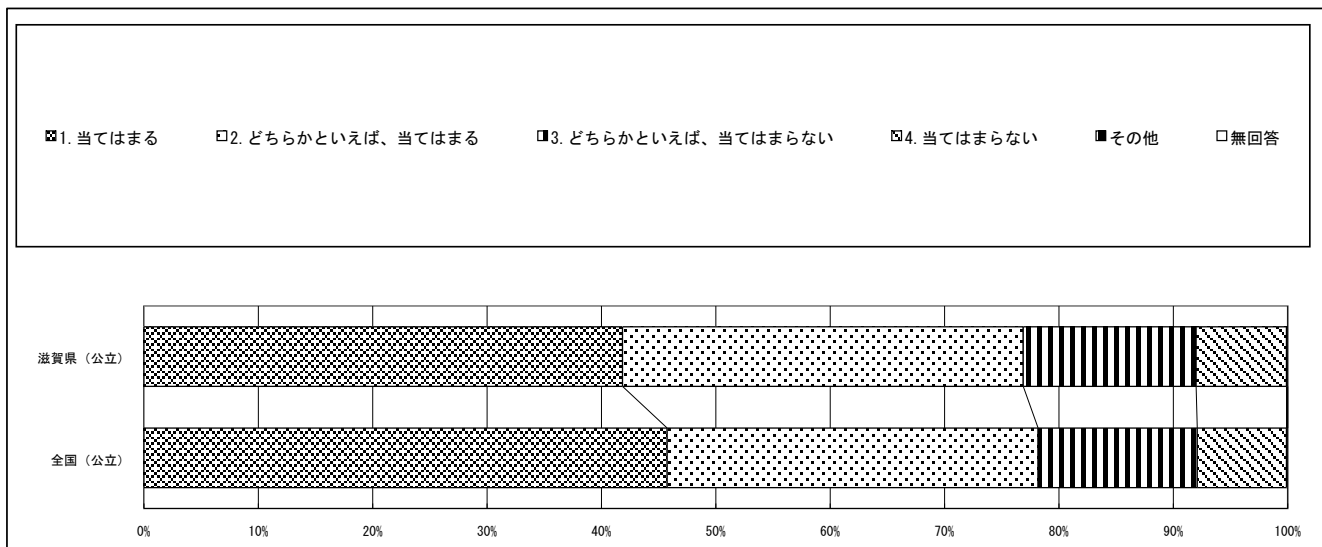
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(27)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	38.7	33.9	18.2	9.0						0.0	0.1
全国（公立）	40.8	31.7	17.7	9.7						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(28)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	41.8	35.0	15.1	7.9						0.0	0.1
全国（公立）	45.7	32.4	13.9	7.8						0.0	0.1



回答結果集計 [児童質問紙]

滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

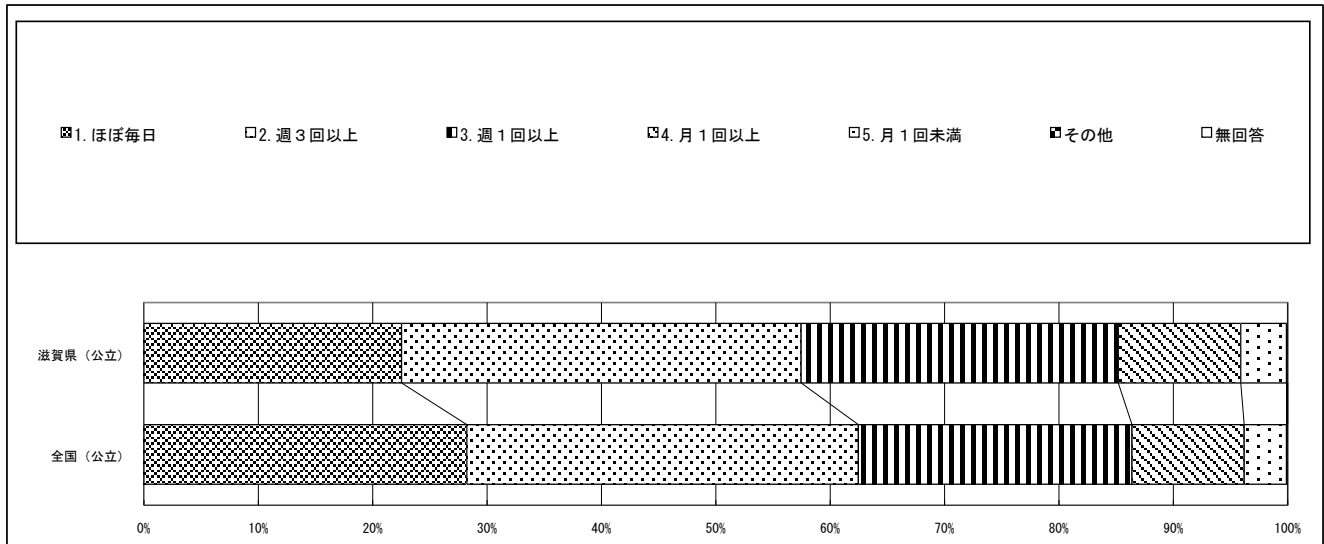
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

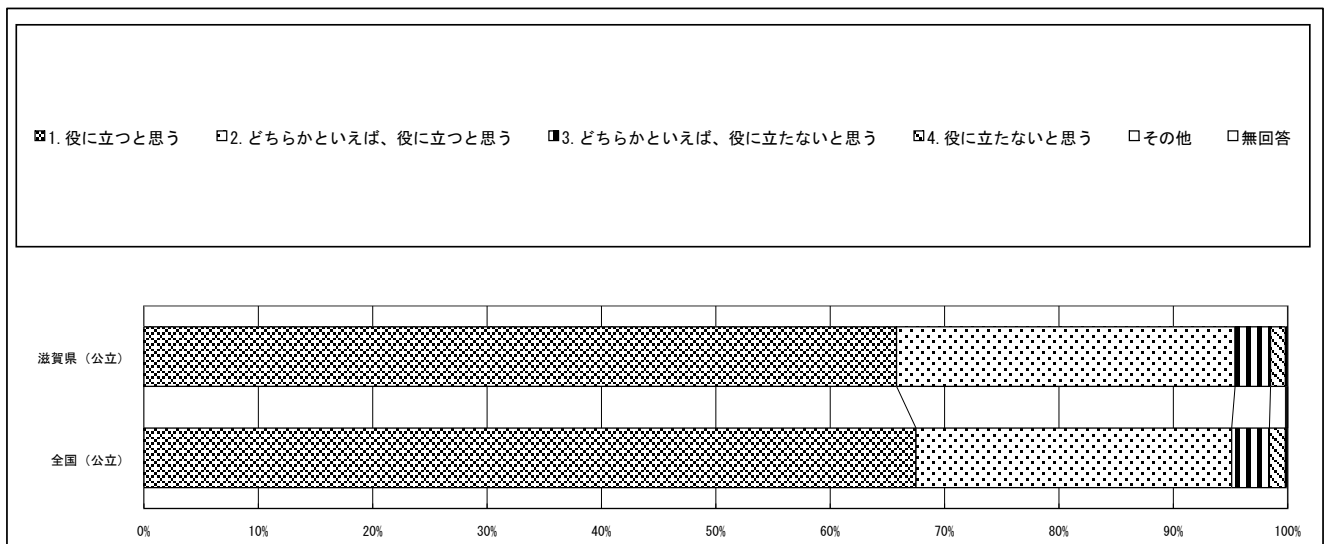
※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(29)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	22.5	34.9	27.7	10.7	4.0					0.0	0.1
全国（公立）	28.2	34.2	23.9	9.8	3.7					0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(30)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	65.8	29.6	3.1	1.3						0.1	0.1
全国（公立）	67.5	27.6	3.3	1.4						0.1	0.1

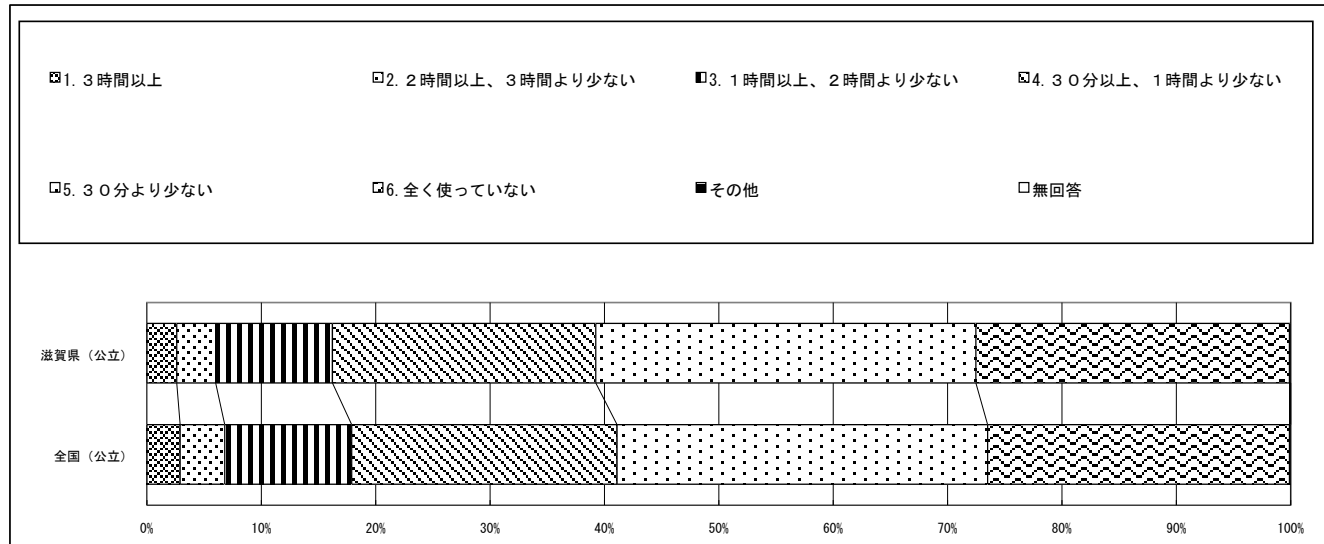


回答結果集計 [児童質問紙]

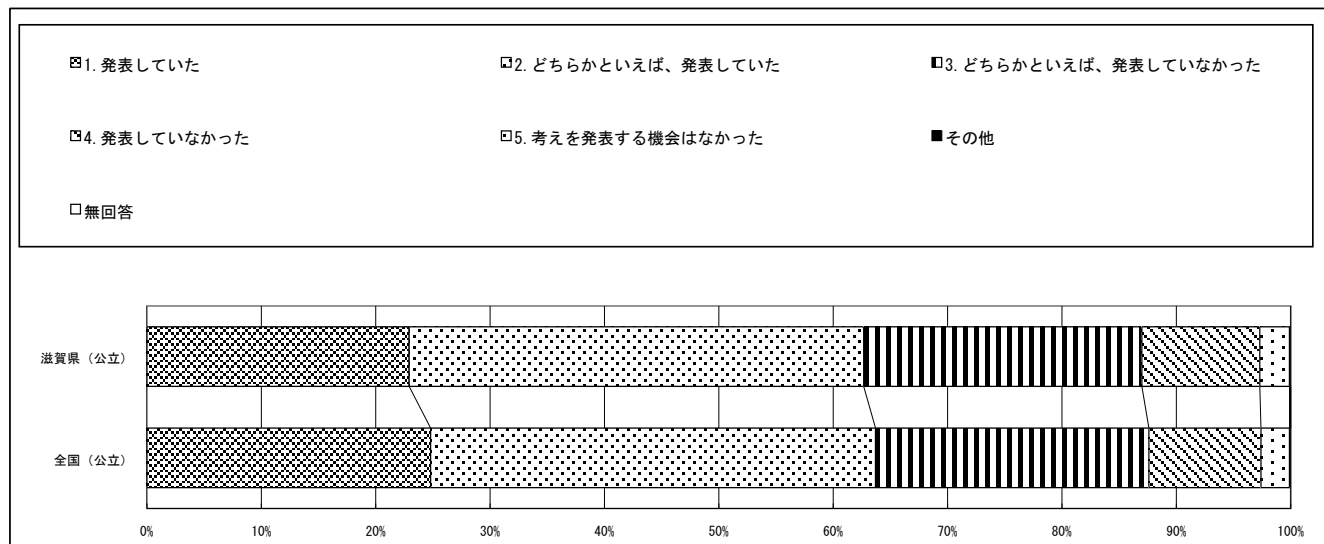
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(31)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	2.6	3.4	10.2	23.0	33.2	27.4				0.0	0.1
全国（公立）	2.9	3.9	11.1	23.2	32.4	26.4				0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(32)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	22.9	39.7	24.3	10.3	2.6					0.0	0.1
全国（公立）	24.8	38.9	23.9	9.8	2.5					0.0	0.1

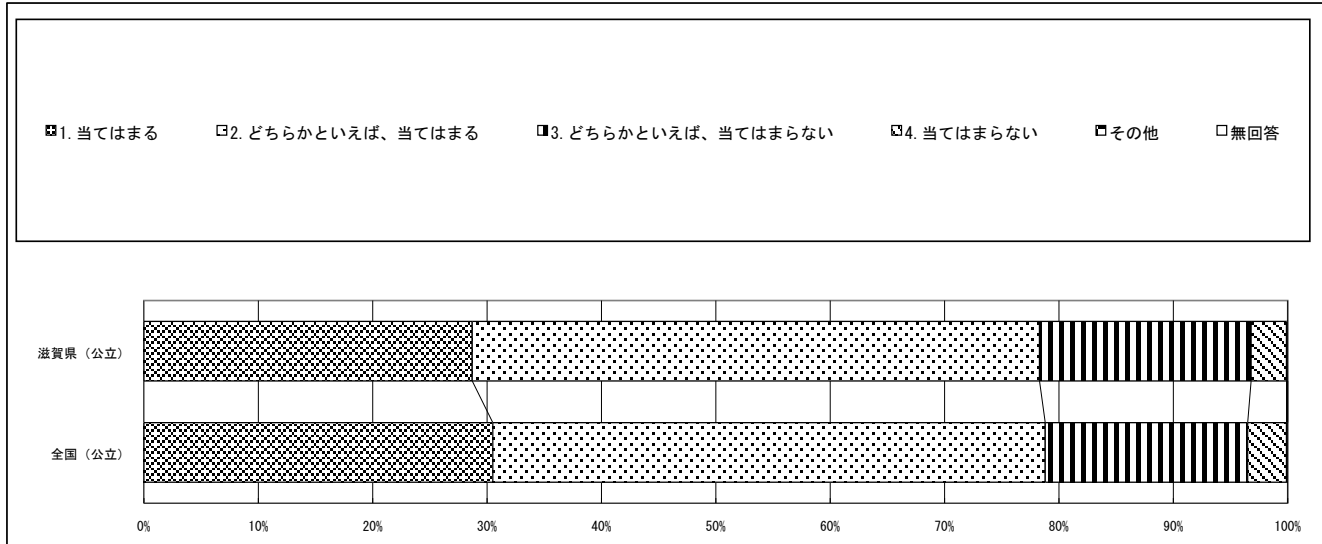


回答結果集計 [児童質問紙]

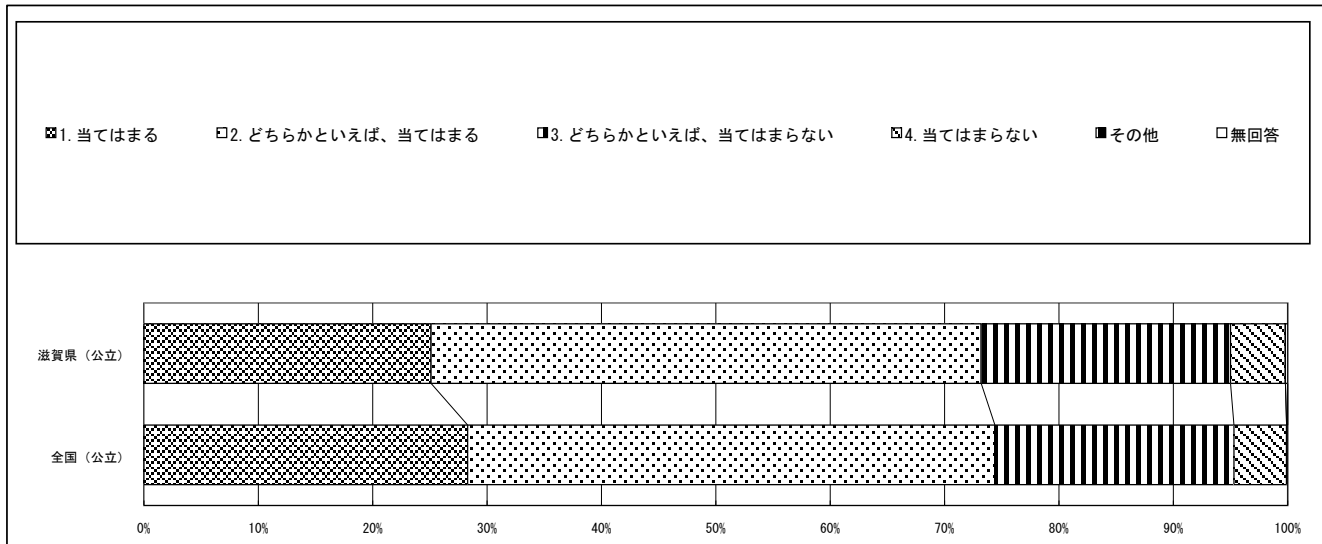
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(33)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	28.7	49.6	18.5	3.1						0.0	0.1
全国（公立）	30.5	48.3	17.7	3.4						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(34)	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	25.1	48.1	21.8	4.8						0.0	0.2
全国（公立）	28.3	46.1	20.9	4.6						0.0	0.1

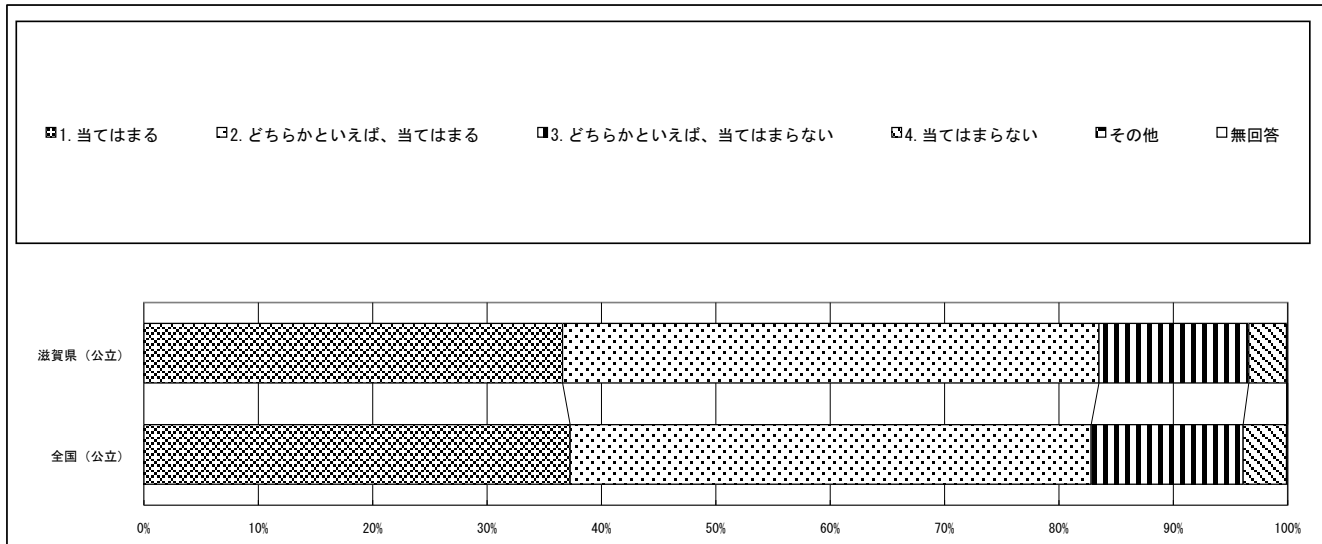


回答結果集計 [児童質問紙]

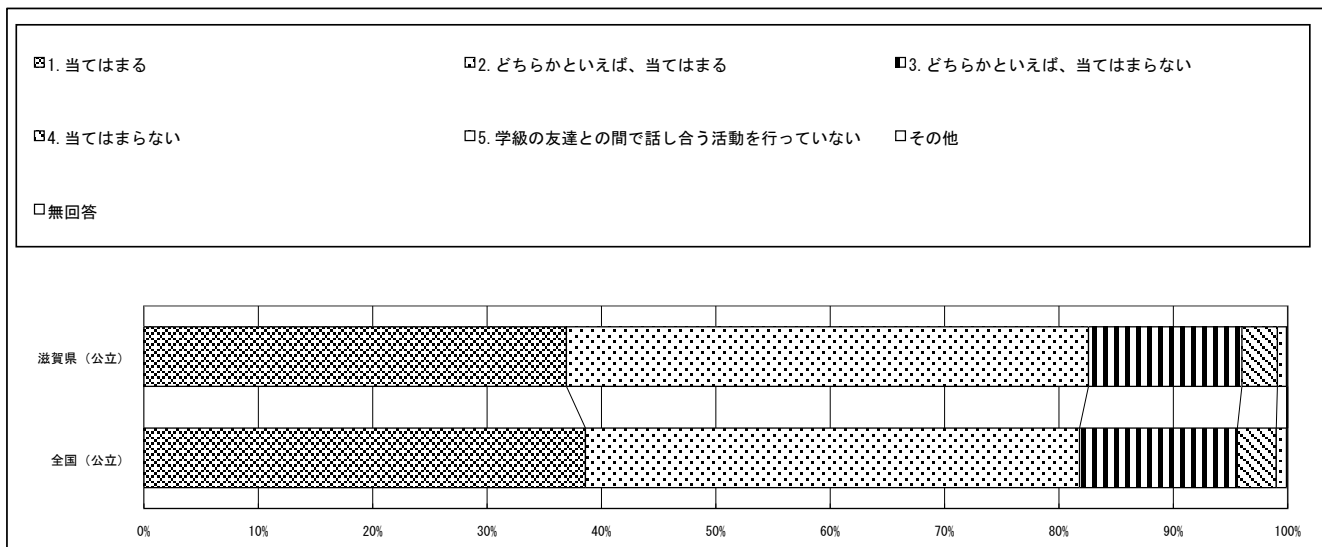
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(35)	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	36.6	46.9	13.1	3.3						0.0	0.1
全国（公立）	37.3	45.6	13.3	3.8						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(36)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	36.9	45.6	13.4	3.1	0.8					0.0	0.1
全国（公立）	38.6	43.2	13.8	3.4	0.9					0.0	0.1



回答結果集計 [児童質問紙]

滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

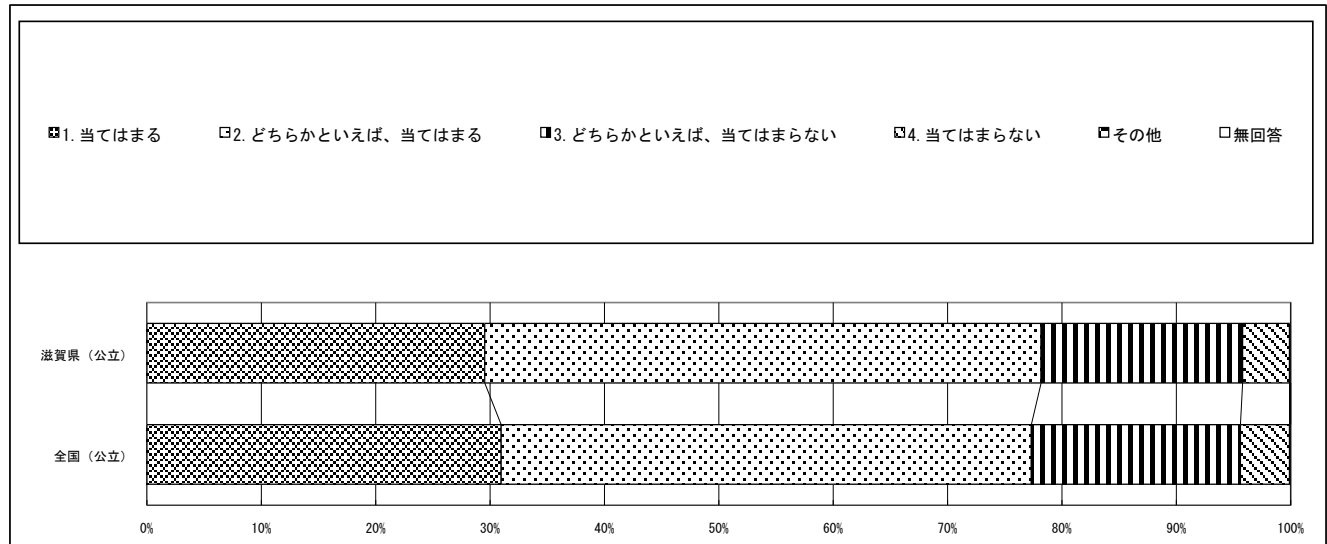
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

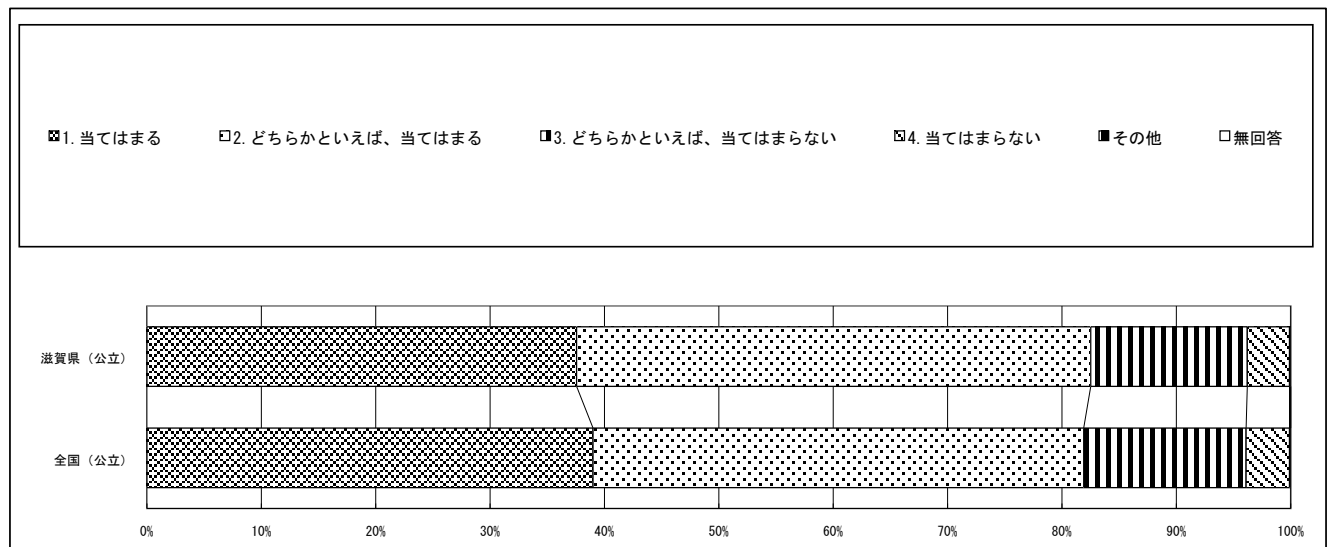
※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(37)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	29.5	48.6	17.6	4.1						0.0	0.1
全国（公立）	31.0	46.4	18.3	4.3						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(38)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	37.6	45.0	13.7	3.7						0.0	0.1
全国（公立）	39.0	42.9	14.2	3.8						0.0	0.1

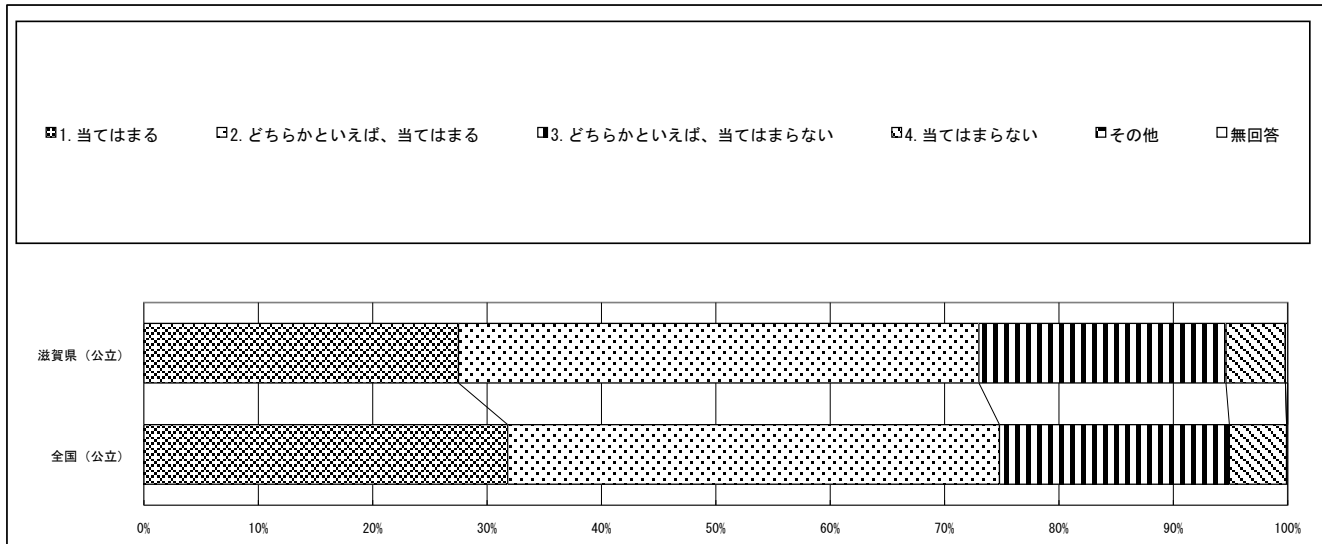


回答結果集計 [児童質問紙]

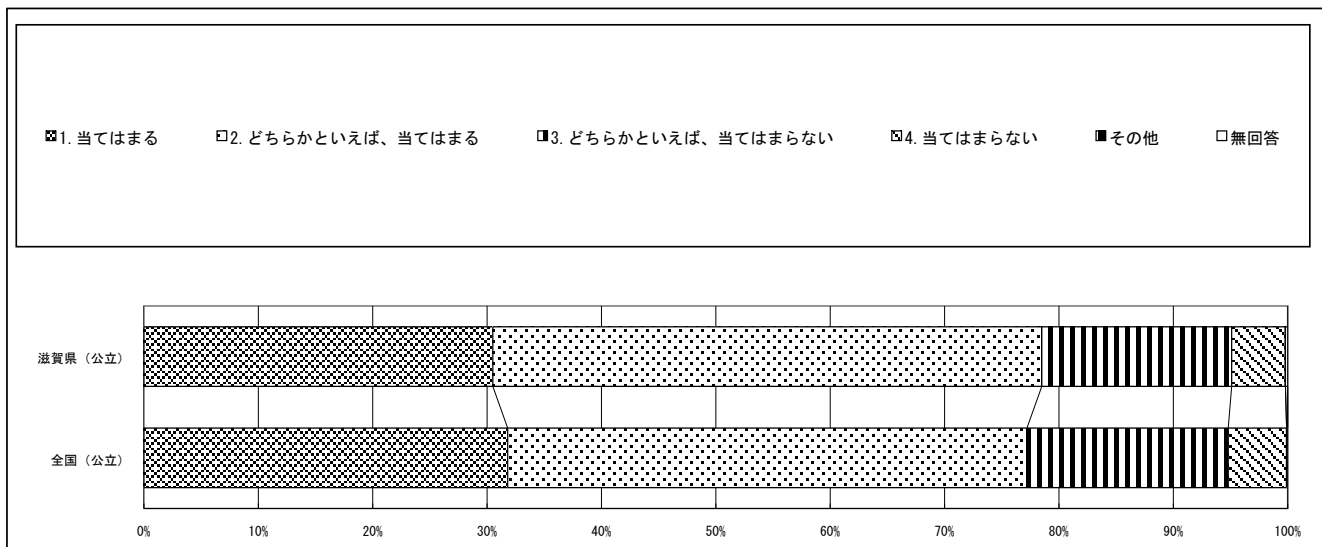
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(39)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	27.5	45.5	21.6	5.2						0.0	0.2
全国（公立）	31.8	43.0	20.1	5.0						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(40)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	30.5	48.0	16.6	4.7						0.0	0.2
全国（公立）	31.8	45.4	17.6	5.1						0.0	0.1

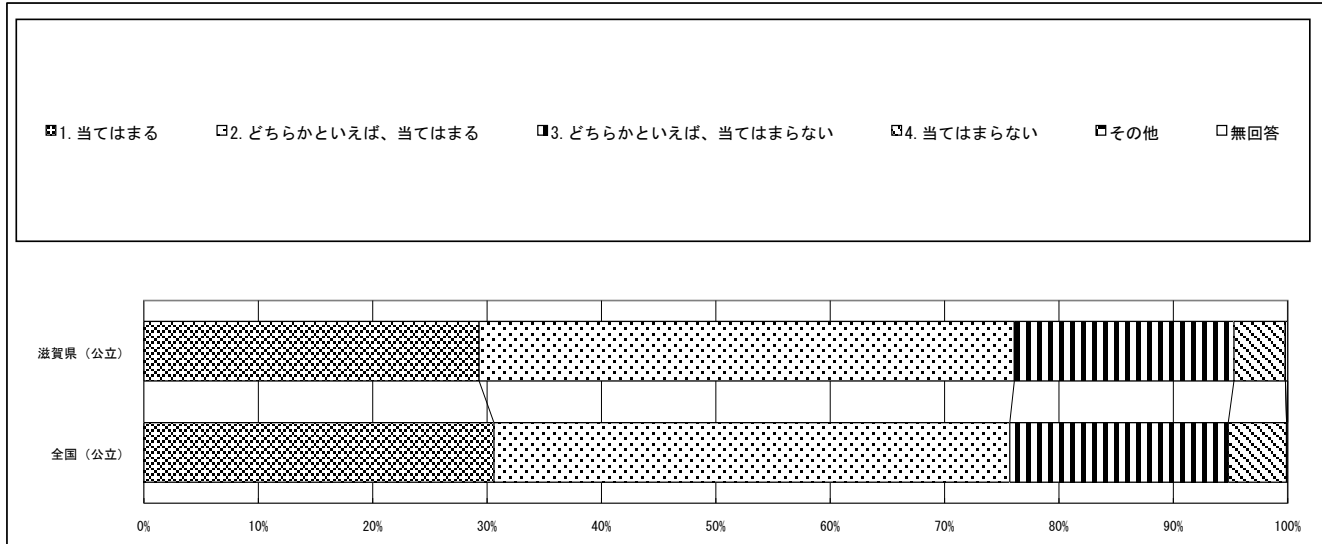


回答結果集計 [児童質問紙]

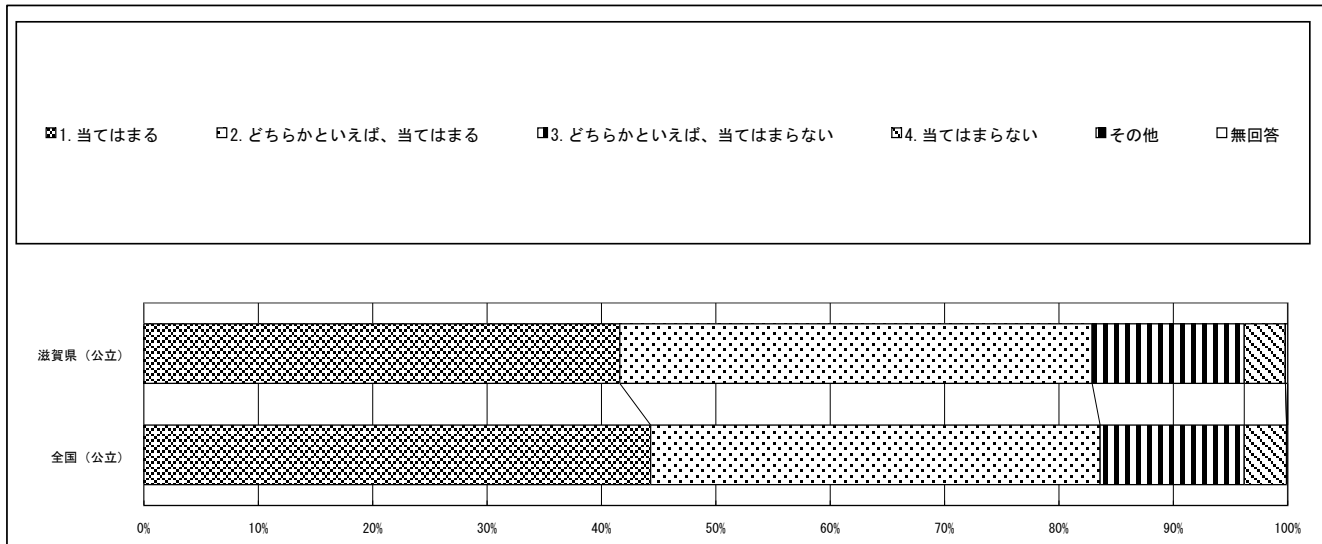
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(41)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	29.3	46.8	19.2	4.5						0.0	0.2
全国（公立）	30.6	45.1	19.1	5.1						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(42)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	41.6	41.3	13.3	3.6						0.0	0.2
全国（公立）	44.3	39.3	12.6	3.7						0.0	0.1

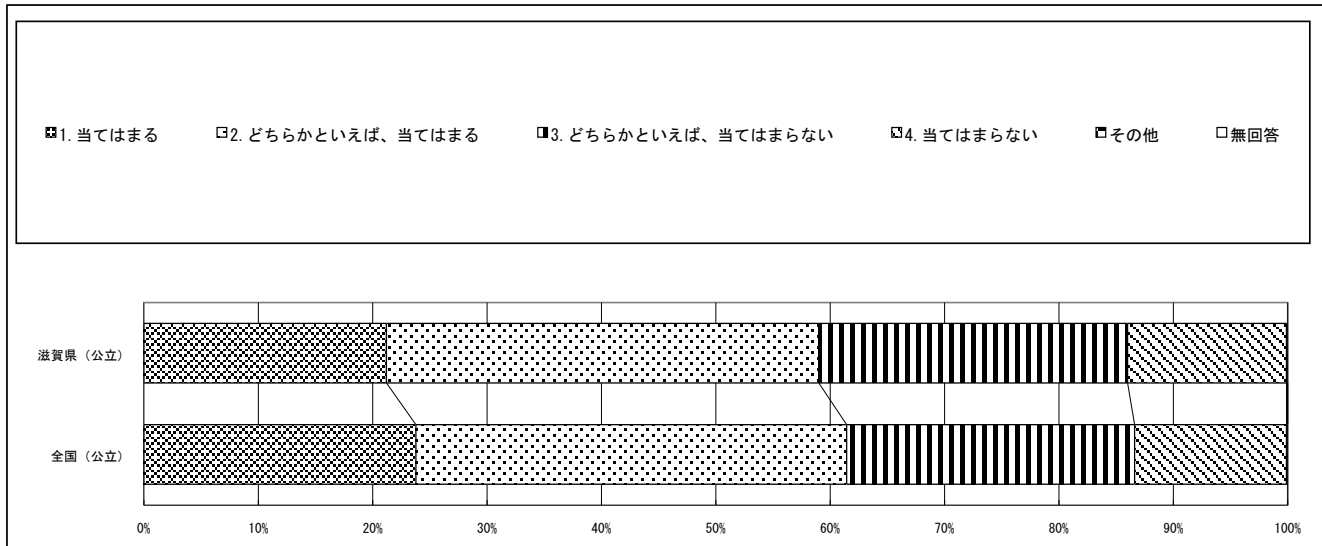


回答結果集計 [児童質問紙]

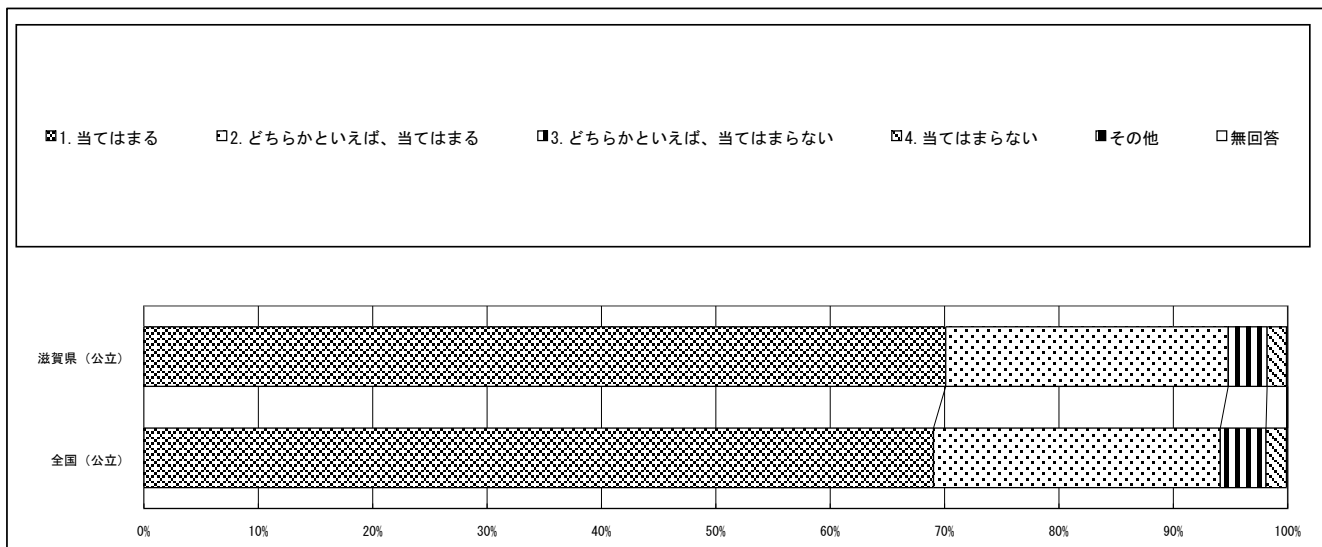
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(43)	国語の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	21.2	37.8	27.0	13.9						0.0	0.1
全国（公立）	23.8	37.7	25.2	13.3						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(44)	国語の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	70.1	24.7	3.4	1.7						0.0	0.1
全国（公立）	69.1	25.1	4.0	1.8						0.0	0.1

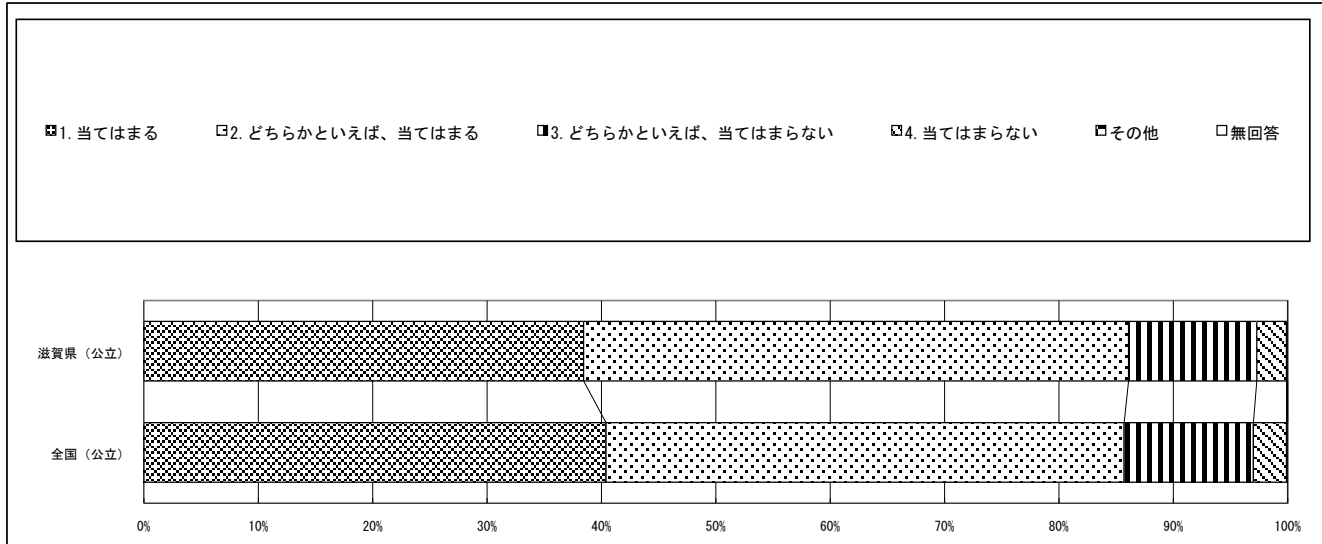


回答結果集計 [児童質問紙]

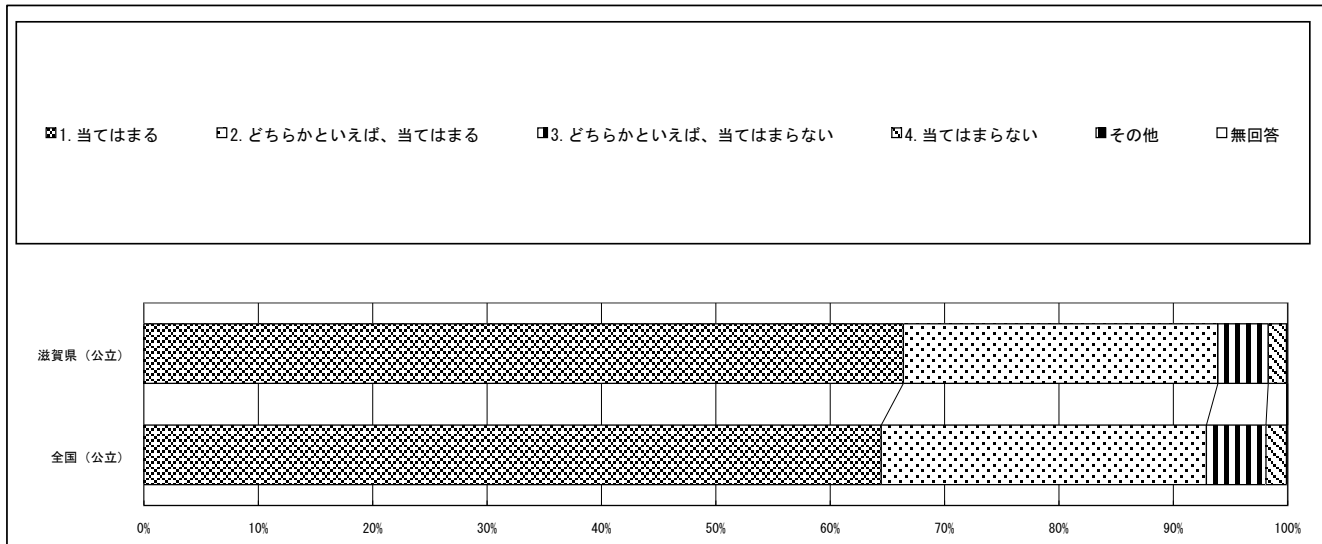
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(45)	国語の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	38.4	47.6	11.2	2.6						0.0	0.1
全国（公立）	40.4	45.3	11.3	2.9						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(46)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	66.4	27.5	4.4	1.6						0.0	0.1
全国（公立）	64.4	28.4	5.2	1.8						0.0	0.1

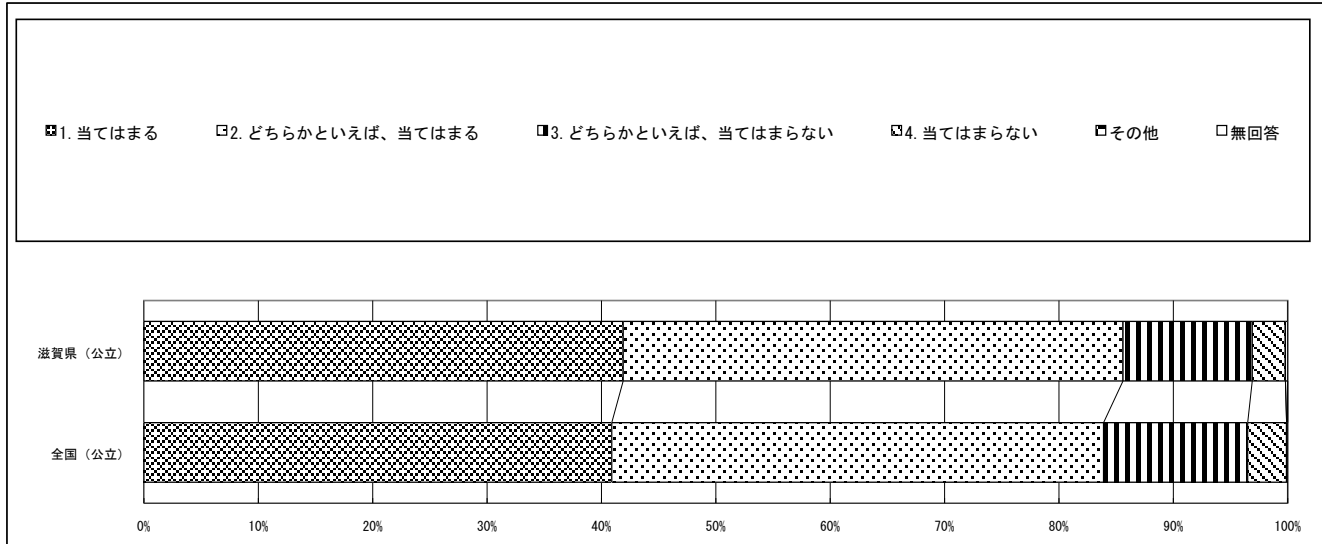


回答結果集計 [児童質問紙]

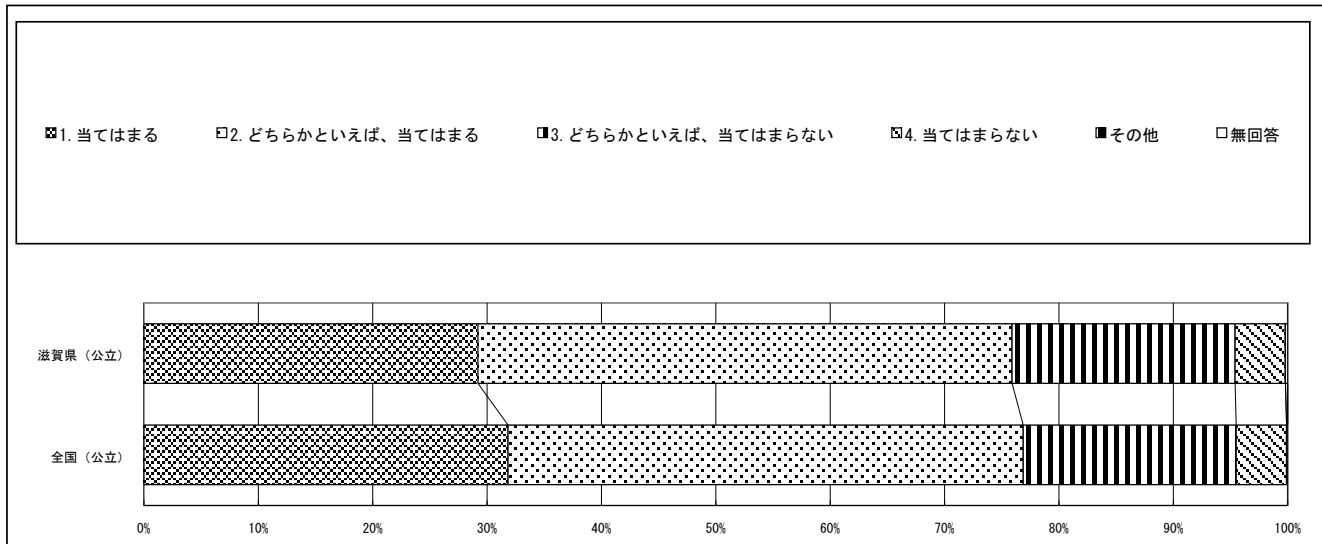
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(47)	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	41.9	43.7	11.3	2.9						0.0	0.2
全国（公立）	40.9	43.0	12.6	3.4						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(48)	国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	29.2	46.7	19.5	4.4						0.0	0.2
全国（公立）	31.8	45.0	18.6	4.4						0.0	0.1

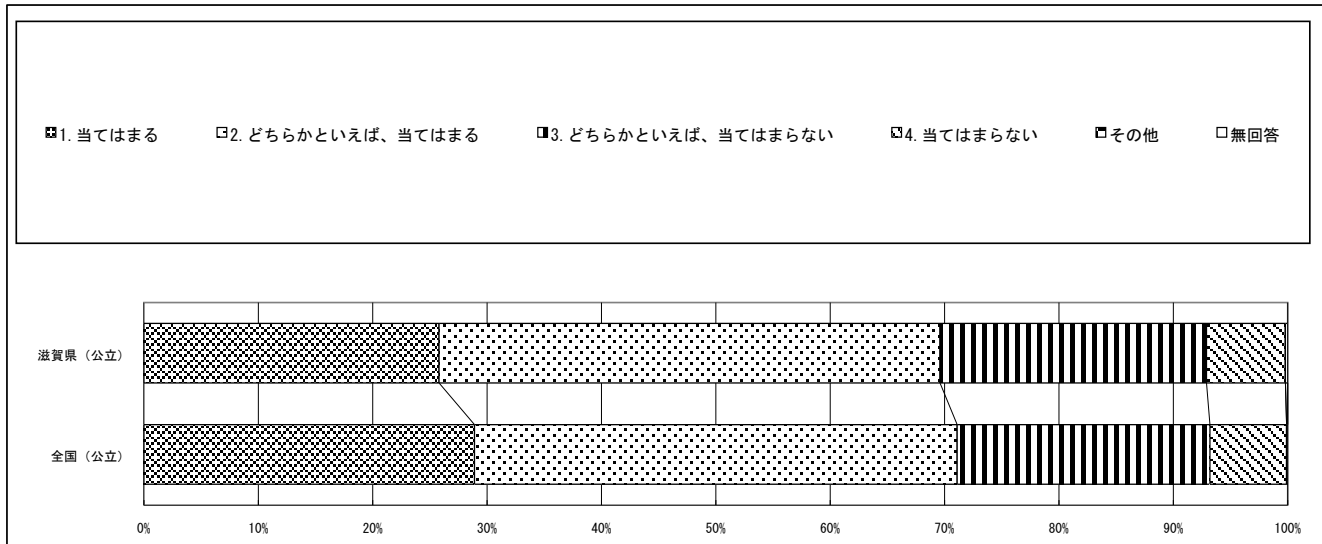


回答結果集計 [児童質問紙]

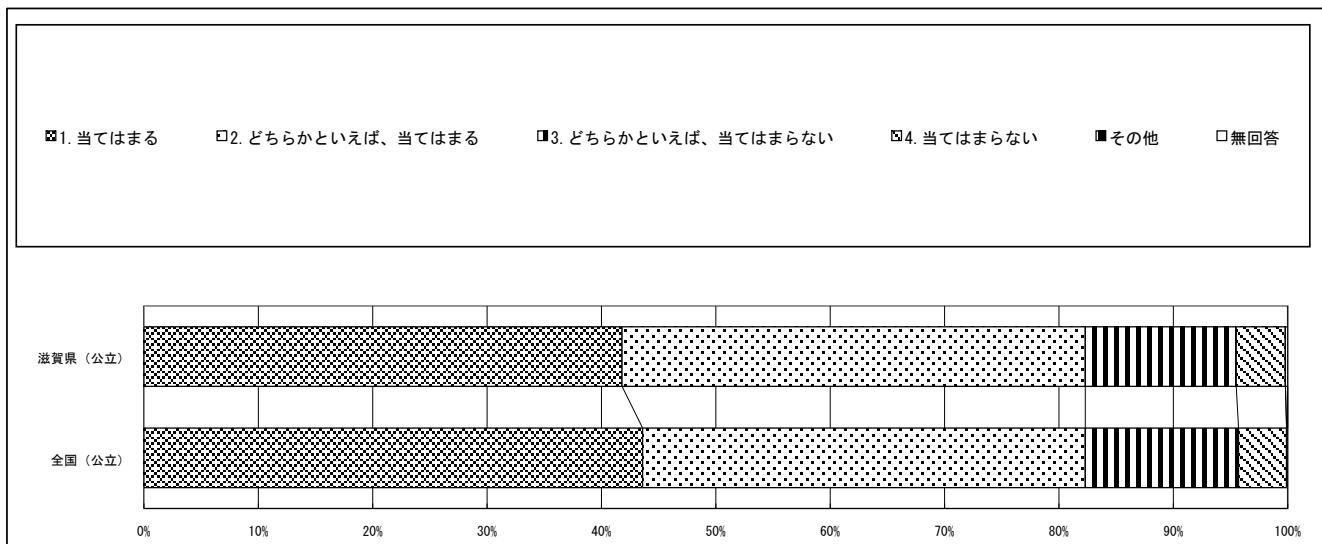
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(49)	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	25.8	43.8	23.3	6.9						0.0	0.2
全国（公立）	28.9	42.2	22.1	6.7						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(50)	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	41.8	40.5	13.2	4.3						0.0	0.2
全国（公立）	43.6	38.7	13.4	4.2						0.0	0.1

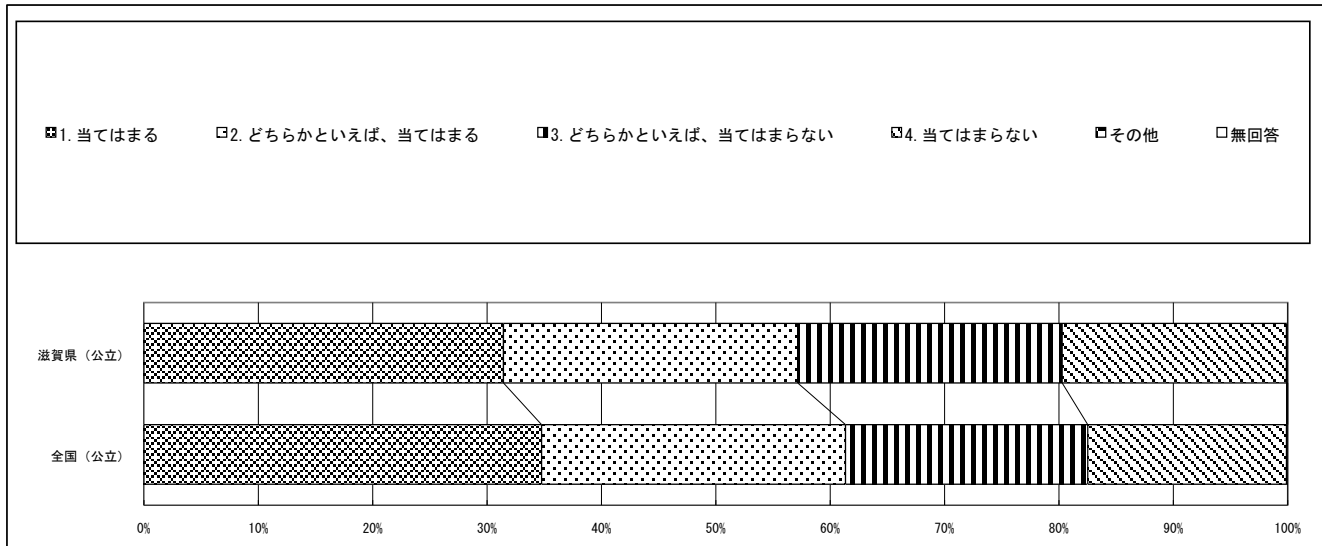


回答結果集計 [児童質問紙]

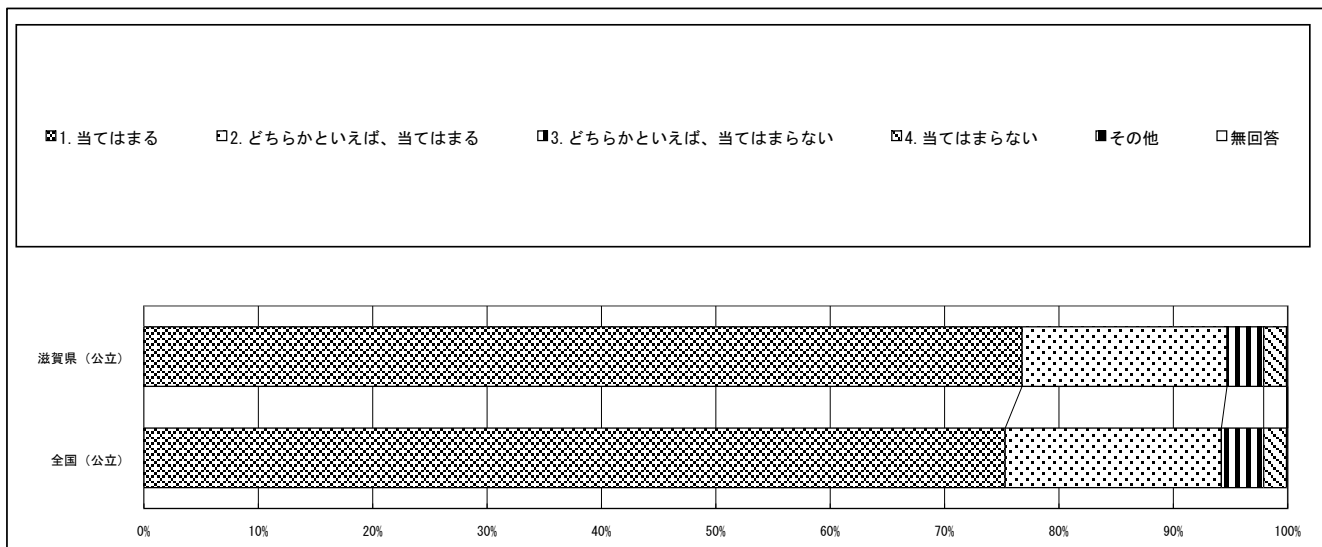
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(51)	算数の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	31.4	25.7	23.1	19.6						0.0	0.1
全国（公立）	34.8	26.6	21.2	17.4						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(52)	算数の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	76.7	17.9	3.2	2.0						0.0	0.1
全国（公立）	75.3	18.9	3.7	2.0						0.0	0.1

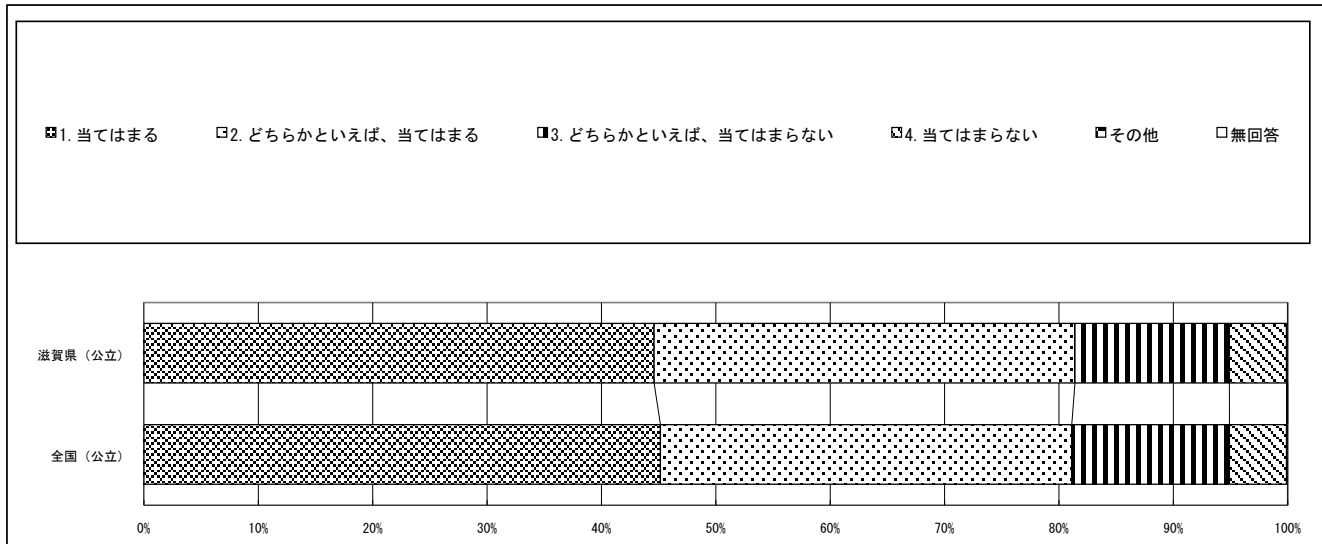


回答結果集計 [児童質問紙]

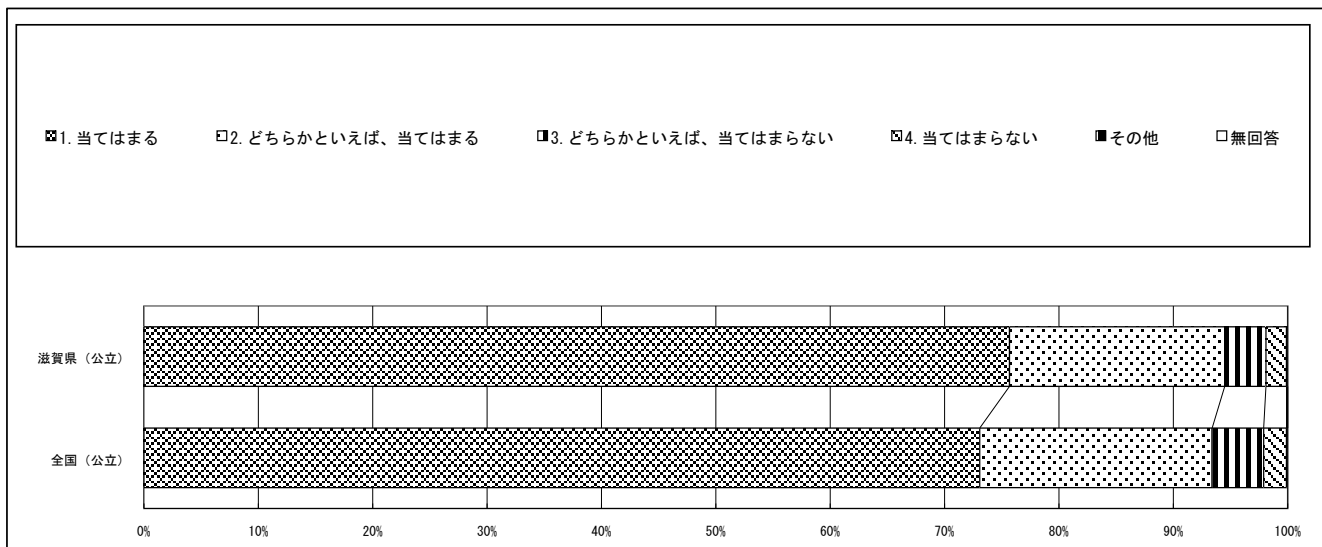
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(53)	算数の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	44.6	36.8	13.5	5.0						0.0	0.1
全国（公立）	45.2	36.0	13.8	5.0						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(54)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	75.6	18.8	3.6	1.8						0.0	0.1
全国（公立）	73.0	20.3	4.5	2.0						0.0	0.1



回答結果集計 [児童質問紙]

滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

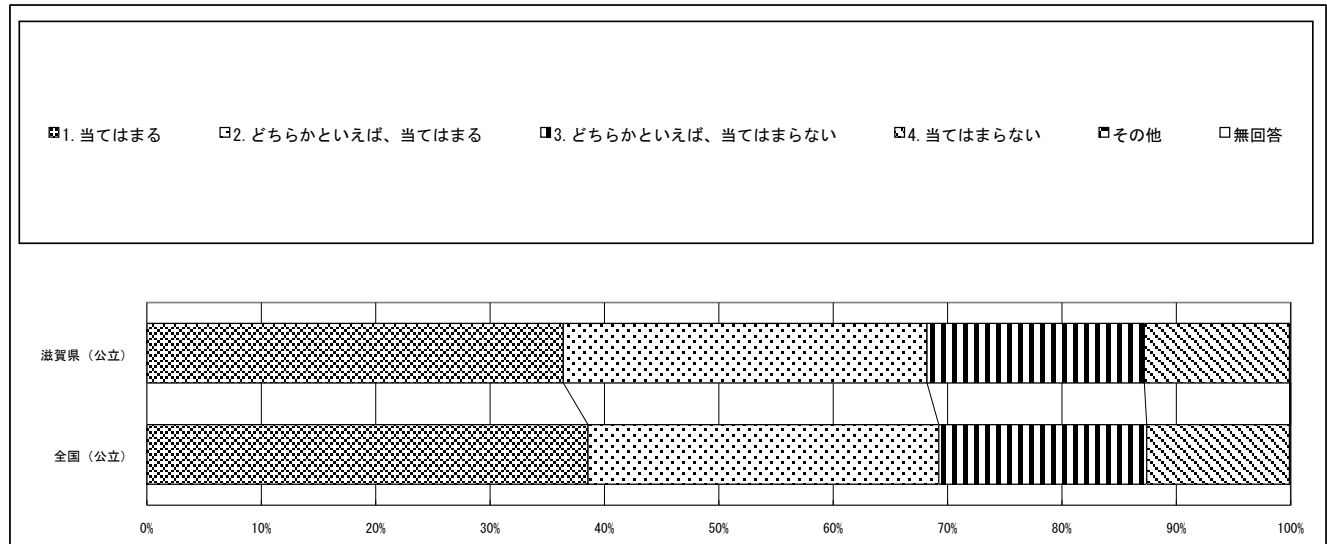
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

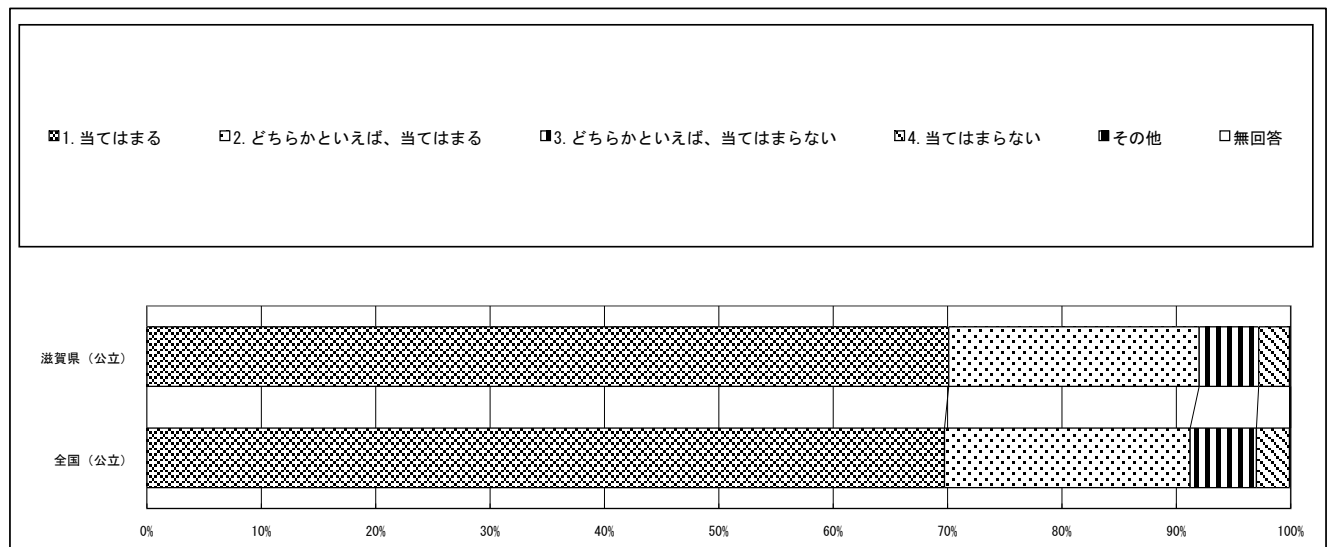
※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(55)	英語の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	36.4	31.8	19.0	12.7						0.0	0.1
全国（公立）	38.6	30.7	18.2	12.5						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(56)	英語の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	70.1	21.9	5.2	2.7						0.0	0.1
全国（公立）	69.8	21.5	5.8	2.9						0.0	0.1

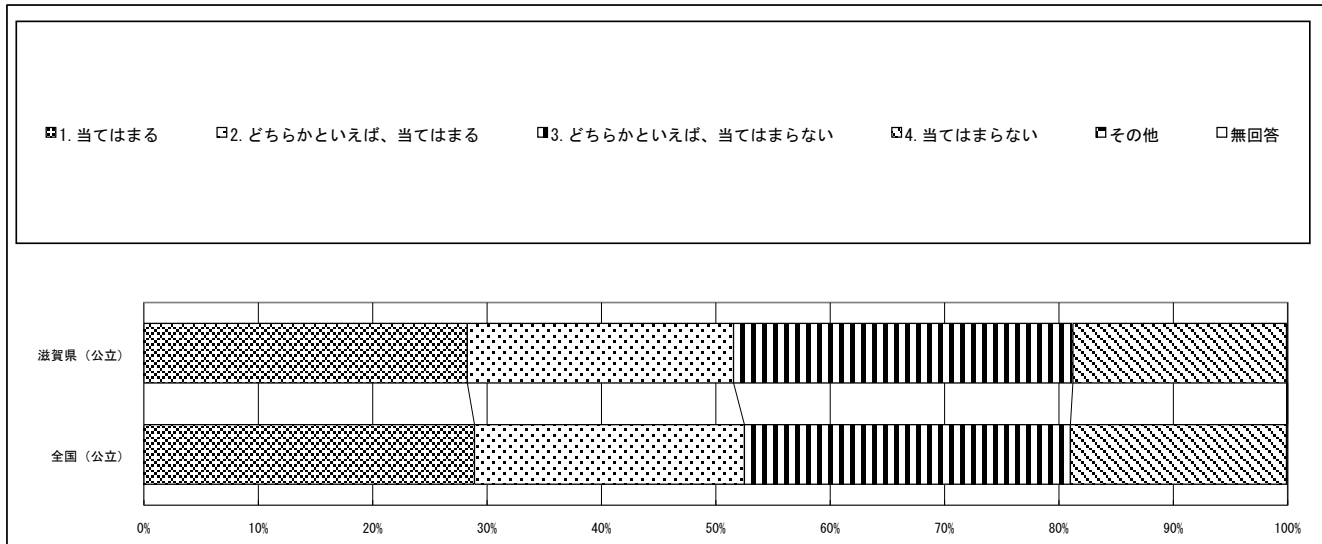


回答結果集計 [児童質問紙]

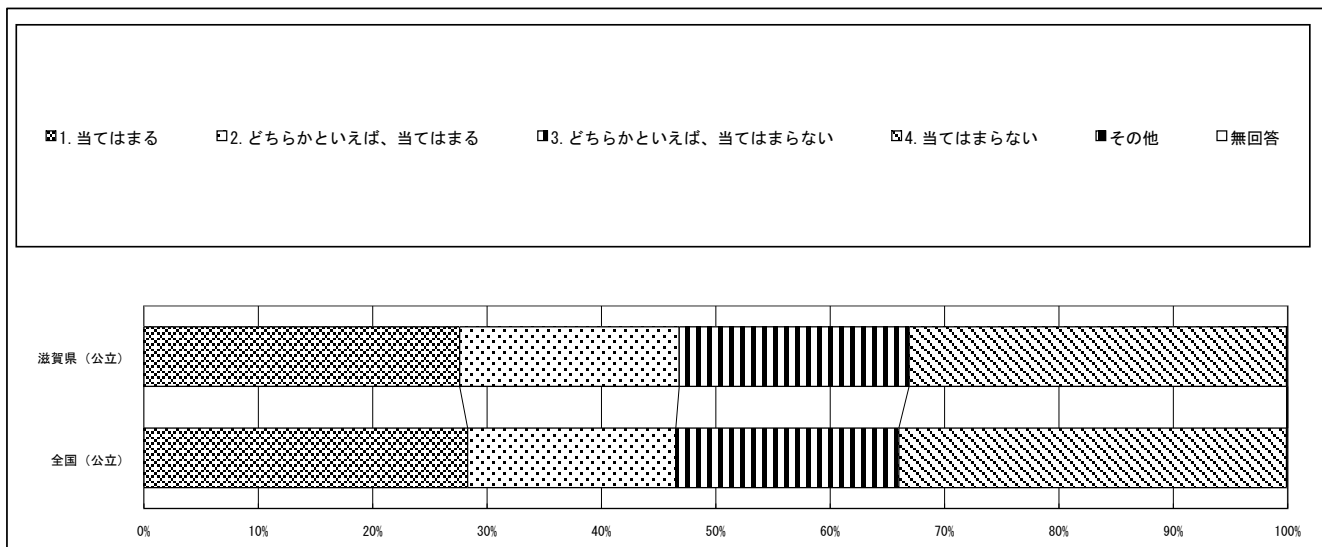
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(57)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたリ職業に就いたりしたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	28.3	23.3	29.7	18.7						0.0	0.1
全国（公立）	28.9	23.6	28.5	18.9						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(58)	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	27.6	19.2	20.1	33.0						0.0	0.1
全国（公立）	28.3	18.2	19.5	33.9						0.0	0.1

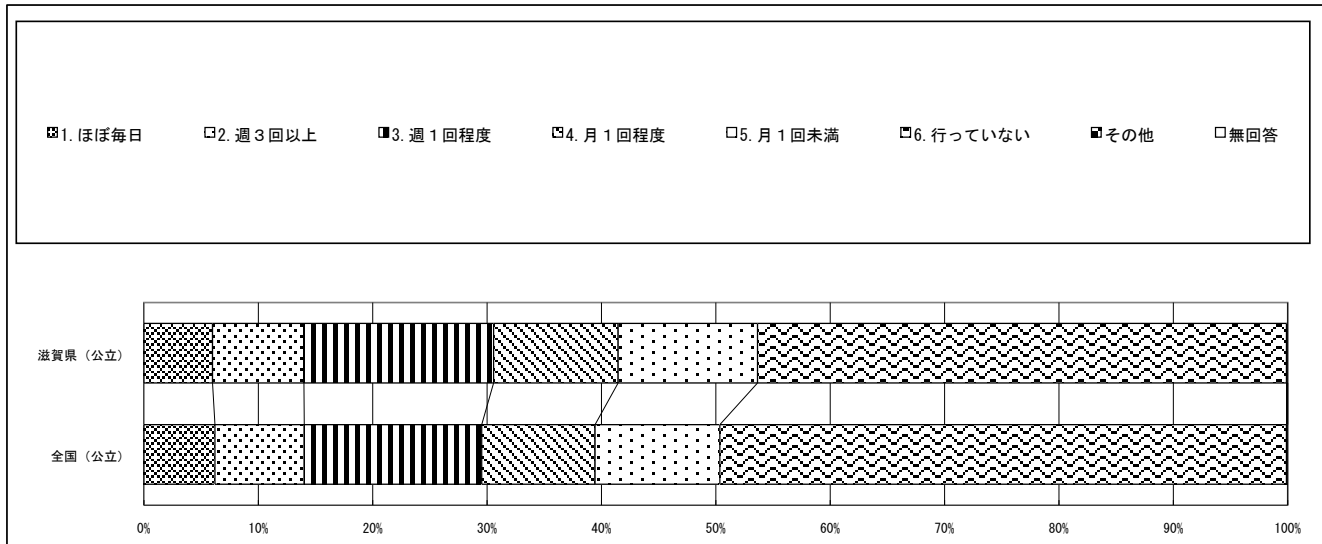


回答結果集計 [児童質問紙]

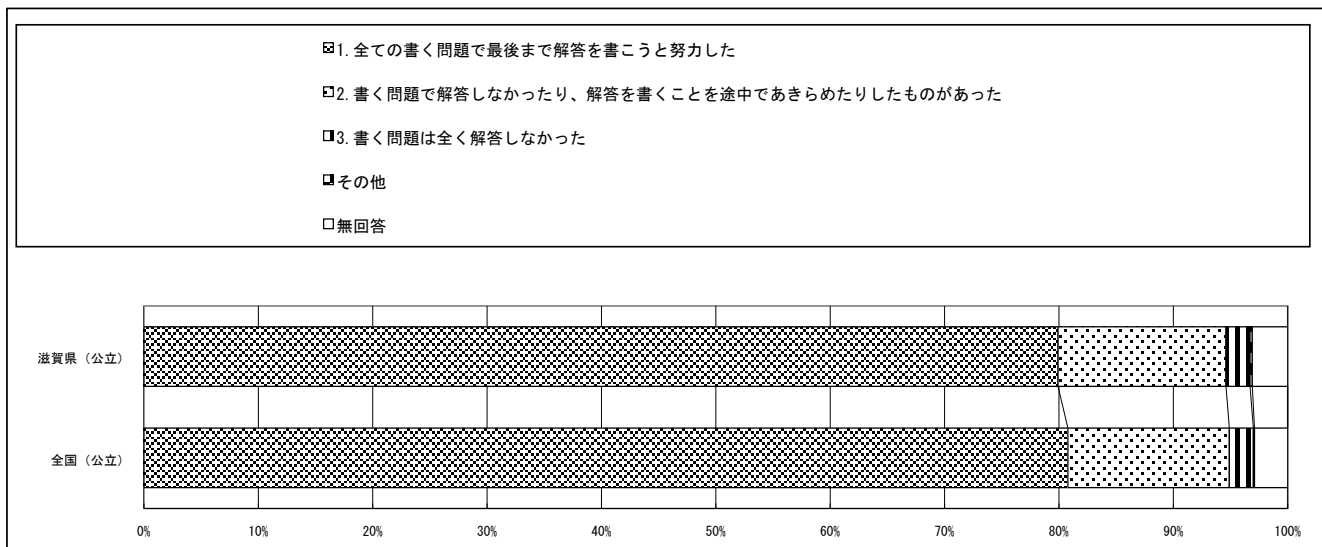
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(59)	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を開いたり英語を話す練習をしたりしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	6.0	8.0	16.6	10.9	12.2	46.3				0.0	0.1
全国（公立）	6.2	7.8	15.5	9.9	10.9	49.5				0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	80.0	14.7	2.1							0.2	3.1
全国（公立）	80.7	14.1	2.1							0.1	2.9

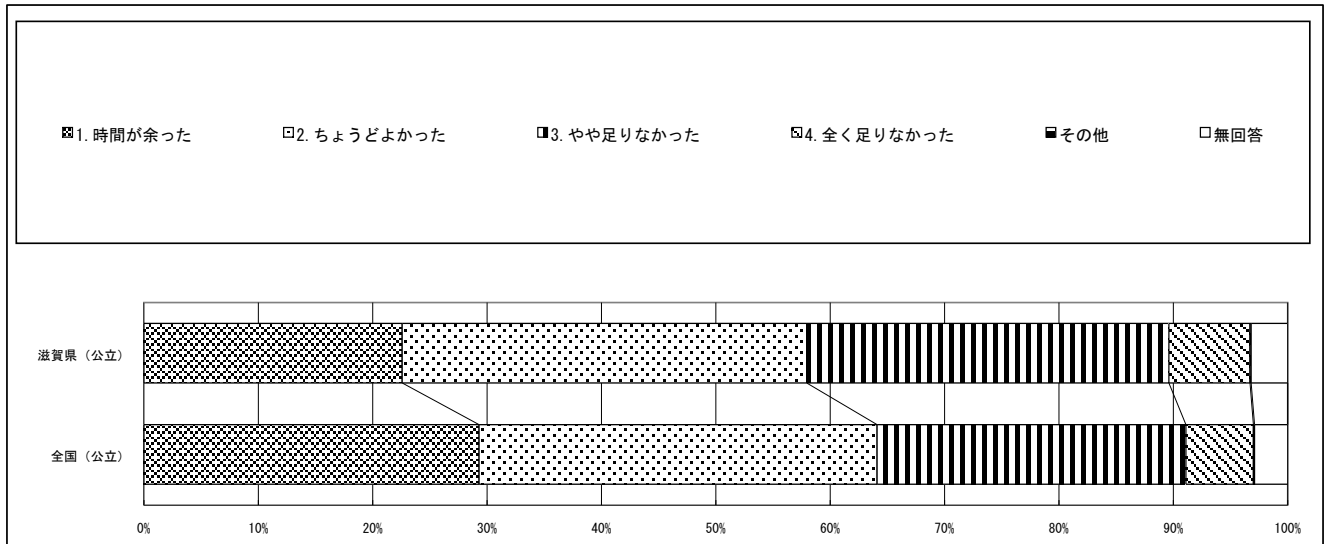


回答結果集計 [児童質問紙]

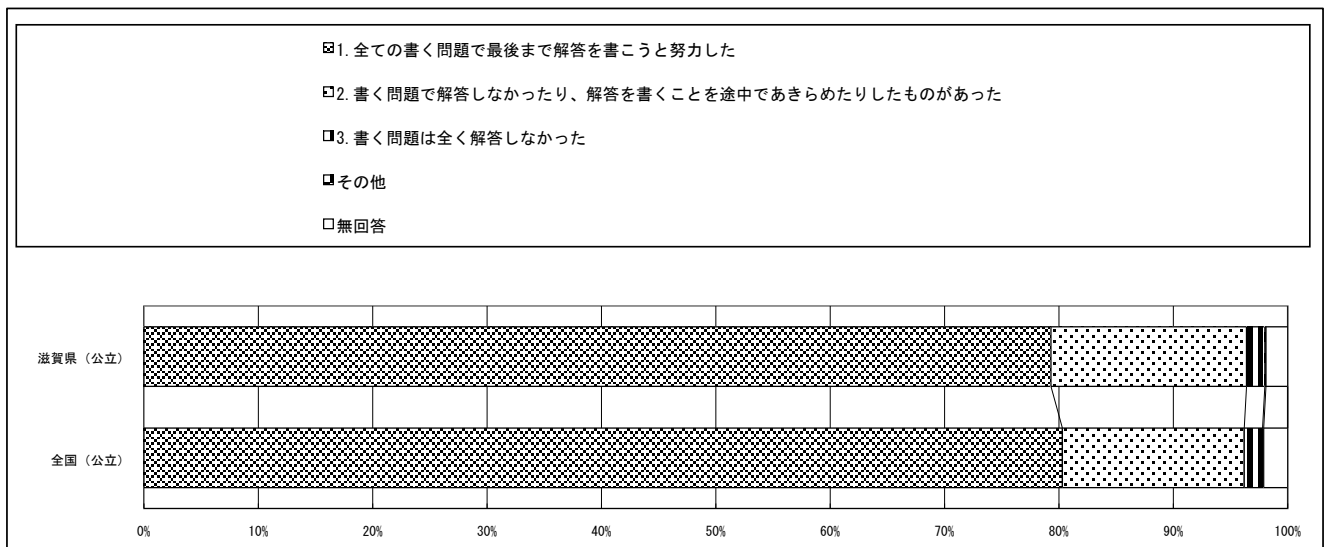
滋賀県一児童（公立）

※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
 紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
 ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
 ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(国2)	解答時間は十分でしたか（国語）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	22.6	35.4	31.7	7.1						0.1	3.2
全国（公立）	29.3	34.8	27.0	5.9						0.1	2.9



質問番号	質問事項										
(算1)	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	79.3	17.1	1.6							0.1	1.9
全国（公立）	80.3	15.9	1.6							0.1	2.1

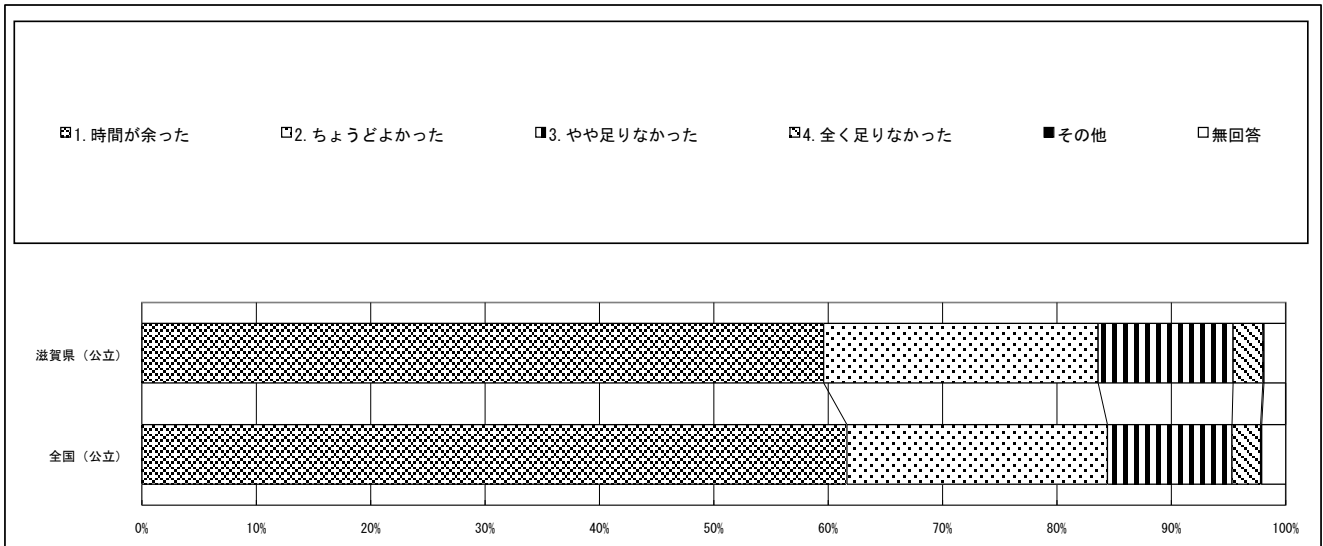


回答結果集計 [児童質問紙]

滋賀県一児童（公立）

- ※1：質問番号（1）～（59）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで
- ※2：質問番号（国1）と（国2）、（算1）と（算2）は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。
- ※3：①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(算2)	解答時間は十分でしたか(算数)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県(公立)	59.6	24.0	11.8	2.6						0.1	1.9
全国(公立)	61.7	22.8	10.9	2.5						0.1	2.1



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

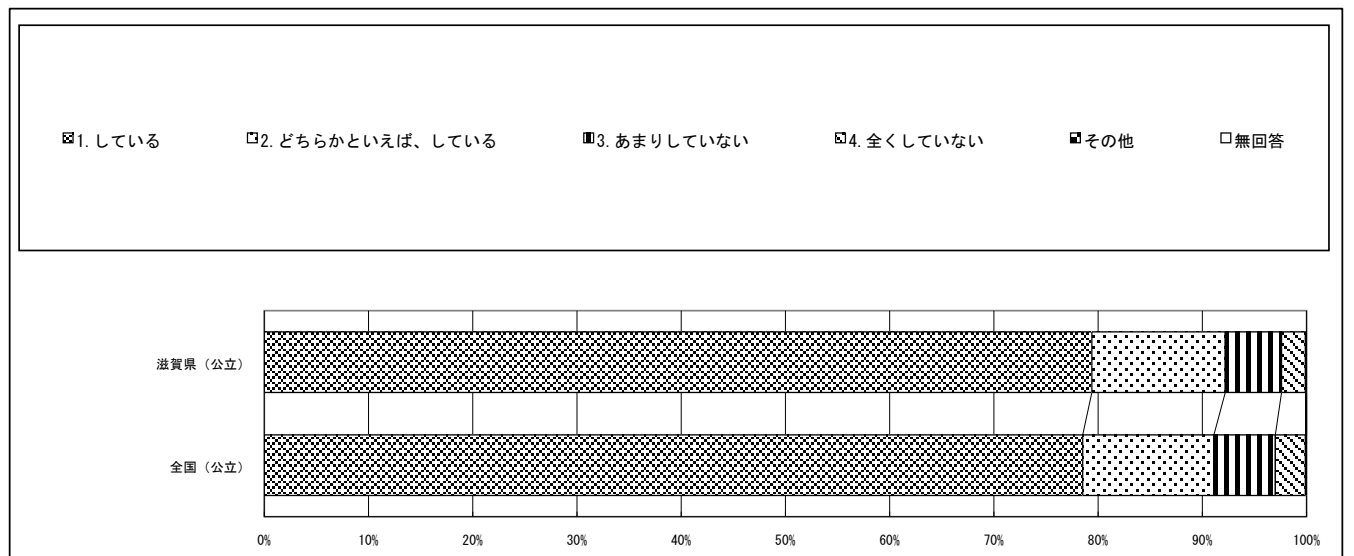
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

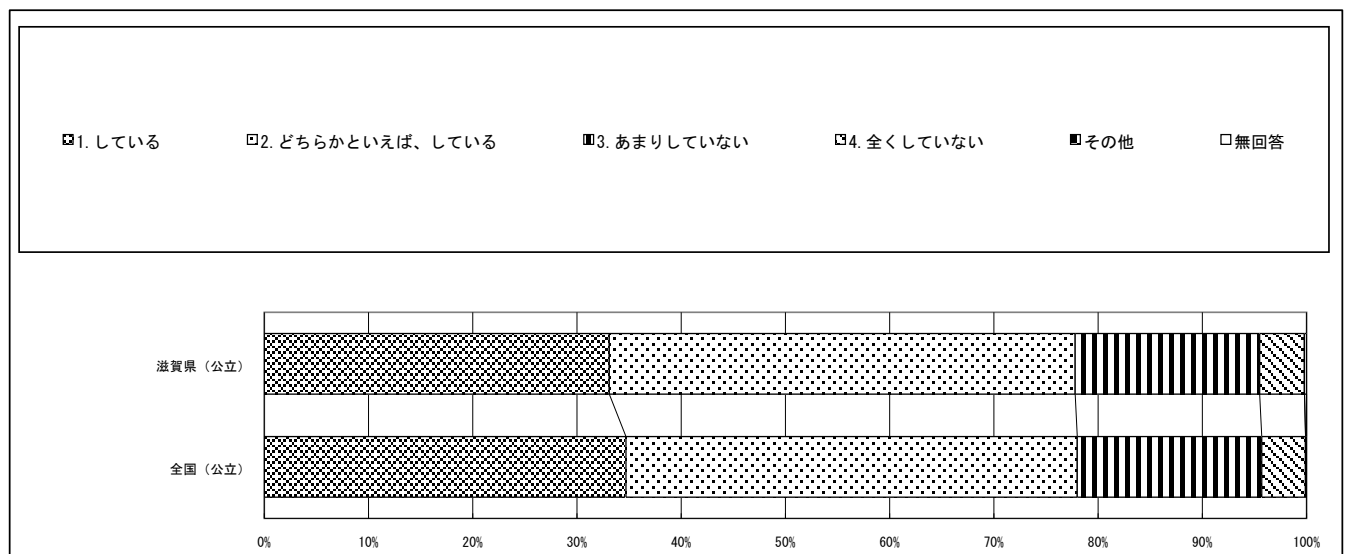
※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

	①質問番号（1）～（72）		②質問番号（国1）（国2）		③質問番号（数1）（数2）		④質問番号（英1）（英2）		⑤質問番号（話1）（話2）	
	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数
滋賀県（公立）	11,870	102	11,884	102	11,911	102	11,929	102	11,709	102

質問番号	質問事項										
(1)	朝食を毎日食べていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	79.4	12.8	5.4	2.3						0.0	0.1
全国（公立）	78.6	12.6	5.9	2.9						0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	33.1	44.7	17.7	4.3						0.0	0.2
全国（公立）	34.7	43.3	17.7	4.2						0.0	0.1



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

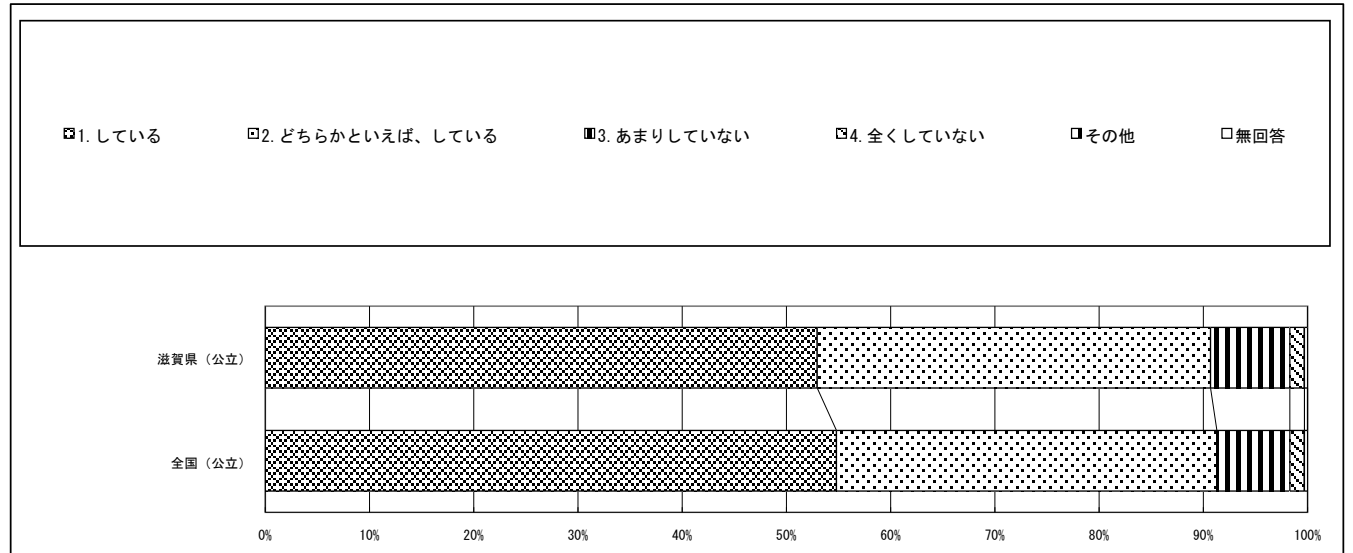
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

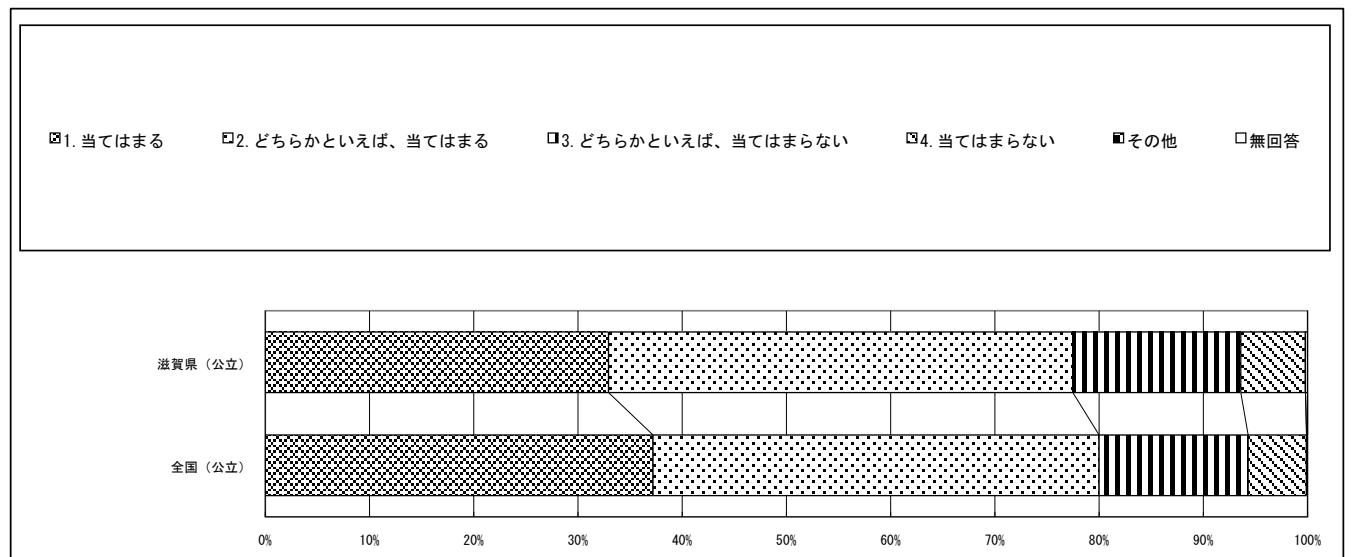
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	52.9	37.7	7.6	1.4						0.0	0.3
全国（公立）	54.8	36.5	7.0	1.4						0.0	0.3



質問番号	質問事項										
(4)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	32.9	44.5	16.1	6.2						0.0	0.2
全国（公立）	37.2	42.8	14.3	5.6						0.0	0.1



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

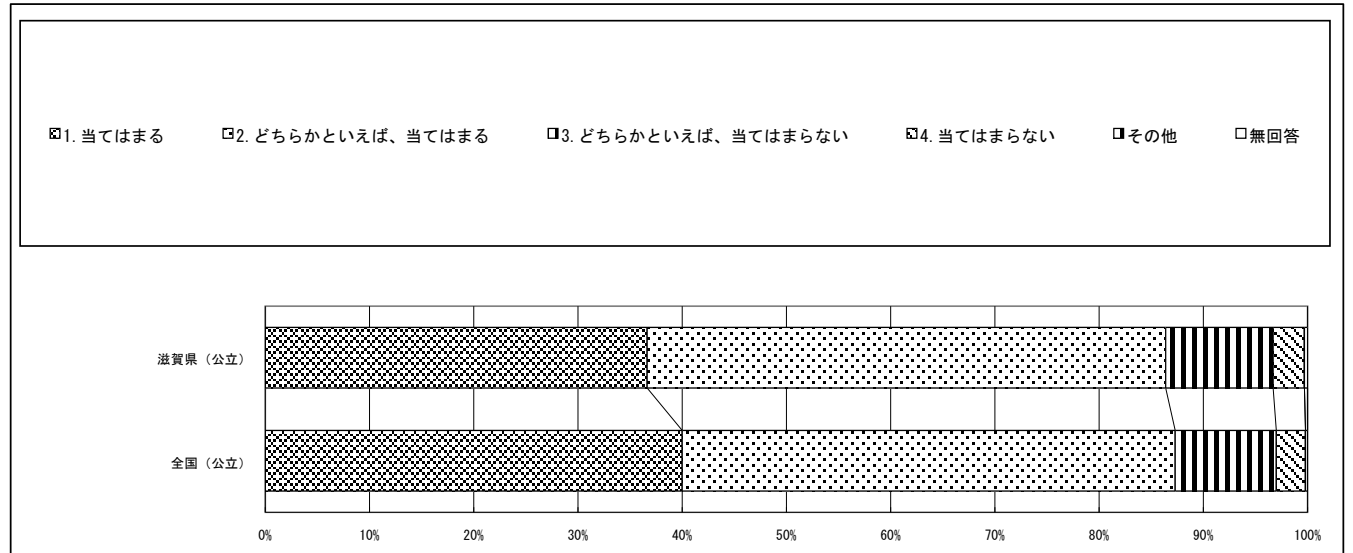
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

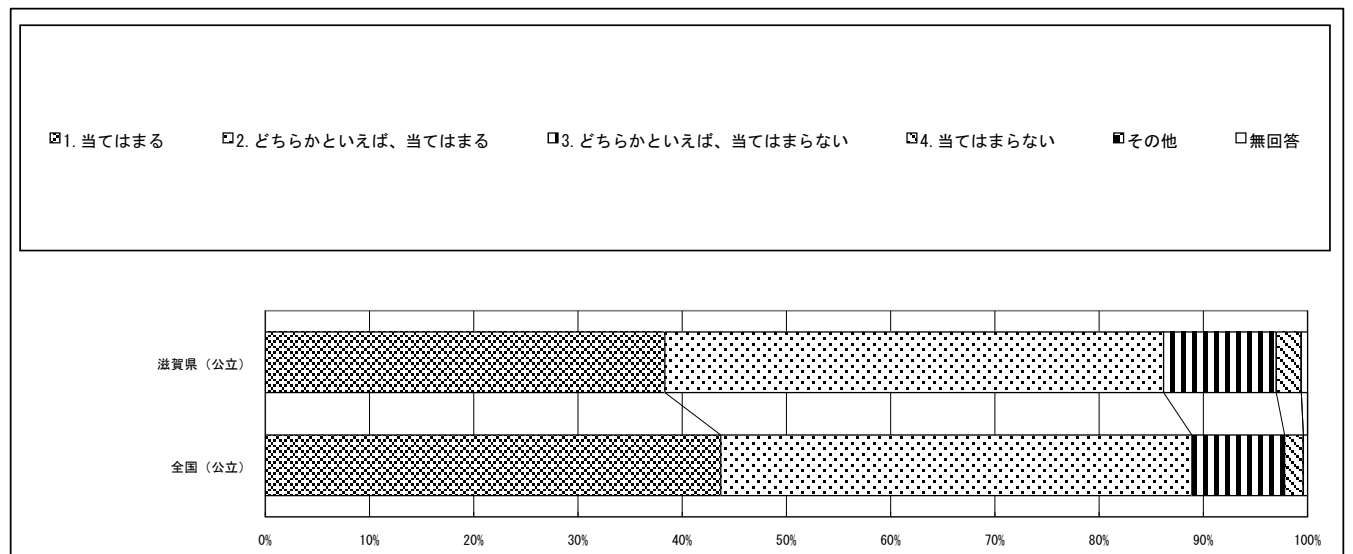
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	36.6	49.7	10.3	3.0						0.0	0.3
全国（公立）	40.0	47.3	9.7	2.8						0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	38.3	47.8	10.8	2.4						0.0	0.6
全国（公立）	43.7	45.2	8.9	1.8						0.0	0.4



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

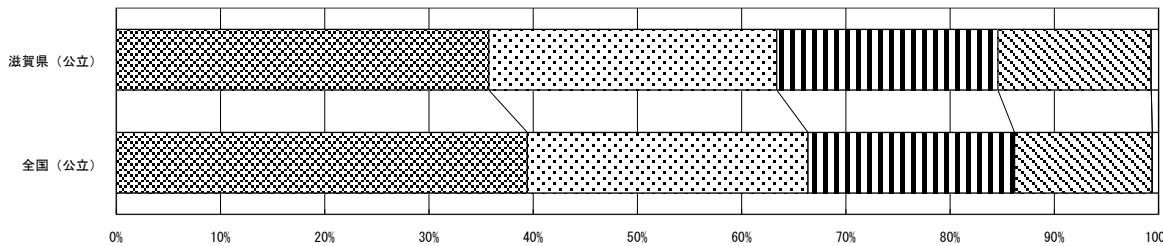
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

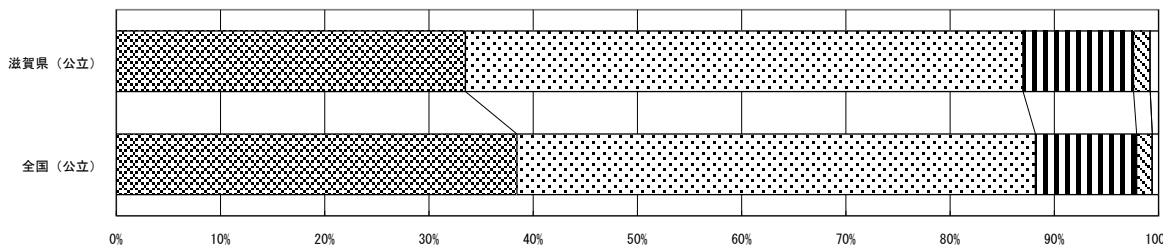
質問番号	質問事項										
(7)	将来の夢や目標を持っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	35.7	27.6	21.2	14.7						0.0	0.7
全国（公立）	39.4	26.9	19.8	13.2						0.0	0.6

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☐無回答



質問番号	質問事項										
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	33.5	53.5	10.6	1.6						0.0	0.8
全国（公立）	38.4	49.7	9.7	1.5						0.0	0.6

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☐無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

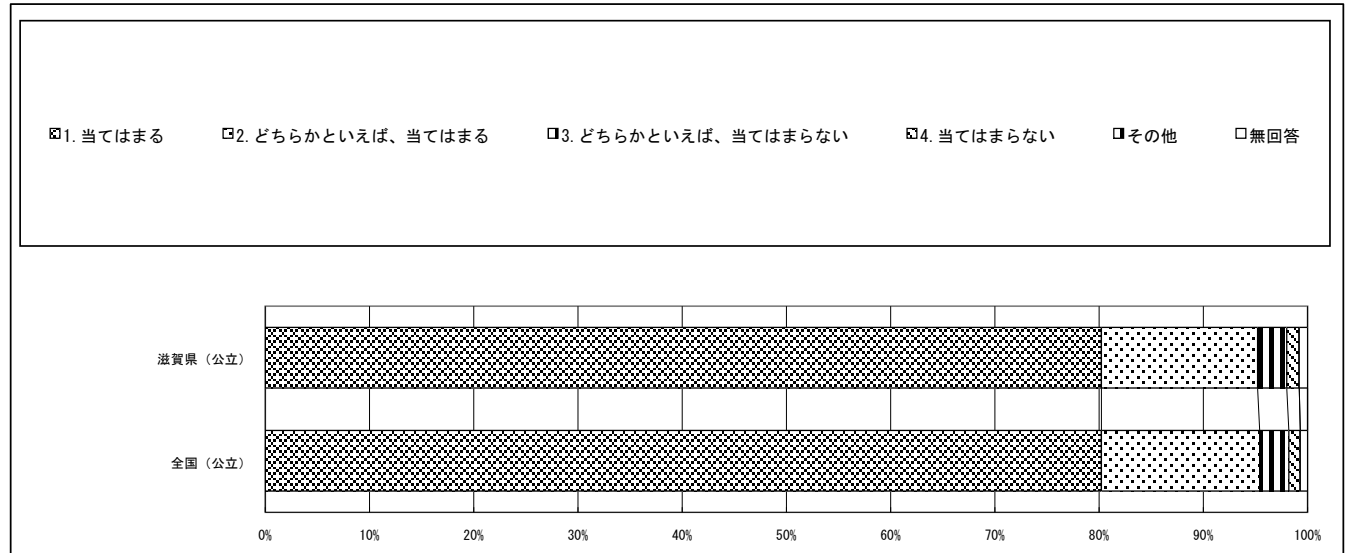
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

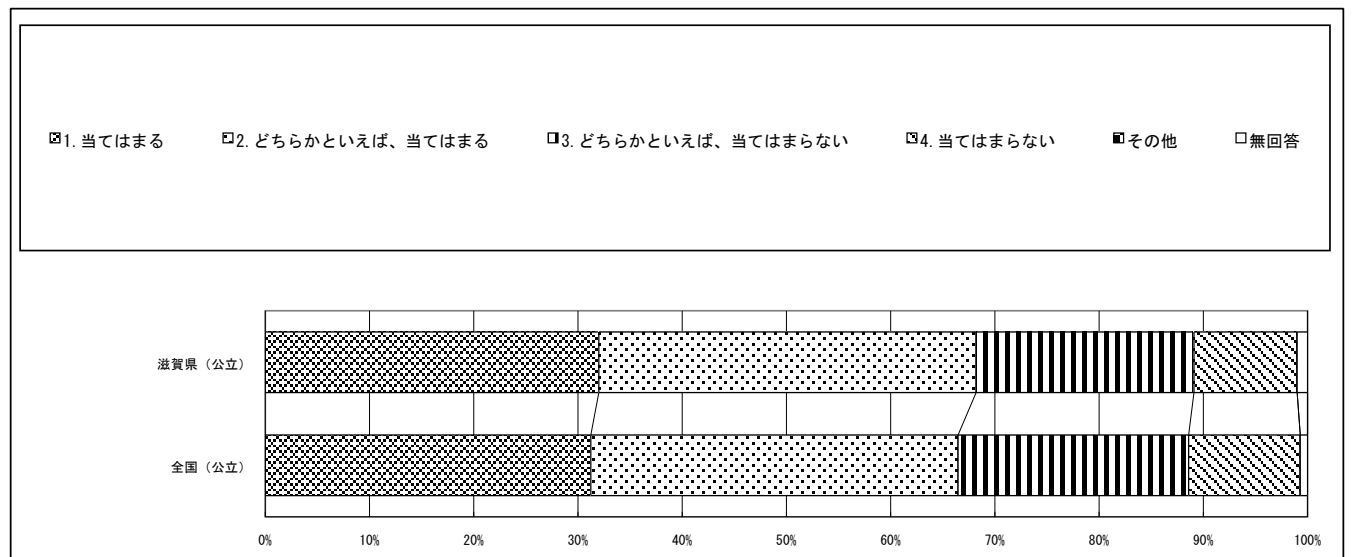
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	80.3	15.0	2.8	1.2						0.0	0.8
全国（公立）	80.3	15.2	2.8	1.1						0.0	0.7



質問番号	質問事項										
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	32.0	36.2	20.9	9.9						0.0	1.0
全国（公立）	31.2	35.2	22.1	10.7						0.0	0.7



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

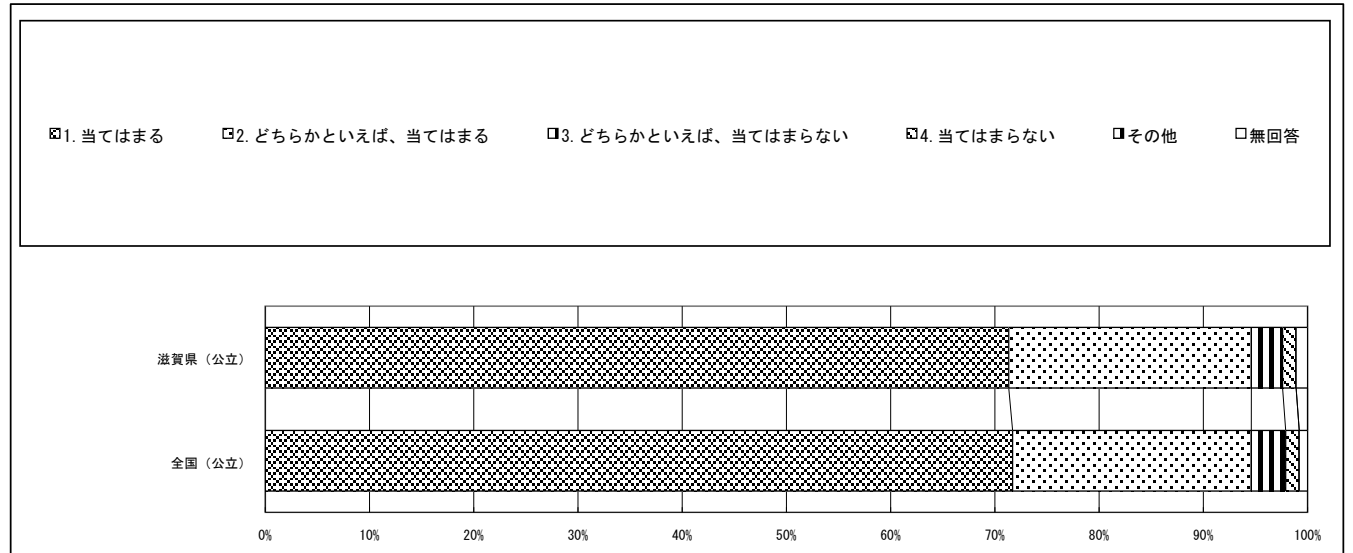
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

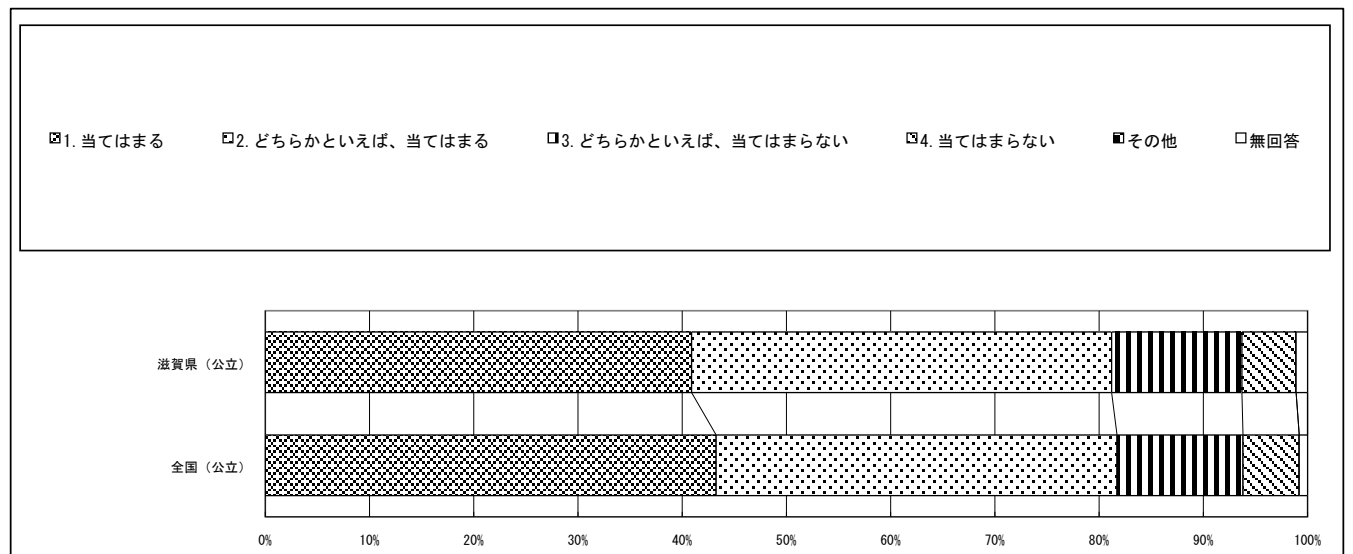
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	71.4	23.3	3.0	1.3						0.0	1.1
全国（公立）	71.7	22.9	3.3	1.3						0.0	0.8



質問番号	質問事項										
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	40.9	40.3	12.5	5.2						0.0	1.1
全国（公立）	43.3	38.5	12.1	5.4						0.0	0.8



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

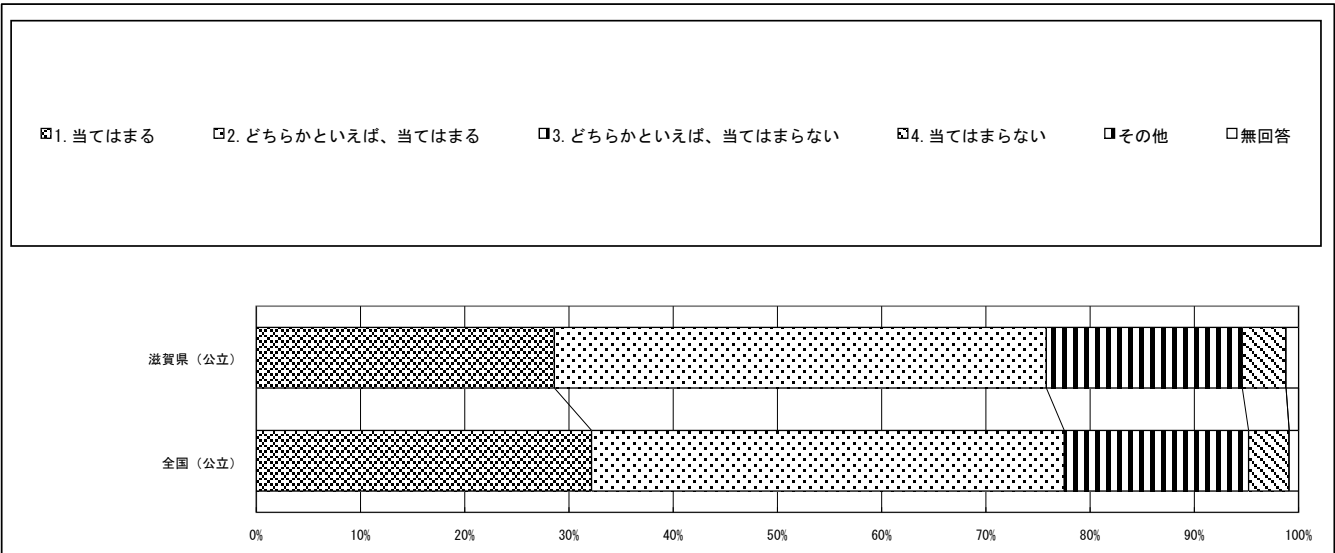
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

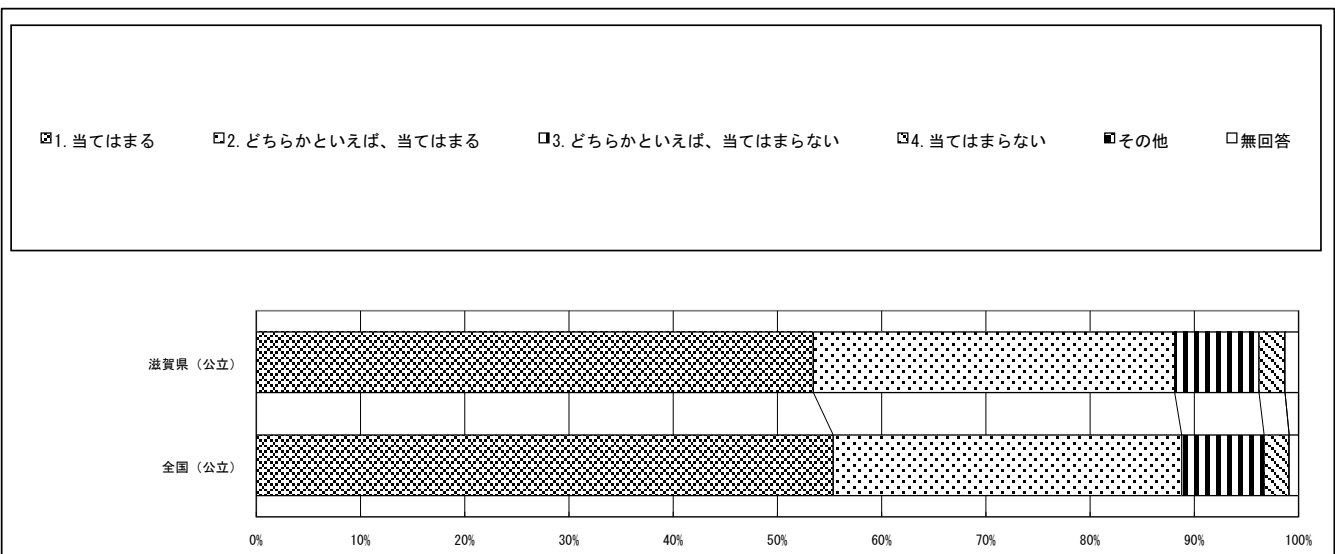
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	28.6	47.2	18.8	4.2						0.0	1.2
全国（公立）	32.2	45.4	17.7	3.9						0.0	0.9



質問番号	質問事項										
(14)	友達関係に満足していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	53.5	34.7	8.1	2.5						0.0	1.3
全国（公立）	55.3	33.4	7.9	2.4						0.0	0.9



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

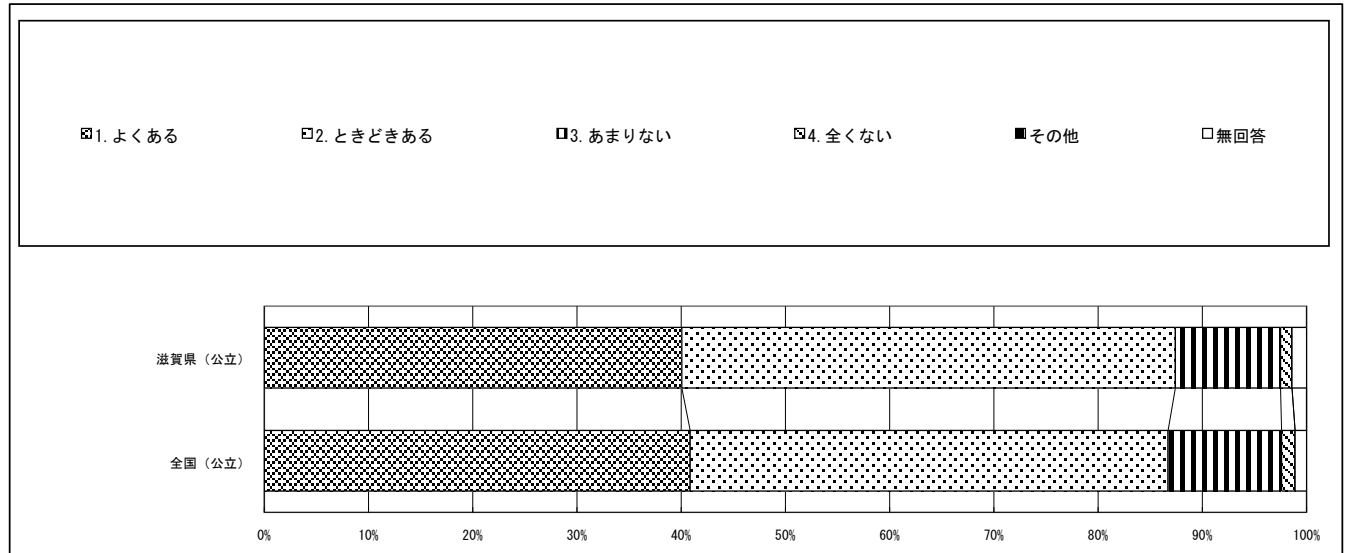
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

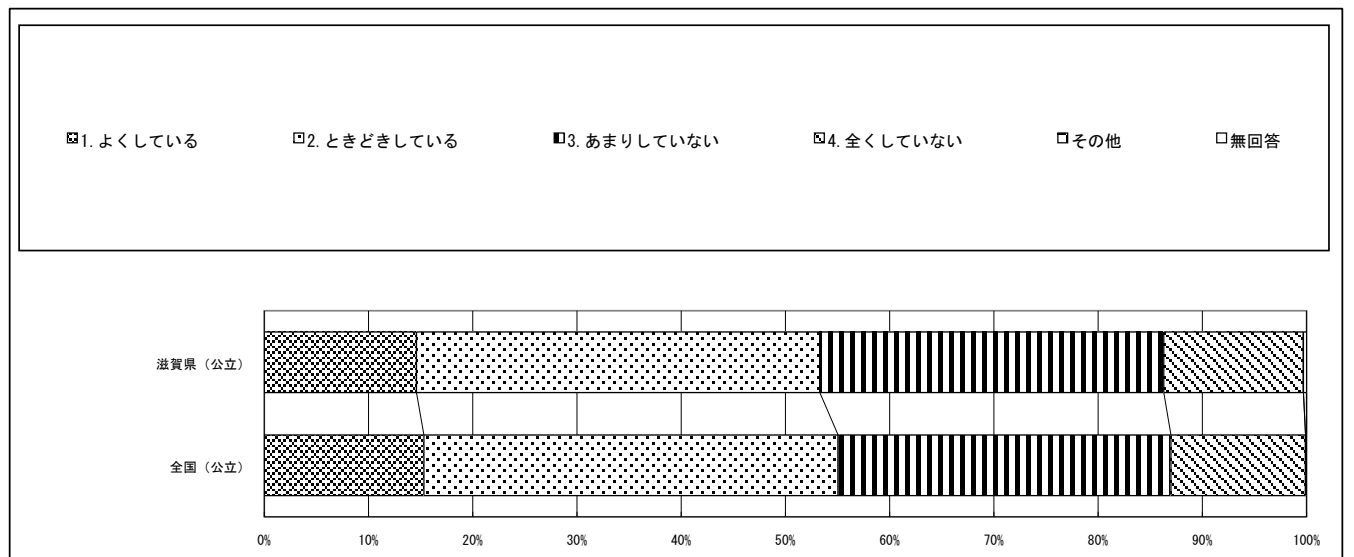
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	40.1	47.4	10.1	1.1						0.0	1.4
全国（公立）	40.9	45.9	10.9	1.3						0.0	1.1



質問番号	質問事項										
(16)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	14.6	38.7	33.0	13.4						0.0	0.3
全国（公立）	15.3	39.7	31.9	12.9						0.0	0.1



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

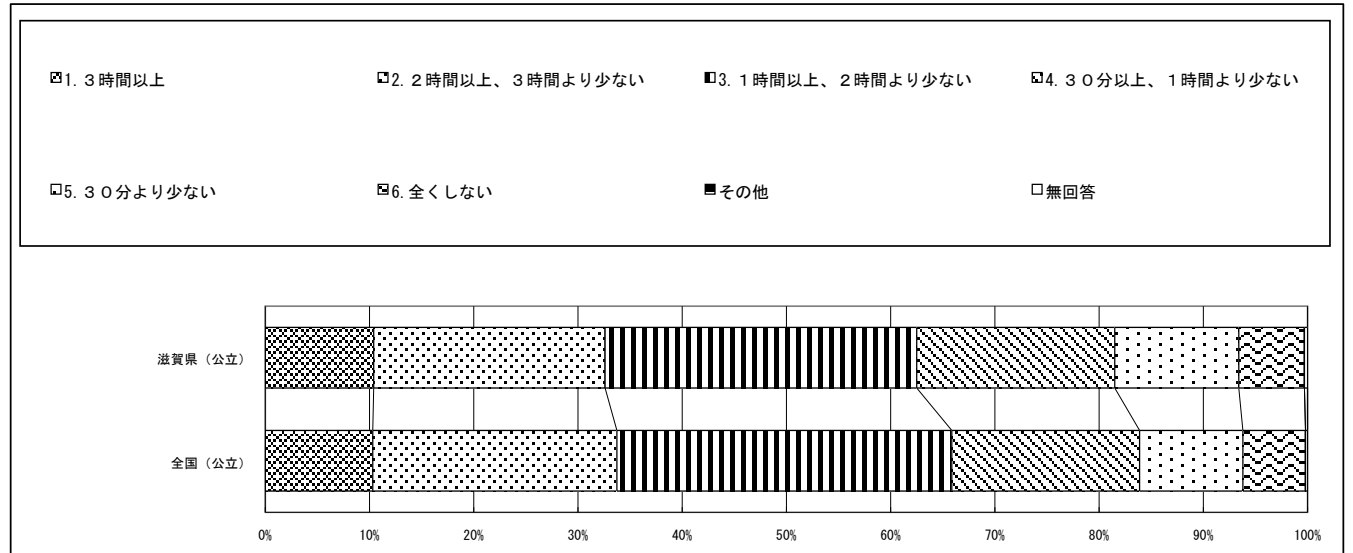
※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

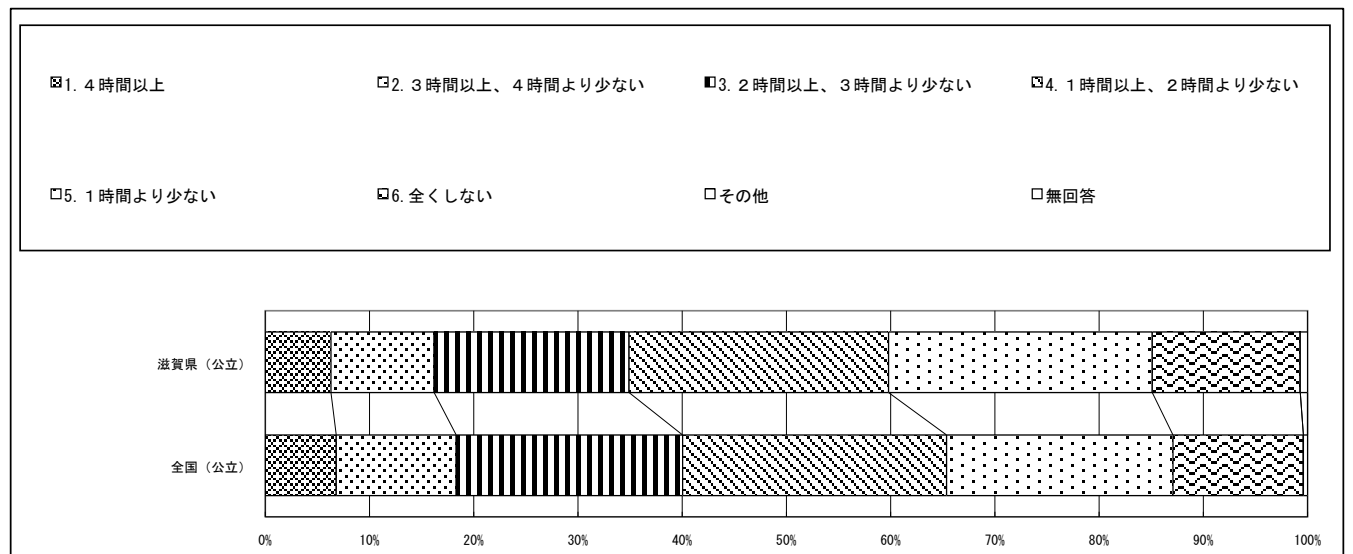
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	10.4	22.2	29.9	19.0	11.9	6.3				0.0	0.3
全国（公立）	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0				0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	6.3	9.9	18.7	24.9	25.3	14.2				0.0	0.7
全国（公立）	6.8	11.5	21.7	25.3	21.7	12.5				0.0	0.4



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

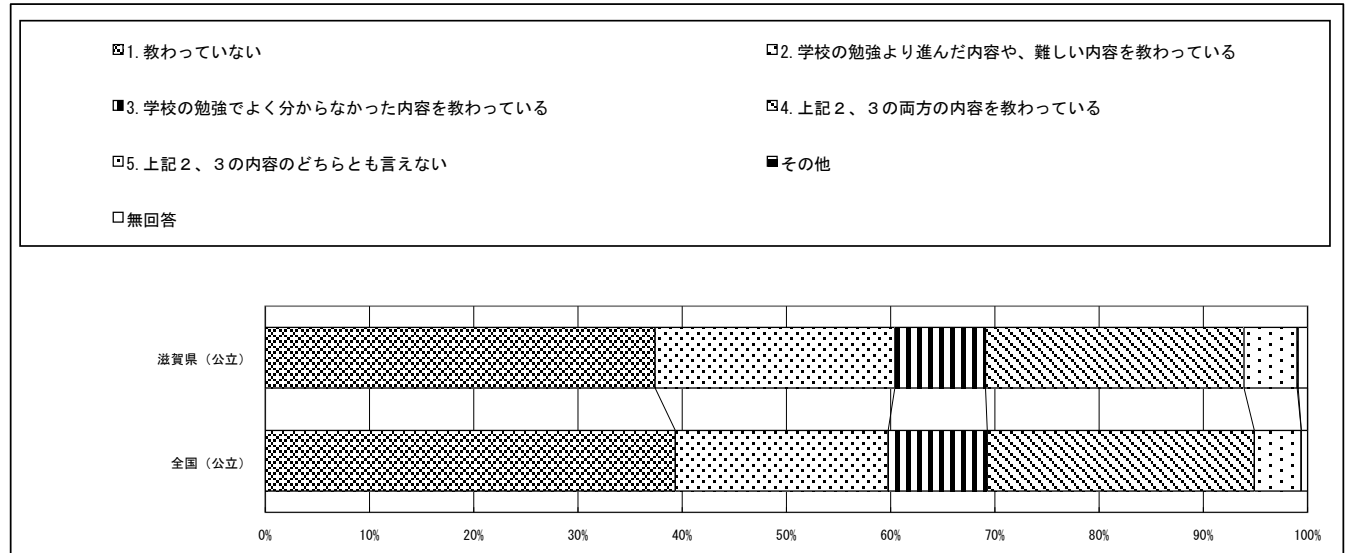
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

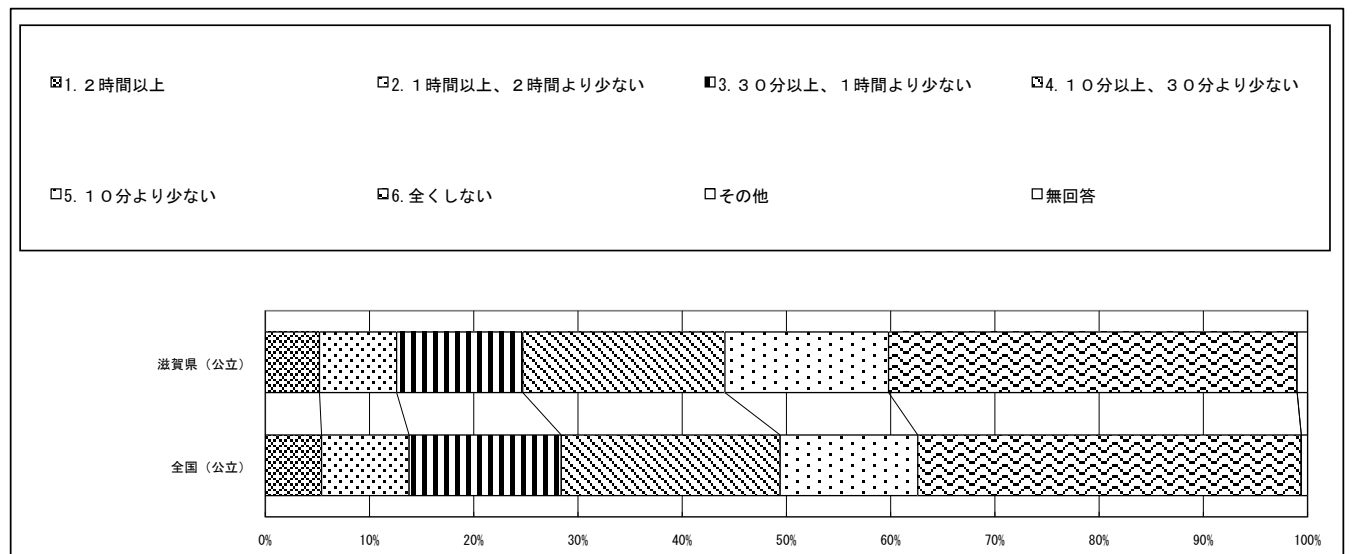
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(19)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	37.4	23.0	8.7	24.8	5.1					0.1	0.9
全国（公立）	39.3	20.4	9.5	25.6	4.5					0.0	0.6



質問番号	質問事項										
(20)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	5.2	7.4	12.1	19.4	15.7	39.2				0.0	1.0
全国（公立）	5.4	8.4	14.6	21.0	13.2	36.8				0.0	0.6



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

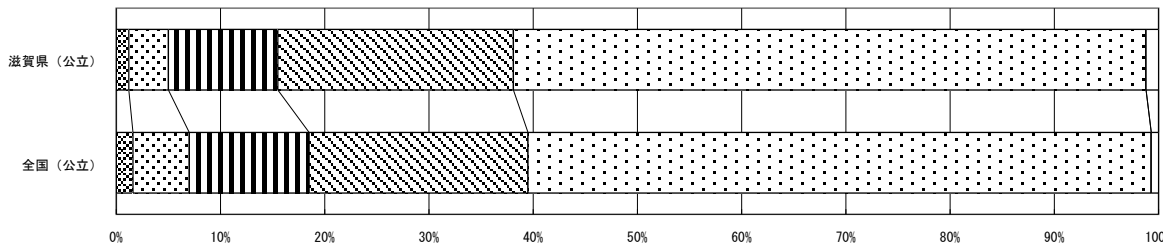
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

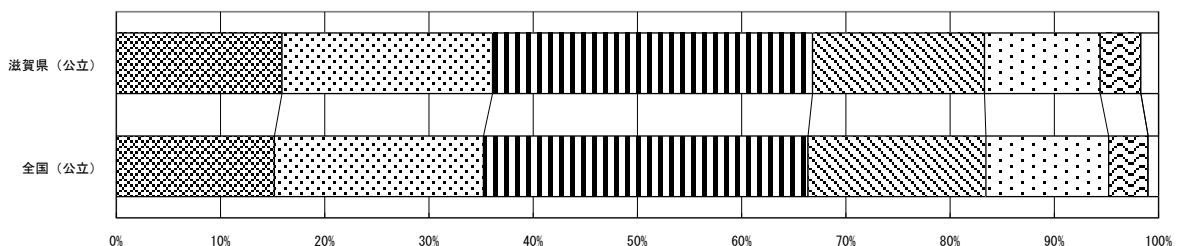
質問番号	質問事項										
(21)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	1.2	3.8	10.5	22.6	60.7					0.0	1.2
全国（公立）	1.6	5.4	11.5	21.0	59.8					0.0	0.7

☒1. だいたい週に4回以上行く ☐2. 週に1～3回程度行く ☐3. 月に1～3回程度行く ☐4. 年に数回程度行く ☐5. ほとんど、または、全く行かない ☐その他 ☐無回答



質問番号	質問事項										
(22)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	15.9	20.2	30.7	16.5	11.1	3.9				0.0	1.7
全国（公立）	15.2	20.1	31.2	17.1	11.8	3.8				0.0	1.0

☒1. 0～10冊 ☐2. 11～25冊 ☐3. 26～100冊 ☐4. 101～200冊 ☐5. 201～500冊 ☐6. 501冊以上 ☐その他 ☐無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

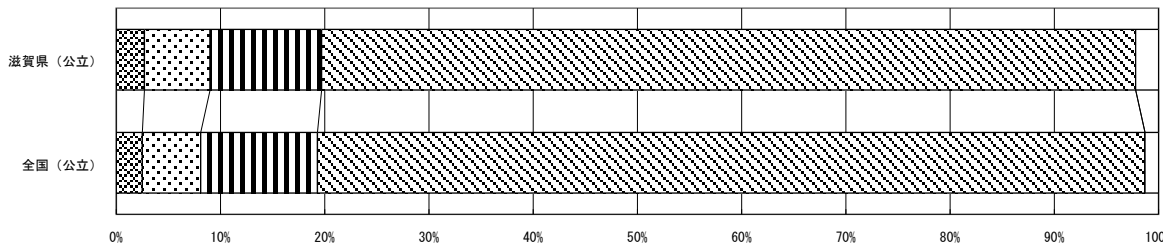
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

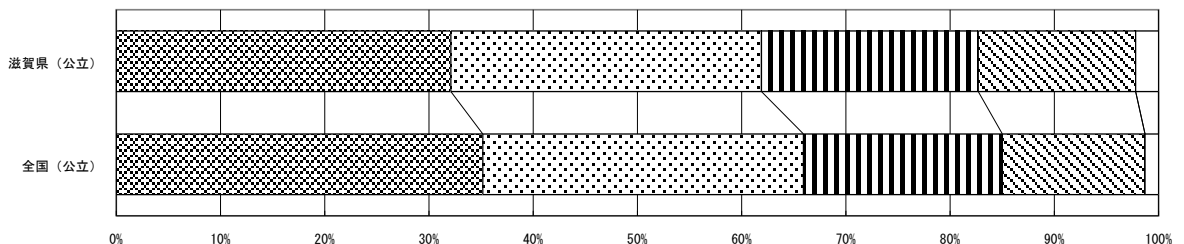
質問番号	質問事項										
(23)	新聞を読んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	2.7	6.3	10.7	78.1						0.0	2.2
全国（公立）	2.5	5.6	11.2	79.4						0.0	1.3

☑1. ほぼ毎日読んでいる ☑2. 週に1～3程度読んでいる ☑3. 月に1～3程度読んでいる ☑4. ほとんど、または、全く読まない ■ その他 □ 無回答



質問番号	質問事項										
(24)	読書は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	32.1	29.8	20.8	15.1						0.0	2.2
全国（公立）	35.2	30.8	19.1	13.7						0.0	1.3

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

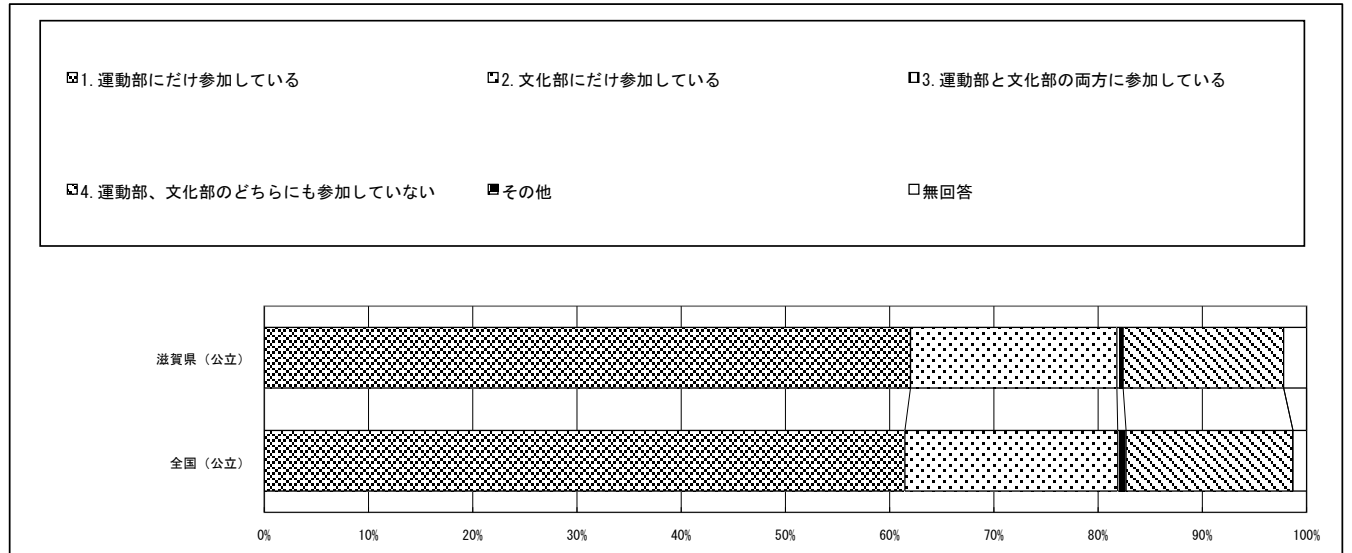
※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

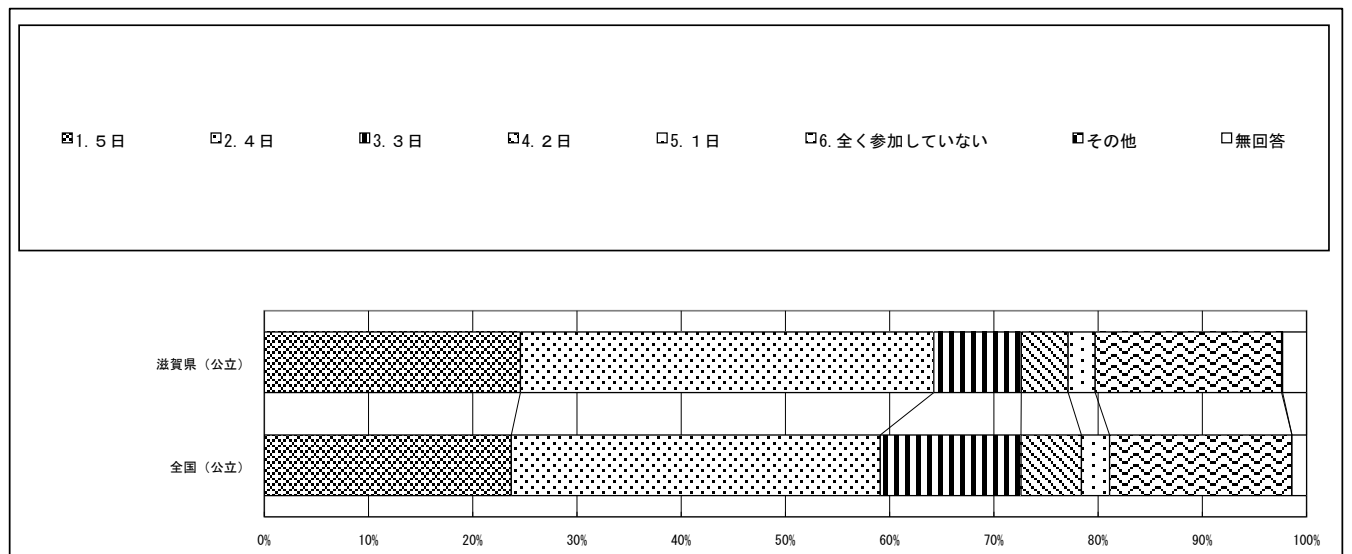
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(25)	学校の部活動に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	62.0	19.8	0.6	15.4						0.0	2.2
全国（公立）	61.4	20.4	0.8	16.0						0.0	1.3



質問番号	質問事項										
(26)	普段（月曜日から金曜日）、平均して何日学校の部活動に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	24.6	39.7	8.4	4.5	2.6	17.9				0.1	2.3
全国（公立）	23.7	35.4	13.5	5.8	2.7	17.5				0.0	1.4



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

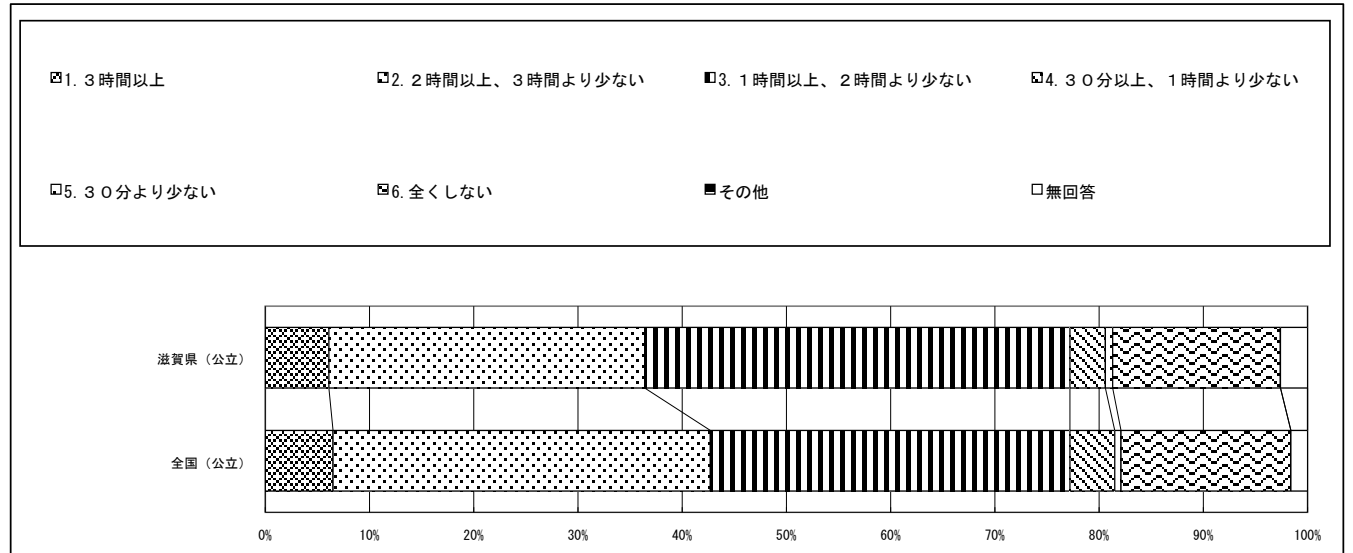
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

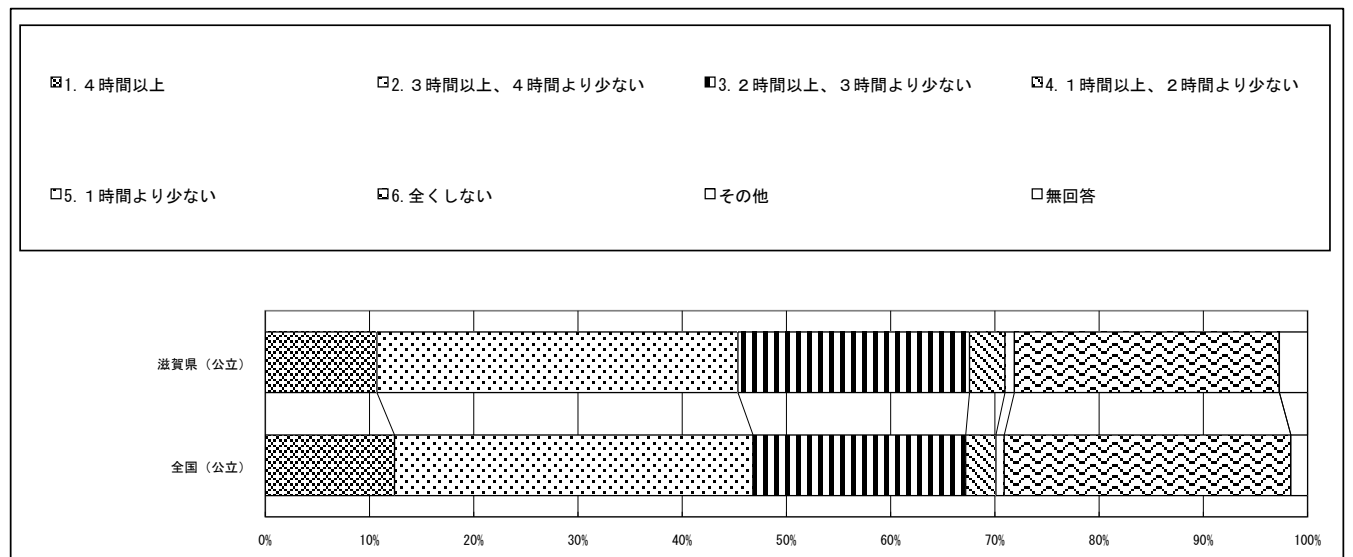
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(27)	学校の部活動で、普段（月曜日から金曜日）活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	6.1	30.3	40.8	3.4	0.7	16.1				0.0	2.6
全国（公立）	6.5	36.2	34.5	4.3	0.6	16.3				0.0	1.6



質問番号	質問事項										
(28)	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	10.7	34.6	22.2	3.4	0.9	25.4				0.0	2.7
全国（公立）	12.4	34.4	20.4	2.9	0.8	27.5				0.0	1.6



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

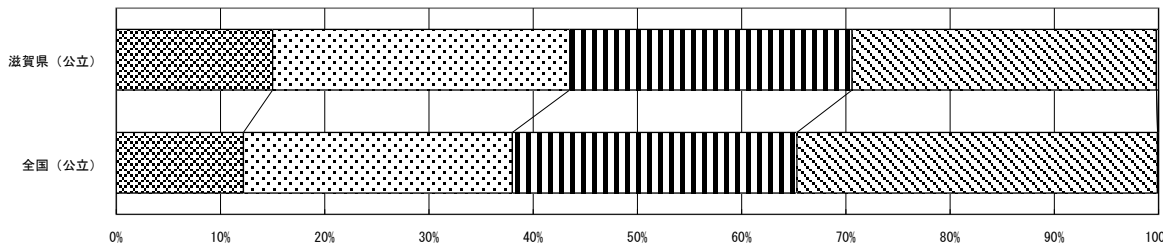
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

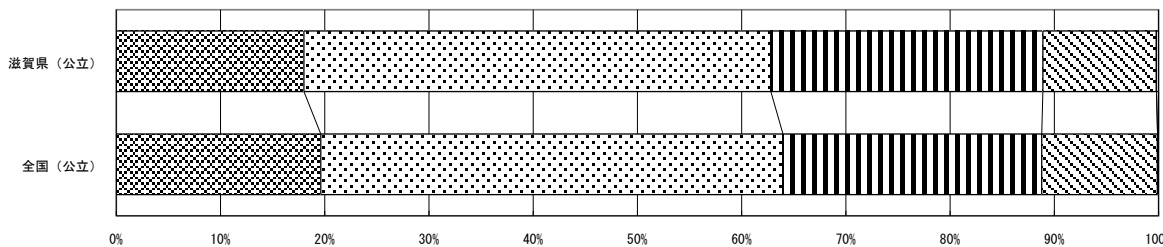
質問番号	質問事項										
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	15.0	28.5	27.1	29.2						0.0	0.2
全国（公立）	12.2	25.8	27.3	34.6						0.0	0.1

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



質問番号	質問事項										
(30)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	18.0	44.8	26.1	10.9						0.0	0.2
全国（公立）	19.6	44.3	24.8	11.1						0.0	0.1

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

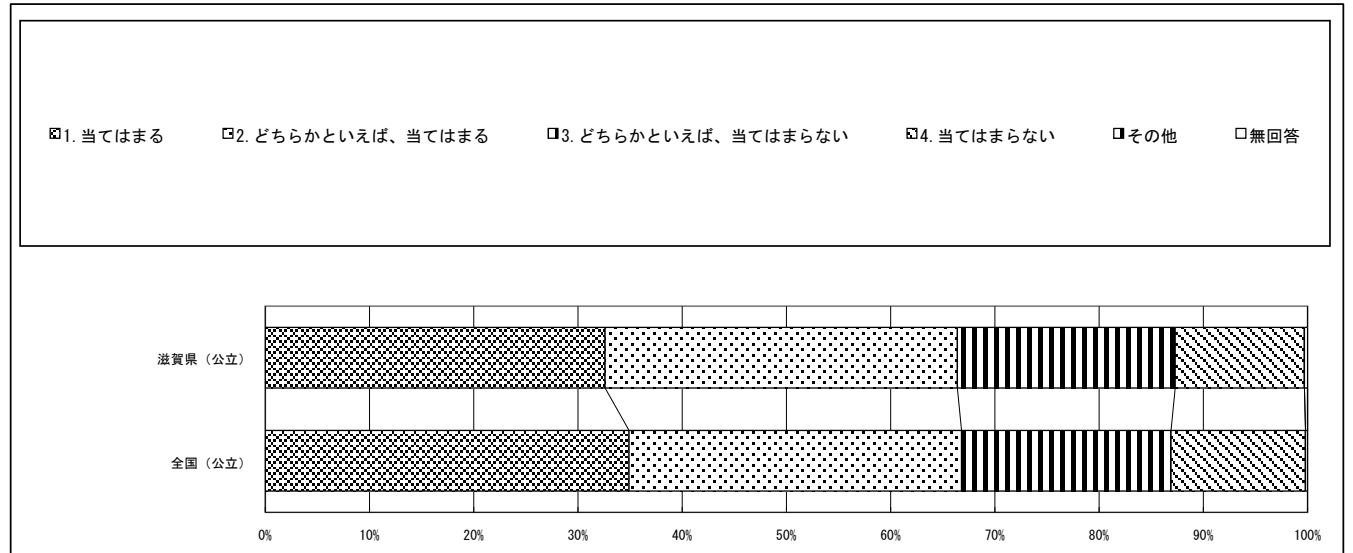
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

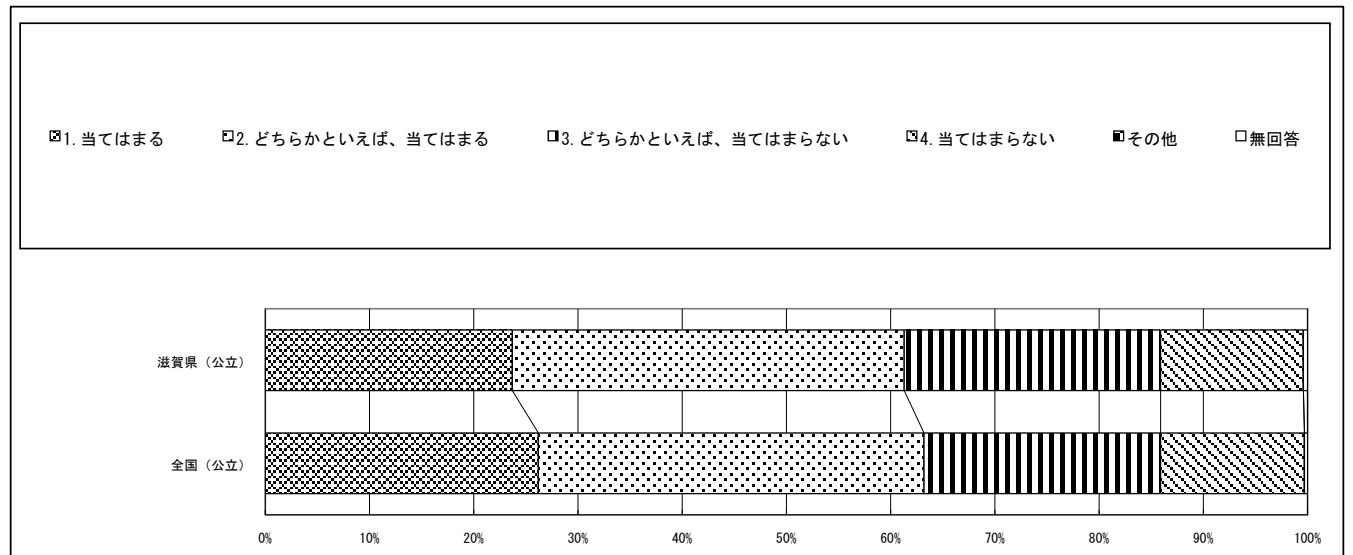
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(31)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	32.6	33.8	20.9	12.4						0.0	0.3
全国（公立）	34.9	31.9	20.1	12.9						0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(32)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	23.7	37.6	24.6	13.7						0.0	0.4
全国（公立）	26.2	37.0	22.7	13.8						0.0	0.3



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

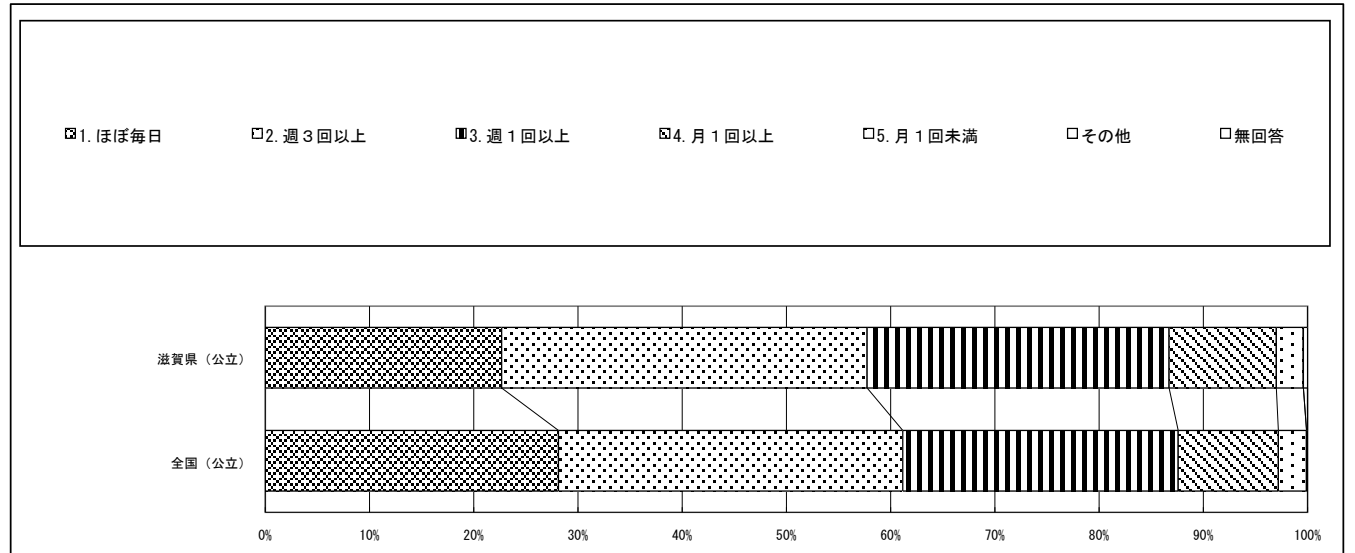
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

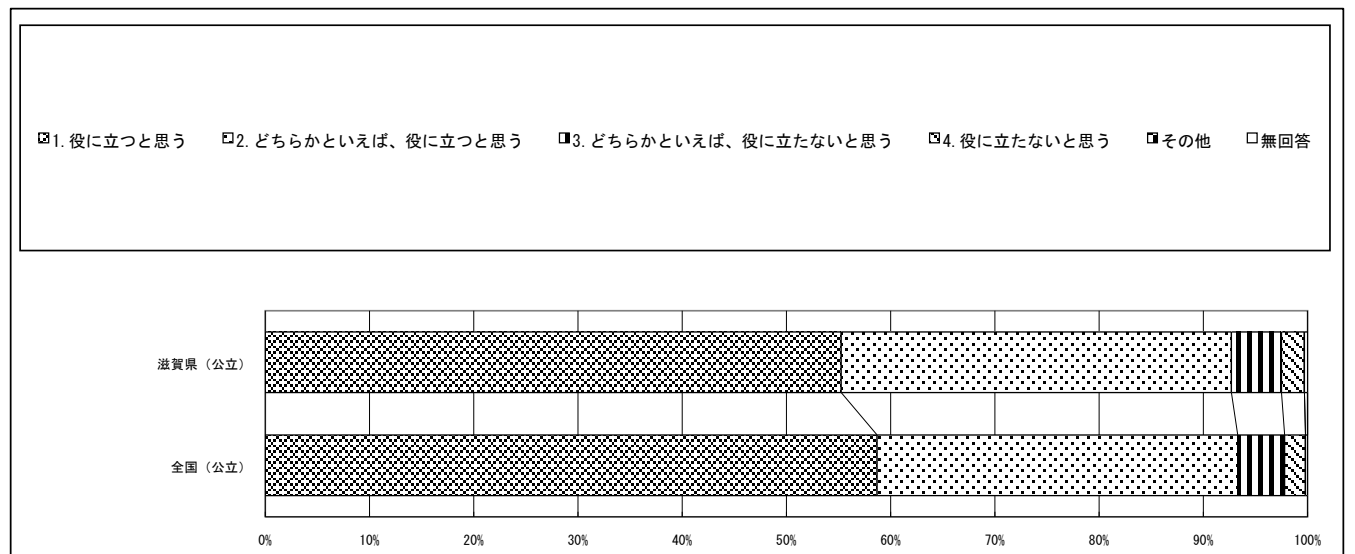
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(33)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	22.7	35.1	29.0	10.3	2.6					0.0	0.4
全国（公立）	28.1	33.0	26.4	9.6	2.7					0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(34)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	55.2	37.4	4.8	2.2						0.0	0.3
全国（公立）	58.7	34.6	4.5	2.0						0.0	0.2



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

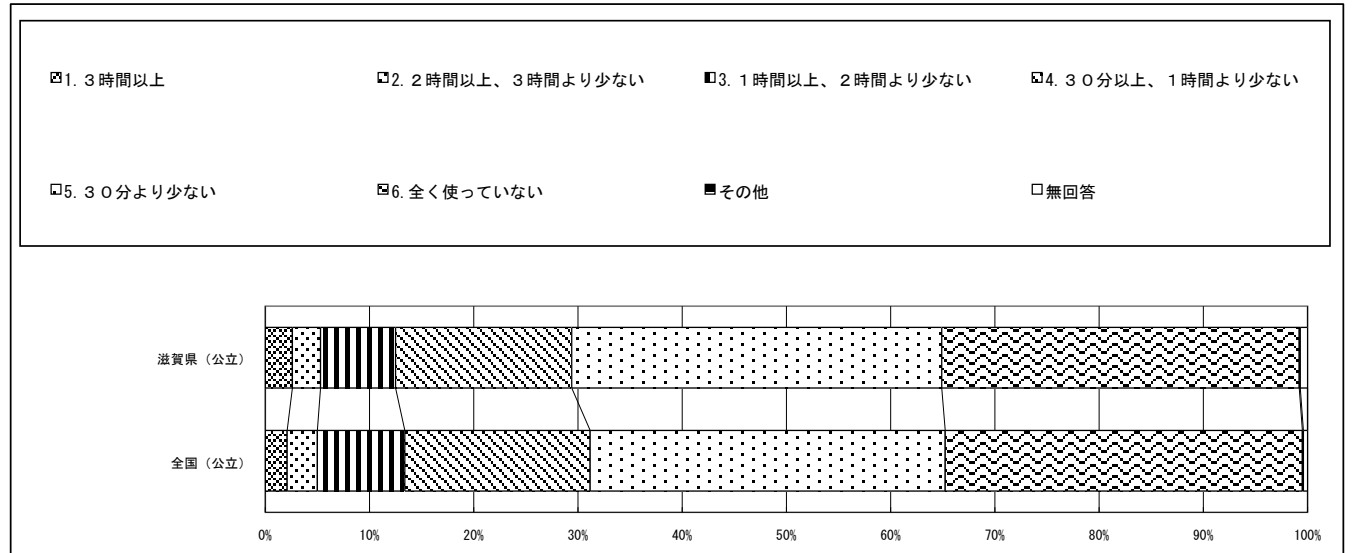
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

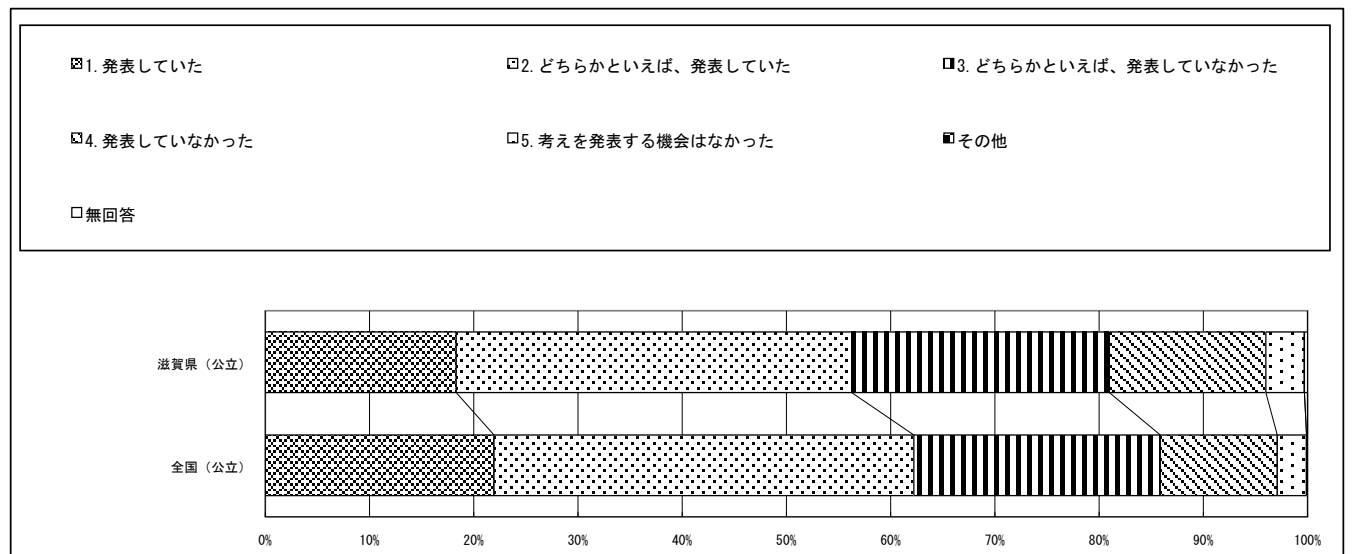
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(35)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	2.6	2.7	7.2	16.9	35.5	34.3				0.1	0.7
全国（公立）	2.1	2.9	8.4	17.8	34.1	34.3				0.1	0.4



質問番号	質問事項										
(36)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	18.3	37.9	24.7	15.0	3.7					0.0	0.3
全国（公立）	21.9	40.2	23.6	11.2	2.8					0.0	0.1



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

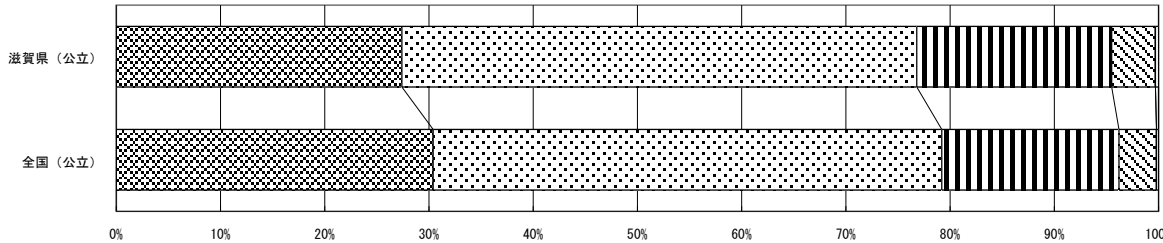
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

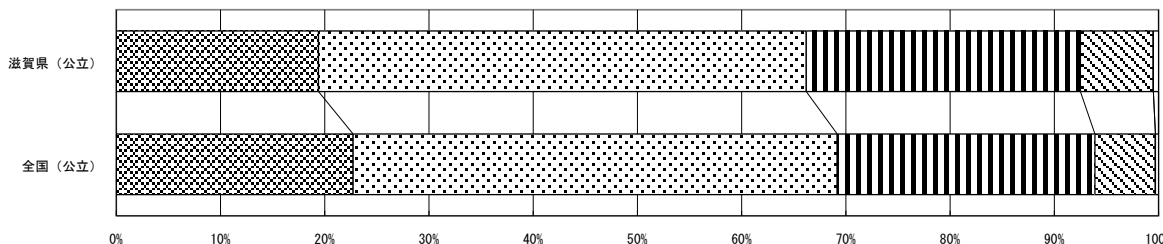
質問番号	質問事項										
(37)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	27.4	49.4	18.7	4.2						0.0	0.3
全国（公立）	30.4	48.8	17.0	3.6						0.0	0.2

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答



質問番号	質問事項										
(38)	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	19.4	46.8	26.3	7.0						0.0	0.5
全国（公立）	22.7	46.4	24.7	5.8						0.0	0.3

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

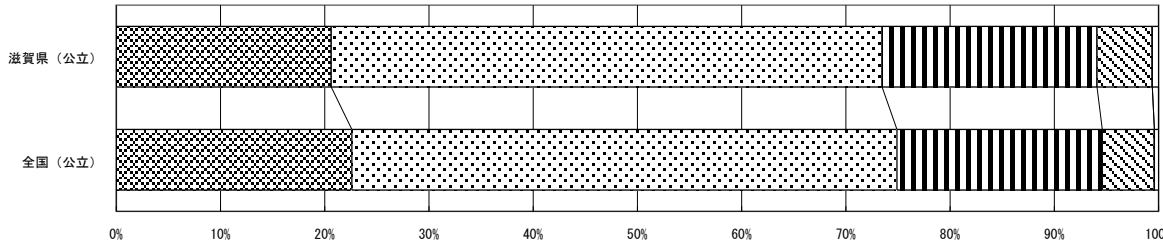
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

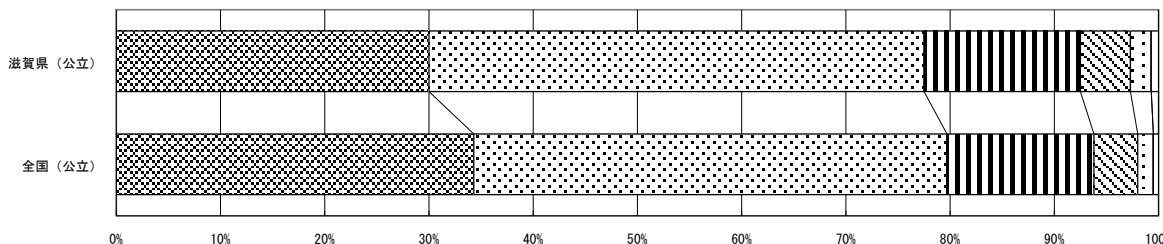
質問番号	質問事項										
(39)	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	20.6	52.8	20.6	5.3						0.0	0.6
全国（公立）	22.6	52.3	19.7	5.0						0.0	0.4

1. 当てはまる
 2. どちらかといえば、当てはまる
 3. どちらかといえば、当てはまらない
 4. 当てはまらない
 その他
 無回答



質問番号	質問事項										
(40)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	30.0	47.5	15.0	4.8	2.0					0.0	0.7
全国（公立）	34.3	45.4	14.1	4.2	1.5					0.0	0.5

1. 当てはまる
 2. どちらかといえば、当てはまる
 3. どちらかといえば、当てはまらない
4. 当てはまらない
 5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない
 その他
- 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

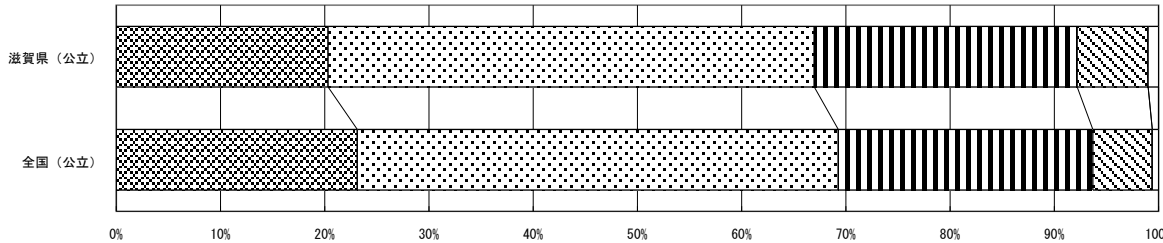
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

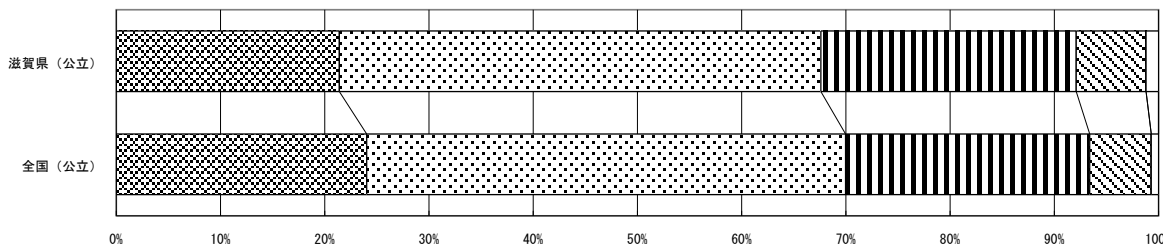
質問番号	質問事項										
(41)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	20.3	46.6	25.2	6.8						0.0	1.0
全国（公立）	23.1	46.1	24.4	5.7						0.0	0.6

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



質問番号	質問事項										
(42)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	21.4	46.2	24.5	6.7						0.0	1.2
全国（公立）	24.0	45.9	23.4	5.9						0.0	0.7

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

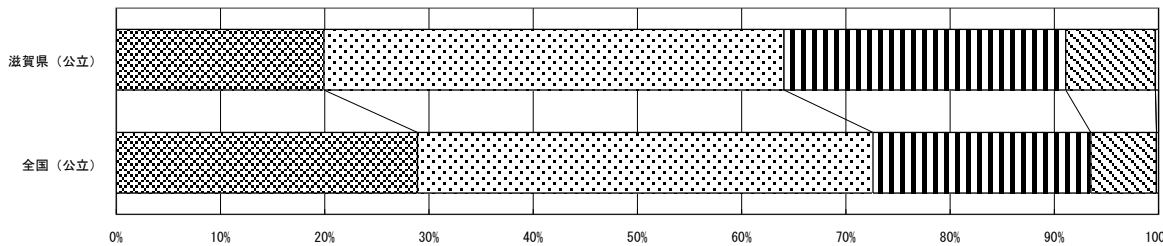
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

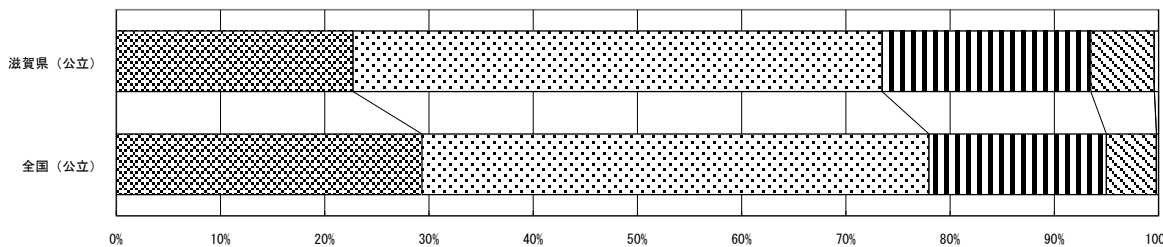
質問番号	質問事項										
(43)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	19.9	44.1	27.0	8.6						0.0	0.3
全国（公立）	28.9	43.7	20.9	6.3						0.0	0.2

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



質問番号	質問事項										
(44)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	22.7	50.7	20.0	6.1						0.0	0.4
全国（公立）	29.3	48.6	17.0	4.8						0.0	0.2

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

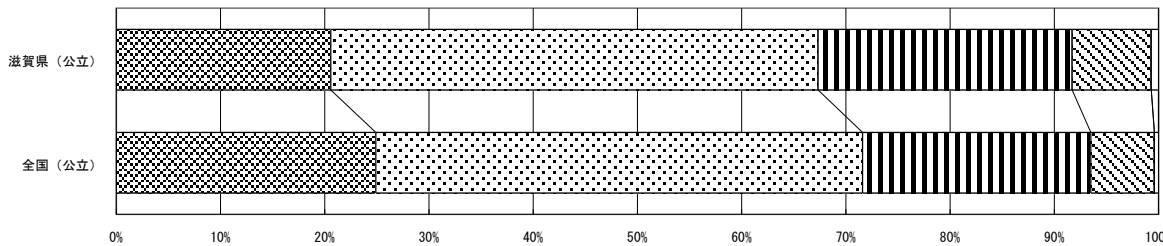
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
 オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

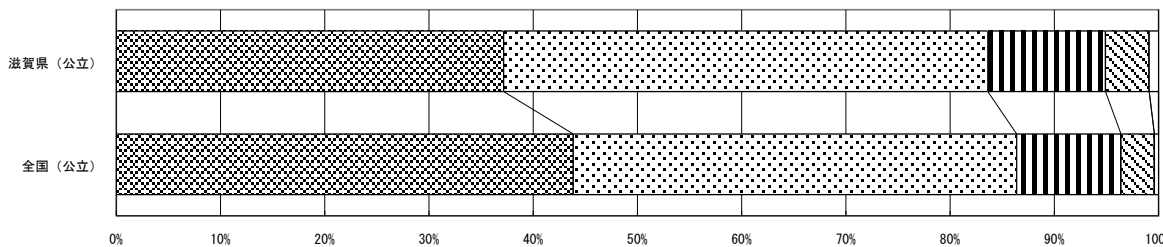
質問番号	質問事項										
(45)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	20.6	46.8	24.4	7.6						0.0	0.7
全国（公立）	24.9	46.7	21.9	6.1						0.0	0.4

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



質問番号	質問事項										
(46)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	37.2	46.5	11.3	4.2						0.0	0.9
全国（公立）	43.8	42.5	10.0	3.2						0.0	0.4

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

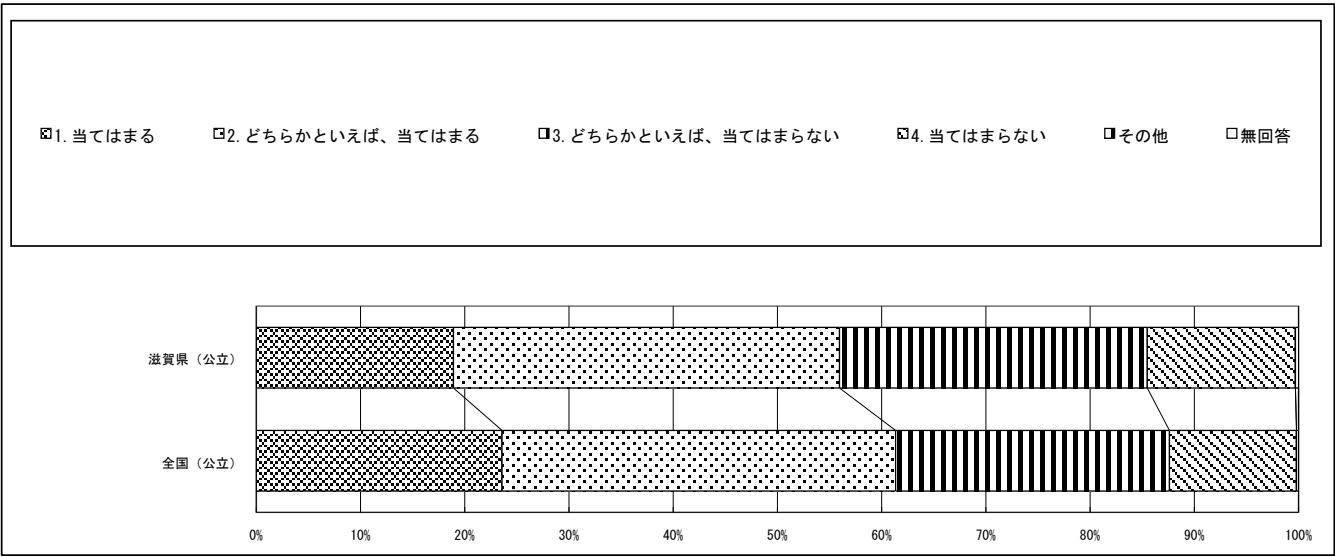
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

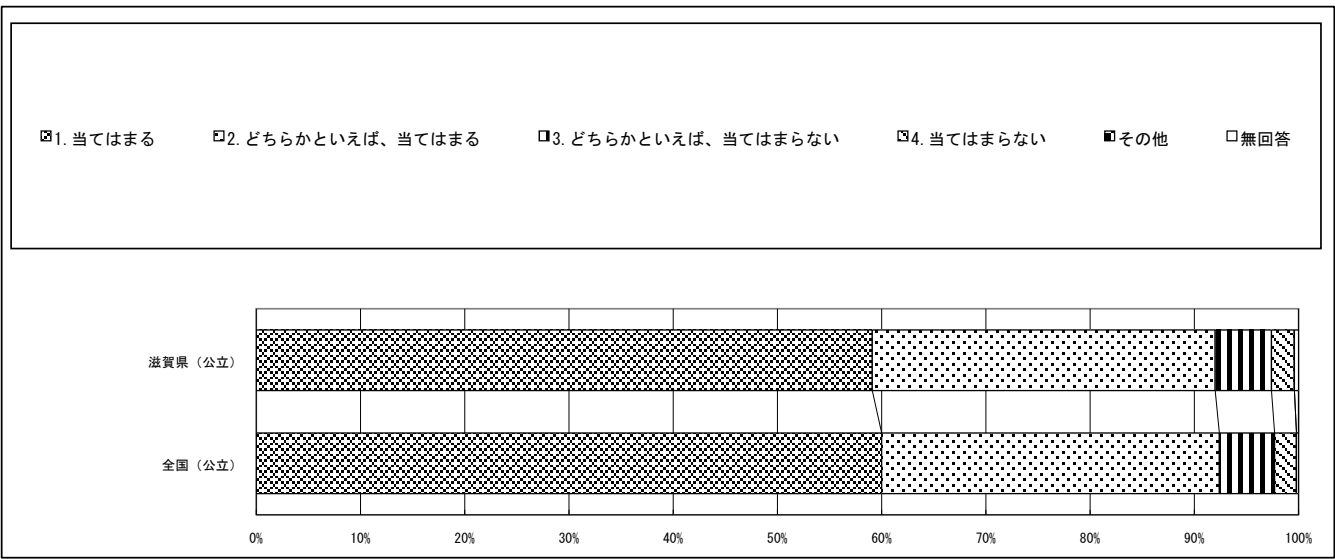
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(47)	国語の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	18.9	37.0	29.5	14.2						0.0	0.3
全国（公立）	23.6	37.8	26.3	12.2						0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(48)	国語の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	59.1	32.9	5.4	2.2						0.0	0.4
全国（公立）	60.0	32.4	5.3	2.1						0.0	0.2



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

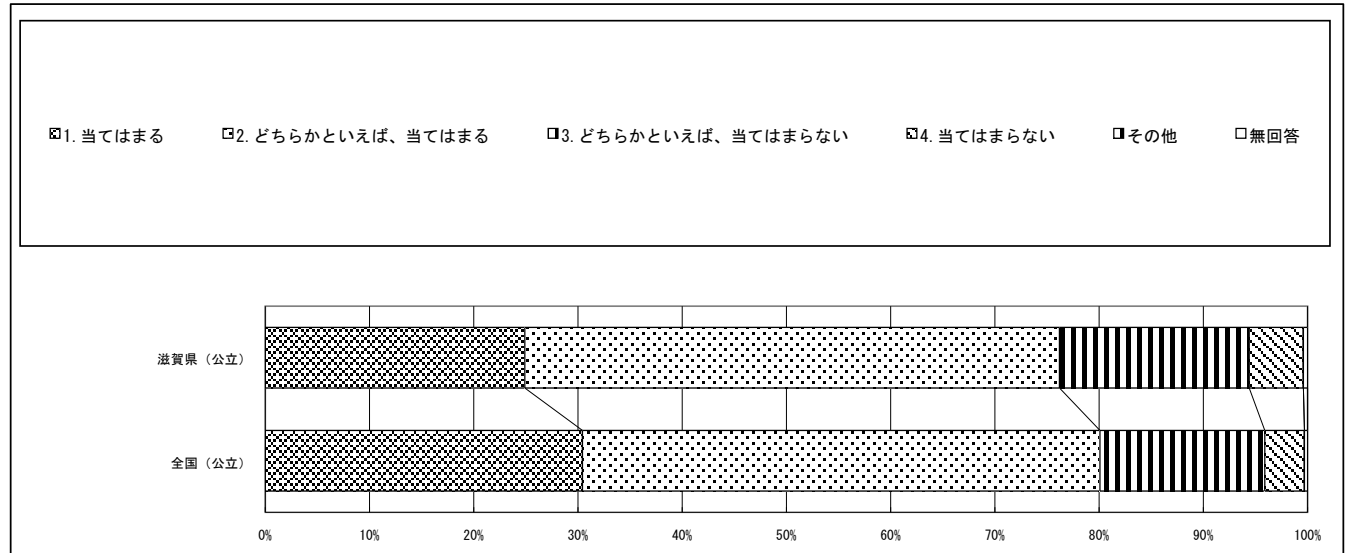
※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

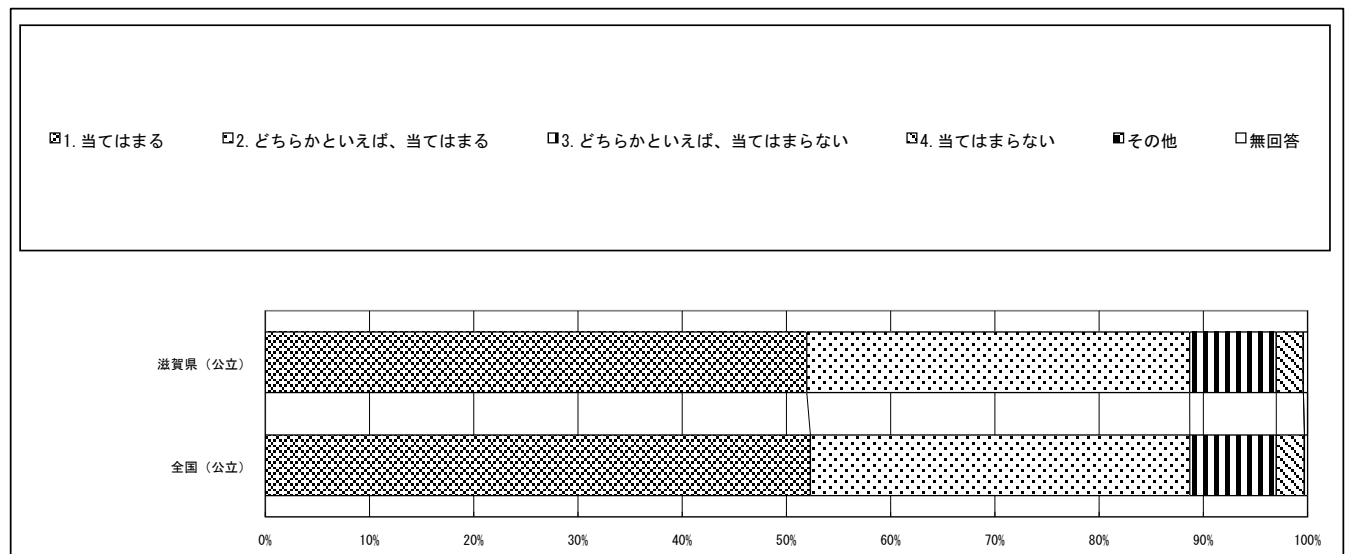
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(49)	国語の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	24.9	51.3	18.2	5.2						0.0	0.4
全国（公立）	30.4	49.6	15.8	3.8						0.0	0.3



質問番号	質問事項										
(50)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	51.9	36.7	8.3	2.6						0.0	0.4
全国（公立）	52.3	36.4	8.3	2.7						0.0	0.3



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

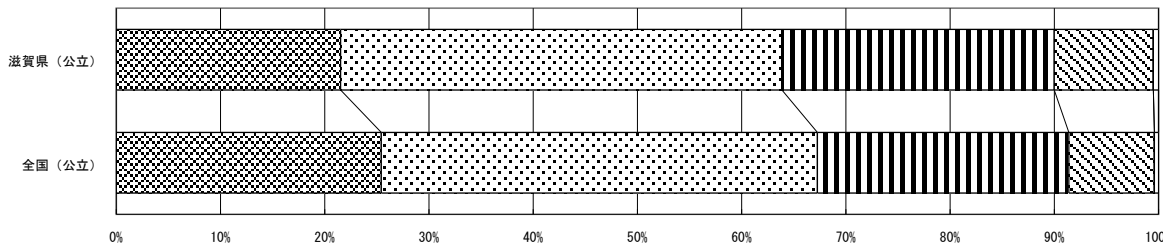
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

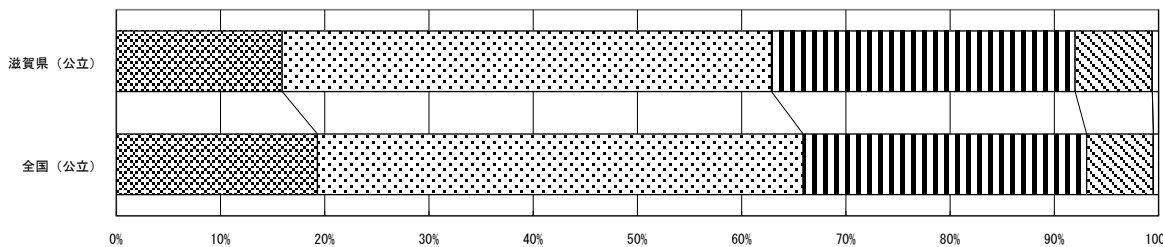
質問番号	質問事項										
(51)	行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書いていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	21.5	42.3	26.1	9.5						0.0	0.5
全国（公立）	25.4	41.8	24.1	8.2						0.0	0.4

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



質問番号	質問事項										
(52)	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	15.9	46.9	29.1	7.4						0.0	0.6
全国（公立）	19.3	46.6	27.2	6.4						0.0	0.5

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

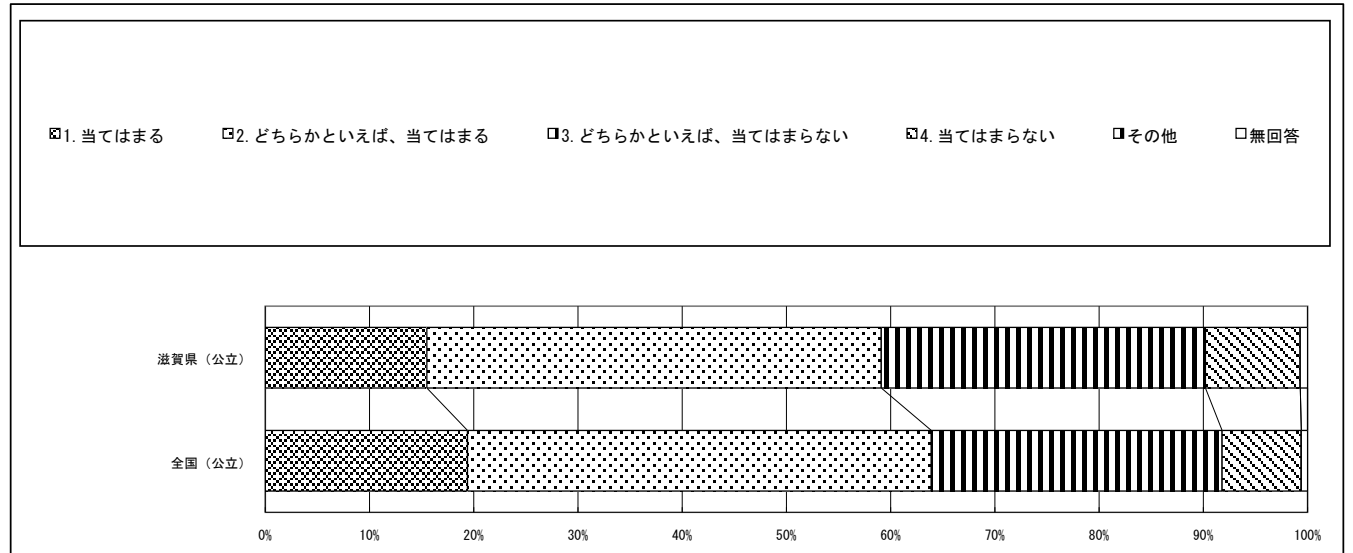
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

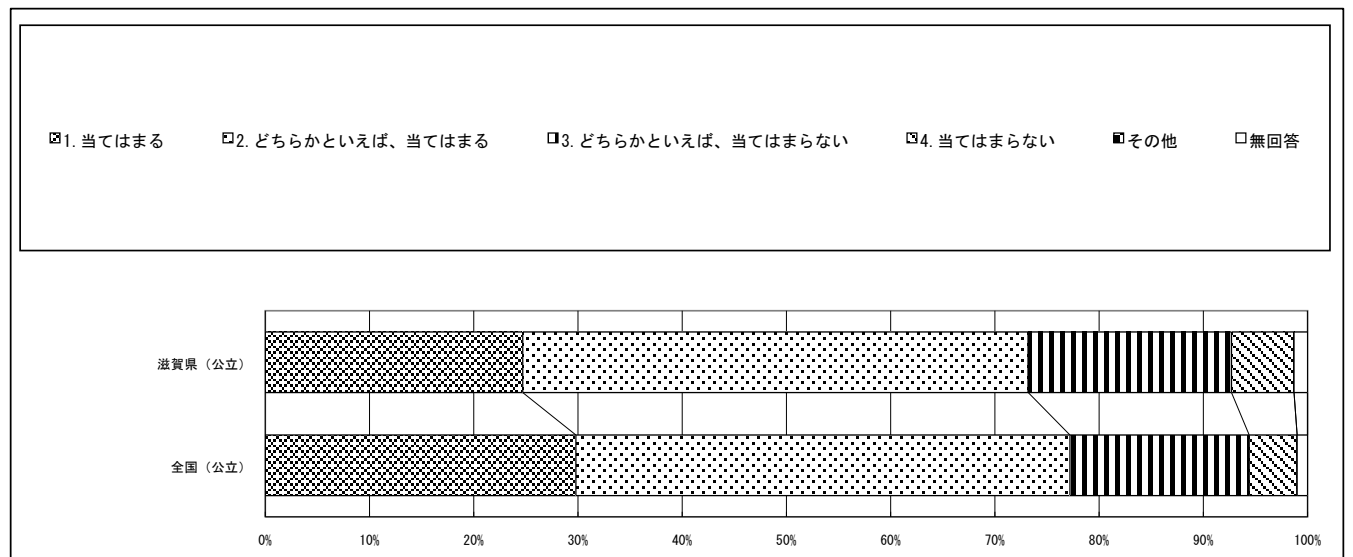
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(53)	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	15.5	43.6	31.1	9.1						0.0	0.7
全国（公立）	19.4	44.5	27.9	7.6						0.0	0.6



質問番号	質問事項										
(54)	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	24.7	48.5	19.5	6.0						0.0	1.3
全国（公立）	29.8	47.4	17.2	4.6						0.0	1.0



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

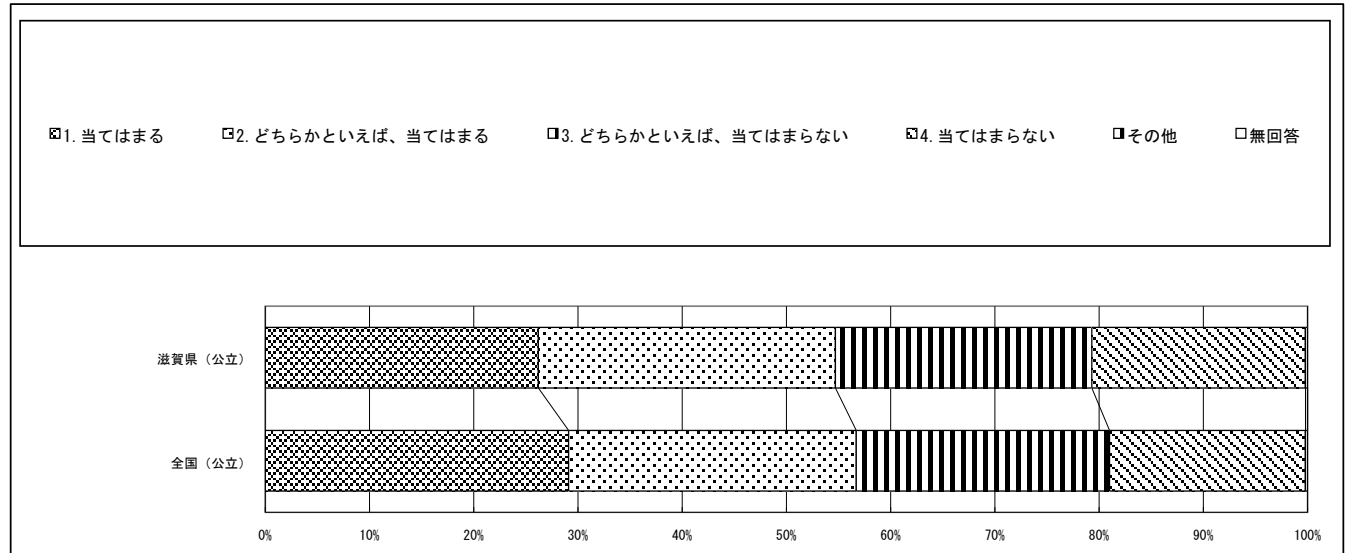
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

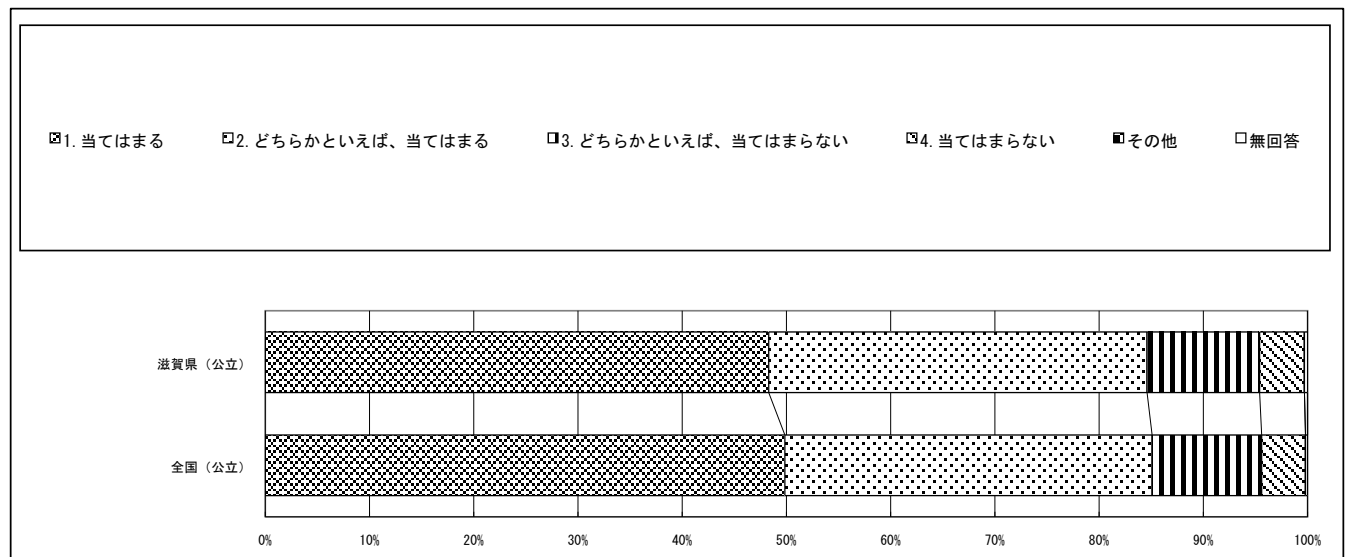
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(55)	数学の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	26.2	28.5	24.6	20.5						0.0	0.2
全国（公立）	29.1	27.6	24.3	18.8						0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(56)	数学の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	48.3	36.3	10.8	4.3						0.0	0.3
全国（公立）	49.8	35.2	10.5	4.2						0.0	0.2



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

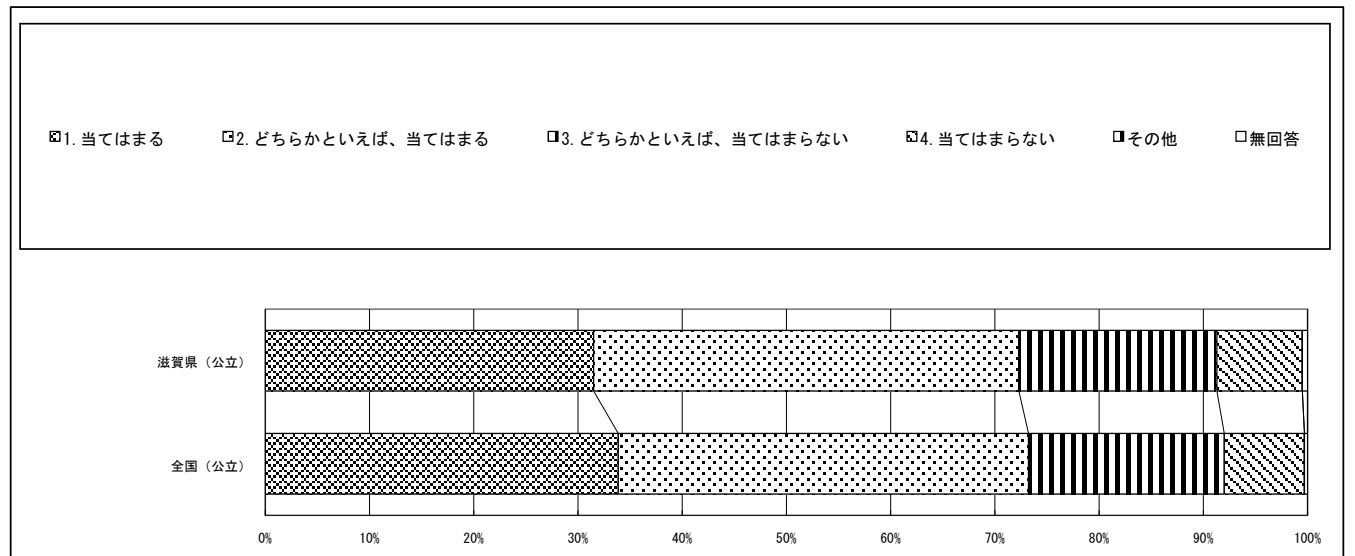
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

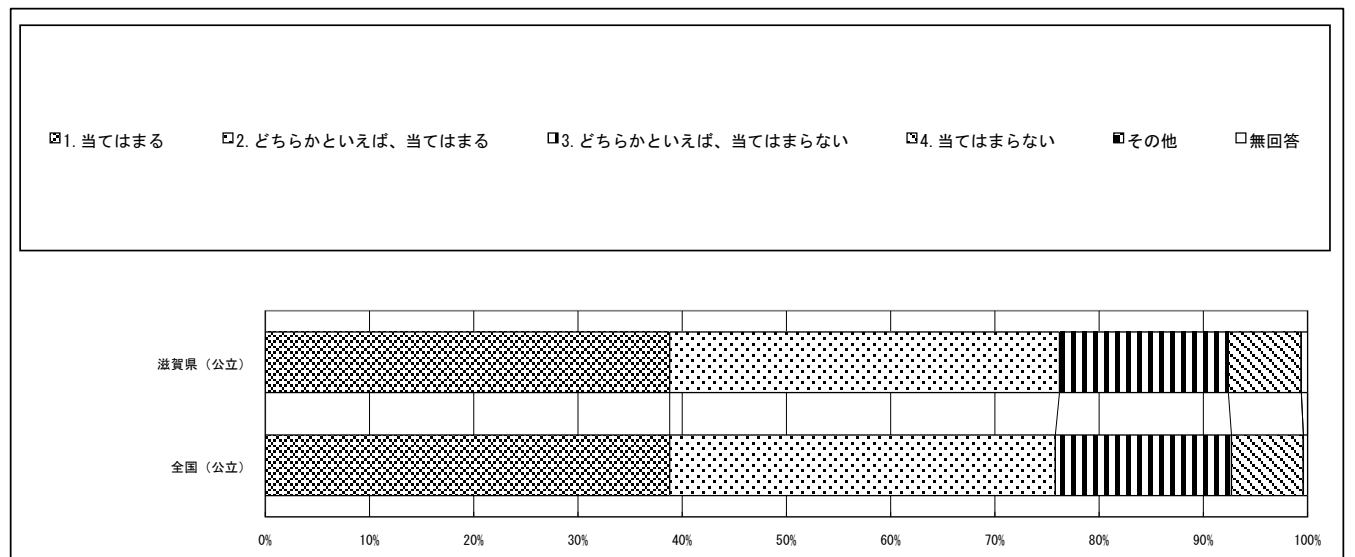
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(57)	数学の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	31.5	40.8	19.0	8.2						0.0	0.5
全国（公立）	33.9	39.4	18.8	7.7						0.0	0.3



質問番号	質問事項										
(58)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	38.8	37.4	16.2	7.0						0.0	0.6
全国（公立）	38.8	37.0	16.9	6.9						0.0	0.4



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

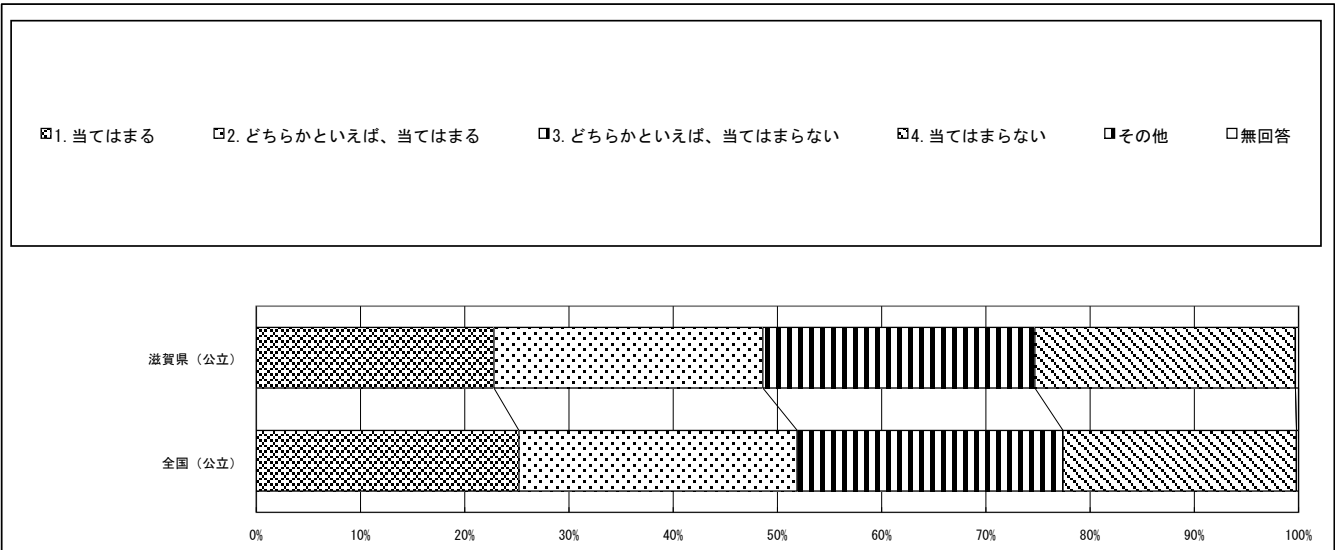
※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

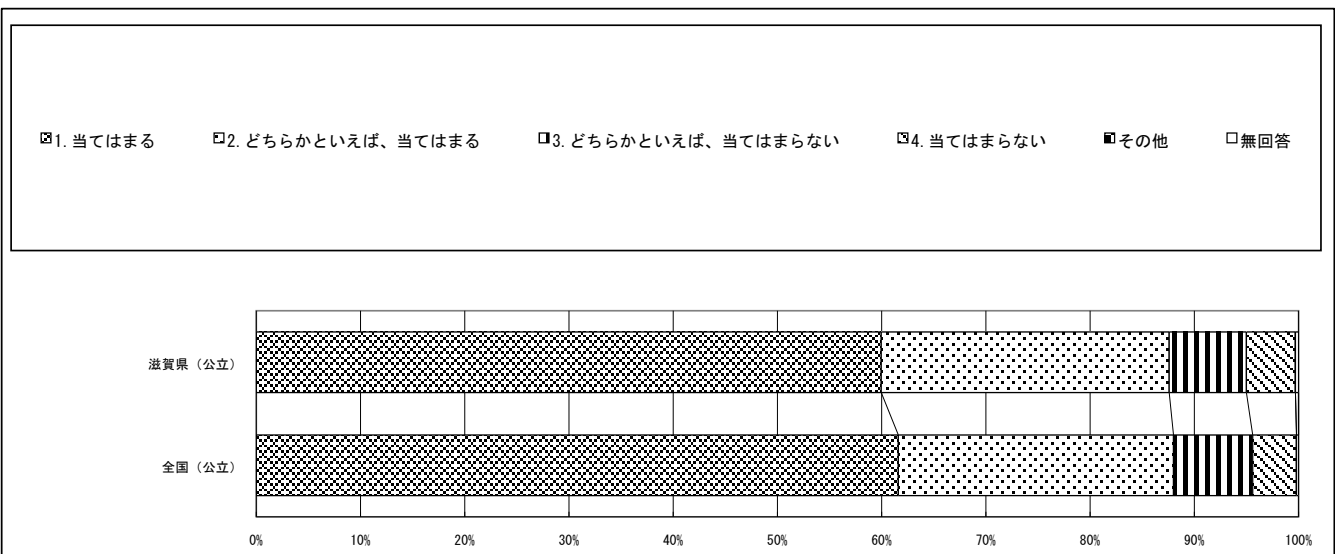
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(59)	英語の勉強は好きですか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	22.8	25.8	26.1	25.0						0.0	0.3
全国（公立）	25.2	26.7	25.5	22.4						0.0	0.2



質問番号	質問事項										
(60)	英語の勉強は大切だと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	59.9	27.6	7.4	4.7						0.0	0.3
全国（公立）	61.6	26.4	7.6	4.2						0.0	0.2



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

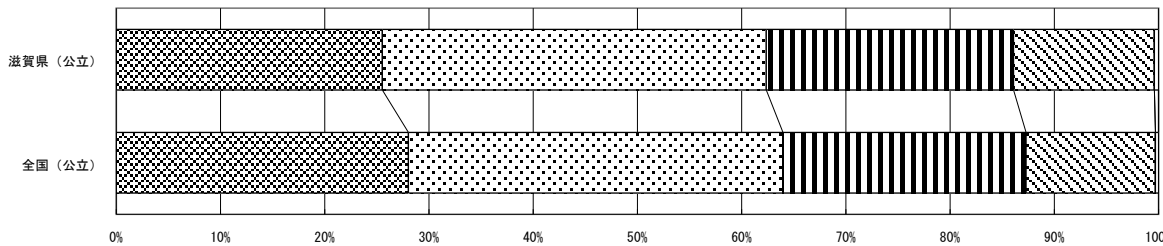
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

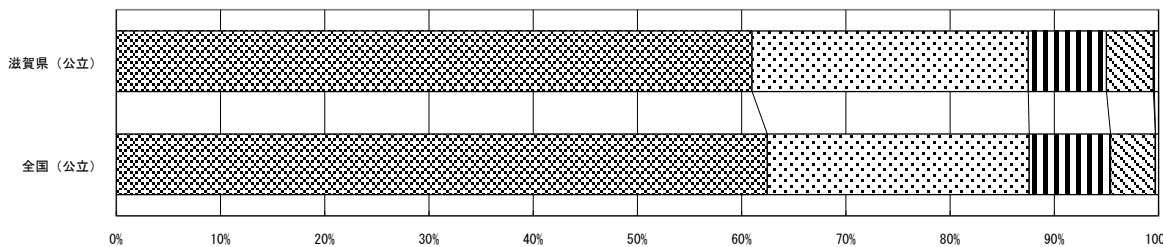
質問番号	質問事項										
(61)	英語の授業の内容はよくわかりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	25.5	36.8	23.7	13.5						0.0	0.4
全国（公立）	28.0	35.9	23.3	12.4						0.0	0.3

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



質問番号	質問事項										
(62)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	61.0	26.5	7.5	4.5						0.1	0.4
全国（公立）	62.4	25.1	7.8	4.3						0.0	0.3

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

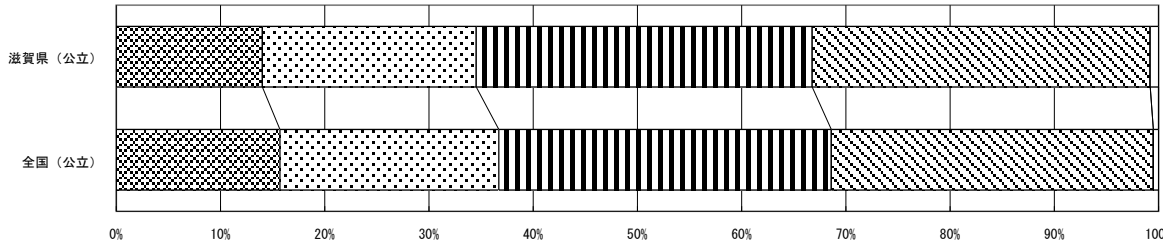
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

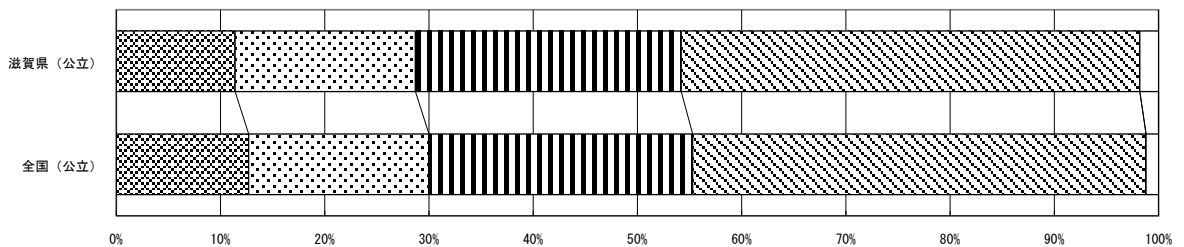
質問番号	質問事項										
(63)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	14.0	20.5	32.2	32.4						0.0	0.8
全国（公立）	15.7	21.0	31.9	30.9						0.0	0.5

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答



質問番号	質問事項										
(64)	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	11.4	17.3	25.5	44.0						0.0	1.8
全国（公立）	12.7	17.3	25.3	43.5						0.0	1.2

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

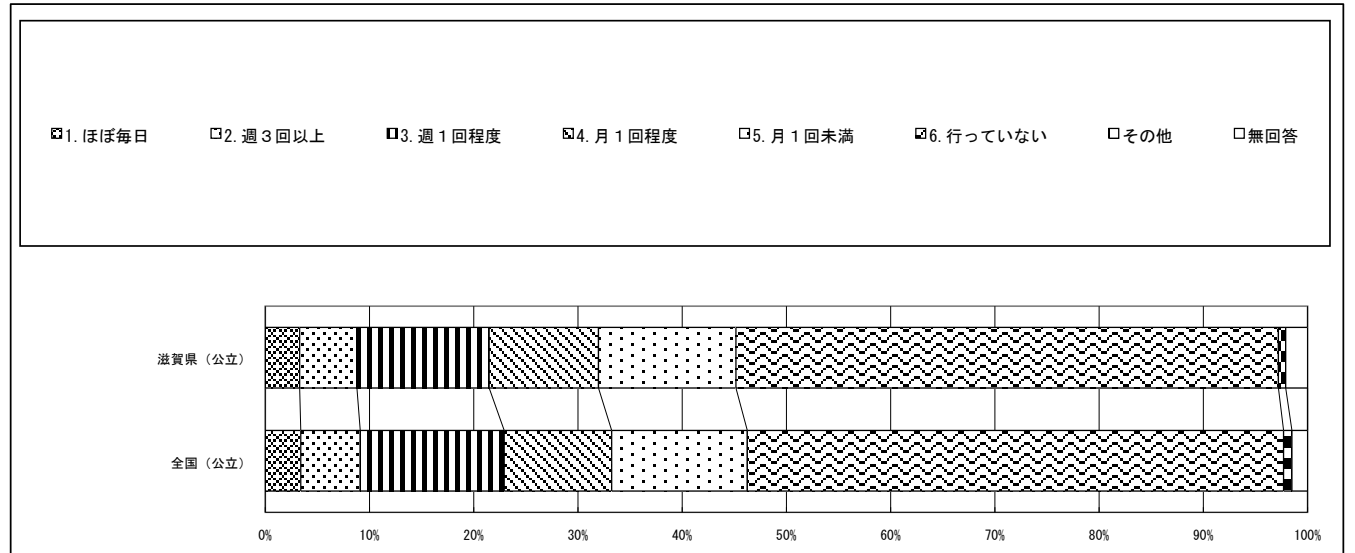
※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

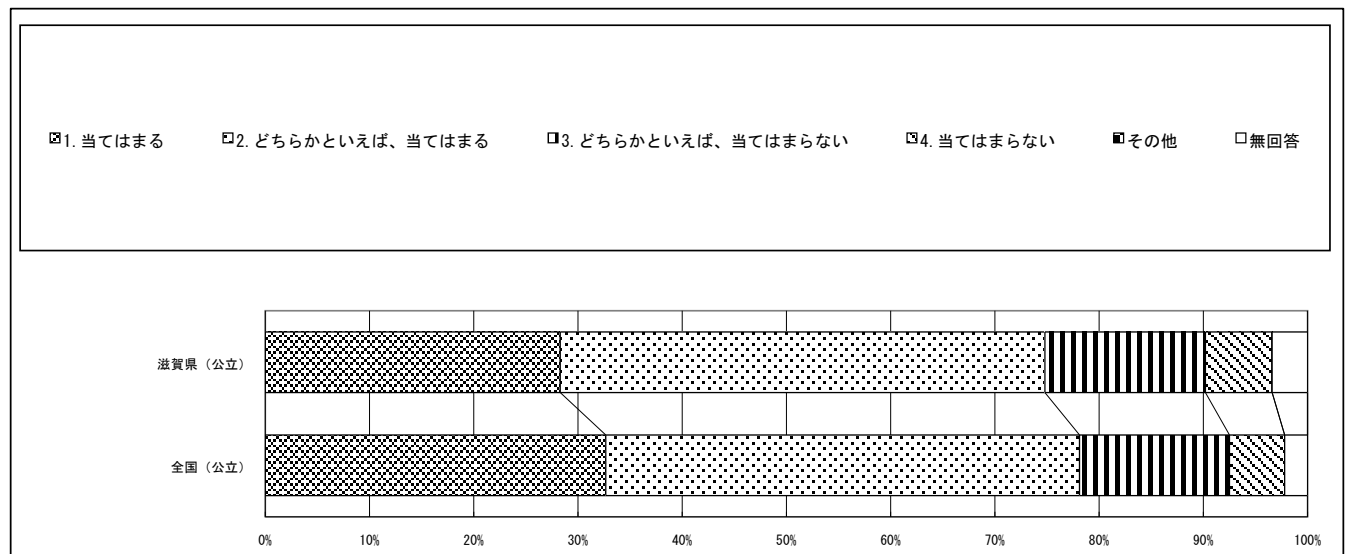
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(65)	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を開いたり英語を話す練習をしたりしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	3.3	5.5	12.7	10.5	13.2	52.1				0.7	2.1
全国（公立）	3.4	5.7	13.8	10.3	13.0	51.4				0.8	1.5



質問番号	質問事項										
(66)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	28.3	46.5	15.4	6.4						0.0	3.4
全国（公立）	32.7	45.5	14.4	5.3						0.0	2.2



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

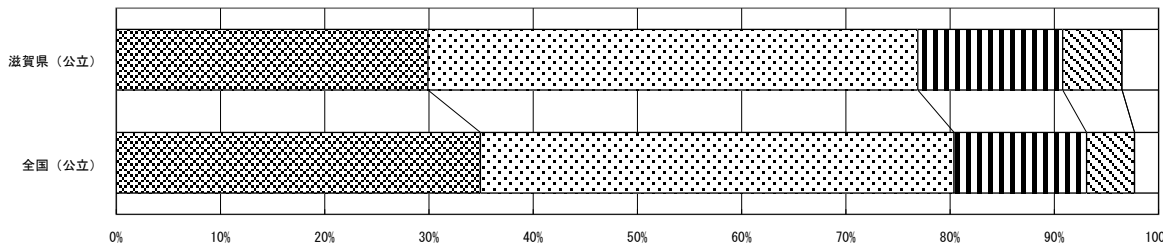
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

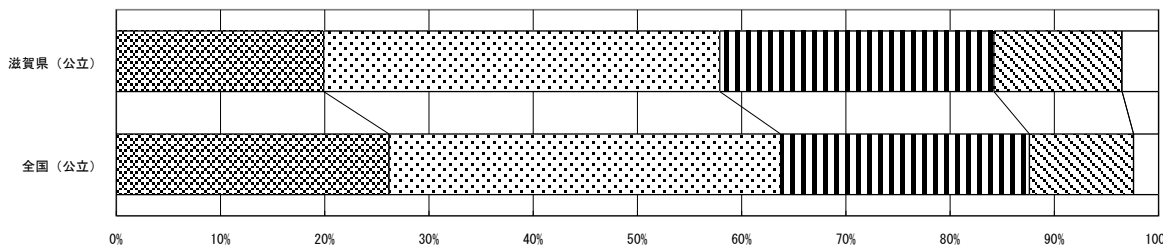
質問番号	質問事項										
(67)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	29.9	47.0	13.9	5.7						0.0	3.5
全国（公立）	34.9	45.4	12.7	4.6						0.0	2.3

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



質問番号	質問事項										
(68)	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	19.9	38.0	26.3	12.3						0.0	3.5
全国（公立）	26.2	37.6	23.9	10.0						0.0	2.4

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ☑その他 ☑無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

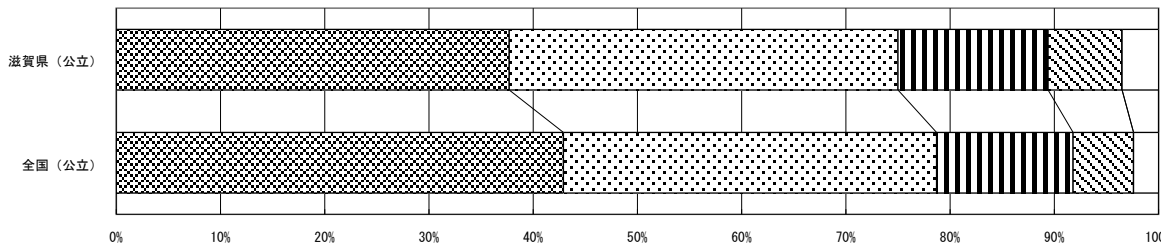
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

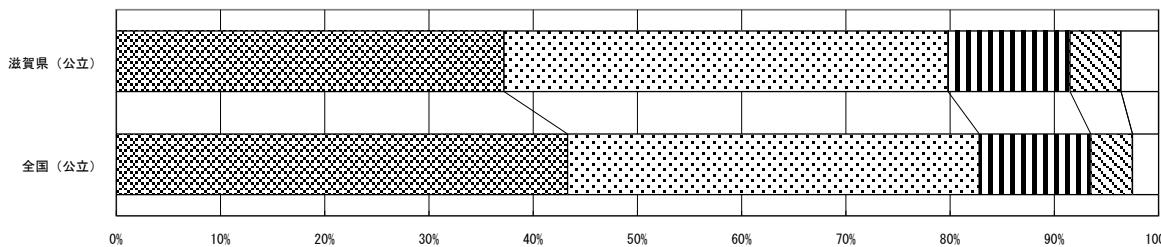
質問番号	質問事項										
(69)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	37.7	37.3	14.4	7.1						0.0	3.5
全国（公立）	42.9	35.8	13.1	5.8						0.0	2.4

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



質問番号	質問事項										
(70)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	37.2	42.6	11.7	4.9						0.0	3.6
全国（公立）	43.3	39.5	10.7	4.0						0.0	2.5

☑1. 当てはまる ☑2. どちらかといえば、当てはまる ☑3. どちらかといえば、当てはまらない ☑4. 当てはまらない ■ その他 □ 無回答



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

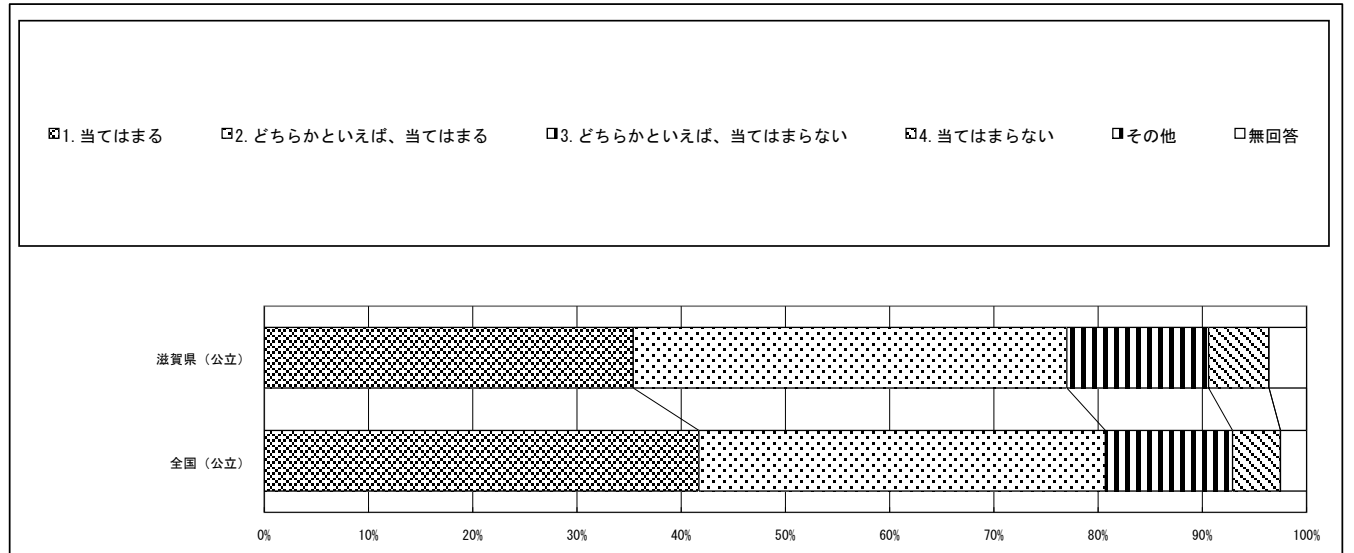
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

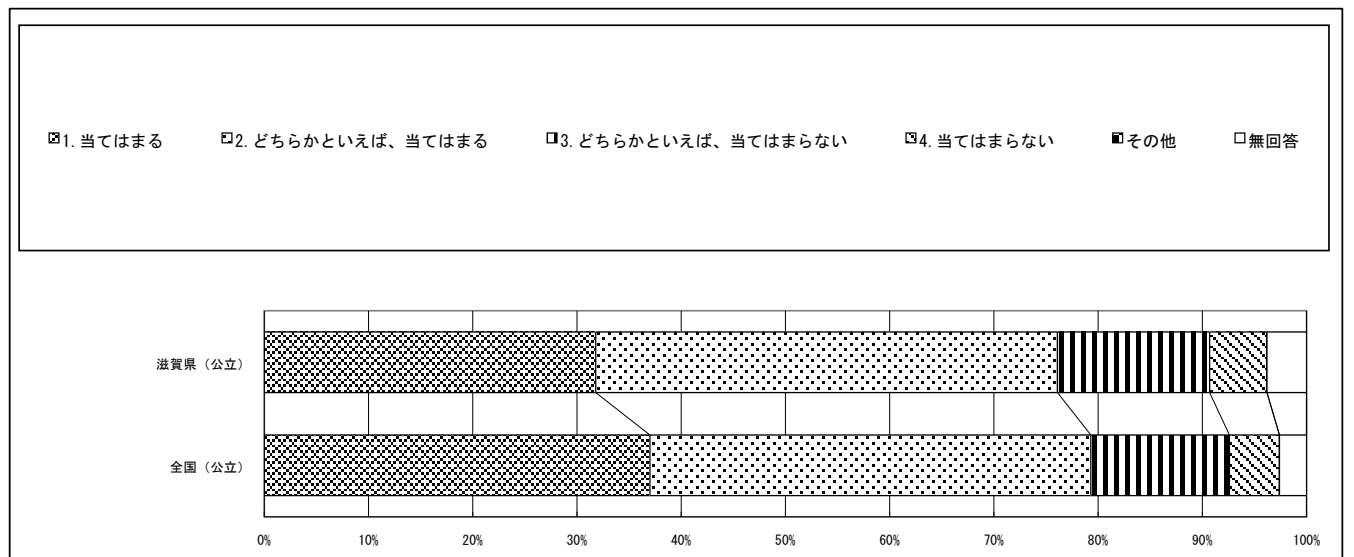
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(71)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	35.4	41.6	13.6	5.8						0.0	3.6
全国（公立）	41.7	39.0	12.2	4.6						0.0	2.5



質問番号	質問事項										
(72)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	31.8	44.3	14.6	5.5						0.0	3.8
全国（公立）	37.0	42.3	13.3	4.8						0.0	2.6



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

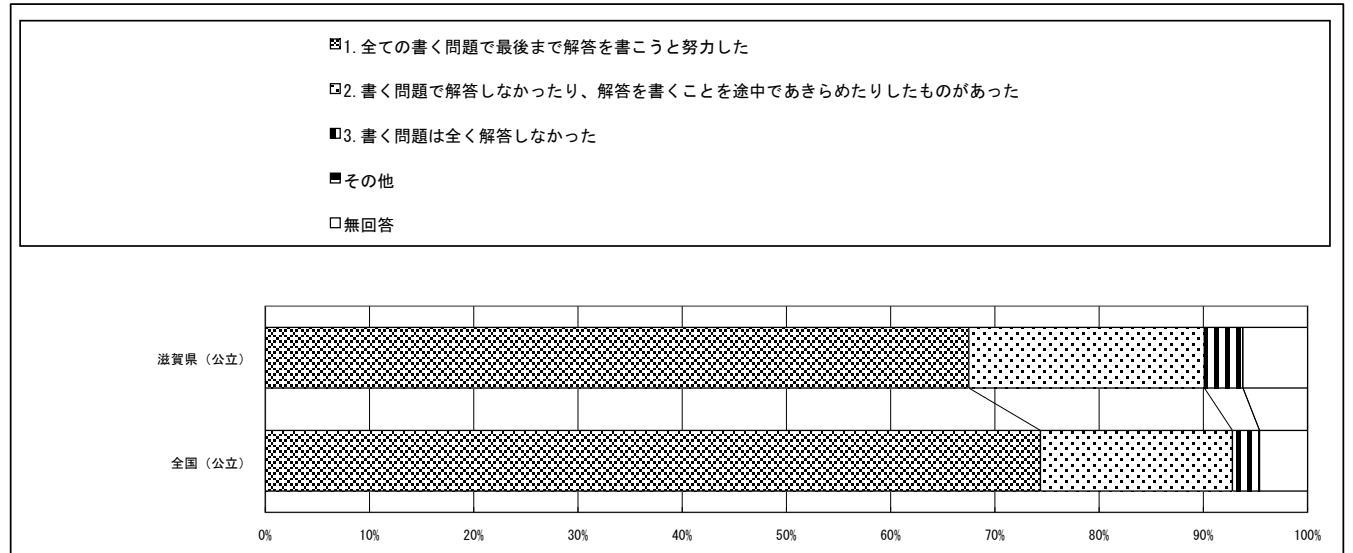
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

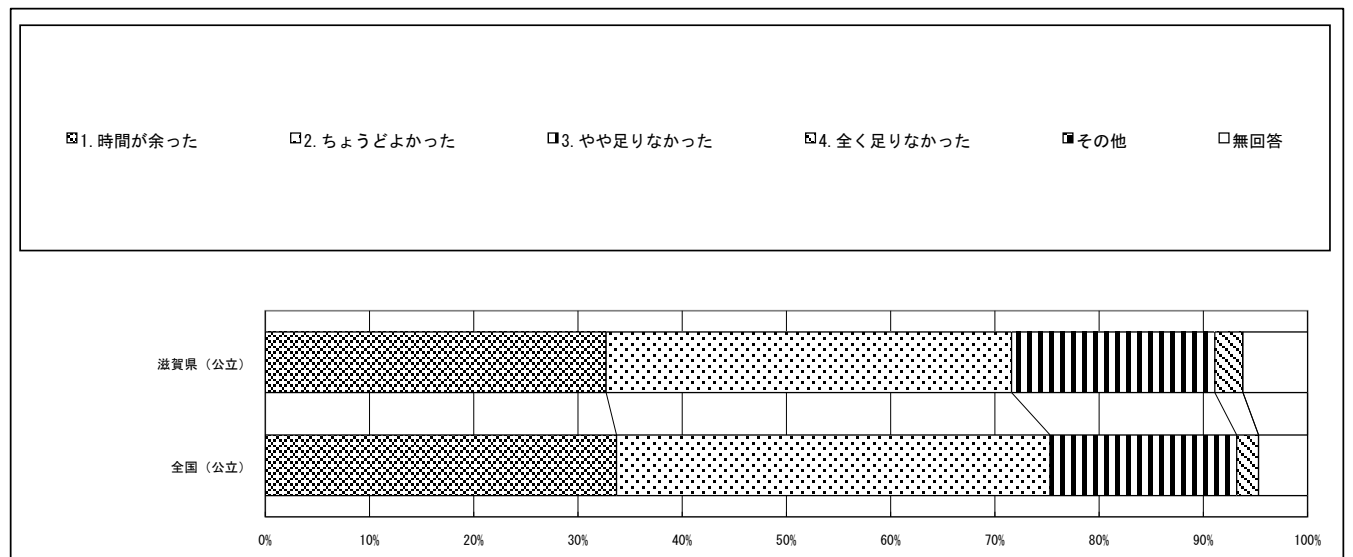
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	67.5	22.6	3.7							0.0	6.2
全国（公立）	74.3	18.4	2.6							0.0	4.6



質問番号	質問事項										
(国2)	解答時間は十分でしたか（国語）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	32.7	38.9	19.5	2.7						0.0	6.2
全国（公立）	33.7	41.6	17.9	2.1						0.0	4.7



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

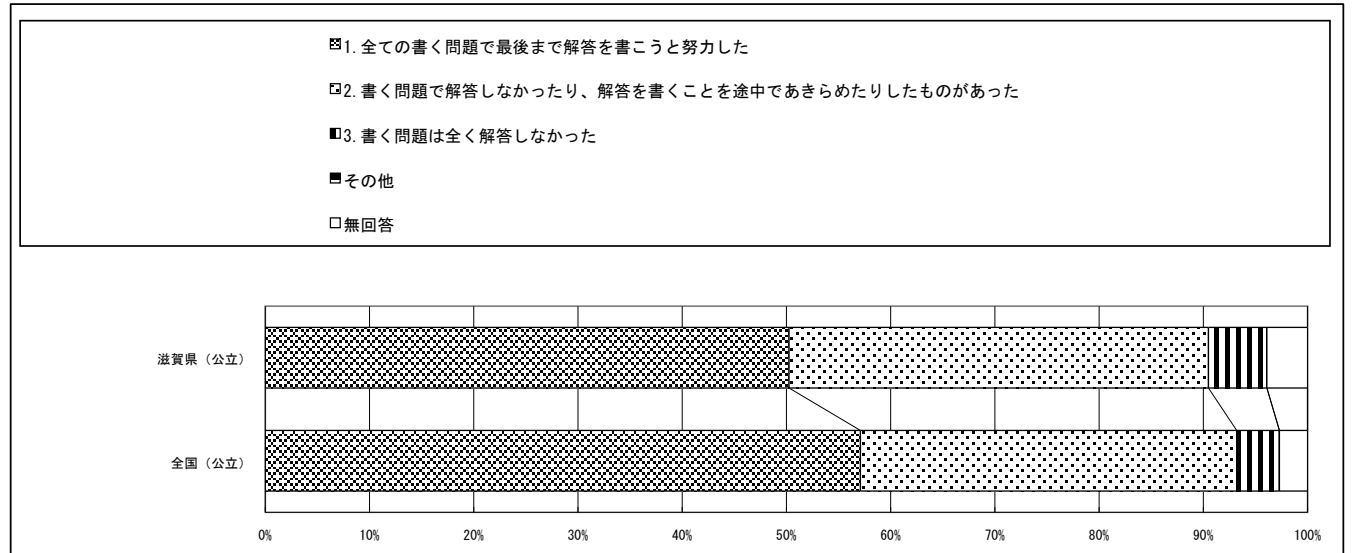
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

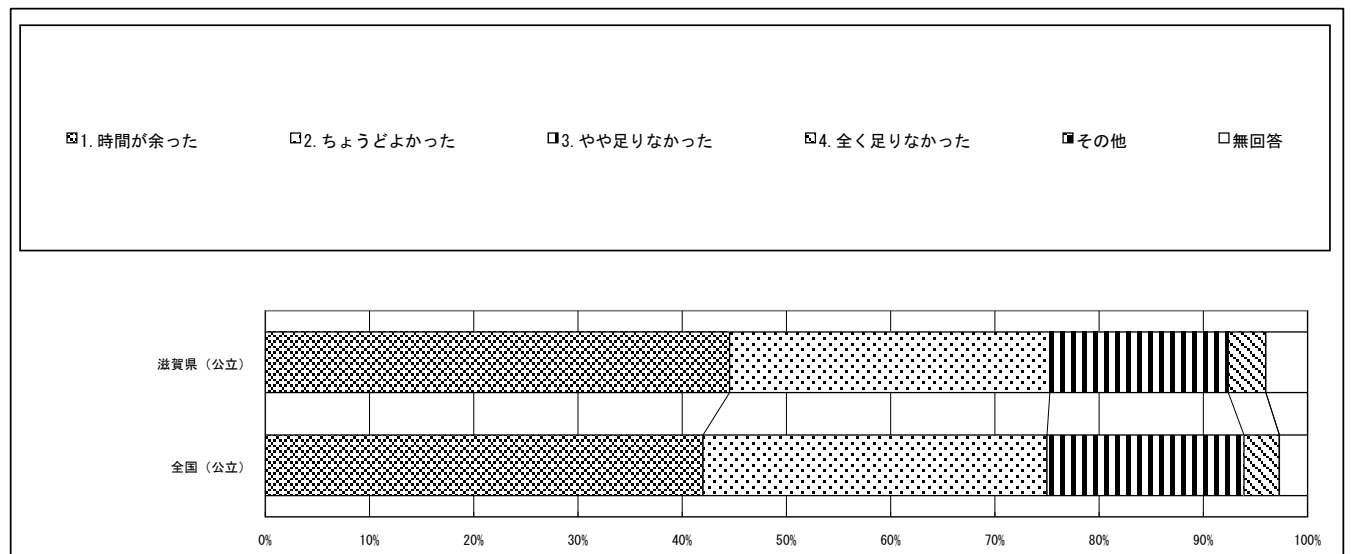
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(数1)	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	50.2	40.2	5.6							0.0	3.9
全国（公立）	57.1	36.1	4.1							0.0	2.7



質問番号	質問事項										
(数2)	解答時間は十分でしたか（数学）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	44.5	30.7	17.1	3.6						0.0	4.0
全国（公立）	42.0	33.0	18.9	3.4						0.0	2.7



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

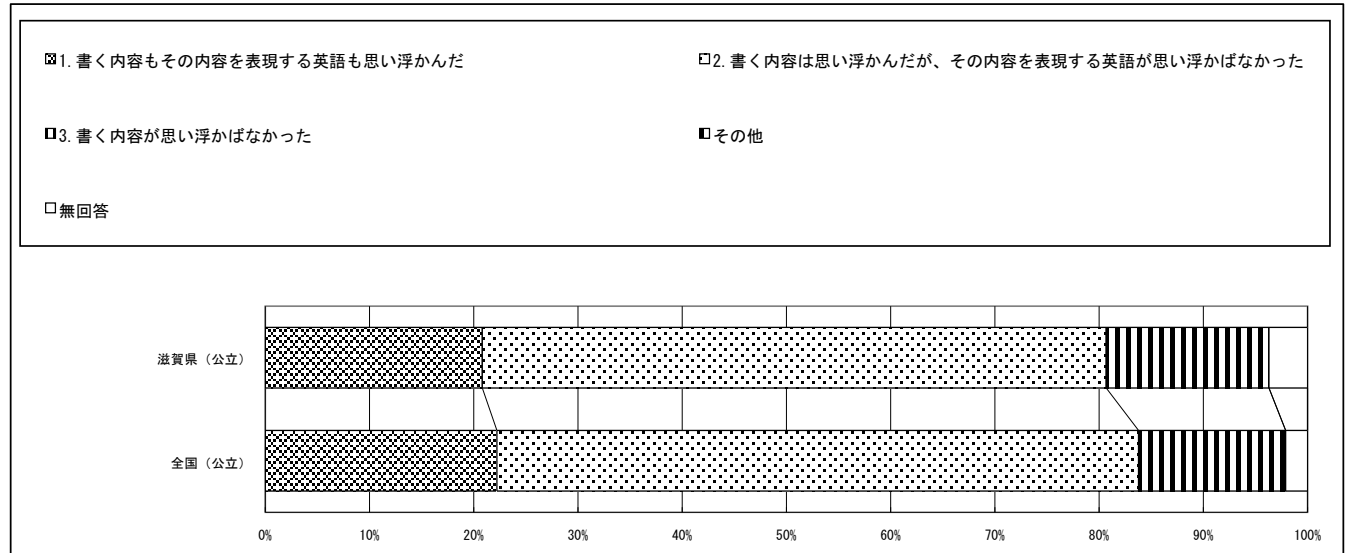
紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

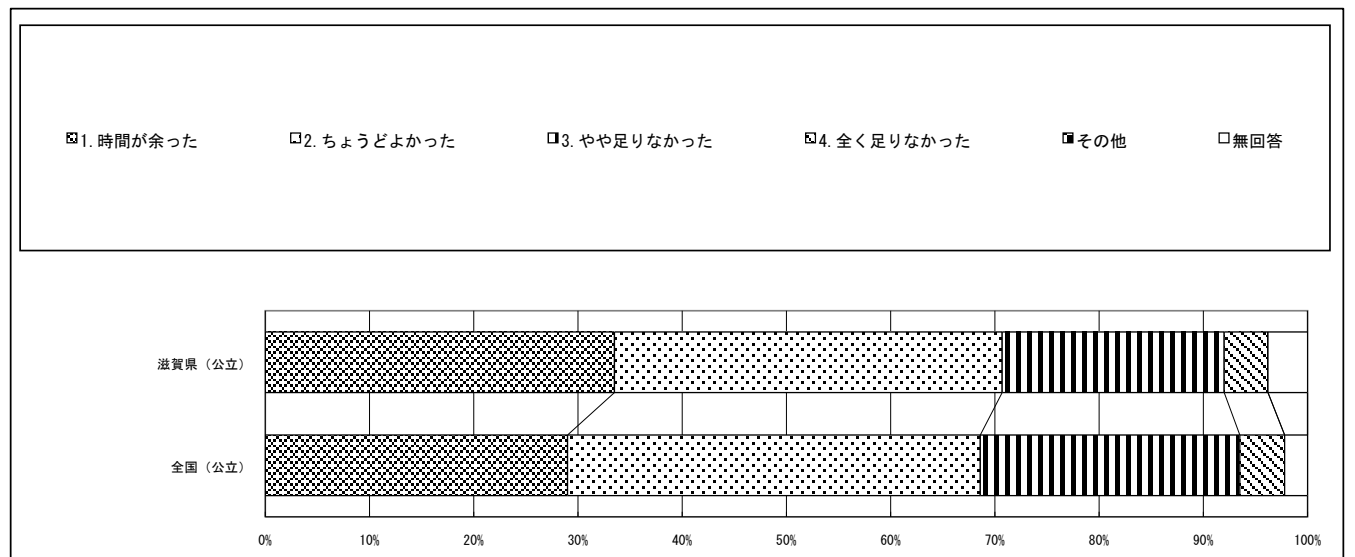
※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

質問番号	質問事項										
(英1)	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	20.8	59.8	15.6							0.0	3.7
全国（公立）	22.2	61.5	14.1							0.0	2.1



質問番号	質問事項										
(英2)	解答時間は十分でしたか（英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	33.5	37.2	21.3	4.2						0.0	3.8
全国（公立）	29.0	39.6	24.9	4.3						0.0	2.2



回答結果集計 [生徒質問紙]

滋賀県一生徒（公立）

※1：質問番号（1）～（72）は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施： 4月18日以降4月28日まで

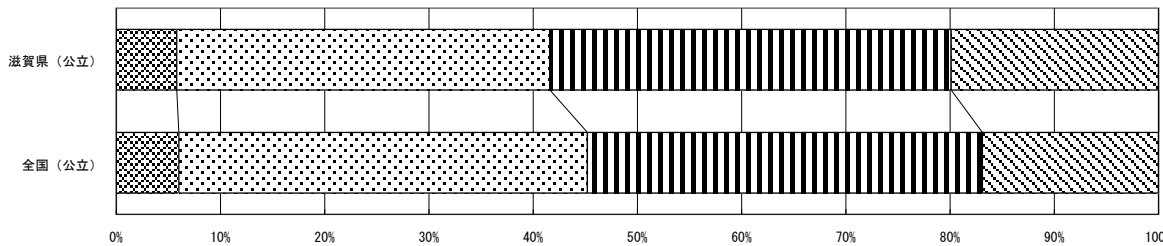
オンライン方式で実施： 4月10日以降5月16日まで

※2：質問番号（国1）と（国2）、（数1）と（数2）、（英1）と（英2）は、それぞれ国語、数学、英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。また、質問番号（話1）と（話2）は、英語「話すこと」の調査を4月18日以降5月26日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3：①～⑤の表の「生徒数」は、この集計の対象となった生徒数、「学校数」は、「生徒数」集計の対象者が属する学校数である。

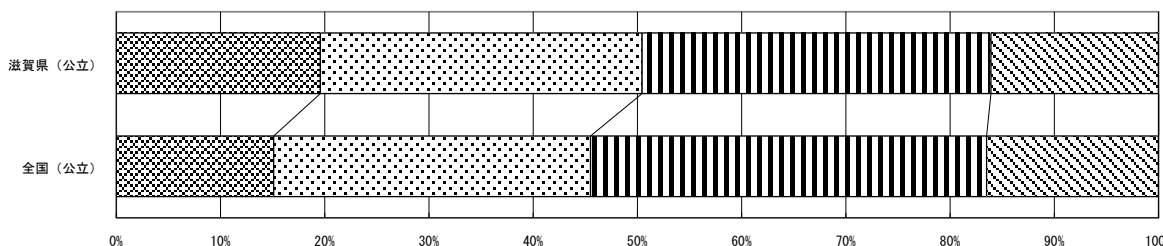
質問番号	質問事項										
(話1)	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	5.8	35.8	38.5	19.9						0.0	0.0
全国（公立）	6.0	39.2	37.9	16.9						0.0	0.0

- 1. 聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ
- 2. 聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった
- 3. 聞いたことは理解したが、話す内容が思い浮かばなかった
- 4. 聞いたことを理解できなかった
- その他
- 無回答



質問番号	質問事項										
(話2)	解答時間は十分でしたか（英語「話すこと」）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
滋賀県（公立）	19.6	30.9	33.5	16.1						0.0	0.0
全国（公立）	15.1	30.4	38.0	16.5						0.0	0.0

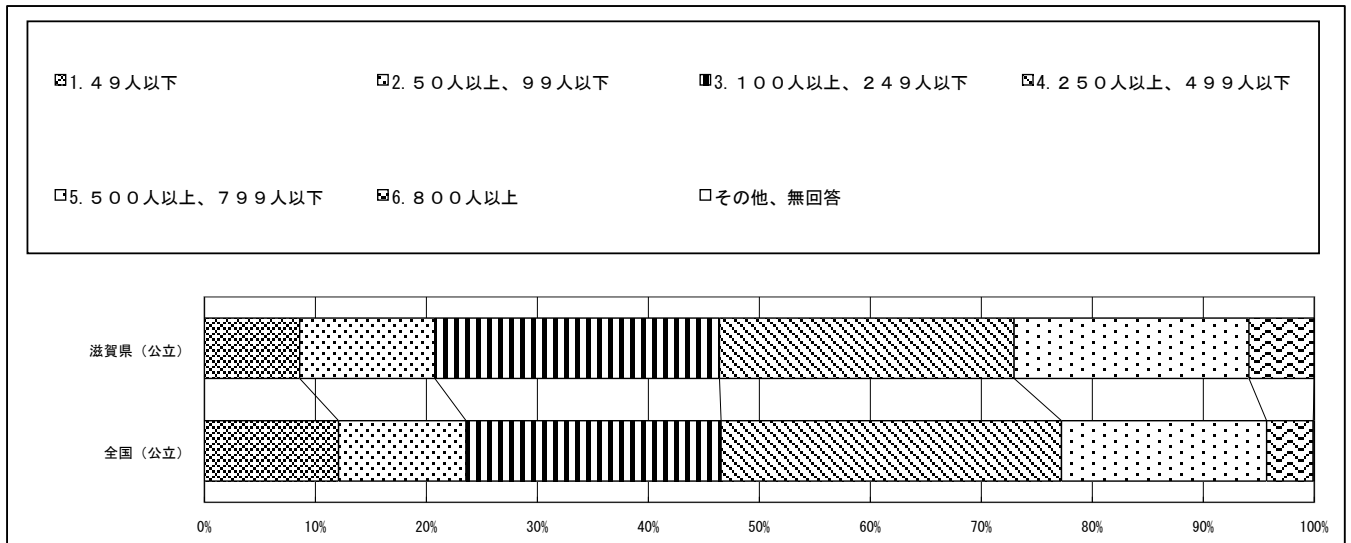
- 1. 時間が余った
- 2. ちょうどよかった
- 3. やや足りなかった
- 4. 全く足りなかった
- その他
- 無回答



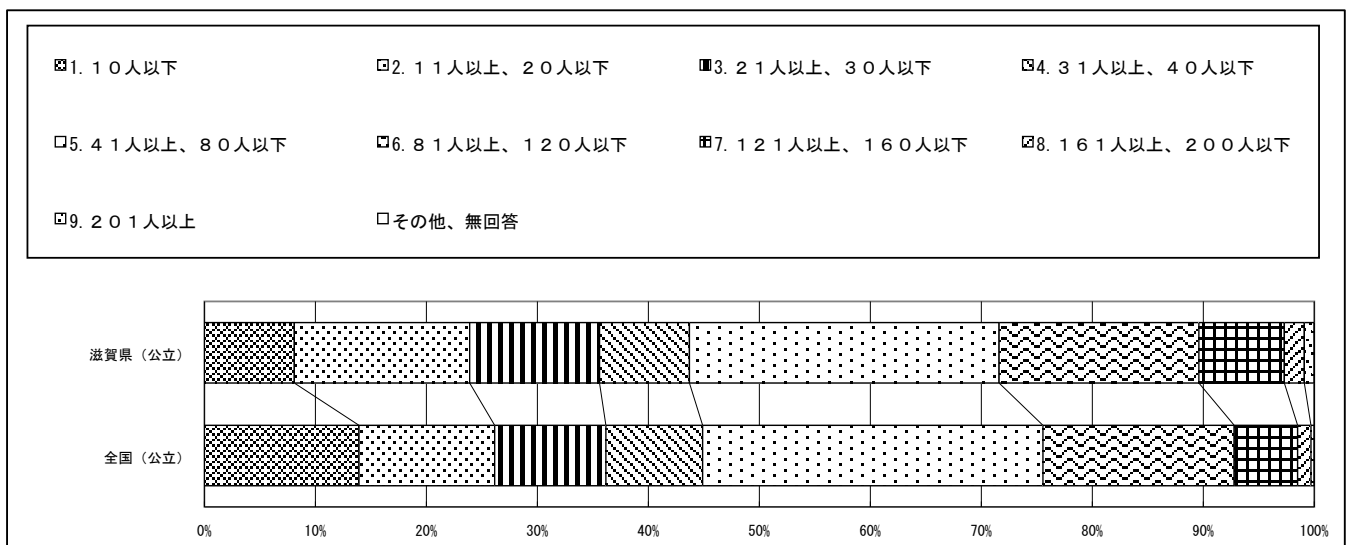
・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

	学校数
滋賀県（公立）	222

質問番号	質問事項										
(1)	調査対象日現在の学校の全学年の児童数										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	8.6	12.2	25.7	26.6	21.2	5.9					0.0
全国（公立）	12.1	11.5	23.0	30.7	18.5	4.2					0.1

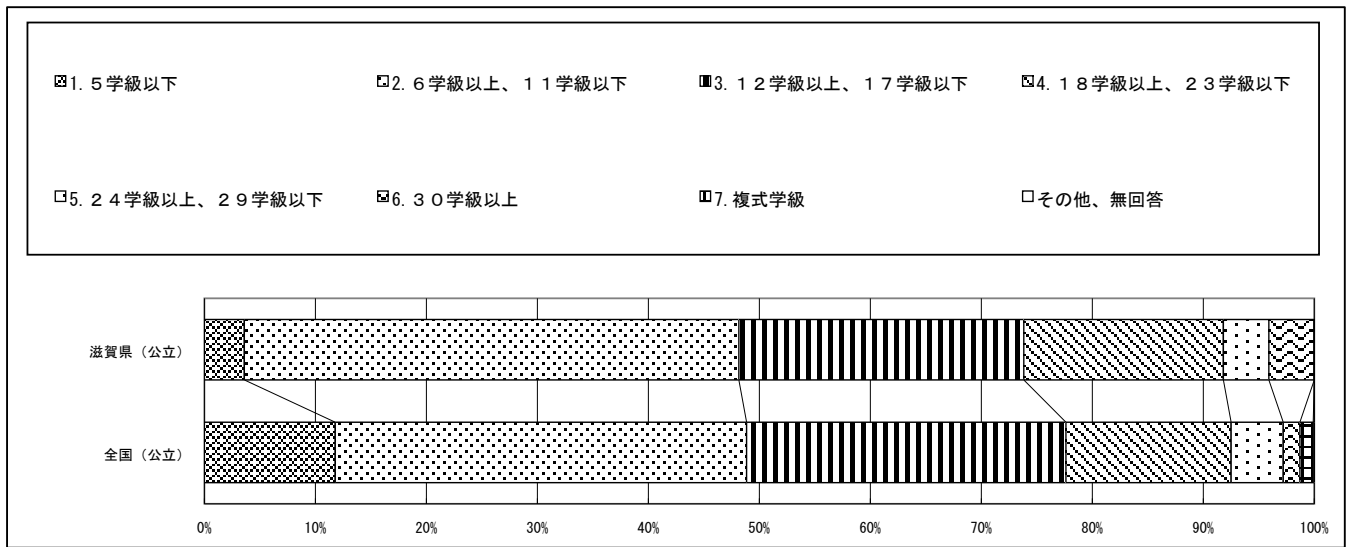


質問番号	質問事項										
(2)	調査対象日現在の第6学年の児童数（特別支援学級の児童数は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	8.1	15.8	11.7	8.1	27.9	18.0	7.7	1.8	0.9		0.0
全国（公立）	13.9	12.2	10.0	8.7	30.6	17.2	5.7	1.2	0.3		0.0

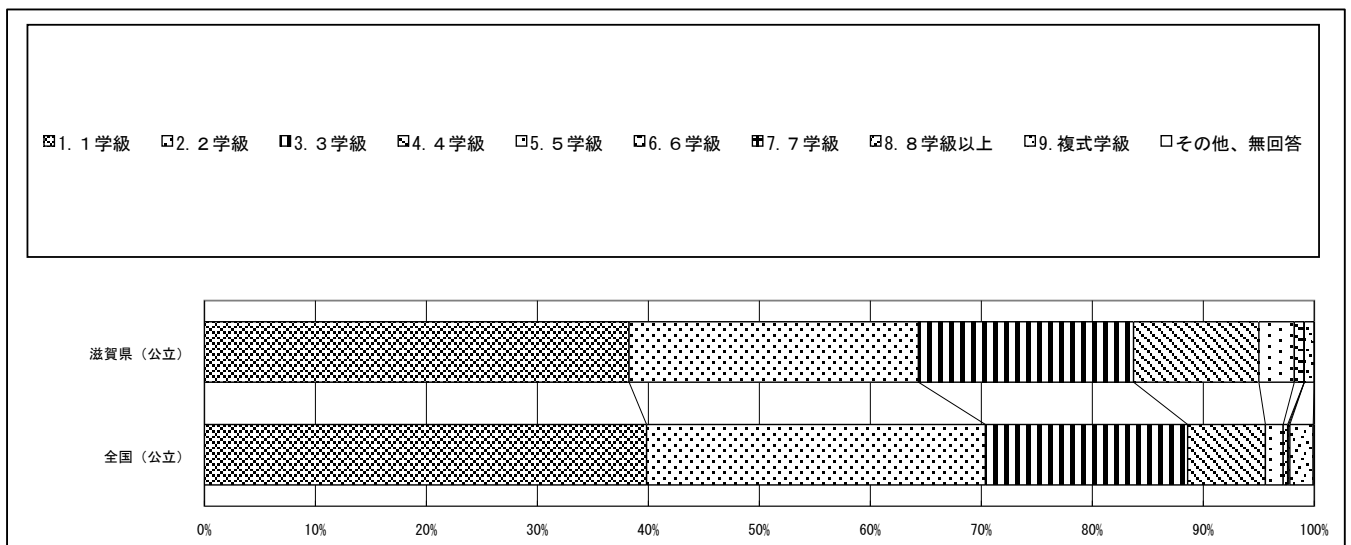


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(3)	調査対象日現在の学校の全学年の学級数（特別支援学級は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	3.6	44.6	25.7	18.0	4.1	4.1	0.0				0.0
全国（公立）	11.8	37.1	28.8	14.9	4.7	1.5	1.2				0.1

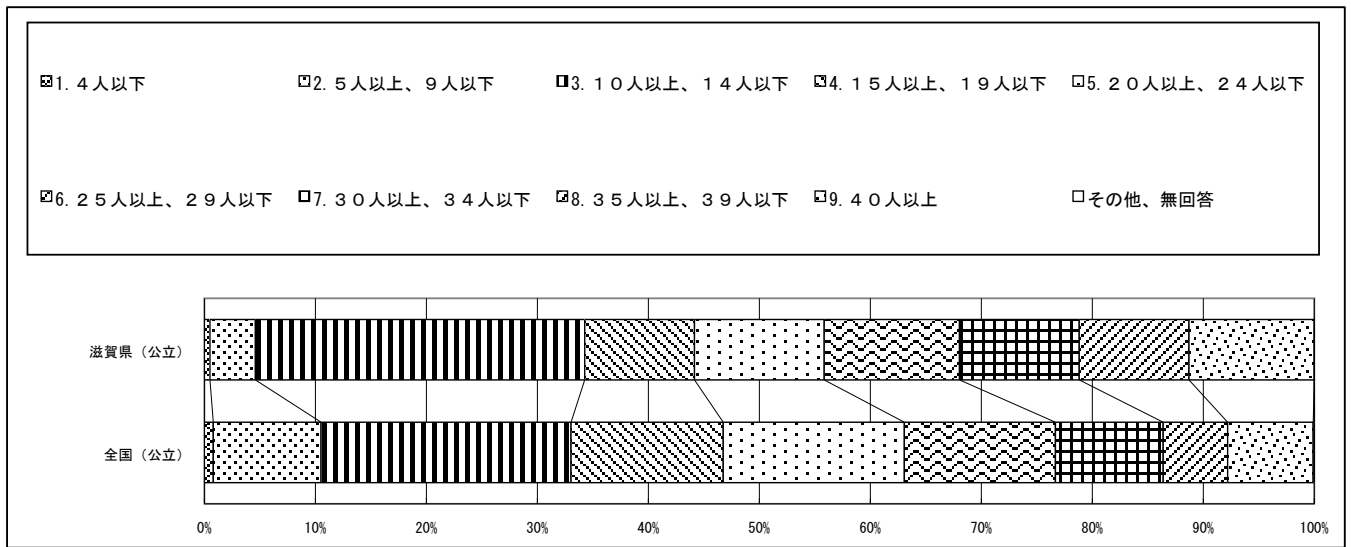


質問番号	質問事項										
(4)	調査対象日現在の第6学年の学級数（特別支援学級は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	38.3	26.1	19.4	11.3	3.2	0.9	0.0	0.0	0.9		0.0
全国（公立）	39.8	30.5	18.2	7.0	1.6	0.4	0.1	0.1	2.1		0.1

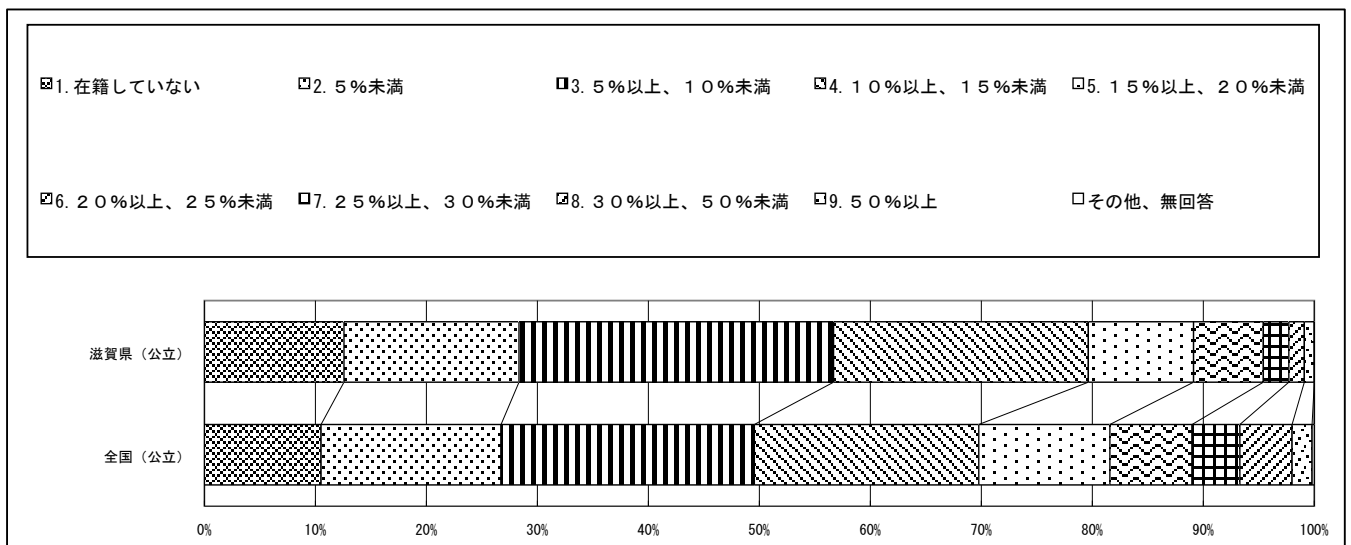


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(5)	調査対象日現在の学校の全教員数（副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師（常勤））										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	0.5	4.1	29.7	9.9	11.7	12.2	10.8	9.9	11.3		0.0
全国（公立）	0.8	9.7	22.5	13.7	16.3	13.6	9.7	5.8	7.7		0.1

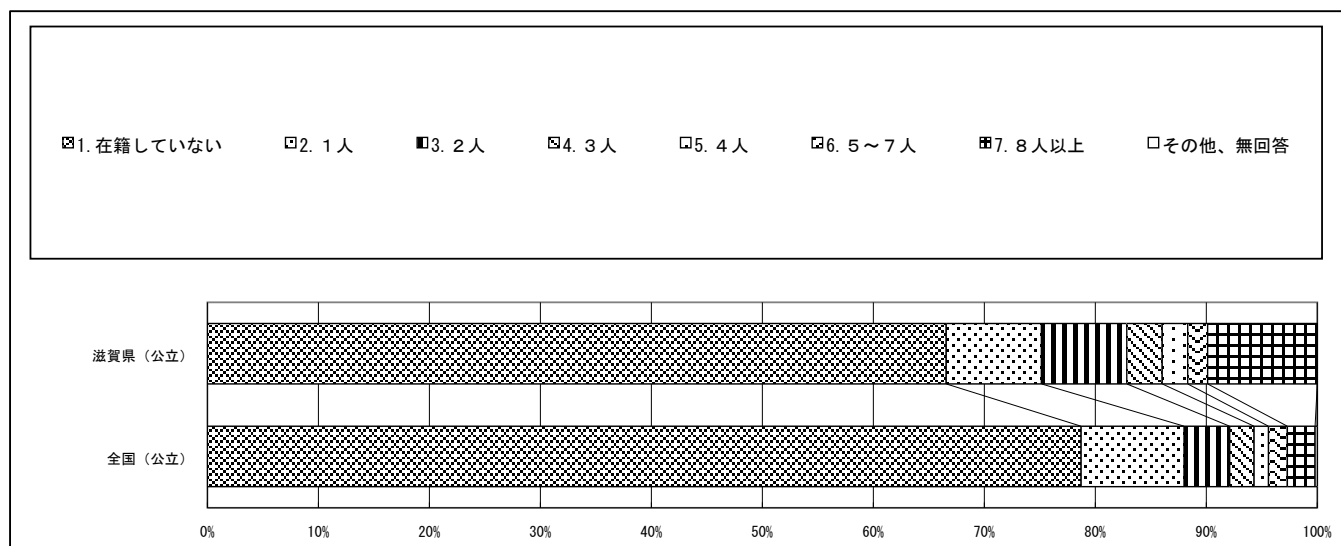


質問番号	質問事項										
(6)	調査対象学年の児童のうち、就学援助を受けている児童の割合										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	12.6	15.8	28.4	23.0	9.5	6.3	2.3	1.4	0.9		0.0
全国（公立）	10.5	16.2	22.8	20.2	11.8	7.4	4.3	4.7	1.8		0.2

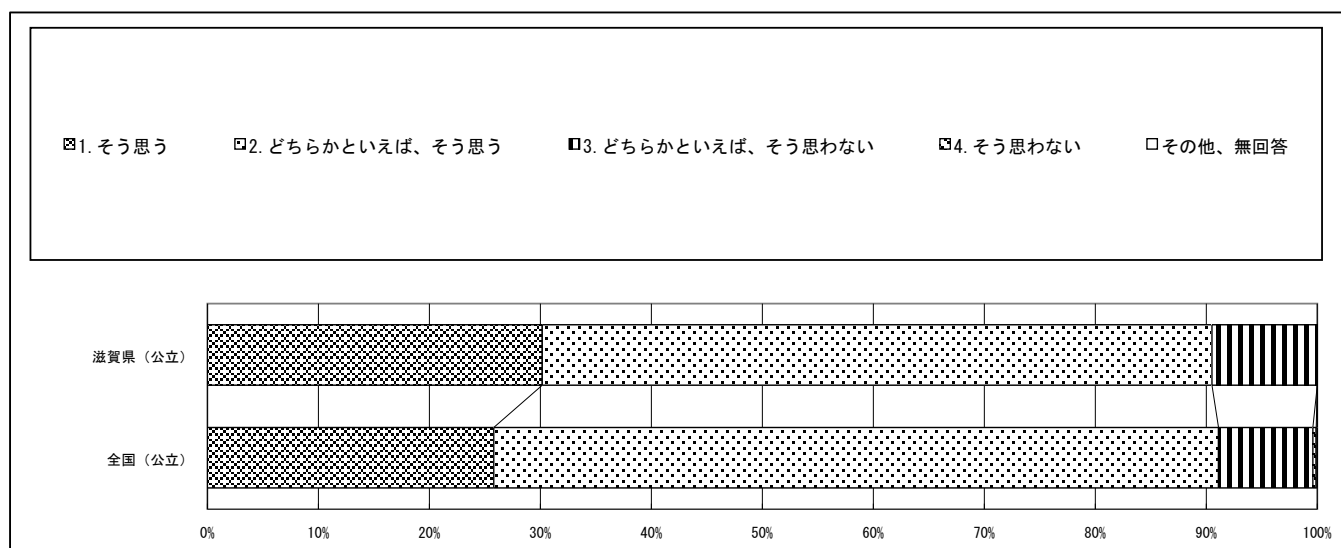


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(7)	調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童の人数										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	66.7	8.6	7.7	3.2	2.3	1.8	9.9				0.0
全国(公立)	78.8	9.3	4.1	2.2	1.3	1.7	2.5				0.2

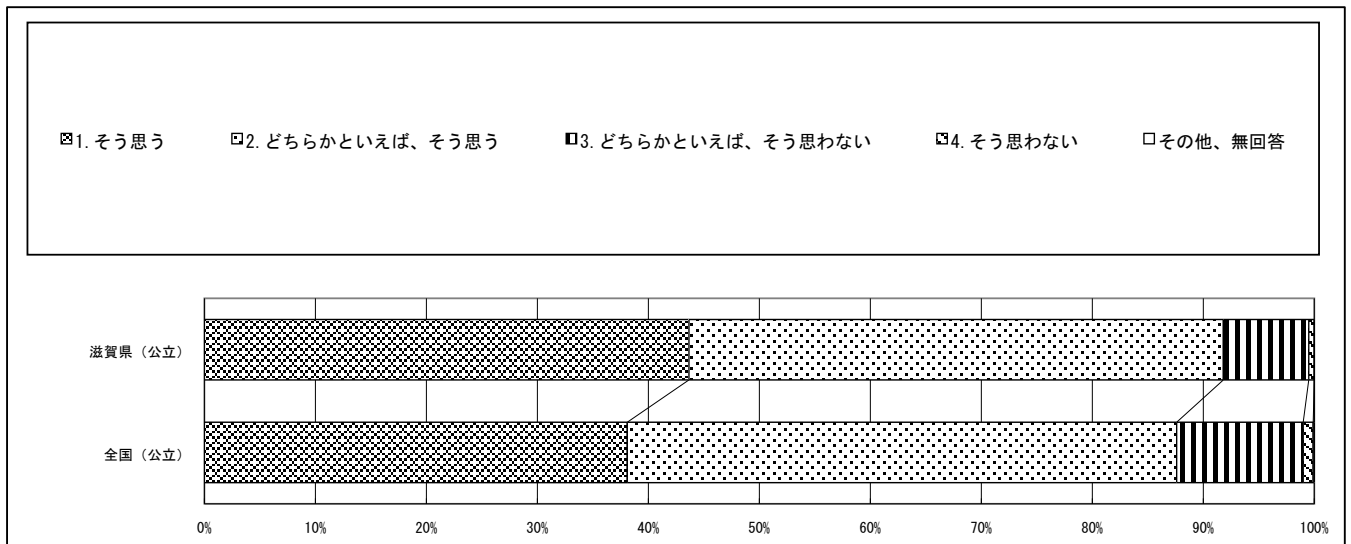


質問番号	質問事項										
(8)	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	30.2	60.4	9.5	0.0							0.0
全国(公立)	25.8	65.3	8.5	0.3							0.1

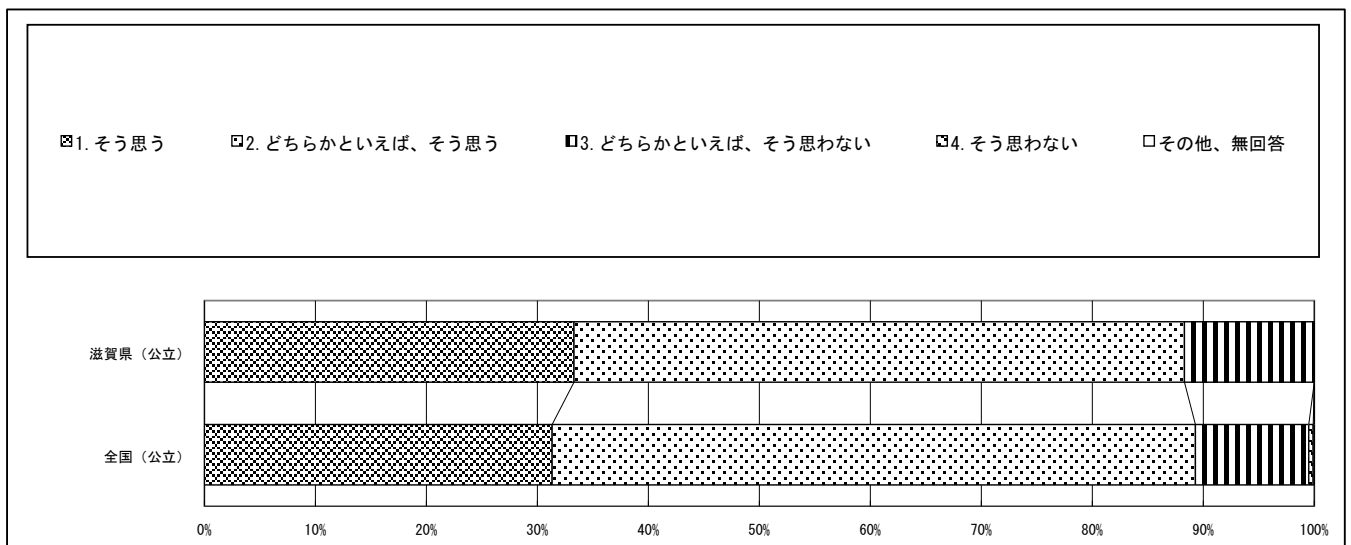


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(9)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	43.7	48.2	7.7	0.5							0.0
全国(公立)	38.1	49.5	11.4	0.9							0.1

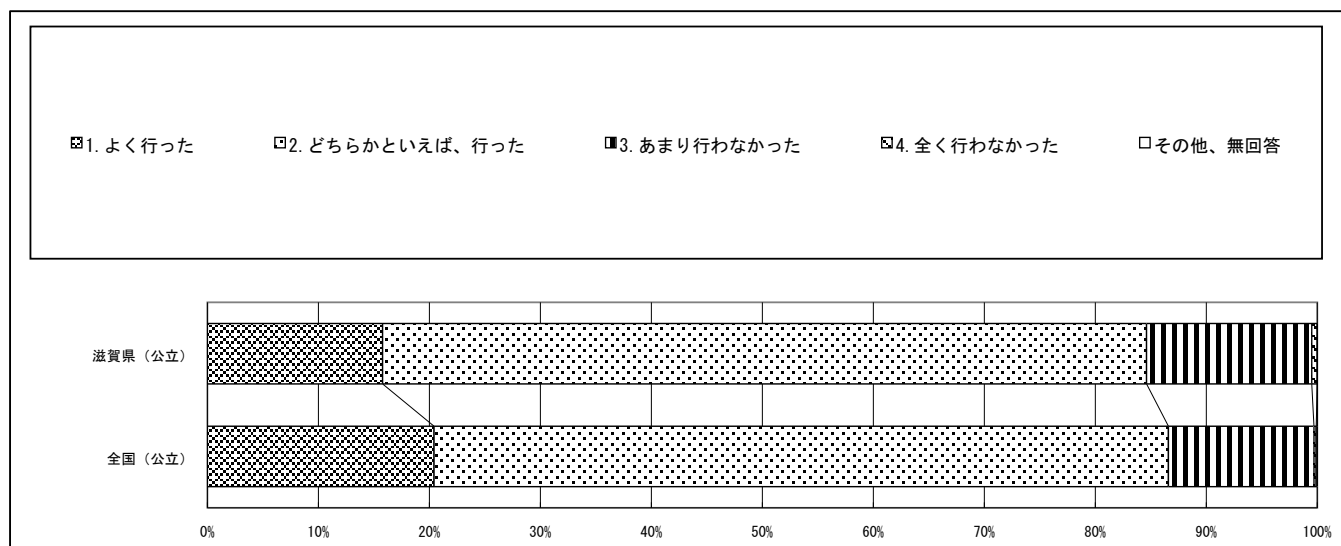


質問番号	質問事項										
(10)	調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	33.3	55.0	11.7	0.0							0.0
全国(公立)	31.3	57.9	10.2	0.4							0.1

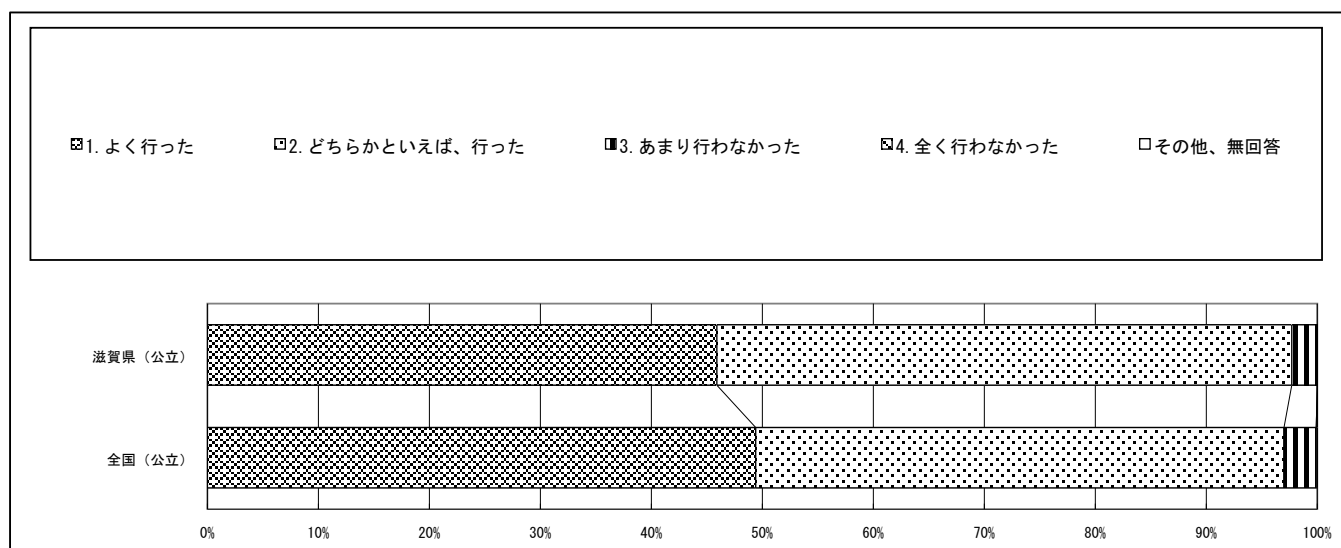


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(11)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	15.8	68.9	14.9	0.5							0.0
全国(公立)	20.4	66.1	13.1	0.2							0.1

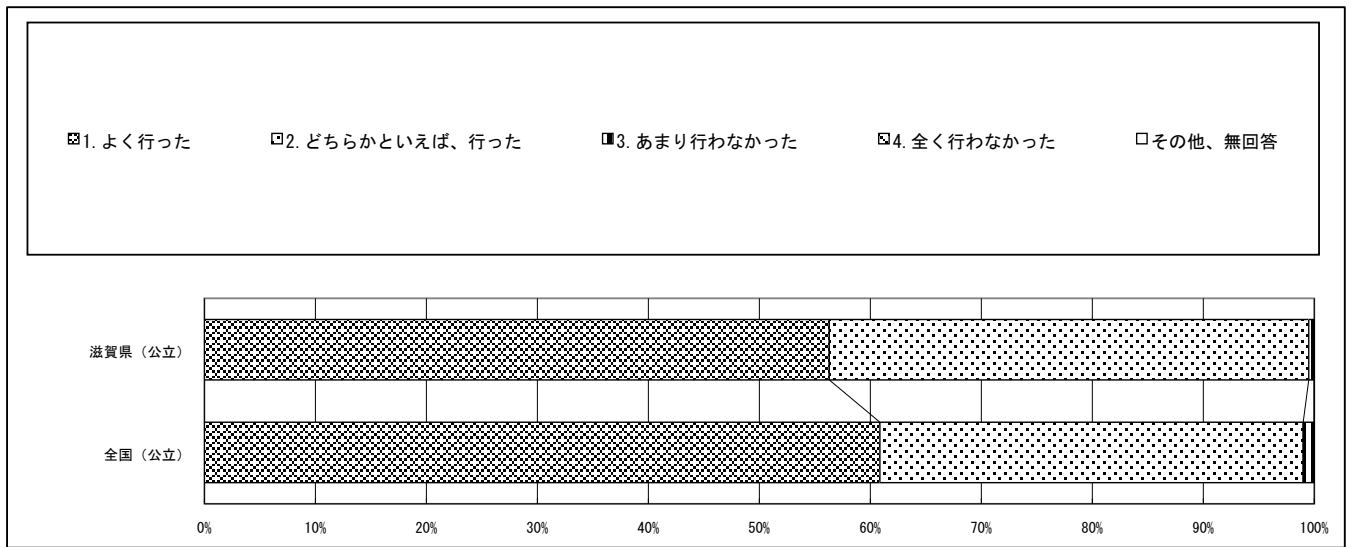


質問番号	質問事項										
(12)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	45.9	51.8	2.3	0.0							0.0
全国(公立)	49.4	47.6	2.9	0.0							0.1

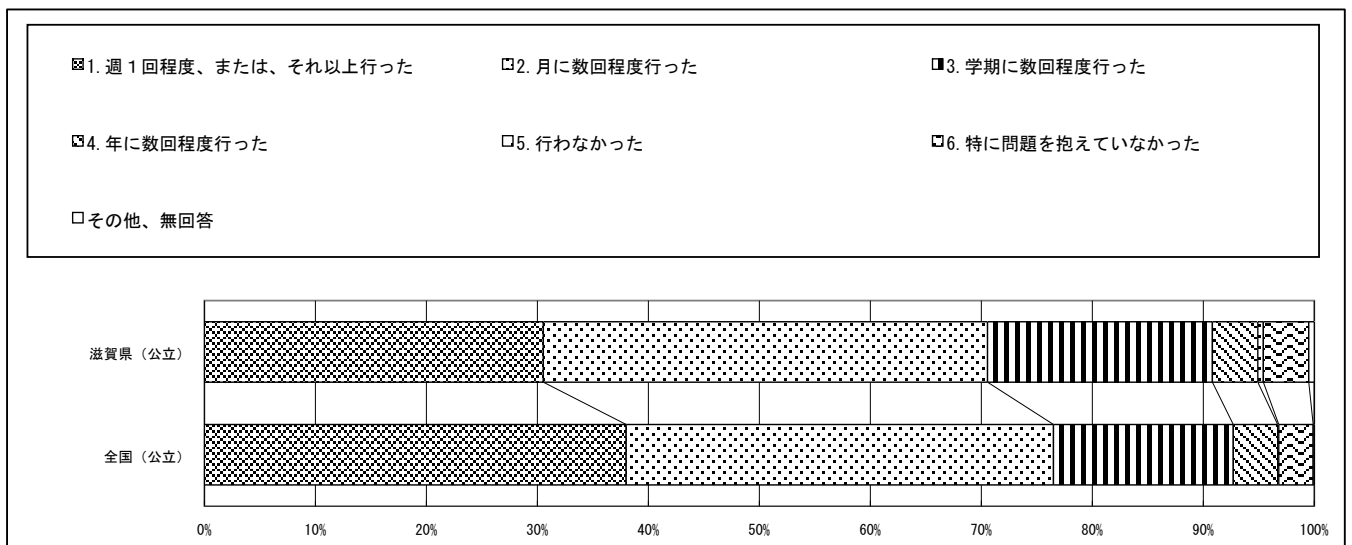


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(13)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	56.3	43.2	0.5	0.0							0.0
全国（公立）	60.8	38.1	1.0	0.0							0.0

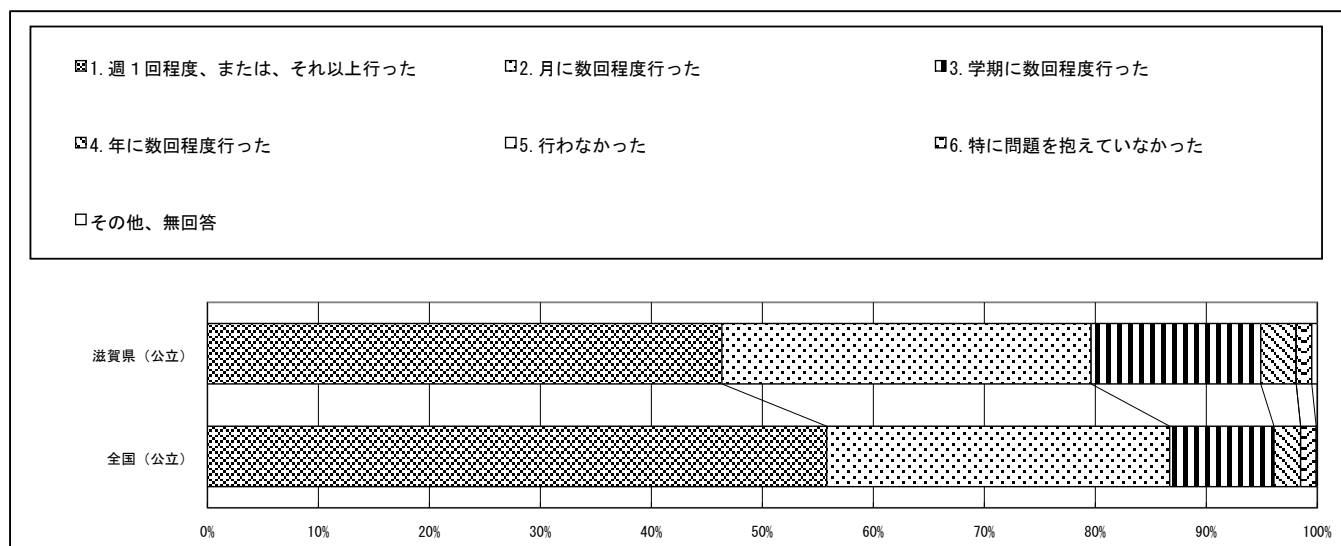


質問番号	質問事項										
(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	30.6	40.1	20.3	4.1	0.5	4.1					0.5
全国（公立）	38.0	38.5	16.2	4.0	0.1	3.1					0.1

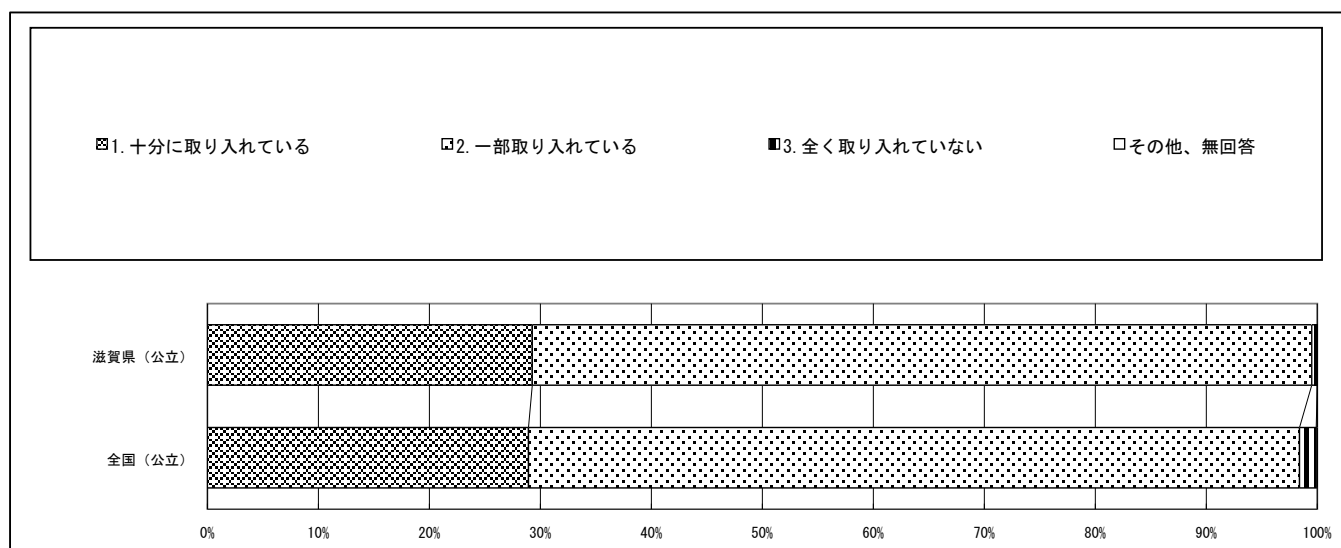


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(15)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	46.4	33.3	15.3	3.2	0.0	1.4					0.5
全国（公立）	55.8	30.9	9.4	2.4	0.0	1.4					0.1

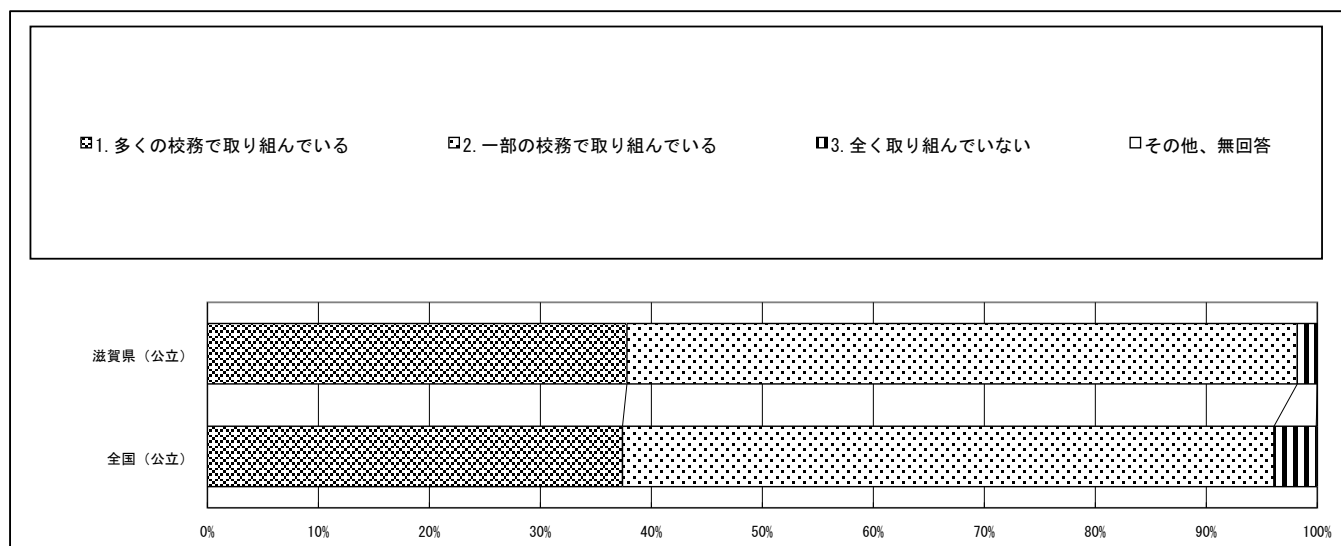


質問番号	質問事項										
(16)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	29.3	70.3	0.5								0.0
全国（公立）	28.9	69.4	1.5								0.1

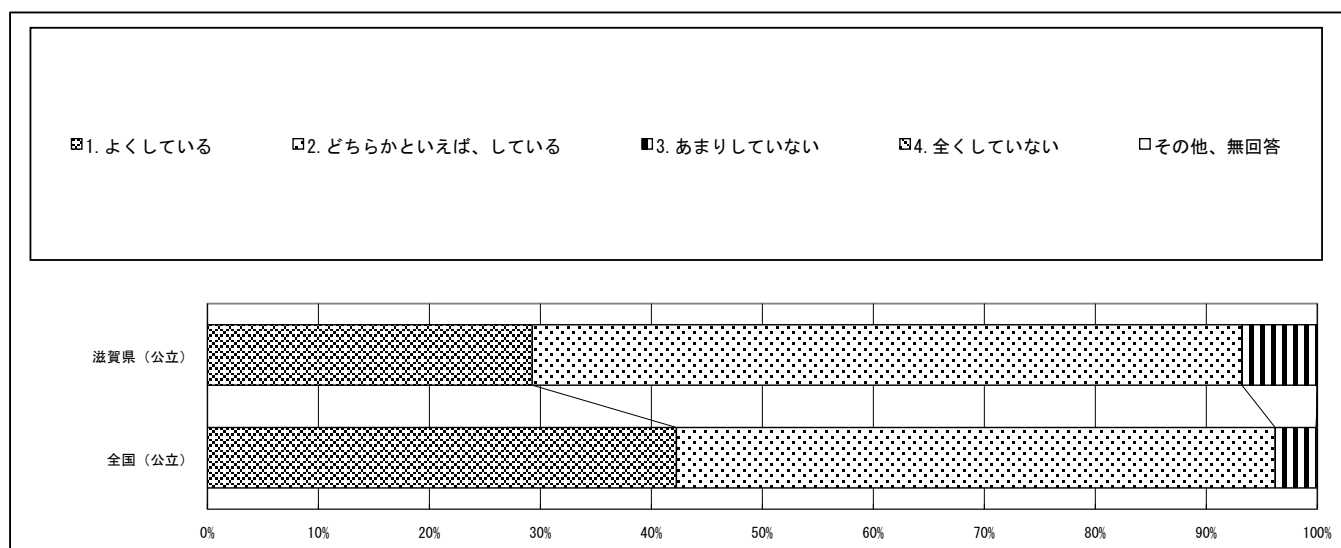


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(17)	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	37.8	60.4	1.8								0.0
全国（公立）	37.4	58.7	3.8								0.1

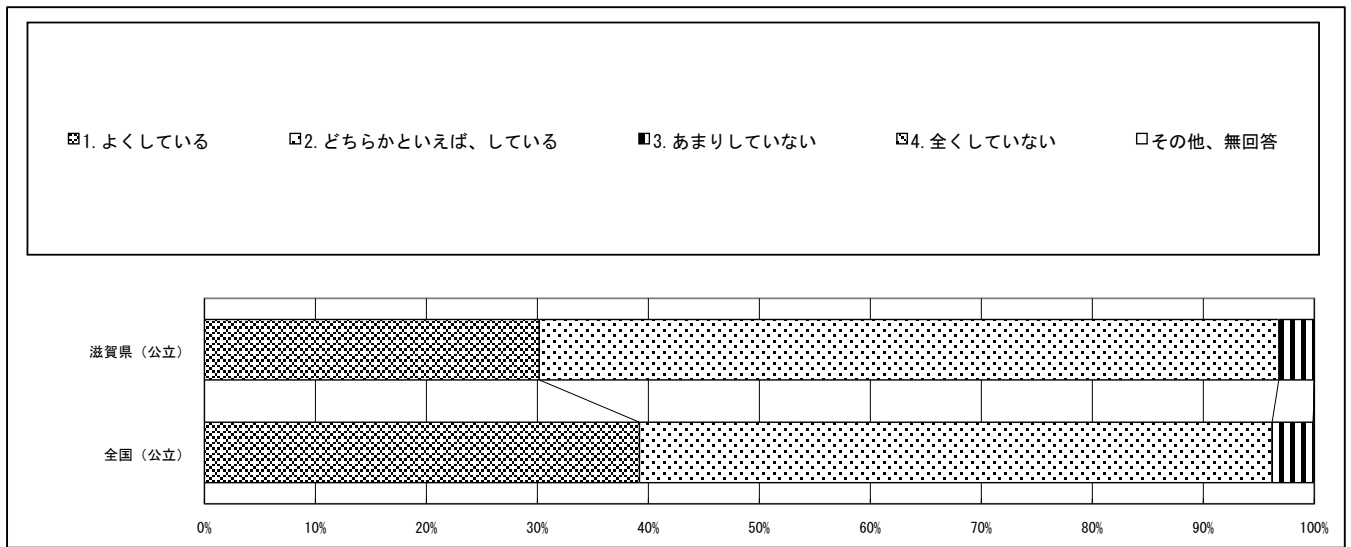


質問番号	質問事項										
(18)	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	29.3	64.0	6.8	0.0							0.0
全国（公立）	42.3	54.0	3.7	0.0							0.1

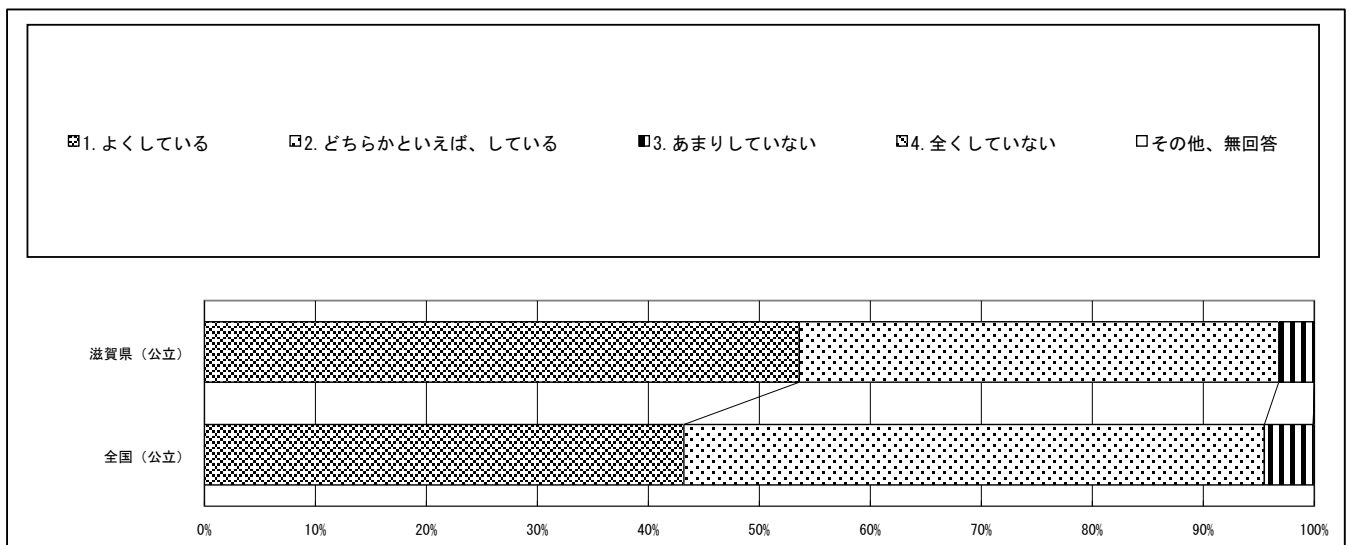


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(19)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	30.2	66.7	3.2	0.0							0.0
全国（公立）	39.2	57.0	3.7	0.0							0.1

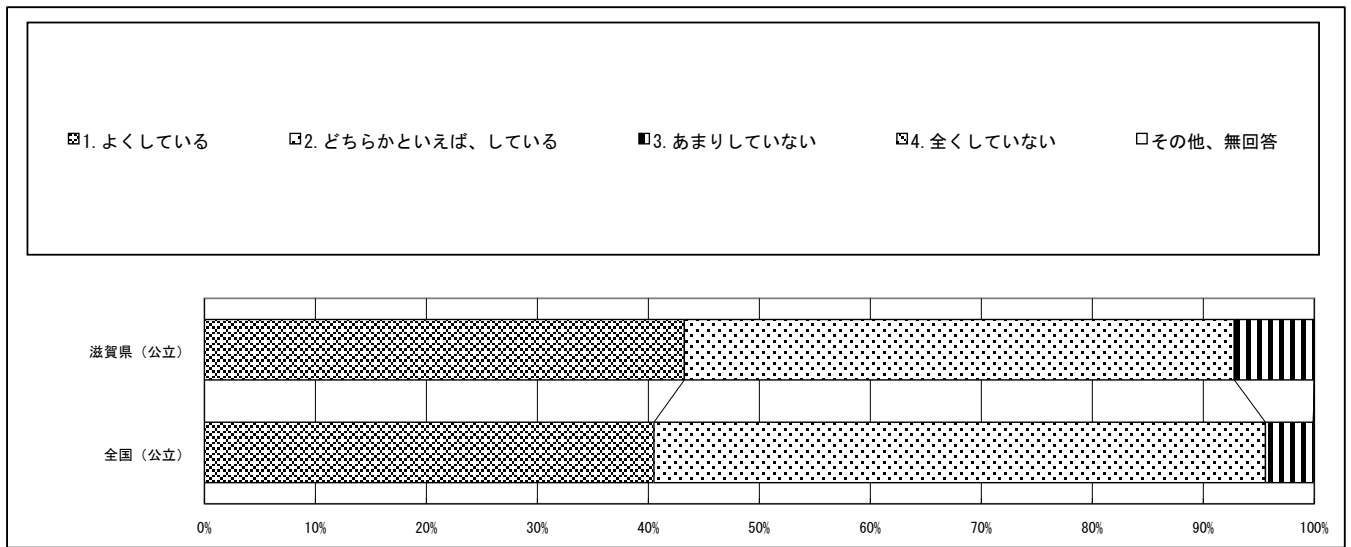


質問番号	質問事項										
(20)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	53.6	43.2	3.2	0.0							0.0
全国（公立）	43.2	52.3	4.4	0.0							0.1

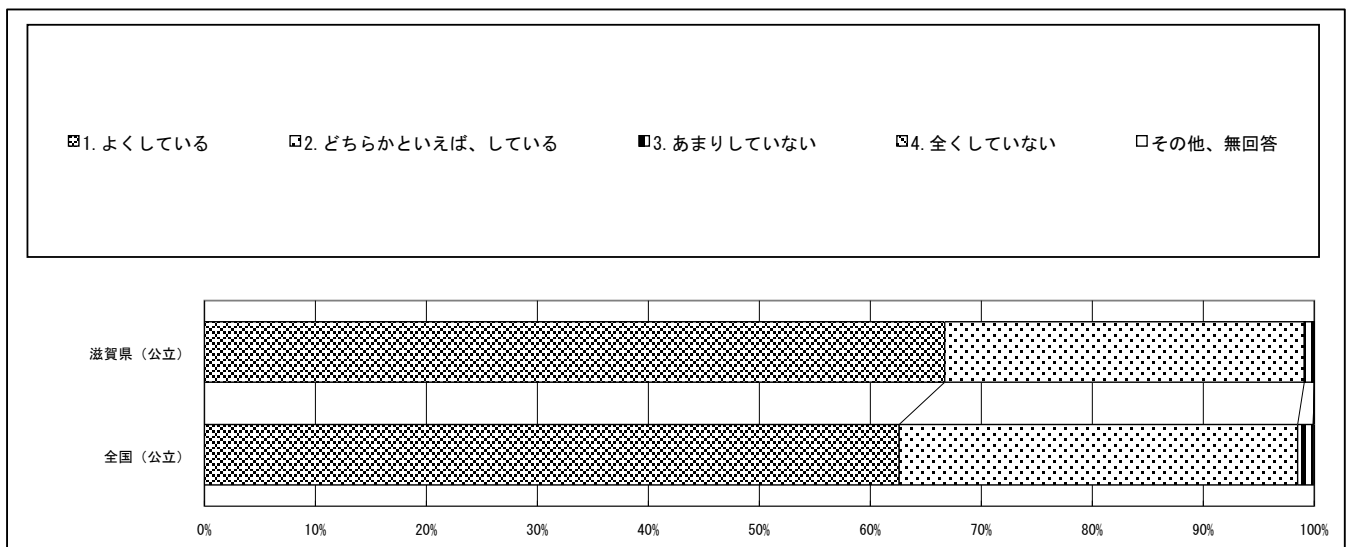


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(21)	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	43.2	49.5	7.2	0.0							0.0
全国（公立）	40.5	55.1	4.3	0.0							0.1

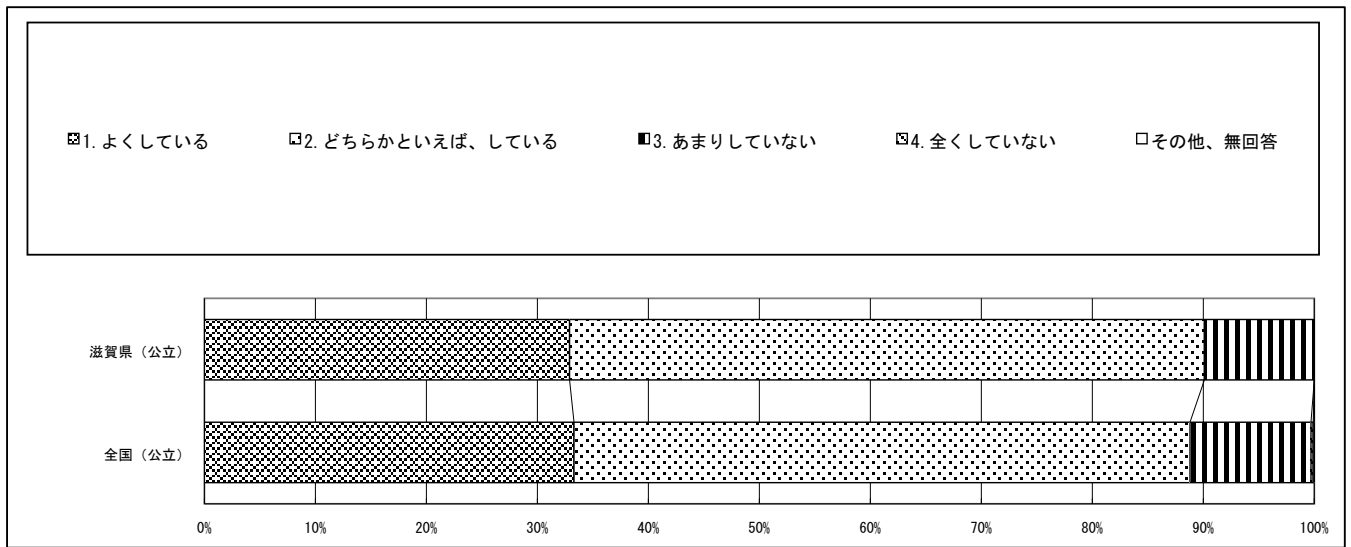


質問番号	質問事項										
(22)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	66.7	32.4	0.9	0.0							0.0
全国（公立）	62.6	35.9	1.4	0.0							0.1

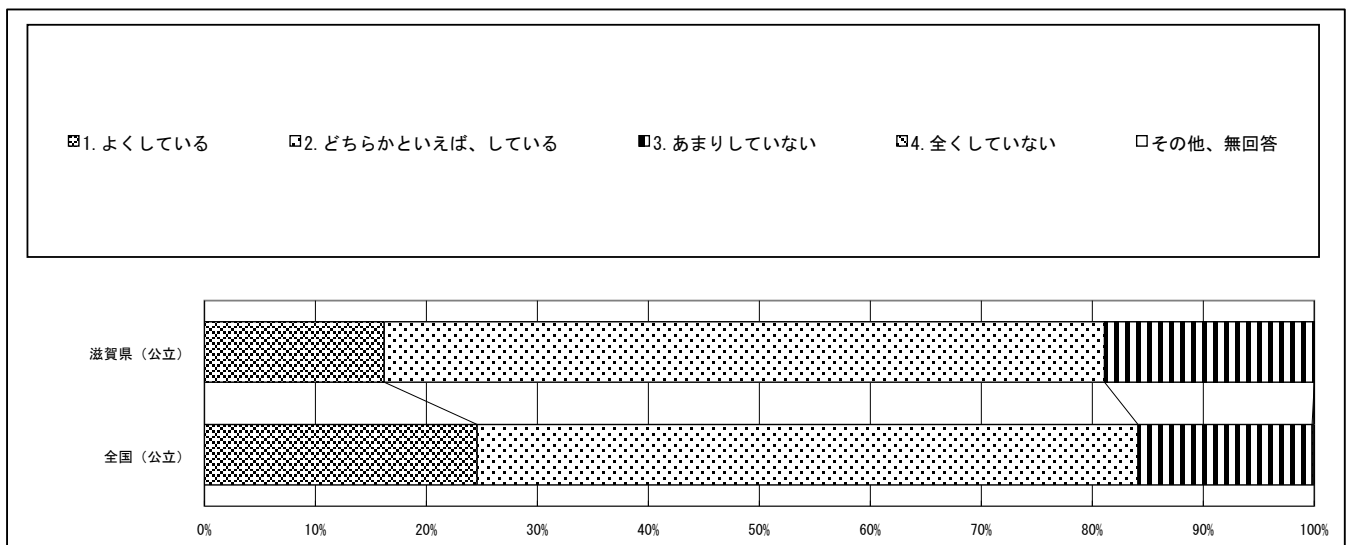


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(23)	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	32.9	57.2	9.9	0.0							0.0
全国(公立)	33.3	55.5	10.9	0.2							0.1

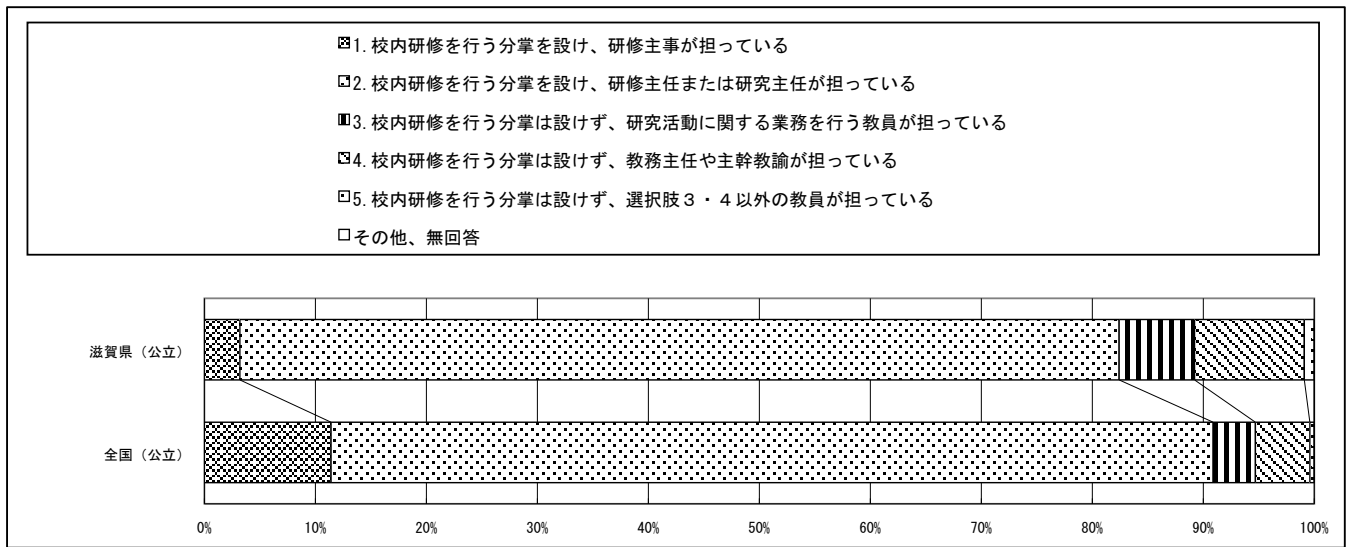


質問番号	質問事項										
(24)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	16.2	64.9	18.9	0.0							0.0
全国(公立)	24.6	59.6	15.7	0.1							0.1

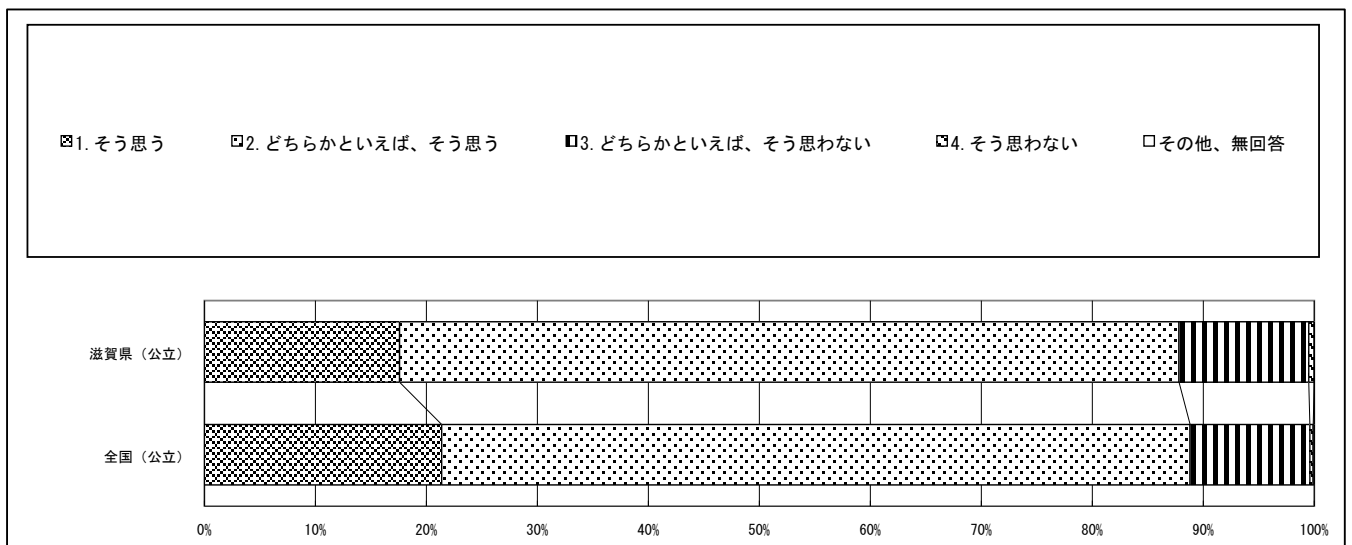


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(25)	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	3.2	79.3	6.8	9.9	0.9						0.0
全国(公立)	11.4	79.4	3.8	4.9	0.4						0.0

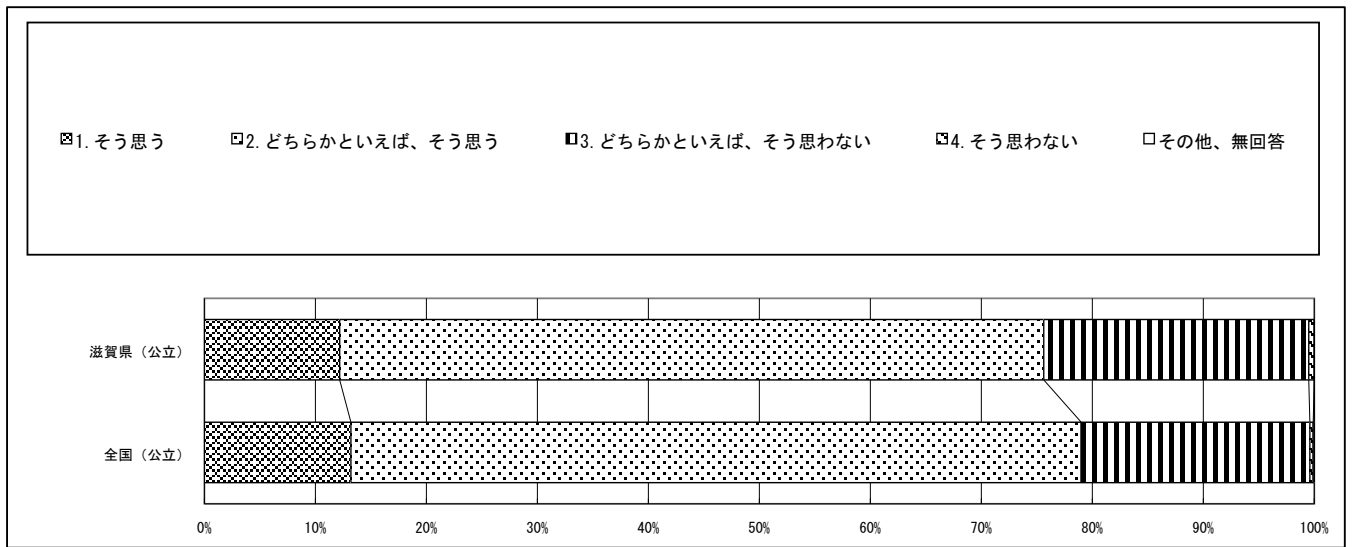


質問番号	質問事項										
(26)	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	17.6	70.3	11.7	0.5							0.0
全国(公立)	21.4	67.5	10.8	0.3							0.1

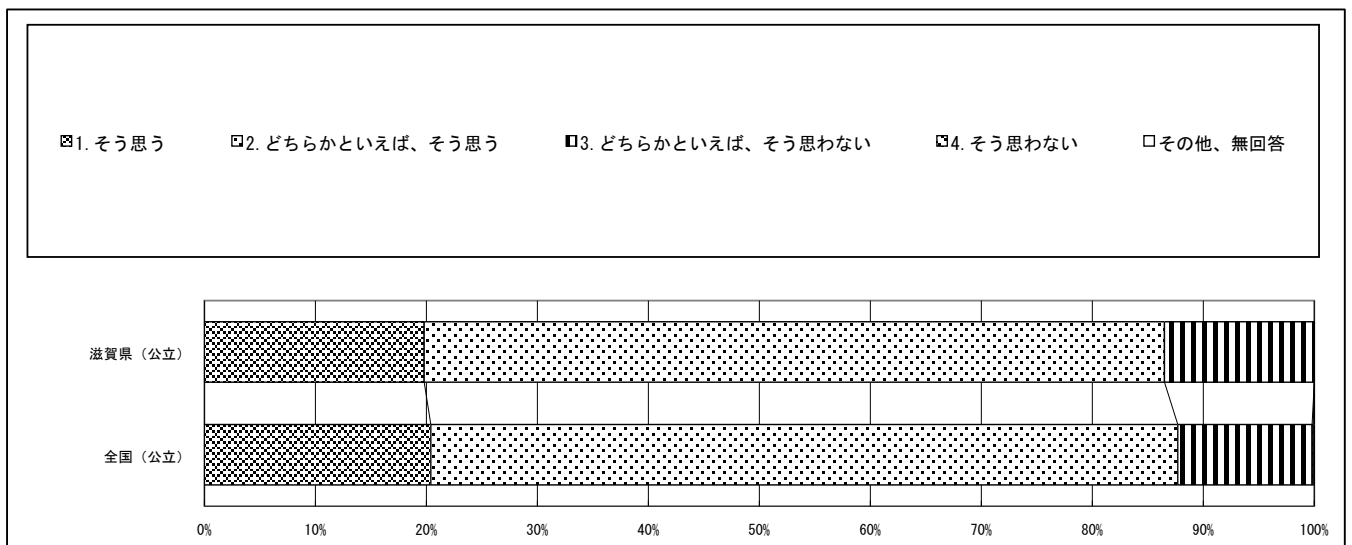


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(27)	調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	12.2	63.5	23.9	0.5							0.0
全国(公立)	13.2	65.8	20.6	0.3							0.1

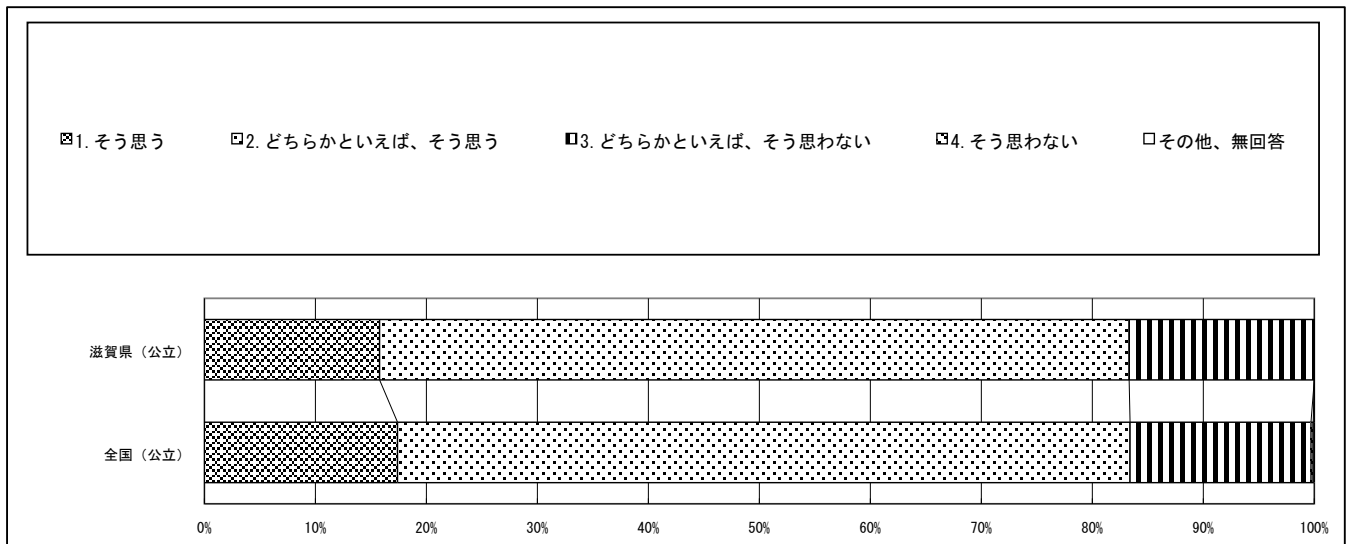


質問番号	質問事項										
(28)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.8	66.7	13.5	0.0							0.0
全国(公立)	20.4	67.3	12.1	0.1							0.1

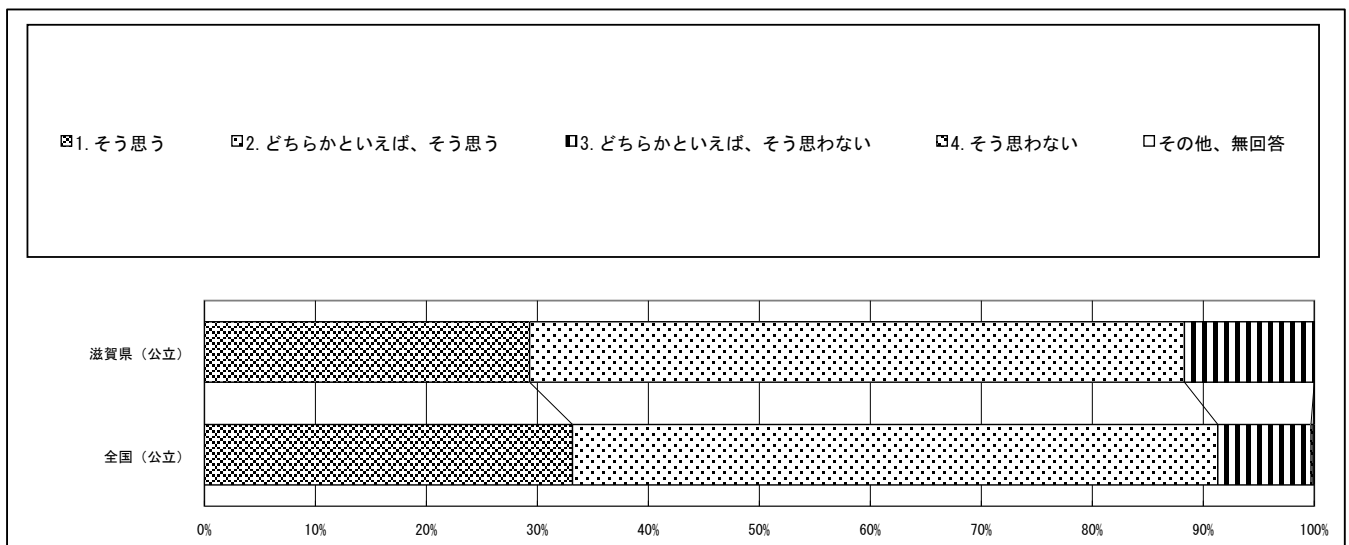


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(29)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	15.8	67.6	16.7	0.0							0.0
全国(公立)	17.4	66.0	16.3	0.2							0.1

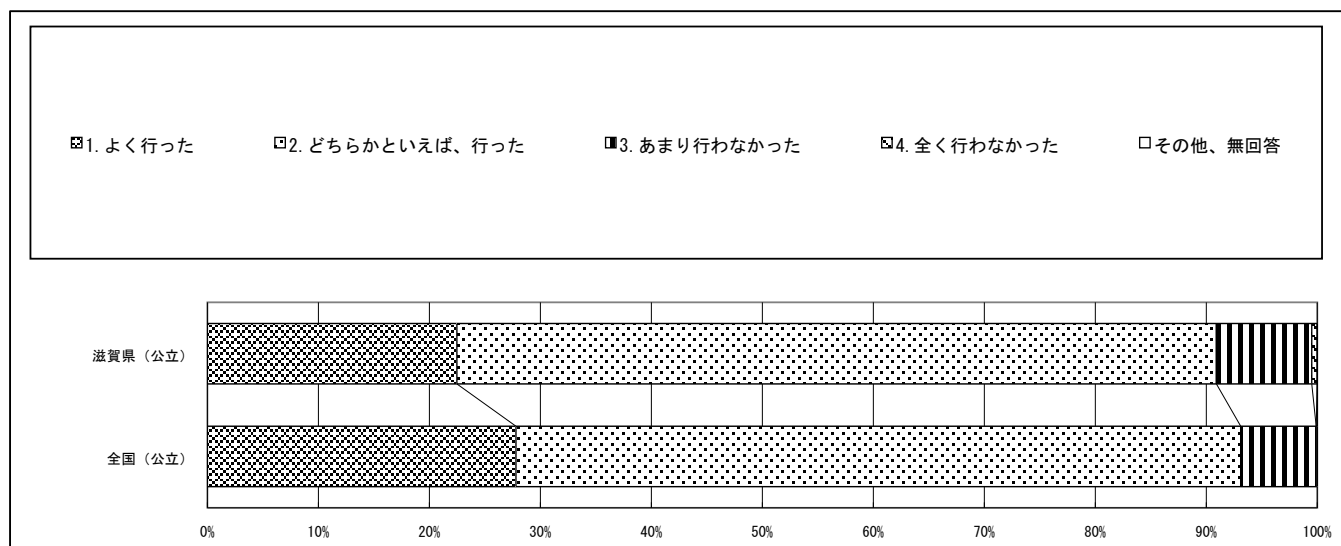


質問番号	質問事項										
(30)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	29.3	59.0	11.7	0.0							0.0
全国(公立)	33.2	58.2	8.4	0.2							0.1

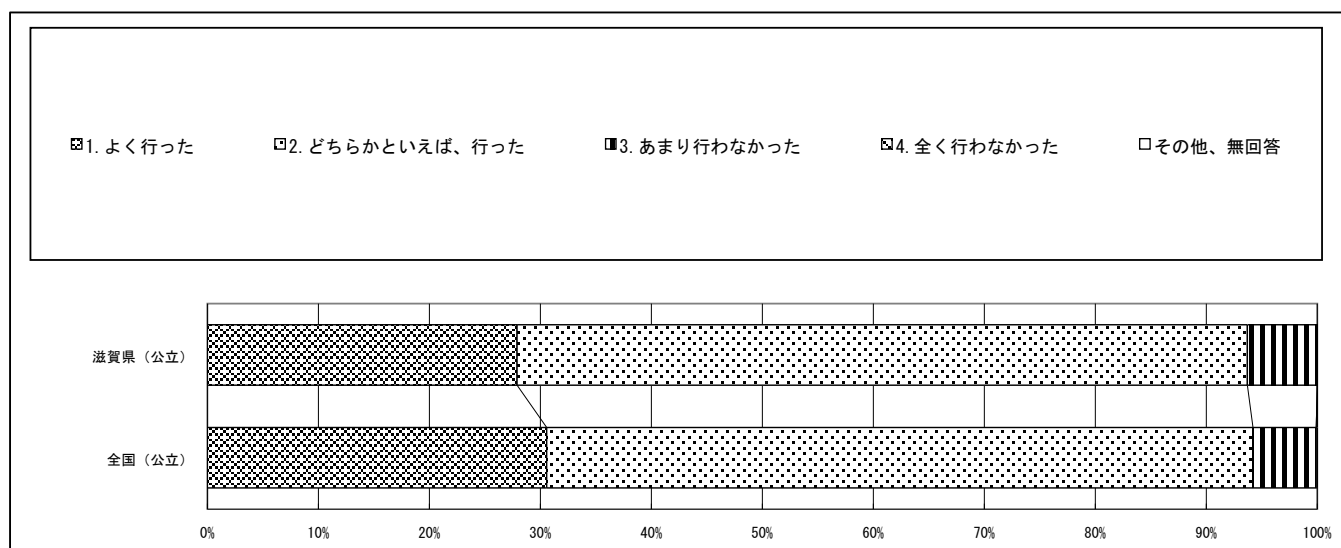


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(31)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	22.5	68.5	8.6	0.5							0.0
全国(公立)	27.8	65.3	6.8	0.0							0.1

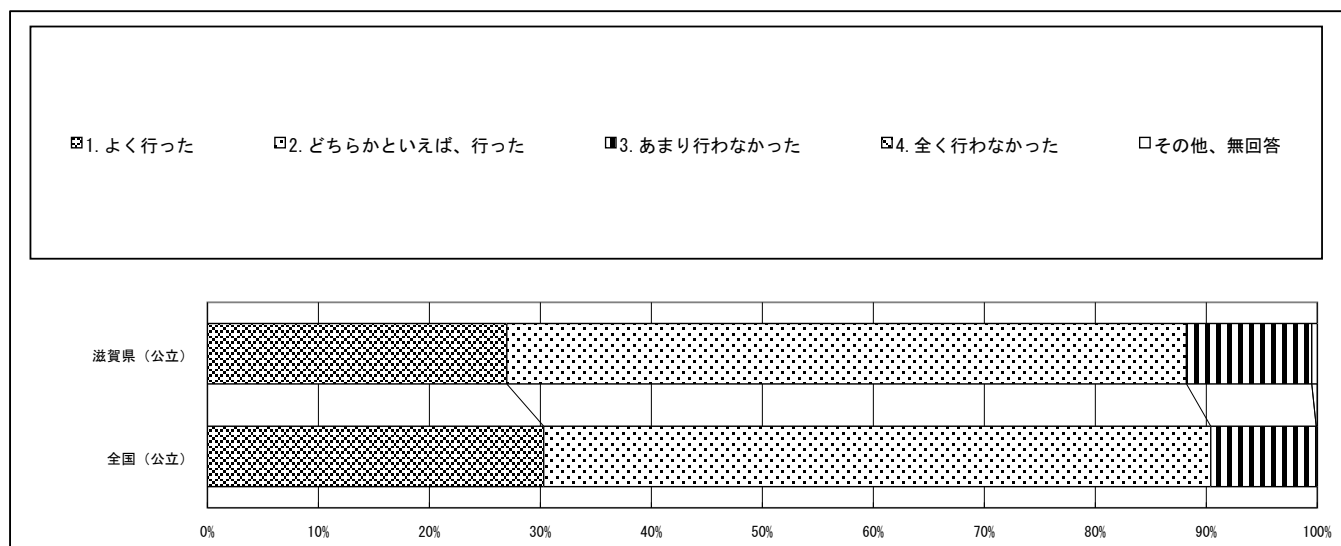


質問番号	質問事項										
(32)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	27.9	65.8	6.3	0.0							0.0
全国(公立)	30.6	63.7	5.7	0.0							0.1

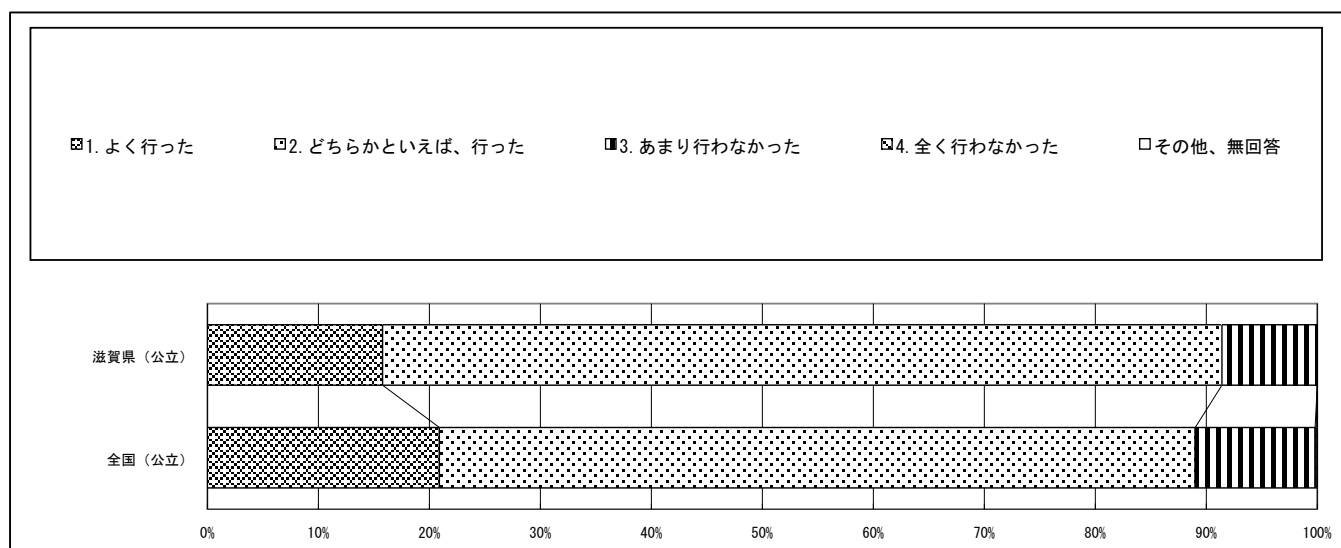


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(33)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	27.0	61.3	11.3	0.0							0.5
全国(公立)	30.3	60.1	9.5	0.0							0.1

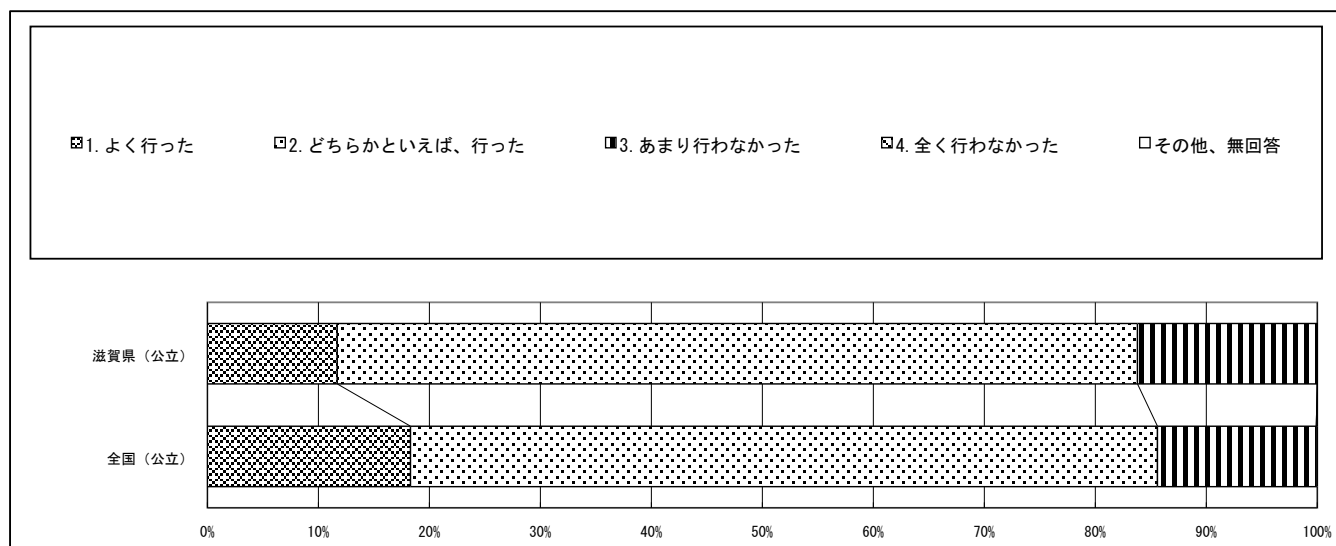


質問番号	質問事項										
(34)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	15.8	75.7	8.6	0.0							0.0
全国(公立)	20.9	68.1	10.8	0.1							0.1

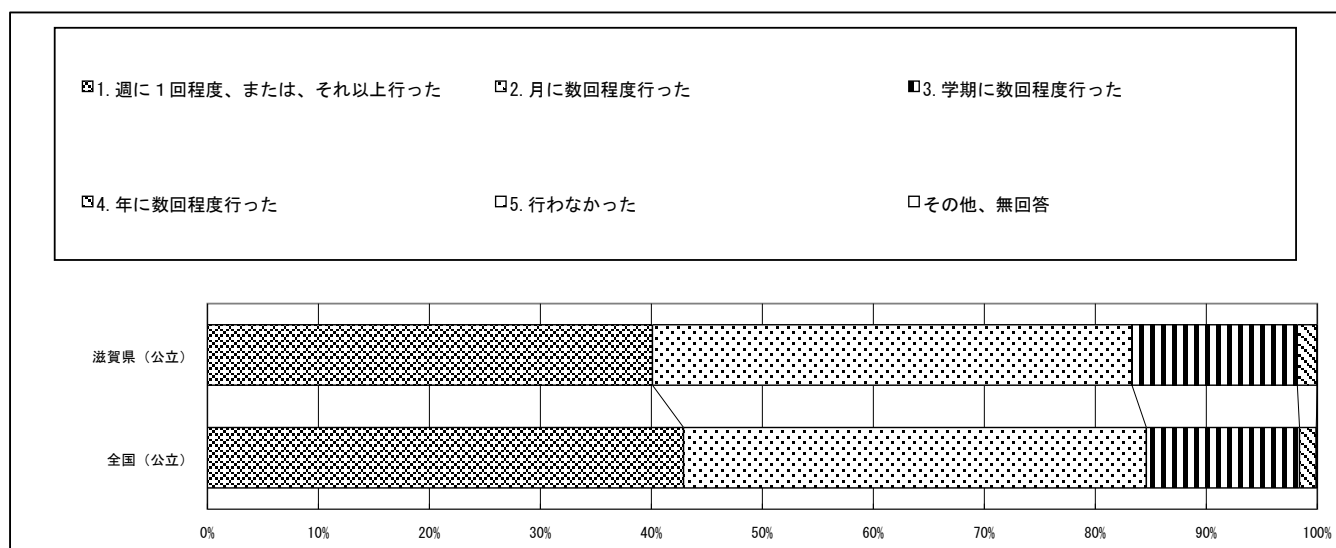


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(35)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	11.7	72.1	16.2	0.0							0.0
全国(公立)	18.3	67.3	14.3	0.0							0.1

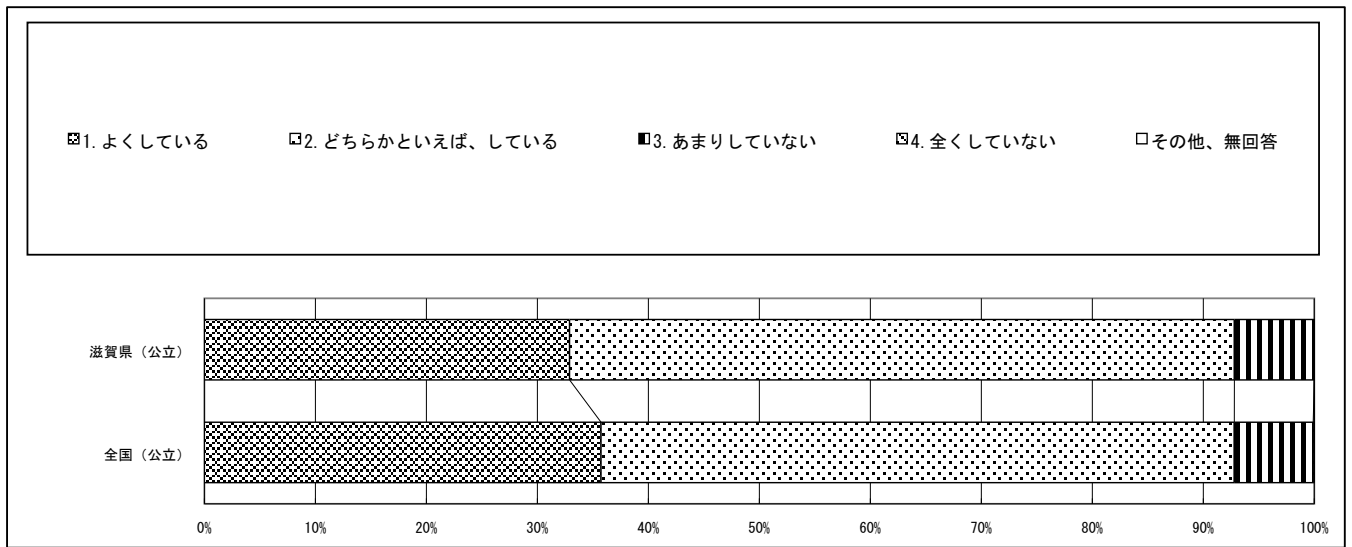


質問番号	質問事項										
(36)	調査対象学年の児童に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	40.1	43.2	14.9	1.8	0.0						0.0
全国(公立)	42.9	41.7	13.8	1.5	0.1						0.0

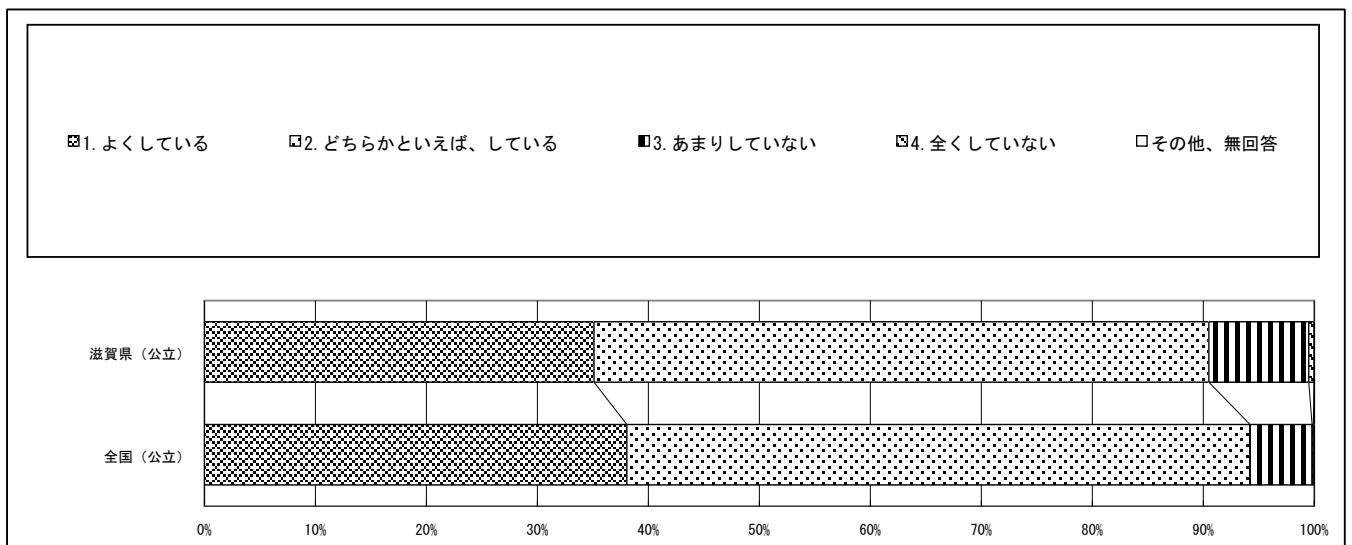


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(37)	調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	32.9	59.9	7.2	0.0							0.0
全国(公立)	35.7	57.0	7.1	0.1							0.0

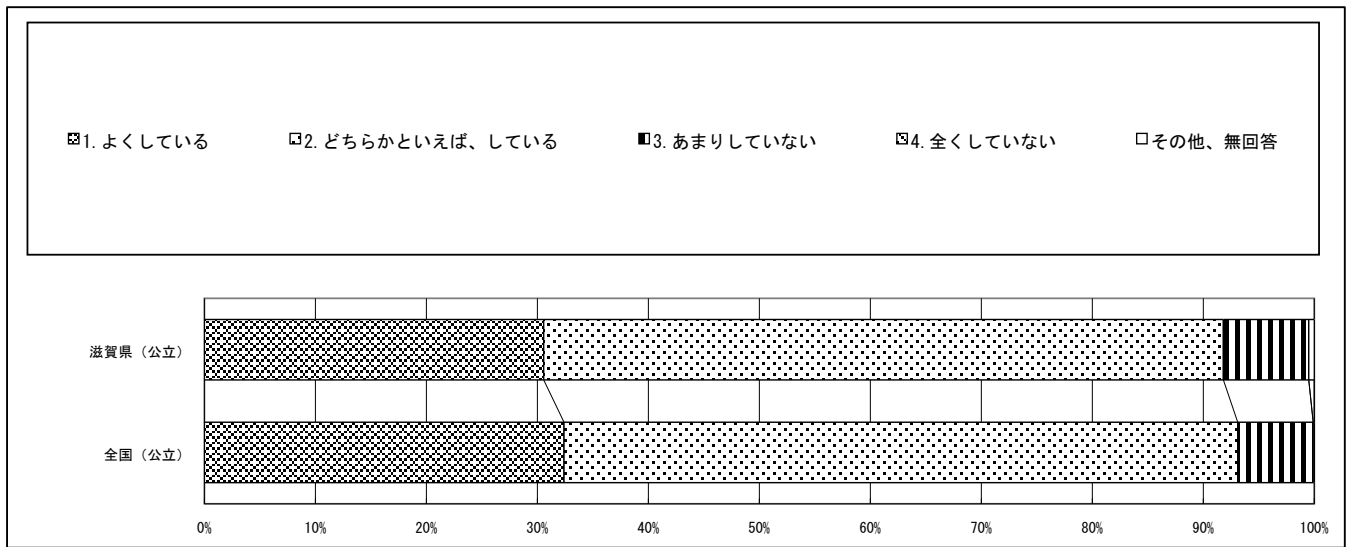


質問番号	質問事項										
(38)	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	35.1	55.4	9.0	0.5							0.0
全国(公立)	38.1	56.2	5.6	0.1							0.1

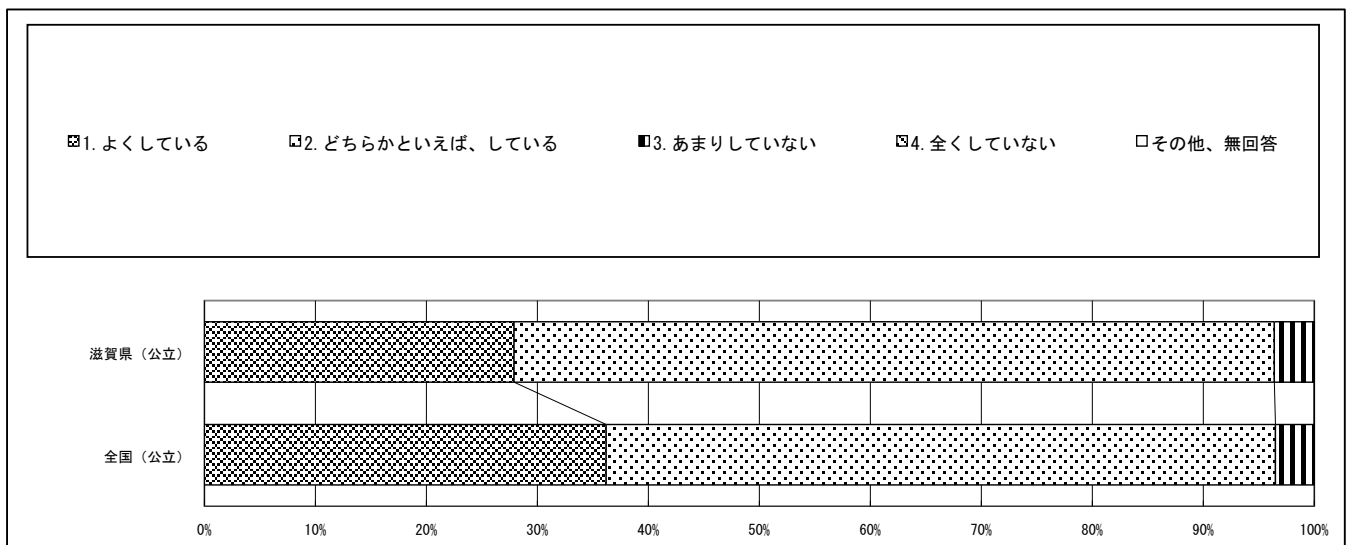


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(39)	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	30.6	61.3	7.7	0.0							0.5
全国(公立)	32.4	60.7	6.8	0.0							0.1

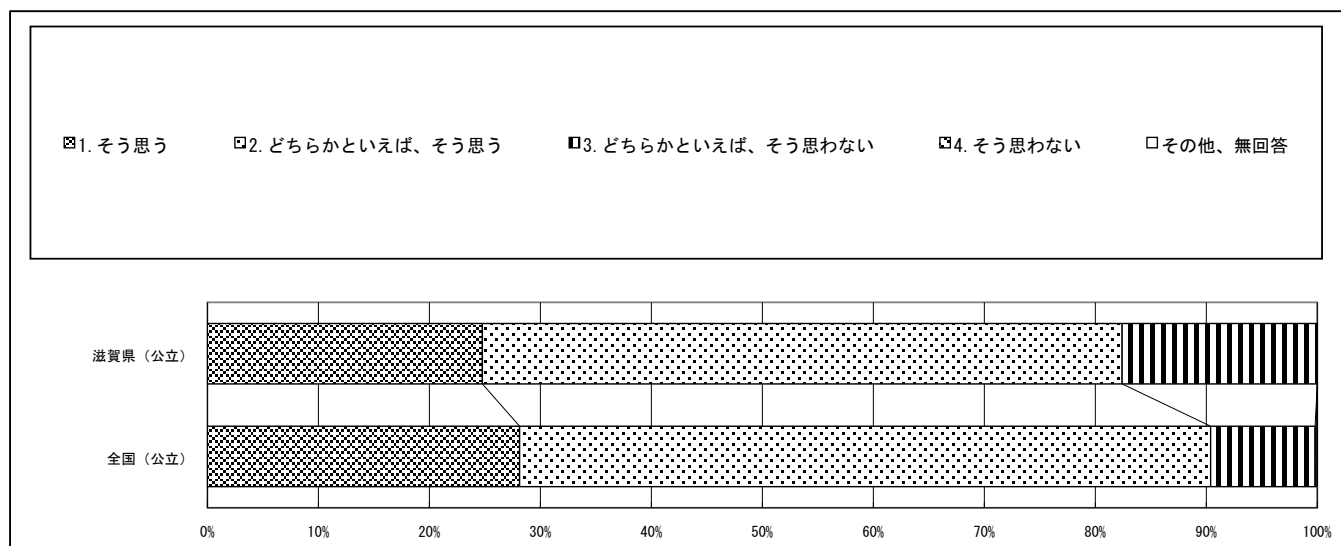


質問番号	質問事項										
(40)	調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	27.9	68.5	3.6	0.0							0.0
全国(公立)	36.2	60.3	3.5	0.0							0.0

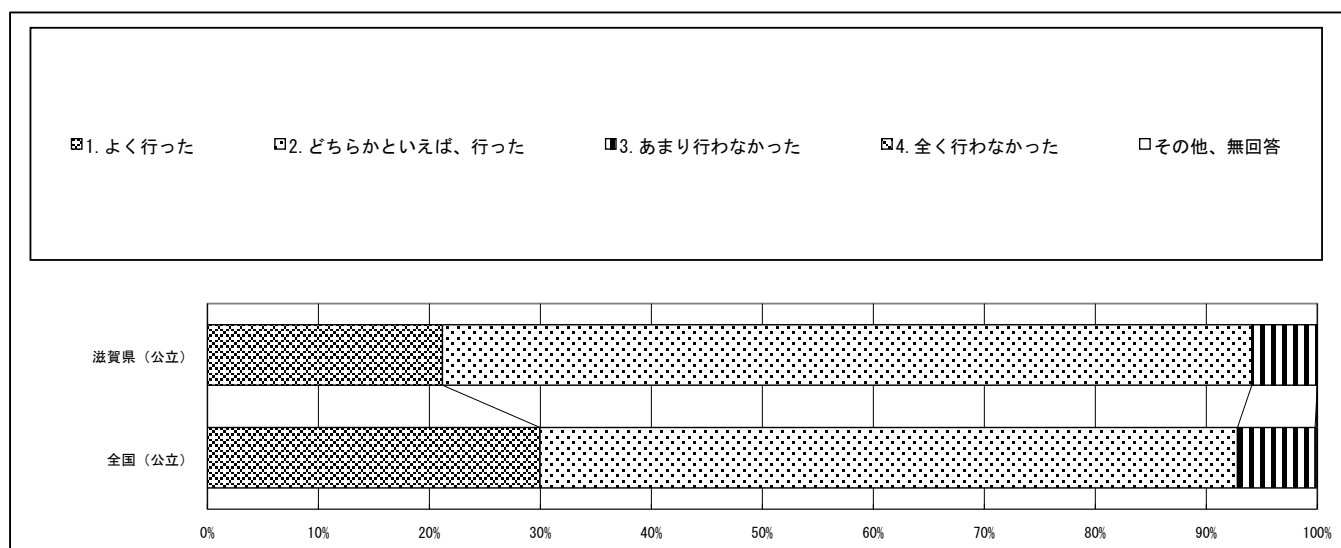


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(41)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	24.8	57.7	17.6	0.0							0.0
全国(公立)	28.1	62.2	9.4	0.1							0.1

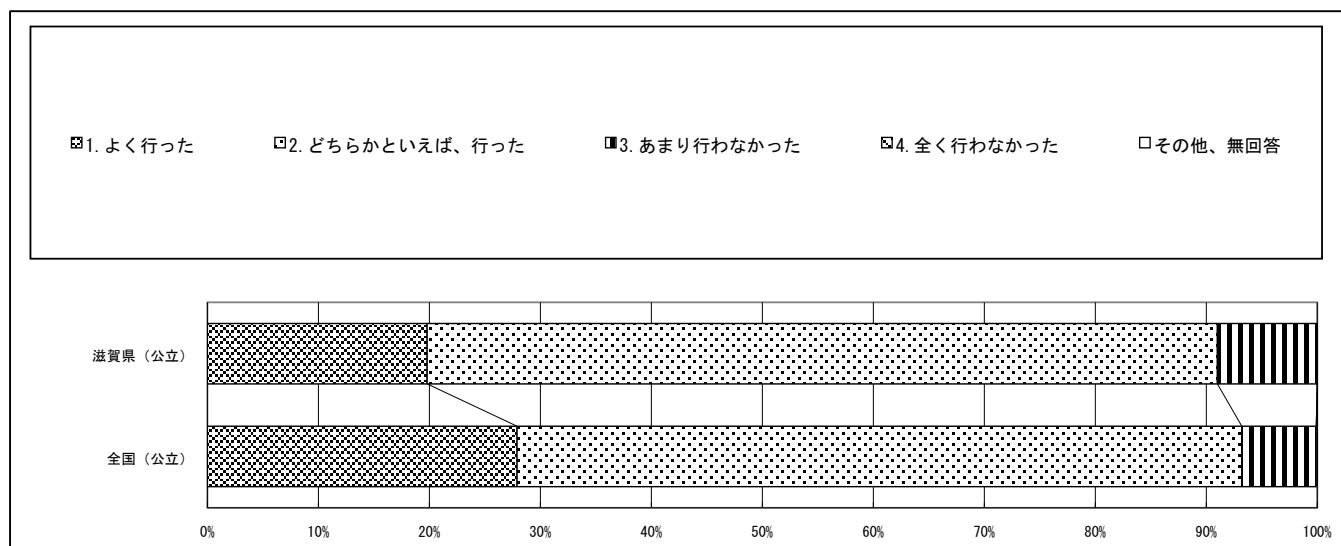


質問番号	質問事項										
(42)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	21.2	73.0	5.9	0.0							0.0
全国(公立)	30.0	62.9	7.0	0.1							0.1

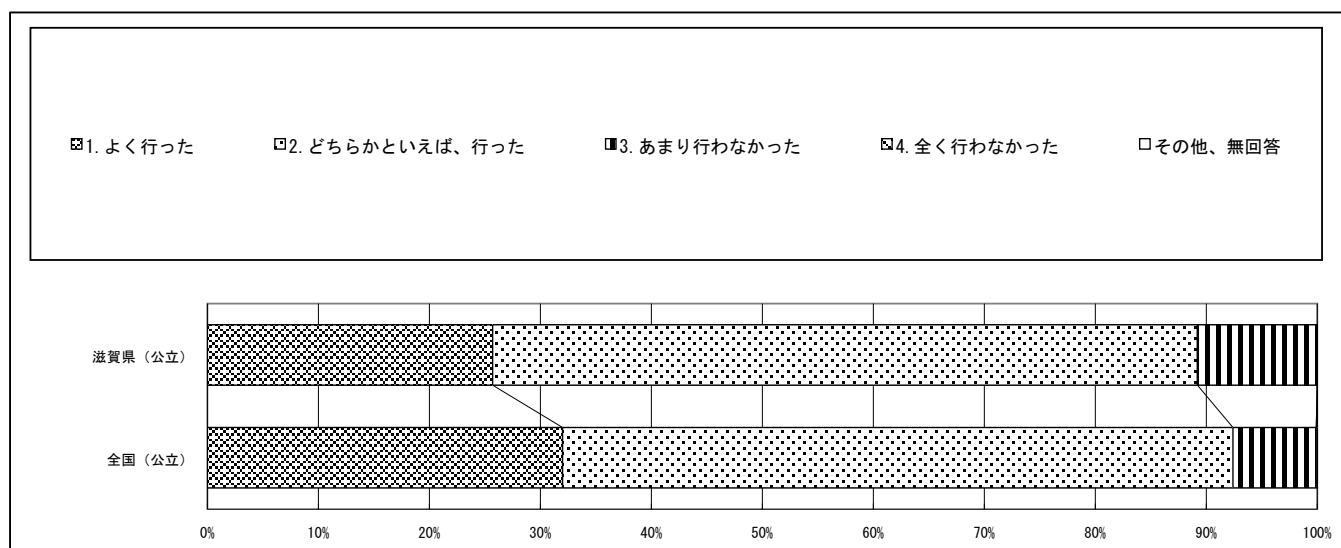


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(43)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.8	71.2	9.0	0.0							0.0
全国(公立)	27.9	65.3	6.7	0.0							0.1

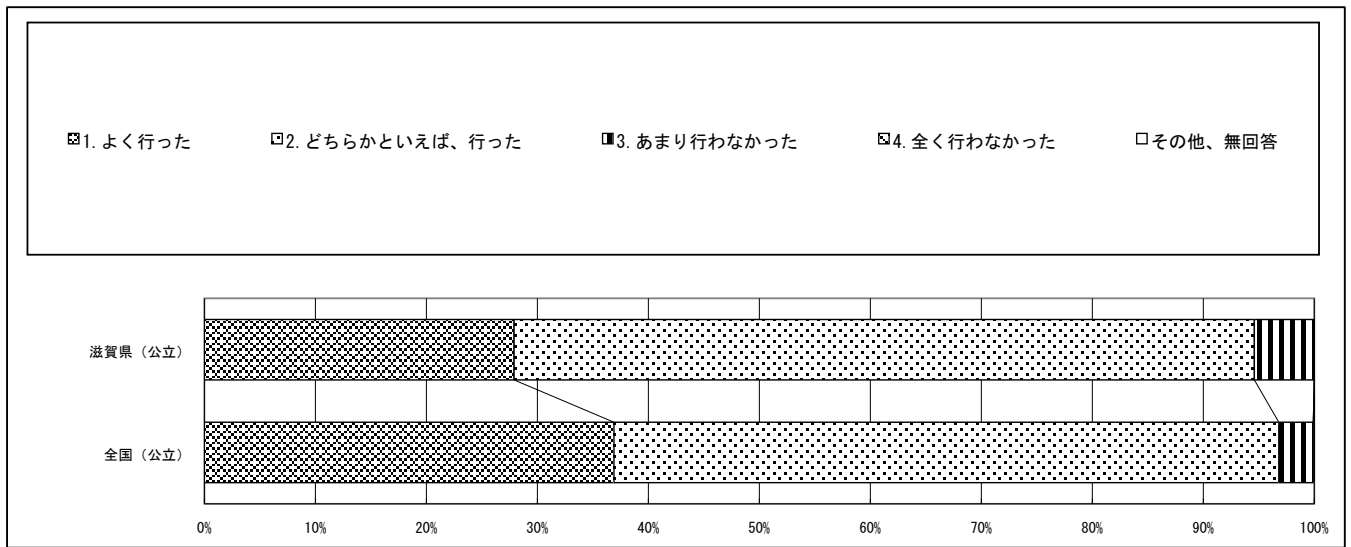


質問番号	質問事項										
(44)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	25.7	63.5	10.8	0.0							0.0
全国(公立)	32.0	60.4	7.5	0.0							0.1

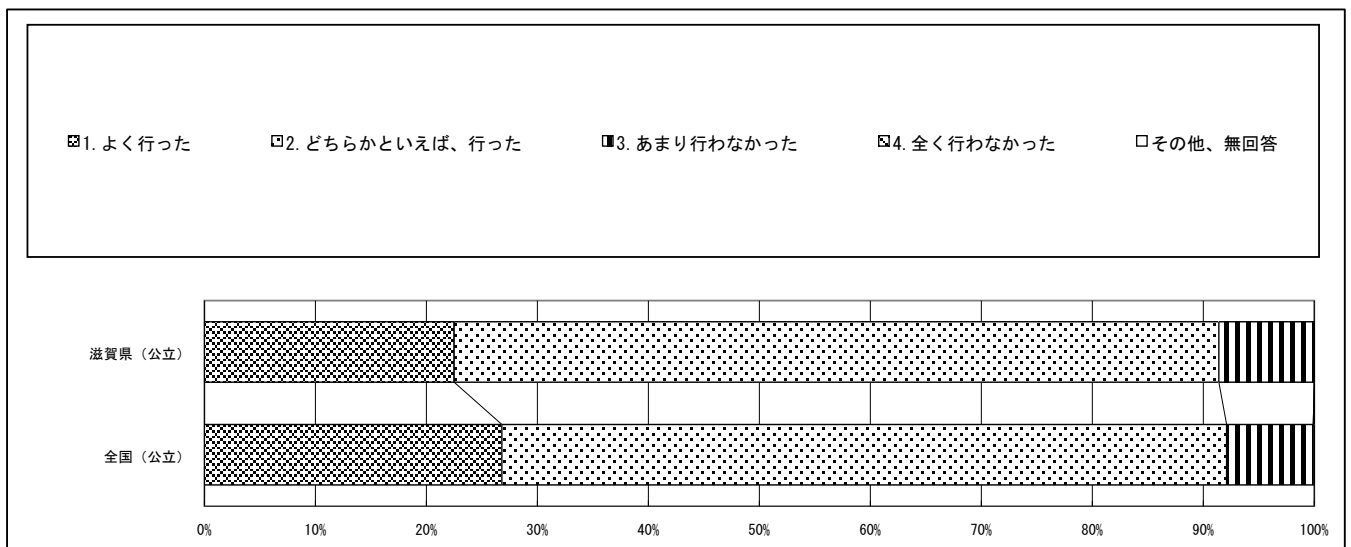


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(45)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	27.9	66.7	5.4	0.0							0.0
全国(公立)	36.9	59.9	3.1	0.0							0.1

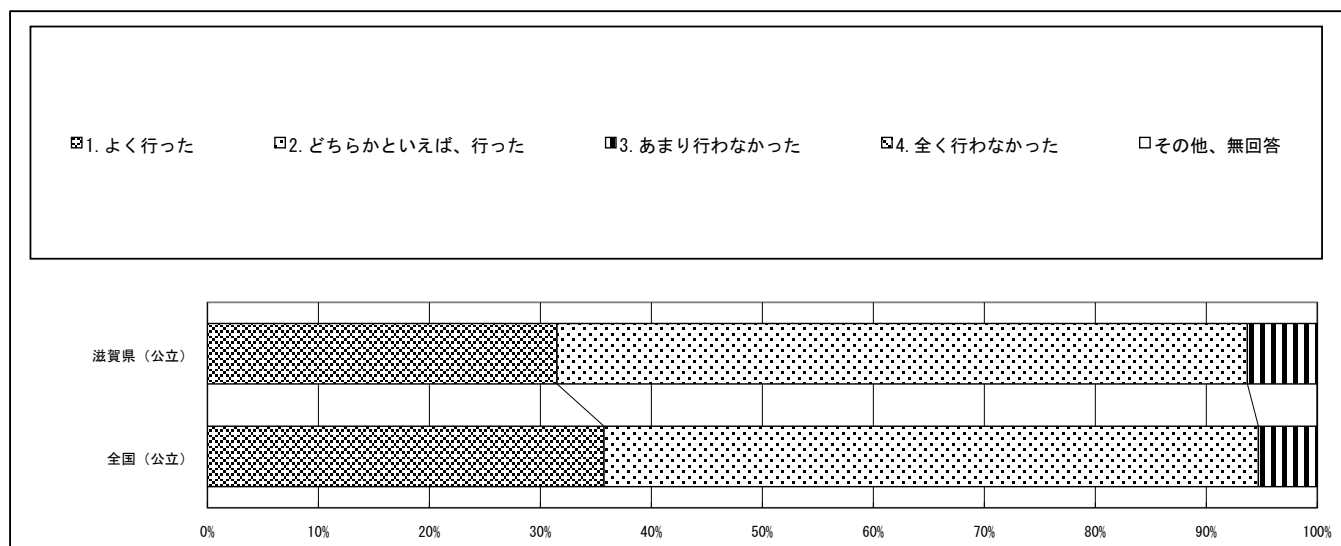


質問番号	質問事項										
(46)	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	22.5	68.9	8.6	0.0							0.0
全国(公立)	26.8	65.3	7.8	0.0							0.1

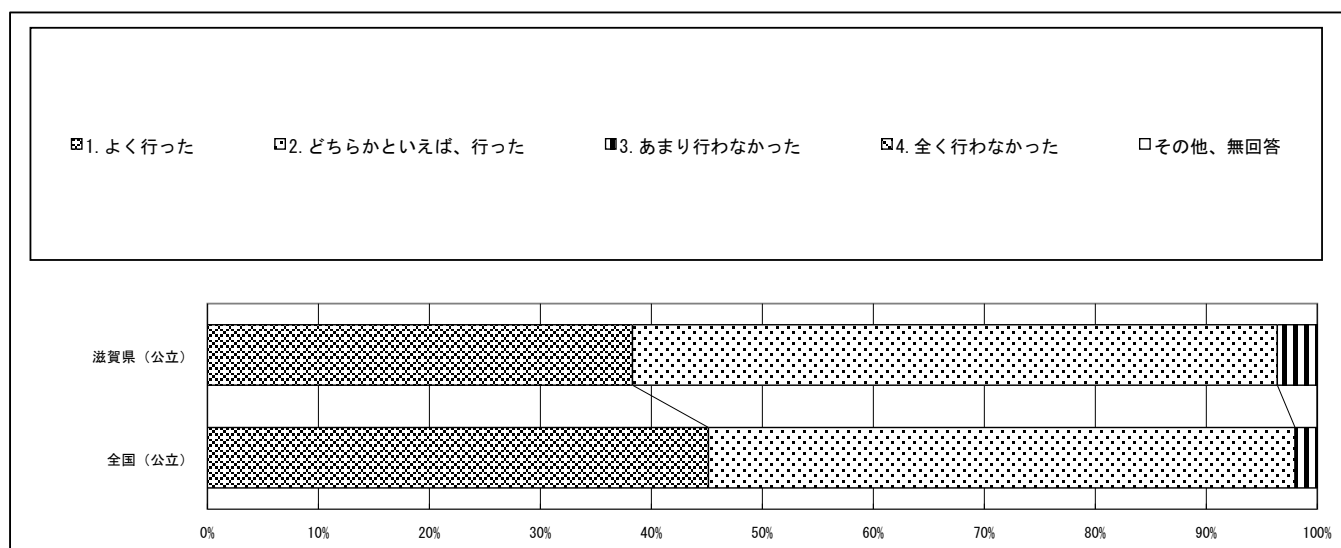


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(47)	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	31.5	62.2	6.3	0.0							0.0
全国(公立)	35.7	58.9	5.3	0.0							0.0

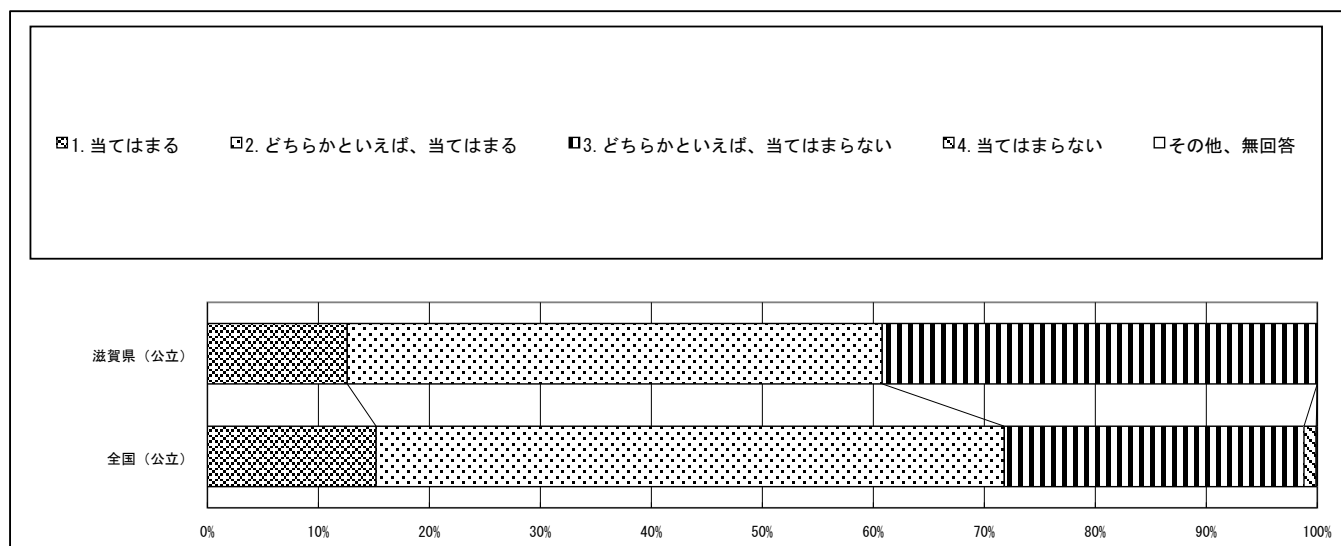


質問番号	質問事項										
(48)	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	38.3	58.1	3.6	0.0							0.0
全国(公立)	45.1	52.8	2.0	0.0							0.0

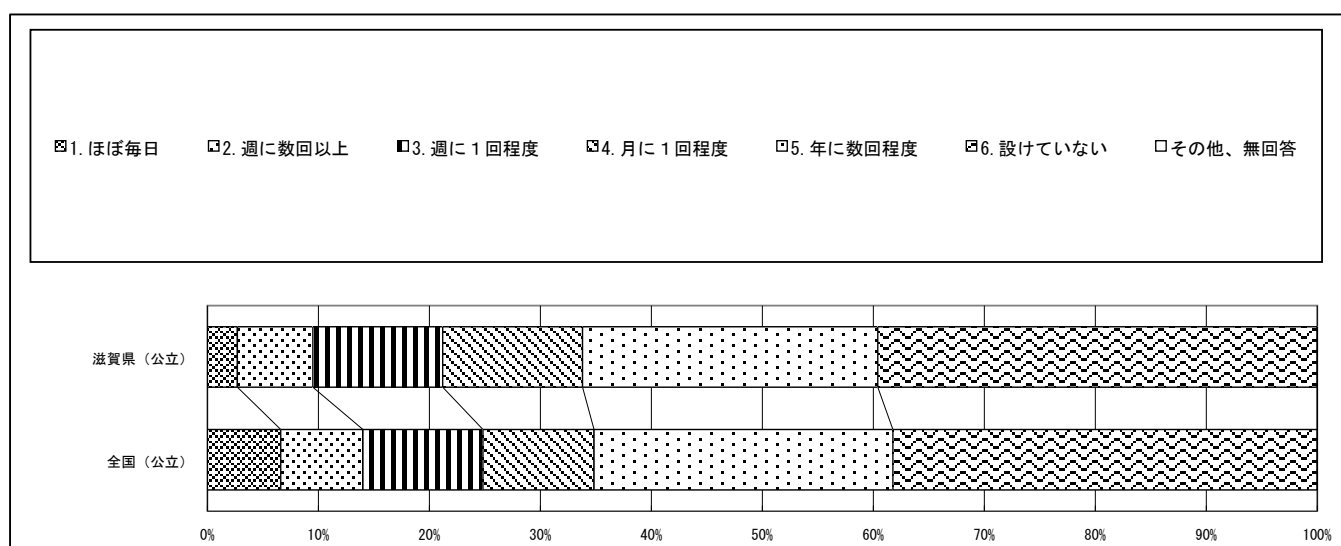


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(49)	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	12.6	48.2	39.2	0.0							0.0
全国(公立)	15.2	56.6	27.0	1.1							0.1

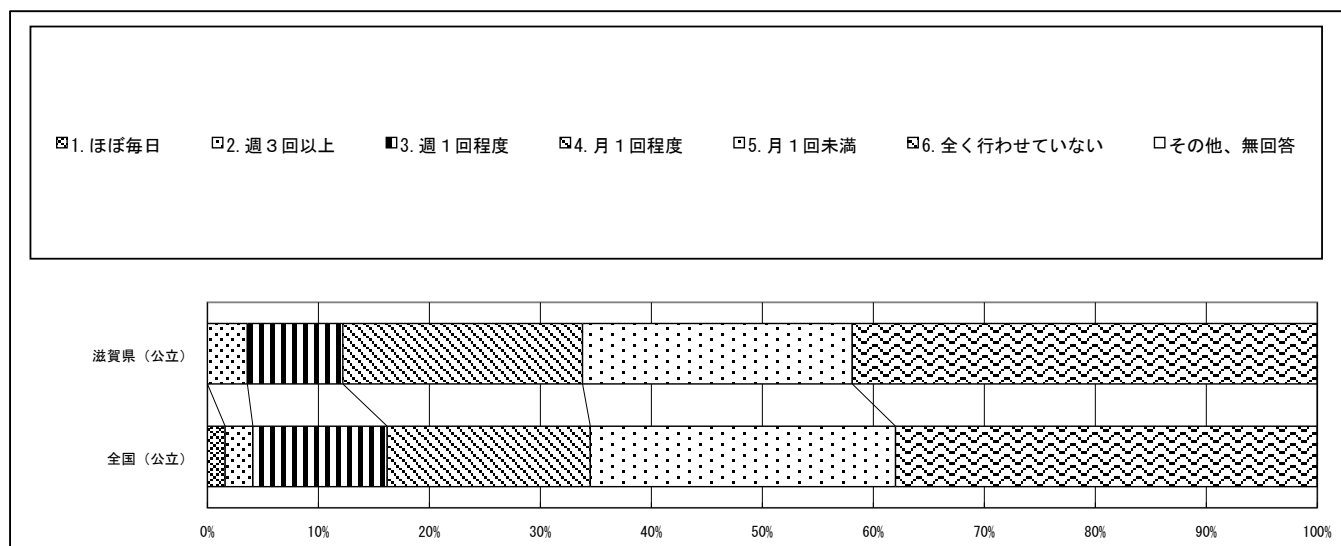


質問番号	質問事項										
(50)	英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	2.7	6.8	11.7	12.6	26.6	39.6					0.0
全国(公立)	6.6	7.4	10.8	10.0	26.9	38.2					0.0

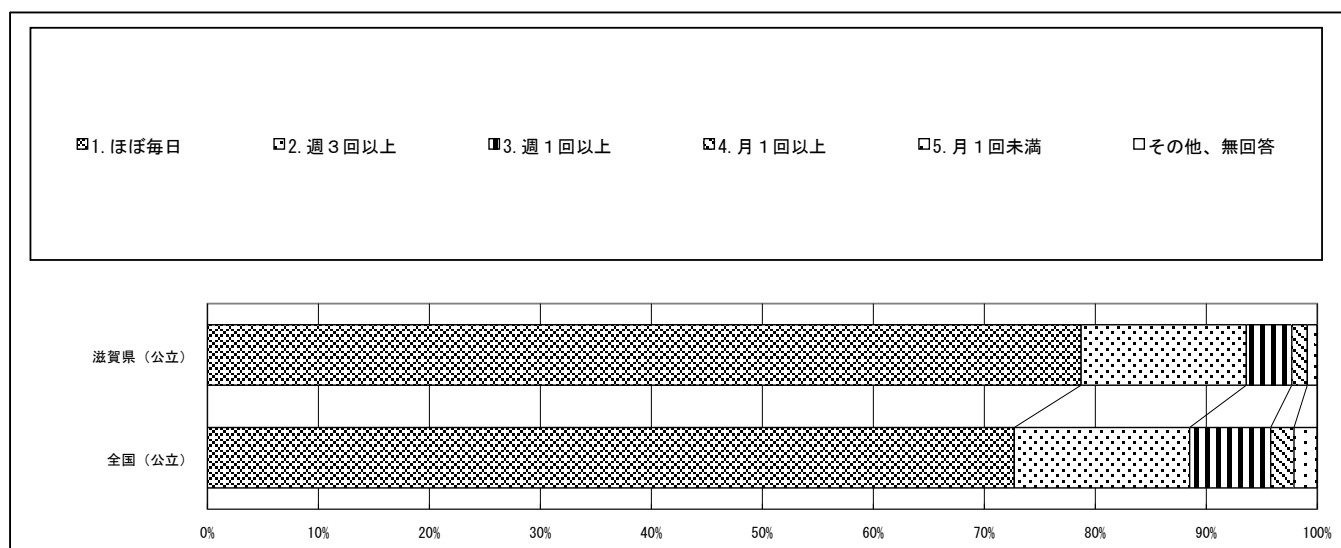


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(51)	家庭学習の課題(宿題)として、児童にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	0.0	3.6	8.6	21.6	24.3	41.9					0.0
全国(公立)	1.6	2.5	12.1	18.3	27.5	38.0					0.0

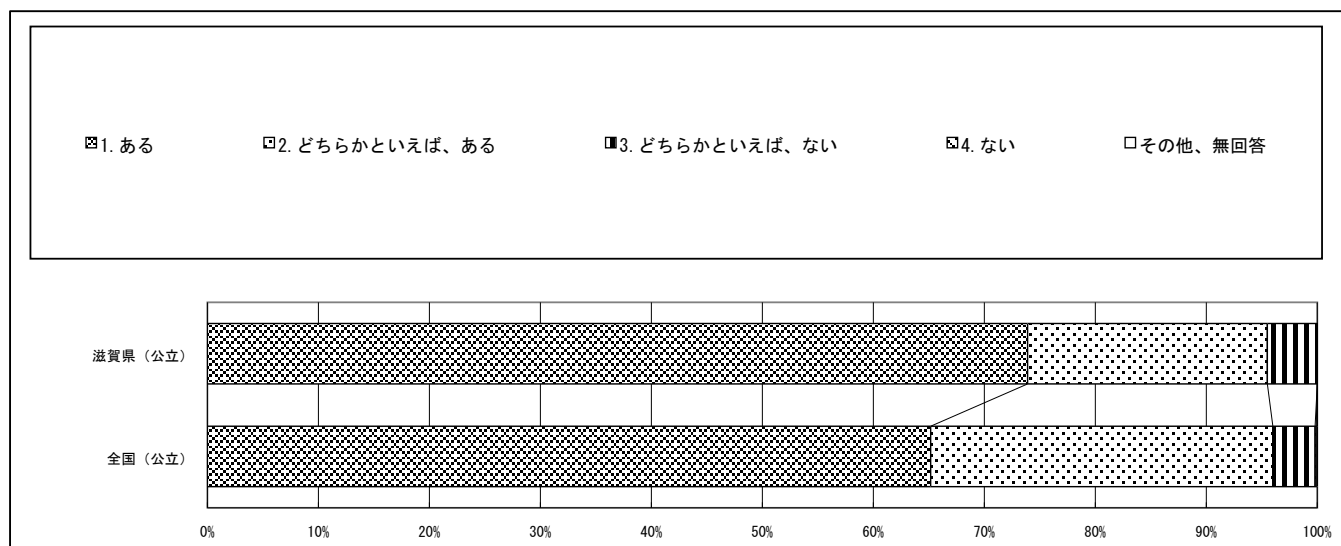


質問番号	質問事項										
(52)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	78.8	14.9	4.1	1.4	0.9						0.0
全国(公立)	72.7	15.8	7.3	2.1	2.1						0.0

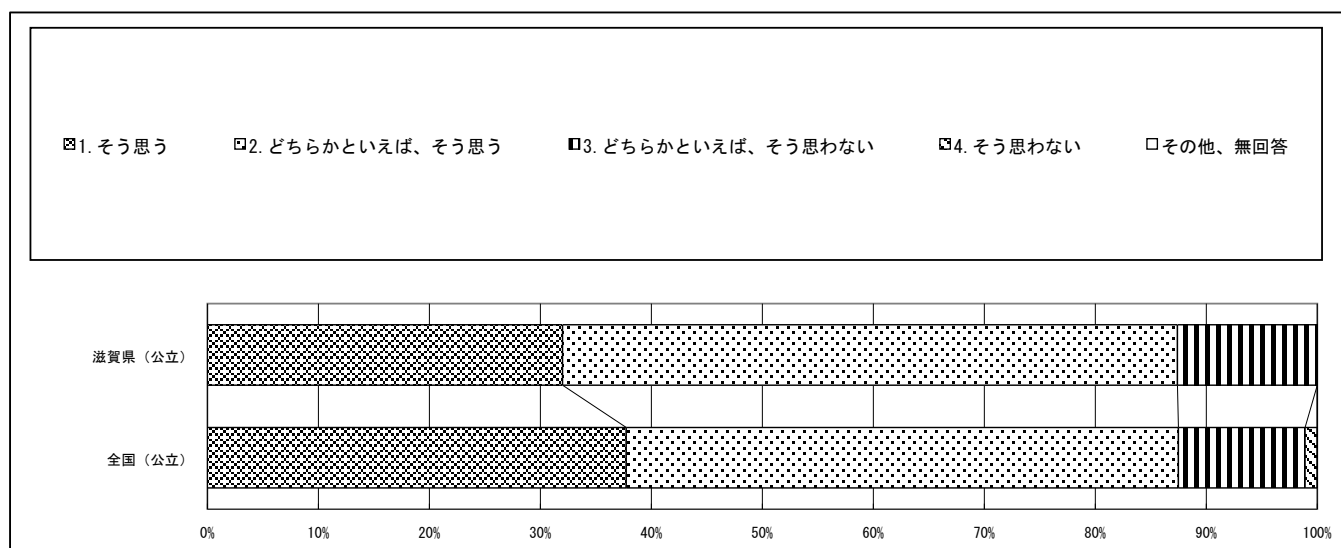


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(53)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	73.9	21.6	4.5	0.0							0.0
全国(公立)	65.1	30.8	3.8	0.1							0.1

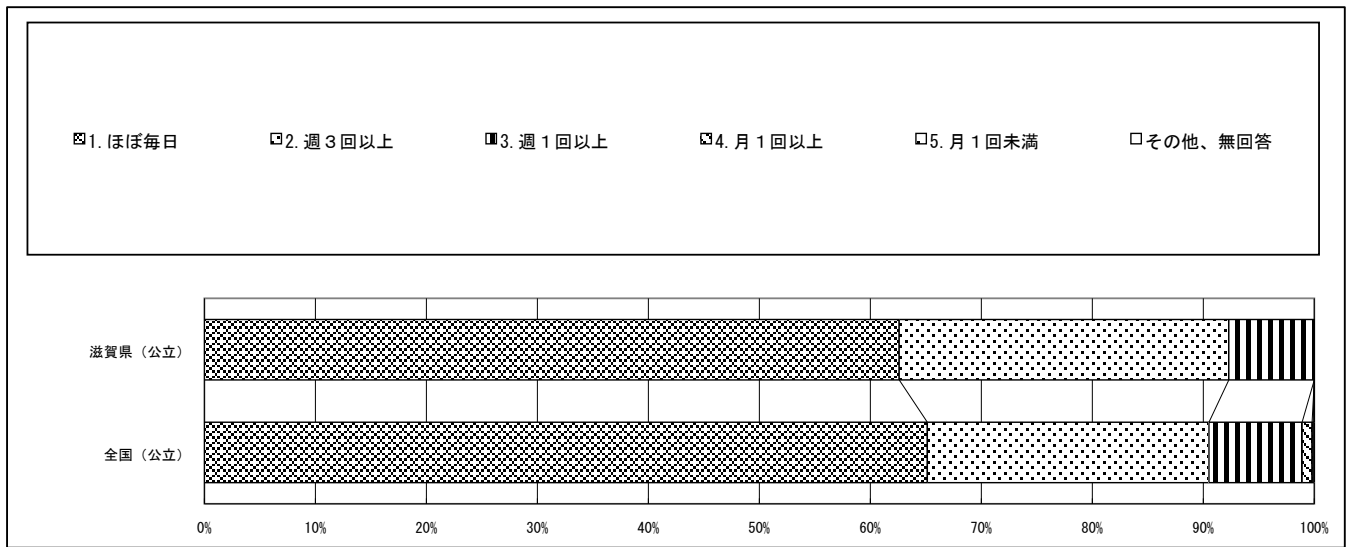


質問番号	質問事項										
(54)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	32.0	55.4	12.6	0.0							0.0
全国(公立)	37.7	49.7	11.4	1.1							0.0

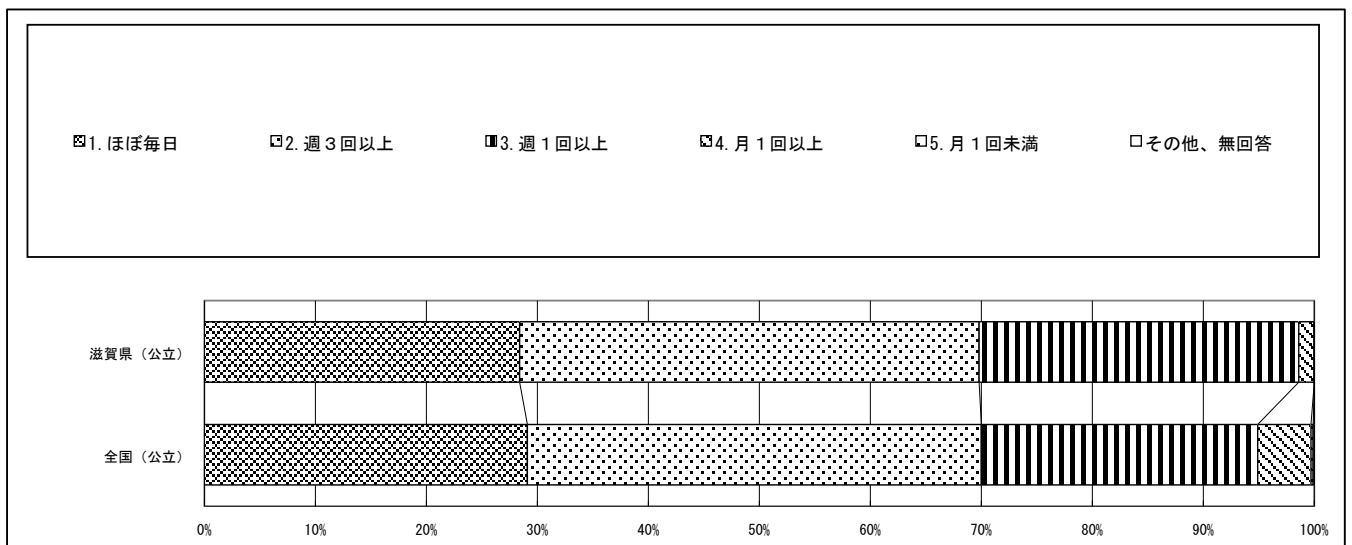


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(55)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	62.6	29.7	7.7	0.0	0.0						0.0
全国(公立)	65.2	25.4	8.4	0.9	0.1						0.1

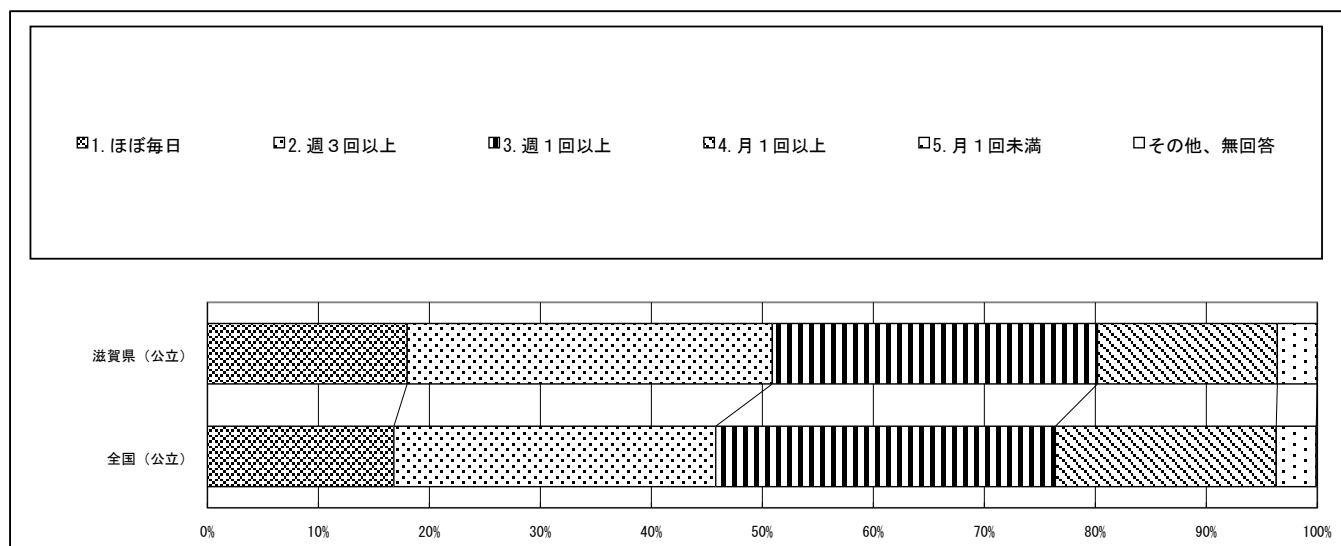


質問番号	質問事項										
(56)	調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	28.4	41.4	28.8	1.4	0.0						0.0
全国(公立)	29.1	40.9	24.9	4.8	0.2						0.1

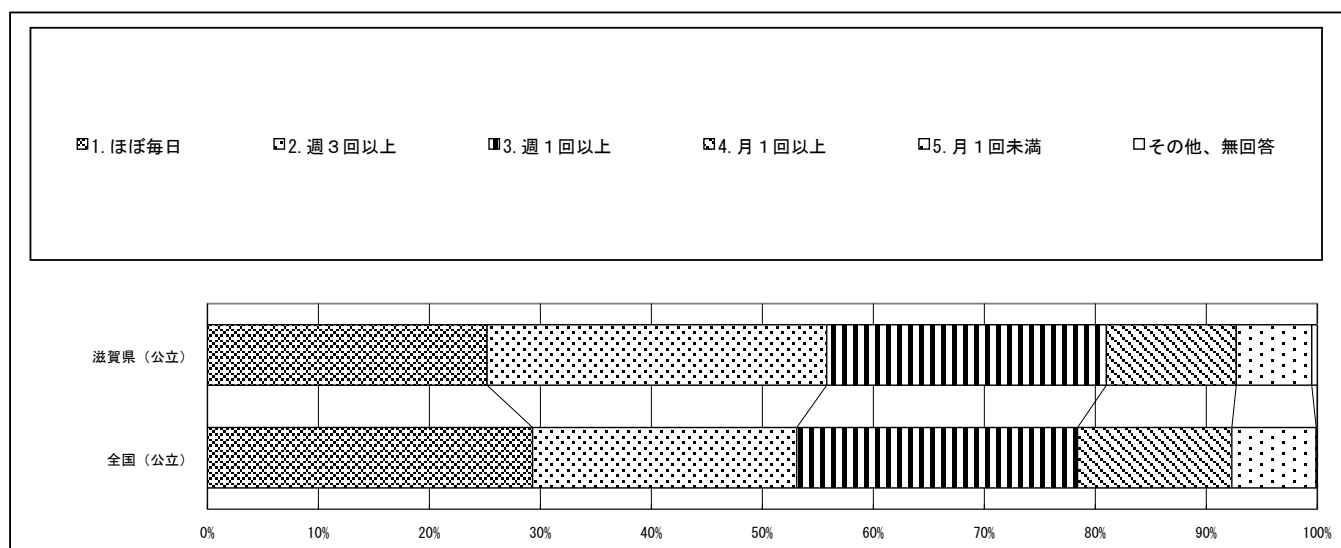


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(57)	調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	18.0	32.9	29.3	16.2	3.6						0.0
全国(公立)	16.8	29.0	30.6	19.9	3.6						0.1

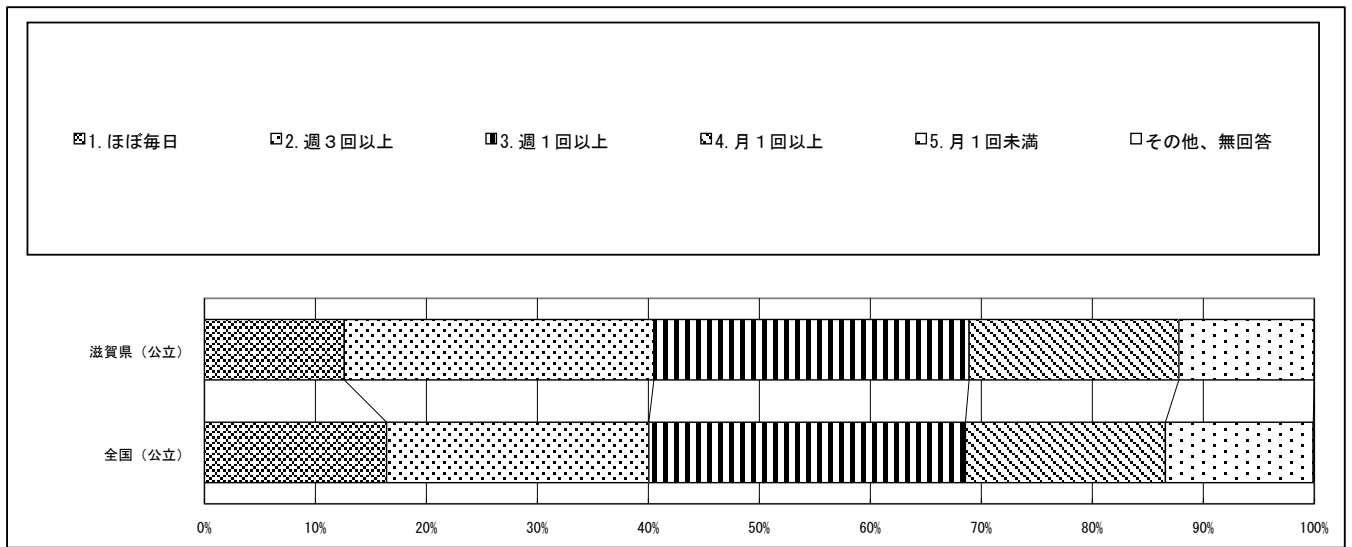


質問番号	質問事項										
(58)	教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	25.2	30.6	25.2	11.7	6.8						0.5
全国(公立)	29.3	23.8	25.3	13.9	7.6						0.1

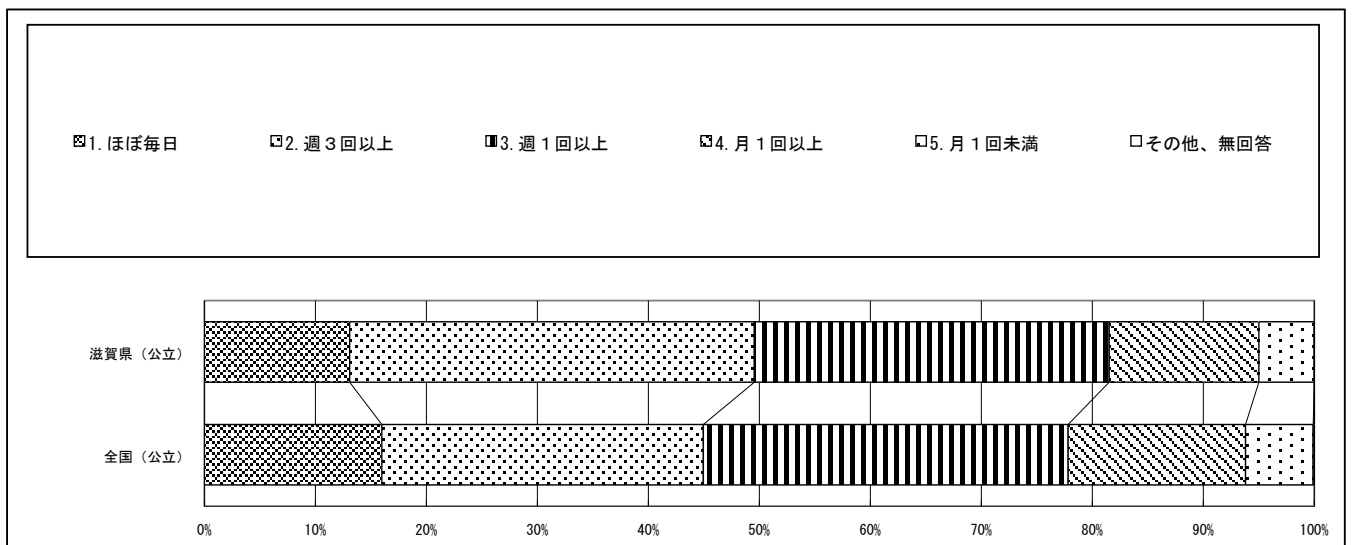


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(59)	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	12.6	27.9	28.4	18.9	12.2						0.0
全国(公立)	16.4	23.6	28.5	18.0	13.3						0.1

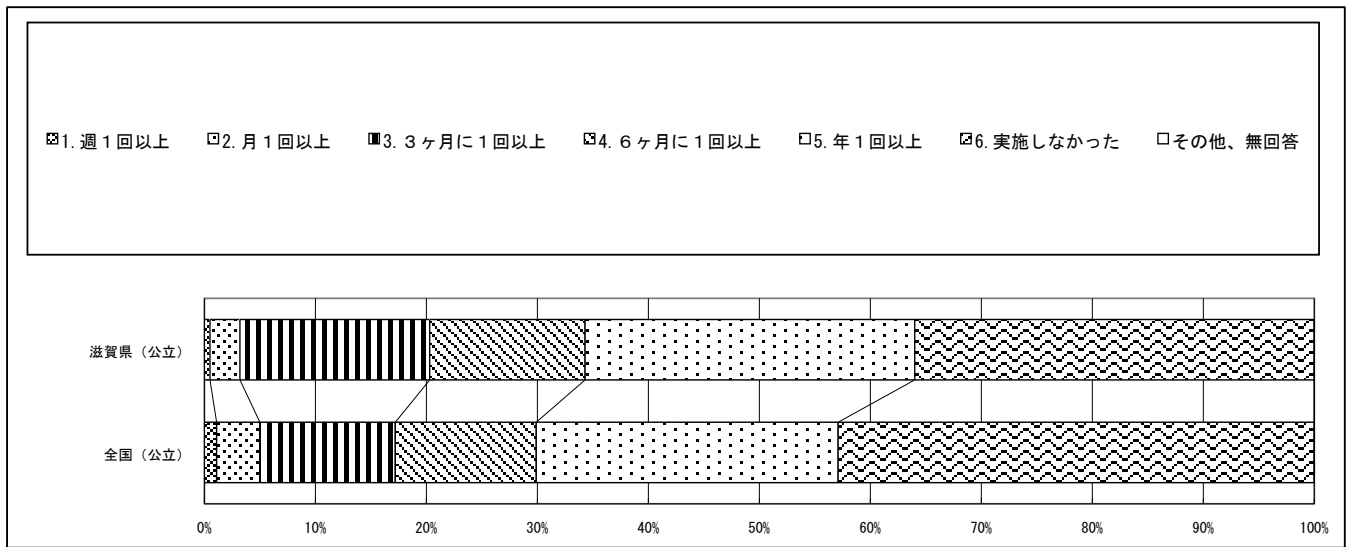


質問番号	質問事項										
(60)	調査対象学年の児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	13.1	36.5	32.0	13.5	5.0						0.0
全国(公立)	16.0	29.0	32.9	16.0	6.1						0.1

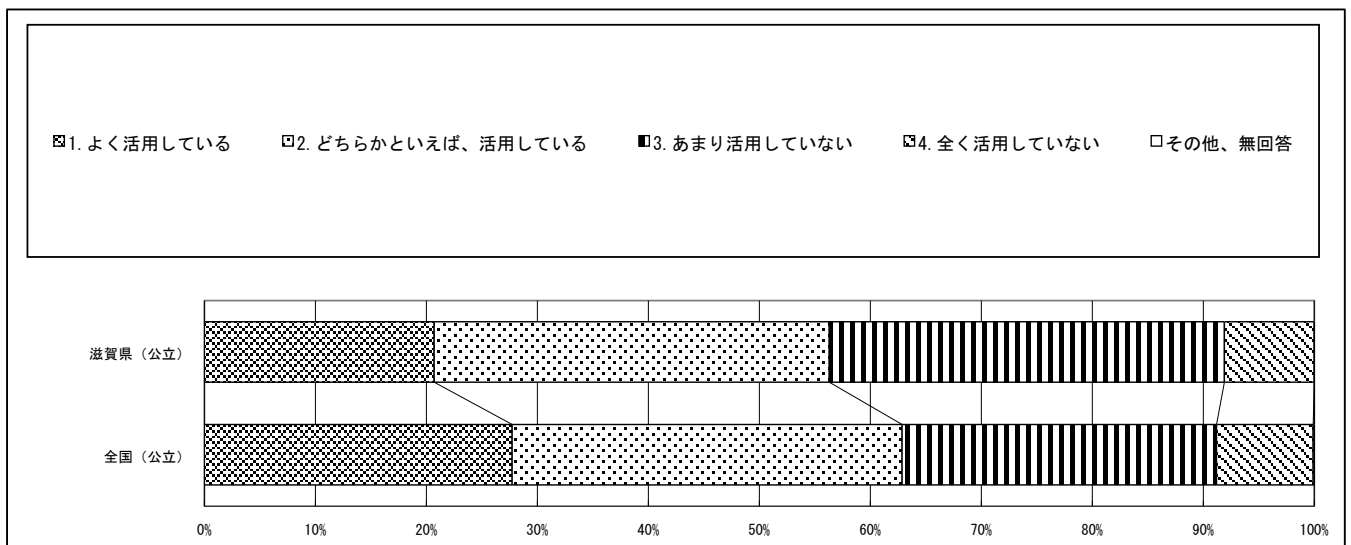


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(61)	前年度に、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	0.5	2.7	17.1	14.0	29.7	36.0					0.0
全国(公立)	1.1	3.9	12.2	12.7	27.2	42.9					0.0

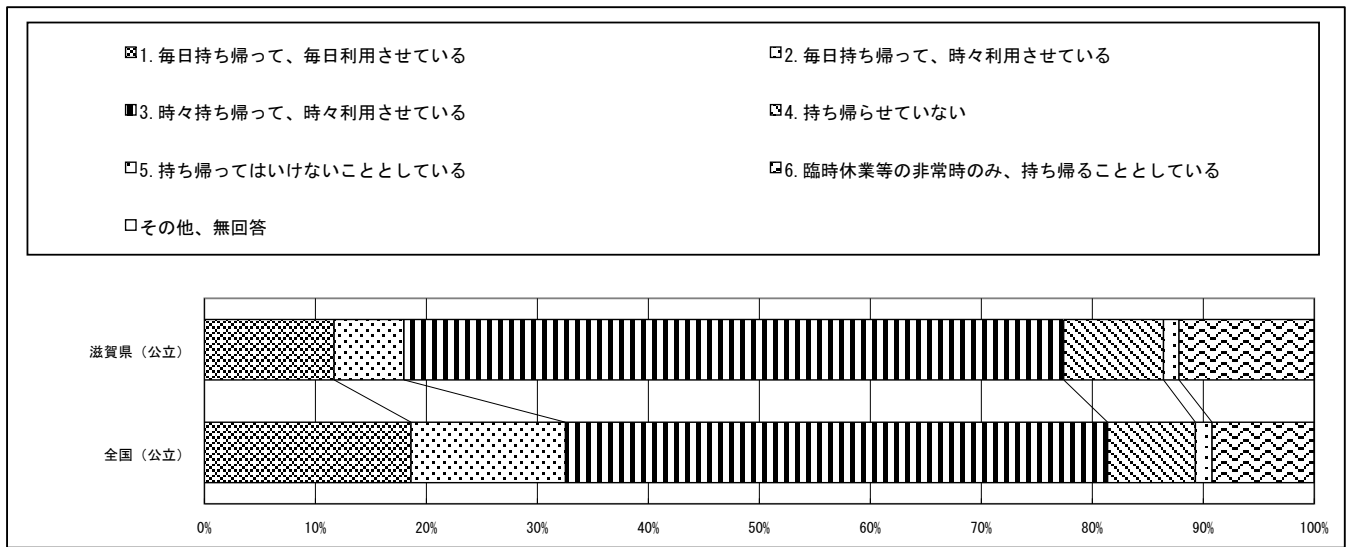


質問番号	質問事項										
(62)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	20.7	35.6	35.6	8.1							0.0
全国(公立)	27.7	35.1	28.3	8.7							0.1

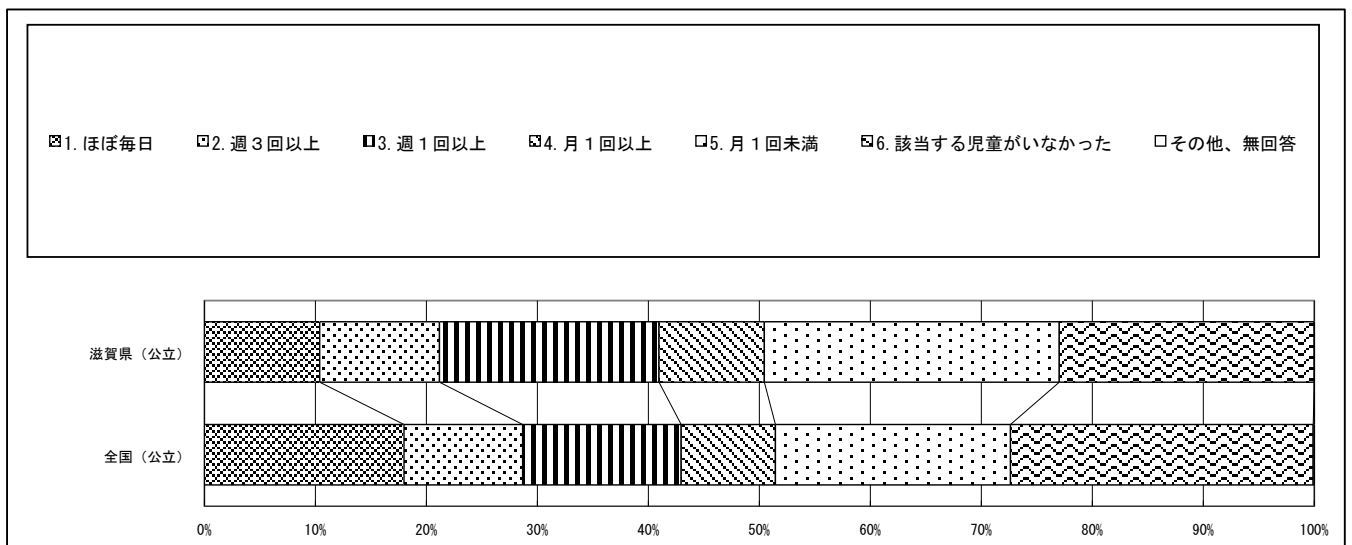


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(63)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	11.7	6.3	59.5	9.0	1.4	12.2					0.0
全国(公立)	18.6	13.9	48.8	7.9	1.5	9.2					0.0

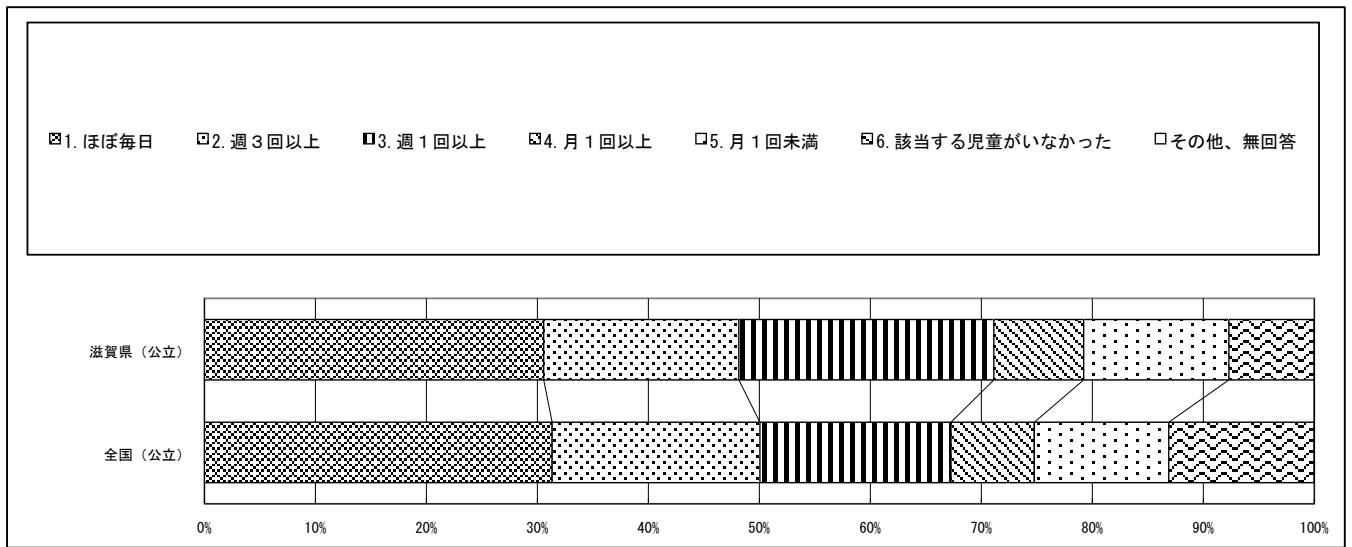


質問番号	質問事項										
(64-1)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校児童に対する学習活動等の支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	10.4	10.8	19.8	9.5	26.6	23.0					0.0
全国(公立)	18.0	10.7	14.3	8.5	21.2	27.3					0.1

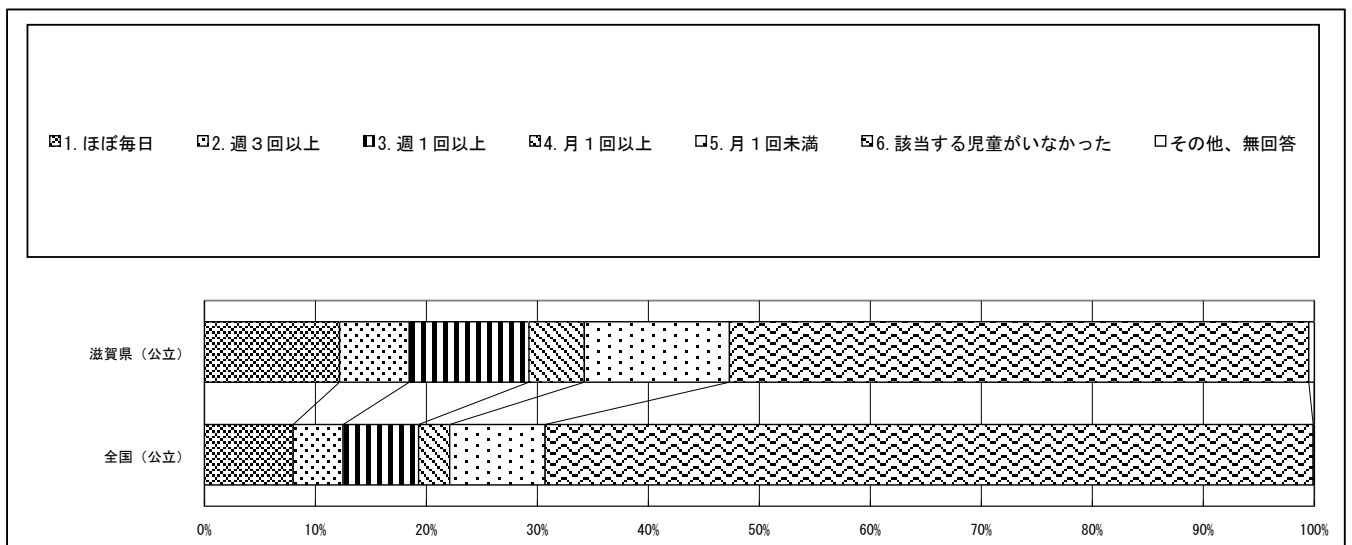


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(64-2)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)特別な支援を要する児童に対する学習活動等の支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	30.6	17.6	23.0	8.1	13.1	7.7					0.0
全国(公立)	31.3	18.7	17.2	7.5	12.1	13.1					0.0

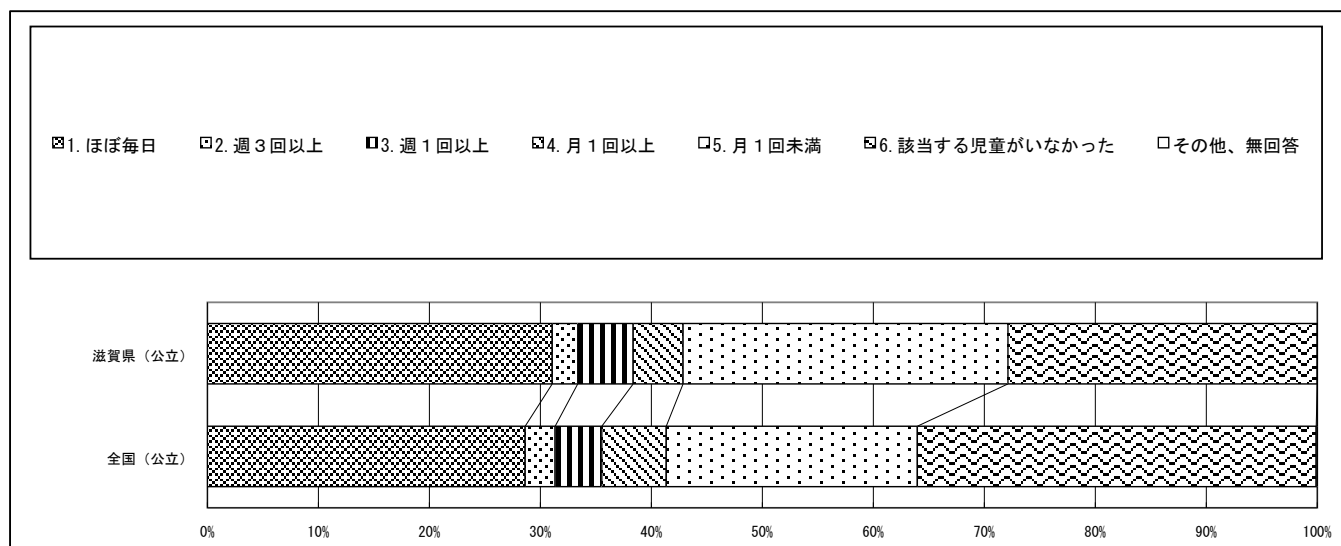


質問番号	質問事項										
(64-3)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3)外国人児童に対する学習活動等の支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	12.2	6.3	10.8	5.0	13.1	52.3					0.5
全国(公立)	8.0	4.5	6.8	2.8	8.6	69.2					0.1

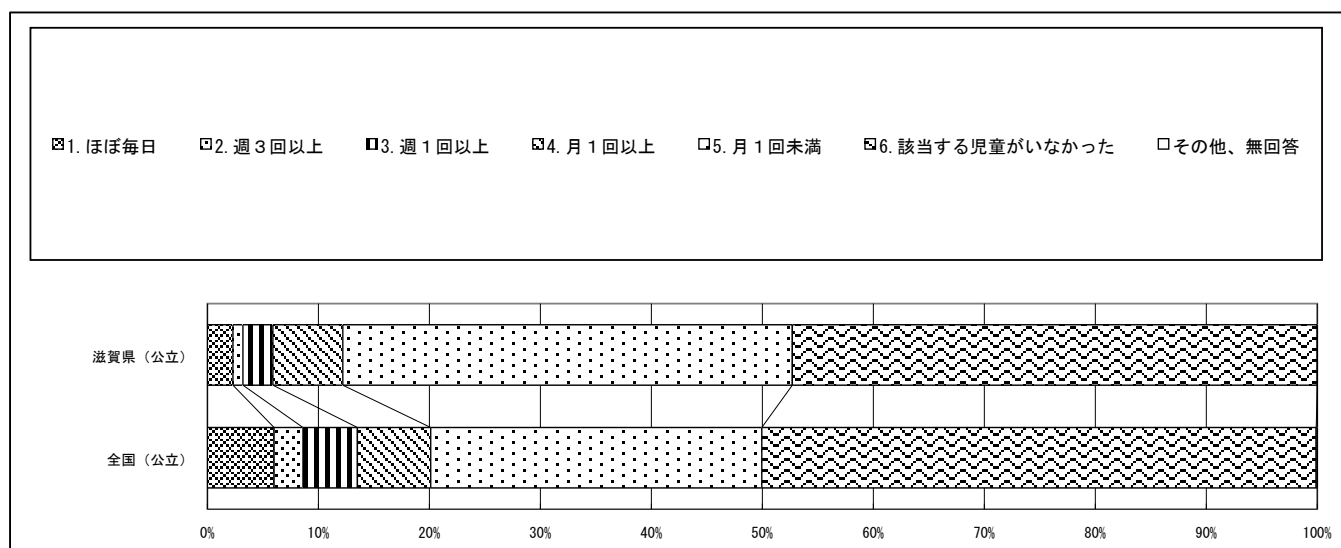


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(64-4)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(4)児童の心身の状況の把握										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	31.1	2.3	5.0	4.5	29.3	27.9					0.0
全国(公立)	28.6	2.7	4.2	5.8	22.6	35.9					0.1



質問番号	質問事項										
(64-5)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)児童に対するオンラインを活用した相談・支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	2.3	0.9	2.7	6.3	40.5	47.3					0.0
全国(公立)	6.0	2.6	4.9	6.6	29.8	49.9					0.1



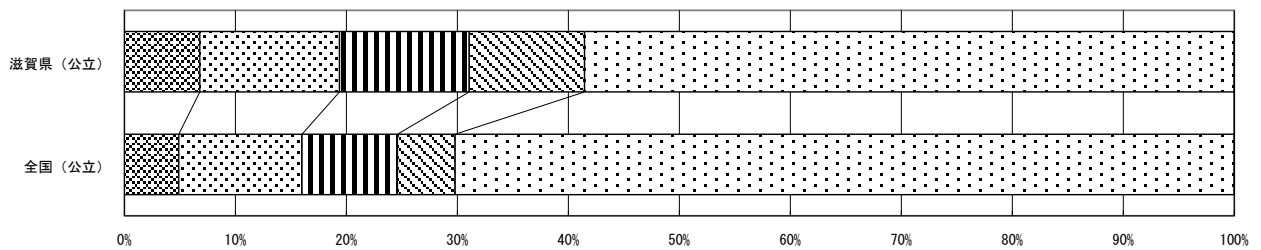
回答結果集計 [学校質問紙]

滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

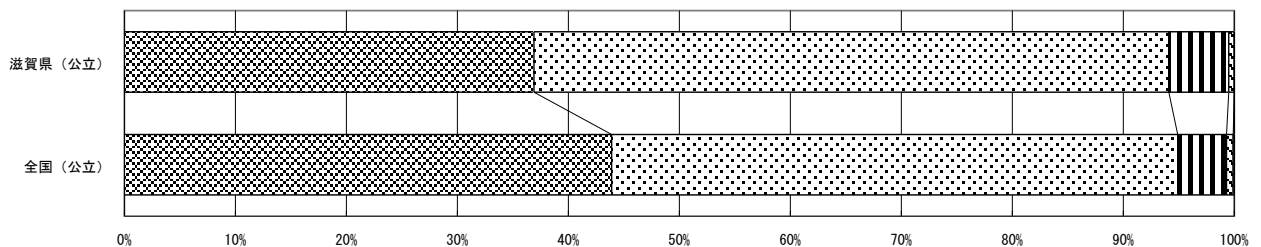
質問番号	質問事項										
(65)	障害のある児童が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	6.8	12.6	11.7	10.4	58.6						0.0
全国（公立）	4.9	11.1	8.6	5.2	70.2						0.0

☒1. よく行った ☒2. どちらかといえば、行った ☒3. あまり行わなかった ☒4. 全く行わなかった ☒5. 該当する児童がいなかった ☐その他、無回答



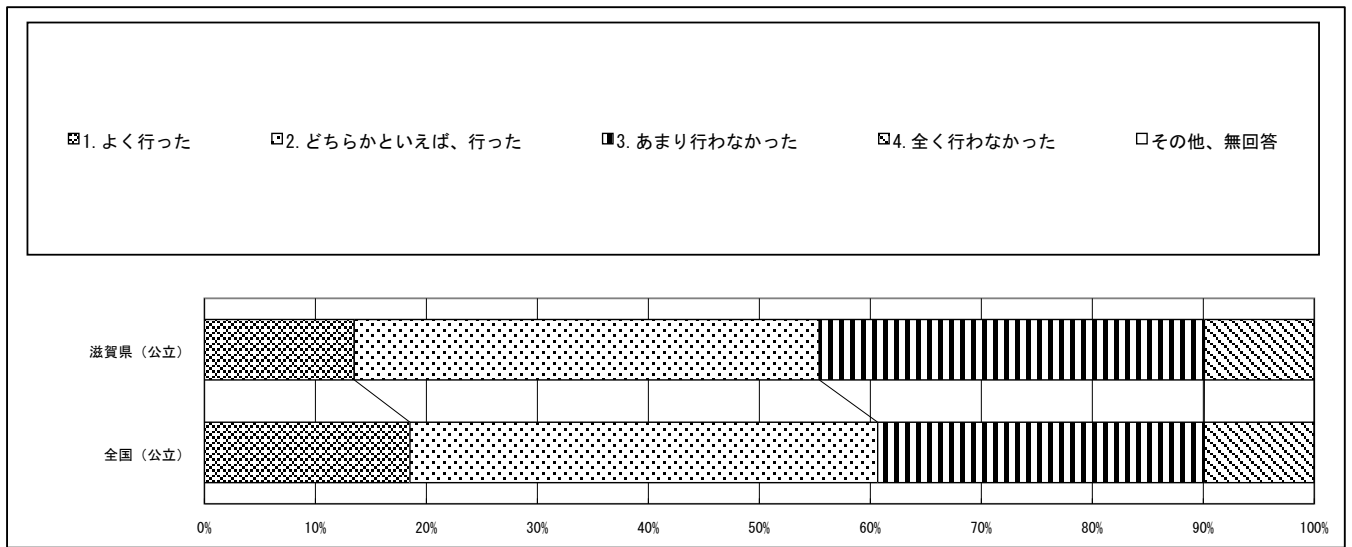
質問番号	質問事項										
(66)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫等）を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	36.9	57.2	5.4	0.5							0.0
全国（公立）	43.9	51.0	4.4	0.6							0.1

☒1. よく行った ☒2. どちらかといえば、行った ☒3. あまり行わなかった ☒4. 全く行わなかった ☐その他、無回答

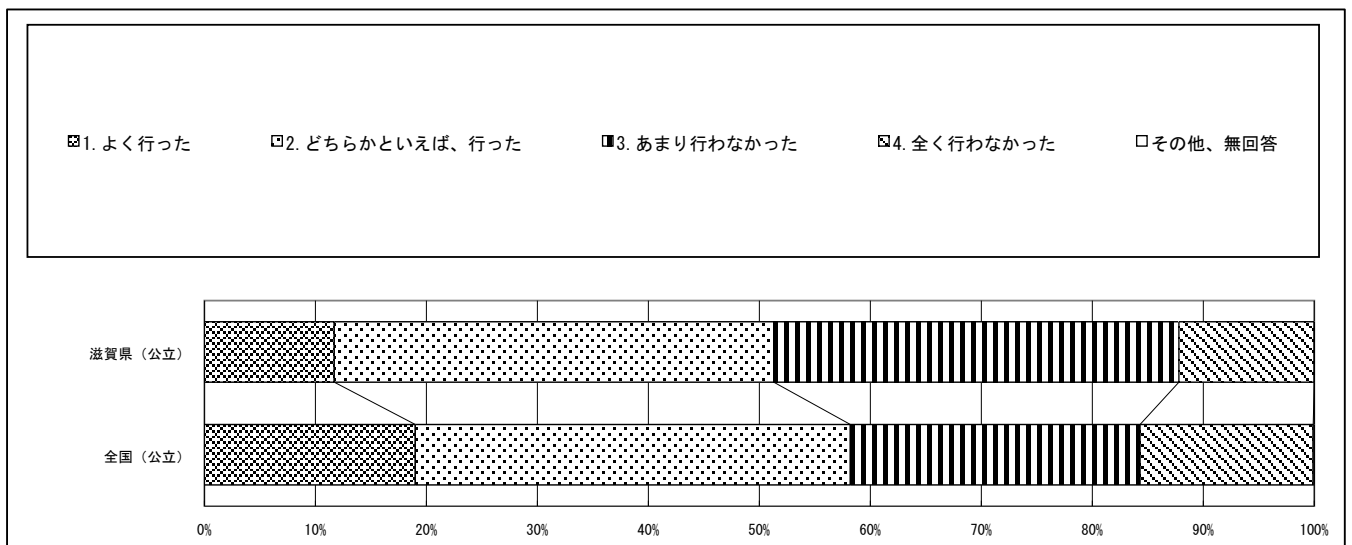


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(67)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	13.5	41.9	34.7	9.9							0.0
全国(公立)	18.5	42.1	29.4	9.9							0.0

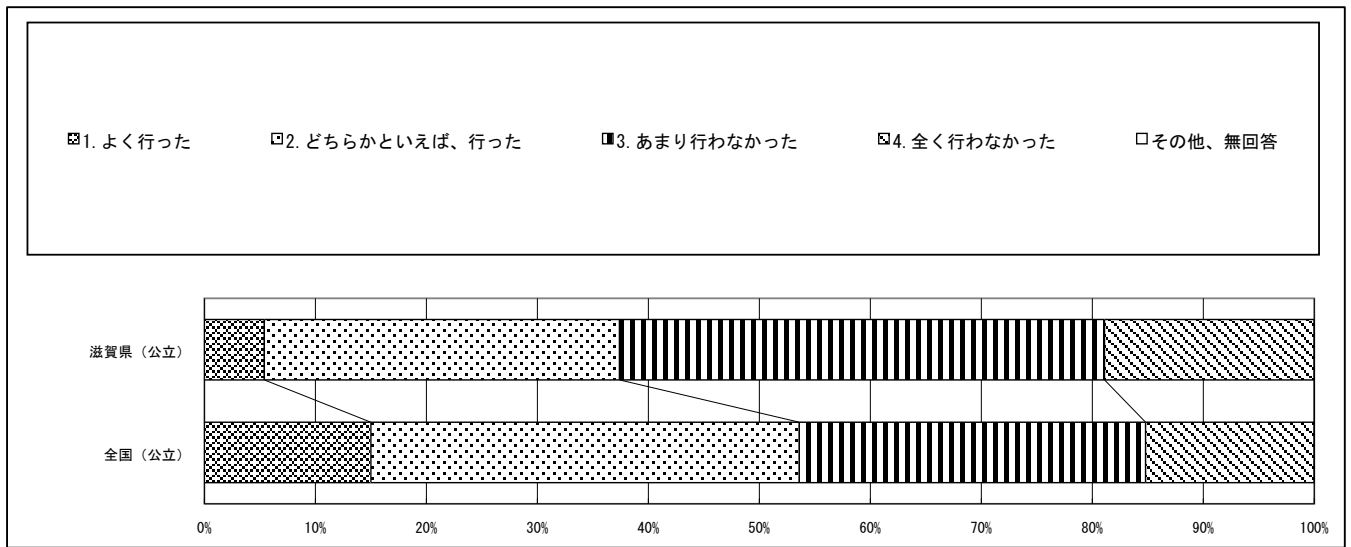


質問番号	質問事項										
(68)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	11.7	39.6	36.5	12.2							0.0
全国(公立)	19.0	39.2	26.1	15.6							0.1

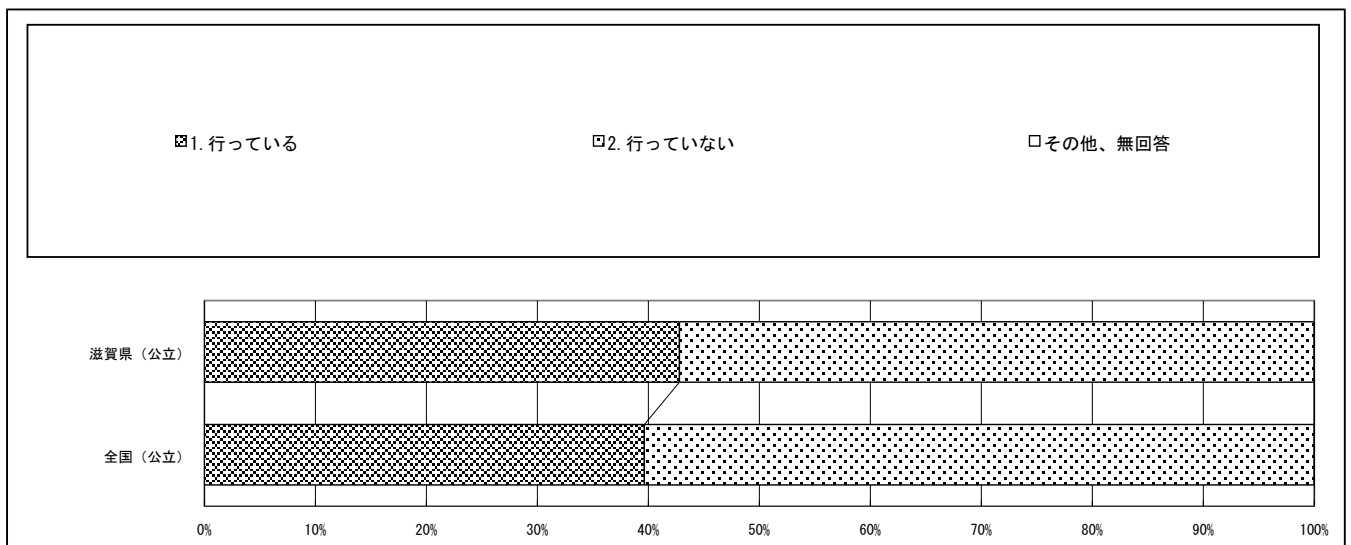


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(69)	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	5.4	32.0	43.7	18.9							0.0
全国（公立）	15.0	38.6	31.2	15.2							0.0

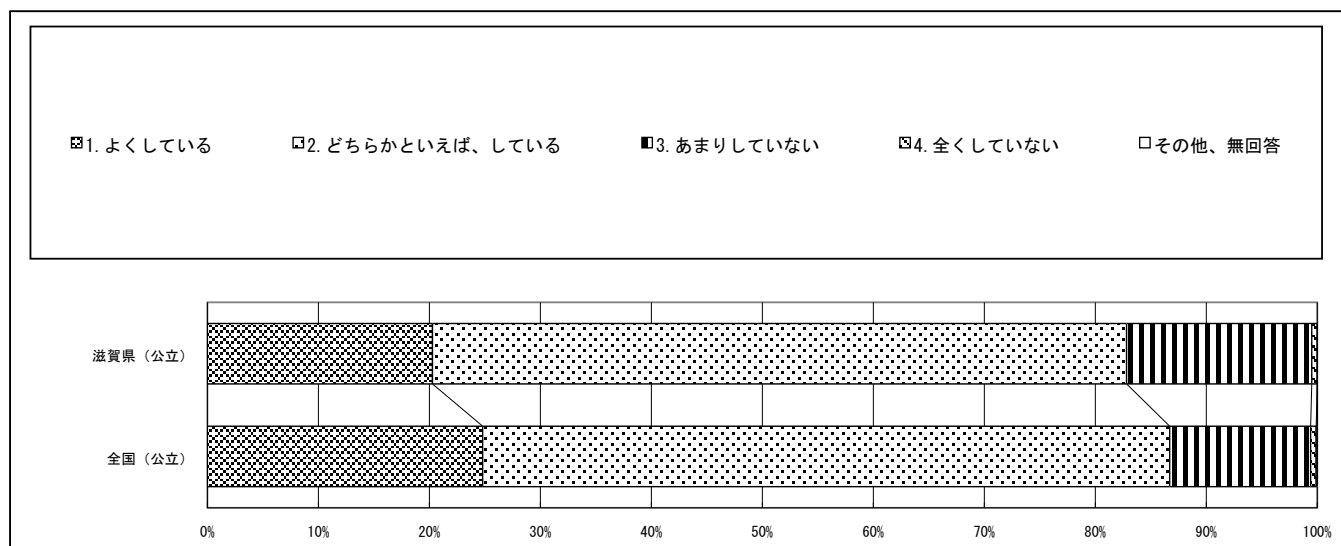


質問番号	質問事項										
(70)	職場見学を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	42.8	57.2									0.0
全国（公立）	39.6	60.3									0.0

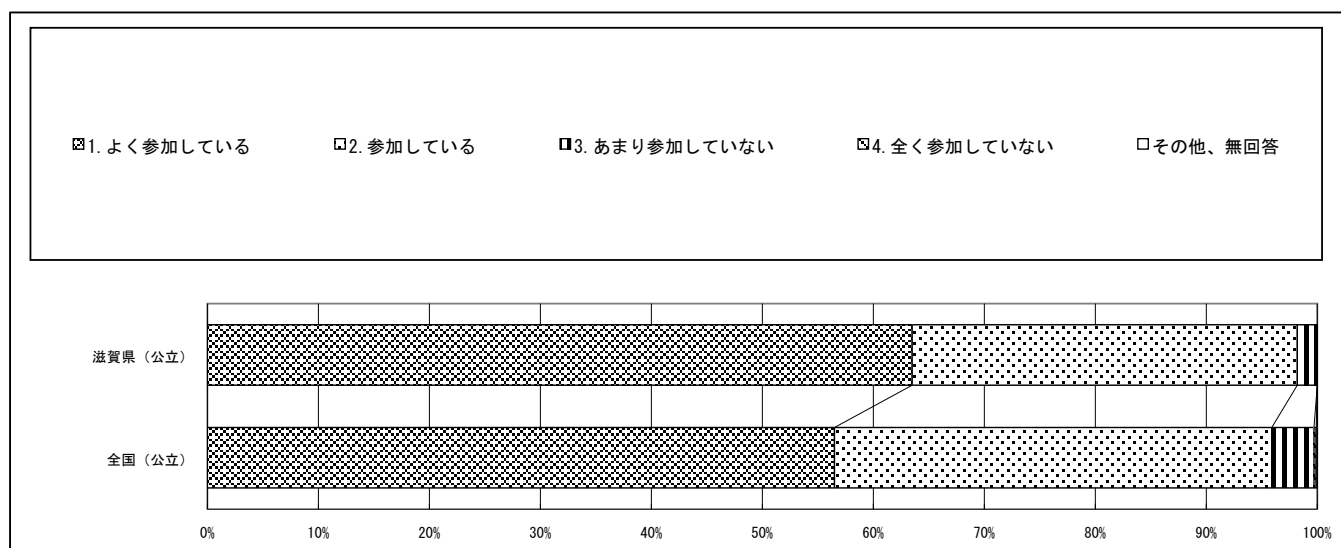


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(71)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	20.3	62.6	16.7	0.5							0.0
全国（公立）	24.8	61.9	12.7	0.5							0.1

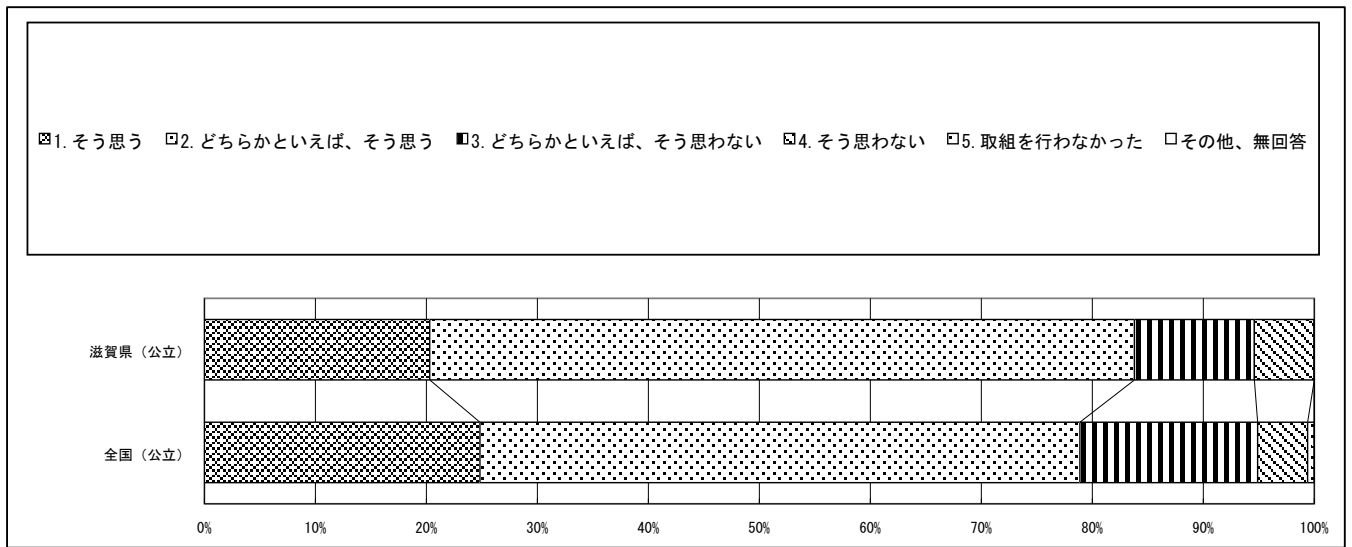


質問番号	質問事項										
(72)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	63.5	34.7	1.8	0.0							0.0
全国（公立）	56.5	39.4	3.8	0.2							0.1

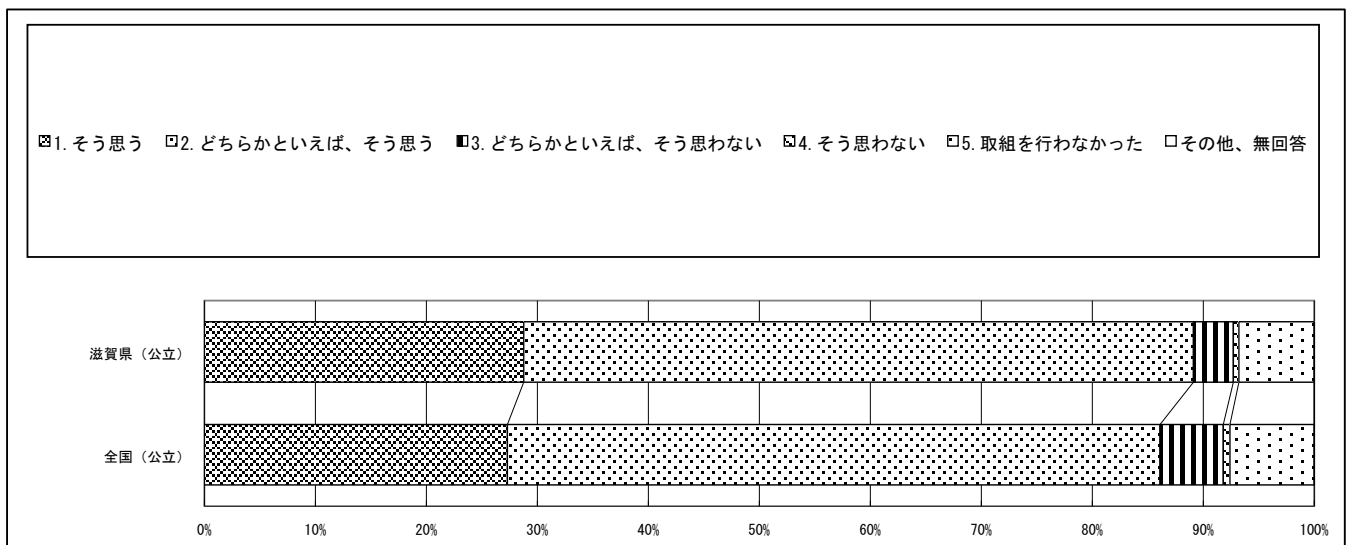


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(73)	(72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	20.3	63.5	10.8	5.4	0.0						0.0
全国(公立)	24.8	54.0	16.0	4.5	0.6						0.0

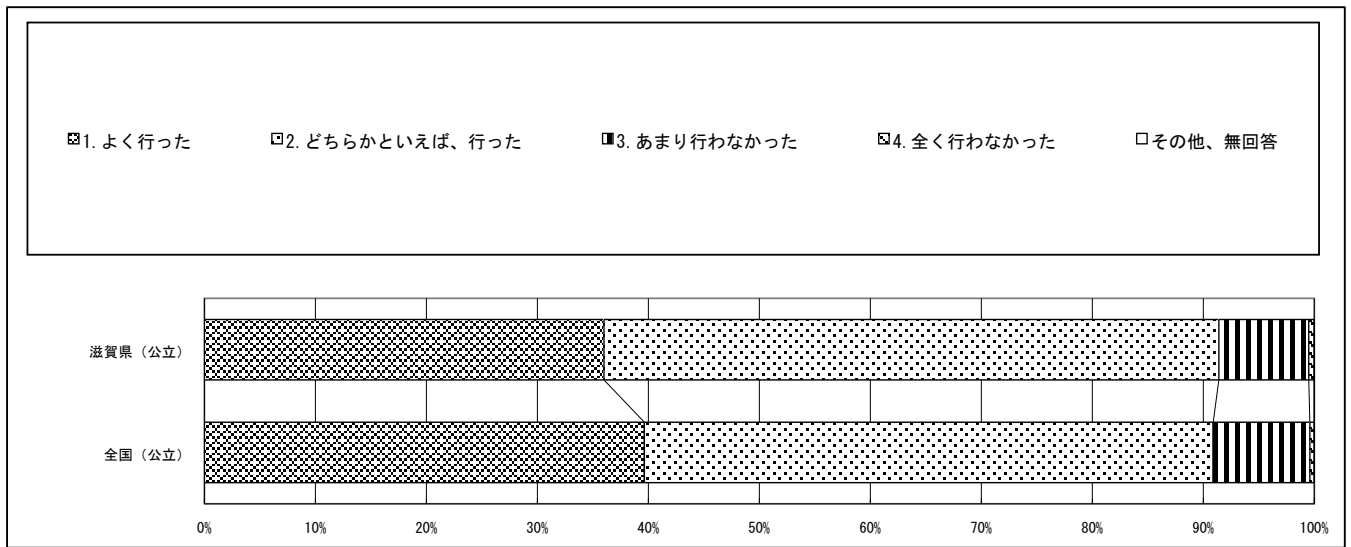


質問番号	質問事項										
(74)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	28.8	60.4	3.6	0.5	6.8						0.0
全国(公立)	27.3	58.8	5.7	0.6	7.6						0.0

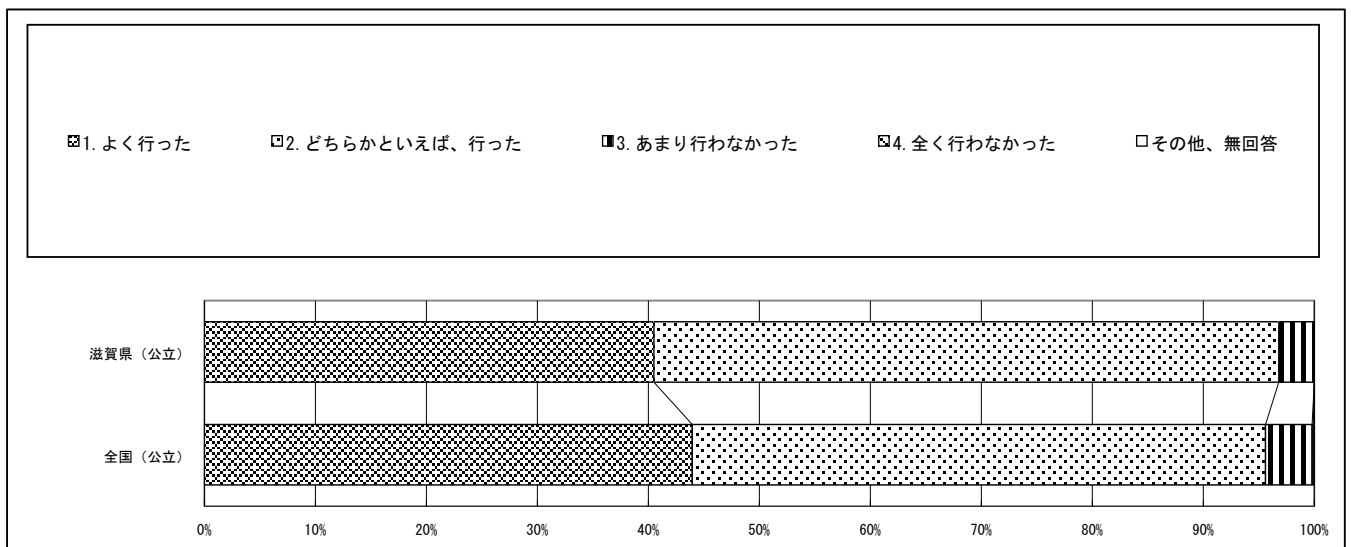


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(75)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	36.0	55.4	8.1	0.5							0.0
全国(公立)	39.6	51.2	8.7	0.4							0.0

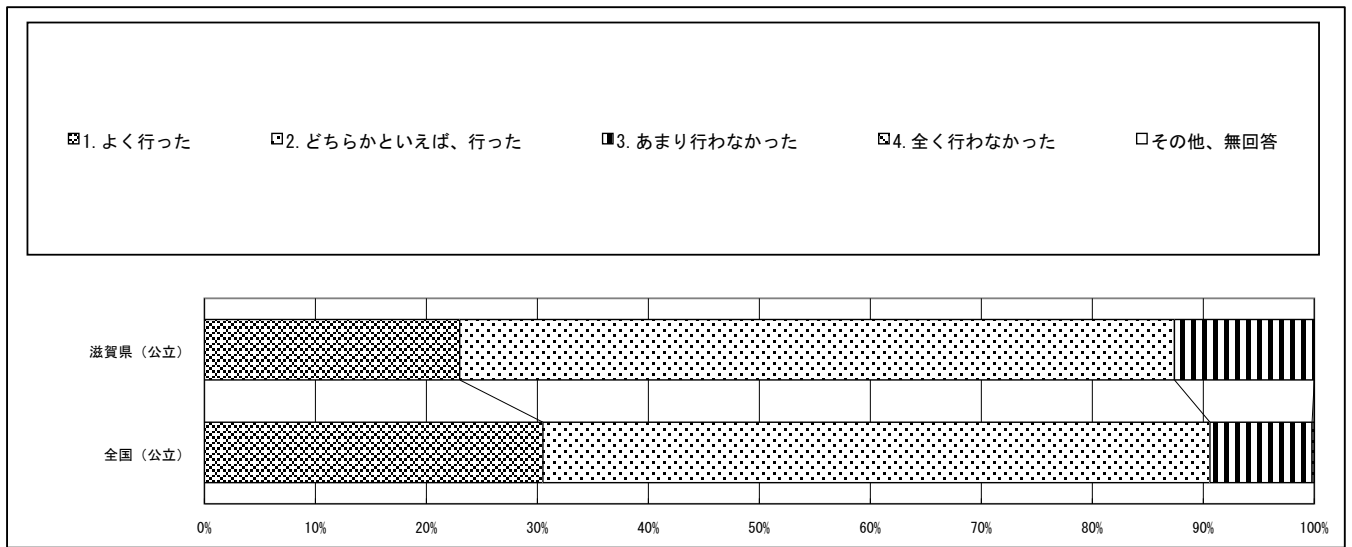


質問番号	質問事項										
(76)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	40.5	56.3	3.2	0.0							0.0
全国(公立)	44.0	51.7	4.2	0.1							0.1

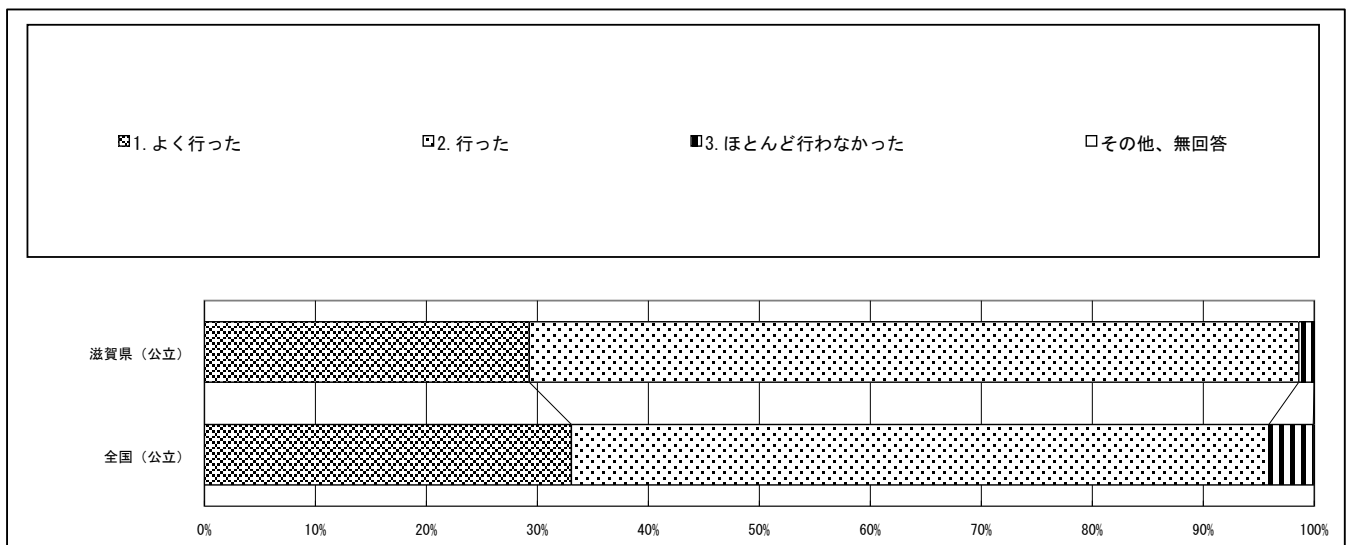


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(77)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	23.0	64.4	12.6	0.0							0.0
全国(公立)	30.5	60.1	9.2	0.2							0.0

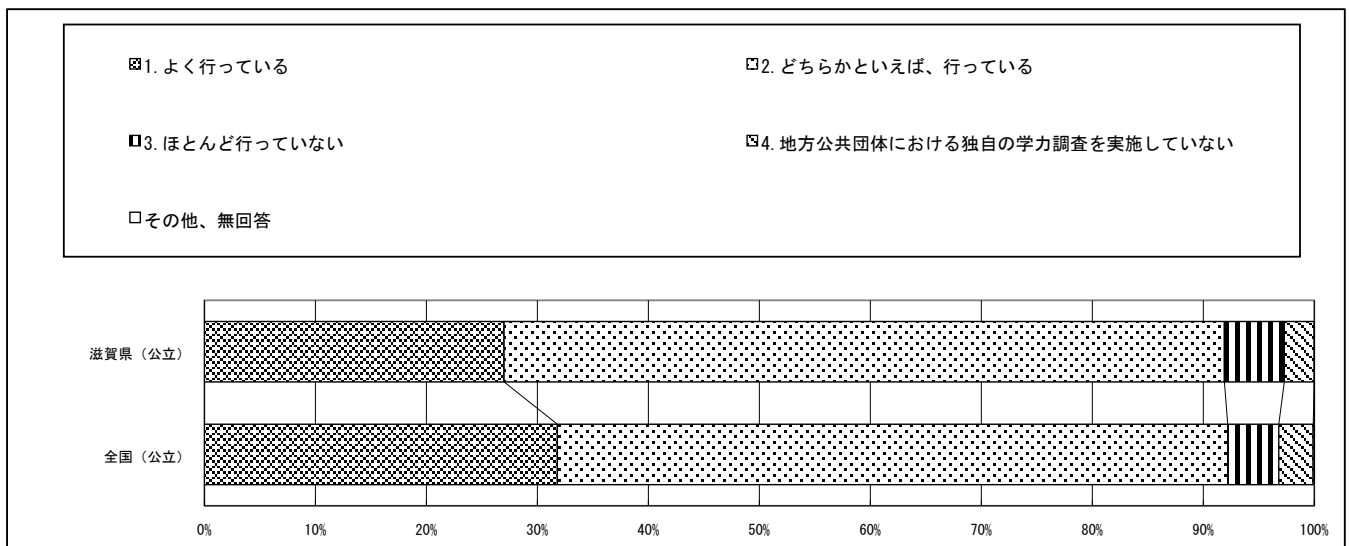


質問番号	質問事項										
(78)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	29.3	69.4	1.4								0.0
全国(公立)	33.1	62.9	4.0								0.1

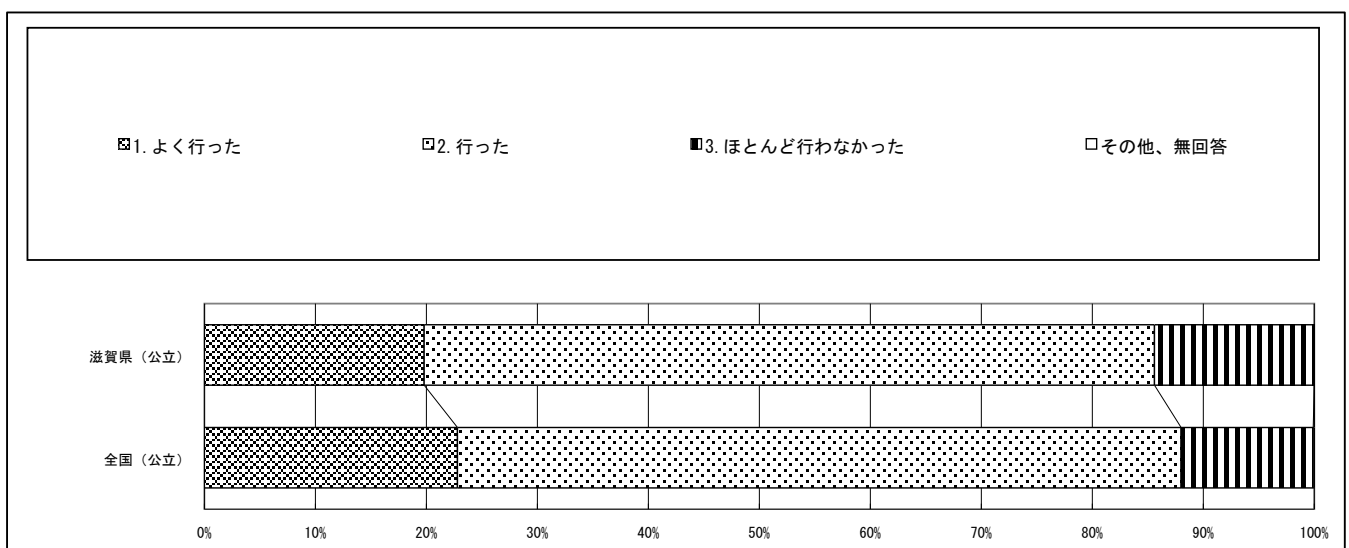


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、算数)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(79)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	27.0	64.9	5.4	2.7							0.0
全国(公立)	31.8	60.4	4.6	3.1							0.1

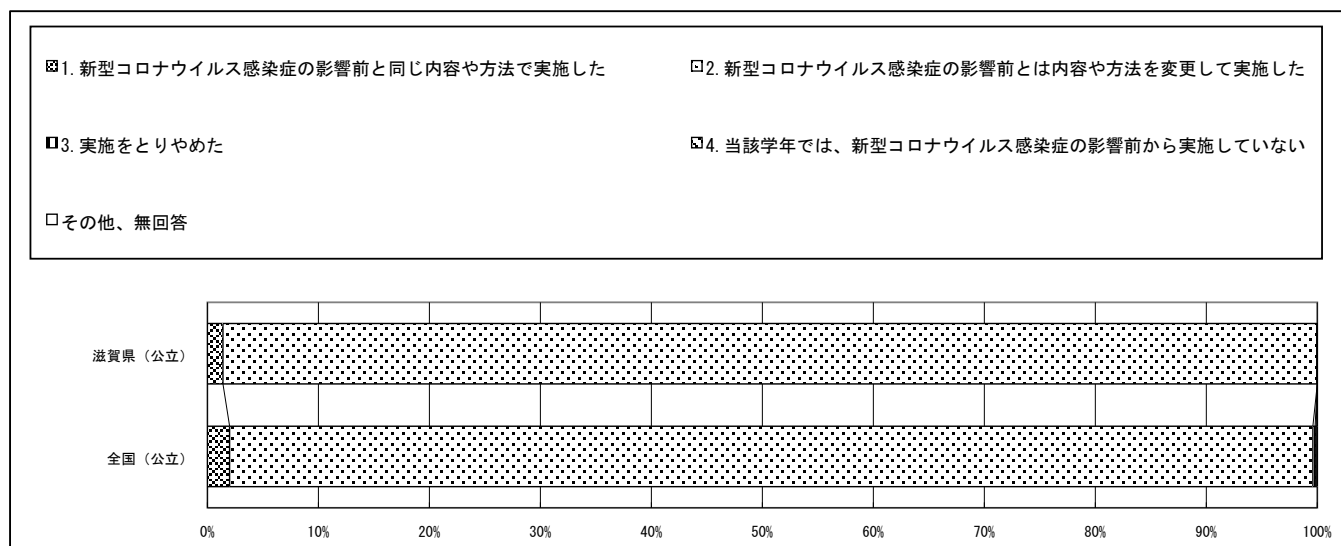


質問番号	質問事項										
(80)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.8	65.8	14.4								0.0
全国(公立)	22.8	65.2	11.9								0.1

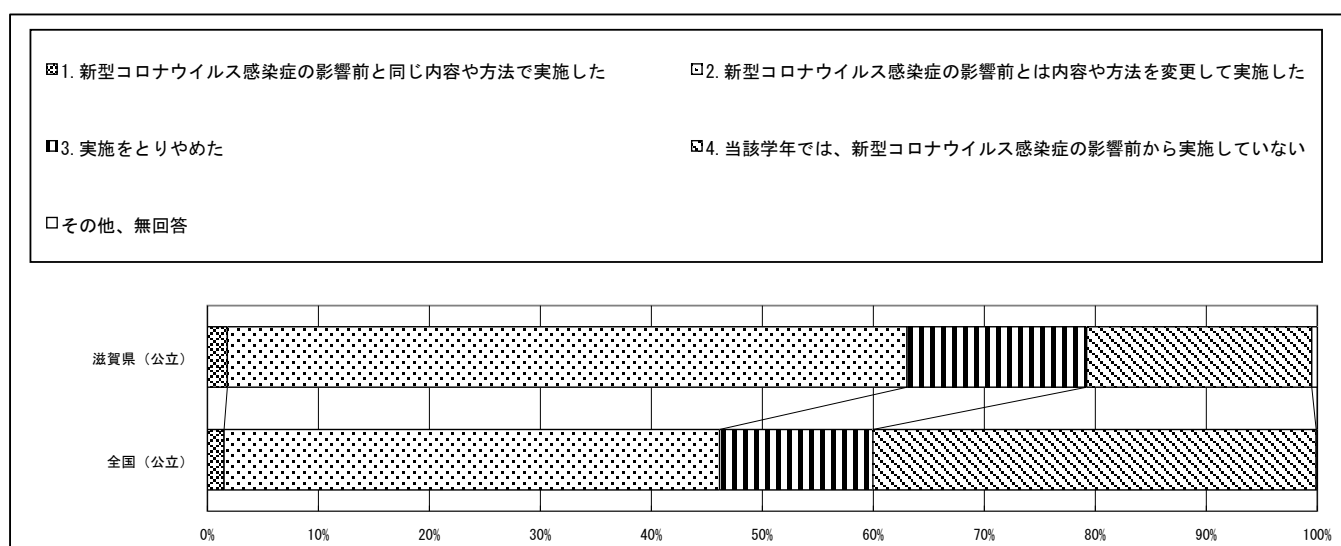


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(81-1)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（1）運動会・競技会・球技会										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	1.4	98.6	0.0	0.0							0.0
全国（公立）	2.0	97.6	0.2	0.1							0.1

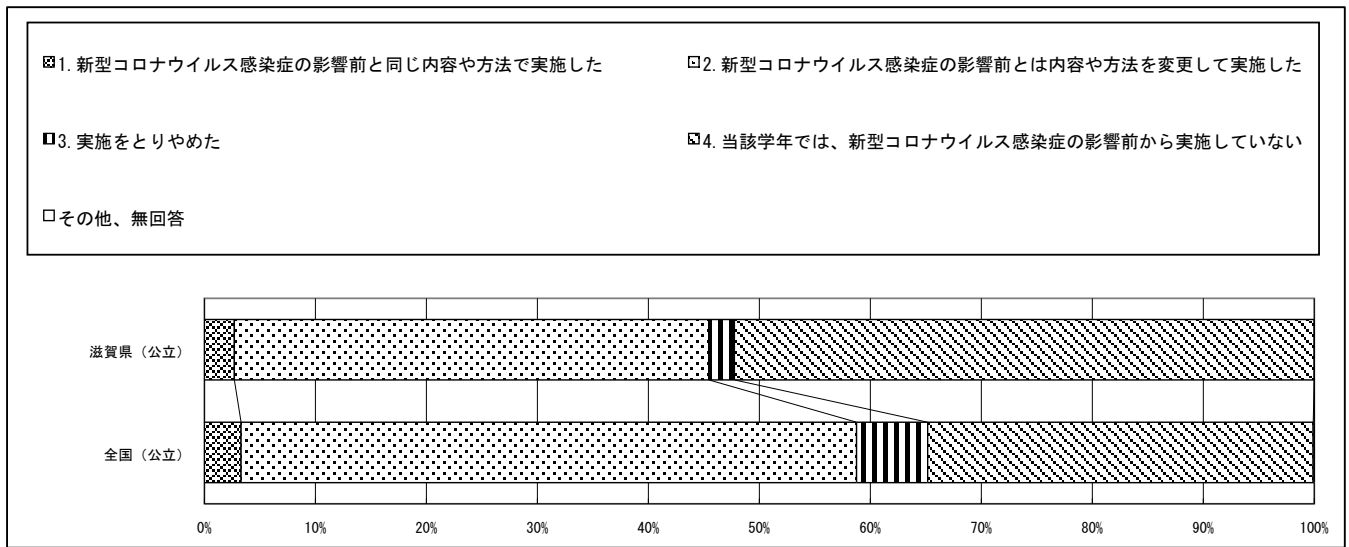


質問番号	質問事項										
(81-2)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（2）音楽会・合唱コンクール										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	1.8	61.3	16.2	20.3							0.5
全国（公立）	1.5	44.6	13.8	39.9							0.1

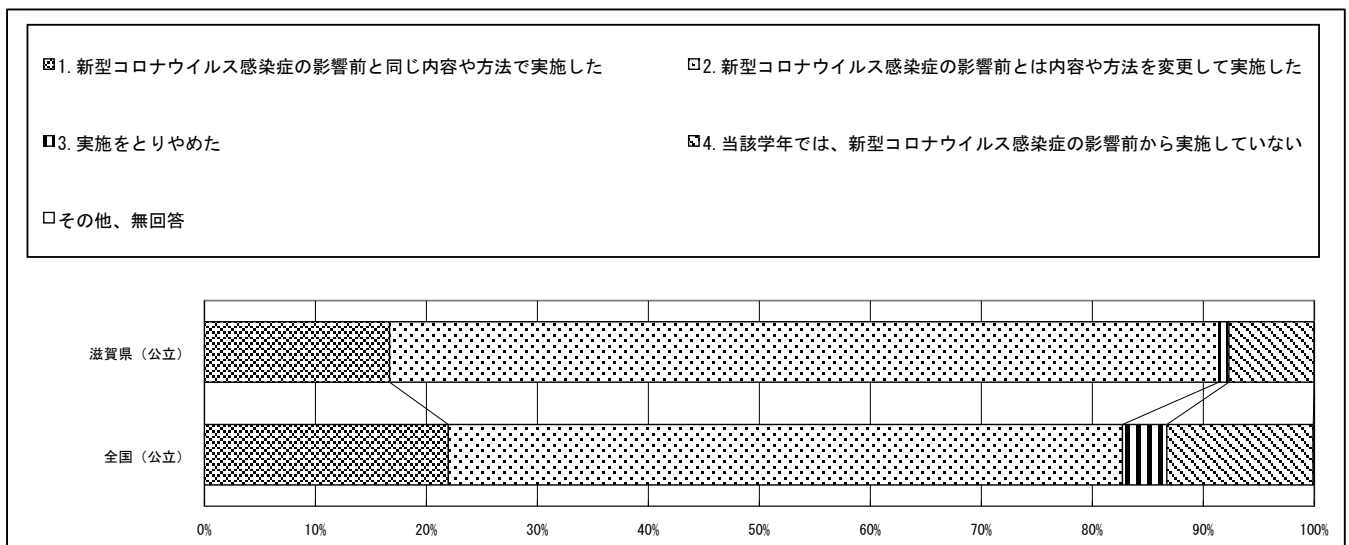


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(81-3)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（3）学芸会・文化祭										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	2.7	42.8	2.3	52.3							0.0
全国（公立）	3.3	55.4	6.4	34.7							0.1

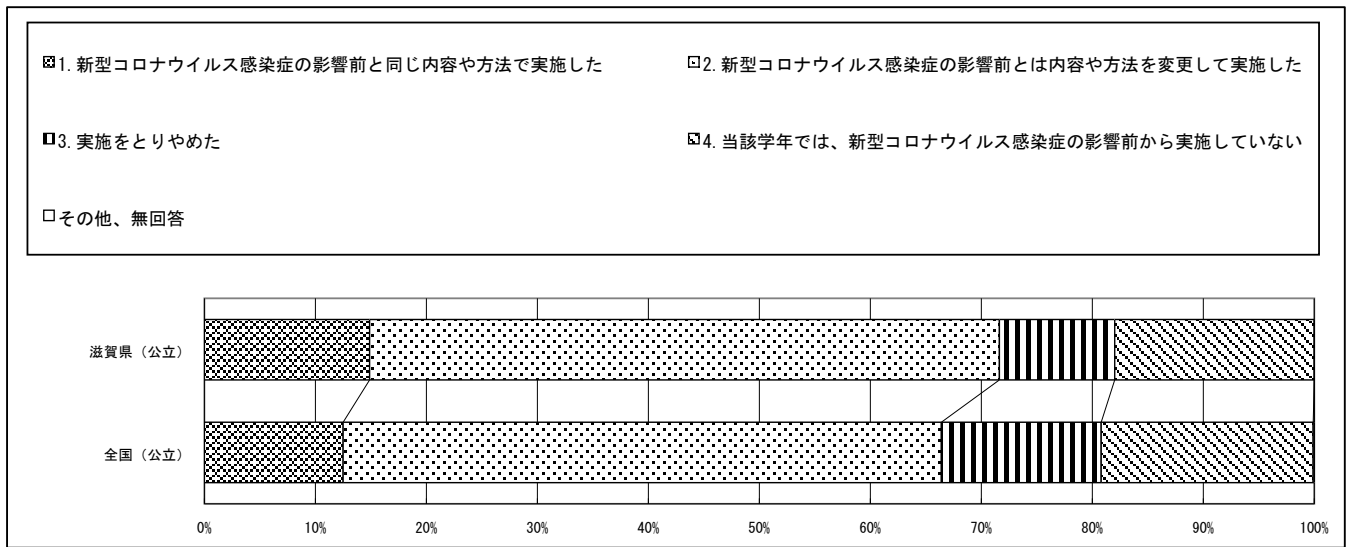


質問番号	質問事項										
(81-4)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（4）遠足										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	16.7	74.8	0.9	7.7							0.0
全国（公立）	22.0	60.8	4.0	13.2							0.1

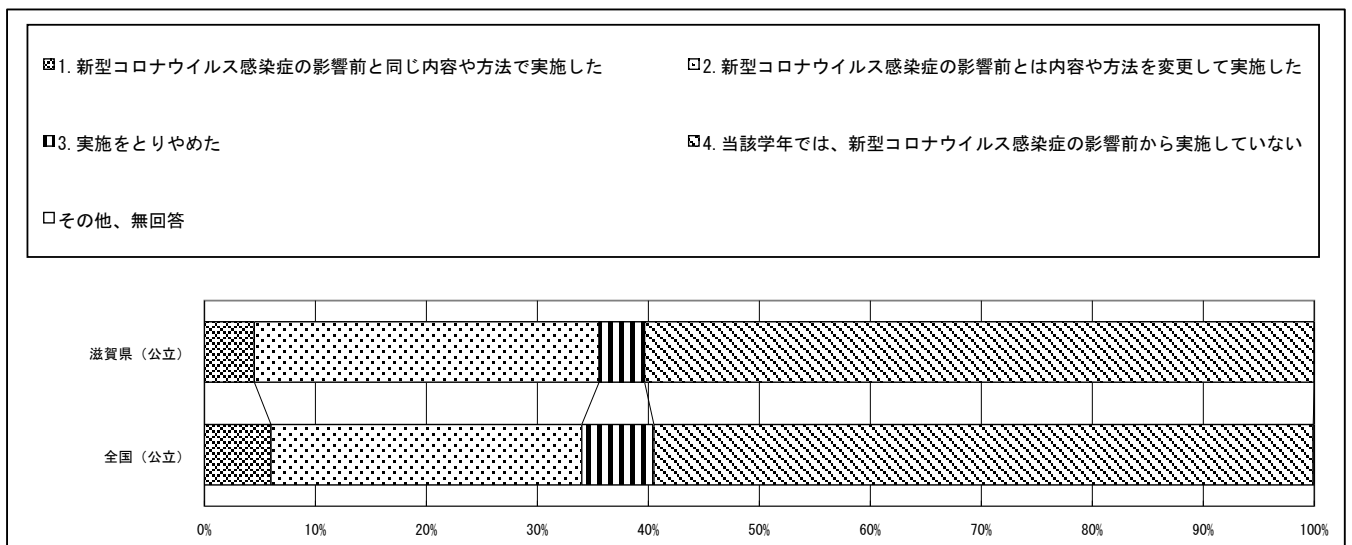


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(81-5)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（5）芸術鑑賞会										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	14.9	56.8	10.4	18.0							0.0
全国（公立）	12.5	53.9	14.4	19.1							0.1



質問番号	質問事項										
(81-6)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（6）職場見学										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	4.5	31.1	4.1	60.4							0.0
全国（公立）	6.0	28.0	6.5	59.4							0.1

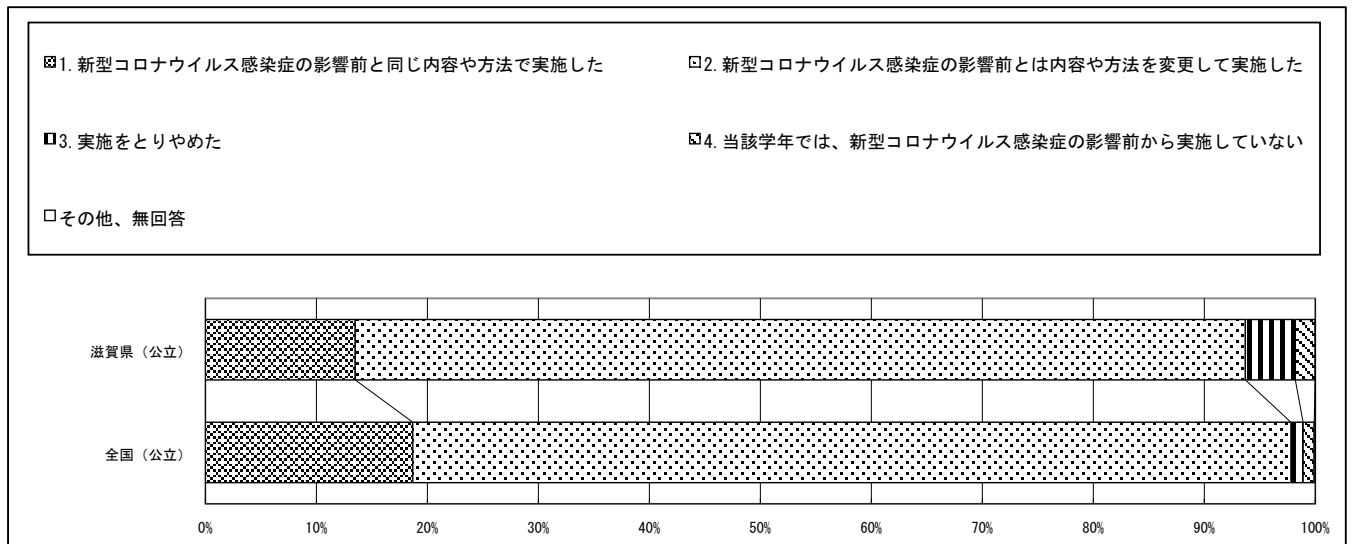


回答結果集計 [学校質問紙]

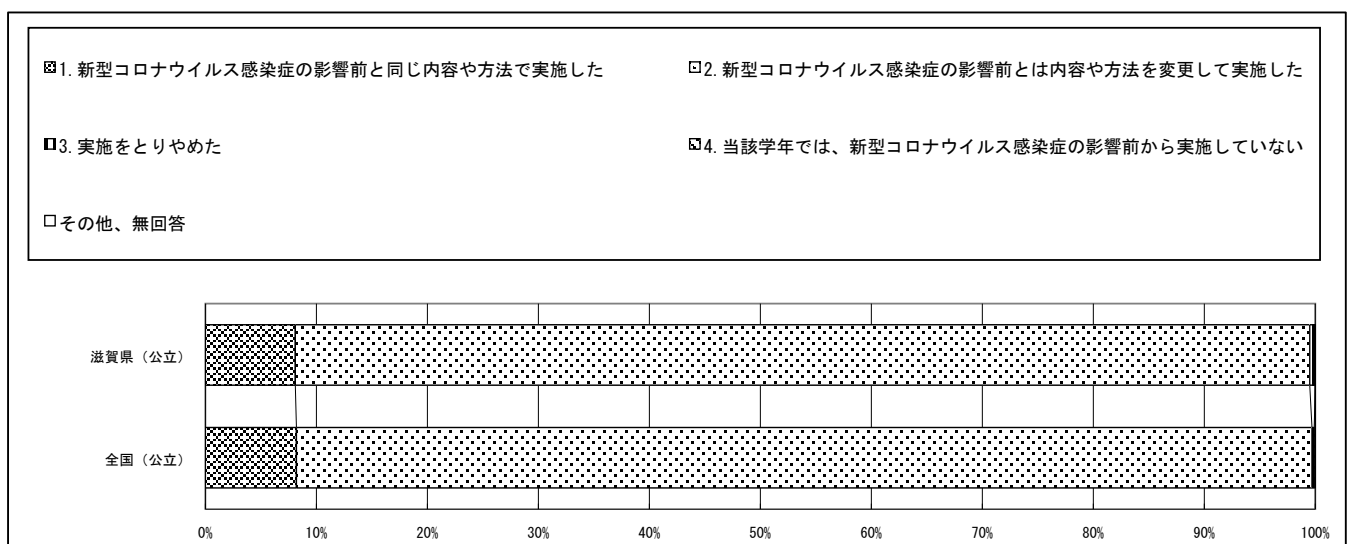
滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、算数）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(81-7)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（7）集団宿泊活動（修学旅行も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	13.5	80.2	4.5	1.8							0.0
全国（公立）	18.7	79.2	1.1	1.0							0.1



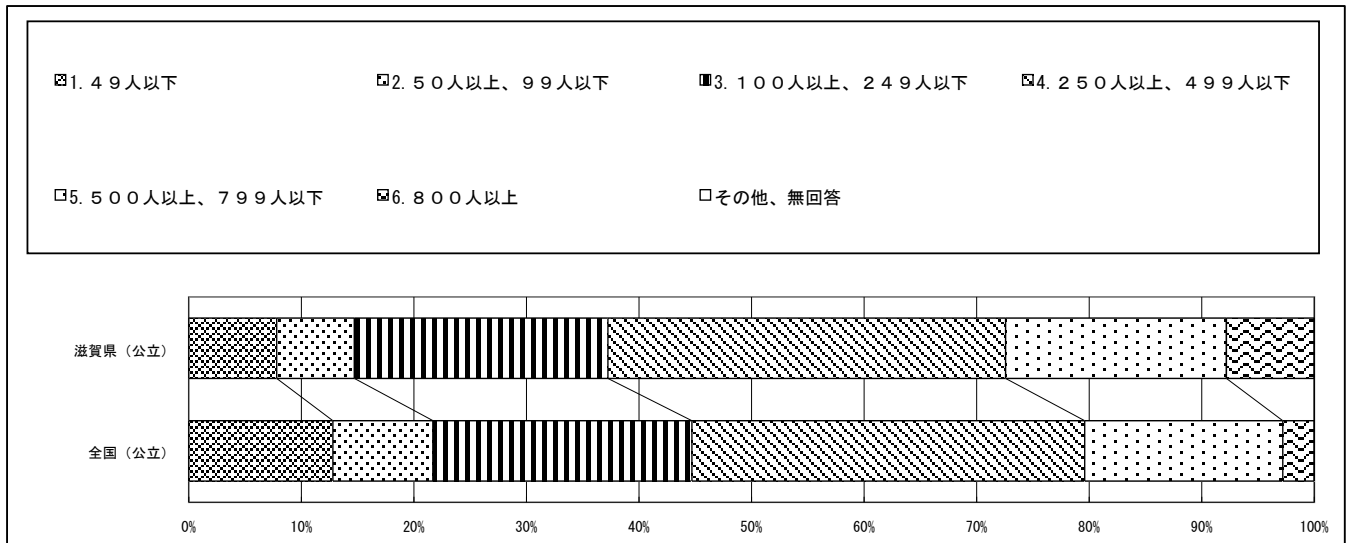
質問番号	質問事項										
(81-8)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（8）授業参観・学校公開										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	8.1	91.4	0.5	0.0							0.0
全国（公立）	8.2	91.5	0.2	0.1							0.0



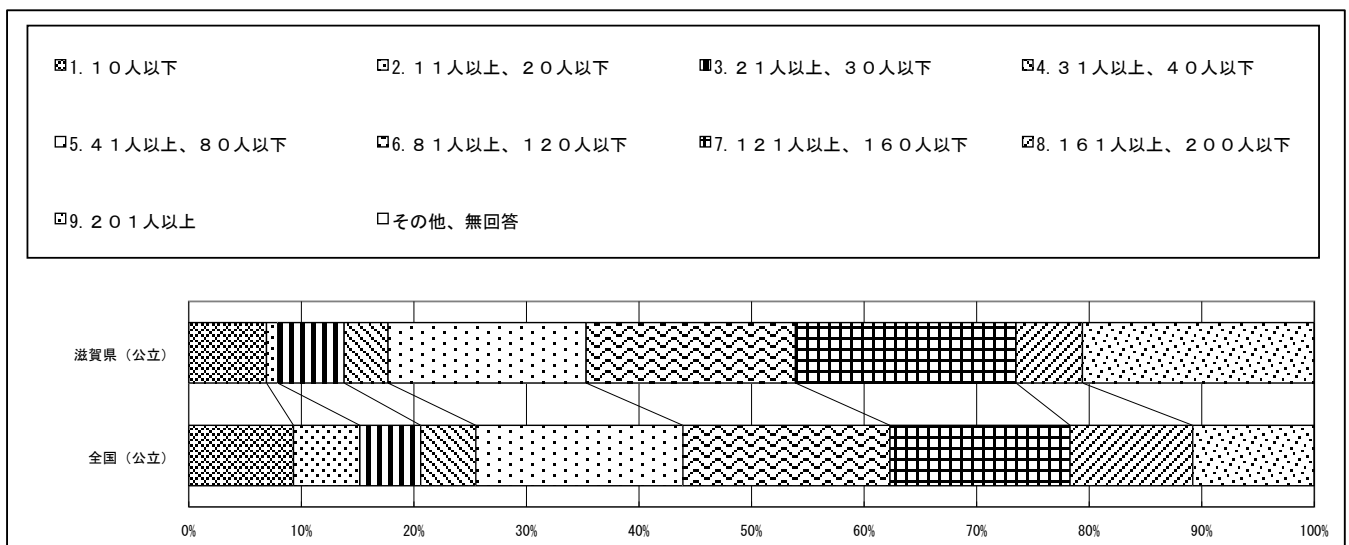
・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

	学校数
滋賀県（公立）	102

質問番号	質問事項										
(1)	調査対象日現在の学校の全学年の生徒数										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	7.8	6.9	22.5	35.3	19.6	7.8					0.0
全国（公立）	12.8	8.9	23.0	34.9	17.6	2.8					0.0



質問番号	質問事項										
(2)	調査対象日現在の第3学年の生徒数（特別支援学級の生徒数は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	6.9	1.0	5.9	3.9	17.6	18.6	19.6	5.9	20.6		0.0
全国（公立）	9.3	5.9	5.4	4.9	18.4	18.4	16.0	10.9	10.8		0.0

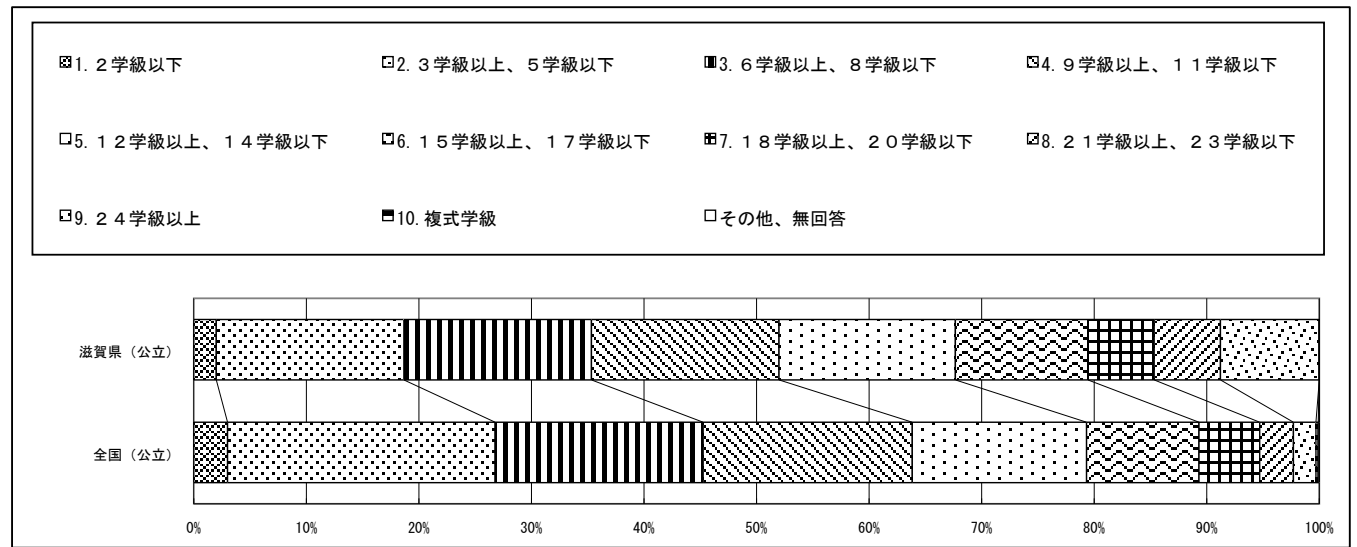


回答結果集計 [学校質問紙]

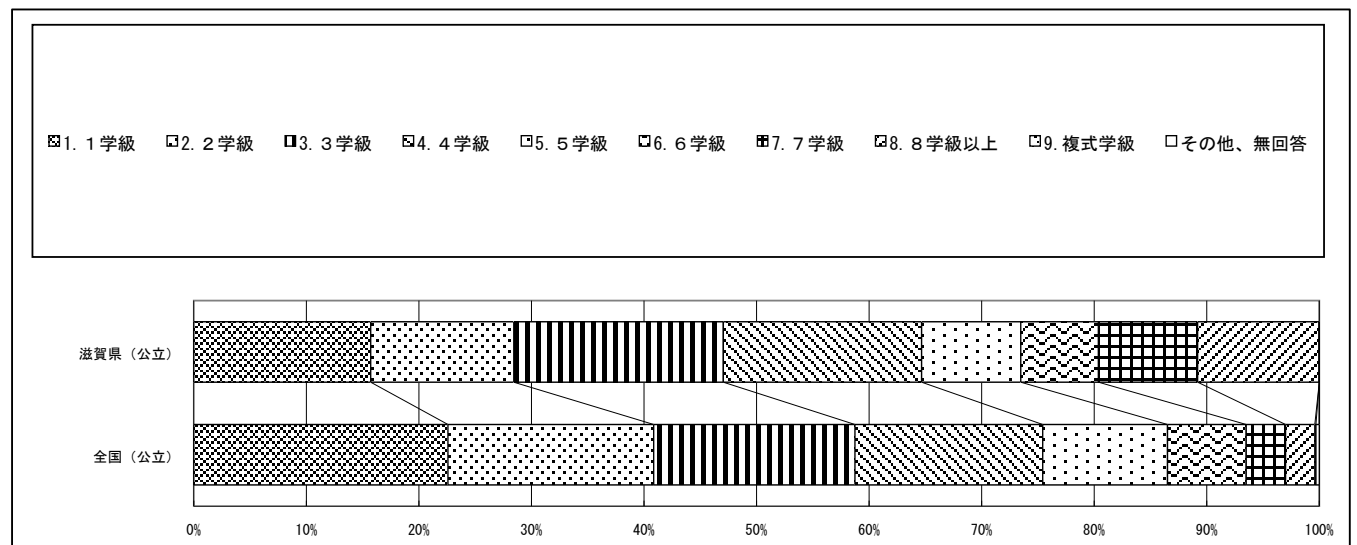
滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(3)	調査対象日現在の学校の全学年の学級数（特別支援学級は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	2.0	16.7	16.7	16.7	15.7	11.8	5.9	5.9	8.8	0.0	0.0
全国（公立）	3.0	23.8	18.5	18.6	15.5	10.0	5.4	3.0	2.0	0.2	0.1

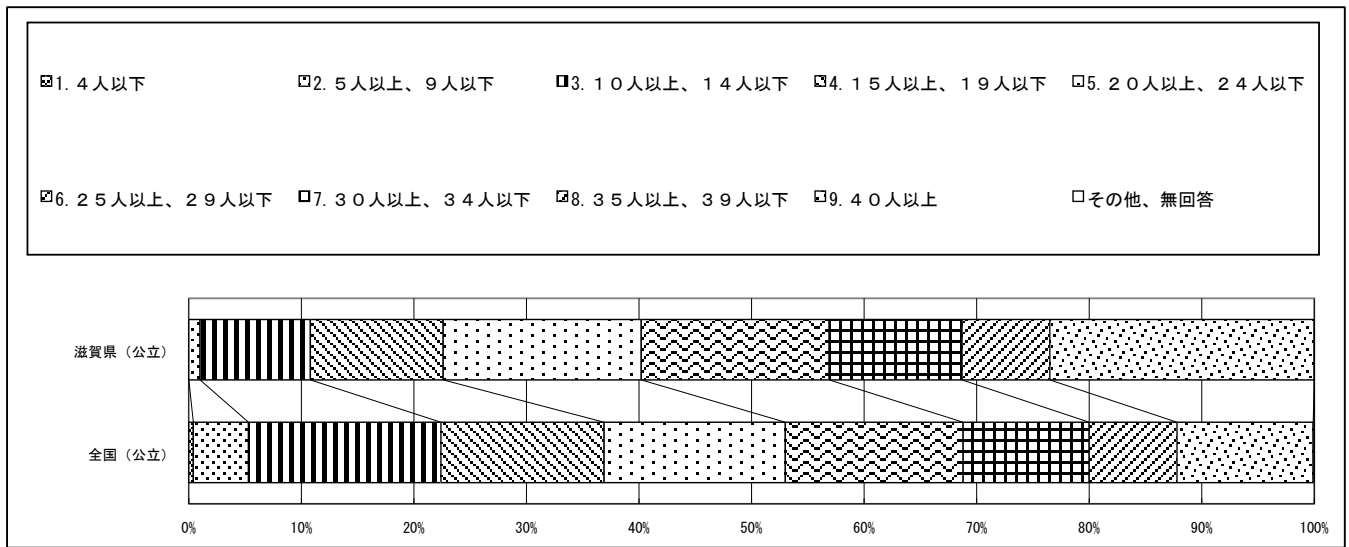


質問番号	質問事項										
(4)	調査対象日現在の第3学年の学級数（特別支援学級は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	15.7	12.7	18.6	17.6	8.8	6.9	8.8	10.8	0.0		0.0
全国（公立）	22.6	18.3	17.9	16.7	11.1	7.0	3.5	2.6	0.1		0.3

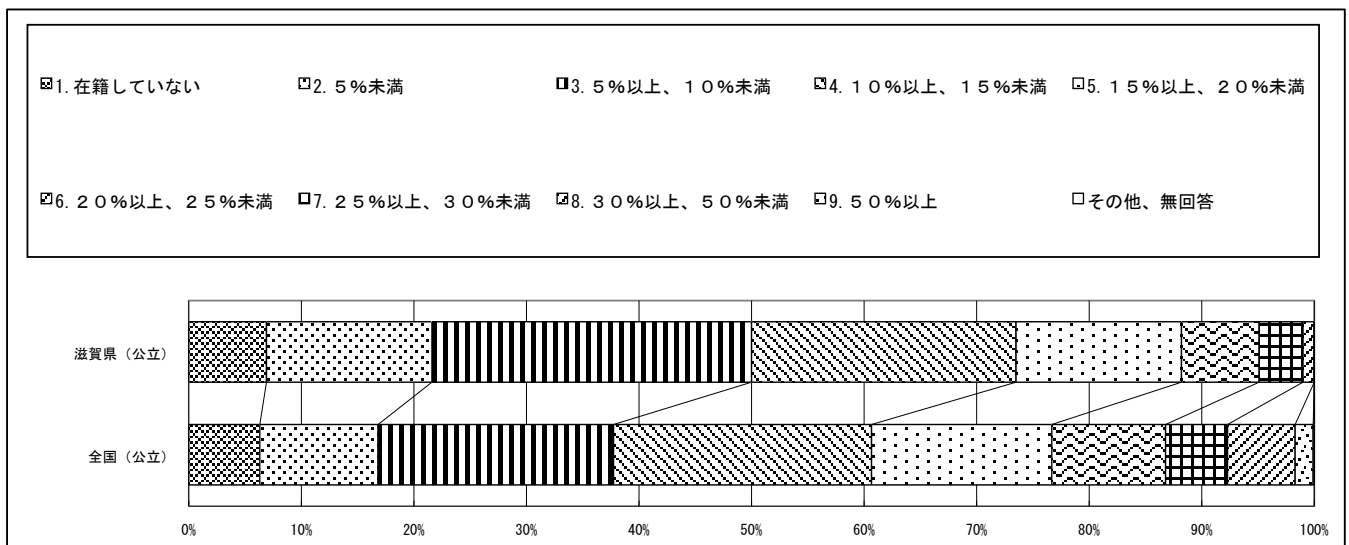


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(5)	調査対象日現在の学校の全教員数（副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師（常勤））										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	0.0	1.0	9.8	11.8	17.6	16.7	11.8	7.8	23.5		0.0
全国（公立）	0.4	4.9	17.1	14.5	16.1	15.8	11.2	7.8	12.1		0.1

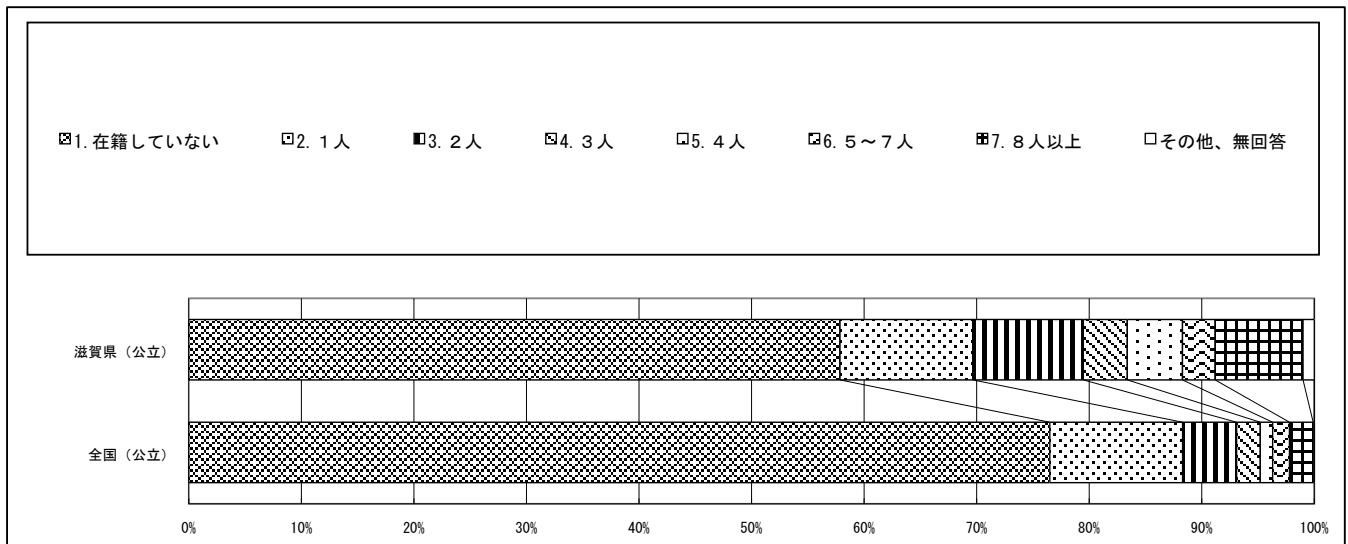


質問番号	質問事項										
(6)	調査対象学年の生徒のうち、就学援助を受けている生徒の割合										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	6.9	14.7	28.4	23.5	14.7	6.9	3.9	1.0	0.0		0.0
全国（公立）	6.3	10.5	20.9	22.9	16.0	10.1	5.5	6.0	1.6		0.1

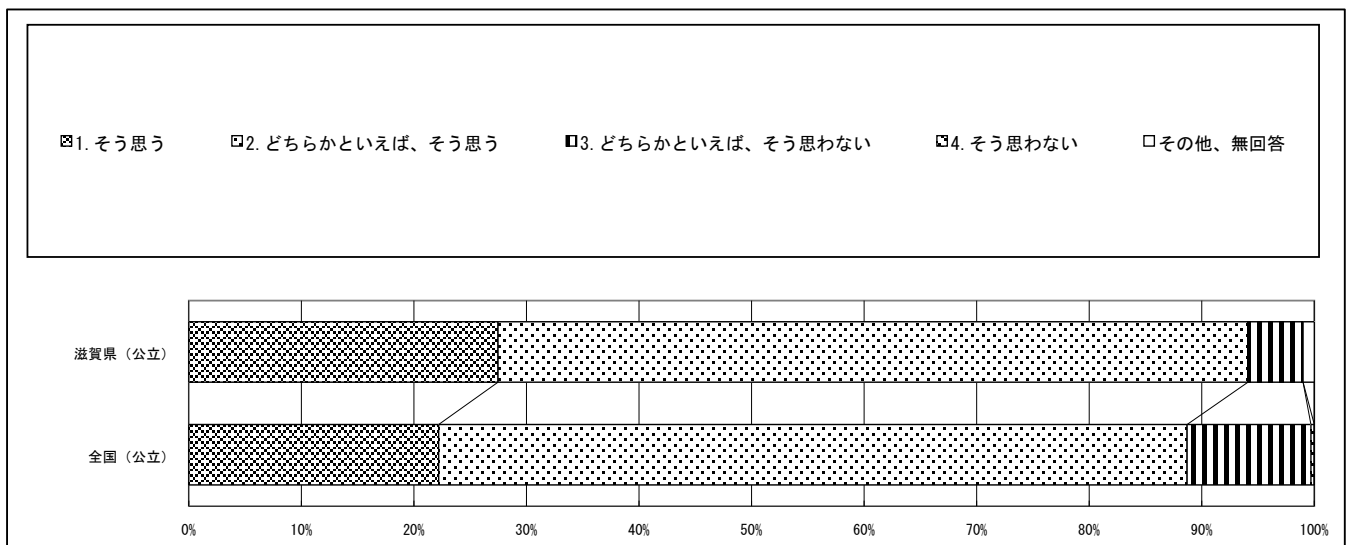


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(7)	調査対象学年の生徒のうち、日本語指導が必要な生徒の人数										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	57.8	11.8	9.8	3.9	4.9	2.9	7.8				1.0
全国(公立)	76.5	11.8	4.8	2.1	1.1	1.5	2.1				0.1

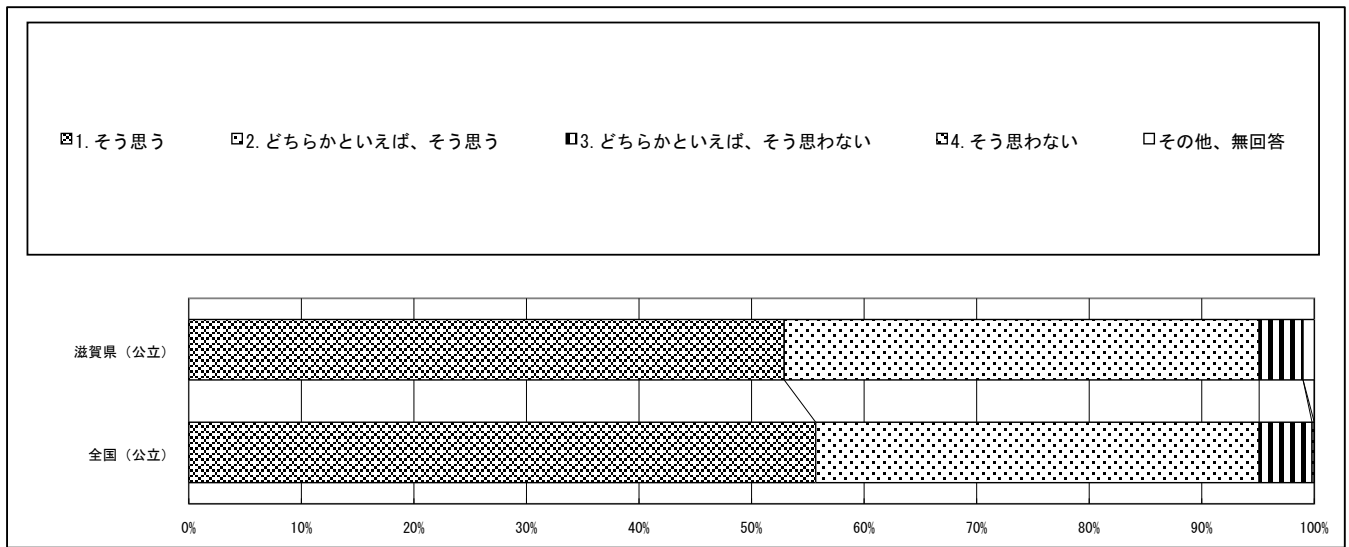


質問番号	質問事項										
(8)	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	27.5	66.7	4.9	0.0							1.0
全国(公立)	22.2	66.5	11.0	0.3							0.0

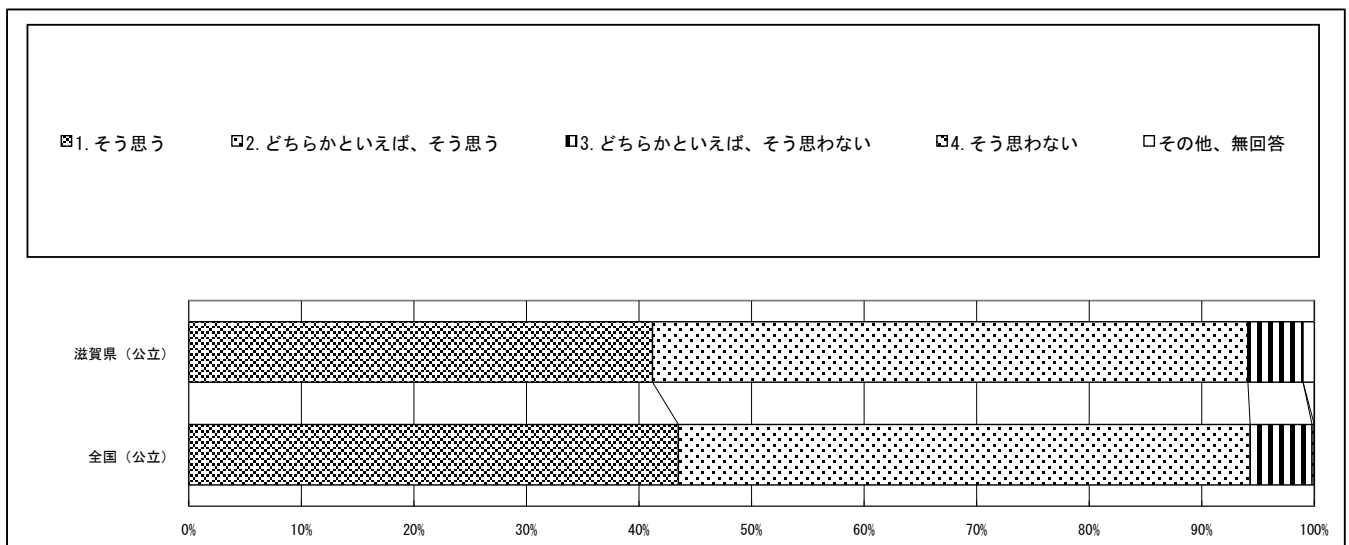


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(9)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	52.9	42.2	3.9	0.0							1.0
全国 (公立)	55.7	39.4	4.7	0.2							0.0

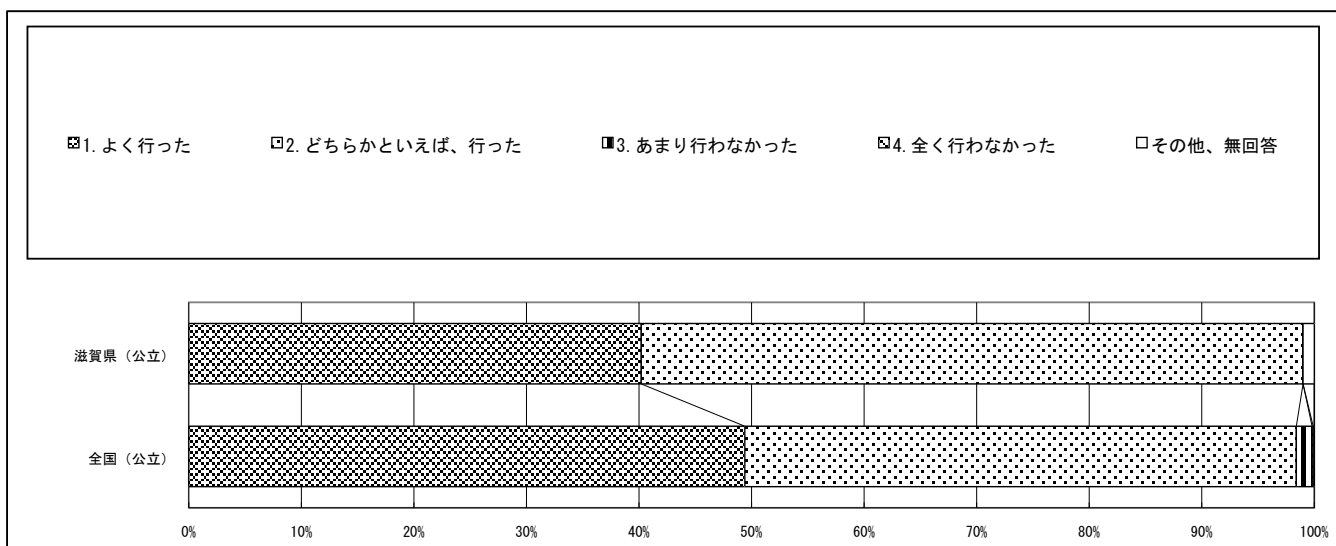


質問番号	質問事項										
(10)	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	41.2	52.9	4.9	0.0							1.0
全国 (公立)	43.5	50.8	5.5	0.2							0.0

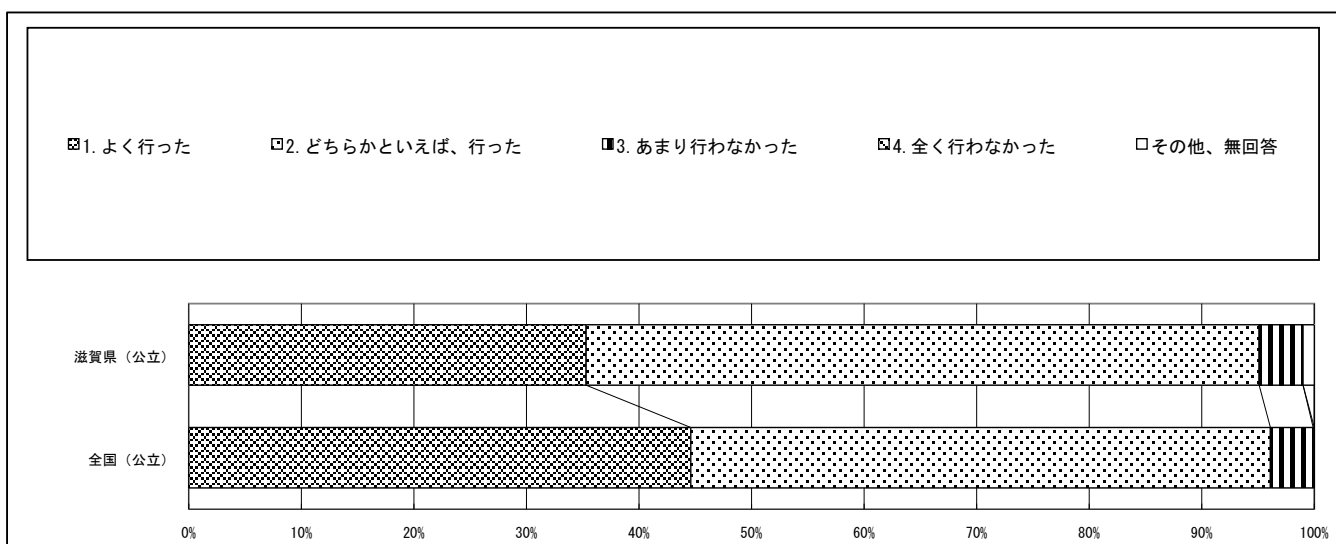


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(11)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	40.2	58.8	0.0	0.0							1.0
全国(公立)	49.5	49.1	1.4	0.1							0.1

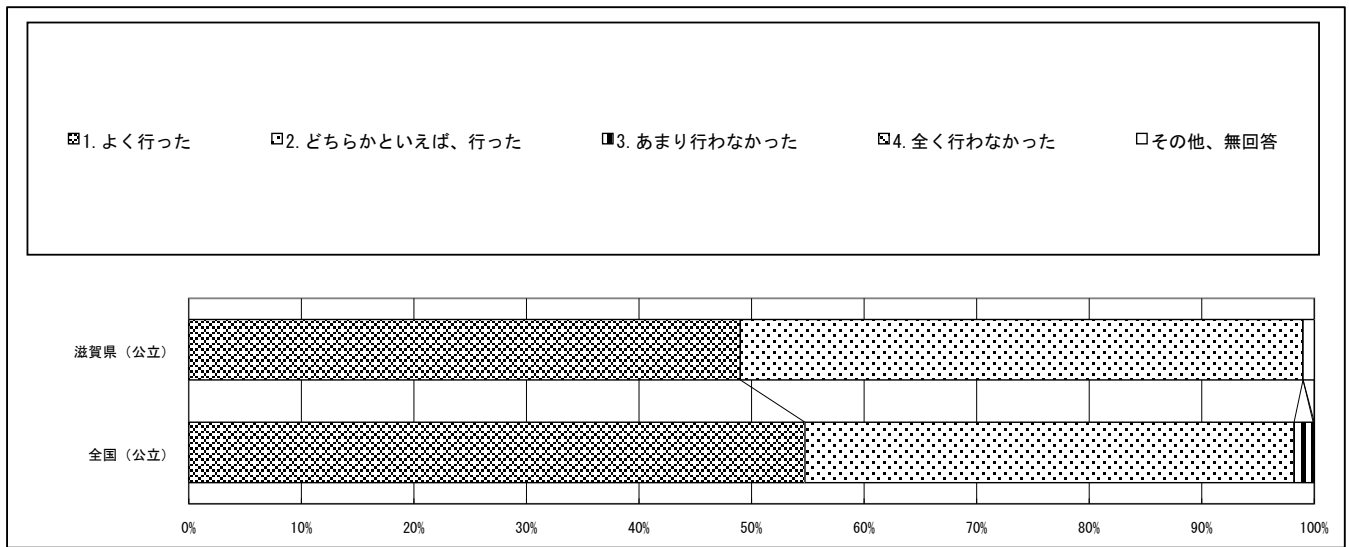


質問番号	質問事項										
(12)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	35.3	59.8	3.9	0.0							1.0
全国(公立)	44.6	51.5	3.8	0.1							0.0

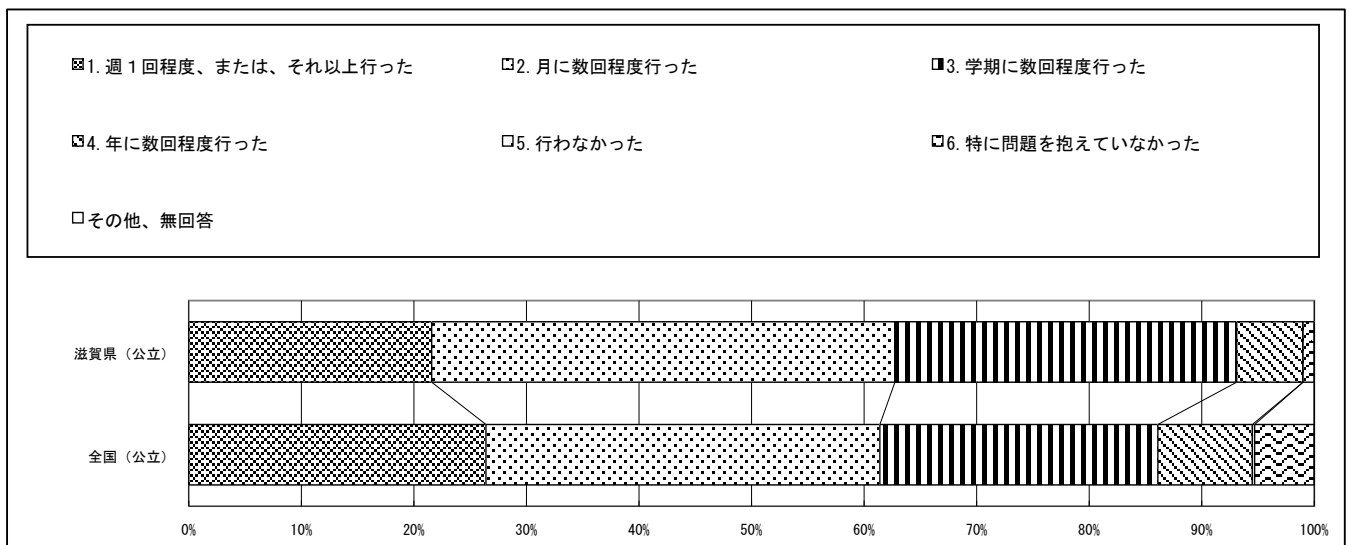


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(13)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	49.0	50.0	0.0	0.0							1.0
全国(公立)	54.8	43.5	1.7	0.1							0.0

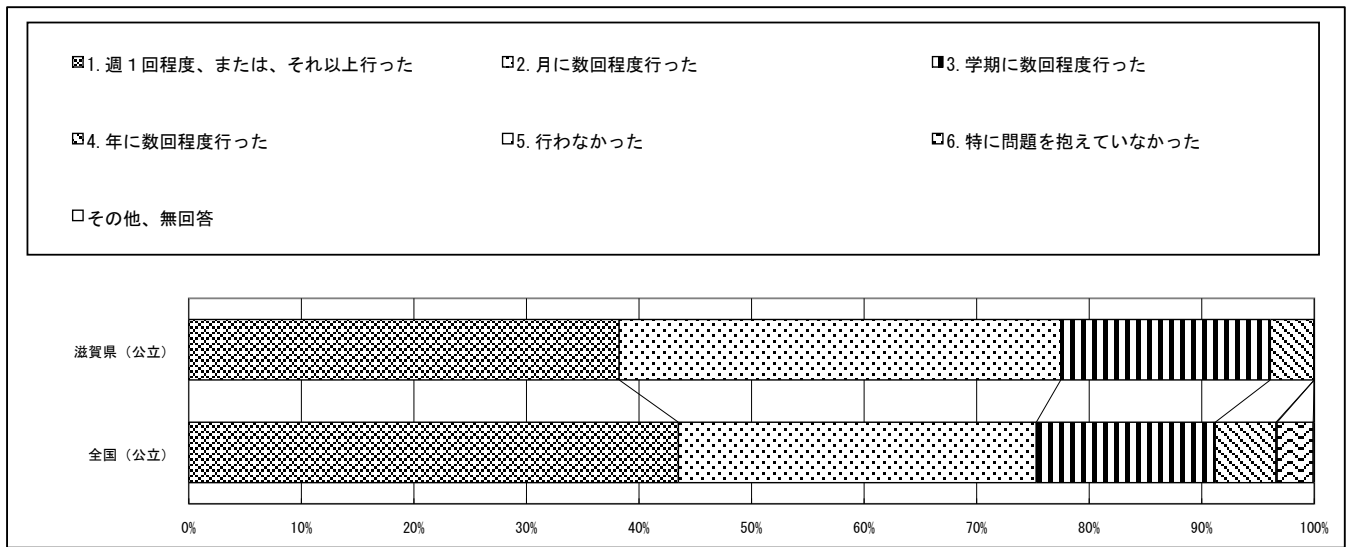


質問番号	質問事項										
(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	21.6	41.2	30.4	5.9	0.0	1.0					0.0
全国(公立)	26.4	35.0	24.7	8.4	0.2	5.3					0.0

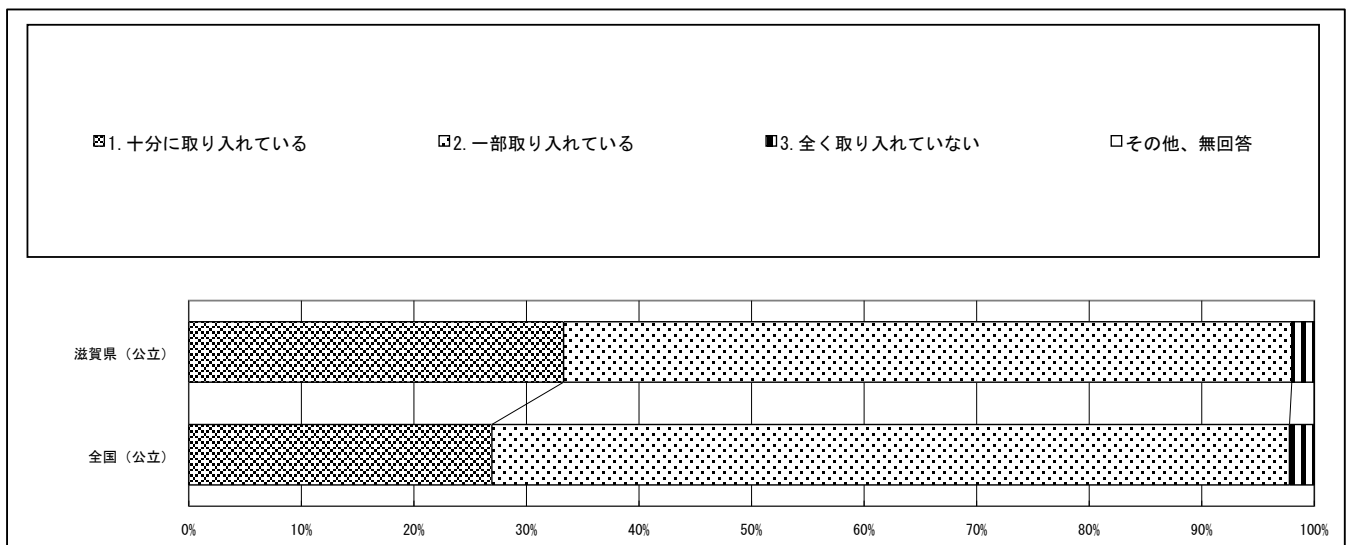


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(15)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	38.2	39.2	18.6	3.9	0.0	0.0					0.0
全国（公立）	43.5	31.8	15.9	5.4	0.1	3.2					0.1

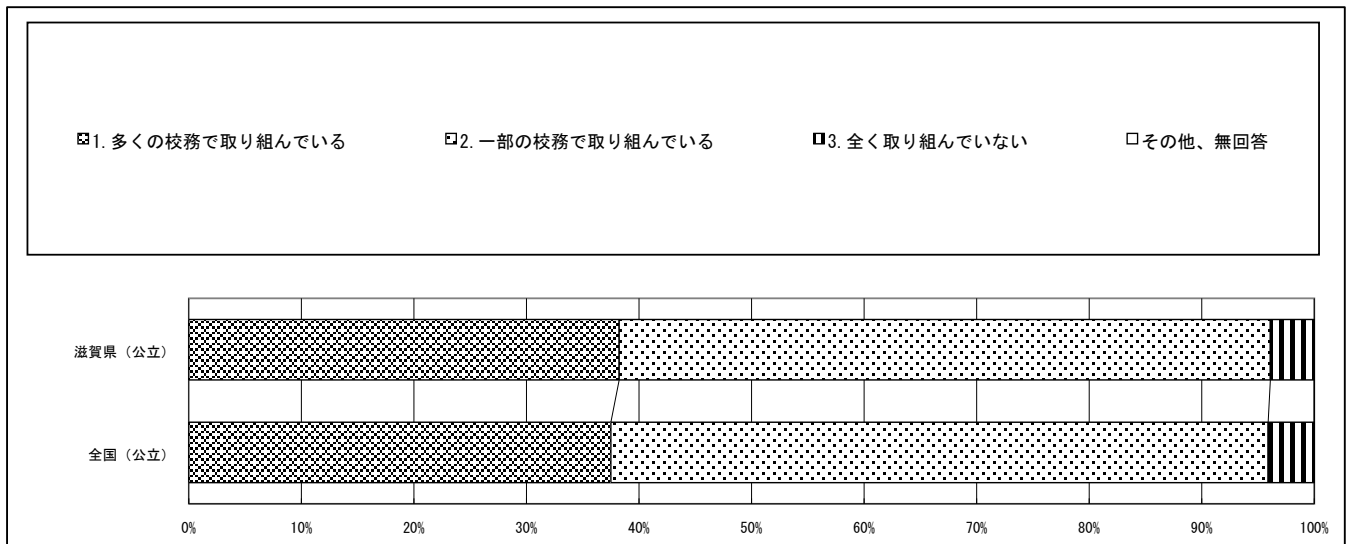


質問番号	質問事項										
(16)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	33.3	64.7	2.0								0.0
全国（公立）	26.9	70.8	2.2								0.0

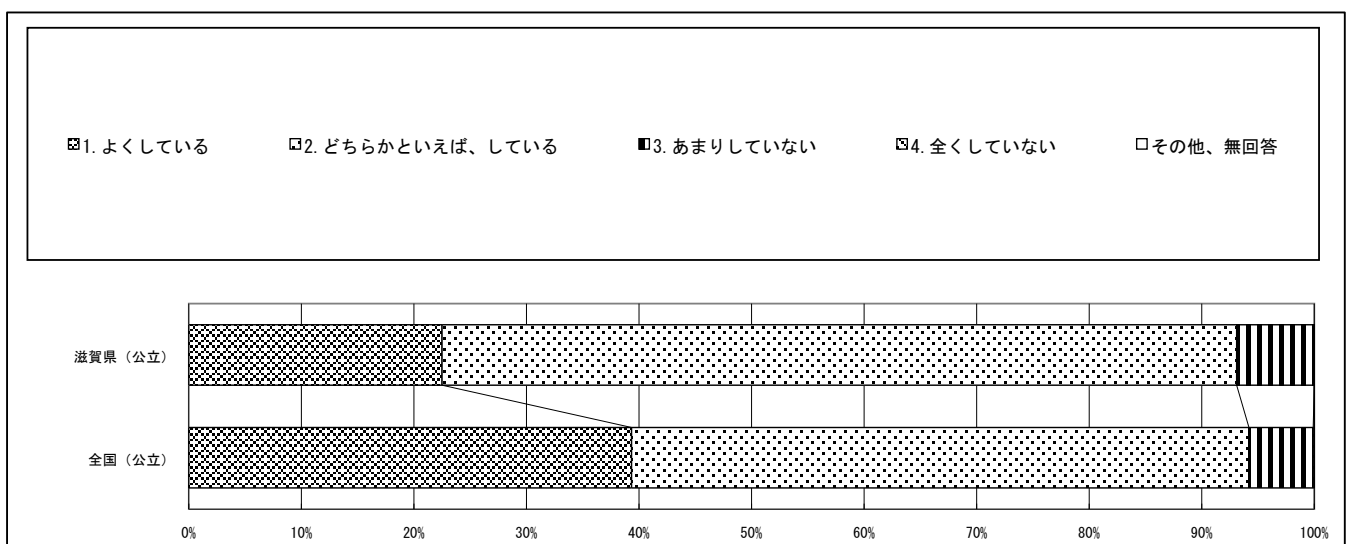


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(17)	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	38.2	57.8	3.9								0.0
全国(公立)	37.5	58.4	4.1								0.0

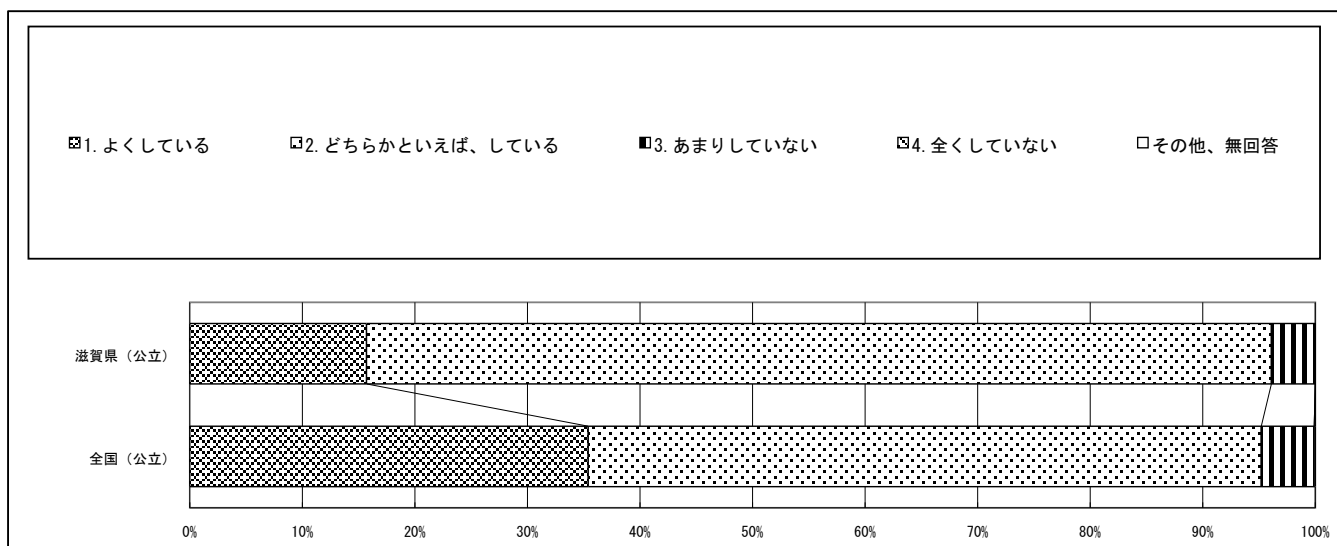


質問番号	質問事項										
(18)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	22.5	70.6	6.9	0.0							0.0
全国(公立)	39.3	54.8	5.7	0.1							0.0

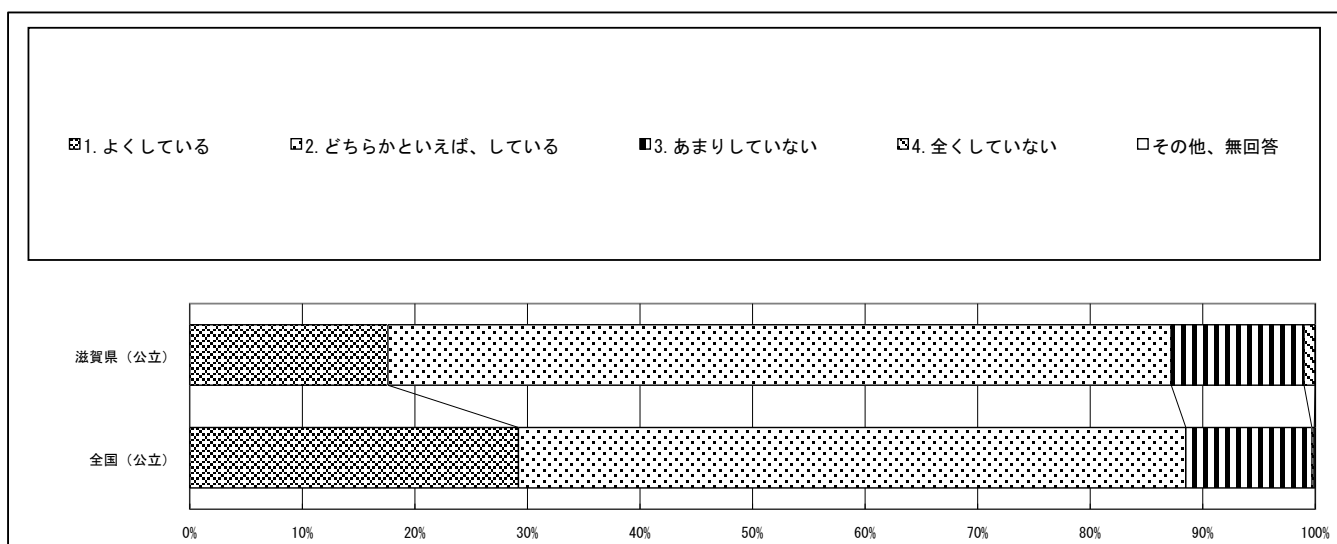


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(19)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	15.7	80.4	3.9	0.0							0.0
全国(公立)	35.4	59.8	4.7	0.0							0.1

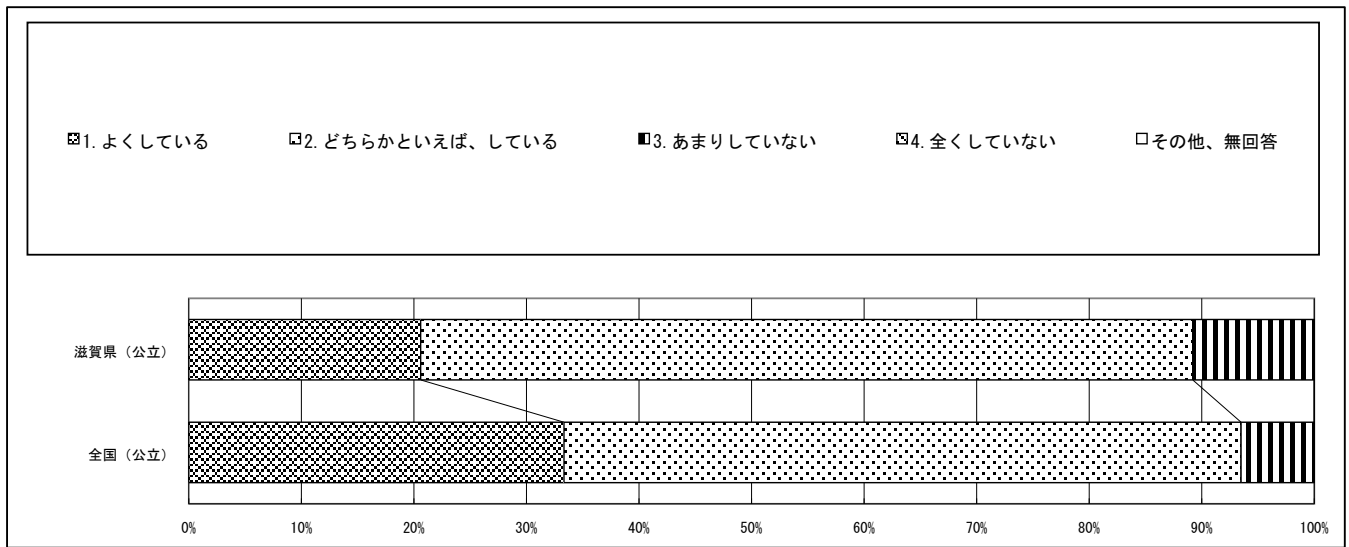


質問番号	質問事項										
(20)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	17.6	69.6	11.8	1.0							0.0
全国(公立)	29.2	59.3	11.2	0.2							0.1

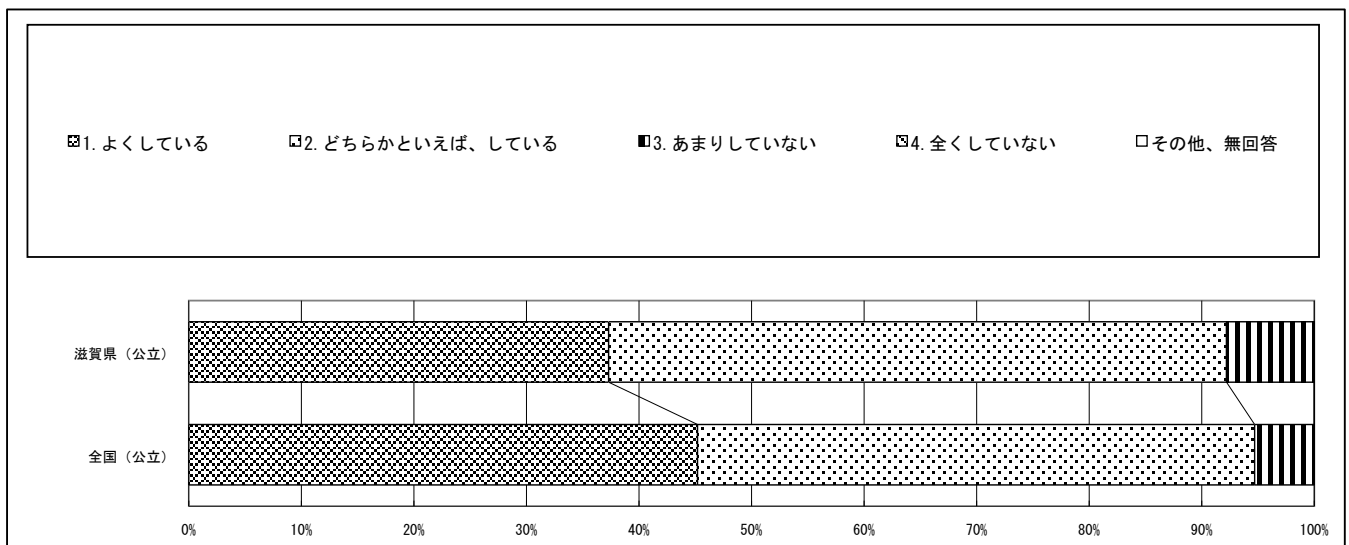


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(21)	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	20.6	68.6	10.8	0.0							0.0
全国(公立)	33.3	60.1	6.5	0.0							0.0

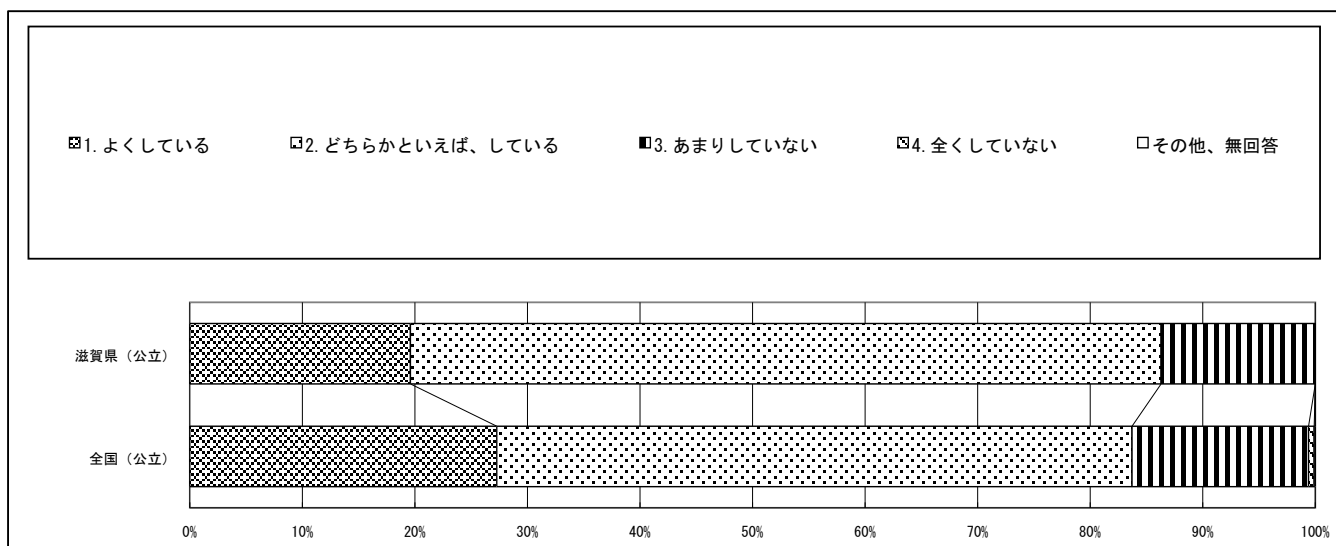


質問番号	質問事項										
(22)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	37.3	54.9	7.8	0.0							0.0
全国(公立)	45.2	49.5	5.3	0.0							0.0

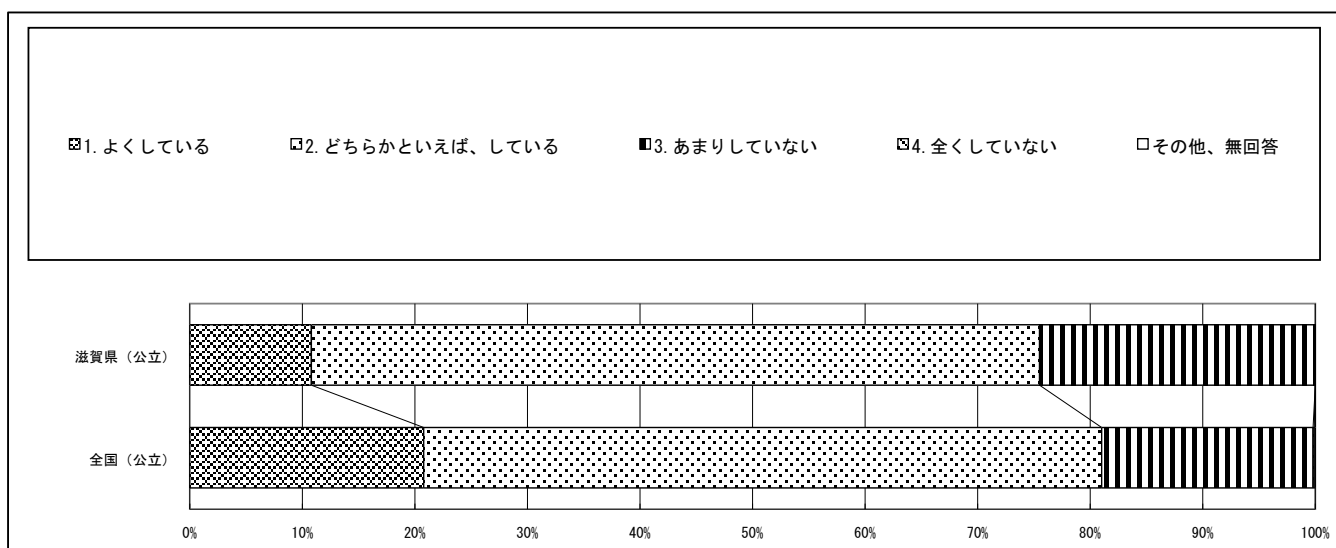


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(23)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.6	66.7	13.7	0.0							0.0
全国(公立)	27.3	56.5	15.7	0.5							0.1

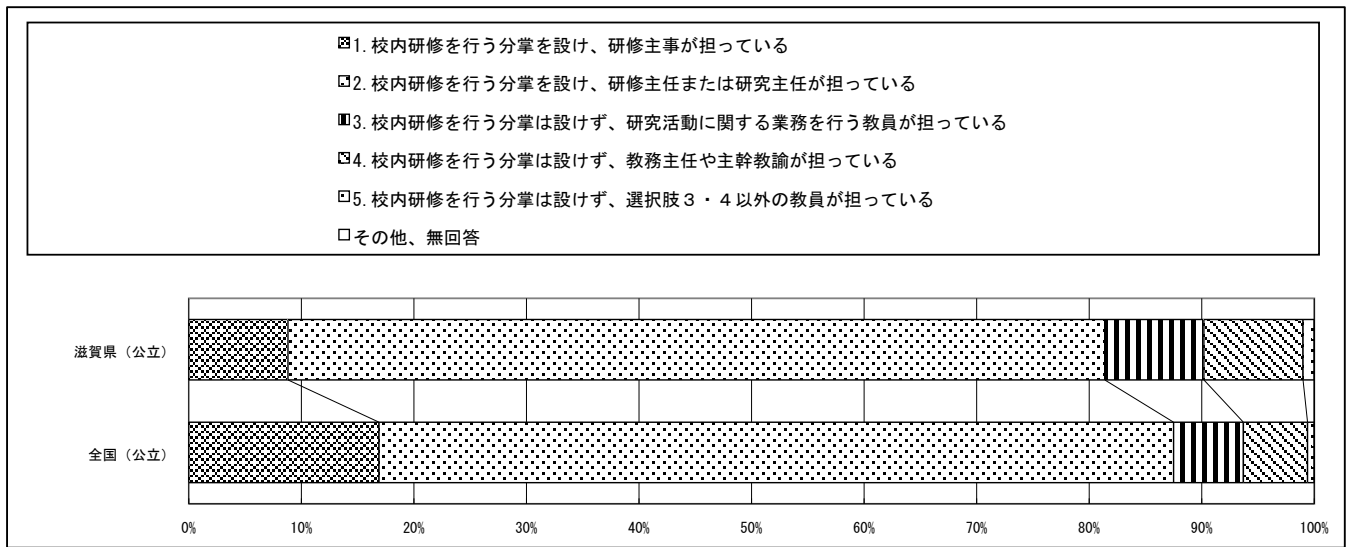


質問番号	質問事項										
(24)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	10.8	64.7	24.5	0.0							0.0
全国(公立)	20.8	60.3	18.8	0.1							0.1

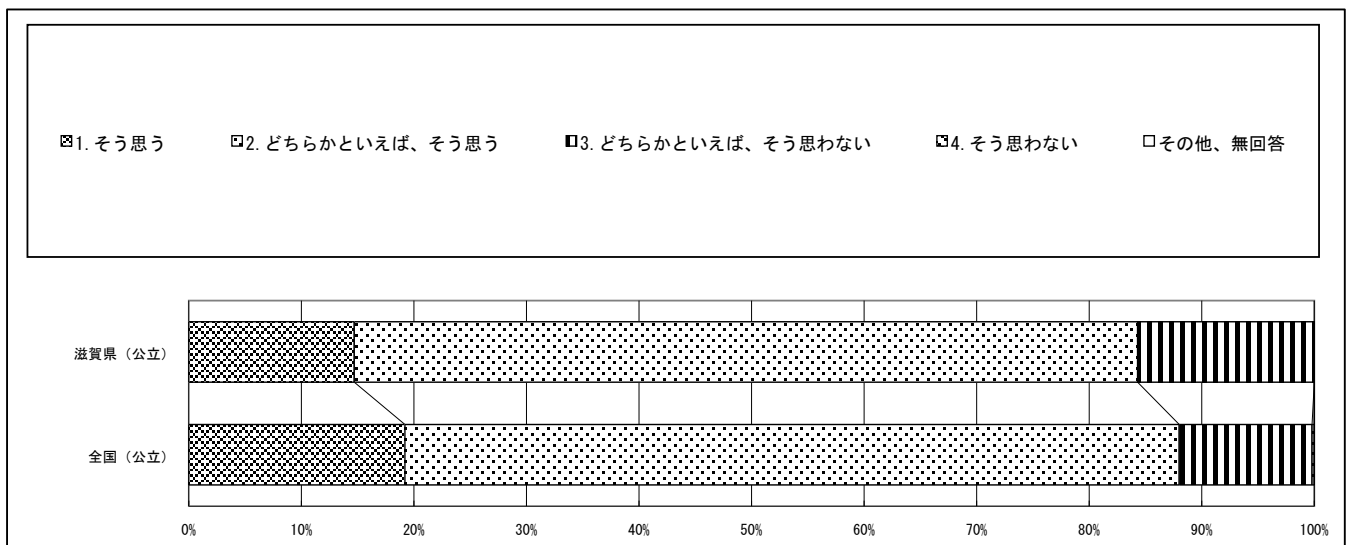


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(25)	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	8.8	72.5	8.8	8.8	1.0						0.0
全国(公立)	16.9	70.6	6.2	5.7	0.6						0.0

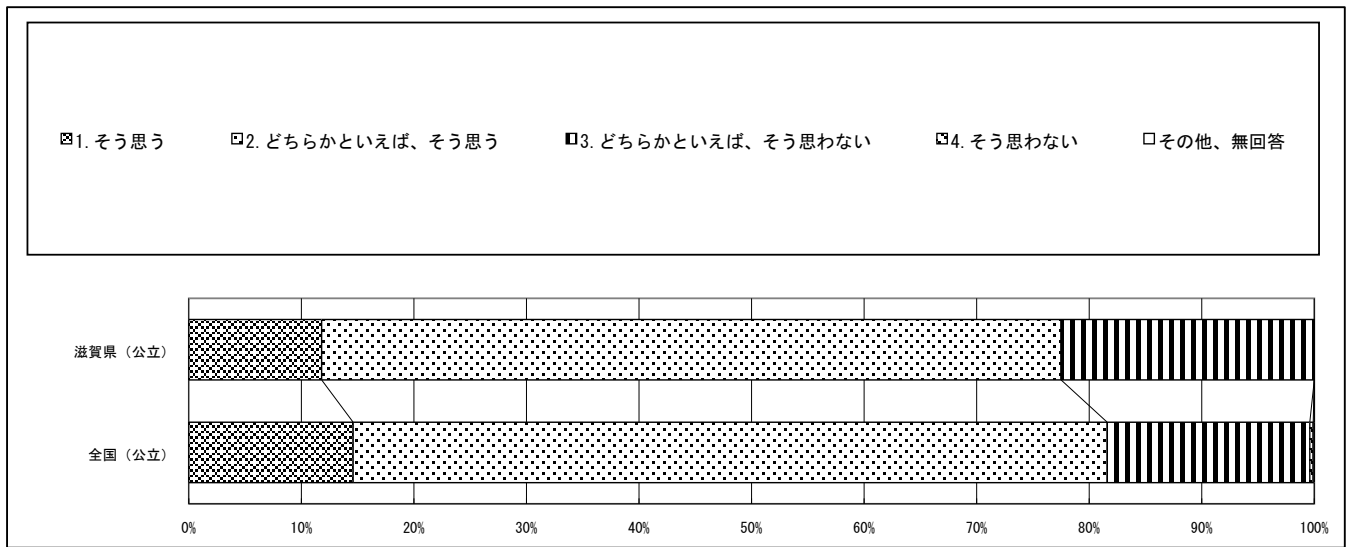


質問番号	質問事項										
(26)	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	14.7	69.6	15.7	0.0							0.0
全国(公立)	19.2	68.8	11.8	0.2							0.0

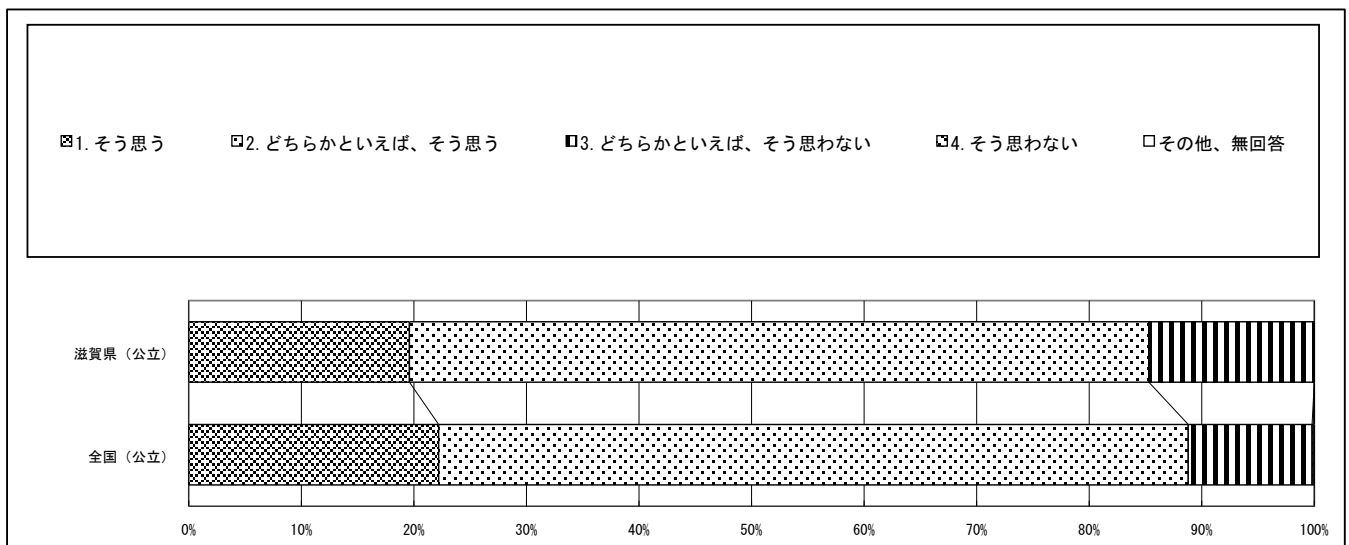


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(27)	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	11.8	65.7	22.5	0.0							0.0
全国(公立)	14.6	67.0	18.0	0.3							0.1

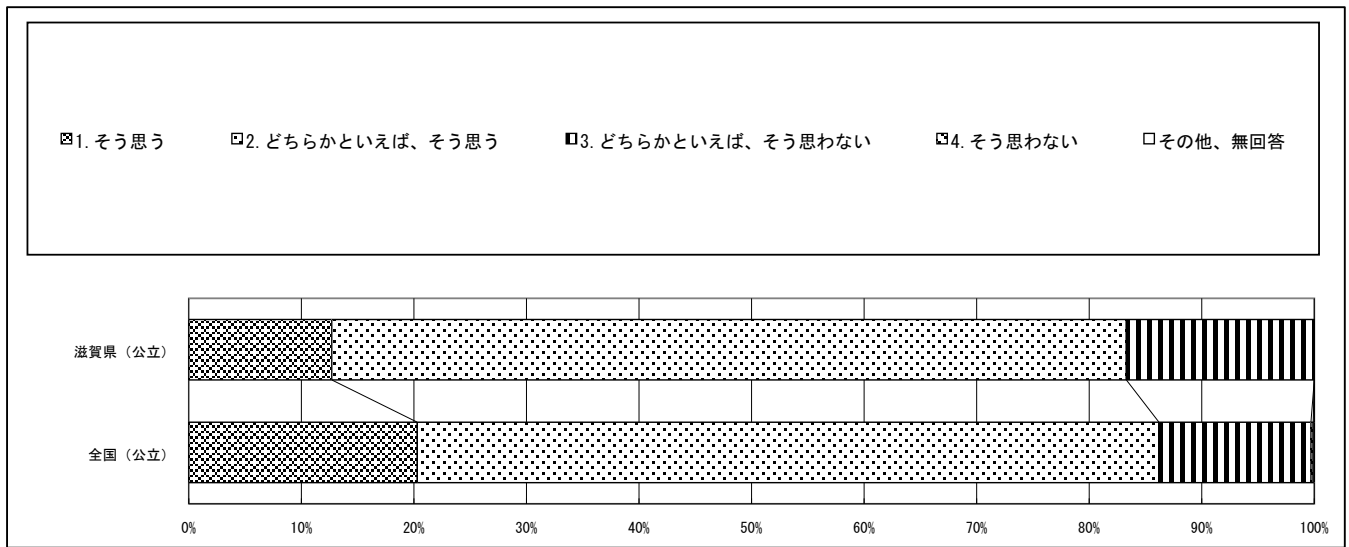


質問番号	質問事項										
(28)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.6	65.7	14.7	0.0							0.0
全国(公立)	22.2	66.6	11.0	0.1							0.1

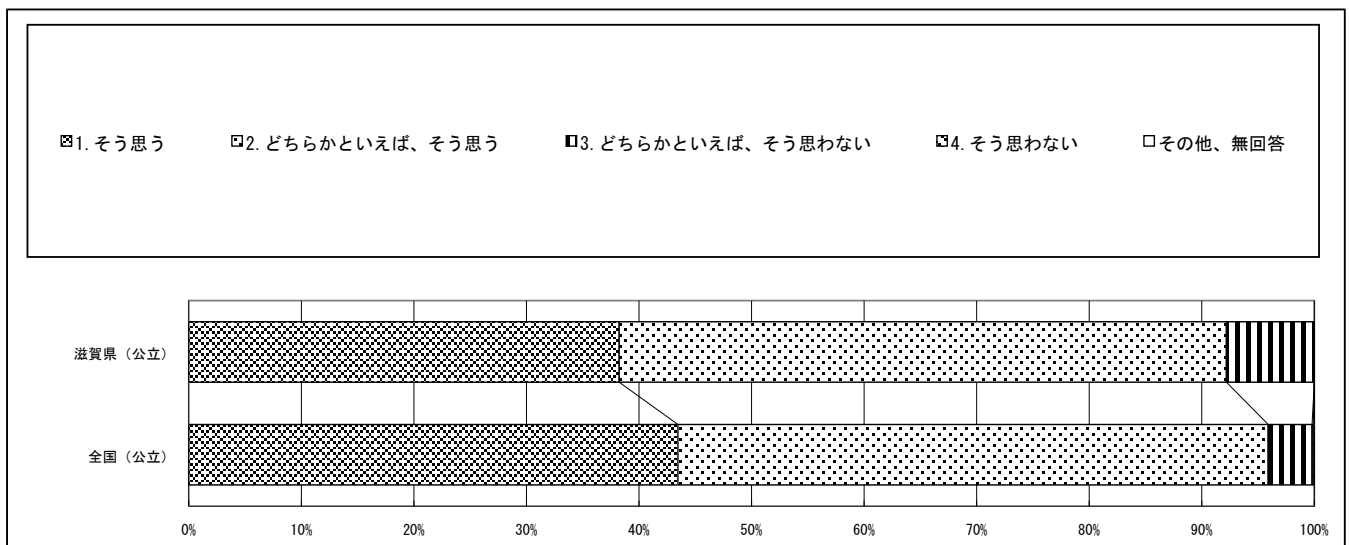


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(29)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	12.7	70.6	16.7	0.0							0.0
全国 (公立)	20.3	65.9	13.5	0.2							0.1

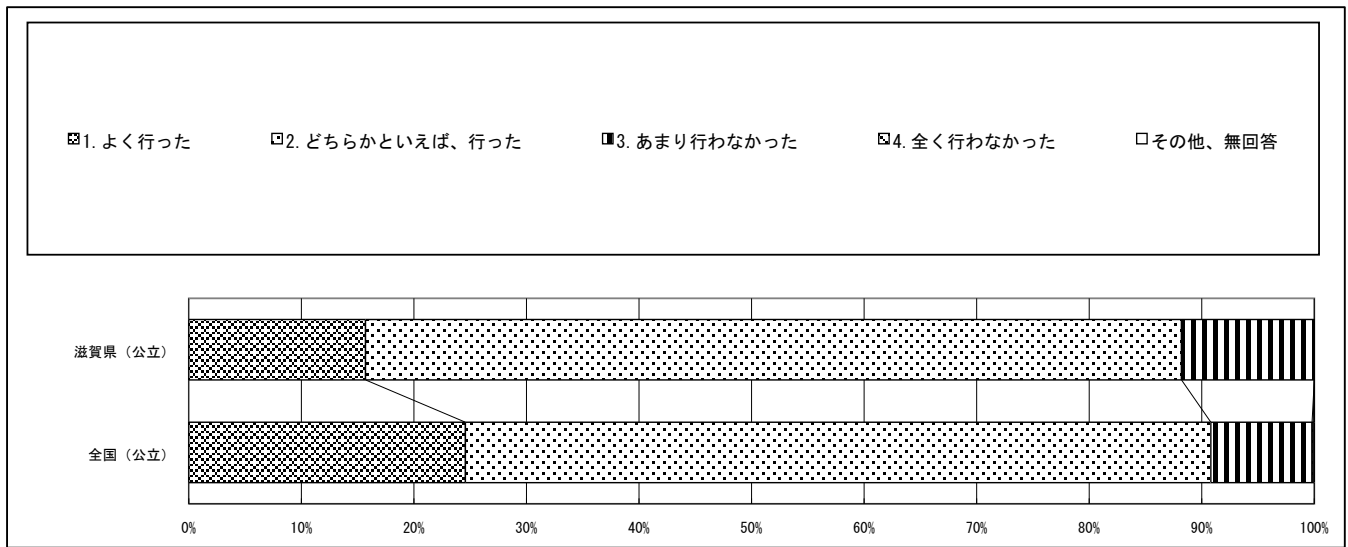


質問番号	質問事項										
(30)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	38.2	53.9	7.8	0.0							0.0
全国 (公立)	43.5	52.5	3.9	0.1							0.1

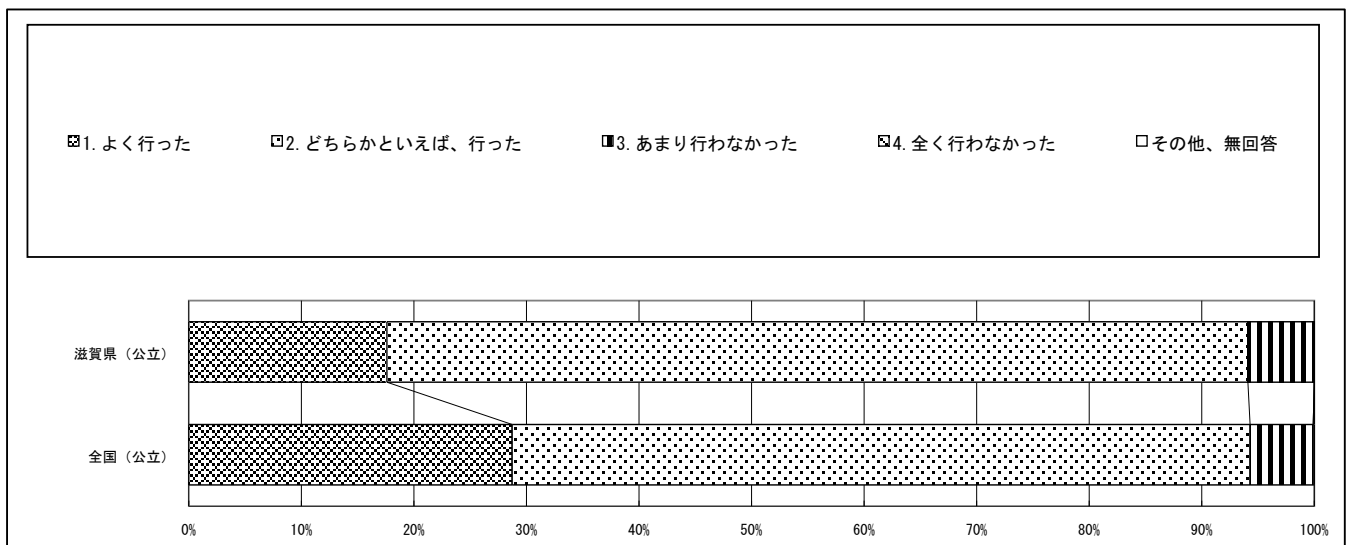


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(31)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	15.7	72.5	11.8	0.0							0.0
全国 (公立)	24.6	66.3	9.0	0.1							0.1

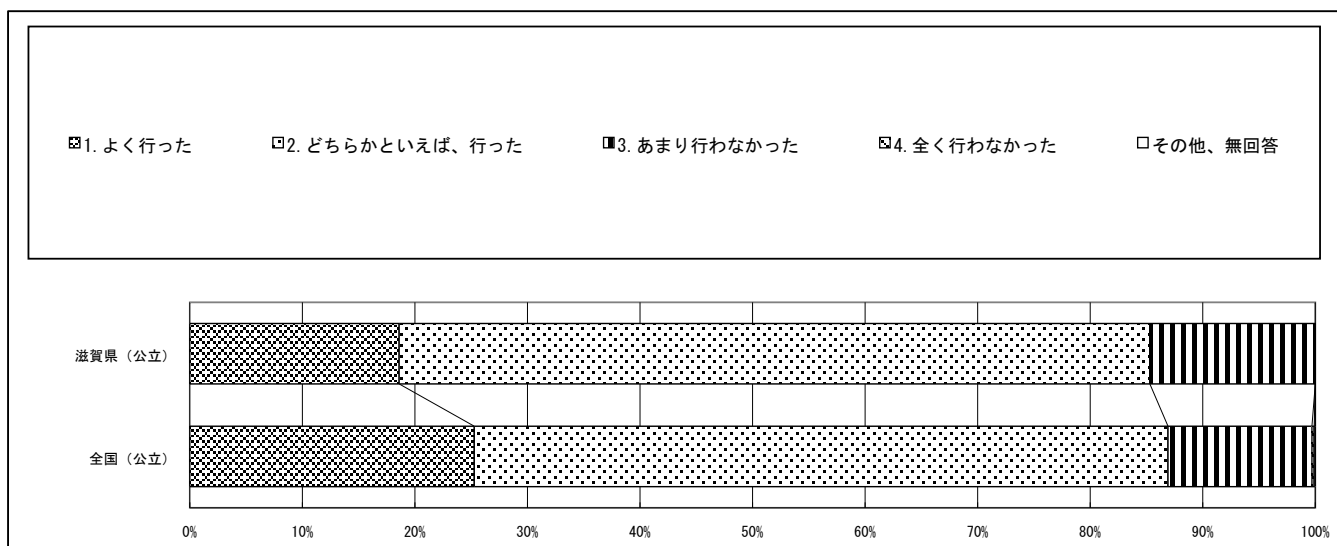


質問番号	質問事項										
(32)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	17.6	76.5	5.9	0.0							0.0
全国 (公立)	28.7	65.5	5.6	0.0							0.1

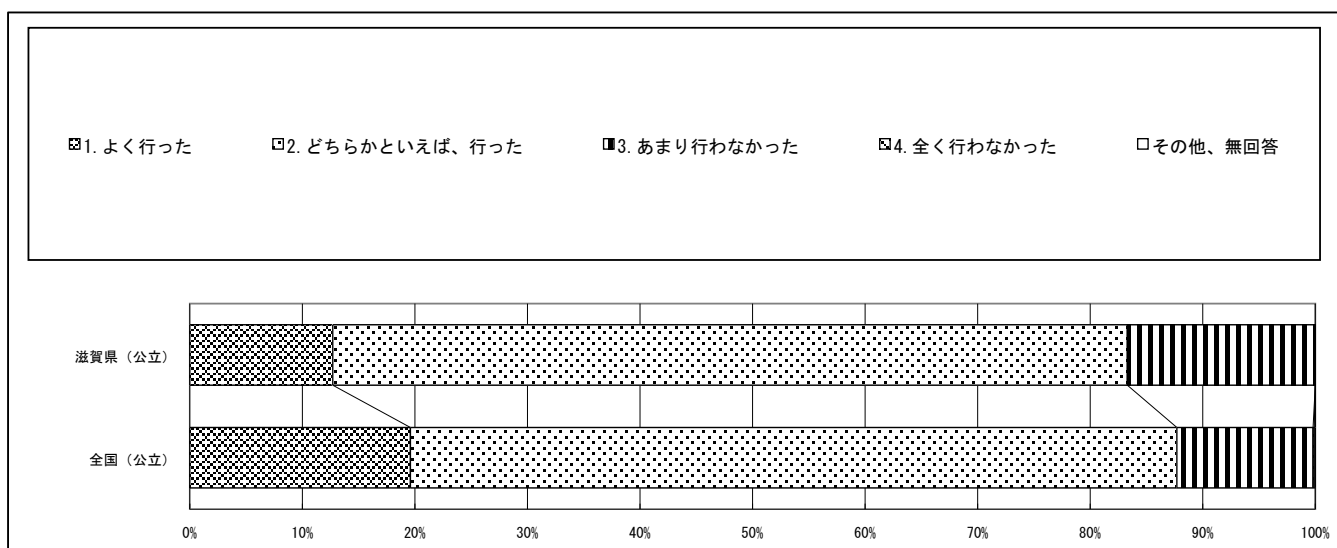


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(33)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	18.6	66.7	14.7	0.0							0.0
全国(公立)	25.3	61.7	12.8	0.2							0.1

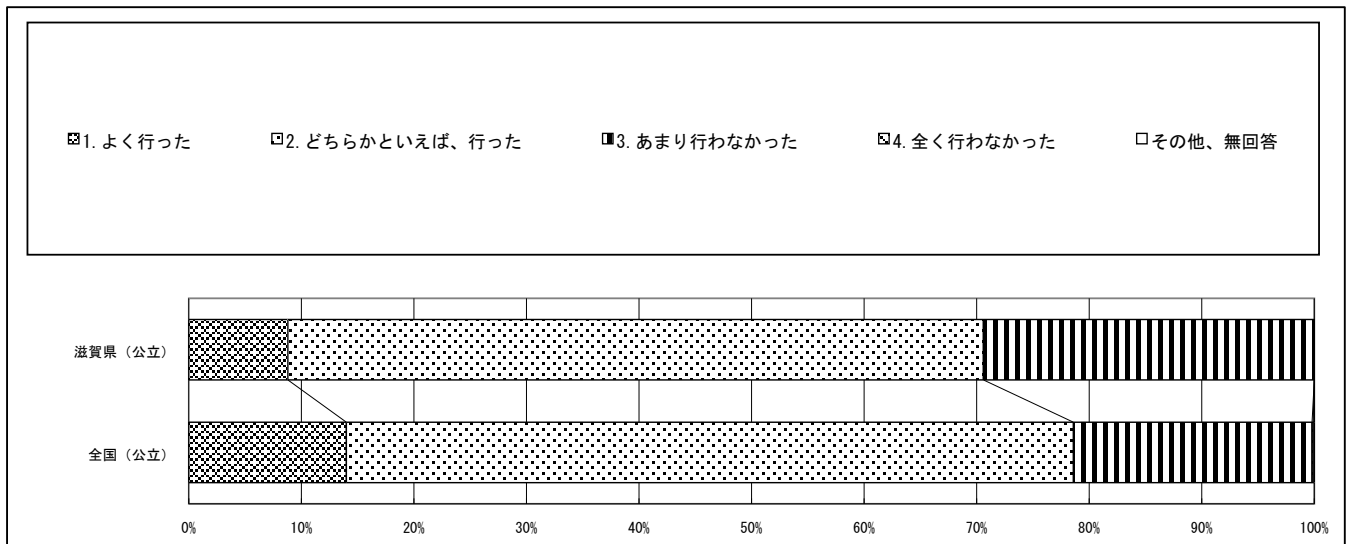


質問番号	質問事項										
(34)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	12.7	70.6	16.7	0.0							0.0
全国(公立)	19.6	68.1	12.1	0.1							0.1

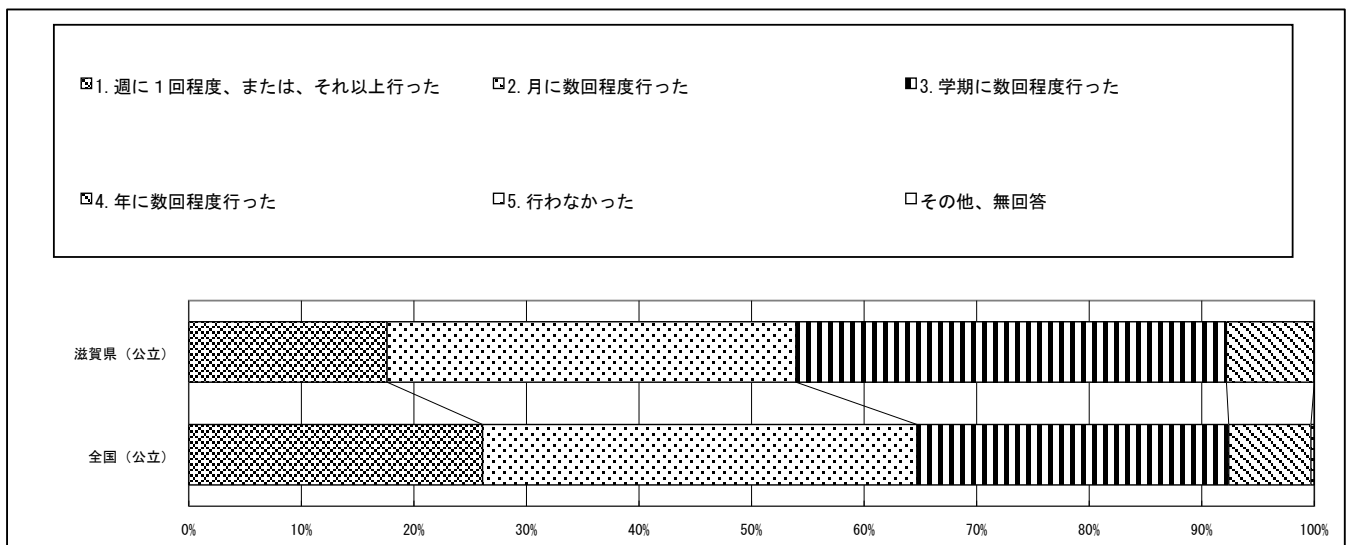


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(35)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	8.8	61.8	29.4	0.0							0.0
全国（公立）	14.0	64.6	21.2	0.1							0.1

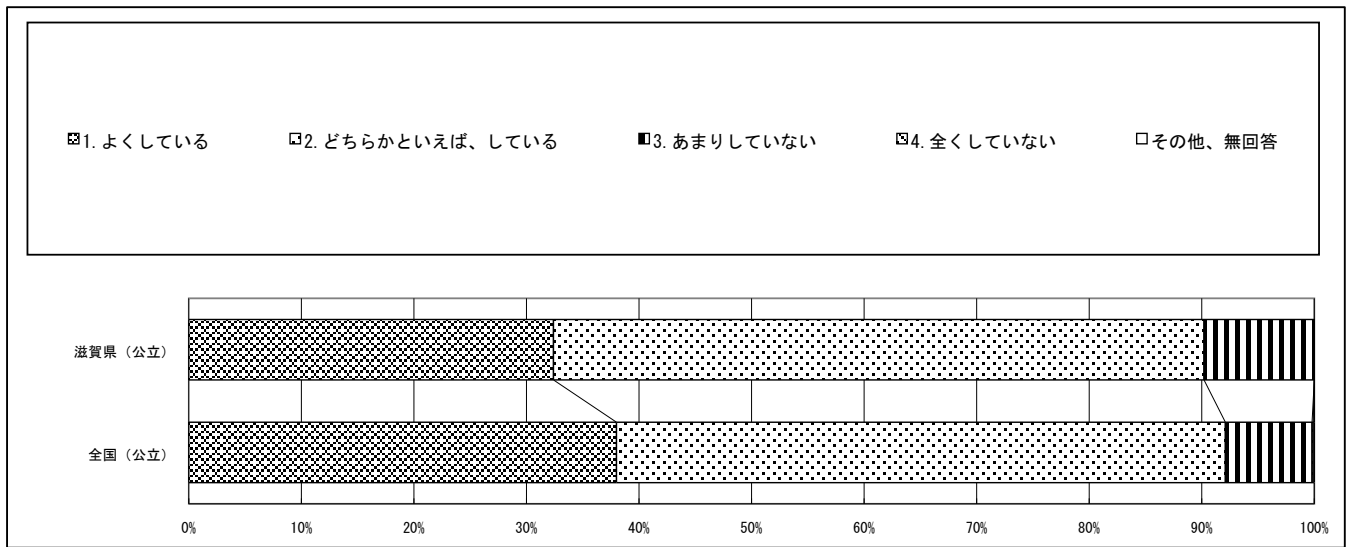


質問番号	質問事項										
(36)	調査対象学年の生徒に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	17.6	36.3	38.2	7.8	0.0						0.0
全国（公立）	26.1	38.6	27.7	7.3	0.3						0.0

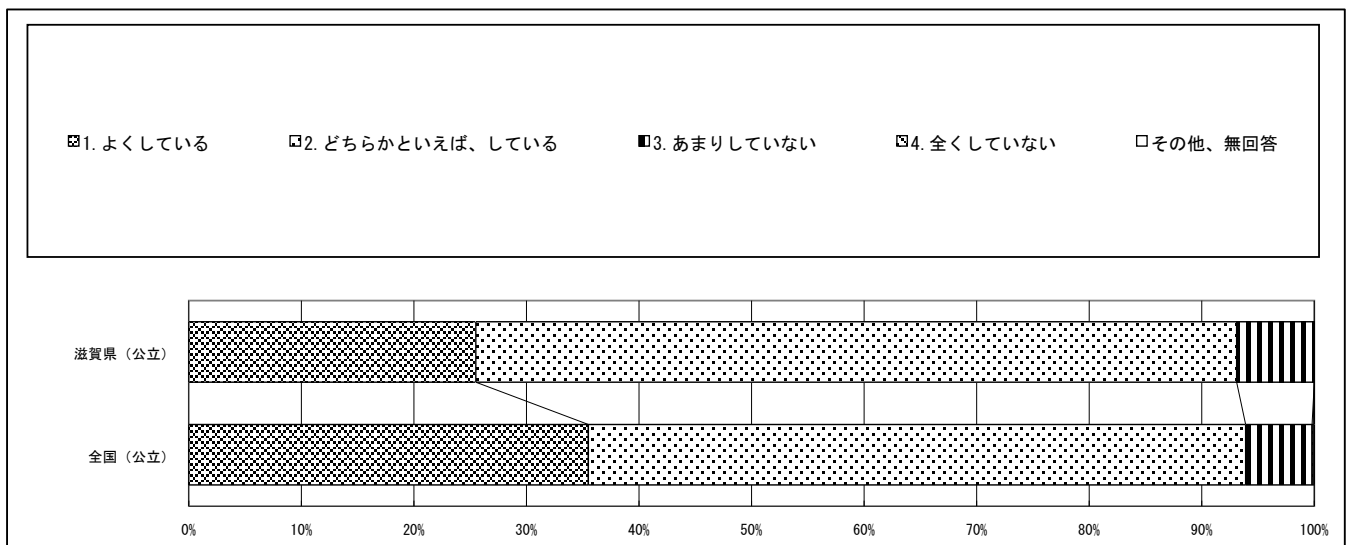


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(37)	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	32.4	57.8	9.8	0.0							0.0
全国(公立)	38.0	54.1	7.7	0.1							0.1

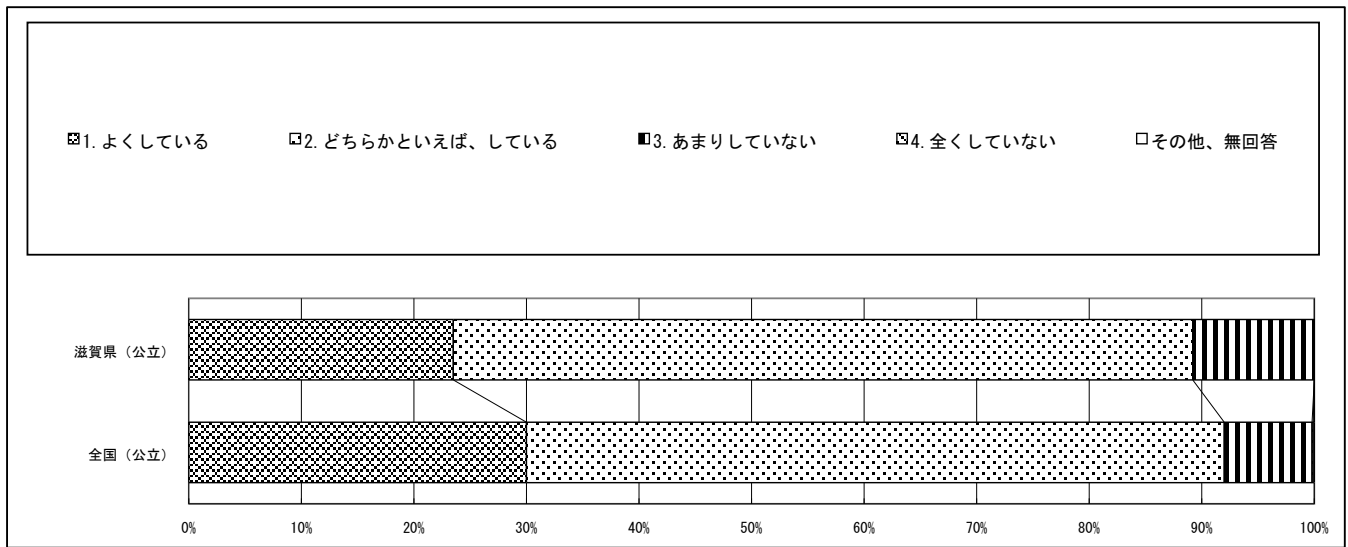


質問番号	質問事項										
(38)	調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	25.5	67.6	6.9	0.0							0.0
全国(公立)	35.5	58.4	5.9	0.1							0.1

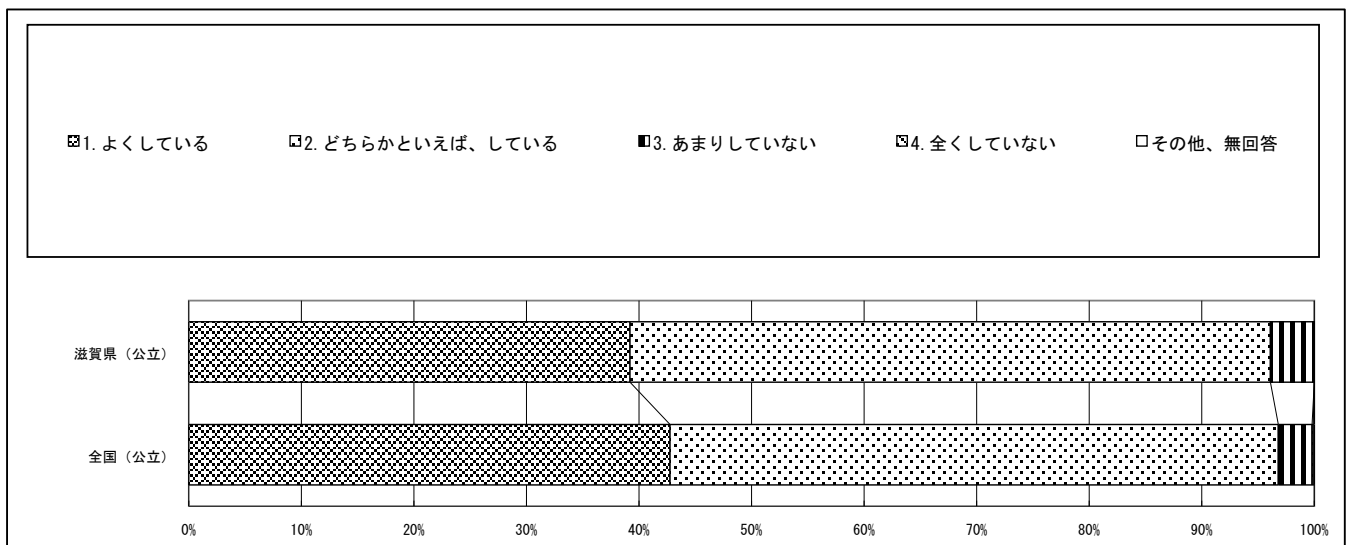


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(39)	調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	23.5	65.7	10.8	0.0							0.0
全国(公立)	30.0	62.0	7.8	0.1							0.1

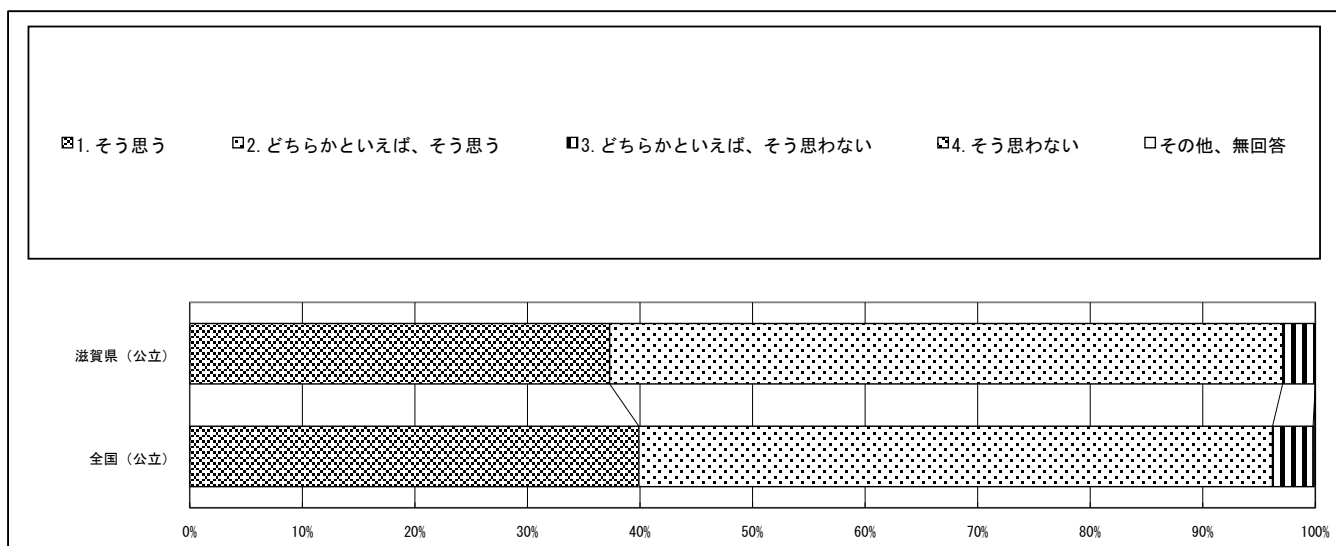


質問番号	質問事項										
(40)	調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	39.2	56.9	3.9	0.0							0.0
全国(公立)	42.8	54.1	3.0	0.1							0.1

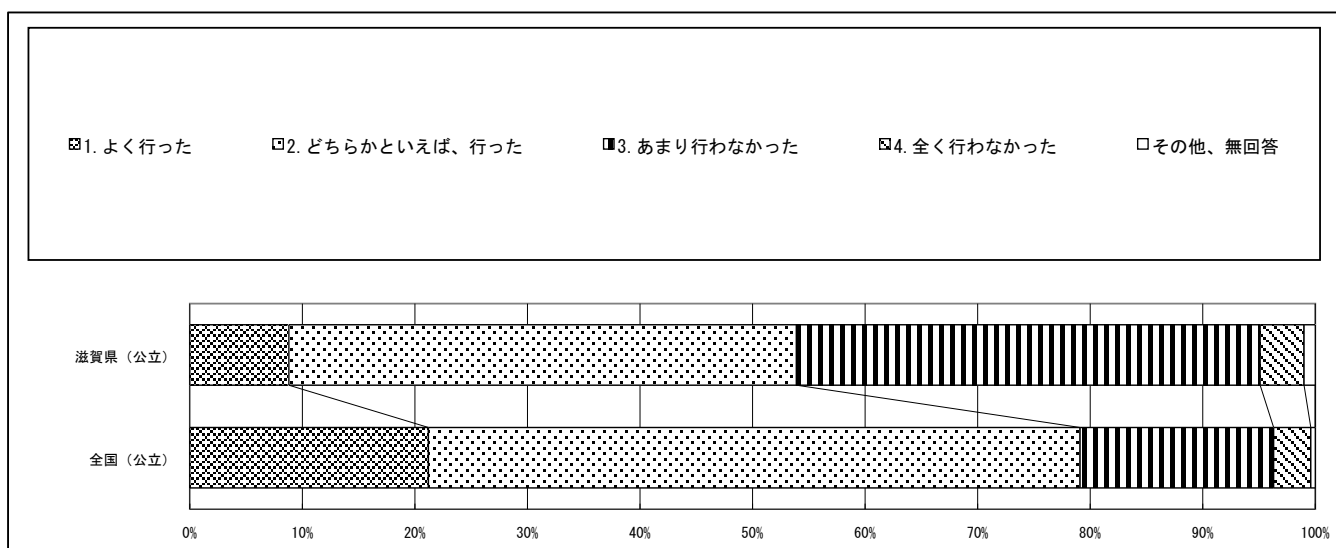


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(41)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	37.3	59.8	2.9	0.0							0.0
全国(公立)	39.9	56.3	3.6	0.1							0.1

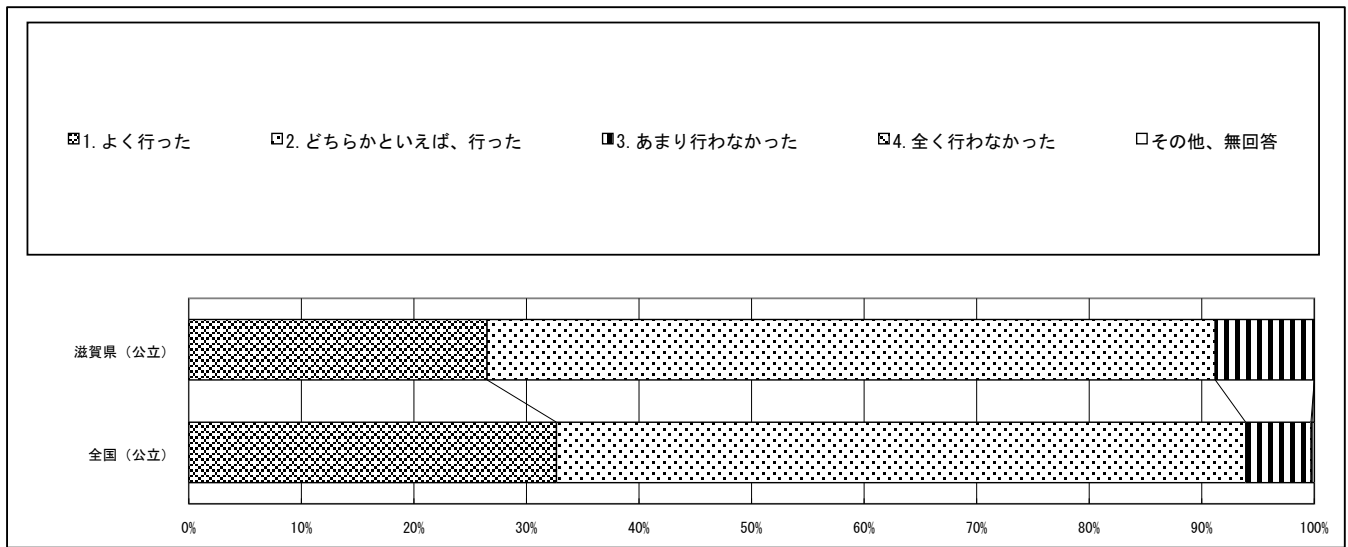


質問番号	質問事項										
(42)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書くことができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	8.8	45.1	41.2	3.9							1.0
全国(公立)	21.2	57.9	17.2	3.3							0.4

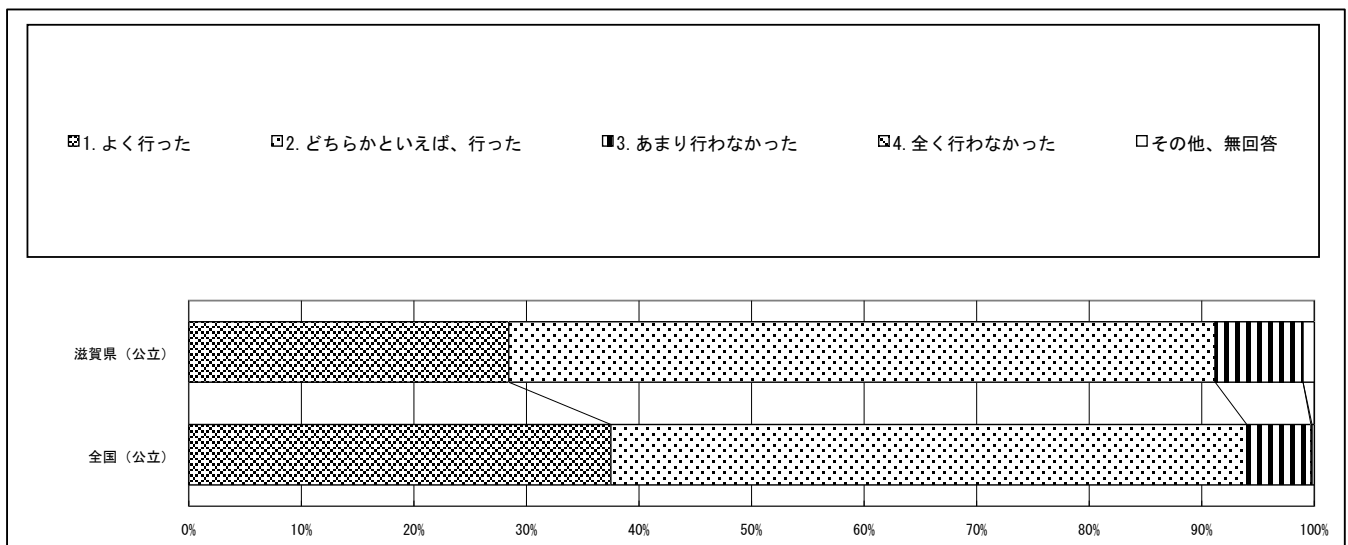


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(43)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	26.5	64.7	8.8	0.0							0.0
全国 (公立)	32.7	61.3	5.8	0.1							0.2

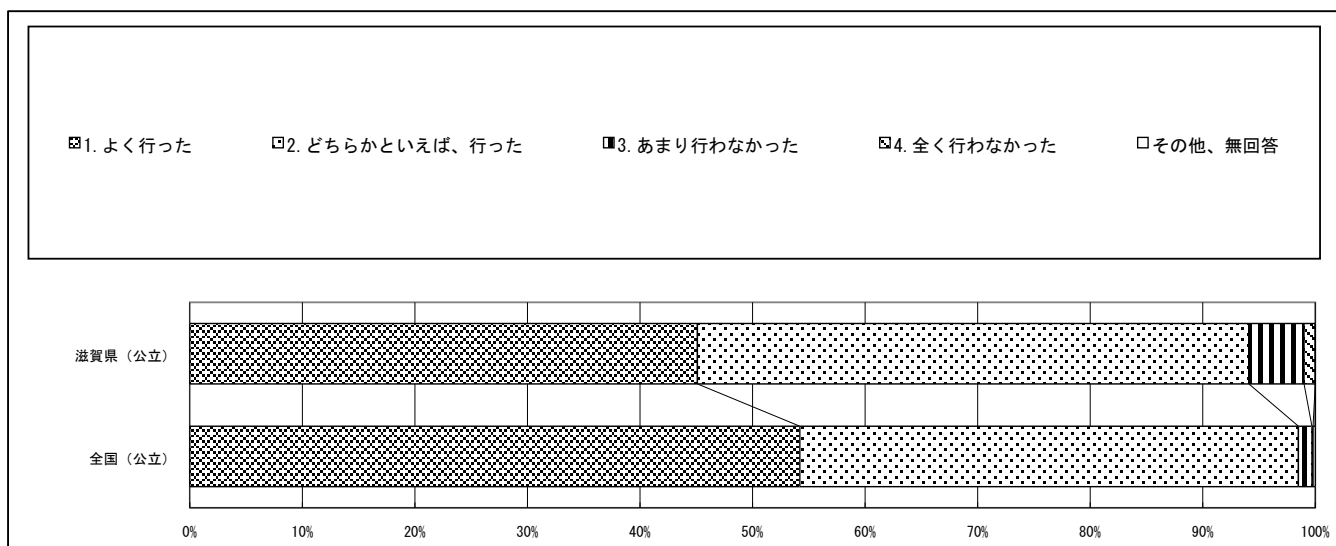


質問番号	質問事項										
(44)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	28.4	62.7	7.8	0.0							1.0
全国 (公立)	37.5	56.5	5.7	0.1							0.2

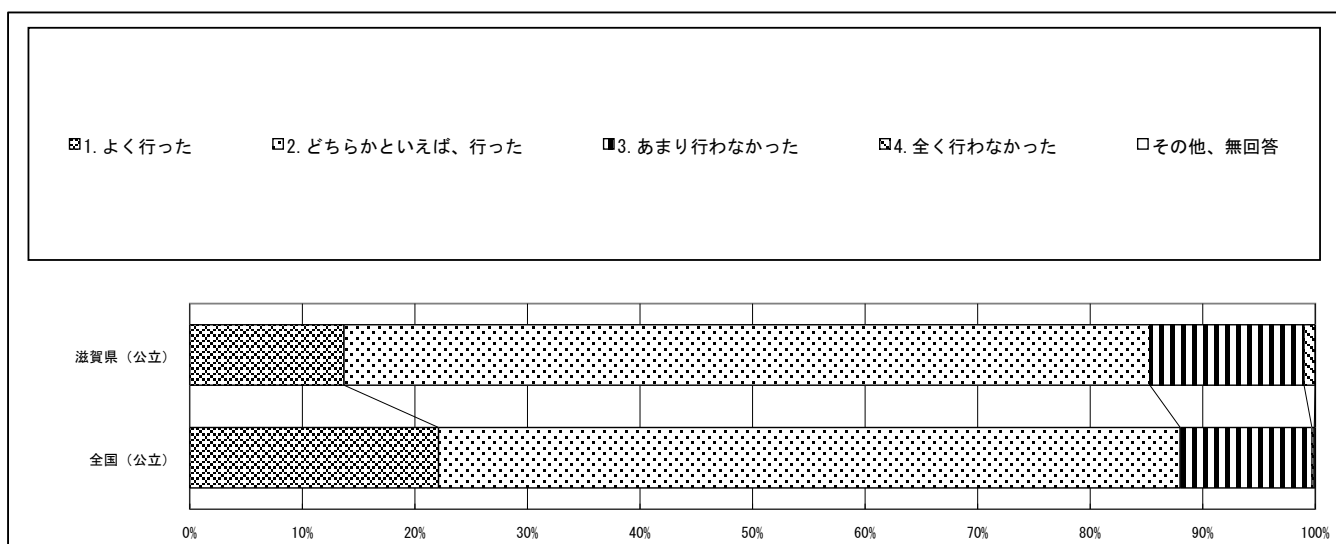


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(45)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	45.1	49.0	4.9	1.0							0.0
全国(公立)	54.2	44.3	1.2	0.1							0.2

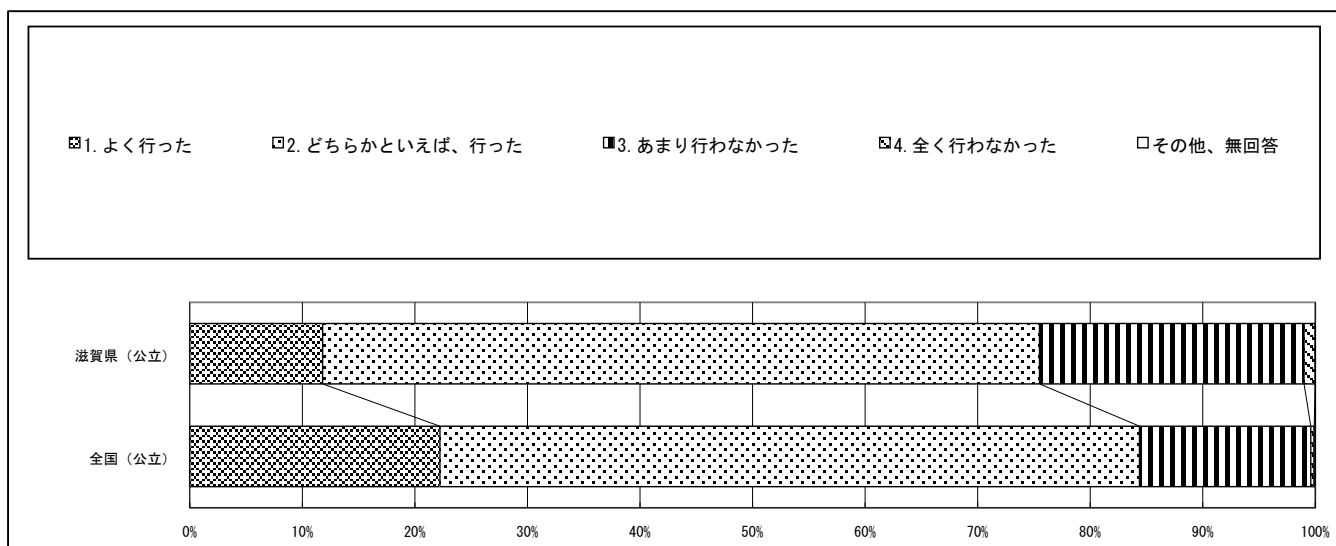


質問番号	質問事項										
(46)	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	13.7	71.6	13.7	1.0							0.0
全国(公立)	22.1	65.9	11.7	0.2							0.1

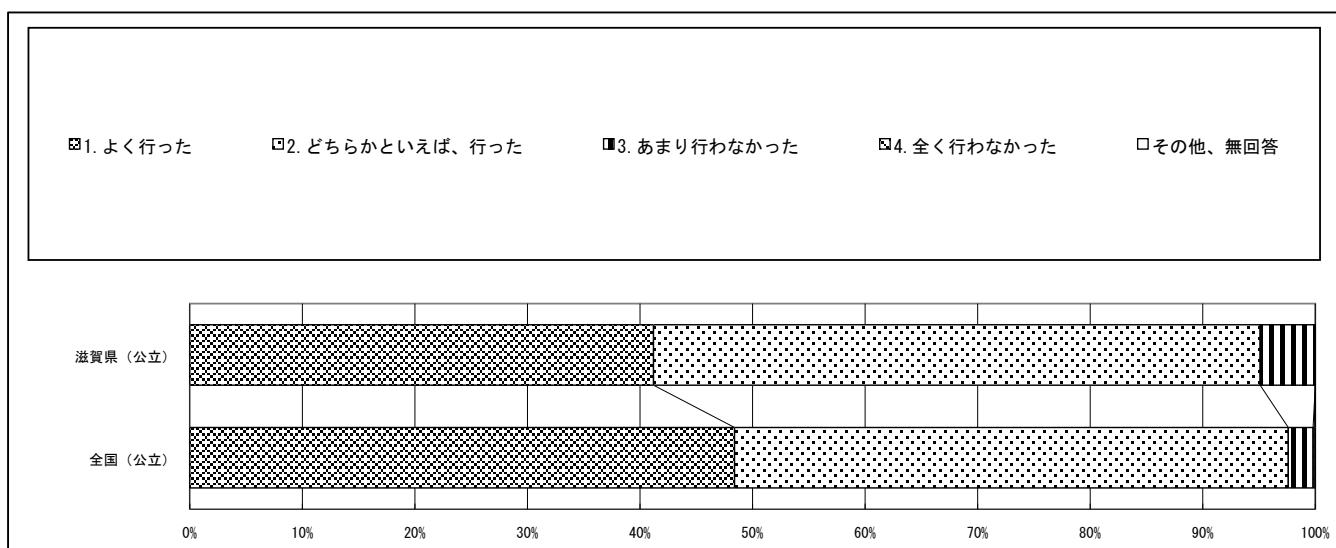


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(47)	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	11.8	63.7	23.5	1.0							0.0
全国(公立)	22.2	62.1	15.2	0.3							0.1

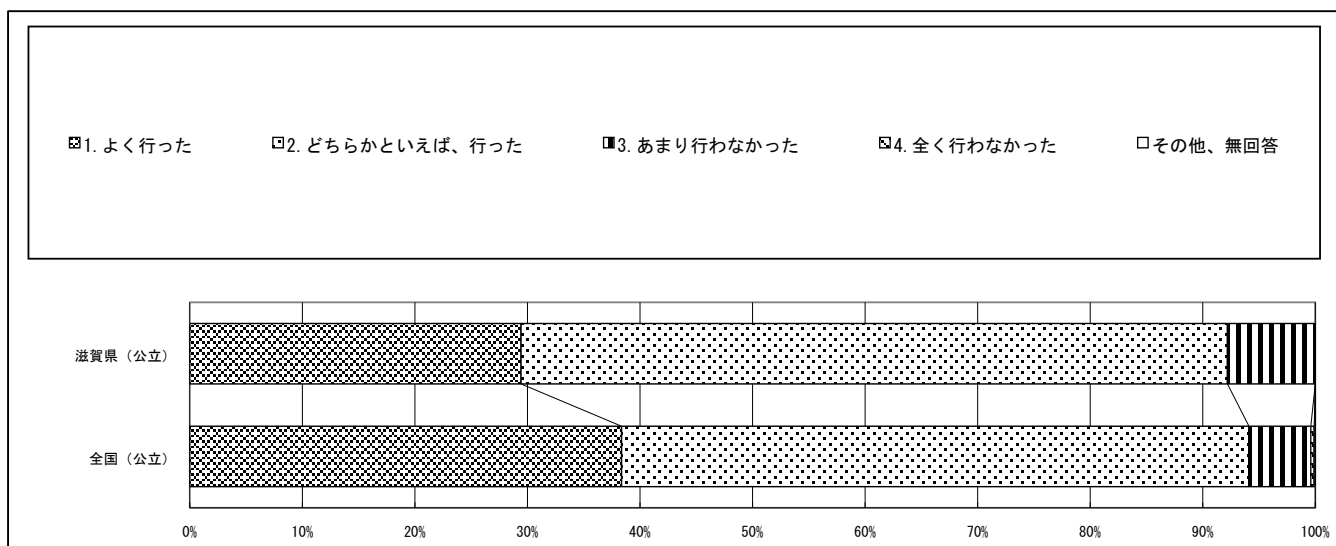


質問番号	質問事項										
(48)	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	41.2	53.9	4.9	0.0							0.0
全国(公立)	48.4	49.2	2.2	0.1							0.1

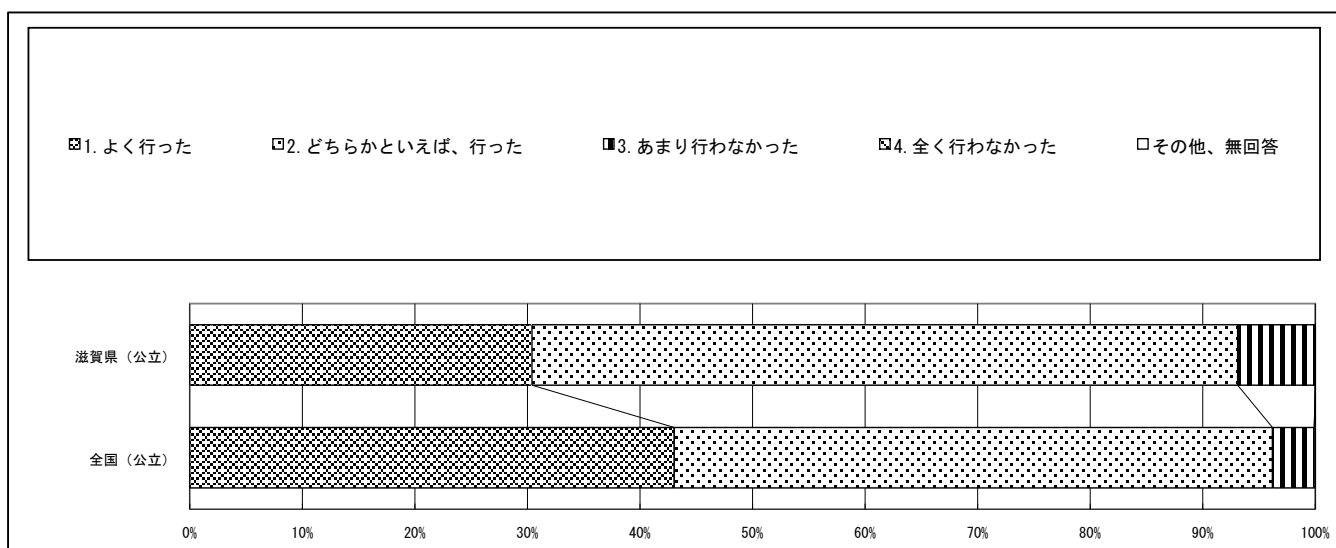


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(49)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	29.4	62.7	7.8	0.0							0.0
全国(公立)	38.4	55.8	5.5	0.3							0.1



質問番号	質問事項										
(50)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	30.4	62.7	6.9	0.0							0.0
全国(公立)	43.0	53.1	3.7	0.0							0.1

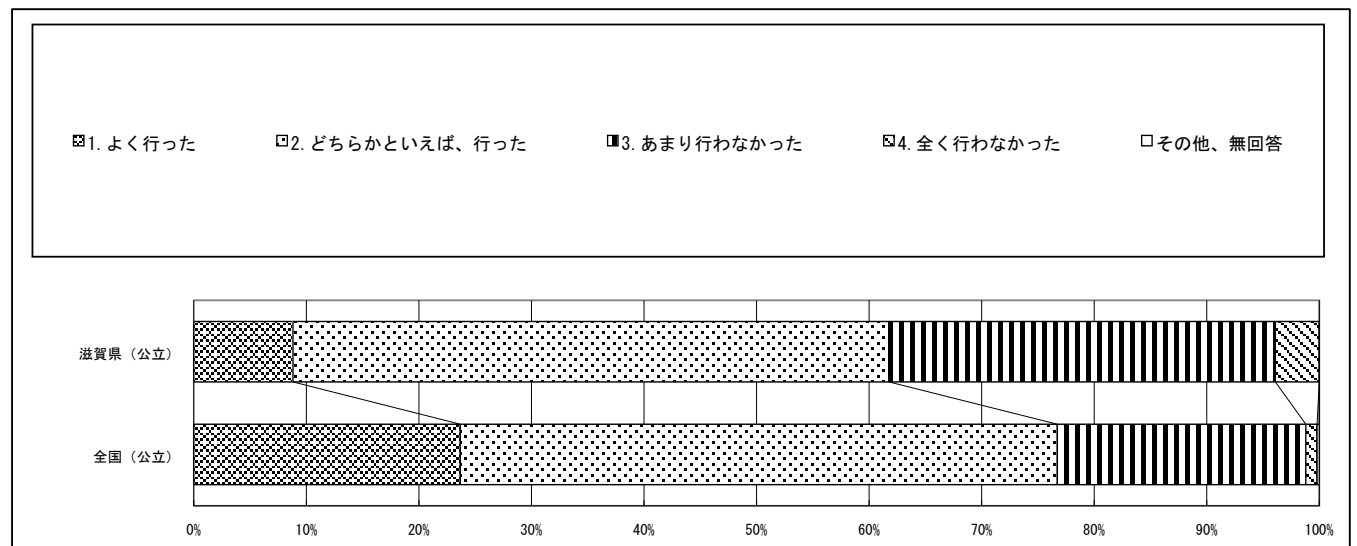


回答結果集計 [学校質問紙]

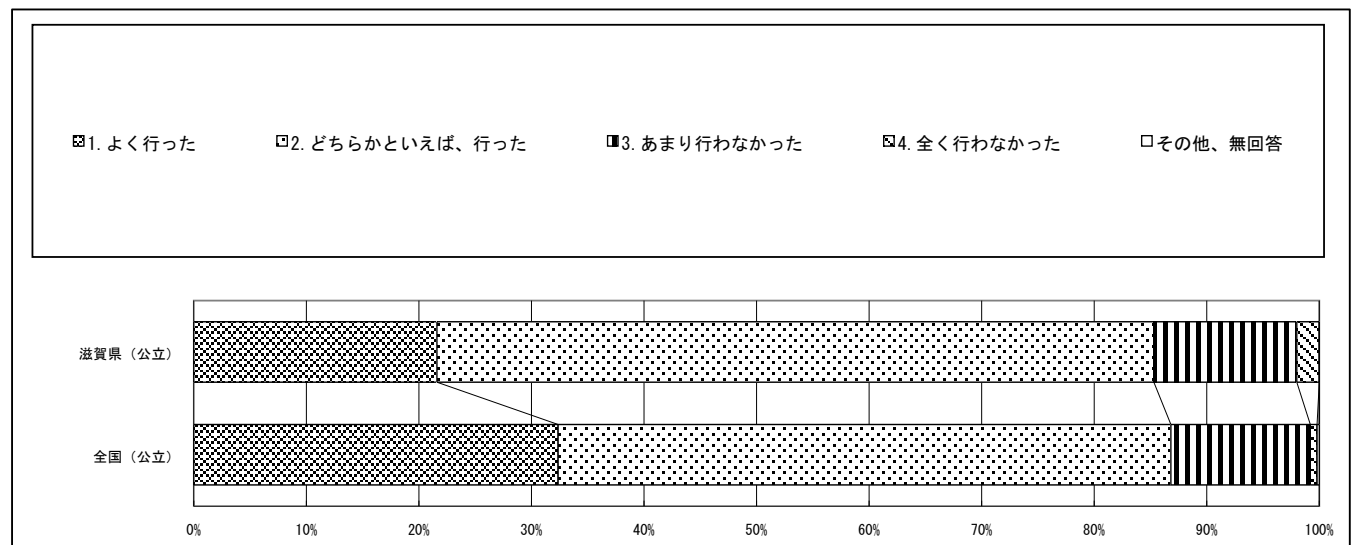
滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(51)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	8.8	52.9	34.3	3.9							0.0
全国（公立）	23.7	53.1	22.1	1.0							0.2



質問番号	質問事項										
(52)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	21.6	63.7	12.7	2.0							0.0
全国（公立）	32.4	54.5	12.4	0.6							0.2

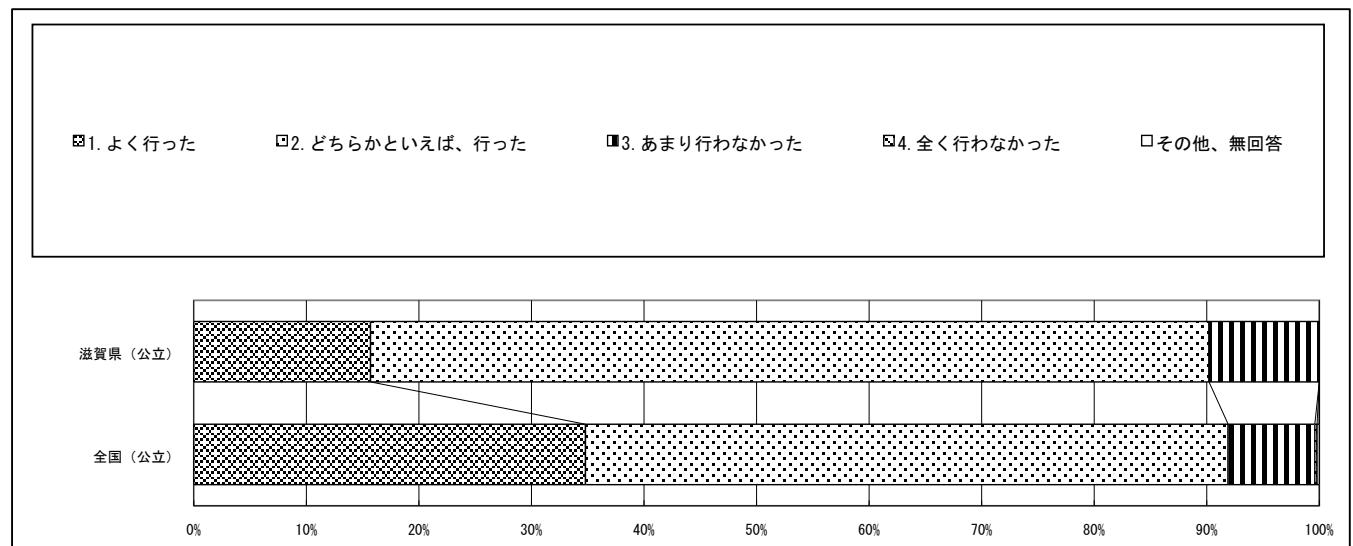


回答結果集計 [学校質問紙]

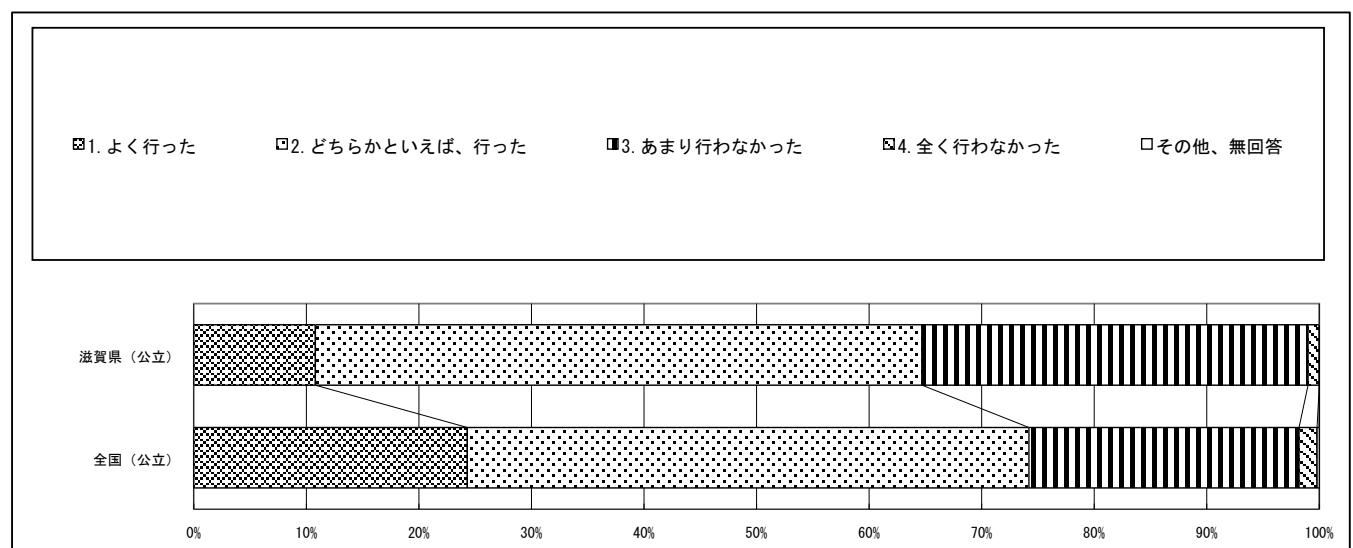
滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(53)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	15.7	74.5	9.8	0.0							0.0
全国（公立）	34.8	57.1	7.7	0.2							0.2

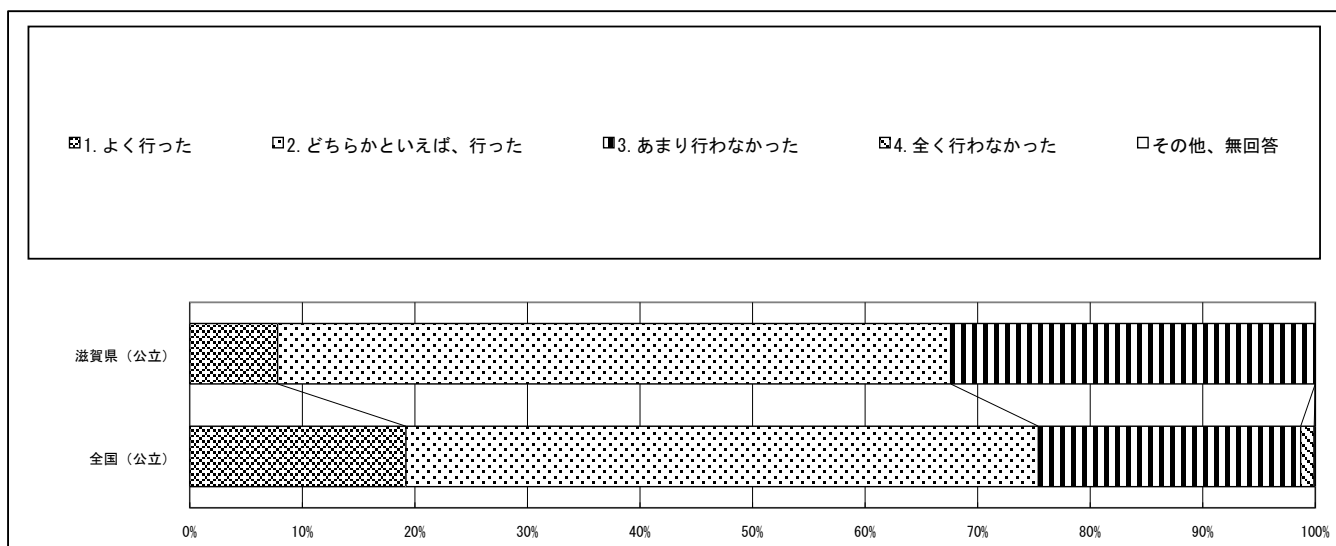


質問番号	質問事項										
(54)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	10.8	53.9	34.3	1.0							0.0
全国（公立）	24.3	49.9	24.0	1.6							0.2

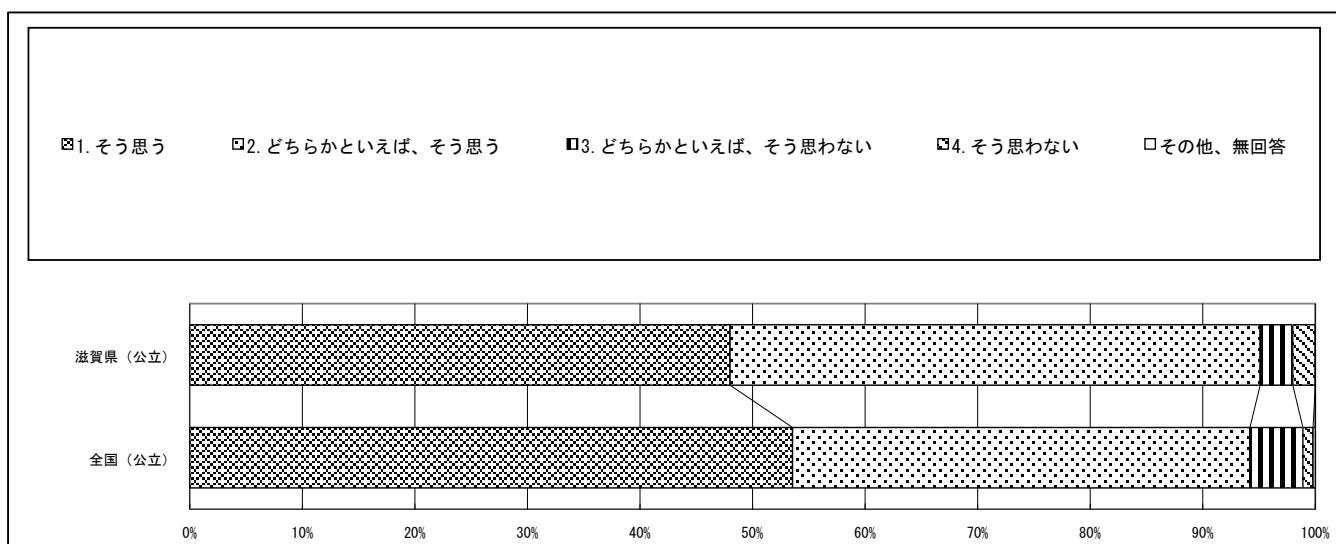


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(55)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	7.8	59.8	32.4	0.0							0.0
全国(公立)	19.2	56.2	23.3	1.2							0.1

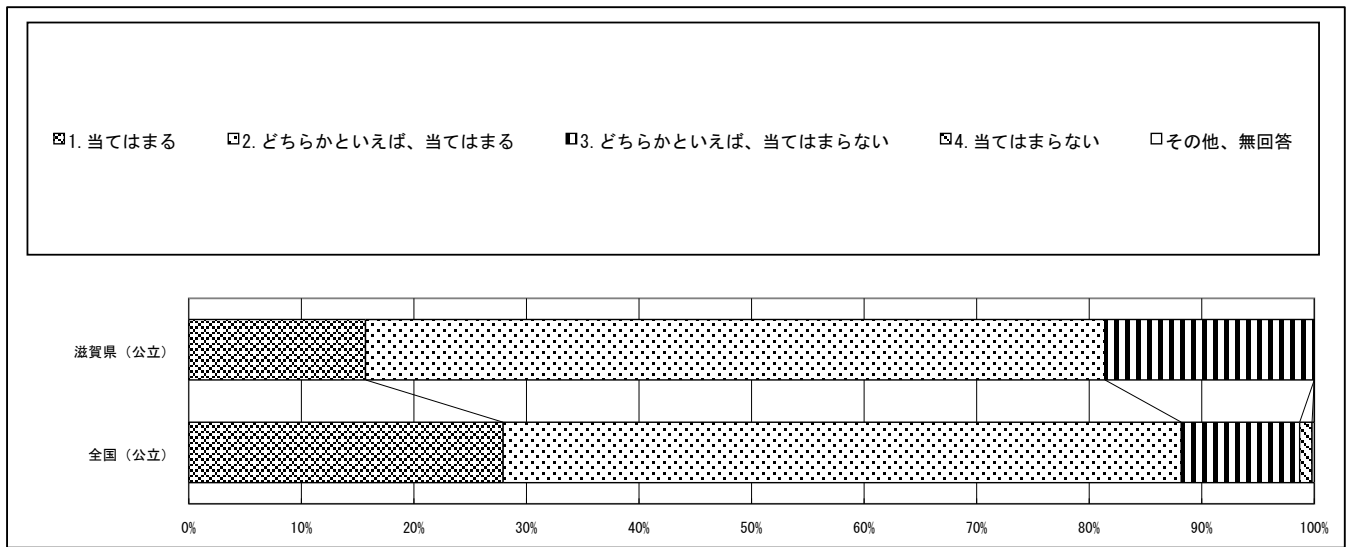


質問番号	質問事項										
(56)	英語担当教員とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	48.0	47.1	2.9	2.0							0.0
全国(公立)	53.5	40.6	4.7	0.9							0.2

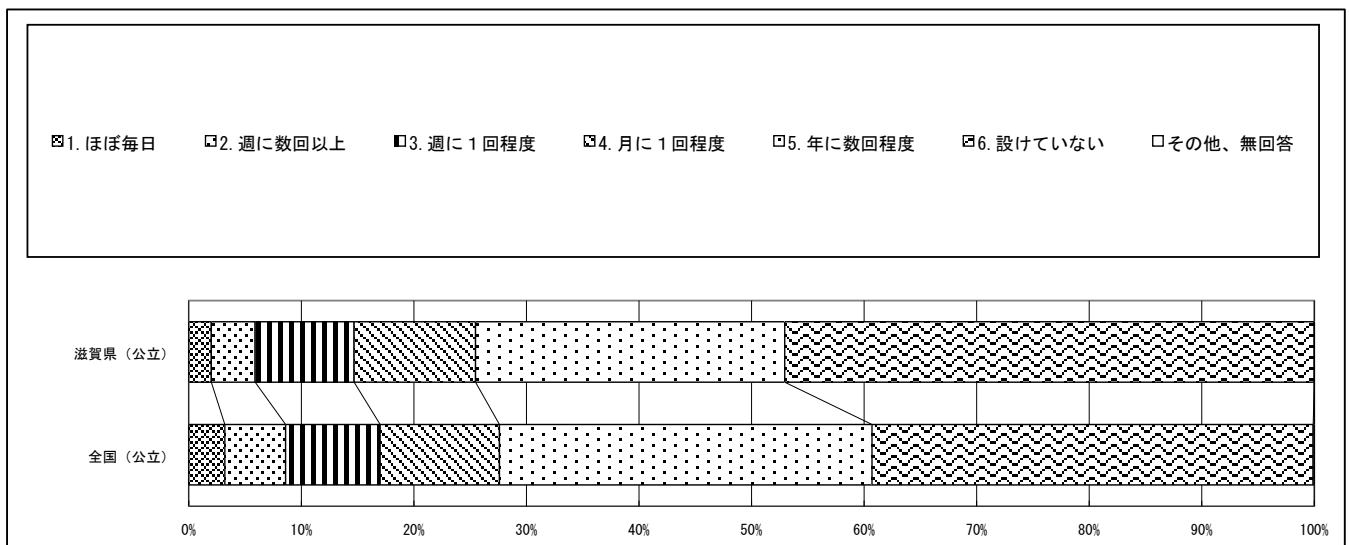


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(57)	全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	15.7	65.7	18.6	0.0							0.0
全国(公立)	27.9	60.2	10.5	1.1							0.2

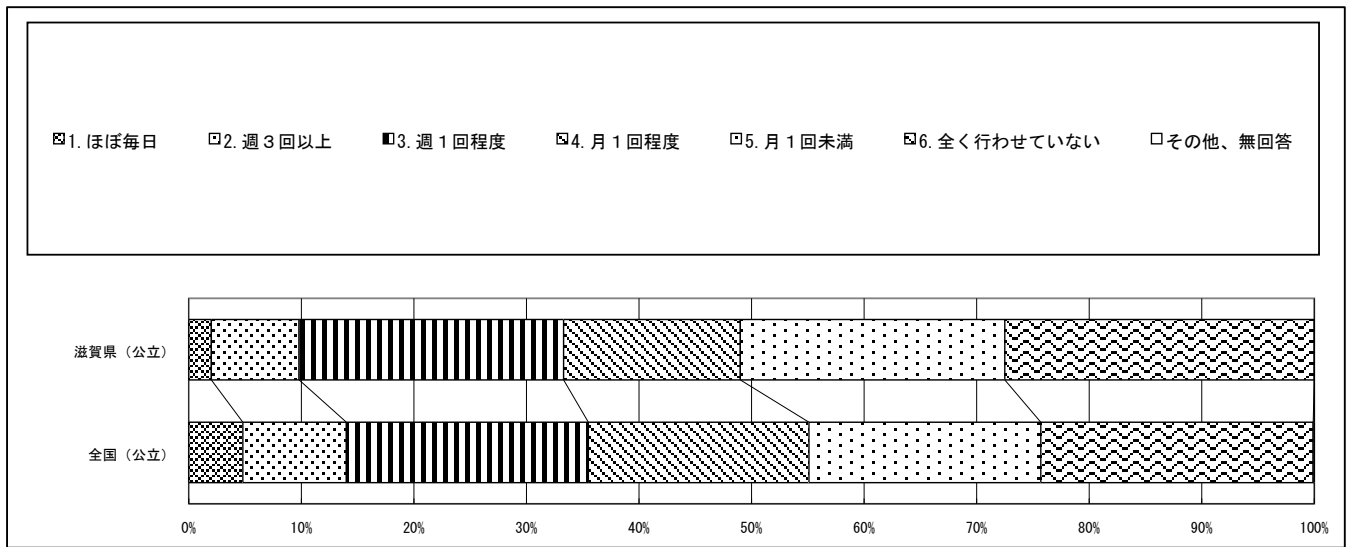


質問番号	質問事項										
(58)	英語の授業以外にも生徒が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、屋休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	2.0	3.9	8.8	10.8	27.5	47.1					0.0
全国(公立)	3.2	5.4	8.4	10.6	33.1	39.2					0.1

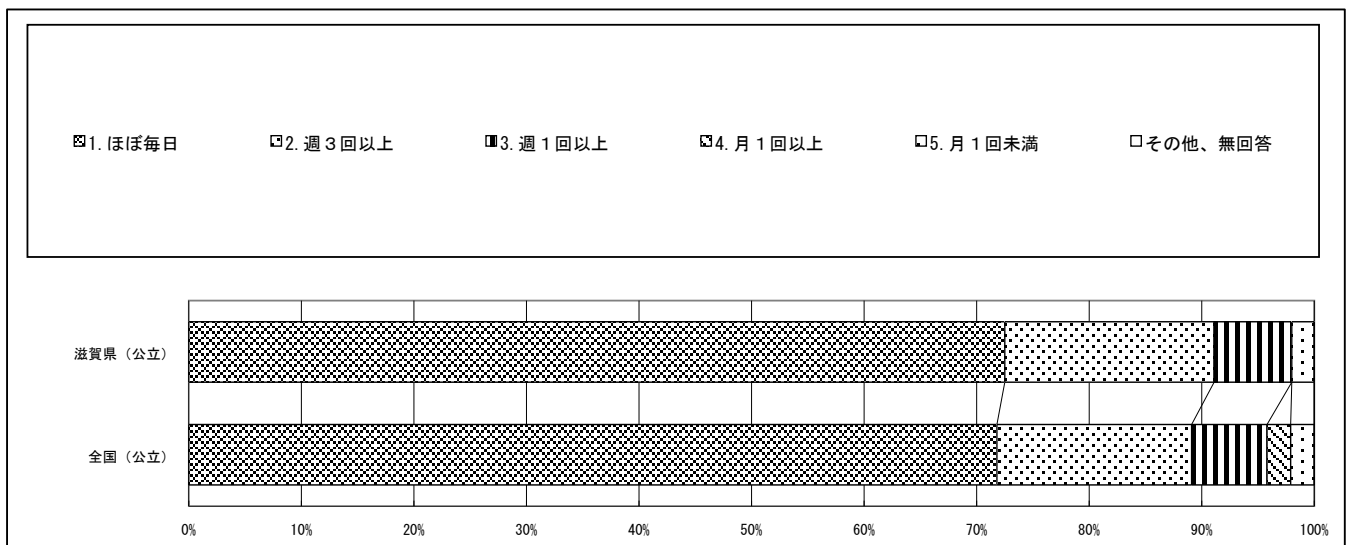


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(59)	家庭学習の課題(宿題)として、生徒にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	2.0	7.8	23.5	15.7	23.5	27.5					0.0
全国(公立)	4.8	9.2	21.5	19.6	20.6	24.2					0.1

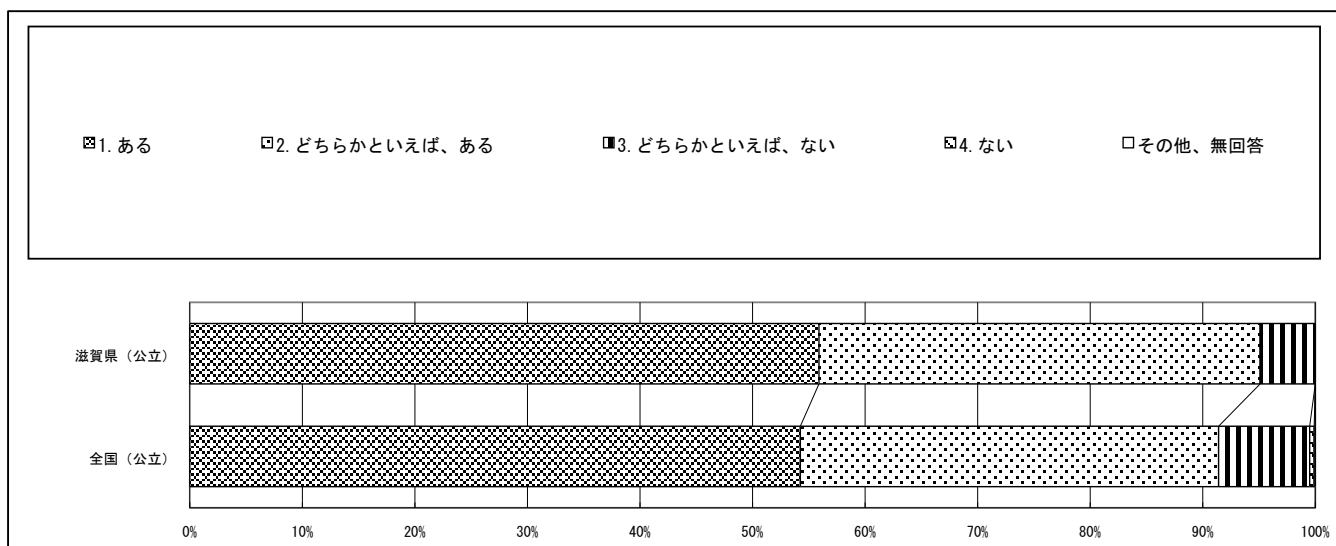


質問番号	質問事項										
(60)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	72.5	18.6	6.9	0.0	2.0						0.0
全国(公立)	71.8	17.3	6.7	2.1	2.1						0.0

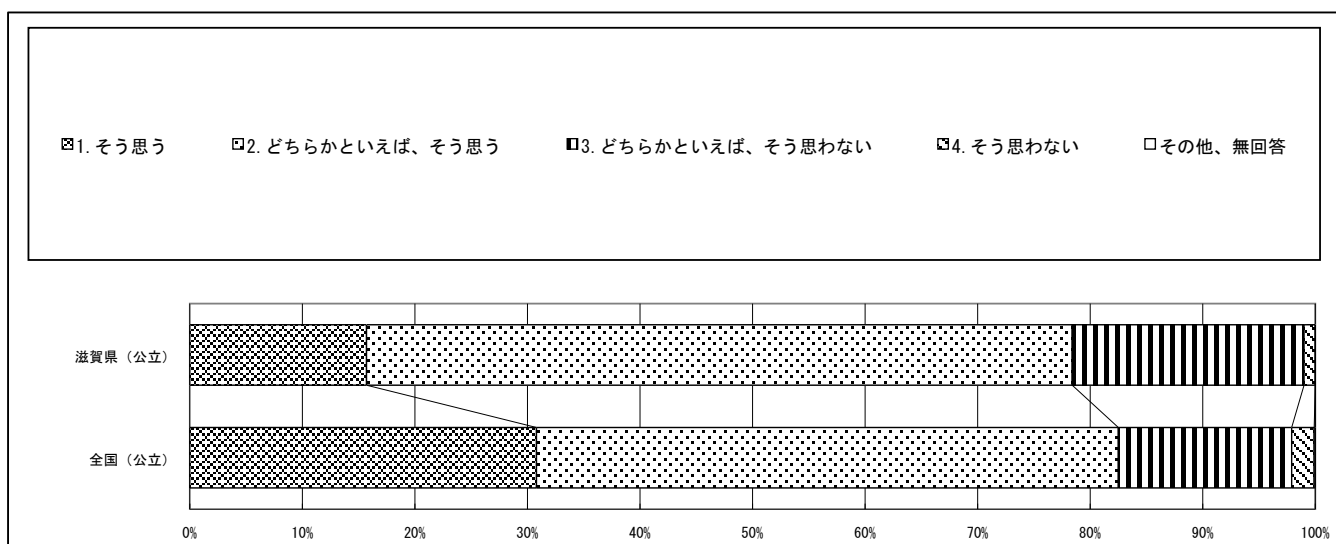


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(61)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	55.9	39.2	4.9	0.0							0.0
全国(公立)	54.3	37.2	8.1	0.4							0.1



質問番号	質問事項										
(62)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	15.7	62.7	20.6	1.0							0.0
全国(公立)	30.8	51.7	15.4	2.0							0.1

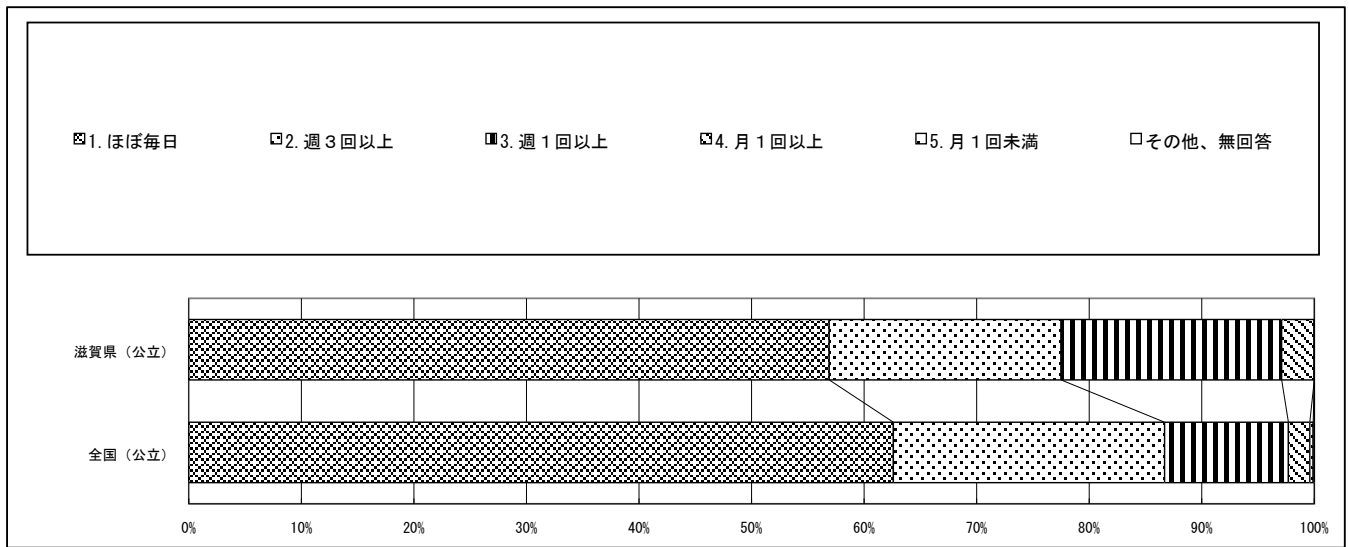


回答結果集計 [学校質問紙]

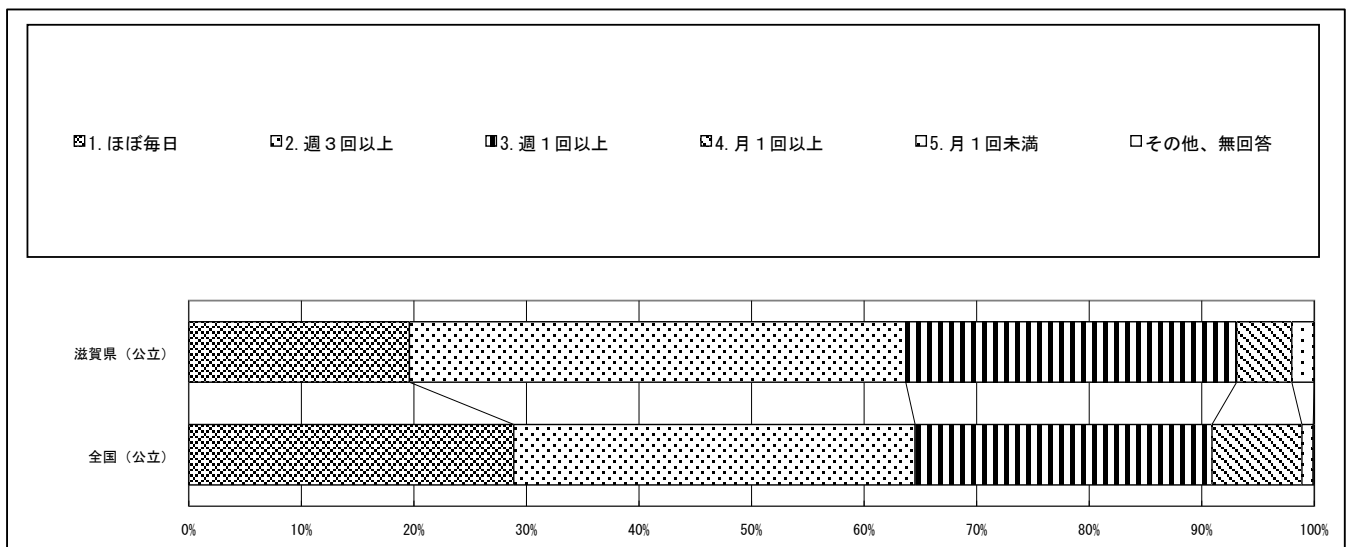
滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(63)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	56.9	20.6	19.6	2.9	0.0						0.0
全国（公立）	62.6	24.1	11.0	1.9	0.3						0.1



質問番号	質問事項										
(64)	調査対象学年の生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	19.6	44.1	29.4	4.9	2.0						0.0
全国（公立）	28.9	35.7	26.4	8.0	1.0						0.1

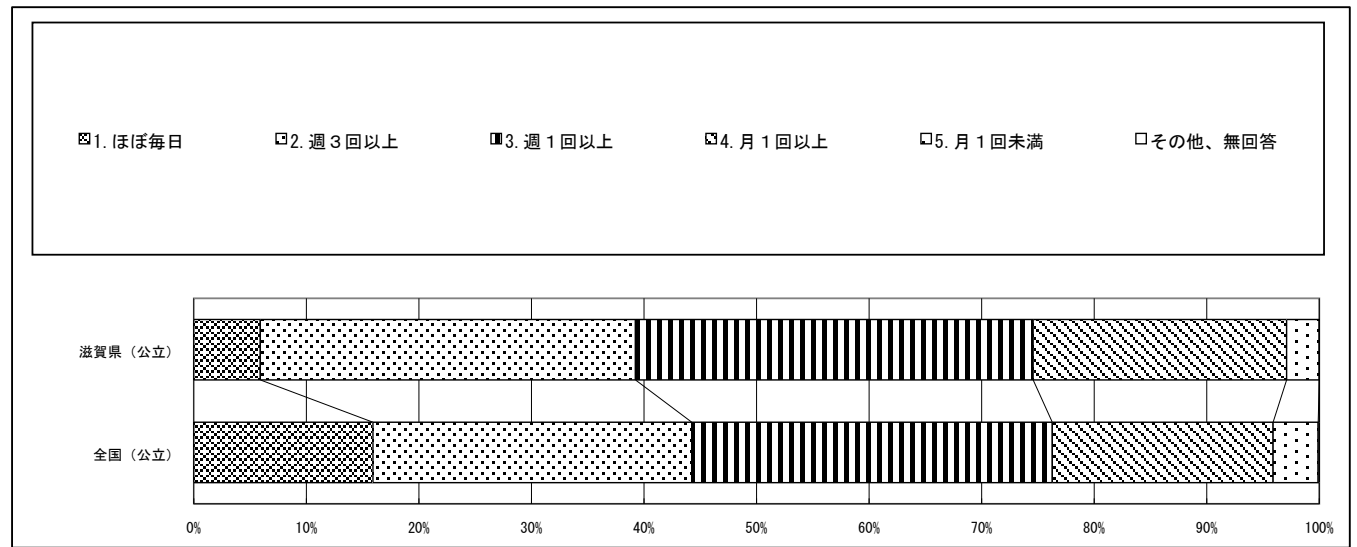


回答結果集計 [学校質問紙]

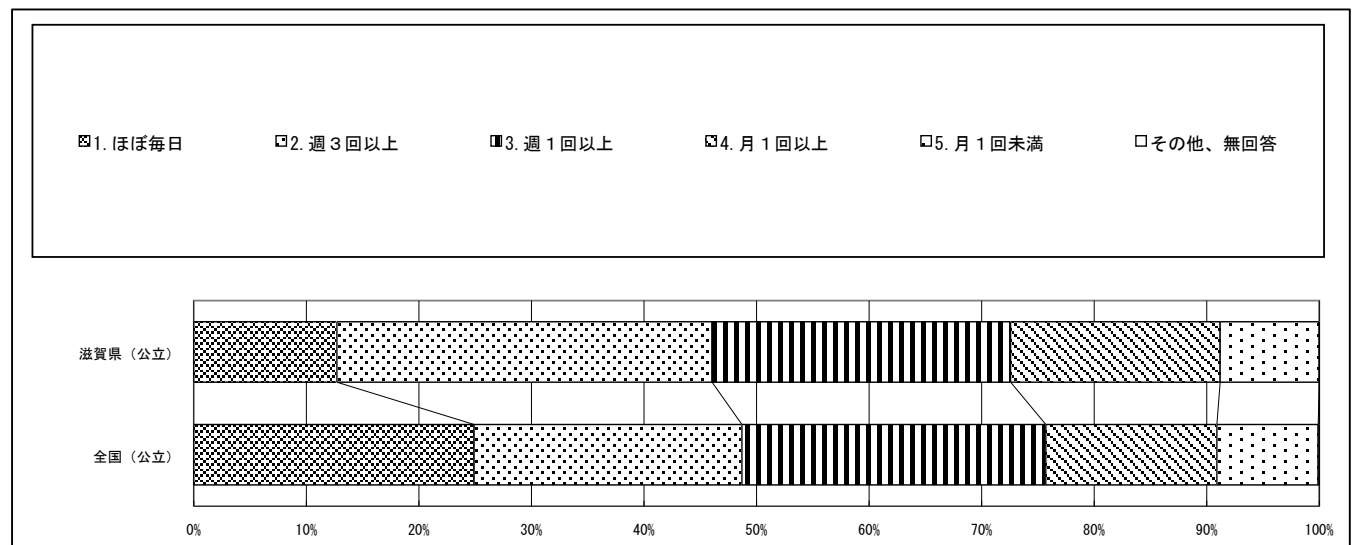
滋賀県一学校（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(65)	調査対象学年の生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	5.9	33.3	35.3	22.5	2.9						0.0
全国（公立）	15.9	28.3	32.0	19.6	4.0						0.1

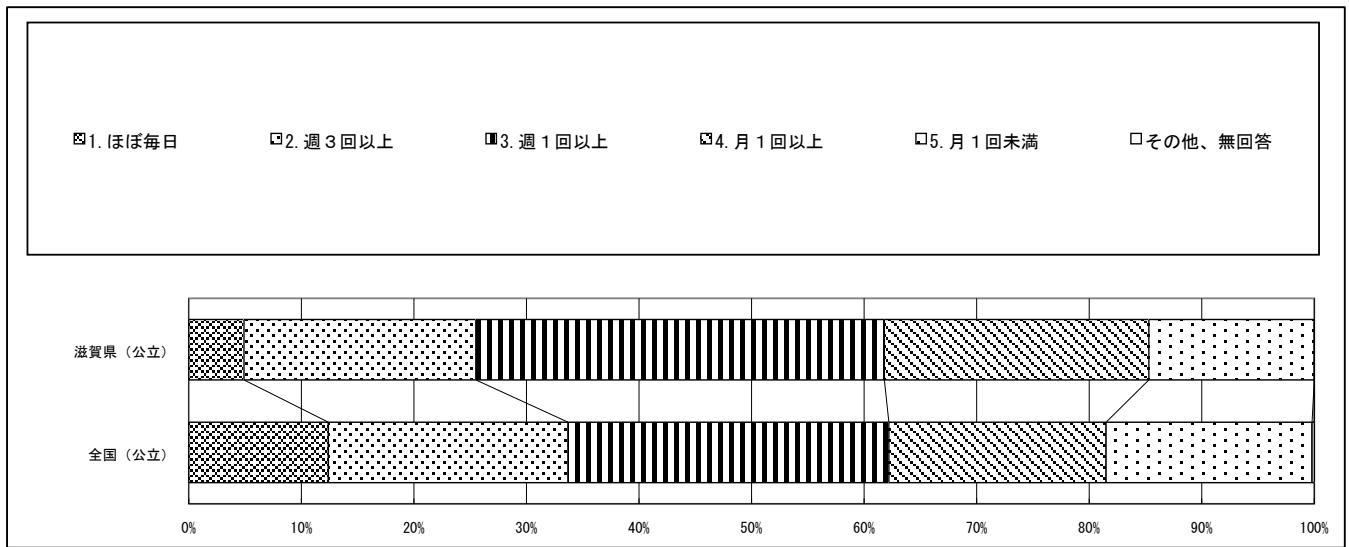


質問番号	質問事項										
(66)	教職員と調査対象学年の生徒がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	12.7	33.3	26.5	18.6	8.8						0.0
全国（公立）	24.9	23.8	27.0	15.2	9.0						0.1

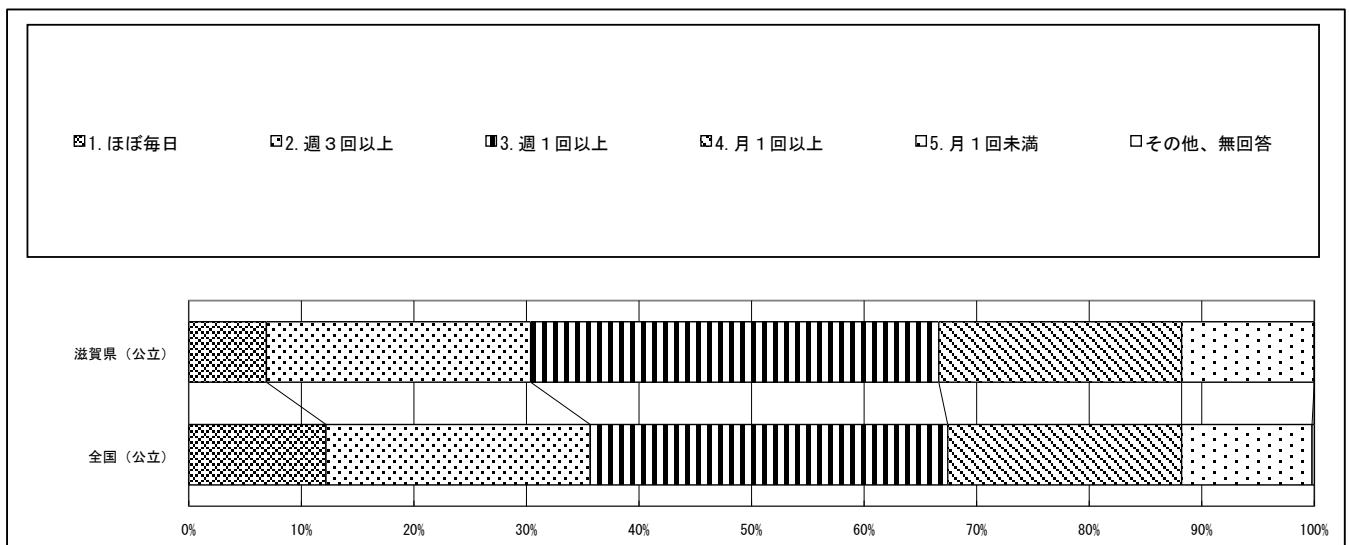


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(67)	調査対象学年の生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	4.9	20.6	36.3	23.5	14.7						0.0
全国(公立)	12.4	21.3	28.5	19.3	18.3						0.2

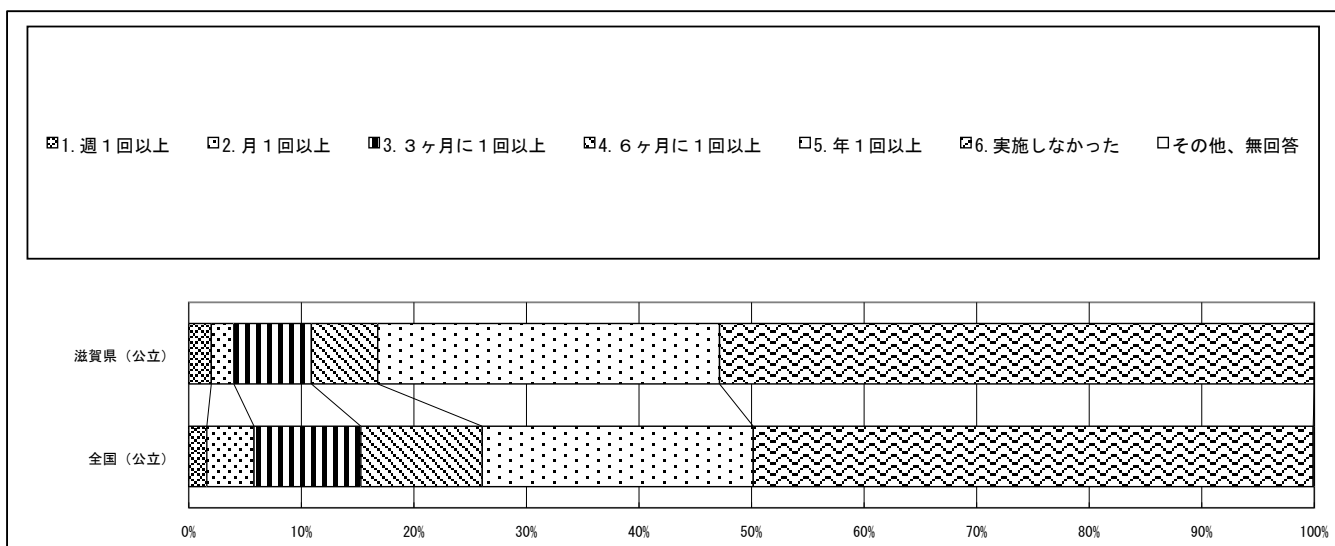


質問番号	質問事項										
(68)	調査対象学年の生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	6.9	23.5	36.3	21.6	11.8						0.0
全国(公立)	12.2	23.5	31.8	20.8	11.6						0.2

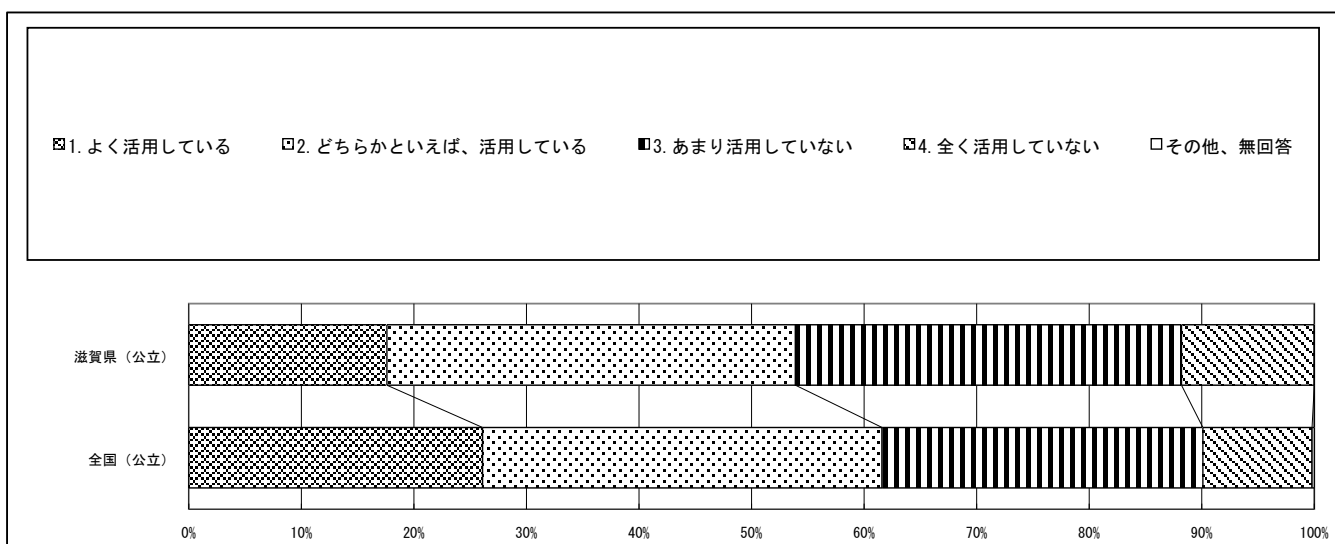


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(69)	前年度に、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、生徒が学校外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	2.0	2.0	6.9	5.9	30.4	52.9					0.0
全国（公立）	1.6	4.2	9.5	10.8	24.1	49.8					0.1

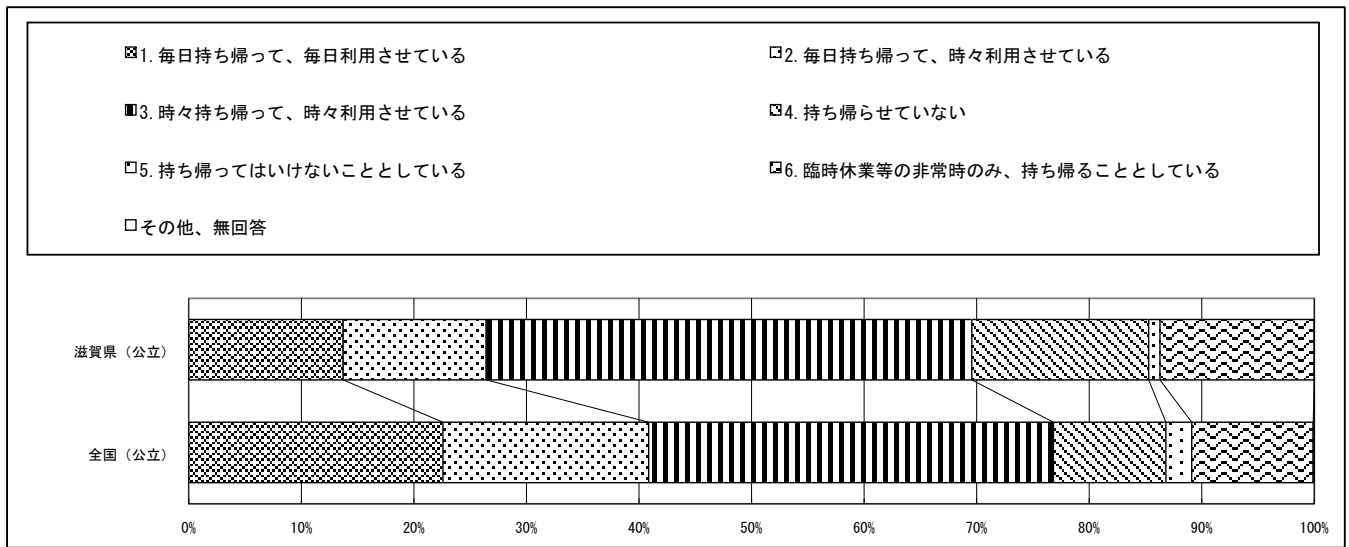


質問番号	質問事項										
(70)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	17.6	36.3	34.3	11.8							0.0
全国（公立）	26.1	35.5	28.5	9.7							0.2

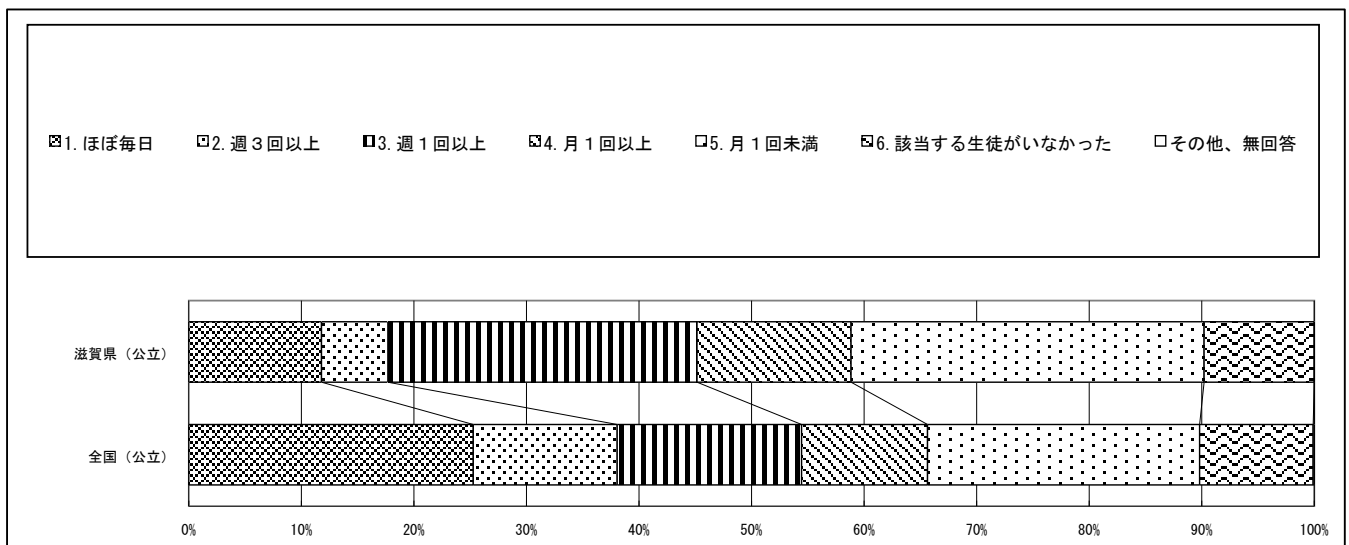


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(71)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	13.7	12.7	43.1	15.7	1.0	13.7					0.0
全国(公立)	22.6	18.3	36.0	10.0	2.3	10.8					0.1

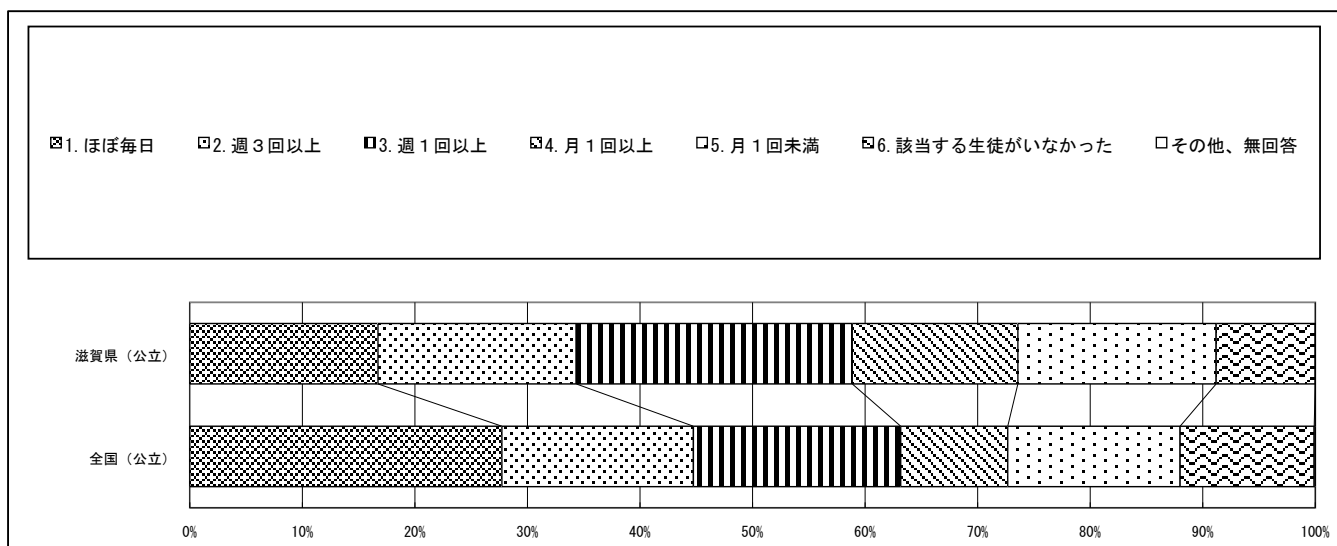


質問番号	質問事項										
(72-1)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校生徒に対する学習活動等の支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	11.8	5.9	27.5	13.7	31.4	9.8					0.0
全国(公立)	25.3	12.8	16.4	11.2	24.2	10.1					0.1

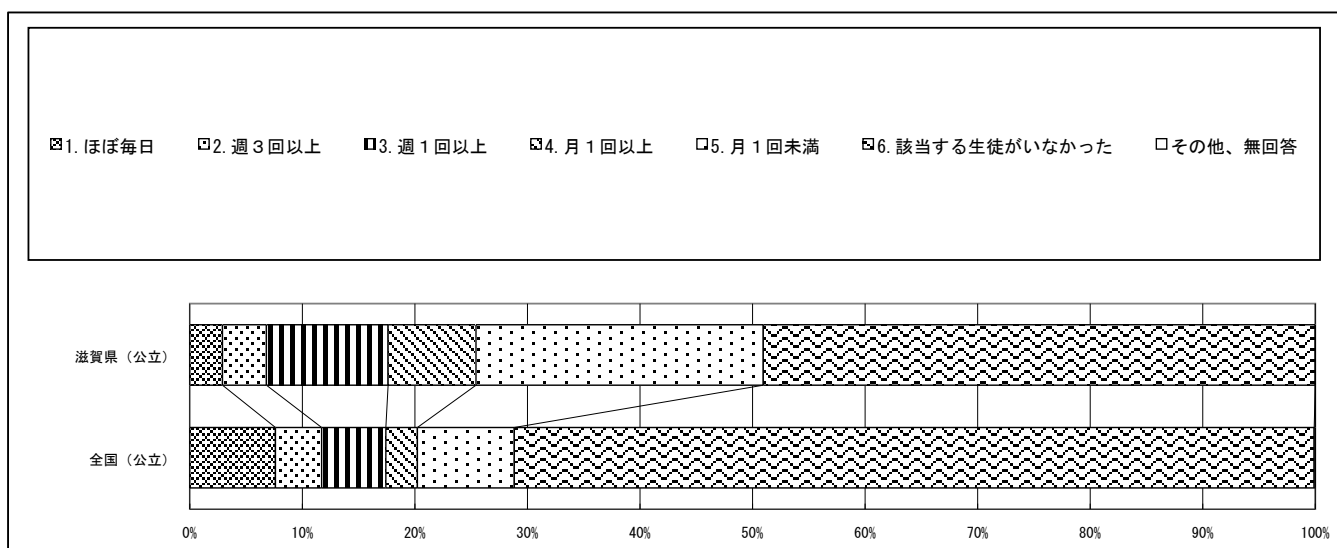


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(72-2)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2) 特別な支援を要する生徒に対する学習活動等の支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	16.7	17.6	24.5	14.7	17.6	8.8					0.0
全国（公立）	27.7	17.0	18.4	9.5	15.3	11.9					0.1

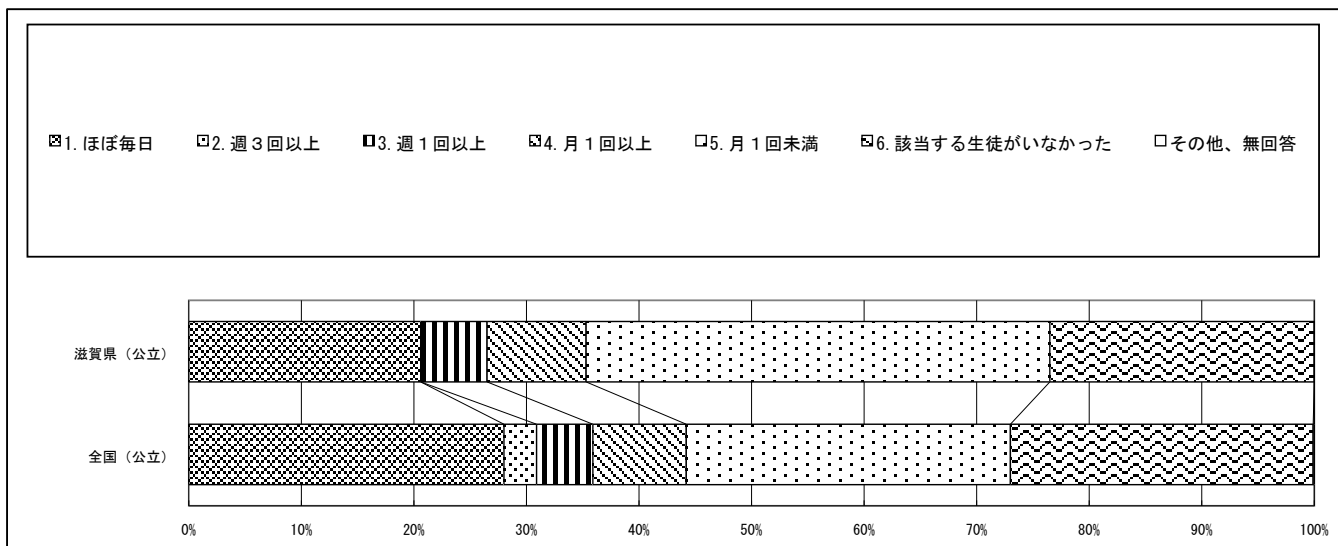


質問番号	質問事項										
(72-3)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3) 外国人生徒に対する学習活動等の支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	2.9	3.9	10.8	7.8	25.5	49.0					0.0
全国（公立）	7.6	4.1	5.7	2.8	8.6	71.0					0.1

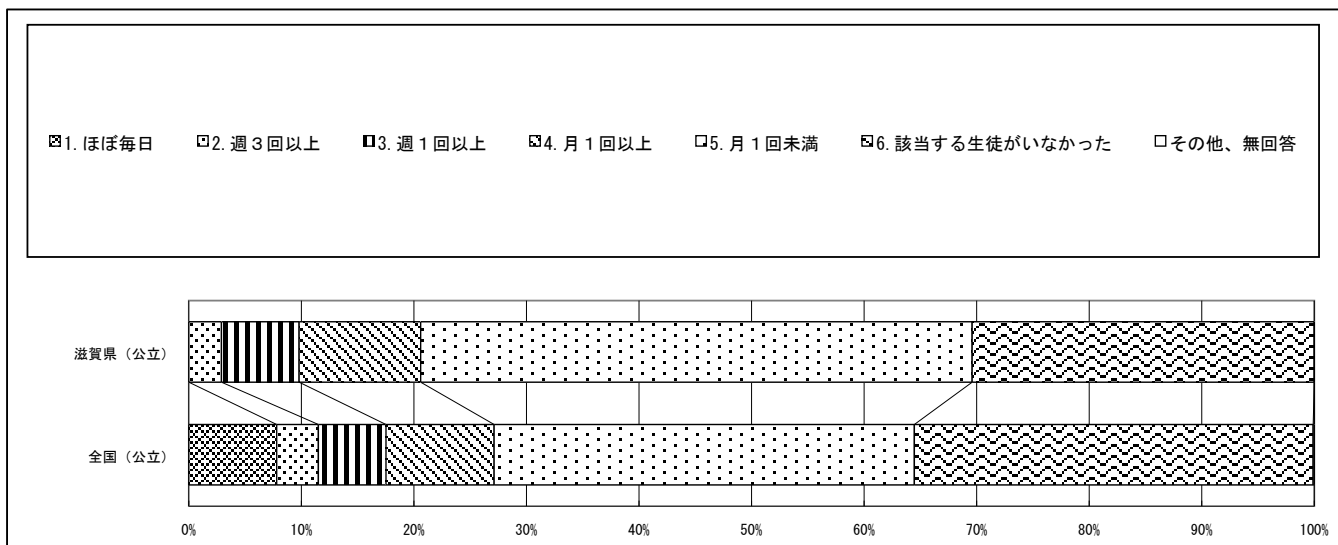


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(72-4)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（4）生徒の心身の状況の把握										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	20.6	0.0	5.9	8.8	41.2	23.5					0.0
全国（公立）	28.0	2.9	5.0	8.3	28.8	26.9					0.1



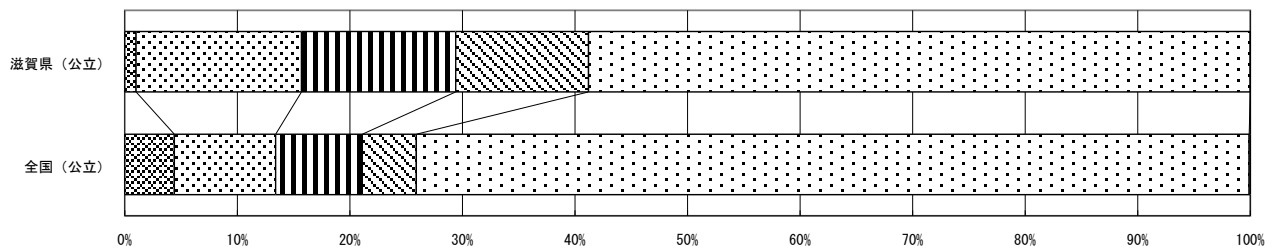
質問番号	質問事項										
(72-5)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。（5）生徒に対するオンラインを活用した相談・支援										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	0.0	2.9	6.9	10.8	49.0	30.4					0.0
全国（公立）	7.8	3.7	6.0	9.6	37.3	35.4					0.1



・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

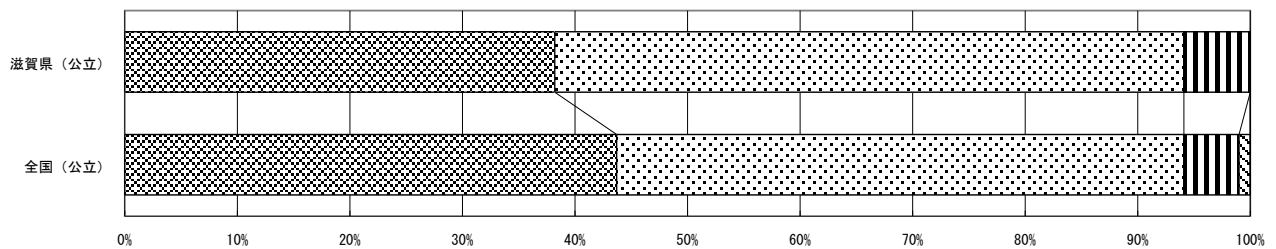
質問番号	質問事項										
(73)	障害のある生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	1.0	14.7	13.7	11.8	58.8						0.0
全国（公立）	4.4	9.0	7.7	4.8	74.0						0.1

☒1. よく行った ☒2. どちらかといえば、行った ☒3. あまり行わなかった ☒4. 全く行わなかった ☒5. 該当する生徒がいなかった ☐その他、無回答



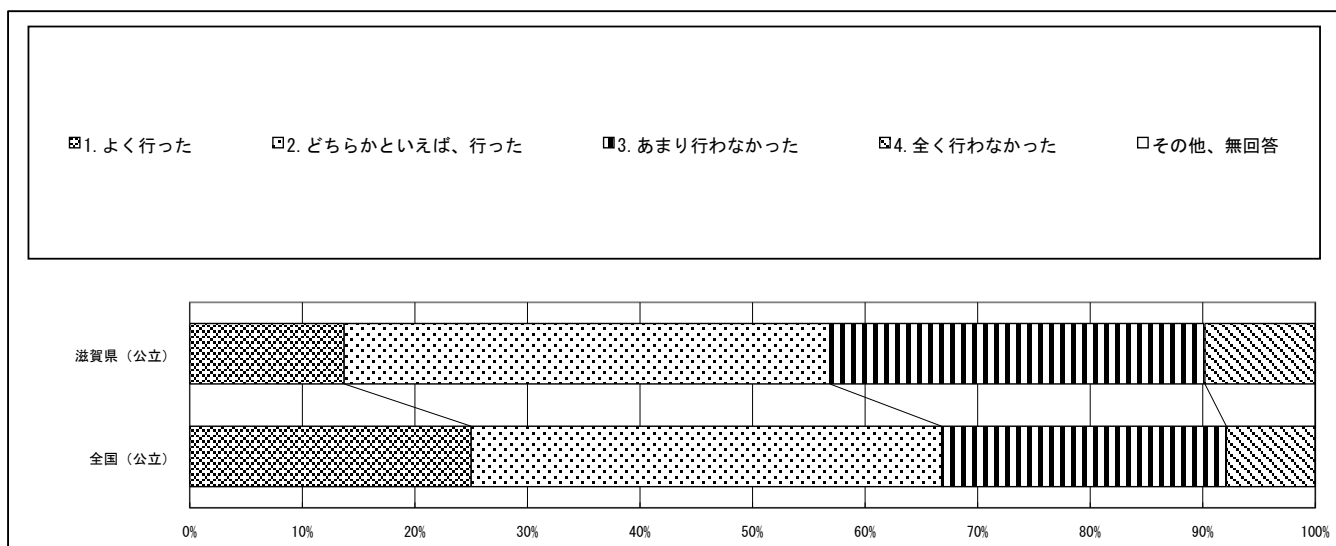
質問番号	質問事項										
(74)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫等）を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	38.2	55.9	5.9	0.0							0.0
全国（公立）	43.7	50.4	4.9	1.0							0.0

☒1. よく行った ☒2. どちらかといえば、行った ☒3. あまり行わなかった ☒4. 全く行わなかった ☐その他、無回答

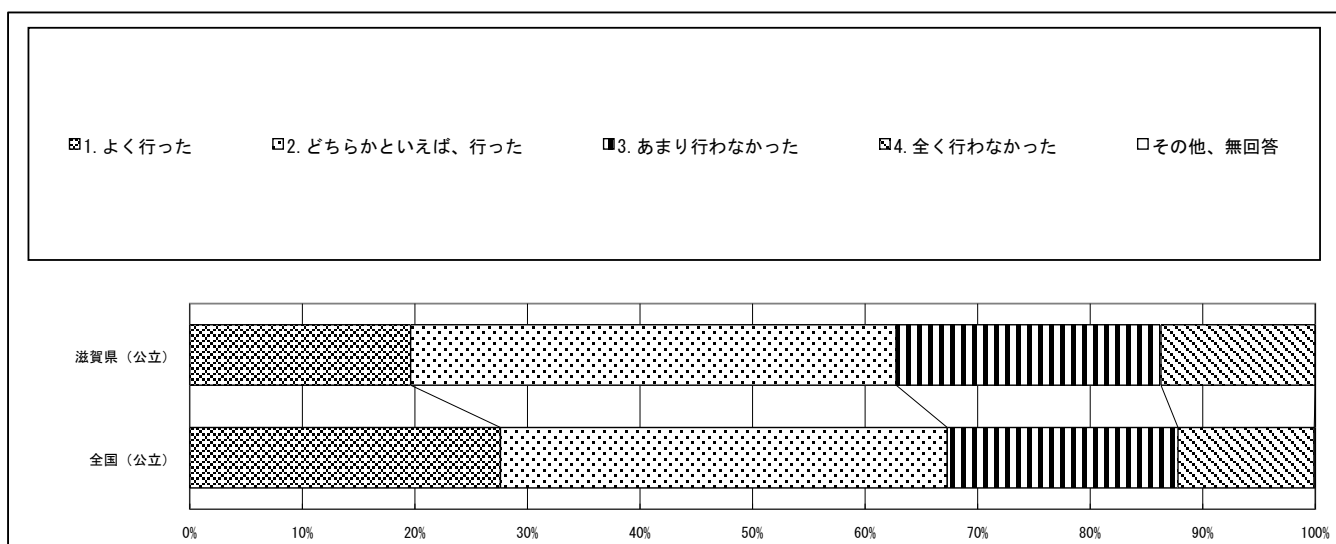


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(75)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	13.7	43.1	33.3	9.8							0.0
全国(公立)	25.0	41.8	25.3	7.9							0.0

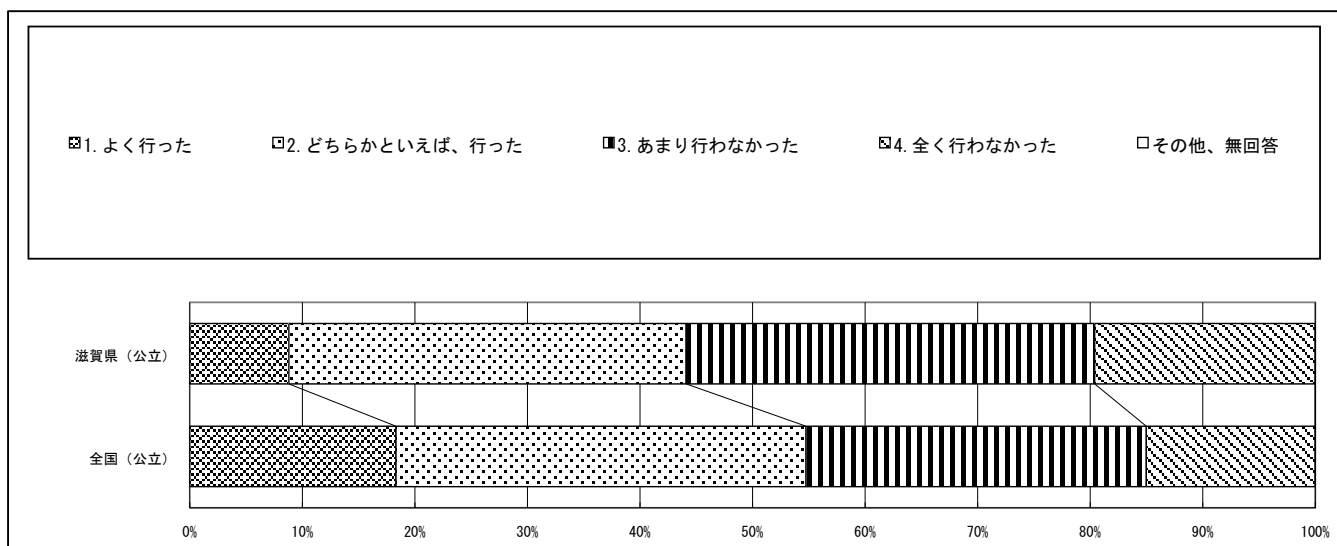


質問番号	質問事項										
(76)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.6	43.1	23.5	13.7							0.0
全国(公立)	27.6	39.7	20.5	12.1							0.1

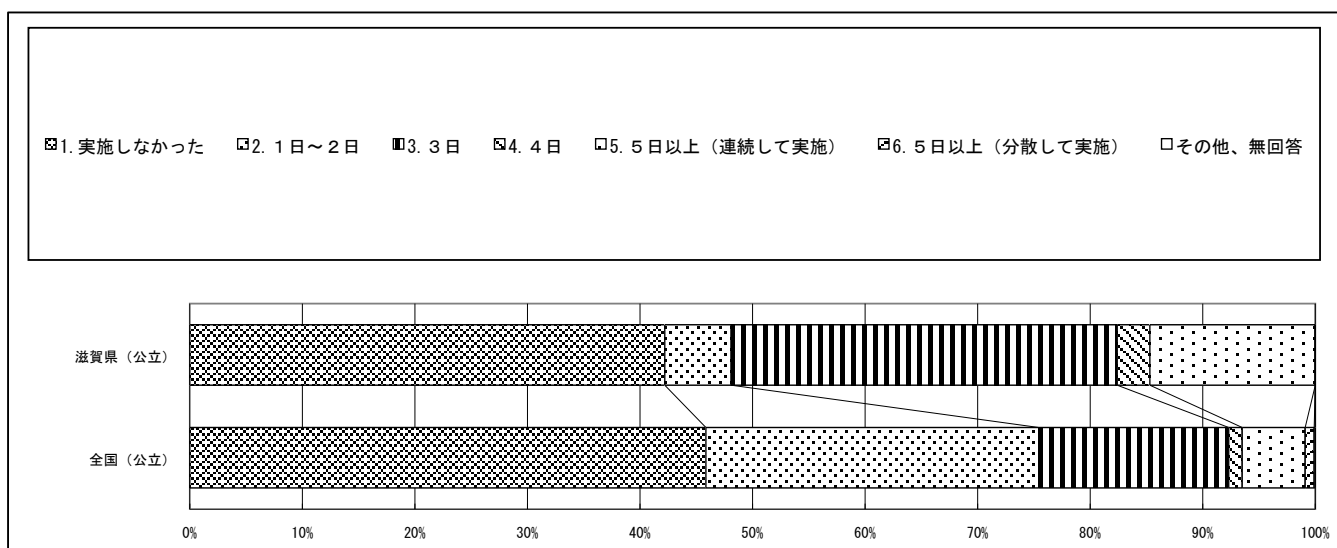


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(77)	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	8.8	35.3	36.3	19.6							0.0
全国(公立)	18.3	36.4	30.2	15.0							0.0

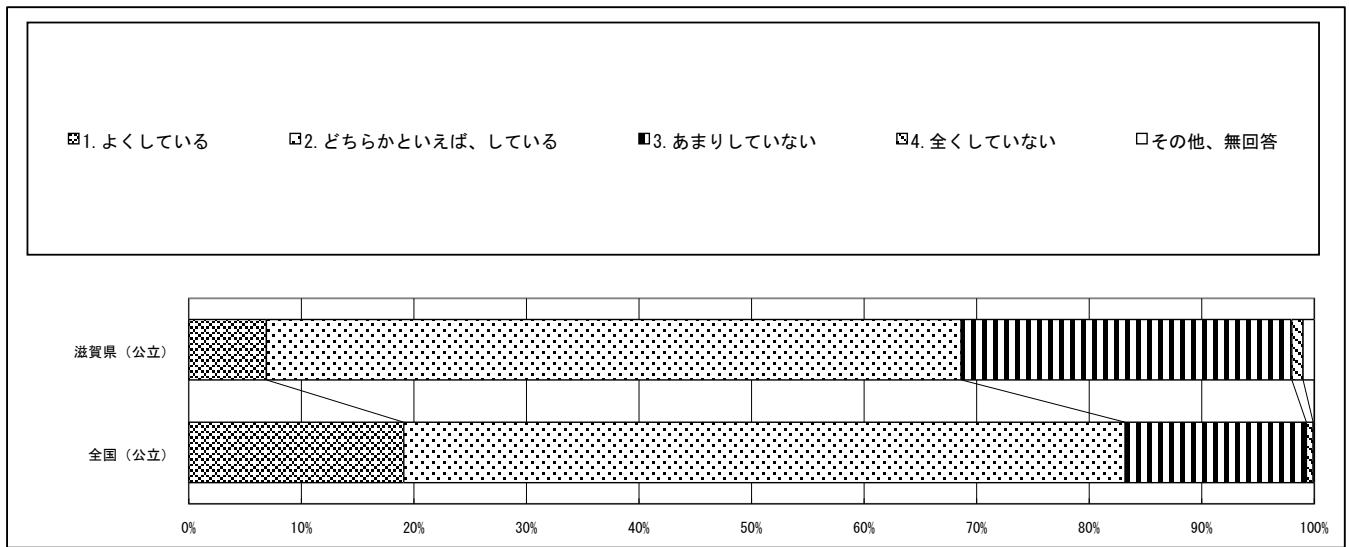


質問番号	質問事項										
(78)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	42.2	5.9	34.3	2.9	14.7	0.0					0.0
全国(公立)	45.9	29.6	16.9	1.2	5.6	0.8					0.1

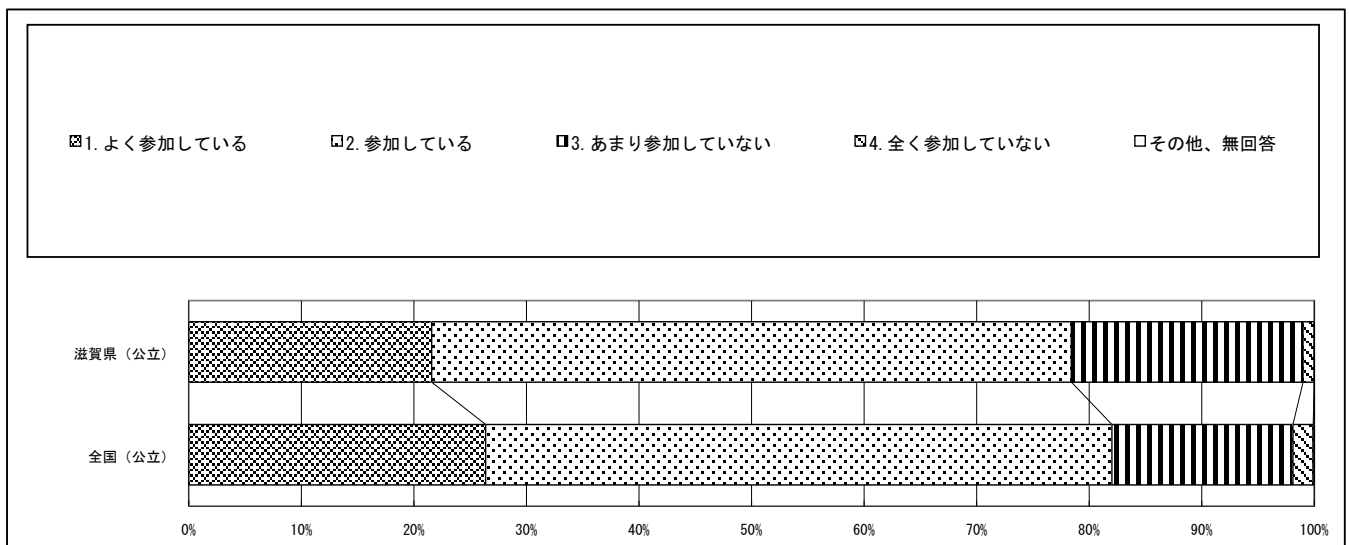


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(79)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	6.9	61.8	29.4	1.0							1.0
全国 (公立)	19.1	64.1	16.1	0.6							0.1

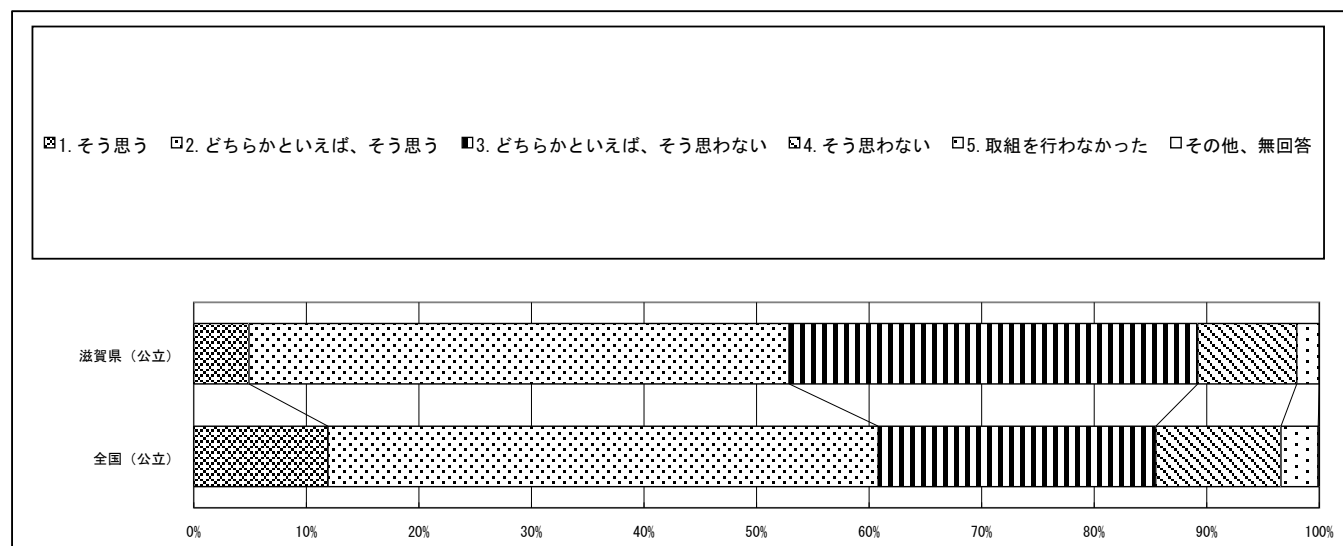


質問番号	質問事項										
(80)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県 (公立)	21.6	56.9	20.6	1.0							0.0
全国 (公立)	26.4	55.7	16.1	1.8							0.1

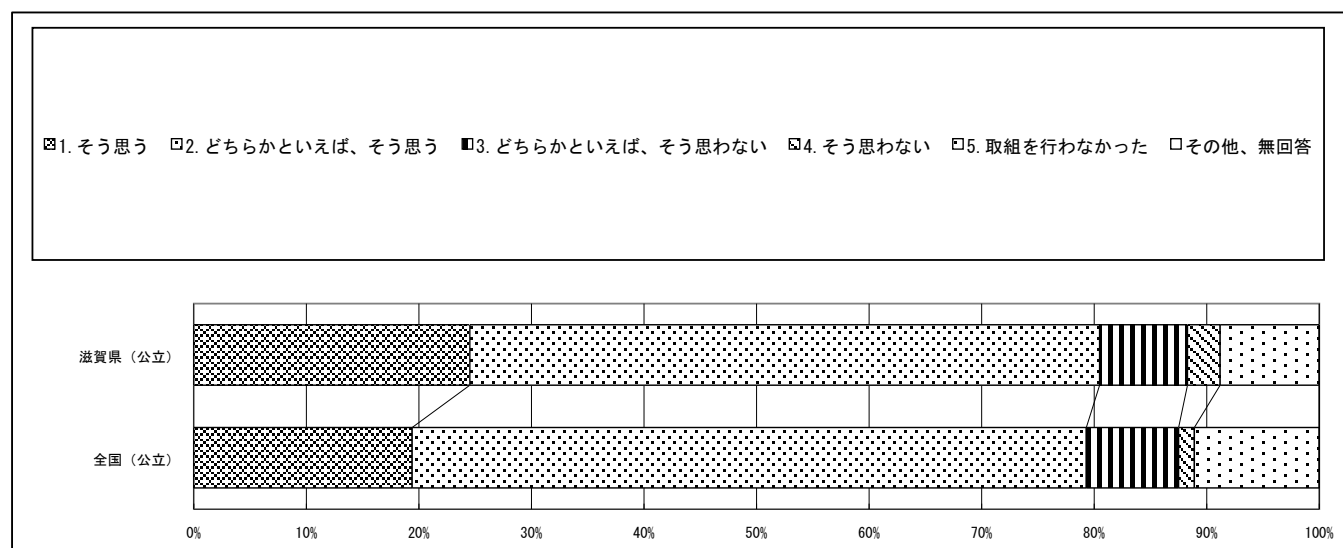


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(81)	(80)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	4.9	48.0	36.3	8.8	2.0						0.0
全国(公立)	11.9	48.8	24.6	11.1	3.3						0.1

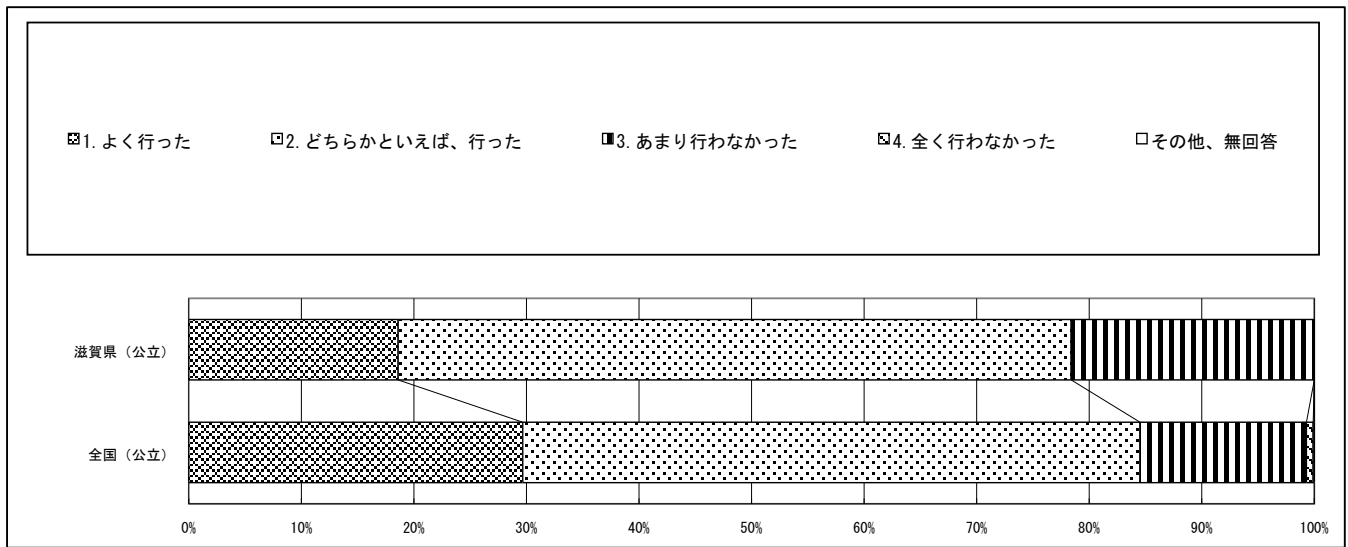


質問番号	質問事項										
(82)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	24.5	55.9	7.8	2.9	8.8						0.0
全国(公立)	19.4	59.9	8.2	1.4	11.1						0.0

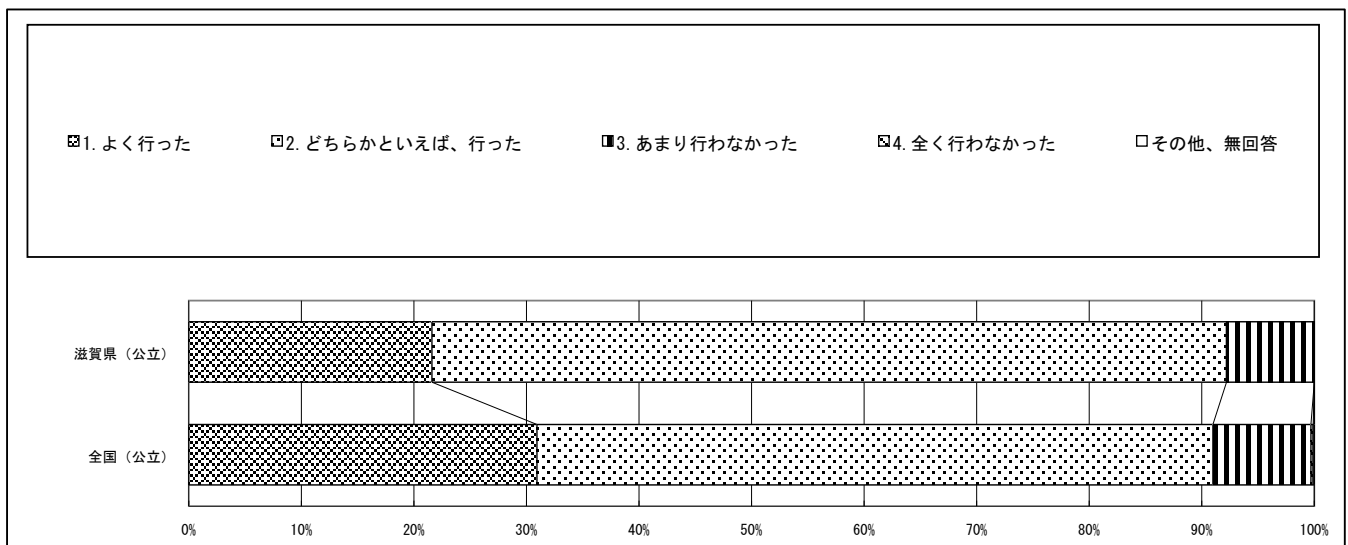


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(83)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	18.6	59.8	21.6	0.0							0.0
全国(公立)	29.7	54.9	14.8	0.6							0.1

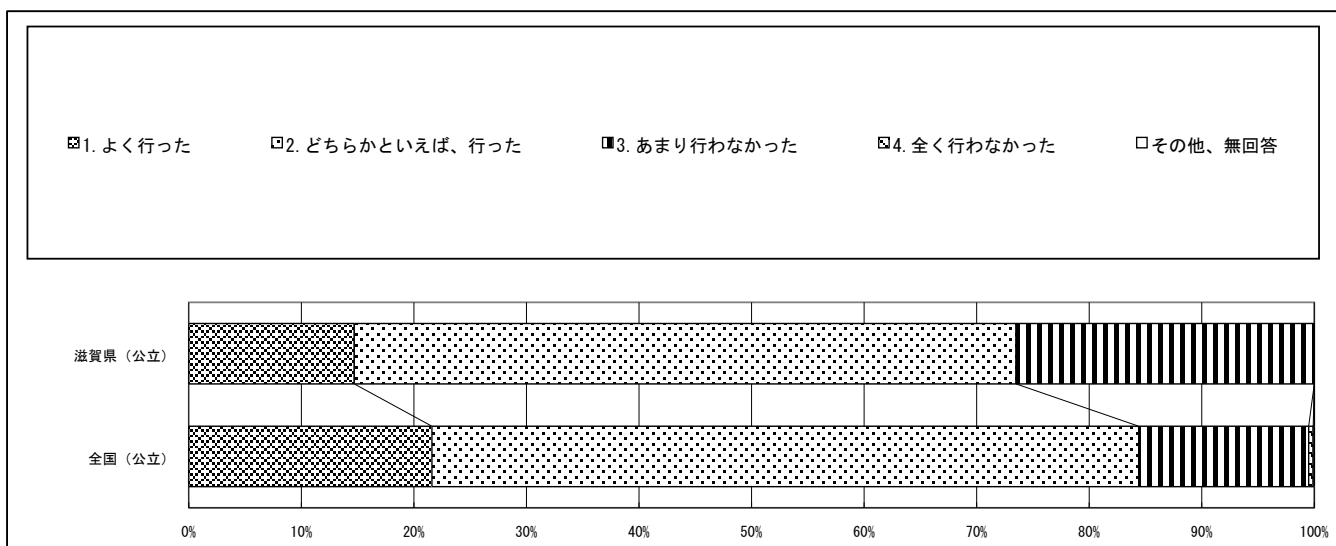


質問番号	質問事項										
(84)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	21.6	70.6	7.8	0.0							0.0
全国(公立)	30.9	60.0	8.7	0.2							0.1

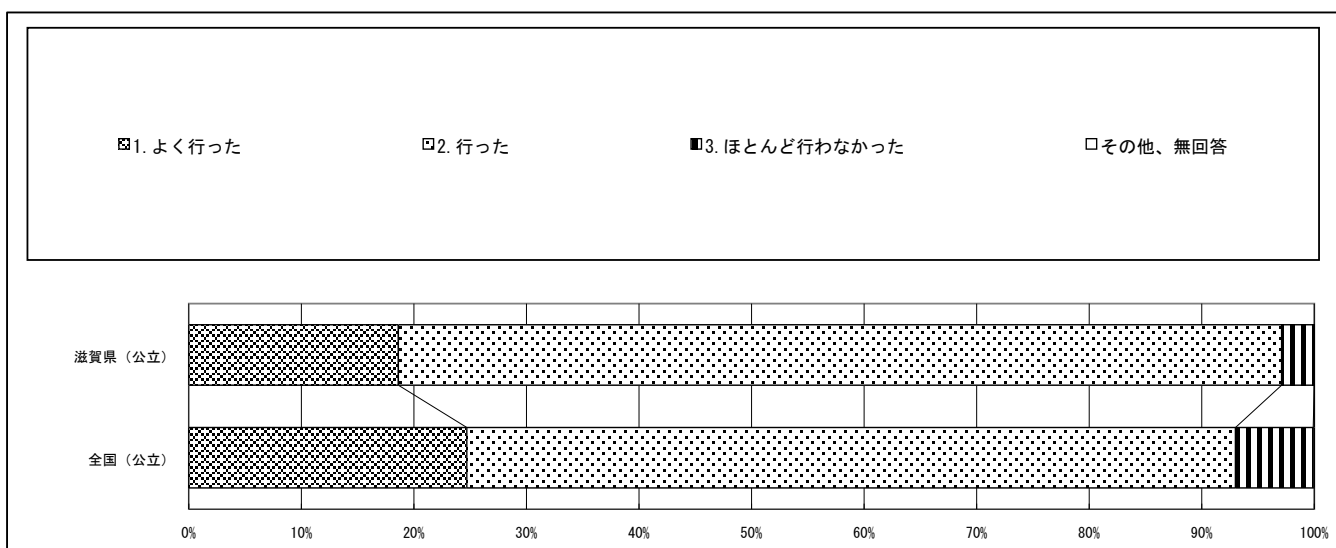


・以下の集計値/グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(85)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	14.7	58.8	26.5	0.0							0.0
全国(公立)	21.6	62.8	15.1	0.4							0.1

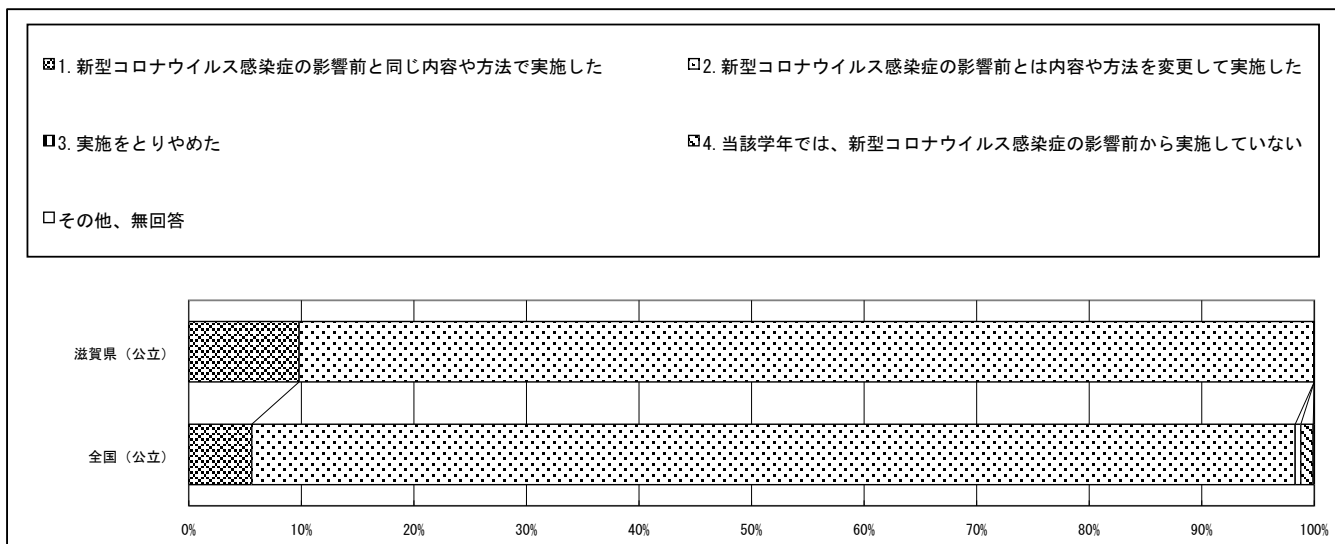


質問番号	質問事項										
(86)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	18.6	78.4	2.9								0.0
全国(公立)	24.7	68.3	6.9								0.1

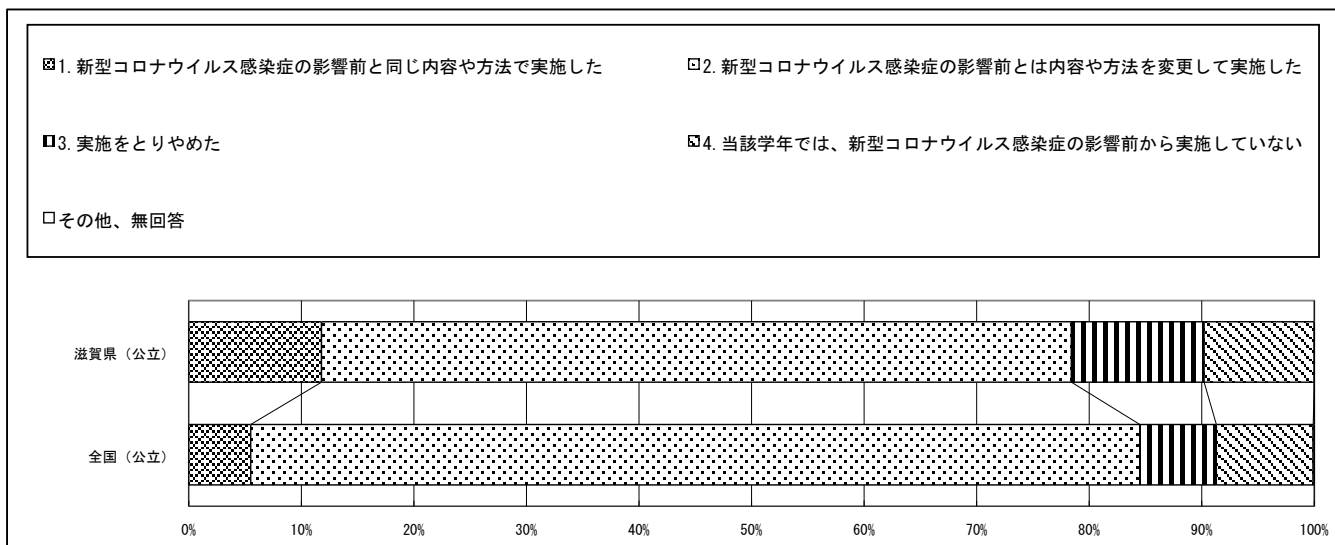


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(89-1)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（1）体育祭・競技会・球技会										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	9.8	90.2	0.0	0.0							0.0
全国（公立）	5.6	92.8	0.5	1.1							0.1

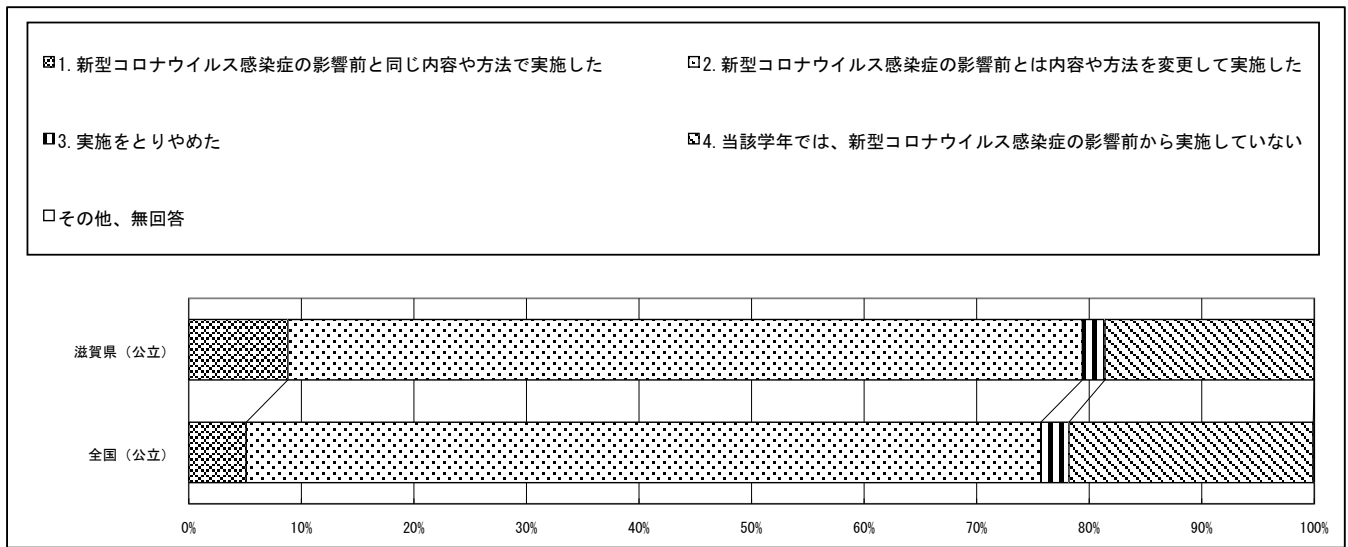


質問番号	質問事項										
(89-2)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（2）音楽会・合唱コンクール										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	11.8	66.7	11.8	9.8							0.0
全国（公立）	5.5	79.0	6.8	8.6							0.1

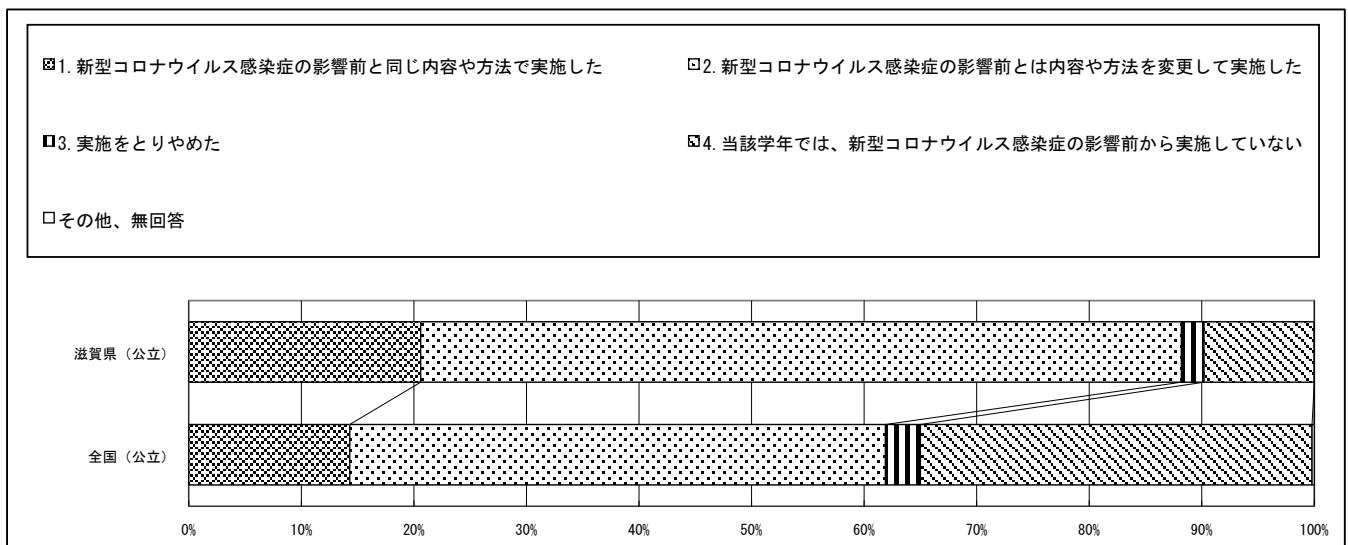


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(89-3)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（3）学芸会・文化祭										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	8.8	70.6	2.0	18.6							0.0
全国（公立）	5.1	70.6	2.5	21.7							0.1

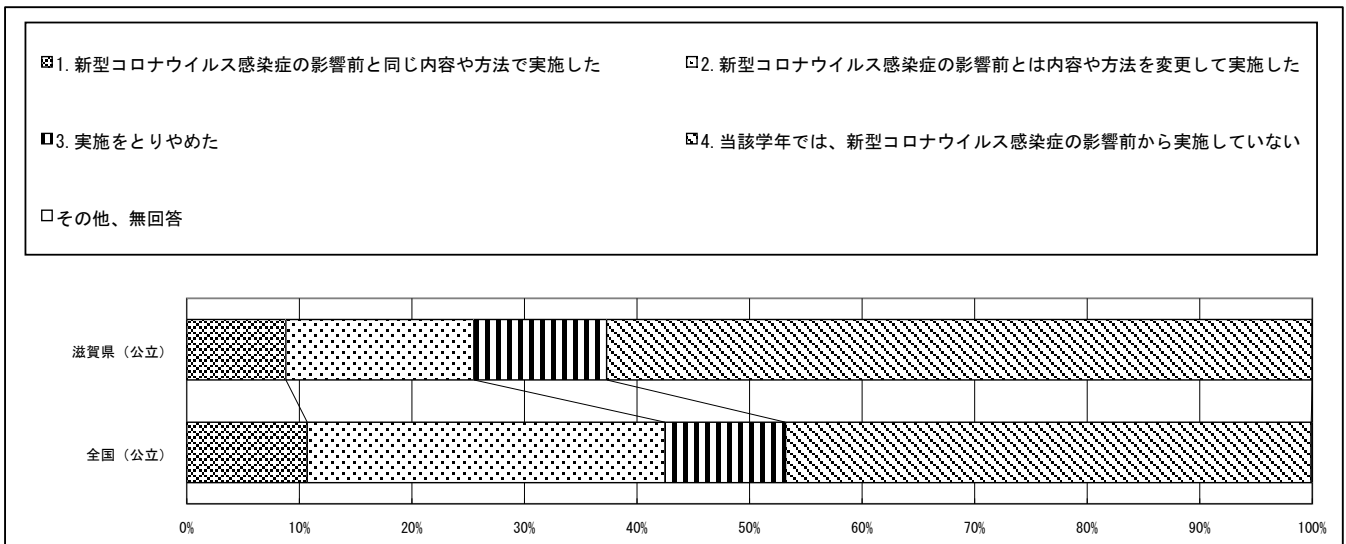


質問番号	質問事項										
(89-4)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（4）遠足										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	20.6	67.6	2.0	9.8							0.0
全国（公立）	14.3	47.6	3.1	34.8							0.2

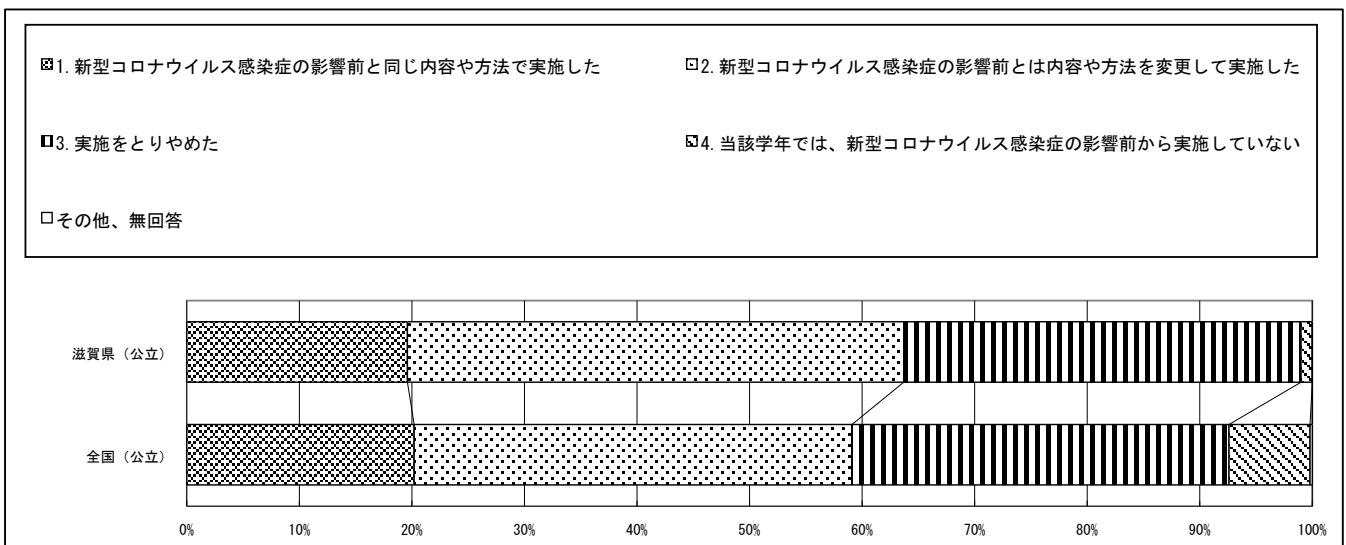


・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査(国語、数学、英語)を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(89-5)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(5)芸術鑑賞会										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	8.8	16.7	11.8	62.7							0.0
全国(公立)	10.7	31.8	10.7	46.7							0.1

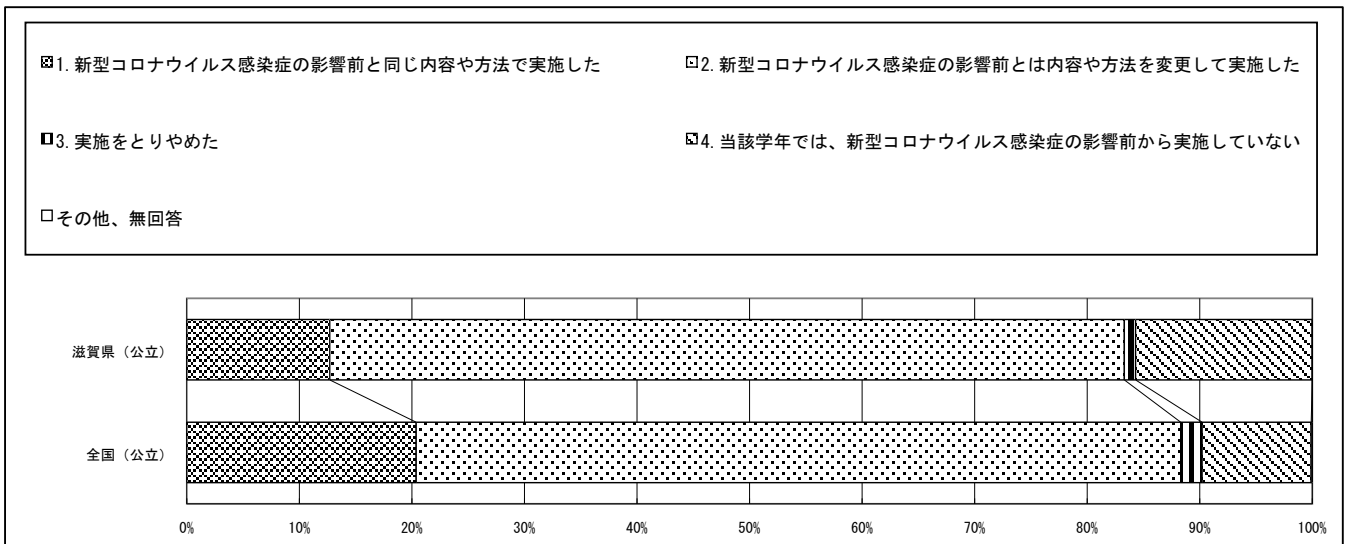


質問番号	質問事項										
(89-6)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(6)職業体験活動										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県(公立)	19.6	44.1	35.3	1.0							0.0
全国(公立)	20.2	38.9	33.5	7.2							0.2



・以下の集計値／グラフは、4月18日に教科に関する調査（国語、数学、英語）を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

質問番号	質問事項										
(89-7)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（7）集団宿泊活動（修学旅行も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	12.7	70.6	1.0	15.7							0.0
全国（公立）	20.4	68.0	1.9	9.7							0.1



質問番号	質問事項										
(89-8)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。（8）授業参観・学校公開										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他、無回答
滋賀県（公立）	9.8	74.5	14.7	1.0							0.0
全国（公立）	12.3	81.9	5.4	0.3							0.1

